佐賀県文化財調査報告書第182集
西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書（7）

中原遺跡Ⅳ

二〇一〇年三月　佐賀県教育委員会

佐賀県文化財調査報告書第182集

西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書（７）

中　原　遺　跡　Ⅳ

11区・13区の弥生時代甕棺墓の調査

２０１０年３月

佐賀県教育委員会

宇木川・半田川流域空中写真

11区全景

11区～13区全景空中写真

11区・13区調査区南側空中写真

円環型銅釧出土状況１

円環型銅釧出土状況２

SJ11247銅矛出土状況

口縁部打ち欠きの壺形土器群

人骨出土状況（座位屈葬）

袋状口縁壺

SJ11247出土銅矛

SJ13011出土鉄矛出土状況

145-3

145-4

145-5

146-6

SJ11275出土鉄製鉇　SJ13007出土鉄製鉇　SJ11294出土鉄斧　SJ13011出土鉄矛

甕棺墓出土鉄製品

SJ13134出土円環型銅釧・碧玉製管玉

石製玉類集合写真

石製玉類

SJ13069出土ガラス小玉

佐賀県文化財調査報告書第182集

西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書（７）

中　原　遺　跡　Ⅳ

11区・13区の弥生時代甕棺墓の調査

２０１０年３月

佐賀県教育委員会

序

この報告書は佐賀県教育委員会が国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の委託を受けて唐津市教育委員会の協力のもと平成13～17年度に実施した西九州自動車道唐津道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告です。同シリーズでは『中原遺跡Ⅲ』につづく７冊目にあたります。

中原遺跡は弥生～平安時代前期までの複合遺跡で、各時代において重要な遺構・遺物が発見されました。弥生・古墳時代では甕棺墓群、墳丘墓、古墳、竪穴住居跡、掘立柱建物跡などが検出され、青銅鏡をはじめ青銅製品や鉄製品、石製品、木製品などの多くの貴重な遺物が出土しました。

今回の報告は中原遺跡の11区、13区で調査した甕棺墓群とその出土品です。副葬品は銅矛、鉄矛、銅釧などの青銅・鉄製品や翡翠製の勾玉、碧玉製管玉などが多量に出土しました。特に、円形の銅釧や多くの勾玉、管玉などの装身具は全国的にも際立っており、唐津地域の弥生文化の特色であることが判ってきました。

本書が今後の学術・文化向上に少しでも役立てば幸いに存じます。発刊にあたり多難な調査作業に従事していただいた地元の皆様、整理作業に従事していただいた調査事務所の方々並びに埋蔵文化財の保護に御理解いただきました佐賀国道事務所に対し、心より厚くお礼申しあげます。

平成22年３月26日

佐賀県教育委員会

教育長　　川　﨑　俊　広

例　言

1，本書は西九州自動車道唐津－浜玉道路建設に伴い平成13～17年度に実施した唐津市原所在の中原遺跡の発掘調査報告書であり、西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書の第７冊である。

2，発掘調査は国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の委託を受け、佐賀県教育委員会が主体となり唐津市教育委員会の協力を得て実施した。

3，本書の執筆分担は目次に記す。Ⅰ章、Ⅱ章、Ⅲ章は『中原遺跡Ⅲ』の同章をもとに加筆訂正した。

4，報告書作成にあたっての整理作業の遺物復元、遺物実測、製図、遺物写真撮影、編集などは主に唐津中原文化財事務所で行い、一部文化財資料室で行った。また、写真現像焼付は唐津中原文化財事務所で行った。主な作業分担は次のとおりである。

遺物復元整理……浦田照千代・坂本直久・桑代ゆかり・徳田まり子・松本いつ子・三浦美智子・
脇山邦子・渡辺直美

遺物実測・製図…大薗聖子・川原里美・菊池孝子・中島美佳・馬場　薫・美浦あずさ

遺物写真撮影……小松　譲

写真現像焼付……市丸宮子・古藤真理子

写真整理・事務…池内理恵・辻美紀子・松本綾子

5，遺構実測は一部作業員の補助のもとに調査員が行い、㈱埋蔵文化財サポートシステムに委託した。空中写真は㈲空中写真企画に委託した。遺構のデジタルトレースは㈲とっぺんに委託し、市川浩文が編集した。遺物実測の一部を㈱埋蔵文化財サポートシステムに委託した。

6，発掘調査、遺物整理に際して下記の方々から指導・助言を得た。

岩永省三（九州大学）・木下尚子（熊本大学）・藁科哲男（遺物材料研究所）・分部哲秋（長崎大学）・平尾良光（別府大学）・大賀克彦　（順不同･敬称略）

7，本書の編集は市川浩文・土屋了介の協力のもと小松譲が行った。

凡　例

1，遺跡の略号は下記のとおりである。

中原遺跡（NAK）

2，遺構種別記号は次のとおりである。

SJ：甕棺墓

3，各遺構番号は（遺構種別記号－番号）で連番とした。本書でも発掘調査時の遺構番号を原則的にそのまま用いた。遺構番号の下４桁と５桁は調査区を示す。

4，本書に掲載した遺物番号は本文中では挿図番号－遺物番号で表記した。写真図版遺物も同じである。

6，本書に用いた方位はすべて国土座標第Ⅱ系の座標北である。

7，遺物および実測図の検索・照合のため、実測遺物全てに登録番号を付け表に付記した。

8，遺構・遺物写真、遺構・遺物実測図は佐賀県文化財調査研究資料室に保管する。

目　次

Ⅰ．調査の経過…… 1
　1，調査に至る経過…… 1
　2，調査組織…… 3
　3，調査の方法と経過…… 9
　　⑴　調査の方法…… 9
　　⑵　調査の経過…… 9

Ⅱ．遺跡の位置と環境…… 15
　1，地理的環境…… 15
　2，歴史的環境…… 18

Ⅲ．調査の概要…… 26
　1，中原遺跡の調査歴（小松）…… 26
　2，遺跡の概要…… 26

Ⅳ．11区・13区の甕棺墓の調査…… 53
　1，概要（小松）…… 53
　2，遺構（小松）…… 53
　　⑴　遺物出土の甕棺墓…… 54
　　⑵　人骨の出土状況…… 66
　3，遺物…… 189
　　⑴　甕棺（小松）…… 189
　　⑵　副葬品…… 191
　　　①金属器（小松、土屋）…… 191
　　　②石器（小松）…… 197
　　　③玉類（小松、土屋）…… 199

Ⅴ．総括…… 259
　1，唐津地域甕棺の器種・型式分類と編年試案（小松）…… 259
　2，女代南Ｂ群碧玉製管玉に関する認識（大賀）…… 280
　3，円環型銅釧の集成（土屋、小松）…… 294
　4，中原遺跡甕棺墓地の形成過程（小松）…… 308

Ⅵ．自然科学分析…… 321
　1，中原遺跡出土石製玉類の産地分析…… 321
　2，佐賀県中原遺跡から出土した銅釧の鉛同位体比…… 367
　3，佐賀県唐津市中原遺跡11区及び13区出土の弥生時代人骨…… 393

挿図目次

図－1　路線図（1/50000）…… 2
図－2　遺跡位置図…… 15
図－3　旧海岸線・砂丘列地形分類図（1/100000）… 16
図－4　周辺遺跡分布図（1/70000）…… 19
図－5　唐津平野弥生時代青銅器出土遺跡分布図（1/50000）…… 22
図－6　調査区位置図（1/6000）…… 27
図－7　中原遺跡全調査区遺構配置図（1/2000）… 29
図－8　11・12・13区遺構配置図（1/600）… 31
図－9　中原遺跡全景…… 33
図－10　遺跡概略（1/6000）…… 34
図－11　11区・13区甕棺墓配置図1（1/500）…. 35
図－12　11区・13区甕棺墓配置図2（1/250）…. 37
図－13　甕棺墓出土状況1（1/100）…… 39
図－14　甕棺墓出土状況2（1/100）…… 41
図－15　甕棺墓出土状況3（1/100）…… 43
図－16　甕棺墓出土状況4（1/100）…… 45
図－17　甕棺墓出土状況5（1/100）…… 47
図－18　甕棺墓出土状況6（1/100）…… 49
図－19　甕棺墓出土状況7（1/100）…… 51
図－20　甕棺墓出土状況8（1/100）…… 52
図－21　SJ11045・11083・11090・11104・11208・11213・11221・11223・11224・11225・11226甕棺墓（1/30）…… 67
図－22　SJ11227・11237・11235・11239・11240甕棺墓（1/30）…… 68
図－23　SJ11241・11242・11247甕棺墓（1/30）… 69
図－24　SJ11249・11259・11265甕棺墓（1/30）… 70
図－25　SJ11269・11270・11271・11274甕棺墓（1/30）…… 71
図－26　SJ11275・11277・11280・11286甕棺墓（1/30）…… 72
図－27　SJ11281・11287・11288・11289・11290甕棺墓（1/30）…… 73
図－28　SJ11294・11295・11296甕棺墓（1/30）… 74
図－29　SJ13001・13003・13004・13005・13006・13048甕棺墓（1/30）…… 75
図－30　SJ13007・13009・13011・13012・13013甕棺墓（1/30）…… 76
図－31　SJ13014・13015・13046・13049・13050甕棺墓（1/30）…… 77
図－32　SJ13052・13059・13060・13061・13065・13067甕棺墓（1/30）…… 78
図－33　SJ13062・13066・13068・13069・13070・13071・13073甕棺墓（1/30）…… 79
図－34　SJ13072・13074・13075・13077・13078・13079・13080・13082甕棺墓（1/30）…. 80
図－35　SJ13081・13083・13084・13085・13088甕棺墓（1/30）…… 81
図－36　SJ13089・13090・13091・13092・13093甕棺墓（1/30）…… 82
図－37　SJ13094・13095・13096・13097・13098・13099甕棺墓（1/30）…… 83
図－38　SJ13101・13102・13103・13108・13109甕棺墓（1/30）…… 84
図－39　SJ13104・13106・13107・13111・13112・13114・13119甕棺墓（1/30）…… 85
図－40　SJ13110・13125・13118・13122甕棺墓（1/30）…… 86
図－41　SJ13116・13123・13124・13126・13130甕棺墓（1/30）…… 87
図－42　SJ13127・13131・13133・13128甕棺墓（1/30）…… 88
図－43　SJ13132・13134・13135・13138・13139甕棺墓（1/30）…… 89
図－44　SJ13141・13142・13143・13144甕棺墓（1/30）…… 90
図－45　SJ13145・13146・13148・13149甕棺墓（1/30）…… 91
図－46　SJ13147・13150・13151・13152甕棺墓（1/30）…… 92
図－47　SJ13153・13161・13162・13164・13165甕棺墓（1/30）…… 93
図－48　SJ13166・13167・13182・13186

甕棺墓（1/30）…… 94
図－49 SJ13190・13195・13198・13199
甕棺墓（1/30）…… 95
図－50 SJ13200・13201・13202・13204
甕棺墓（1/30）…… 96
図－51 SJ13205・13206・13207・13209・
13210甕棺墓（1/30）…… 97
図－52 SJ13213・13214・13215・13220
甕棺墓（1/30）…… 98
図－53 SJ13225・13228・13229・13232
甕棺墓（1/30）…… 99
図－54 SJ13233・13235・13236・13238
甕棺墓（1/30）…… 100
図－55 SJ13241・13242・13247・13249・
13250甕棺墓（1/30）…… 101
図－56 SJ13253・13254・13255・13256・
13257甕棺墓（1/30）…… 102
図－57 SJ13259・13260・13261・13262・
13263甕棺墓（1/30）…… 103
図－58 SJ13264・13266・13267・13268
甕棺墓（1/30）…… 104
図－59 SJ13269・13270・13271・13272・
13273・13274甕棺墓（1/30）…… 105
図－60 SJ13275・13276・13277・13278・
13279・13280甕棺墓（1/30）…… 106
図－61 SJ13281・13282・13283・13284
甕棺墓（1/30）…… 107
図－62 SJ13286・13287・13288・13289
甕棺墓（1/30）…… 108
図－63 SJ13290・13291・13292・13293
甕棺墓（1/30）…… 109
図－64 SJ13294・13295・13296・13297
甕棺墓（1/30）…… 110
図－65 SJ13298・13299・13300・13301
甕棺墓（1/30）…… 111
図－66 SJ13302・13303・13304・13305
甕棺墓（1/30）…… 112
図－67 SJ13306・13309・13310・13311
甕棺墓（1/30）…… 113
図－68 SJ13312・13313・13315・13316
甕棺墓（1/30）…… 114
図－69 SJ13317・13319・13320・13321
甕棺墓（1/30）…… 115
図－70 SJ13323・13324・13325・13330
甕棺墓（1/30）…… 116
図－71 SJ13329・13335・13336甕棺墓（1/30）‥ 117
図－72 SJ13337・13338・13343・13341・
13354甕棺墓（1/30）…… 118
図－73 SJ13340・13344・13347・13355
甕棺墓（1/30）…… 119
図－74 SJ13348・13356・13357・13361
甕棺墓（1/30）…… 120
図－75 SJ13365・13379・13381・13382
甕棺墓（1/30）…… 121
図－76 SJ13370・13383・13386・13388
甕棺墓（1/30）…… 122
図－77 SJ13384・13390・13391・13392
甕棺墓（1/30）…… 123
図－78 SJ13393・13394・13395・13396
甕棺墓（1/30）…… 124
図－79 SJ13397・13400・13413・13417・
13421・13422甕棺墓（1/30）…… 125
図－80 SJ11247甕棺墓遺物出土状況（1/10）…· 126
図－81 SJ11290甕棺墓遺物出土状況（1/10）…· 127
図－82 SJ13134銅釧出土状況（1/3）…… 128
図－83 SJ13134出土銅釧出土状況Ｘ線写真 … 129
図－84 SJ13295甕棺墓人骨出土状況（1/10）…· 130
図－85 SJ13213甕棺墓人骨出土状況（1/10）…· 131
図－86 11区出土甕棺１（1/8・1/12）…… 132
図－87 11区出土甕棺２（1/12）…… 133
図－88 11区出土甕棺３（1/12）…… 134
図－89 11区出土甕棺４（1/12）…… 135
図－90 11区出土甕棺５（1/12）…… 136
図－91 11区出土甕棺６（1/12）…… 137
図－92 13区出土甕棺１（1/8・1/12）…… 138
図－93 13区出土甕棺２（1/12）…… 139
図－94 13区出土甕棺３（1/12）…… 140
図－95 13区出土甕棺４（1/8・1/12）…… 141

図－96　13区出土甕棺５（1/12）…… 142
図－97　13区出土甕棺６（1/8・1/12）…… 143
図－98　13区出土甕棺７（1/8・1/12）…… 144
図－99　13区出土甕棺８（1/12）…… 145
図－100 13区出土甕棺９（1/8・1/12）…… 146
図－101 13区出土甕棺10（1/8・1/12）…… 147
図－102 13区出土甕棺11（1/8・1/12）…… 148
図－103 13区出土甕棺12（1/12）…… 149
図－104 13区出土甕棺13（1/8・1/12）…… 150
図－105 13区出土甕棺14（1/8・1/12）…… 151
図－106 13区出土甕棺15（1/12）…… 152
図－107 13区出土甕棺16（1/8・1/12）…… 153
図－108 13区出土甕棺17（1/8・1/12）…… 154
図－109 13区出土甕棺18（1/8・1/12）…… 155
図－110 13区出土甕棺19（1/12）…… 156
図－111 13区出土甕棺20（1/12）…… 157
図－112 13区出土甕棺21（1/12）…… 158
図－113 13区出土甕棺22（1/8・1/12）…… 159
図－114 13区出土甕棺23（1/12）…… 160
図－115 13区出土甕棺24（1/12）…… 161
図－116 13区出土甕棺25（1/8・1/12）…… 162
図－117 13区出土甕棺26（1/8・1/12）…… 163
図－118 13区出土甕棺27（1/8・1/12）…… 164
図－119 13区出土甕棺28（1/12）…… 165
図－120 13区出土甕棺29（1/12）…… 166
図－121 13区出土甕棺30（1/8・1/12）…… 167
図－122 13区出土甕棺31（1/8・1/12）…… 168
図－123 13区出土甕棺32（1/8・1/12）…… 169
図－124 13区出土甕棺33（1/8・1/12）…… 170
図－125 13区出土甕棺34（1/8・1/12）…… 171
図－126 13区出土甕棺35（1/8・1/12）…… 172
図－127 13区出土甕棺36（1/12）…… 173
図－128 13区出土甕棺37（1/8・1/12）…… 174
図－129 13区出土甕棺38（1/8・1/12）…… 175
図－130 13区出土甕棺39（1/12）…… 176
図－131 13区出土甕棺40（1/8・1/12）…… 177
図－132 13区出土甕棺41（1/8・1/12）…… 178
図－133 13区出土甕棺42（1/12）…… 179
図－134 13区出土甕棺43（1/8・1/12）…… 180
図－135 13区出土甕棺44（1/12）…… 181
図－136 13区出土甕棺45（1/12）…… 182
図－137 13区出土甕棺46（1/8・1/12）…… 183
図－138 13区出土甕棺47（1/12）…… 184
図－139 13区出土甕棺48（1/12）…… 185
図－140 13区出土甕棺49（1/8・1/12）…… 186
図－141 13区出土甕棺50（1/8・1/12）…… 187
図－142 13区出土甕棺51（1/8・1/12）…… 188
図－143 大型甕Dの法量分布図 …… 190
図－144 SJ13299甕棺絵画（1/2）…… 191
図－145 甕棺出土金属器（1/1・1/2）…… 192
図－146 甕棺出土鉄矛（1/2）…… 193
図－147 SJ13134出土銅釧（1/2）…… 195
図－148 SJ13134出土銅釧着装状態復元図（左）、
SJ13112出土銅釧（右）(1/2）…… 197
図－149 甕棺出土石器（2/3）…… 197
図－150 11区・13区甕棺出土玉類１（1/1）… 198
図－151 11区・13区甕棺出土玉類２（1/1）… 200
図－152 11区・13区甕棺出土碧玉製管玉法量分布図‥ 204
図－153 分析用碧玉製管玉法量分布図…… 205
図－154 甕棺内出土管玉石材産地別組成１… 206
図－155 甕棺内出土管玉石材産地別組成２… 207
図－156 甕棺内出土管玉石材産地別組成３… 208
図－157 未定C群管玉出土甕棺 …… 209
図－158 女代南B群管玉出現期甕棺 …… 210
図－159 甕棺墓遺構別管玉点数…… 211
図－160 管玉点数と甕棺基数…… 212
図－161 大型甕A（1/16・1/20）…… 265
図－162 大型甕B、大型甕C（1/20）…… 266
図－163 大型甕D（1/20）…… 267
図－164 大型甕E（1/20）…… 268
図－165 大型甕F（1/20）…… 269
図－166 大型甕G、大型甕H（1/20）…… 270
図－167 中型甕D、E、F、G（1/12）…… 271
図－168 壺A、B、C（1/8・1/12）…… 272
図－169 壺D（1/12）…… 273
図－170 壺F、G、H（1/12）…… 274
図－171 鉢C、D、E、小型甕D、E（1/12）‥ 275
図－172 大型甕A、大型甕B、大型甕Cの

組み合わせ（1/8・1/20）…… 276
図－173 女代南B群碧玉製管玉の法量分析 … 284
図－174 女代南B群碧玉製管玉の分布 …… 286
図－175 円環型銅釧出土遺跡分布図…… 298
図－176 時期別円環型銅釧分布図…… 299
図－177 A群甕棺墓（1/80）…… 309
図－178 B群、C群甕棺墓（1/80）…… 311
図－179 時期別甕棺分布図１（1/500）…… 313
図－180 時期別甕棺分布図２（1/500）…… 315
図－181 時期別甕棺分布図３（1/500）…… 317
図－182 時期別甕棺分布図４（1/500）…… 319
図－183 ヒスイ製玉類使用遺跡分布圏および
結晶片岩様緑色（クロム雲母）
岩玉類使用遺跡分布圏…… 326
図－184 ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Fe
の分布および分布範囲…… 327
図－185 ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対
Sr/Feの分布および分布範囲 …… 327
図－186 ヒスイ原石の元素比値Na/Si対
Mg/Siの分布および分布範囲 …… 327
図－187 中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素
比値Zr/Sr対Sr/Feの分布…… 328
図－188 中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素
比値Ca/Si対Sr/Feの分布 …… 328
図－189 中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素
比値Na/Si対Mg/Siの分布 …… 328
図－190 中原遺跡出土硬玉製勾玉１
（102918）の蛍光X線スペクトル…… 329
図－191 中原遺跡出土硬玉製勾玉２
（102919）の蛍光X線スペクトル…… 329
図－192 中原遺跡出土硬玉製勾玉31
（102920）の蛍光X線スペクトル…… 329
図－193 中原遺跡出土硬玉製勾玉32
（102921）の蛍光X線スペクトル…… 329
図－194 中原遺跡出土硬玉製勾玉91
（102922）の蛍光X線スペクトル…… 329
図－195 花仙山産碧玉原石の蛍光X線スペクトル … 337
図－196 弥生（続縄文）時代の碧玉製、
緑色疑灰岩製玉類の原材使用分布圏
および碧玉・碧玉様岩の原産地…… 338
図－197 中原遺跡出土碧玉製管玉56
（102924）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－198 中原遺跡出土碧玉製管玉57
（102925）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－199 中原遺跡出土碧玉製管玉58
（102926）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－200 中原遺跡出土碧玉製管玉59
（102927）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－201 中原遺跡出土碧玉製管玉60
（102928）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－202 中原遺跡出土碧玉製管玉61
（102929）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－203 中原遺跡出土碧玉製管玉235
（102930）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－204 中原遺跡出土碧玉製管玉236
（102931）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－205 中原遺跡出土碧玉製管玉237
（102932）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－206 中原遺跡出土碧玉製管玉238
（102933）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－207 中原遺跡出土碧玉製管玉239
（102934）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－208 中原遺跡出土碧玉製管玉240
（102935）の蛍光X線スペクトル…… 339
図－209 中原遺跡出土碧玉製管玉241
（102936）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－210 中原遺跡出土碧玉製管玉242
（102937）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－211 中原遺跡出土碧玉製管玉243
（102938）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－212 中原遺跡出土碧玉製管玉244
（102939）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－213 中原遺跡出土碧玉製管玉245
（102940）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－214 中原遺跡出土碧玉製管玉246
（102941）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－215 中原遺跡出土碧玉製管玉365
（102942）の蛍光X線スペクトル…… 340

図－216 中原遺跡出土碧玉製管玉366
（102943）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－217 中原遺跡出土碧玉製管玉367
（102944）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－218 中原遺跡出土碧玉製管玉368
（102945）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－219 中原遺跡出土碧玉製管玉369
（102946）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－220 中原遺跡出土碧玉製管玉370
（102947）の蛍光X線スペクトル…… 340
図－221 中原遺跡出土碧玉製管玉425
（102948）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－222 中原遺跡出土碧玉製管玉426
（102949）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－223 中原遺跡出土碧玉製管玉438
（102950）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－224 中原遺跡出土碧玉製管玉439
（102951）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－225 中原遺跡出土碧玉製管玉440
（102952）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－226 中原遺跡出土碧玉製管玉441
（102953）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－227 中原遺跡出土碧玉製管玉442
（102954）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－228 中原遺跡出土碧玉製管玉443
（102955）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－229 中原遺跡出土碧玉製管玉444
（102956）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－230 中原遺跡出土碧玉製管玉445
（102957）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－231 中原遺跡出土碧玉製管玉446
（102958）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－232 中原遺跡出土碧玉製管玉447
（102959）の蛍光X線スペクトル…… 341
図－233 中原遺跡出土碧玉製管玉448
（102960）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－234 中原遺跡出土碧玉製管玉449
（102961）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－235 中原遺跡出土碧玉製管玉450
（102962）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－236 中原遺跡出土碧玉製管玉451
（102963）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－237 中原遺跡出土碧玉製管玉452
（102964）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－238 中原遺跡出土碧玉製管玉453
（102965）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－239 中原遺跡出土碧玉製管玉454
（102966）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－240 中原遺跡出土碧玉製管玉455
（102967）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－241 中原遺跡出土碧玉製管玉456
（102968）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－242 中原遺跡出土碧玉製管玉466
（102969）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－243 中原遺跡出土碧玉製管玉467
（102970）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－244 中原遺跡出土碧玉製管玉468
（102971）の蛍光X線スペクトル…… 342
図－245 中原遺跡出土碧玉製管玉469
（102972）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－246 中原遺跡出土碧玉製管玉470
（102973）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－247 中原遺跡出土碧玉製管玉471
（102974）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－248 中原遺跡出土碧玉製管玉472
（102975）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－249 中原遺跡出土碧玉製管玉473
（102976）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－250 中原遺跡出土碧玉製管玉474
（102977）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－251 中原遺跡出土碧玉製管玉475
（102978）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－252 中原遺跡出土碧玉製管玉476
（102979）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－253 中原遺跡出土碧玉製管玉477
（102980）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－254 中原遺跡出土碧玉製管玉478
（102981）の蛍光X線スペクトル…… 343

図－255 中原遺跡出土碧玉製管玉479
（102982）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－256 中原遺跡出土碧玉製管玉480
（102983）の蛍光X線スペクトル…… 343
図－257 中原遺跡出土碧玉製管玉481
（102984）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－258 中原遺跡出土碧玉製管玉482
（102985）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－259 中原遺跡出土碧玉製管玉483
（102986）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－260 中原遺跡出土碧玉製管玉484
（102987）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－261 中原遺跡出土碧玉製管玉485
（102988）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－262 中原遺跡出土碧玉製管玉486
（102989）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－263 中原遺跡出土碧玉製管玉487
（102990）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－264 中原遺跡出土碧玉製管玉488
（102991）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－265 中原遺跡出土碧玉製管玉489
（102992）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－266 中原遺跡出土碧玉製管玉490
（102993）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－267 中原遺跡出土碧玉製管玉491
（102994）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－268 中原遺跡出土碧玉製管玉492
（102995）の蛍光X線スペクトル…… 344
図－269 中原遺跡出土碧玉製管玉493
（102996）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－270 中原遺跡出土碧玉製管玉494
（102997）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－271 中原遺跡出土碧玉製管玉514
（102998）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－272 中原遺跡出土碧玉製管玉515
（102999）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－273 中原遺跡出土碧玉製管玉516
（103000）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－274 中原遺跡出土碧玉製管玉517
（103001）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－275 中原遺跡出土碧玉製管玉518
（103002）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－276 中原遺跡出土碧玉製管玉519
（103003）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－277 中原遺跡出土碧玉製管玉520
（103004）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－278 中原遺跡出土碧玉製管玉534
（103005）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－279 中原遺跡出土碧玉製管玉535
（103006）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－280 中原遺跡出土碧玉製管玉536
（103007）の蛍光X線スペクトル…… 345
図－281 中原遺跡出土碧玉製管玉560
（103008）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－282 中原遺跡出土碧玉製管玉561
（103009）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－283 中原遺跡出土碧玉製管玉562
（103010）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－284 中原遺跡出土碧玉製管玉563
（103011）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－285 中原遺跡出土碧玉製管玉564
（103012）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－286 中原遺跡出土碧玉製管玉565
（103013）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－287 中原遺跡出土碧玉製管玉566
（103014）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－288 中原遺跡出土碧玉製管玉567
（103015）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－289 中原遺跡出土碧玉製管玉568
（103016）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－290 中原遺跡出土碧玉製管玉569
（103017）の蛍光X線スペクトル…… 346
図－291 中原遺跡出土碧玉製管玉33
（103984）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－292 中原遺跡出土碧玉製管玉34
（103985）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－293 中原遺跡出土碧玉製管玉35
（103986）の蛍光X線スペクトル…… 347

図－294 中原遺跡出土碧玉製管玉36
（103987）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－295 中原遺跡出土碧玉製管玉37
（103988）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－296 中原遺跡出土碧玉製管玉38
（103989）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－297 中原遺跡出土碧玉製管玉39
（103990）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－298 中原遺跡出土碧玉製管玉40
（103991）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－299 中原遺跡出土碧玉製管玉41
（103992）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－300 中原遺跡出土碧玉製管玉42
（103993）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－301 中原遺跡出土碧玉製管玉43
（103994）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－302 中原遺跡出土碧玉製管玉44
（103995）の蛍光X線スペクトル…… 347
図－303 中原遺跡出土碧玉製管玉45
（103996）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－304 中原遺跡出土碧玉製管玉46
（103997）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－305 中原遺跡出土碧玉製管玉47
（103998）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－306 中原遺跡出土碧玉製管玉48
（103999）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－307 中原遺跡出土碧玉製管玉49
（104000）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－308 中原遺跡出土碧玉製管玉50
（104001）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－309 中原遺跡出土碧玉製管玉51
（104002）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－310 中原遺跡出土碧玉製管玉52
（104003）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－311 中原遺跡出土碧玉製管玉53
（104004）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－312 中原遺跡出土碧玉製管玉54
（104005）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－313 中原遺跡出土碧玉製管玉55
（104006）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－314 中原遺跡出土碧玉製管玉56
（104007）の蛍光X線スペクトル…… 348
図－315 中原遺跡出土碧玉製管玉57
（104008）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－316 中原遺跡出土碧玉製管玉58
（104009）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－317 中原遺跡出土碧玉製管玉59
（104010）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－318 中原遺跡出土碧玉製管玉60
（104011）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－319 中原遺跡出土碧玉製管玉61
（104012）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－320 中原遺跡出土碧玉製管玉62
（104013）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－321 中原遺跡出土碧玉製管玉63
（104014）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－322 中原遺跡出土碧玉製管玉64
（104015）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－323 中原遺跡出土碧玉製管玉65
（104016）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－324 中原遺跡出土碧玉製管玉66
（104017）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－325 中原遺跡出土碧玉製管玉67
（104018）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－326 中原遺跡出土碧玉製管玉68
（104019）の蛍光X線スペクトル…… 349
図－327 中原遺跡出土碧玉製管玉69
（104020）の蛍光X線スペクトル…… 350
図－328 中原遺跡出土碧玉製管玉70
（104021）の蛍光X線スペクトル…… 350
図－329 中原遺跡出土碧玉製管玉71
（104022）の蛍光X線スペクトル…… 350
図－330 碧玉原石のESRスペクトル
（花仙山、玉谷、猿八、土岐）…… 350
図－331 碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル‥ 350
図－332 碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル‥ 350
図－333 碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル‥ 351
図－334 碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル‥ 351

図－335 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 351
図－336 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 351
図－337 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 352
図－338 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 352
図－339 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 352
図－340 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 352
図－341 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 353
図－342 中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）の
ESRスペクトル…… 353
図－343 中原遺跡出土甕棺SJ13112から出土した銅釧
［上］［中］［下］試料：A式図…… 388
図－344 中原遺跡出土甕棺SJ13112から出土した銅釧
［上］［中］［下］試料：B式図…… 388
図－345 中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比：A式図‥ 389
図－346 中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比：B式図‥ 389
図－347 中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比分布の
解析図…… 390
図－348 その他遺跡から出土した銅釧の
鉛同位体比解析図：A式図…… 390
図－349 その他遺跡から出土した銅釧の
鉛同位体比解析図（B式図）…… 391
図－350 中原遺跡、牟田辺遺跡、
石崎小路佐保遺跡の位置関係…… 392

表 目 次

表－1 調査経過表…… 8
表－2 調査担当者一覧表…… 8
表－3 中原遺跡各調査区調査期間・
担当者一覧…… 9
表－4 唐津平野弥生時代青銅器・
鋳型出土遺跡一覧表…… 21
表－5 甕棺墓出土管玉石材産地別一覧表… 202
表－6 時期別副葬品一覧表(1)…… 213
表－7 時期別副葬品一覧表(2)…… 214
表－8 時期別副葬品一覧表(3)…… 215
表－9 11区甕棺墓一覧表…… 216
表－10 13区甕棺墓一覧表(1)…… 217
表－11 13区甕棺墓一覧表(2)…… 218
表－12 13区甕棺墓一覧表(3)…… 219
表－13 13区甕棺墓一覧表(4)…… 220
表－14 13区甕棺墓一覧表(5)…… 221
表－15 13区甕棺墓一覧表(6)…… 222
表－16 11区甕棺一覧表(1)…… 222
表－17 11区甕棺一覧表(2)…… 223
表－18 11区甕棺一覧表(3)…… 224
表－19 13区甕棺一覧表(1)…… 225
表－20 13区甕棺一覧表(2)…… 226
表－21 13区甕棺一覧表(3)…… 227
表－22 13区甕棺一覧表(4)…… 228
表－23 13区甕棺一覧表(5)…… 229
表－24 13区甕棺一覧表(6)…… 230
表－25 13区甕棺一覧表(7)…… 231
表－26 13区甕棺一覧表(8)…… 232
表－27 13区甕棺一覧表(9)…… 233
表－28 13区甕棺一覧表(10)…… 234
表－29 13区甕棺一覧表(11)…… 235
表－30 13区甕棺一覧表(12)…… 236
表－31 13区甕棺一覧表(13)…… 237
表－32 13区甕棺一覧表(14)…… 238
表－33 13区甕棺一覧表(15)…… 239
表－34 13区甕棺一覧表(16)…… 240
表－35 13区甕棺一覧表(17)…… 241
表－36 13区甕棺一覧表(18)…… 242
表－37 13区甕棺一覧表(19)…… 243
表－38 11区・13区甕棺墓出土金属器一覧表 …. 243
表－39 13区出土円環型銅釧一覧表…… 244
表－40 13区甕棺墓出土石器一覧表…… 244

表－41　11区甕棺出土玉類観察表(1)…… 244
表－42　11区甕棺出土玉類観察表(2)…… 245
表－43　11区甕棺出土玉類観察表(3)…… 246
表－44　13区甕棺出土玉類観察表(1)…… 246
表－45　13区甕棺出土玉類観察表(2)…… 247
表－46　13区甕棺出土玉類観察表(3)…… 248
表－47　13区甕棺出土玉類観察表(4)…… 249
表－48　13区甕棺出土玉類観察表(5)…… 250
表－49　13区甕棺出土玉類観察表(6)…… 251
表－50　13区甕棺出土玉類観察表(7)…… 252
表－51　13区甕棺出土玉類観察表(8)…… 253
表－52　13区甕棺出土玉類観察表(9)…… 254
表－53　13区甕棺出土玉類観察表(10)…… 255
表－54　13区甕棺出土玉類観察表(11)…… 256
表－55　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(1)… 256
表－56　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(2)… 257
表－57　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(3)… 258
表－58　唐津地域甕棺編年試案…… 264
表－59　女代南B群碧玉を素材とする主要な
玉作遺跡…… 282
表－60　円環型銅釧一覧表(1)…… 300
表－61　円環型銅釧一覧表(2)…… 301
表－62　中原遺跡・宇木汲田遺跡時期別甕
棺墓数…… 308
表－63　A群、B群、C群甕棺墓一覧表…… 310
表－64　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)‥ 330
表－65　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)‥ 330
表－66　中原遺跡出土勾玉の非破壊分析
化合物元素濃度…… 330
表－67　中原遺跡出土勾玉の元素比の値の結果
…… 331
表－68　中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の
原材産地分析結果…… 331
表－69　各碧玉の原産地における原石群の
元素比の平均値と標準偏差値…… 354
表－70　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(1)…… 355
表－71　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(2)…… 356
表－72　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(3)…… 357
表－73　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(4)…… 358
表－74　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(5)…… 359
表－75　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(6)…… 360
表－76　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の
元素比の平均値と標準偏差値(7)…… 361
表－77　中原遺跡出土碧玉製管玉の
分析結果(1)…… 362
表－78　中原遺跡出土碧玉製管玉の
分析結果(2)…… 364
表－79　中原遺跡出土碧玉製管玉の
産地分析結果(1)…… 365
表－80　中原遺跡出土碧玉製管玉の
産地分析結果(2)…… 366
表－81　佐賀県中原遺跡から出土した
銅釧全資料の鉛同位体比値…… 374
表－82　佐賀県牟田辺遺跡および福岡県石崎小路
から出土した銅釧の鉛同位体比…… 375
表－83　中原遺跡11区、13区出土人骨資料(1)
(所属時代：弥生中期)…… 394
表－84　中原遺跡11区、13区出土人骨資料(2)
(所属時代：弥生中期)…… 395
表－85　中原遺跡11区、13区出土人骨資料数 …‥ 395
表－86　頭蓋計測値比較（男性、㎜）…… 397
表－87　頭蓋形態小変異の出現頻度比較
(側単位)…… 398
表－88　上腕骨計測値（男性、左、㎜）…… 398
表－89　大腿骨計測値（男性、左、㎜）…… 399
表－90　大腿骨計測値（女性、左、㎜）…… 399
表－91　脛骨計測値（男性、左、㎜）…… 400
表－92　脛骨計測値（女性、左、㎜）…… 400

巻頭図版目次

1，宇木川・半田川流域空中写真
2，11区全景
3，11区～13区全景空中写真
　11区・13区調査区南側空中写真
4，円環型銅釧出土状況１
　円環型銅釧出土状況２
5，SJ11247銅矛出土状況
6，口縁部打ち欠きの壺形土器群
　人骨出土状況（座位屈葬）
7，袋状口縁壺
8，SJ11247出土銅矛
9，SJ13011出土鉄矛出土状況
　甕棺墓出土鉄製品
10，SJ13134出土円環型銅釧・碧玉製管玉
11，石製玉類集合写真
12，石製玉類
　SJ13069出土ガラス小玉

図版目次

PL.1　１．遺跡全景（西上空から）…… 417
　２．11区・13区全景（真上から）…. 417
PL.2　１．11区全景（真上から）…… 418
　２．13区全景（真上から）…… 418
PL.3　11区甕棺墓壙と祭祀土器群（西から）… 419
PL.4　１．11区甕棺墓群（西から）…… 420
　２．13区（W-44区画）甕棺墓群
　（南から）…… 420
PL.5　１．13区（V・W-46区画）甕棺墓群
　（東から）…… 421
　２．13区（V・W-46区画）甕棺墓群
　（南から）…… 421
PL.6　甕棺墓出土状況１（SJ11045（手前）、
　11104（奥）・11083・11090・11208・
　11213・11223・11224・11226）…… 422
PL.7　甕棺墓出土状況２（SJ11225・11227・
　11237・11237・11237・11239・11240・
　11241）…… 423
PL.8　甕棺墓出土状況３（SJ11242・11247・
　11247・11247・11249・11249・11259・
　11265）…… 424
PL.9　甕棺墓出土状況４（SJ11265・11269・
　11270・11271・11272・11274・11274・
　11275）…… 425
PL.10　甕棺墓出土状況５（SJ11277・11280・
　11281・11281・11286・11287・11288・
　11289）…… 426
PL.11　甕棺墓出土状況６（SJ11290・11294・
　11295・11296・13001・13001人骨検出状
　況・13003・13004）…… 427
PL.12　甕棺墓出土状況７（SJ13005・13006・
　13007・13007管玉検出状況・13009・
　13009鉄製錐検出状況・13011・13011）
　…… 428
PL.13　甕棺墓出土状況８（SJ13012・13013・
　13014・13014・13015・13046・13048・
　13049）…… 429
PL.14　甕棺墓出土状況９（SJ13050・13052・
　13059・13059・13060・13060人骨検出状
　況・13061・13062）…… 430
PL.15　甕棺墓出土状況10（SJ13065、13066・
　13067・13068・13068人骨検出状況・
　13070・13071・13071・13072）…… 431
PL.16　甕棺墓出土状況11（SJ13073人骨検出状況・
　13074・13075・13077・13078・13079・
　13080・13081）…… 432
PL.17　甕棺墓出土状況12（SJ13082・13082
　玉製品検出状況･13083玉製品検出状況・
　13084・13085・13088・13089・13090）
　…… 433

PL.18　甕棺墓出土状況13（SJ13091・13092・13092管玉検出状況・13093・13094・13095・13096・13096）…… 434
PL.19　甕棺墓出土状況14（SJ13097・13098・13099・13101・13102・13103・13104・13106）…… 435
PL.20　甕棺墓出土状況15（SJ13108・13109・13109人骨検出状況・13111・13111・13112・13114・13116）…… 436
PL.21　甕棺墓出土状況16（SJ13110、13118・13119・13122・13123・13124・13125・13126・13127）…… 437
PL.22　甕棺墓出土状況17（SJ13129・13131・13132・13133・13134・13135・13138・13138玉製品検出状況）…… 438
PL.23　甕棺墓出土状況18（SJ13139・13141・13142・13143・13144・13145・13146・13146）…… 439
PL.24　甕棺墓出土状況19（SJ13147・13148・13148・13149・13149・13150・13151・13152）…… 440
PL.25　甕棺墓出土状況20（SJ13152・13153・13153・13161、13162・13164・13165・13166・13167）…… 441
PL.26　甕棺墓出土状況21（SJ13182・13190・13195・13198・13199・13200・13201・13202）…… 442
PL.27　甕棺墓出土状況22（SJ13202・13204・13205、13206・13206勾玉検出状況・13207・13210・13210・13213）…… 443
PL.28　甕棺墓出土状況23（SJ13213人骨検出状況・13213人骨検出状況・13213人骨検出状況・13214・13215・13225・13228・13229）…… 444
PL.29　甕棺墓出土状況24（SJ13232・13232獣形勾玉検出状況・13233・13235・13236・13238・13238人骨検出状況・13242）…… 445
PL.30　甕棺墓出土状況25（SJ13242・13247・13249・13250・13253・13253・13254、13255・13256、13257）…… 446
PL.31　甕棺墓出土状況26（SJ13259・13259剣先検出状況・13260・13261・13262・13263・13263人骨検出状況・13264）… 447
PL.32　甕棺墓出土状況27（SJ13266・13266人骨検出状況・13267・13268・13268人骨検出状況・13269・13270・13272）…… 448
PL.33　甕棺墓出土状況28（SJ13273・13273人骨検出状況・13274・13275・13276・13277・13278・13278人骨検出状況）… 449
PL.34　甕棺墓出土状況29（SJ13279・13280・13281・13280、13281、13282・13282・13283・13283・13284）…… 450
PL.35　甕棺墓出土状況30（SJ13286・13289・13290・13291・13292・13293・13294・13294勾玉検出状況）…… 451
PL.36　甕棺墓出土状況31（SJ13295・13295人骨出土状況・13296・13297・13297石剣検出状況・13298・13299・13300）… 452
PL.37　甕棺墓出土状況32（SJ13301・13302・13303・13304・13305・13306・13309・13309）…… 453
PL.38　甕棺墓出土状況33（SJ13310・13311・13312・13315・13316、13317・13317勾玉検出状況・13319・13320）…… 454
PL.39　甕棺墓出土状況34（SJ13321・13323・13324・13325・13329・13330・13335・13336）…… 455
PL.40　甕棺墓出土状況35（SJ13337・13338・13340・13341・13343・13344・13347・13348）…… 456
PL.41　甕棺墓出土状況36（SJ13348人骨検出状況・13354・13354人骨検出状況・13355・13356・13357・13361・13365）…… 457
PL.42　甕棺墓出土状況37（SJ13370・13379・13381・13382・13383・13384・13386・13388）…… 458
PL.43　甕棺墓出土状況38（SJ13388・13388

検出状況・13390・13391・13392・13393・13394・13395）…… 459
PL.44　甕棺墓出土状況39（SJ13396・13397・13406・13413・13417・13421・13422）…… 460
PL.45　甕棺１（SJ11045･11083上甕･11083下甕・11090・11104・11213・11221・11222・11223）…… 461
PL.46　甕棺２（SJ11224・11225・11226・11227・11235上甕・11235下甕・11237上甕・11237下甕・11239上甕）…… 462
PL.47　甕棺３（SJ11239下甕・11240上甕・11240下甕・11241上甕・11241下甕・11242・11247上甕・11247下甕・11249上甕）…. 463
PL.48　甕棺４（SJ11249下甕・11259・11265上甕・11265上甕・11265下甕・11269上甕・11269下甕・11270・11271）…… 464
PL.49　甕棺５（SJ11274上甕・11274下甕・11275上甕・11275下甕・11277・11280上甕・11280下甕・11281上甕・11281下甕）…. 465
PL.50　甕棺６（SJ11286上甕・11286下甕・11287・11288上甕・11288下甕・11289上甕・11289下甕・11290上甕・11290下甕）…. 466
PL.51　甕棺７（SJ11294・13001上甕・13001下甕・13003上甕・13003下甕・13004・13005上甕・13005下甕・13006上甕）…… 467
PL.52　甕棺８（SJ13006下甕・13007・13009上甕・13009下甕・13011上甕・13011下甕・13012上甕・13012下甕・13013上甕）.. 468
PL.53　甕棺９（SJ13013下甕・13014上甕・13014下甕・13015上甕・13015下甕・13046・13048・13049・13050）…… 469
PL.54　甕棺10（SJ13052・13059・13060・13061・13062・13065上甕・13065下甕・13066上甕・13067）…… 470
PL.55　甕棺11（SJ13068上甕・13069・13070・13071・13072・13073・13074・13075・13078）…… 471
PL.56　甕棺12（SJ13079・13080・13081上甕・13081下甕・13082・13083上甕・13083下甕・13084上甕・13084下甕）…… 472
PL.57　甕棺13（SJ13085上甕・13085下甕・13088上甕・13088下甕・13089上甕・13089下甕・13091上甕・13091下甕・13092上甕）…. 473
PL.58　甕棺14（SJ13092下甕・13093・13095・13096・13097上甕・13097下甕・13098・13099・13101）…… 474
PL.59　甕棺15（SJ13103・13104・13106・13107・13108上甕・13108下甕・13110・13111上甕・13111下甕）…… 475
PL.60　甕棺16（SJ13112・13114・13116上甕・13116下甕・13118・13119・13122・13123上甕・13123下甕）…… 476
PL.61　甕棺17（SJ13124・13125上甕・13125下甕・13125下甕・13126・13127上甕・13127上甕・13127下甕・13128上甕）…… 477
PL.62　甕棺18（SJ13128下甕・13129上甕・13129下甕・13130上甕・13130下甕・13131上甕・13131下甕・13132・13133）…… 478
PL.63　甕棺19（SJ13134上甕・13134下甕・13135・13138上甕・13138下甕・13139上甕・13139下甕・13141上甕・13141下甕）.. 479
PL.64　甕棺20（SJ13142・13144・13145・13146上甕・13146下甕・13147・13148上甕・13148下甕・13149）…… 480
PL.65　甕棺21（SJ13150上甕・13150下甕・13151上甕・13151下甕・13152・13153上甕・13153下甕・13161・13162下甕）…… 481
PL.66　甕棺22（SJ13164・13165・13166上甕・13166下甕・13167上甕・13167下甕・13182上甕・13182下甕・13186上甕）…. 482
PL.67　甕棺23（SJ13186下甕・13190上甕・13190下甕・13190下甕・13195上甕・13195下甕・13198・13199上甕・13199下甕）…… 483
PL.68　甕棺24（SJ13200上甕・13200下甕・13201上甕・13201下甕・13202上甕・13202下甕・13204上甕・13204下甕・13205）…… 484
PL.69　甕棺25（SJ13206上甕・13206下甕・13207

上甕・13207下甕・13209上甕・13209下甕・
13210上甕・13210下甕・13213上甕）…… 485
PL.70　甕棺26（SJ13213下甕・13214上甕・13214
下甕・13215上甕・13215下甕・13220上甕・
13220下甕・13225上甕・13225下甕）…… 486
PL.71　甕棺27（SJ13228上甕・13228下甕・13229
上甕・13229下甕・13232・13233上甕・
13233下甕・13235上甕・13235下甕）…… 487
PL.72　甕棺28（SJ13236上甕・13236下甕・13238
上甕・13239・13241上甕・13241下甕・
13242上甕・13242下甕・13247上甕）…… 488
PL.73　甕棺29（SJ13247下甕・13248上甕・13248
下甕・13249上甕・13249下甕・13250・
13253上甕・13253下甕・13254上甕）…… 489
PL.74　甕棺30（SJ13254下甕・13255・13256上甕・
13256下甕・13257上甕・13257下甕・
13259上甕・13259下甕・13260上甕）…… 490
PL.75　甕棺31（SJ13260下甕・13261・13262上甕・
13262下甕・13263上甕・13263下甕・
13264・13266上甕・13266下甕）…… 491
PL.76　甕棺32（SJ13267上甕・13267下甕・13268
上甕・13268下甕・13269上甕・13269下甕・
13270上甕・13270下甕・13271）…… 492
PL.77　甕棺33（SJ13272上甕・13272下甕・13273
上甕・13273下甕・13274・13275上甕・
13275下甕・13276・13277）…… 493
PL.78　甕棺34（SJ13278上甕・13278下甕・13279
上甕・13279下甕・13280上甕・13280下甕・
13281上甕・13281下甕・13282）…… 494
PL.79　甕棺35（SJ13283上甕・13283下甕・13284・
13286・13287・13288・13289上甕・13289
下甕・13290上甕）…… 495
PL.80　甕棺36（SJ13290下甕・13291上甕・13291
下甕・13292上甕・13292下甕・13293上甕・
13293下甕・13294上甕・13294下甕）…… 496
PL.81　甕棺37（SJ13295上甕・13295下甕・13296
上甕・13296下甕・13298上甕・13298下甕・
13299・13300・13301上甕）…… 497
PL.82　甕棺38（SJ13301下甕・13302上甕・13302
下甕・13303上甕・13303下甕・13304・
13305上甕・13305下甕・13306）…… 498
PL.83　甕棺39（SJ13309上甕・13309下甕・13310
上甕・13310下甕・13311・13312上甕・
13312下甕・13313上甕・13313下甕）…… 499
PL.84　甕棺40（SJ13315上甕・13315下甕・13316・
13317・13319上甕・13319下甕・13320・
13321上甕・13321下甕）…… 500
PL.85　甕棺41（SJ13323上甕・13323下甕・13324
上甕・13324下甕・13325・13329上甕・
13329下甕・13330上甕・13330下甕）…… 501
PL.86　甕棺42（SJ13335上甕・13335下甕・13336
上甕・13336下甕・13337・13338・13341・
13340・13344下甕）…… 502
PL.87　甕棺43（SJ13347上甕・13347下甕・13348
上甕・13348下甕・13354上甕・13354下甕・
13355・13356上甕・13356下甕）…… 503
PL.88　甕棺44（SJ13357上甕・13357下甕・13361
上甕・13361下甕・13365上甕・13365下甕・
13370上甕・13370下甕・13379上甕）…… 504
PL.89　甕棺45（SJ13379下甕・13381上甕・13381
下甕・13382・13383・13384上甕・13384
下甕・13386上甕・13386下甕）…… 505
PL.90　甕棺46（SJ13388上甕・13388下甕・13389・
13390上甕・13390下甕・13391上甕・
13391下甕・13392・13393上甕）…… 506
PL.91　甕棺47（SJ13393下甕・13394上甕・13394
下甕・13395上甕・13395下甕・13396上甕・
13396下甕・13397上甕・13397下甕）…… 507
PL.92　甕棺48（SJ13400上甕・13400下甕・13413
上甕・13413下甕・13417・13421上甕・
13421下甕・13422）…… 508
PL.93　SJ13299絵画甕棺
甕棺副葬金属製品…… 509
PL.94　SJ13134、SJ13112出土円環型銅釧… 510
PL.95　玉類…… 511

Ⅰ．調査の経過

１，調査に至る経過

西九州自動車道は福岡県福岡市から前原市、佐賀県唐津市、伊万里市、長崎県松浦市、佐世保市を経由して佐賀県武雄市に至り九州横断自動車長崎大分線と合流する総延長約150㎞の路線であり、国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の事業である。本埋蔵文化財発掘調査事業はこのうちの唐津道路区間の中の浜玉インターチェンジと唐津インターチェンジ区間6.6㎞を対象としている。

佐賀県教育委員会文化課（平成21年度から社会教育・文化財課）は佐賀国道事務所から道路建設事業の照会を受け、平成６年度から路線予定地の踏査および確認調査を実施した。文化財調査体制は開発事業が広域かつ大規模であることから調査主体は佐賀県教育委員会文化課とし、調査対象地の当該教育委員会からの職員派遣をうけた。これまでの本調査は唐津市堂の前遺跡・井ゲタ遺跡・末広遺跡・梅白遺跡・中原遺跡、唐津市浜玉町赤野遺跡・岩根遺跡・袈裟丸城跡・目貫古墳群・大江前遺跡・仁田古墳群・矢作遺跡・下新田古墳群・大坂古墳群がある。

このうち、刊行した発掘調査報告書は2000年３月に『堂の前・井ゲタ遺跡』、2003年３月に『梅白遺跡』、2006年３月に唐津市浜玉町『大江前遺跡・目貫古墳群・赤野遺跡・袈裟丸城跡・岩根遺跡』2007年３月に『中原遺跡Ⅰ』、2008年３月に『中原遺跡Ⅱ』、2009年３月に『中原遺跡Ⅲ』などがある。

中原遺跡の調査は本調査事業以前に２回の発掘調査が実施されている。この２回の発掘調査地点は本事業調査区11区～13区で確認できた。第一次調査は1965年11月11日～11月21日の第一次日仏合同調査として行われた。弥生前期～中期後半の甕棺墓６基を調査している。特に７号甕棺墓の副葬品として鉄戈１、小玉１、管玉９が、棺外から鉄矛１が出土し注目される。また、このとき検出した石組遺構は本事業で確認したST11158前方後円墳の葺石であることが判った。

第二次調査は1986年４月～７月にかけて分譲住宅地造成に伴い唐津市教育委員会が実施した。調査の結果、弥生時代中期の甕棺墓３基と古墳時代初頭の周溝墓４基と古墳時代中期の古墳周溝を確認した。本事業発掘調査は中原遺跡としては第３次調査になるが本事業の調査区の中に第一次、第二次調査の調査区すべてが含まれる。

本調査に至る確認調査は平成９年１月～３月にかけて実施した。確認調査担当は佐賀県文化課立石泰久（企画調整主査）・家田淳一（主査）・中尾賢治（調査補助員）である。確認調査対象地は路線内の宇木川以西から県道浜玉・相知線付近までである。佐賀国道事務所路線測点番号ではNo.480～No.540までである。３ｍ×40ｍを基本とする試掘坑を57本設定し重機による掘削を行った。この確認調査により梅白遺跡および中原遺跡の広がりを確認した。特に36トレンチから弥生時代終末の土器群が多量に出土したがこれは２区のSX246にあたる。前述の第一次・第二次調査により中原遺跡は埋蔵文化財包蔵地として周知化されていたが、中原遺跡周辺は路線のインターチェンジ部分に相当しその開発面積も80000㎡を超える広大なものであった。平成９年度の確認調査により中原遺跡の範囲が拡大することが判り、小字原、西丸田も含めて遺跡の範囲を拡大した。但し、第一次・第二次調査地点は住宅地であり住宅移転も進んでおらず確認調査をすることはできなかったが遺跡があることは判っていたので本調査対象地とした。また、この段階では古代の遺構・遺物が出土することはほとんど想定していなかった。このような経過を得て中原遺跡の調査対象面積を約90000㎡とし平成11年から本調査に着手した。

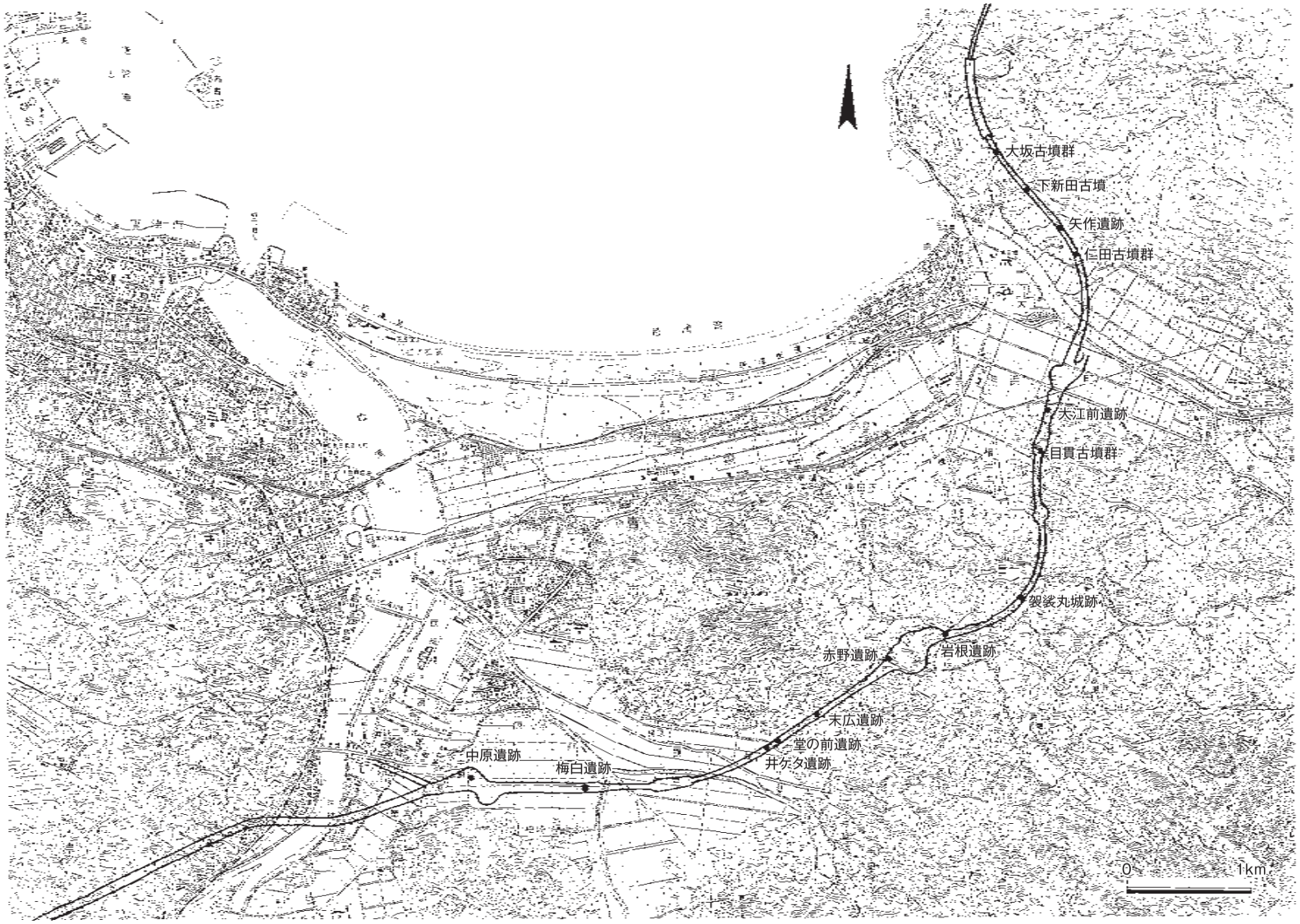


図１　路線図（1/50000）

2，調査組織

調査主体　佐賀県教育委員会
調査協力　唐津市教育委員会

発掘調査（平成13年４月～18年３月）

平成13年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	松尾　正廣
	佐賀県教育委員会	文化課長	佛坂　勝男
	佐賀県教育委員会	文化課参事	堤　　博文
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	天本　洋一
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	山口　康郎
調査総括	佐賀県教育委員会	文化課企画調整主査	立石　泰久
調査員	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	小松　　譲
	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	井上　倫生
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	辻村美代子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	松浦　　智
	唐津市教育委員会	文化課主査	内田　孔明
庶務会計	佐賀県教育委員会	文化課専門員	天本　茂春
	佐賀県教育委員会	文化課主査	相川ミエ子
	佐賀県教育委員会	文化課主査	島田　一幸
	佐賀県教育委員会	文化課主事	陶山　　優

平成14年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	松尾　正廣
	佐賀県教育委員会	文化課長	佛坂　勝男
	佐賀県教育委員会	文化課参事	中園　一次
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	天本　洋一
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	山口　康郎
調査総括	佐賀県教育委員会	文化課企画調整主査	立石　泰久
調査員	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	小松　　譲
	佐賀県教育委員会	文化課主査	川副麻理子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	松浦　　智
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	松瀬　京子
	唐津市教育委員会	文化課主査	内田　孔明
庶務会計	佐賀県教育委員会	文化課専門員	天本　茂春
	佐賀県教育委員会	文化課主査	野口佐智子
	佐賀県教育委員会	文化課主査	島田　一幸
	佐賀県教育委員会	文化課主事	陶山　　優

平成15年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	松尾　正廣
	佐賀県教育委員会	文化課長	香月　博子
	佐賀県教育委員会	文化課参事	中園　一次
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	天本　洋一
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	川久保弘二郎
調査総括	佐賀県教育委員会	文化課企画調整主査	立石　泰久
調査員	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	小松　　譲
	佐賀県教育委員会	文化課主査	川副麻理子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	松瀬　京子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	谷　洋一郎
	唐津市教育委員会	文化課主査	内田　孔明
庶務会計	佐賀県教育委員会	文化課専門員	天本　茂春
	佐賀県教育委員会	文化課主査	野口佐智子
	佐賀県教育委員会	文化課主査	島田　一幸
	佐賀県教育委員会	文化課主事	坂口　豪史

平成16年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	吉野　健二
	佐賀県教育委員会	文化課長	初村　健二
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	天本　洋一
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	福山　正廣
調査総括	佐賀県教育委員会	文化課係長	立石　泰久
調査員	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	小松　　譲
	佐賀県教育委員会	文化課主査	川副麻理子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	谷　洋一郎
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	大島　健司
	唐津市教育委員会	文化課主査	内田　孔明
庶務会計	佐賀県教育委員会	文化課係長	中原　吉朗
	佐賀県教育委員会	文化課主査	野口佐智子
	佐賀県教育委員会	文化課主査	島田　一幸
	佐賀県教育委員会	文化課主事	坂口　豪史

平成17年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	吉野　健二
	佐賀県教育委員会	文化課長	初村　健二
	佐賀県教育委員会	文化課参事	東中川忠美
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	松本　誠一
	佐賀県教育委員会	文化課副課長	中村　　信

調査総括	佐賀県教育委員会	文化課主幹	西田　和己
調査員	佐賀県教育委員会	文化課指導主事	小松　　譲
	佐賀県教育委員会	文化課主査	川副麻理子
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	谷　洋一郎
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	大島　健司
	佐賀県教育委員会	文化課嘱託	田中健一郎
	唐津市教育委員会	文化課事務吏員	美浦　雄二
庶務会計	佐賀県教育委員会	文化課係長	中原　吉朗
	佐賀県教育委員会	文化課主査	平尾　和子
	佐賀県教育委員会	文化課主査	黒木　文好
	佐賀県教育委員会	文化課主事	山口　徹也

発掘作業員　平成13年度～平成17年度

〔H13年度〕

青木淳一、阿賀野千鶴、安藤剛、磯口裕子、市丸和子、市丸クミエ、伊藤末司、伊藤正子、井上義秋、岩田桂子、岩田泰浩、岩村　正、内山智子、浦津正美、大木壽明、緒方義春、小栗三行、小副川初美、小野尾千代香、片峰秋子、片峰節子、加茂春江、小石加奈子、古賀和江、佐伯　明、佐伯ヨシ子、坂本ヱキヨ、坂本直久、重カズヨ、田中フサ子、谷口やす子、堤怜子、手島茂一、戸野川一二、長嶋サツエ、中島康子、中村静江、鍋島フミ子、野口洋一、野崎徳蔵、長谷川三男、馬場重治、藤瀬哲代、古川善彦、増井博、松下一枝、豆田紀久子、三塩タチ子、森智恵子、吉岡俊雄、吉村百合子、米倉幸一郎、脇山忠義、脇山ツタ子、脇山典子、脇山春雄、脇山マスエ、脇山美佐子、渡辺フサエ

〔H14年度〕

阿賀野千鶴、安藤　剛、市丸和子、市丸クミエ、伊藤末司、伊藤正子、井上義秋、岩田桂子、岩村　正、浦津正美、緒方義春、小栗三行、小副川初美、小野尾千代香、片峰秋子、小石加奈子、古賀和江、佐伯　明、佐伯ヨシ子、坂本ヱキヨ、坂本直久、重カズヨ、田中フサ子、谷口やす子、堤　怜子、手島茂一、戸野川一二、中村静江、鍋島フミ子、野口洋一、野崎徳蔵、長谷川三男、馬場重治、藤瀬哲代、古川善彦、増井　博、松下一枝、豆田紀久子、三塩タチ子、森智恵子、吉岡俊雄、吉村百合子、米倉幸一郎、脇山忠義、脇山ツタ子、脇山典子、脇山春雄、脇山マスエ、脇山美佐子

〔H15年度〕

阿賀野千鶴、安藤　剛、市丸和子、市丸クミエ、伊藤末司、伊藤正子、井上義秋、岩田桂子、内山清信、浦津正美、緒方義春、小副川初美、片峰秋子、小石加奈子、古賀和江、佐伯　明、佐伯ヨシ子、坂本ヱキヨ、坂本直久、重カズヨ、田中フサ子、谷口やす子、手島茂一、戸野川一二、中村静江、鍋島フミ子、野口洋一、野崎徳蔵、馬場重治、原　直嗣、藤瀬哲代、古川善彦、増井　博、松下一枝、豆田紀久子、三塩タチ子、森智恵子、吉岡俊雄、吉村百合子、米倉幸一郎、脇山忠義、脇山ツタ子、脇山典子、脇山春雄、脇山マスエ

〔H16年度〕

阿賀野千鶴、市丸和子、市丸クミエ、伊藤末司、伊藤正子、井上義秋、岩田桂子、内山清信、浦津正美、緒方義春、小副川初美、片峰秋子、小石加奈子、佐伯　明、佐伯ヨシ子、坂本ヱキヨ、

坂本直久、重カズヨ、谷口やす子、手島茂一、戸野川一二、中村静江、鍋島フミ子、野口洋一、
野崎徳蔵、馬場重治、藤瀬哲代、古川善彦、増井　博、松下一枝、豆田紀久子、三塩タチ子、
森智恵子、吉岡俊雄、吉村百合子、米倉幸一郎、脇山忠義、脇山ツタ子、脇山典子、脇山春雄、
脇山マスエ

〔H17年度〕

阿賀野千鶴、石本雅生、市丸クミエ、伊藤末司、伊藤正子、岩田桂子、上野政喜、浦津正美、
大谷節子、緒方義春、小副川初美、片峰秋子、川﨑はつえ、川﨑美登香、小石加奈子、佐伯　明、
坂本直久、重カズヨ、進藤英司、谷口やす子、中山博司、野口洋一、野崎徳蔵、橋本静夫、馬場重治、
藤瀬哲代、増井　博、松下一枝、豆田紀久子、三塩タチ子、森智恵子、吉岡俊雄、吉村百合子、
米倉幸一郎、脇山忠義、脇山典子

室内整理作業　平成13年度～平成20年度

報告書作成　平成21年度

総括	佐賀県教育委員会	教育長	川﨑　俊広
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課長	江島　秋人
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課参事	七田　忠昭
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課副課長	蒲原　宏行
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課副課長	寺島　克敏
調査総括	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課係長	小松　　譲
調査員	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課主査	梶山　裕史
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課主査	井上　倫生
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課主査	市川　浩文
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課嘱託	戸塚　洋輔（～９月まで）
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課嘱託	藤原　理恵
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課嘱託	土屋　了介
	唐津市教育委員会	文化課職員	美浦　雄二（～９月まで）
庶務会計	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課主査（吉野ヶ里遺跡担当）	上村亜紀子
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課主査（地域・家庭教育担当）	古川　直樹
	佐賀県教育委員会	社会教育・文化財課副主査（文化財指導・世界遺産推進担当）	吉田　顕徳

調査補助員・整理作業員　平成13年度～平成21年度

〔H13年度〕

唐津中原事務所

調査補助員：美浦あずさ

整理作業員：池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、辻美紀子、馬場　薫、
松本いつ子、三浦美智子、渡部直美

佐賀県文化財調査研究資料室

整理作業員：奥知恵子、村里育子

〔H14年度〕
唐津中原事務所
整理作業員：青木淳一、池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、辻美紀子、
徳田まり子、中島美佳、馬場　薫、松本いつ子、美浦あずさ、三浦美智子、脇山邦子、
渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室
整理作業員：奥知恵子、村里育子
〔H15年度〕
唐津中原事務所
整理作業員：池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、辻美紀子、徳田まり子、
中島美佳、馬場　薫、松本いつ子、美浦あずさ、脇山邦子、渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室
調査補助員：百崎正子
整理作業員：奥知恵子、村里育子
〔H16年度〕
唐津中原事務所
整理作業員：池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、辻美紀子、徳田まり子、
中島美佳、松本いつ子、美浦あずさ、脇山邦子、渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室
調査補助員：百崎正子
整理作業員：江副明子、奥知恵子、村里育子
〔H17年度〕
唐津中原事務所
整理作業員：池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、坂本直久、辻美紀子、
徳田まり子、中島美佳、松本いつ子、美浦あずさ、脇山邦子、渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室
整理作業員：江副明子、奥知恵子、村里育子
〔H18年度〕
唐津中原事務所
整理作業員：池内理恵、市丸宮子、浦田照千代、菊池孝子、桑代ゆかり、坂本直久、徳田まり子、
中島美佳、松本いつ子、美浦あずさ、脇山邦子、渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室
整理作業員：江副明子、奥知恵子、村里育子
〔H19年度〕
唐津中原事務所
調査補助員：美浦あずさ
整理作業員：市丸宮子、浦田照千代、大薗聖子、川原里美、菊池孝子、桑代ゆかり、坂本直久、
徳田まり子、中島美佳、松本いつ子、脇山邦子、渡部直美
佐賀県文化財調査研究資料室

整理作業員：江島美恵子、桑原廣子、上瀧光子、山口美佐子

〔H20年度〕

唐津中原事務所

調査補助員：美浦あずさ

整理作業員：市丸宮子、大薗聖子、川原里美、菊池孝子、桑代ゆかり、古藤真理子、徳田まり子、松本綾子、松本いつ子、脇山邦子

佐賀県文化財調査研究資料室

整理作業員：一番ヶ瀬富士子、江島美恵子、桑原廣子、山口美佐子

〔H21年度〕

唐津中原事務所

調査補助員：美浦あずさ

整理作業員：大薗聖子、菊池孝子、桑代ゆかり、古藤真理子、徳田まり子、松本綾子、松本いつ子、脇山邦子

佐賀県文化財調査研究資料室

整理作業員：一番ヶ瀬富士子、江島美恵子、桑原廣子（五十音順）

表１　調査経過表

年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
A班	井上・松浦	小松・松瀬	内田・松瀬	内田・大嶋	川副・田中
B班	内田・松瀬	川副・松浦	川副・谷	川副・谷	谷
11区					
10区					
14-1区					
9-2区					
12区					
13区					
14-2区					
9-3区					
14-3区					

表２　調査担当者一覧表

年度		佐賀県(職員)	(嘱託)	唐津市職員	調査補助員	資料室(嘱託)
平成13	2001	立石・小松・井上	辻村・松浦	内田	松瀬	吉田
平成14	2002	立石・小松・川副	松浦・松瀬	内田		百崎
平成15	2003	立石・小松・川副	松瀬・谷	内田		大嶋
平成16	2004	立石・小松・川副	大嶋・谷	内田		松瀬
平成17	2005	西田・小松・川副	大嶋・谷・田中（9月まで）	美浦（10月から）		児玉
平成18	2006	西田・小松・川副	丹羽・児玉	美浦		小森
平成19	2007	西田・小松・川副	戸塚・藤原・田中（10月から）	美浦	美浦ぁ	小森
平成20	2008	小松・梶山・井上・市川	戸塚・田中・藤原	美浦	美浦ぁ	小森
平成21	2009	小松・梶山・井上・市川	戸塚（9月まで）・藤原・土屋	美浦（９月まで）	美浦ぁ	—

表３　中原遺跡各調査区調査期間・担当者一覧

調査区	調　査　期　間	主　な　担　当　者
9-2区	H14. 4. 10～H14. 11. 27	小松・松瀬
9-3区	H16. 12. 7～H17. 3. 2	内田・大嶋
10区	H13. 9. 27～H13. 12. 7	井上・松浦
11区	H13. 5. 28～H15. 12. 16	内田・井上・松浦・松瀬・川副・谷
12区	H14. 10. 7～H16. 10. 28	小松・松瀬・内田・大嶋
13区	H14. 12. 10～H17. 9. 27	川副・谷・小松
14-1区	H14. 3. 8～H15. 3. 15	川副・松浦
14-2区	H15. 10. 20～H16. 3. 19	内田・松瀬
14-3区	H17. 4. 22～H17. 7. 1	川副・田中

３，調査の方法と経過

⑴　調査の方法

中原遺跡の略号はNAKとし調査区の呼称は算用数字を用い１区であれば「NAK-1」とし、図面や写真、遺物の注記など記録類の表示に用いた。調査区内を道路などにより１区から14区の調査区に分け、さらに調査年度や調査工程上、細分し14-1区、14-2区などのように表示した。11区、12区、13区の現況は水田、畑、宅地であり、それら区画によりそれぞれの調査区を設定した。

調査区画は国土座標にあわせX＝46260、Y＝-92700の交点を原点とする10m×10mの方眼区画を設定した。南北方向をアルファベットとし北から南にA～G、東西方向を算用数字とし東から西に１～59とし、グリッド（区画）名をアルファベット－算用数字で表記した。各グリッドの北東杭をグリッド杭とし、杭にグリッド名を表示した。

遺構番号は３桁の一連の番号とし、百の位は調査区を示すことにした。この遺構番号の頭に遺構の種別を示すアルファベット２文字の分類記号を付けて表示した。柱穴は調査区ごとの４桁の一連番号とし千の位は調査区を示すことにした。

遺構の写真は白黒、カラーリバーサルとも４×５、ブローニー、35㎜を使用し、カラーネガは35㎜のみに使用した。また、必要に応じ気球や高所作業車（ハイライダー）による写真撮影を実施した。

調査にあたっては基本土層を設定し、表土は重機により掘削し、包含層は人力掘削を原則とした。ただし、出土遺物が少ない包含層は重機掘削を行った。

⑵　調査の経過

中原遺跡の調査は平成11年７月５日の１区の重機による表土掘削から始まった。終了は平成17年９月であり、調査期間は約６年間である。平成11年度～平成12年度はおもに１区から７区の古代の遺構と遺物の調査であり、『中原遺跡Ⅰ』、『中原遺跡Ⅱ』、『中原遺跡Ⅲ』で報告した。

本報告書に掲載する調査区は11区、12区、13区であり、その調査期間は平成13年５月から平成17年９月である。調査は主に２班体制で行い、この調査期間中に９区、10区、14区の調査も併行したために９区～14区の調査経過を記す。

11区の調査は平成13年５月末から始めた。調査区内の除草作業のち人力によるトレンチ掘り下げを開始した。主担当はB班であり、７月はA・B班合同で11区の調査を行った。本調査区はこれまでの唐津市教育委員会や日仏合同調査結果などでも遺構密度が高いことが予想されたが、現況が宅地であり、用地買収などの関係で充分な予備調査ができなかったため、当初は慎重に調査を計画し、トレンチを設定し人力掘削をおこない、表土や包含層の厚さなどを調べた。

７月上旬、11区の重機による表土掘削に着手した。７月下旬、古墳の葺石を検出し、唐津市教育委員

会の調査区も確認できた。９月、竪穴住居などの遺構を検出し掘り下げに入った。

９月27日、10区の重機による表土掘削を開始し、10月上旬からA班は10区の人力による遺構検出に着手した。10区は10-1区、10-2区、10-3区に分かれるが、12月上旬には調査を終了した。その後、A班は11区の調査に合流した。

10月、11区の直線溝であるSD11065の掘り下げ、11月から12月にかけてST11002古墳やST11067古墳、ST11141古墳の周溝掘り下げに入った。

平成14年１月、竪穴住居や土坑など集落域の調査が本格化してきた。２月、テレビ局の番組のロケ撮影に協力した。調査員、作業員もエキストラとして出演した。11区の東側から中央部にかけて甕棺は希薄であったが、２月頃から甕棺の調査にも入った。

３月８日、14-1区の重機による表土掘削を開始し４月から人力掘削を始めた。14-1区はさらに３つの調査区に分かれるが、北側２つの調査区の包含層掘り下げを実施した。A班が11区と14-1区の調査を併行して行った。

４月上旬、9-2区の重機による表土掘削を開始し、引き続き人力掘削による遺構の掘り下げ作業に入った。9-2区はA班が担当した。9-2区からはSD11065の延長の溝であるSD901や掘立柱建物群を検出した。11区はB班が担当し４月以降、竪穴住居や甕棺の掘り下げ作業を行った。また、B班は14-1区の包含層の掘り下げも併行した。

５月、9-2区から方格規矩鏡片が出土した。

６月、9-2区の調査区北側の低地部から木組遺構を検出した。

８月、9-2区の調査区東側の重機による表土掘削を再開した。その結果、掘立柱建物群を検出した。高島忠平先生から調査指導を受けた。

８月下旬、14-1区から鋳型が出土した。９月から10月にかけて9-2区の調査区北側の低地部からは木組遺構のほか、柱材やねずみ返しなどの建築部材が出土した。

10月上旬、12区の重機による表土掘削を開始した。表土は薄く、重機で剥いだ遺構検出面から石製把頭飾が出土した。10月23日、福富中学校１年生の発掘体験学習を11区で行った。

11月下旬、9-2区の調査が終了した。A班は12区の調査に入った。

12月中旬、13区南東部の重機による表土掘削をおこなった。その結果、11区～13区にまたがるST11158前方後円墳を検出した。また、日仏合同調査のトレンチを確認した。日仏合同調査に確認されていた石列はST11158前方後円墳の葺石であることも判明した。

平成15年１月、ST11158前方後円墳の後円部墳丘部下検出の甕棺群から硬玉製や碧玉製の玉類などが出土した。

２月、12区でST12032を検出した。また、14区から鋳型片が出土した。小田富士雄先生から調査指導を受けた。

３月、11区の甕棺から銅矛や鉄斧や鉄製鉇（ヤリガンナ）などが出土し、厚葬墓群が明確になってきた。

平成15年４月、嘱託職員の谷が着任した。松浦の後任である。A班は内田、松瀬、B班は川副、谷の体制で、A班は12区を、B班は13区と11区の残務を担当した。

４月下旬、鏡ケーブルTVの取材があった。12区はST12032古墳の周溝掘り下げ、13区はST11158古墳の周溝掘り下げを４月から５月にかけて行った。

５月中旬、九州大学岩永先生から銅矛、鋳型についての調査指導を受けた。

５月下旬、高所作業車によるST12032古墳とST11158古墳の全景写真撮影を実施した。

６月、13区の近・現代墓の掘り下げを実施、ほぼ終了した。

６月５日、銅矛、鋳型の記者発表を行った。

６月７日、現地説明会を実施、見学者は約150名であった。

７月、12区は弥生時代後期の竪穴住居他の調査を実施、13区は前方後円墳の後円部墳丘上の厚葬甕棺墓周囲の祭祀土坑の調査を行った。

７月下旬、13区甕棺墓より鉄矛出土。12区の竪穴住居から鏡の紐片や碧玉原石片なども出土した。

９月、14-2区の調査に入るため、プレハブを移動し重機による盛土、表土掘削を開始した。

９月上旬、甕棺墓より円環型銅釧３が出土した。下旬には福富中学校の発掘体験学習を行った。12区は周溝墓群の掘り下げを行った。

10月下旬、14-2区の人力掘削に着手した。担当はA班である。12区と14-2区の調査を併行した。

11月中旬、13区の甕棺墓から碧玉製管玉108点や円環型銅釧12が出土、円環型銅釧や石製玉類など装身具の副葬が際だってきた。また、13区の南側を重機により表土掘削して拡張した。

12月、12区ST12032古墳の周溝内埋葬施設を検出、12月12日、福岡大学武末先生から中原遺跡出土陶質土器についての調査指導を受けた。

平成16年１月15日、宮崎大学柳沢先生から中原遺跡検出の古墳について調査指導をうけた。

２月22日、鏡地区の「まつらの姫達の宴ウオーキング」で中原遺跡見学に協力した。

２月26日、東京大学後藤先生から青銅器ほかの調査指導をうけた。

３月３日、愛媛大学村上先生から鉄器の調査指導をうけた。その結果、遺跡内で弥生時代後期～終末期に鍛冶が行われていたことが確実になった。

２月から３月にかけて、12区は周溝墓群の調査、13区は甕棺墓の掘り下げを継続した。また、３月末で14-2区の調査が終了した。

平成16年、４月から松瀬にかわって大嶋が着任した。A班内田、大嶋、B班川副、谷の体制で12区、13区を引き続いて担当した。

５月、唐津市北波多上平野遺跡の調査にはいった。

５月末、鏡山小学校６年生の遺跡見学があった。また、13区南側の包含層掘り下げを実施した。この谷状の落ち込みから多量の農具や工具などの木製品や土器片が出土した。

７月上旬、久里小学校６年生の遺跡見学があった。また、SP13231から鏡片が出土した。さらに、円環型銅釧の公表を行った。

８月上旬、13区南側の落ち込みから鋳型片出土。14区出土の鋳型と接合した。また、木組遺構や杭列なども検出し、木組遺構埋土から多量の堅果が出土した。

９月上旬、13区の空中写真撮影を実施した。

10月、13区南側の落ち込みの木組遺構の調査が終了した。落ち込み内を横断する数条からなる杭列とそれに直交する木樋を検出した。11月にかけて調査を継続し、鋳型片なども出土した。

11月中旬、熊本大学甲元先生から調査指導をうけた。

11月末で13区南側落ち込みの調査が終了した。調査終了後、工事用の仮設道路施工のため埋め戻された。また、12区西側のSC12092から鉄剣、刀などが出土した。

12月上旬、9-3区の重機による表土掘削を開始した。調査はA班が担当した。

平成17年１月、13区で墳丘墓を検出した。周溝埋土からは人頭大の葺石が出土した。またST13414の主体部？から内行花文鏡片が出土した。9-3区では11区から延長して伸びる古代の直線溝を検出した。

２月、墳丘墓間に位置する土壙墓群から小形仿製鏡、素環頭刀子、ガラス小玉などが出土した。また、ST13415の主体部の調査に着手した。

２月下旬、熊本大学木下先生に石製玉類の調査指導をうけた。

３月、ST13415から内行花文鏡片や方格規矩鏡片が出土した。３月には駒沢大学酒井先生や別府大学下村先生の調査指導を受けた。３月末で9-3区の調査が終了した。

平成17年４月、田中が着任した。14-3区の重機による表土掘削後人力掘削を開始した。５月、６月と包含層の掘り下げを継続し、三叉鍬やリース状木製品などが出土した。６月末で調査を終了した。

８月中旬、青銅鏡を公表した。

８月下旬、13区の市道部の調査に着手した。重機掘削のち、人力掘削を継続した。道路中央部に水道管が埋設されており大半が攪乱されており、墳丘墓の周溝は確認できなかった。９月末で調査が終了した。これにより、中原遺跡の全ての調査が終了した。

調査日誌

平成13年（2001年）

５月28日　11区トレンチ掘り下げ開始
６月６日　甲元眞之先生来訪、土壌水洗機搬入
９月10日　石野博信先生来訪
９月27日　10区重機掘削開始

平成14年（2002年）

１月30日　蒲原宏行氏調査指導
２月６日　11区空中写真撮影
２月12日　北波多地区確認調査開始
３月８日　14-1区重機掘削開始
４月10日　9-2区重機掘削開始
４月17日　9-2区人力掘削開始
４月22日　14区人力掘削開始
５月23日　9-2区より方格規矩鏡片出土
５月28日　9-2区、11区、ハイライダーによる写真撮影
７月24日　田辺昭三先生来訪
８月２日　9-2区、11区、ハイライダーによる写真撮影
８月６日　高島忠平先生調査指導
８月７日　田中正日子先生来訪
８月28日　14区から鋳型出土
10月７日　12区重機による表土掘削開始
10月23日　福富中学校生徒発掘体験
10月24日　甲元眞之先生来訪
11月13日　9-2区空中写真撮影
12月５日　14区、ハイライダーによる写真撮影

平成15年（2003年）

２月19日　小田富士雄先生調査指導
２月21日　11区空中写真撮影
２月24日　11区、ハイライダーによる写真撮影
３月10日　佐田先生調査指導
５月13日　岩永先生調査指導
６月５日　銅矛、鋳型記者発表
６月７日　現地説明会
７月２日　唐木田先生、藤瀬氏来訪
７月24日　鉄矛出土、村上先生来訪
９月３日　ハイライダーによる写真撮影
９月４日　SJ13112から円環型銅釧出土
９月17日　福富中学校発掘体験
11月７日　村上先生来訪
11月18日　SJ13134から円環型銅釧出土
12月12日　武末純一先生調査指導

平成16年（2004年）

１月15日　柳沢先生調査指導
　　12区ST12032全景写真撮影
２月26日　後藤直先生調査指導
３月３日　村上先生調査指導
３月11日　気球写真撮影
３月12日　ハイライダーによる写真撮影
３月15日　柳田康雄氏来訪
４月28日　北波多村上平野遺跡重機掘削開始
５月27日　鏡山小学校児童遺跡見学
７月１日　久里小学校児童遺跡見学
７月２日　SP13231より鏡出土
７月７日　円環型銅釧公表
７月９日　中山清隆氏、韓国㈶東北支石墓研究所来訪
７月13日　田尻氏来訪
９月３日　13区空中写真撮影
９月６日　大阪府藤田氏、関西外語大佐古先生来訪
10月13日　13区落ち込み、材出土状況ハイライダーによる撮影
10月29日　高島忠平先生来訪
11月９日　柳田康雄氏来訪
11月10日　福岡市吉留氏来訪
11月19日　甲元眞之先生調査指導
12月16日　佐世保文化財事務所より調査員来訪

平成17年（2005年）

１月12日　ST13414より鏡出土
１月25日　坪井清足先生来訪
２月８日　佐賀女子短期大学学生来訪

２月15日　高島忠平先生、藤田等先生来訪
２月22日　木下尚子先生調査指導、安藤先生来訪
２月28日　佐世保教育事務所、文化財担当者来訪
３月２日　空中写真撮影
３月３日　酒井清治先生調査指導
３月17日　下村先生調査指導
４月17日　筑紫古代研究会来訪
７月１日　藤丸氏来訪
８月17日　青銅鏡出土公表
９月７日　柳田康雄氏来訪
９月22日　空中写真撮影
９月30日　13区調査終了

作業風景

Ⅱ．遺跡の位置と環境

１，地理的環境

中原遺跡は佐賀県唐津市大字原字西丸田、西ノ畑、溜ノ内、笹原、大字中原字中原に所在する。本書に掲載する11区・13区は大字原字溜ノ内、西ノ畑にあたる。

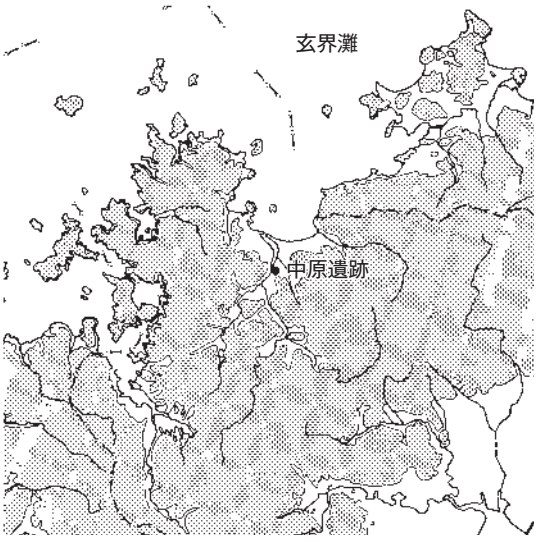


図２　遺跡位置図

唐津市は九州の北端で佐賀県の北西部、現在の市役所で北緯33度27分、東経129度58分である。平成17年１月に唐津市、浜玉町、厳木町、相知町、北波多村、肥前町、鎮西町、呼子町が合併し、さらには平成18年１月に七山村も合併した。平成20年度の統計によれば、面積487.45㎢で人口132,952人、世帯数は48,500世帯である。唐津市は今回の合併により東は福岡県二丈町、南は佐賀市と多久市、西は伊万里市と玄海町に接する。北は唐津湾および玄界灘に面し、朝鮮半島へと連なる。呼子町から壱岐島まで約30kmであり、鏡山山頂からも壱岐島影を望むことができる。このように半島に最も近いという地理的環境のため古代より我が国のなかでもいち早く半島や大陸の文化を受容した地域である。

唐津市およびその周辺の地形は①東松浦溶岩台地域②松浦杵島丘陵地域③脊振山地西部域④低地部（広義の唐津平野）⑤島嶼域の五つに区分できる。①東松浦溶岩台地は東松浦半島の大半を占め、第三系や花崗岩類の基盤のうえに第三紀末期～第四紀初頭にかけて噴出した松浦玄武岩が覆う溶岩台地である。通称“上場台地”と呼ばれ、標高150～200mである。②松浦杵島丘陵地は南北に流下する佐志川およびその延長線を境に東側の丘陵性山地であり、松浦川左岸まで続く。その地質は第三系や花崗岩類からなり、標高約200m内外である。③脊振山地西部域は松浦川および唐津平野の東南部にあたり脊振山系の西部地域にあたる。地質は風化の進んだ花崗岩類からなる。唐津平野の基盤の大部分もこの花崗岩類であり、不整合面を介して沖積層が堆積する。④低地部（唐津平野）は東松浦溶岩台地や松浦杵島丘陵地や脊振山地に囲まれ、北は唐津湾および玄界灘に接する低地を総称している。松浦川とその支流、玉島川、佐志川流域にあたる。五つの地形区分のうち①東松浦溶岩台地では主に旧石器～縄文時代の遺跡が、④低地部では主に弥生時代以降の遺跡が、⑤島嶼域ではおもに弥生～古墳時代の遺跡が立地する。また②の地域は急峻な地形を利用し中世には山城が築かれ、近代以降石炭の採掘が盛んに行なわれるようになる。

唐津平野を形成した河川には、最大規模の松浦川やその支流の徳須恵川、半田川、宇木川がある。松浦川とその支流は、脊振山系と松浦杵島丘陵地の間を縫うように流れる。玉島川は唐津平野の東端を流れる松浦川に次ぐ規模の河川である。脊振山系に水源をもち唐津湾に注ぐ。この他、唐津市街地を流れる町田川や唐津平野の北西端を流れる佐志川がある。これらの大河川や中小河川流域により、唐津平野内の遺跡立地はさらに地域区分ができる。

唐津平野の地形発達は海岸線の変化と密接に関わり、井関氏（1982）や下山氏（1994）の先行研究がある。井関氏の研究は唐津平野の地形発達史の嚆矢である。縄文海進の海域の拡大による奥唐津湾の範囲を想定し、唐津平野の地形発達史の原型を示した。下山氏は海成層に含まれる海棲生物化石のうち貝殻に注目し、ボーリング資料により北部九州の海岸線を復元した。考古学的な検討は、コモ層の分布域

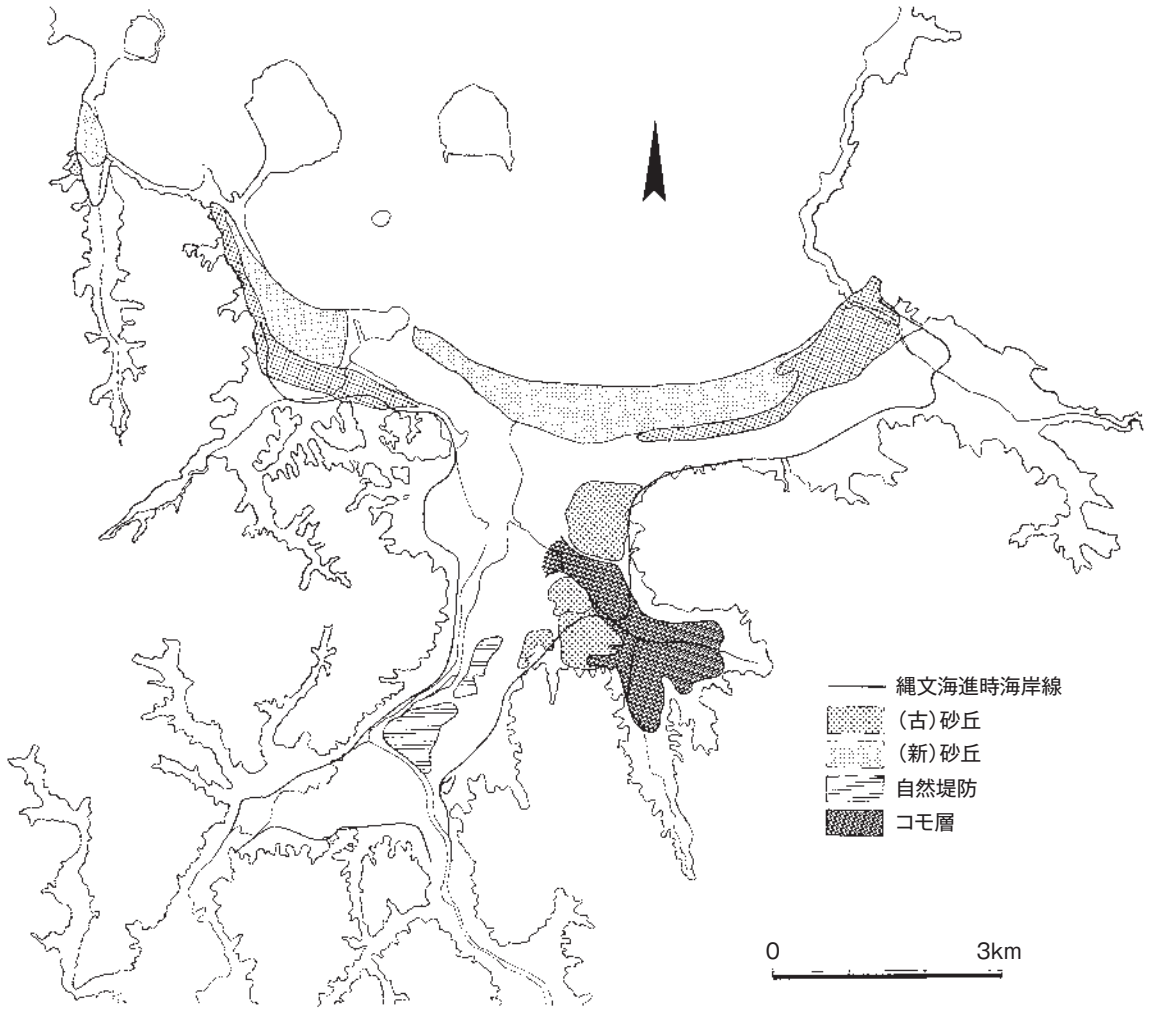


図３　旧海岸線・砂丘列地形分類図（1/100000）

を明らかにした木下氏（1981、1993）に始まる。近年、田崎氏（2007）が唐津平野をモデルに、発掘調査データを用いて沖積低地の環境変遷を追っている。また小松・美浦（2008）は自然科学的な分析に加え、発掘調査成果を盛り込んで、現在までの唐津平野の地形発達と遺跡立地の関係についてまとめを行なっている。

図３の縄文海進時海岸線は、これまでの研究をもとにしたものである。縄文海進期の海面上昇の終焉後、幾度か訪れた海退現象により河川の堆積（沖積上部砂層）が拡大し、奥唐津湾は埋め立てられ現在の平野の概形が形成された。また同時に松浦川東岸地域と唐津市街地南部地域に砂丘列（古砂丘列）も形成され、初期稲作に適した後背湿地を生み出した。松浦川東岸の砂丘列は鏡山西麓の鏡集落から原集落、中原集落、徳武集落まで連続している。中原遺跡や後述する梅白遺跡は砂丘微高地上に立地するが、この砂丘の砂は極めて細く礫などを含まない風成砂である。井関氏は原集落と中原集落を古砂丘列としたが､西九州自動車道に係る文化財確認調査により梅白遺跡から中原遺跡間も砂丘が広がることが判り、夕日山北麓に広い砂丘が形成されていることが判明した。この古砂丘列の形成は発掘調査成果により縄文時代中期の前半代には始まっていることが分かった。

鏡山南麓の宇木川・半田川流域は砂丘列によって後背湿地になるが、この低地部に植物遺体層・通称コモ層が広く堆積する。木下氏（1981）は、昭和40年代末～50年代にかけての農業基盤整備事業に係る

文化財確認調査により、コモ層の分布範囲を明らかにした。宇木汲田貝塚遺跡や柏崎貝塚遺跡は、縄文時代晩期～弥生時代前期の貝塚であり、後背湿地に面する丘陵裾部に立地する。発見された貝殻にヤマトシジミが多く見られた。そのため当該期、後背湿地は汽水性の潟であるとの考え方が支配的となり、コモ層の分布がその潟の範囲を示すものと考えられてきた。ところが、平成９年から始まった梅白遺跡の調査によって、コモ層の下から古墳時代の水田と、さらにその下層から縄文時代晩期～弥生時代中期の水田関連遺構が発見され、後背湿地の低地部においてもすでに水田開発が行われていたことが判ってきた。また、井関氏が想定した中原集落の砂丘はさらに夕日山北麓まで広がることも確認できた。

松浦川西岸の砂丘列は唐津市街地の南部地域に広がる砂丘であり、その背後に流れる町田川流域が後背湿地になる。菜畑遺跡の水田はこの後背湿地に、桜馬場遺跡は砂丘上に立地する。前述したコモ層は町田川流域にも広がっている。菜畑内田遺跡ではコモ層直下から梅白遺跡と同時期の古墳時代の水田が見つかっていることから、コモ層の堆積時期が宇木・半田川流域と同じであることが分かった。現在町田川の流路は砂丘列を横断し唐津城下が河口域になっているが、これは近世の河川改修の結果であり、それ以前の流路がどこを流れていたのかが問題である。小松・美浦（2008）では、和多田方面に東流し松浦川に注いでいたと想定している。

これに対し松浦川本流域に形成されたコモ層の堆積時期は中原遺跡の調査成果により弥生後期中頃～後半と分かり、上述の流域とは違いがあることが判明した。流域ごとのコモ層の堆積時期の違いは今後の検討課題である。

佐志川流域ではコモ層が発達しないことが発掘調査により確かめられている。河口部には砂丘列が形成されるものの規模が小さく、河口部を閉塞するまでには至らなかったためであろうか。中流域の汐入遺跡では縄文海進時の貝層が見つかっており、海岸線の推定ができるようになった。

唐津平野の旧地形のうち注目されるものの一つに玉島川の流路がある。現在の玉島川は北流して唐津湾に注ぐが、これは近世の河川改修によるものであり、旧玉島川は虹の松原砂丘と鏡山の間を西流していたと考えられる。新砂丘列は弥生～古墳時代に形成されたと考えられ、虹の松原砂丘の発達は玉島川河口を天然の良港に仕上げたと思われる。近世の河川改修は松浦川、町田川においても実施されており旧流路、旧地形の復元は遺跡の理解に不可欠である。このように小地域毎の地形発達の違いは、遺跡の形成時期や規模、性格が異なる要因となっている。

参考文献

木下巧 1981『古代末盧文化資料集成』肥前文化史研究会

井関弘太郎 1982「末盧の地形と地質」『末盧国』六興出版

下山正一 1994「北部九州における縄文海進以降の海岸線と地盤変動傾向」『第四紀研究』33-5

田崎博之 2007「発掘調査データからみた砂堆と沖積低地の形成過程」『砂丘形成と寒冷化現象』科研費補助研究報告書

小松譲 2008『中原遺跡Ⅱ』佐賀県教育委員会

小松譲・美浦雄二 2008「弥生成立期の地理的景観―佐賀県唐津市唐津平野にみる初期農耕集落の出現と拡大」藤尾慎一郎『弥生時代の考古学第２巻　弥生文化誕生』同成社

2，歴史的環境

唐津地方は前項で記したとおりの地理的条件のため原始・古代から半島・大陸文化受容の地であった。東松浦溶岩台地・通称上場台地や低地部（唐津平野）さらに東松浦半島海岸に浮かぶ島嶼などにそれぞれ特徴的な遺跡が立地することも記した。以下、松浦川東岸を中心に概観する。

［旧石器時代］

最も遺跡数が多いのは上場台地上である。台地上には比較的幅の広い谷がヤツデ状に発達しており、遺跡は谷部の湧水点近くに立地する。旧石器時代の著名な遺跡としてナイフ形石器文化の唐津市肥前町磯道遺跡(1)や生石遺跡(2)、細石器文化の唐津市原遺跡(3)などがある。東松浦半島周辺の海岸部や島嶼でも旧石器時代から人類の活動の痕跡が認められる。馬渡島、加唐島、小川島、神集島からはナイフ形石器などが採集されている。最終氷期の最盛期の海面は現在より約130m低位にあったと考えられており、現在の島という地形ではないことも考慮しなければならない。松浦川東岸では、堂の前遺跡(4)を代表に丘陵裾部の遺跡から極少量の遺物が見つかっているだけで、遺跡数が非常に少なく、詳しい状況は分かっていない。

［縄文時代］

上場台地上では押型文土器・石鏃が出土した牟田辻遺跡や住居跡、組織痕文土器を出土した女山遺跡(5)、晩期の貯蔵穴状土坑を検出した唐の川高峰遺跡(6)や梨川内村前遺跡(7)があり、早期と晩期前半に上場台地では遺跡数が増大することが指摘されている。低地部では、西唐津海底遺跡(8)では前期の土器が出土しており、菜畑遺跡(9)では前期～後期の遺構と遺物が、徳蔵谷遺跡(10)では中～後期の遺構と大量の遺物が確認されている。近年の調査で玉島川流域の五反田松本遺跡(11)から、縄文中期後半代～後期にかけての大量の遺物が流路状の落込みから見つかり、注目すべき成果が挙がっている。松浦川東岸では丘陵裾部や砂丘微高地上に遺跡が点在しているが、規模が小さく遺構は見つかっていない。辻裏遺跡(12)、井ゲタ遺跡(4)、梅白遺跡(13)がこれにあたる。

［弥生時代］

東松浦半島海岸部や島々には弥生時代の遺跡もみられる。これらは漁撈を生業とした海人集団の活動の痕跡であろう。とくに拠点的な地域として加部島、呼子周辺と神集島、湊、相賀周辺がある。唐津市呼子町大友遺跡(14)では、弥生時代前期～後期前半の約150基の墳墓が確認されている。甕棺墓、配石墓、土壙墓、箱式石棺墓、石囲墓、敷石墓、支石墓など埋葬施設の種類が多様で、埋葬方法なども五島列島など西北九州の埋葬との共通性がみられる。また、南海産の貝輪を副葬していることも特筆され、海人の共同墓地と考えられる。呼子港の対岸に浮かぶ加部島には古墳時代後期の瓢塚前方後円墳が所在する。さらに加部島には式内社である田島神社が鎮座しており、古墳時代～古代において海上交通の要所であったことが伺える。呼子町から約５㎞南東に位置する唐津市湊周辺にも弥生～古墳時代の遺跡がみられる。湊中野遺跡(15)では弥生中期～後期の焼土坑が確認されている。唐津平野や糸島半島が望める眺望のいい立地であり、焼土坑は「のろし」的性格が考えられている。雲透遺跡(16)では弥生時代中期の貝塚が調査され、鹿角製のヤスや釣針のほか貝輪などが出土した。これらの大友遺跡、湊中野遺跡、雲透遺跡では糸島・福岡平野系の土器が出土していることも特筆される。湊の対岸に浮かぶ神集島には短甲や鉄刀を出土した学校東古墳群や鬼塚古墳群がある。また相賀には陶質土器を出土した相賀古墳もあり、湊・神集島周辺も海上交通の要所であった。

縄文時代晩期後半になると、低地部に形成された砂丘列背後の低湿地が初期稲作の適地となり、町田川流域では菜畑遺跡が、宇木川流域では宇木汲田遺跡(17)が出現する。菜畑遺跡では我が国最古の水田跡が

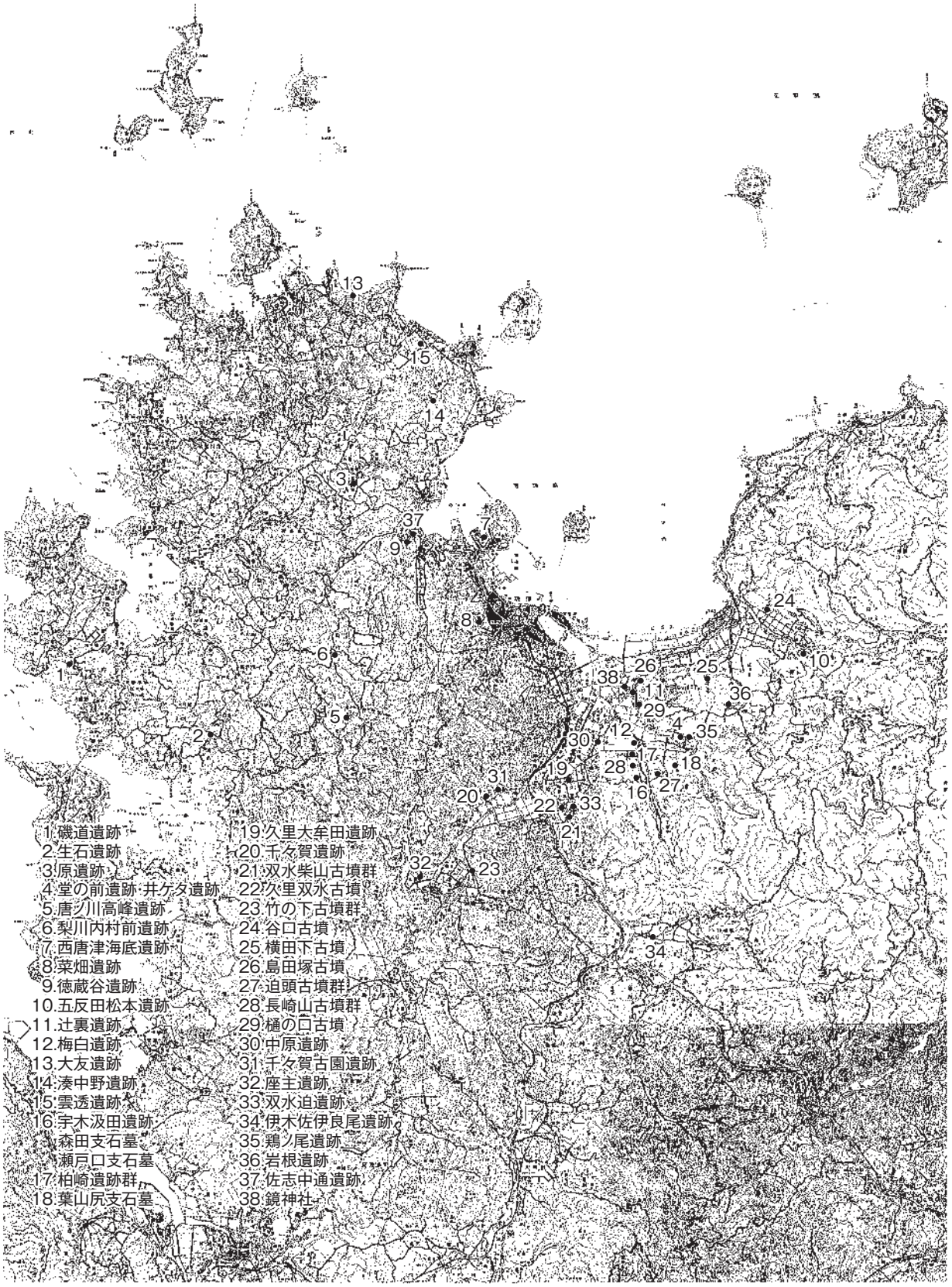


図４　周辺遺跡分布図（1/70000）

確認された。晩期以降、唐津平野において多くの著名な遺跡が出現するが、それは河川流域毎に遺跡のまとまりを形成する。

唐津平野の中で調査事例も多く、研究史的にも重要な遺跡が多いのは松浦川東岸の宇木川・半田川流域である。宇木汲田貝塚遺跡では、1965年の日仏合同調査により、縄文時代晩期の夜臼式期の土器底部に炭化米や籾圧痕が発見され、稲作の存在を提示した。貝塚から200～300m南方の宇木汲田遺跡では、昭和初期に銅剣、銅矛が発見されており、1957年の東亜考古学会、1965、1966年の日仏合同調査で、甕棺墓群から多鈕細文鏡、細形銅剣、銅矛、銅戈、銅釧、玉類など多数の副葬品が出土した。柏崎貝塚は昭和初期の耕地整理によって発見されその後、数回の学術調査が実施され弥生前期後半の短期間に形成されたものであることが判った。柏崎遺跡[18]では明治末に触角式銅剣、銅矛が発見され、柏崎田島遺跡の甕棺墓群では異体字銘帯鏡が柏崎大深田遺跡からは広形銅矛の鋳型が出土している。

また、唐津平野には西北九州に特徴的に分布する支石墓がみられる。葉山尻支石墓[19]では1952、1953年の調査で支石墓と甕棺墓を検出しており、この他瀬戸口支石墓、森田支石墓などが調査された。梅白遺跡は本事業により1997年～1999年に調査が実施され、弥生、古墳時代の集落と水田を確認した。このように、鏡山南麓の宇木川・半田川流域は、砂丘形成による後背湿地の出現という初期稲作に適した地理的条件をもとに、農耕集落が出現、発展する。その発展の様子は、墳墓出土の鏡や青銅器、玉類、銅釧などの副葬品からも伺える。

本報告の中原遺跡は松浦川右岸で後背湿地を形成した砂丘微高地上に立地する。弥生時代中期の甕棺墓や終末期～古墳時代初頭の墳墓から青銅鏡、鉄剣、玉類が出土している。また、中期の鋳型片４点も出土しており、宇木汲田遺跡と並び弥生時代中期の拠点集落である。発見された鋳型のうち銅矛の鋳型は戸塚氏（2008）[註]の研究により、直線距離で約1.5km南西の久里大牟田遺跡出土の銅矛の鋳型であることが考えられ、製品の生産地と消費地が分かる非常に貴重な例になりそうである。

弥生時代中期後半以降､松浦川本流域の遺跡群が発展していく。久里大牟田遺跡[20]では鉛製の矛や銅矛、銅戈などが甕棺、土壙墓から出土している。松浦川の左岸に注ぐ徳須恵川の下流に立地する千々賀遺跡群は中期から後期にかけて発展していく。千々賀庚申山遺跡からは細形双耳銅矛や銅戈が、千々賀遺跡からはイモ貝縦切銅釧が、千々賀遺跡[21]からは赤色漆で同心円文や鋸歯文を描いた容器蓋３点とともに、中期から後期の多量の土器や建築部材が出土している。

菜畑遺跡や桜馬場遺跡は町田川流域にあたる。菜畑遺跡では、初期に水田が開かれた後も継続的に水田が営まれており、流域の拠点的な遺跡である。桜馬場遺跡では、後期の甕棺墓から方格規矩鏡、有鉤銅釧、巴形銅器が見つかっており、このほか広形矛先や内行花文鏡片も採集されている。近年調査が行なわれ、不時の発見であった甕棺や副葬品が再確認され、大きな話題となった。

このように唐津地域では多くの厚葬墓が発見されており、稲作が開始されて首長層が出現、展開していく過程を看取することができる。東松浦半島や島々にも弥生時代の遺跡は分布するが青銅器を副葬するような首長墓は松浦川流域やその支流である宇木川・半田川流域や町田川流域に限られる。表４は唐津平野出土の青銅器・鋳型の一覧表であり、図５はその遺跡分布図である。

宇木汲田遺跡では多くの青銅製武器が出土しているが、複数の青銅製武器や青銅製品を副葬した墳墓は少なく、その分布からみても有力集団墓であることは明瞭である。また、宇木川・半田川流域の厚葬墓の分布をみると鏡山山麓部には厚葬墓がないことが判る。同時期の墳墓群は立地するにも関わらず、厚葬墓がないことは同流域において集団格差が生じていることを物語る。

また、中原遺跡は宇木汲田遺跡や柏崎遺跡群と至近距離であるが生産基盤となる水田などの立地が両

表４　唐津平野弥生時代青銅器・鋳型出土遺跡一覧表

番号	遺　跡　名	所　　在　　地	出土遺構	青銅器・鋳型
1	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺	細形銅剣１・細形銅矛１
2	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	木棺墓？	細形銅剣１・細形銅矛１
3	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・６号	細形銅剣１
4	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・11号	細形銅剣１
5	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・12号	細形銅剣１・多紐細文鏡１
6	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・17号	細形銅戈１
7	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・18号	細形銅剣１
8	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・32号	細形銅剣先片１
9	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・37号	細形銅矛１
10	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・38号	円環型銅釧５
11	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・41号	細形銅矛１
12	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・58号	細形銅戈１
13	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・61号	細形銅剣１
14	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・64号	円環型銅釧18
15	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・112号付近	細形銅矛１・円環型銅釧17
16	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	甕棺・129号	細形銅剣
17	宇木汲田遺跡	唐津市大字宇木字汲田	包含層	銅鐸の舌
18	柏崎石蔵遺跡	唐津市大字柏崎字石蔵	甕棺(箱式石棺？)	有柄触角式細形銅剣１・中細形銅矛２
19	田島遺跡	唐津市大字柏崎字田島	甕棺６号	前漢鏡（日光鏡）１
20	鶴崎遺跡	唐津市大字宇木字鶴崎	甕棺	有柄銅剣１
21	鶴崎遺跡	唐津市大字宇木字鶴崎	甕棺	中細銅戈１
22	柏崎大深田遺跡	唐津市大字柏崎字大深田	包含層	広形矛鋳型片１
23	中原遺跡	唐津市大字原字中原	甕棺・SJ11247	細形銅矛１
24	中原遺跡	唐津市大字原字中原	甕棺・SJ13134	円環型銅釧12
25	中原遺跡	唐津市大字原字中原	甕棺・SJ13112	円環型銅釧３
26	中原遺跡	唐津市大字原字中原	包含層	鋳型片４
27	桜馬場遺跡	唐津市桜馬場	甕棺１号	後漢鏡２・有鉤銅釧26・巴形銅器５
28	桜馬場遺跡	唐津市桜馬場	包含層	後漢鏡片（内行花文鏡）１
29	桜馬場遺跡	唐津市桜馬場	包含層	広形銅矛先
30	平野町（伝）	唐津市平野町	甕棺	「狭鋒」矛
31	千々賀(庚申山)遺跡	唐津市大字千々賀	甕棺	中細形双耳付矛１・中細形銅戈１
32	千々賀(庚申山)遺跡	唐津市大字千々賀	甕棺傍らの小壺	銅釧８以上
33	久里大牟田遺跡	唐津市大字久里字大牟田	甕棺	銅剣先１
34	久里大牟田遺跡	唐津市大字久里字大牟田	甕棺２号	中細形銅矛１・中細形銅戈１
35	久里大牟田遺跡	唐津市大字久里字大牟田	甕棺(土壙墓？)	細形銅矛１
36	石ヶ崎遺跡	唐津市大字久里	甕棺	細形銅剣１
37	中尾遺跡	唐津市大字山本字中尾	甕棺	細形銅剣１
38	徳須恵支石墓	唐津市北波多大字徳須恵	甕棺	細形銅矛１
39	手樋ノ元遺跡	唐津市相知町大字大野字手樋ノ元	甕棺	銅戈１
40	浜玉町・谷口付近	唐津市浜玉町大字谷口	不明	中細形銅戈

遺跡とは異なることは集団系譜を考える上で重要であろう。唐津平野での特定個人墓の出現は後期前半の桜馬場遺跡である。ただし、その周辺には（伝）平野町出土の銅矛以外青銅器の出土はみられず、市街地化が進み周辺の遺跡の分布状況が判らないため、遺跡の形成過程が追えない。しかし、唐津平野では青銅製品を副葬する厚葬墓は有力集団墓から特定個人墓へと展開し、その遺跡立地が変遷することが判る。

［古墳時代］

古墳時代前期の首長墓には松浦川流域の双水柴山２号墳[22]、中原遺跡ST12032、久里双水前方後円墳[23]が

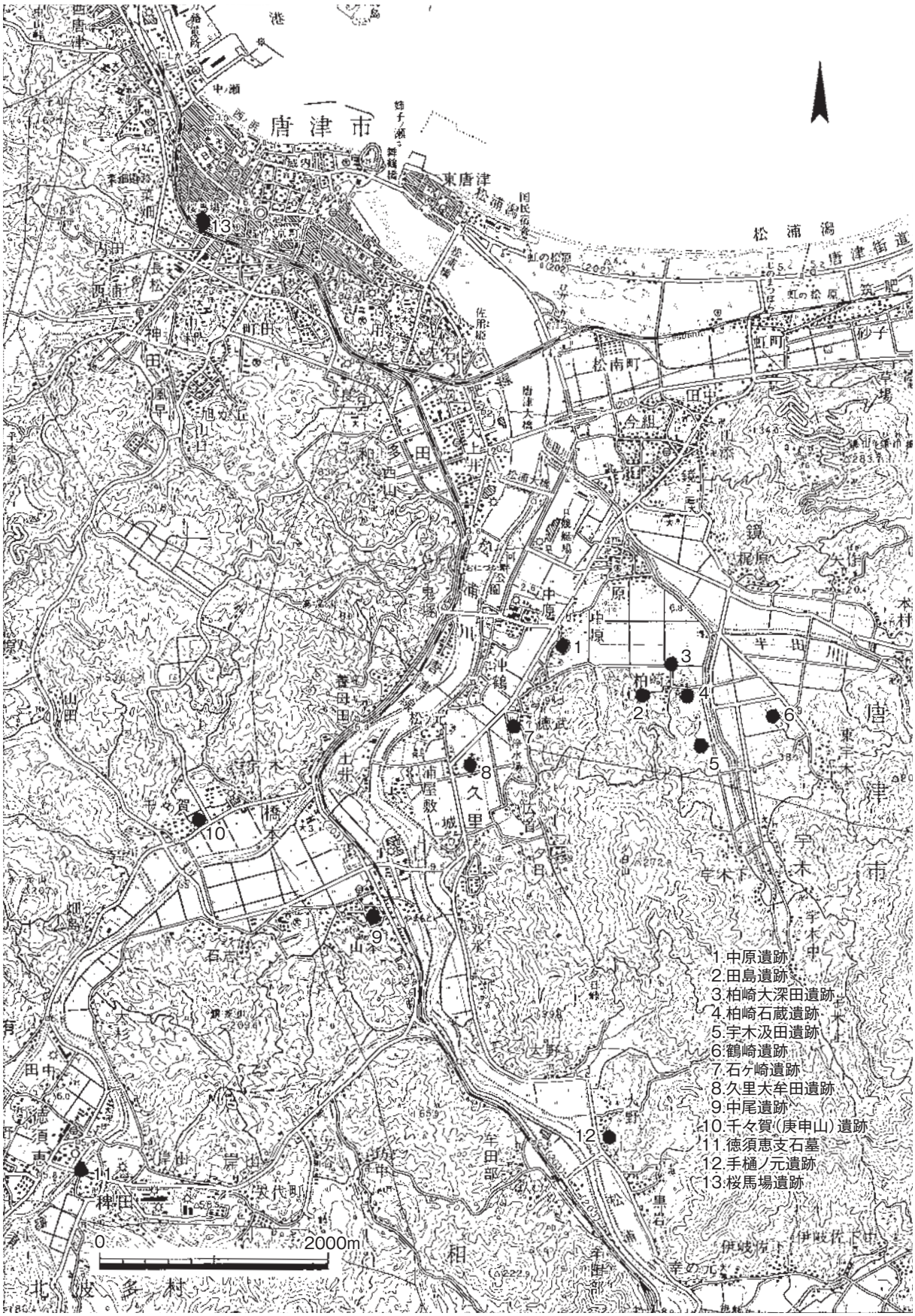


図５　唐津平野弥生時代青銅器出土遺跡分布図（1/50000）

ある。古墳時代初頭の双水柴山２号墳は全長34.7ｍで丘陵の尾根上に造られる。主体部は木棺である。久里双水前方後円墳は全長108.5ｍで、竪穴式石室から盤龍鏡、碧玉製管玉、棺外から刀子が出土した。近年徳須恵川流域の唐津市北波多の竹の下古墳群[24]で、前期に属すると思われる全長32ｍと52ｍの２基の前方後円墳がみつかり首長墓系譜に加えられることになった。前期後半から中期、後期にかけて首長墓は玉島川流域に移る。谷口古墳[25]は組合わせ式の長持形石棺を主体部にもち、仿製三角縁神獣鏡、碧玉製石釧など畿内的要素をもつ。その後、初期横穴式石室をもつ横田下古墳[26]や、金銅製冠や銅椀などの渡来系文物を副葬した島田塚前方後円墳[27]が造られる。

中小古墳では宇木川・半田川流域に垂飾付耳飾り、三累環頭を出土した半田宮の上古墳[28]や竪穴系横口式石室のほか土壙墓、箱式石棺などが確認された迫頭古墳群[28]、同じく竪穴系横口式石室をもつ長崎山古墳群[29]、石障系石室をもつ樋の口古墳[30]などがある。中原遺跡[31]では複数の陶質土器や鉄鐸、初期の馬具、梅白遺跡の古墳水田流路中から軟質土器など渡来系文物の出土が目立つのも特筆される。他の地域では浜玉町渕上の仁田古墳群から遺存状態の良い埴輪窯が確認され、埴輪資料の少ない佐賀県で貴重な発見となった。

後期は群集墳が発達する時期であるが、唐津地域では数基単位の古墳群が形成されるに留まる。しかし加部島には多数の古墳が築かれていたと伝えられており、地域内では特異な存在である。半島への航路上重要な位置を占めていたことが要因であろう。

［奈良・平安時代］

古代の唐津地域は肥前国松浦郡にあたる。松浦郡は現唐津市、西松浦郡、長崎県平戸や五島列島、佐世保市などを範囲とする極めて広い面積をもつ。松浦郡の古代行政組織は肥前国風土記によれば郷11所、里26所、駅５所、烽８所である。この中の具体的な地名や駅名は肥前国風土記、延喜式、和名抄などの史料によってわかる。郷名は肥前国風土記に値嘉郷、和名抄に庇羅、大沼、値嘉、生佐、久利の郷名が記される。里名は肥前国風土記に賀周里がみえるだけである。駅名は肥前国風土記に逢鹿駅、登望駅、延喜式に磐氷、大村、賀周、逢鹿、登望の５駅名が記されている。烽は肥前国風土記に褶振烽、値嘉郷３所となっており、その他の地名の由来では鏡渡や大家島がみえる。

唐津地域の古代の主要な遺跡ではまず千々賀古園遺跡[32]が挙げられる。松浦川の支流である徳須恵川下流の西岸に位置する。唐津市教育委員会の２回の調査により掘立柱建物８棟を検出した。そのうちの３棟は大規模でＬ字形の配置をもつ。特筆される出土遺物に銅製の天秤受け皿や蛇紋岩製の権（分銅）や平瓦片がある。平瓦には特徴的な幅広のカキ目が巡らされており、壱岐嶋分寺や法隆寺等で類例が見られる。また、墨書土器が95点出土している。墨書土器には「嶋守」「川上」「田造」等があり、最も多いのが「六」である。また「川部」は中原遺跡出土１号木簡にもみられる人名である。８世紀前～中頃を盛期とし後半までの遺物がみられ、官衙的配置をした大型建物の存在などから松浦郡衙とも推定されてきた。

座主遺跡[33]は徳須恵川中流域の左岸に立地する。谷状低湿地の遺物包含層から石帯・巡方や墨書土器15点が出土した。墨書土器には「坂本」「廣」「大」「六」などがある。８世紀代を中心とし、盆地状の地形であることなどからも里あるいは郷のひとつとも考えられよう。双水迫遺跡[34]は松浦川右岸の久里に所在する。古代においても「久利郷」に含まれていたと思われる。詳細不明ながら８世紀代の集落が確認されている。伊岐佐伊良尾遺跡[35]は「生佐郷」内に所在する。掘立柱建物や鍛冶炉など８世紀代の集落が確認されている。鶏ノ尾遺跡[36]は鏡山南麓に立地する。平安時代の鍛冶炉と奈良～平安時代の炭窯等の遺構の他、谷部の整地層から大量の土師器供膳具と共に緑釉陶器、越州窯系青磁、播磨系須恵器が出土して

いる。岩根遺跡[37]は鏡山南東麓の丘陵上に立地する。９世紀代の製鉄関連遺構を確認した。製錬炉本体は確認できなかったが、遺物の検討から箱形炉であることが判った。製鉄を主体とし精錬鍛冶から鍛錬鍛冶までの作業が行われていた。

延喜式に記載された大村駅は唐津市浜玉町東北部にある大村神社周辺が比定地である。大村神社の境内から布目瓦が出土し、社殿背後に基壇状の盛り土もみられ、奈良時代の寺院跡と考えられる。三代格や東大寺要録にみられる弥勒知識寺と推定されている。中世以降も交通の要所であったと思われ、周辺には草野氏が山城や居館を築いている。

肥前国風土記にみえる賀周里や賀周駅は地名などからも唐津市見借がその推定地と考えられてきた。見借は佐志川の上流にあたるが、その河口に立地するのが佐志中通遺跡[38]や徳蔵谷遺跡である。両遺跡からは遺構こそ確認されていないが８世紀代の土器が出土している。佐志中通遺跡からは腰帯金具も出土している。賀周里や賀周駅を比定する上で参考になる遺跡であろう。

この他、逢鹿駅や登望駅に比定できる遺跡や調査事例はみあたらないが、地名や弥生、古墳時代以降の遺跡群の分布などを考えても、逢鹿駅は唐津市相賀周辺に登望駅は唐津市呼子周辺に比定できるであろう。

［中世以降］

古代後半以降近世に至るまで中原遺跡では遺構や遺物が激減する。これと入れ替わるように遺構や遺物の確認が急増するのが、現鏡集落が所在する鏡山西麓の砂丘である。11世紀には鏡神社[39]が建造物として成立していると考えられ、それ以降の時期の遺跡が砂丘のほぼ全体に広がっている。近世になり松浦川本流域の本格的な開発が行なわれる。それまでは谷部の扇状地を利用した谷水田であったものが、積極的な新田開発により平野のほぼ全域が水田域となっている。

参考文献

１，堀川義英 1981『田尾遺跡群磯道遺跡』肥前町教育委員会
２，堀川義英 1978『生石・森の下遺跡』佐賀県教育委員会
３，松岡史・富桝憲次 1960『佐賀県東松浦郡鎮西町字原出土の細石器』九州考古学10
　　杉原荘介・戸沢充則 1971「佐賀県原遺跡における細石器文化の様相」考古学集刊4-4
４，小松譲 2000『堂の前・井ゲタ遺跡』佐賀県教育委員会
５，日本考古学協会西北九州総合調査特別委員会編　1960「島原半島（原山、山ノ寺、礫石原）および唐津市（女山）の考古学的調査」『九州考古学』10
６，田島龍太 1996『唐ノ川高峰遺跡』⑶唐津市教育委員会
７，内田孔明 1996『梨川内村前遺跡』⑵唐津市教育委員会
８，松岡史・森醇一朗 1982「西唐津海底遺跡」『末盧國』六興出版
９，中島直幸・田島龍太 1982『菜畑遺跡』唐津市教育委員会
10，田島龍太 1995『徳蔵谷遺跡』⑵唐津市教育委員会
　　田島龍太 1996『徳蔵谷遺跡』⑶唐津市教育委員会
11，田島龍太 2008『五反田松本遺跡』唐津市教育委員会
12，田島龍太 1989『唐津市内遺跡確認調査⑷』唐津市教育委員会
13，小松譲 2003『梅白遺跡』佐賀県教育委員会
14，東中川忠美 1981『大友遺跡』呼子町教育委員会

15, 中島直幸 1985『湊中野遺跡』唐津市教育委員会
16, 仁田坂聡 1998『雲透遺跡Ⅱ』唐津市教育委員会
17, 岡崎敬ほか 1982「宇木汲田遺跡」『末盧國』六興出版
18, 堀川義英 1980『柏崎遺跡群』佐賀県教育委員会
中島直幸 1980『柏崎松本遺跡』唐津市教育委員会
中島直幸 1982「柏崎遺跡群」『末盧國』六興出版
19, 渡辺正気 1982「葉山尻支石墓」『末盧國』六興出版
20, 中島直幸 1980『久里大牟田遺跡』唐津市教育委員会
21, 仁田坂聡 2001『千々賀遺跡』唐津市文化財調査報告書第102集
22, 中島直幸 1987『双水柴山遺跡』唐津市教育委員会
23, 田島龍太 1992『久里双水古墳確認調査概要報告』唐津市教育委員会
田島龍太 1993『久里双水古墳確認調査概要報告⑵』唐津市教育委員会
中島直幸 1994『久里双水古墳確認調査概要報告⑶』唐津市教育委員会
24, 陣内康光 2008『竹の下古墳群』唐津市教育委員会
25, 亀井明徳 1982「谷口古墳」『末盧國』六興出版
26, 小田富士雄 1982「横田下古墳」『末盧國』六興出版
27, 岡崎敬・本村豪章 1982「島田塚古墳」『末盧國』六興出版
28, 松岡史 1962「第二編　古代」『唐津市史』唐津市
29, 中島直幸『長崎山古墳群』唐津市教育委員会
30, 高倉洋彰 1982「樋の口古墳」『末盧國』六興出版
31, 田島龍太 1987『中原遺跡』唐津市教育委員会
小松譲 2002『中原遺跡』佐賀県教育委員会
32, 伴耕一朗 1991『千々賀古園遺跡』唐津市教育委員会
仁田坂聡 1997『千々賀古園遺跡』⑵唐津市教育委員会
33, 森田孝志 1981「座主遺跡」『押川遺跡』佐賀県教育委員会
34, 田島龍太 1982「双水迫遺跡」『末盧國』六興出版
35, 蒲原宏行 1986「伊岐佐遺跡群」相知町教育委員会
36, 草場誠司 2003『鶏ノ尾遺跡』⑵唐津市文化財調査報告書第109集
37, 小松譲 2006「岩根遺跡」『大江前遺跡』佐賀県教育委員会
38, 岩尾峯希 2002『佐志中通遺跡』⑵唐津市教育委員会
39, 中島直幸 1986『鏡神社経塚』唐津市教育委員会
唐津市教育委員会 1986『鏡神社』鏡神社一の宮建設委員会

註

戸塚洋輔 2008「唐津平野における弥生時代の青銅器生産－中原遺跡出土鋳型の検討－」
『アジア鋳造技術史学会　研究発表概要集２号』

柳田康雄氏は筑前町東小田峯遺跡出土土製鋳型で鋳造された銅矛は、久里大牟田遺跡出土銅矛の法量が、最近似値を示すとした。（柳田康雄 2009「弥生時代青銅器土製鋳型研究序論」『国学院雑誌』10巻20号）

Ⅲ．調査の概要

１，中原遺跡の調査歴

中原遺跡は本事業による発掘調査以前に過去２回の発掘調査が実施されており、また、本発掘調査期間中に同遺跡内を唐津市教育委員会が発掘調査を行っており､現在までに４回の発掘調査が実施された。以下が中原遺跡の調査歴である。

	期　　間	調査主体	文　　献
1	1965年11月11日～11月21日	日仏合同調査団	『末盧国』六興出版1982年
2	1986年４月９日～７月17日	唐津市教育委員会	唐津市教育委員会1987『中原遺跡』唐津市報18集
3	1999年７月５日～2005年７月１日	佐賀県教育委員会（本事業）	『中原遺跡Ⅰ』『中原遺跡Ⅱ』『中原遺跡Ⅲ』以下刊行中
4	2005年10月５日～2006年３月31日	唐津市教育委員会	唐津市教育委員会2006『中原遺跡(2)』唐津市報129集

このうち、日仏合同調査と1986年の唐津市教育委員会の発掘調査区は本事業の11～13区の中に含まれる。

日仏合同調査は第１トレンチと砂丘形成状況確認のための第２トレンチが設定された。第１トレンチでは５基の甕棺と古墳時代後期の石組遺構を検出しているが、石組遺構は本事業で検出したST11158前方後円墳の葺石であることが判った。５基の甕棺墓は中期に属し、５号甕棺から硬玉製勾玉１、碧玉製管玉７が、７号甕棺の棺内から鉄戈が、棺外から鉄矛が出土している。この他、包含層から鋳造鉄斧側片が出土している。

1986年の唐津市教育委員会による調査は宅地造成に伴うもので、本事業の11区、12区、13区にまたがる。検出した主な遺構は弥生時代中期の甕棺墓３基と古墳時代前期の周溝墓４基、中期の円墳の周溝と近世の井戸跡１基である。周溝墓のうち、１号、３号、４号周溝墓は本調査でも確認できたが、２号周溝墓は確認できなかった。１号周溝墓の埋葬主体部は２基からなり土壙墓（木棺墓？）であった。

円墳の周溝は本事業で検出したST11141古墳の周溝である。周溝内から須恵器有蓋高杯、壺、𤭯（ハソウ）が、鉄製品には鉄鐸６のほか鉄鎌、摘鎌、刀子、銛（ヤリガンナ）が、玉類として滑石製有孔円盤、滑石製臼玉、ガラス小玉、琥珀小玉、管玉、土製勾玉などがある。

2005年の唐津市教育委員会による調査は道路新設に伴うもので、本事業調査区の西方に位置する。調査対象地は低湿地帯にあたり、包含層から弥生時代後期、古墳時代前期、中期の土師器のほか木製品などが出土している。特筆される遺物として朝鮮半島系の軟質土器である棒状把手付き甑の破片が出土している。

２，遺跡の概要

中原遺跡は弥生・古墳時代の集落と墳墓および古代の官衙的な遺跡である。主に調査区の南半部に弥生・古墳時代の集落と墳墓が立地し、北半部から古代の官衙的的遺構や遺物が出土した。

遺跡は第Ⅱ章で述べたとおり標高約４ｍの砂丘微高地上に立地する。調査面積は約90,000㎡である。遺跡の現況はやや起伏がみられ、水田と宅地、畑地、墓地であった。現況の宅地は1980年代に開発された。聞き取りによるとそれ以前は古墳の墳丘らしき盛土があったと言う。

図６　調査区位置図（1/6000）

図６に調査区位置図を掲載する。遺跡の南方は標高272ｍの夕日山からのびる丘陵の裾部にあたる。この裾部から砂丘微高地が北方にのびる。夕日山の北麓裾部にある池ノ浦溜池は深い谷地形を利用している。旧地形は夕日山に源をもつ流路がこの谷地形を経由して旧松浦川に注いでいたと思われる。本調査区の南端に幅20～30ｍの落ち部がみられるが、夕日山から注ぎ出た自然流路であったかもしれない。このように概ね南北に形成された砂丘微高地は所々東西方向に走る谷状の地形によって分断される。本調査区内においても13区南端と２区、５区、７区にわたる谷地形がみられる。この谷地形は弥生時代には存在し、古墳、奈良・平安時代にかけて序々に埋没していく。本遺跡の評価をする上で以上のような旧地形の復元は欠かせない。

図７は本遺跡全調査区の遺構配置図である。図９は調査区毎に撮影した空中写真を合成したものである。図９の空中写真では黄褐色と黒褐色の部分が看て取れる。黄褐色の部分が砂丘微高地であり、黒褐色部分が低地部になる。砂丘微高地は11～13区にかけて広がる。砂丘微高地の南北両側は幅約20～30mの谷状地形になり、東側は緩やかに、西側はやや急に傾斜して低地部になる。従って、本調査区は独立した砂丘微高地をほぼ全掘したことになる。この砂丘微高地上に分布するのが弥生・古墳時代の集落と墳墓である。弥生時代の墳墓は甕棺墓約280基、土壙墓・木棺墓約20基、終末期の墳丘墓３基を検出した。甕棺、土壙墓、木棺墓は前期後半に出現し、中期前半から中期中頃にかけてピークをむかえ、中期後半から後期前半にかけて衰退していく。副葬品を所有する墓群が数群みられ特定有力集団墓を形成する。甕棺埋葬法や副葬品種別において唐津地域の弥生墳墓の地域性がみられる。甕棺埋葬法では埋置角度が他地域に比べて急傾斜であり、直立棺や倒置棺も多く見られる。口縁部の打ち欠きも多く、さらには打ち欠いた口縁部を墓壙に埋置するものもある。副葬品では円環型銅釧15点、硬玉製勾玉22点、碧玉製管玉約650点等装身具の卓越があげられる。

調査区南側の谷状地形から南西部の低地部にかけて非常に多くの土器（コンテナ1,000箱以上）が出土した。土器群の時期は中期中頃～後半を主体とし後期前半までである。これらの土器群に混じって青銅器の鋳型が４点出土した。４点とも両面鋳型であり、このうち２点が接合した。石材は石英―長石斑岩で中細形銅矛・銅剣の鋳型と思われる。鋳型片４点は調査区南西隅の比較的狭い範囲から多量の土器と共に出土している。調査区南側の谷状地形を挟んだ南側は調査区外になり、夕日山北麓裾部から北方にのびる砂丘微高地になる。ここに青銅器生産を行なった弥生集落中心部があると推定される。

また、上記の調査区南側の幅約20～30mの谷状地形は多量の杭を打ち込み、自然木を芯材として置いた堤防状の施設が造られる。堤防状の遺構には芯を中空に刳りぬいた木製の水管や、長さ約４ｍの木樋が埋置される。その周辺には木組遺構もあることから、堤防状施設は灌漑用か木の実などの水さらしの水量調節のための機能が考えられる。さらに、砂丘微高地西側縁辺の低地部からは、多量のヤスや石錘などの漁撈具が出土しており、中原遺跡は旧松浦川岸に立地していたことを伺わせる。

弥生時代終末期には特定個人墓である墳丘墓３基が出現する。平面形態は方形と長方形であり、いずれも西側に陸橋部をもち周溝が巡る。主体部は刳り貫き式の木棺で、棺内から硬玉製異形勾玉や碧玉製管玉、棺外から破砕された内行花文鏡や鉄剣が出土している。さらに周溝内埋葬施設もあり棺外から破砕された方格規矩鏡や鉄鏃、鉄剣が出土した。また、土壙墓・木棺墓群が４群あり破砕された獣帯鏡や折れ曲がった鉄剣、硬玉製勾玉、碧玉製管玉などが出土した。

古墳時代初頭には墳長約25mの前方後円墳が造られる。主体部は削平されていたが、周溝内から石棺を確認した。さらに周溝を共有して周溝墓４基と平面方形、隅丸方形の周溝墓４基も造られる。

古墳時代中期の円墳３基と後期の前方後円墳1基も確認した。前方後円墳は墳長31.5mで内部主体は削平されていた。時期は６世紀中頃と思われる。

砂丘微高地は調査区の北側にも見られる。２区、３区、５区、７区の調査区北半部にみられ、この砂丘微高地上から古代の掘立柱建物群や井戸跡などを検出した。この砂丘微高地と前述した弥生・古墳時代の墳墓と集落が立地する砂丘微高地の間は谷状の地形になり、その中に流路が東西方向に横切る。検出した流路の総延長は約360mであり、流路からは木簡、墨書土器、緑釉陶器、奈良三彩の他、曲物、挽物皿等の木製品が多量に出土した。古代の官衙的遺構や遺物は全調査区の北半部の谷状地形にある流路や溝跡さらに砂丘微高地上にて検出した。

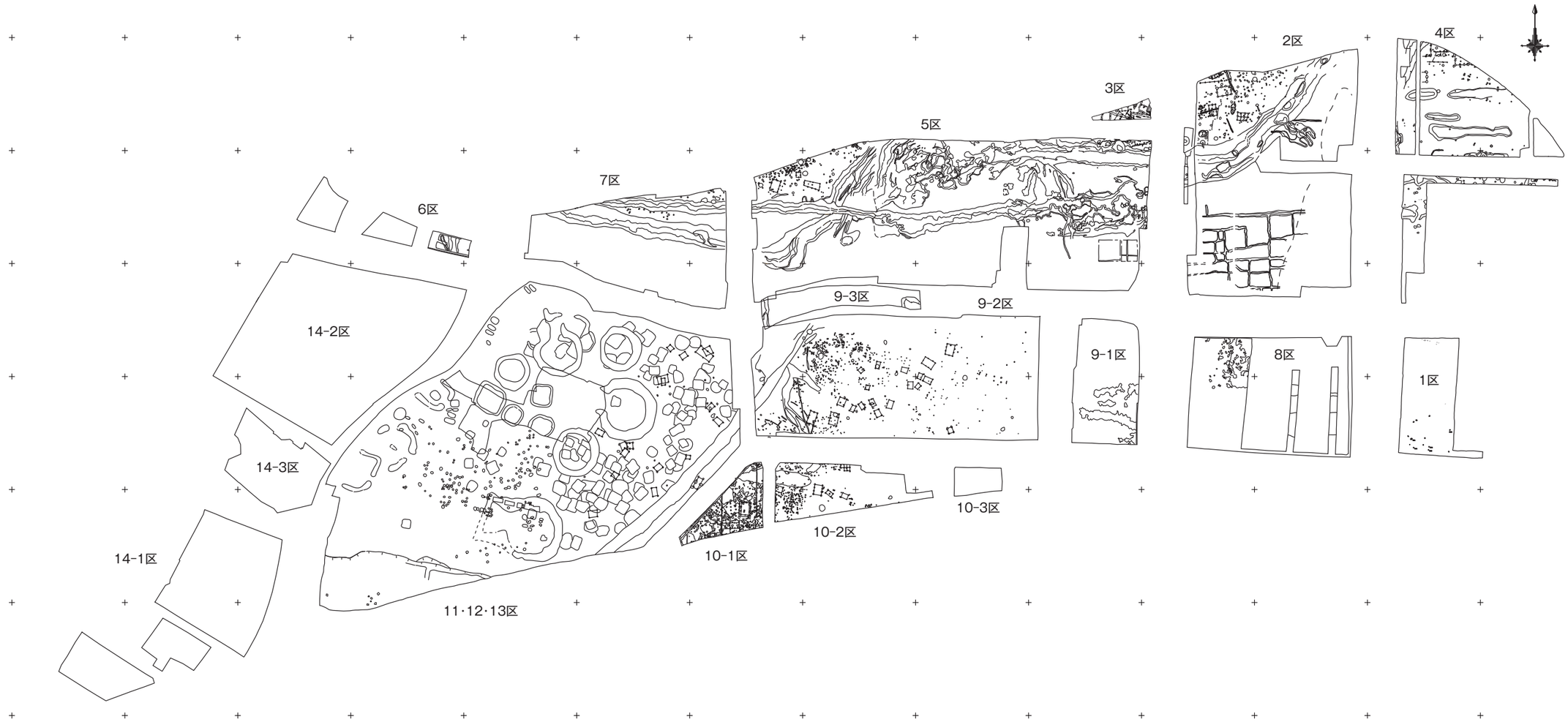


図７　中原遺跡全調査区遺構配置図（1/2000）

52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33

M N O P Q R S T U V W X Y Z

SK12091 SC12092 SX12038 SK12083 SK12086 SK12087 SK12088 SX12065 SX12012 SX12081 ST11067 ST12032 ST12002 １２区 唐津市教委調査区 SX12048 ST13415 SP13231 SP13252 SK13251 SP13265 SP13230 SP13420 SP13418 1号周溝墓 3号周溝墓 4号周溝墓 ST11002 １１区 ST13414 ST13398 ST11141 日仏合同調査トレンチ １３区 ST11158

0 50m

図８　11・12・13区遺構配置図（1/600）

図９　中原遺跡全景

図10は本調査区の全遺構配置図を地形測量図に組み込み、遺跡の概略を示したものである。アミ部分は低地になる。11～13区の砂丘微高地に弥生・古墳時代の墳墓と集落が立地し、南側の谷状地形をはさんで未調査ではあるものの、弥生時代の集落の中心部があることが予測される。古代の官衙関連施設や集落は弥生・古墳時代の遺跡が立地する砂丘のさらに北側の砂丘微高地に立地する。この砂丘微高地の東西幅は不明であるが、おおよそ370m、南北は約150mである。この範囲に古代の官衙関連施設や集落が立地すると予想される。

本報告書は南側の砂丘微高地上に立地する甕棺墓群の報告である。

図10　遺跡概略（1/6000）

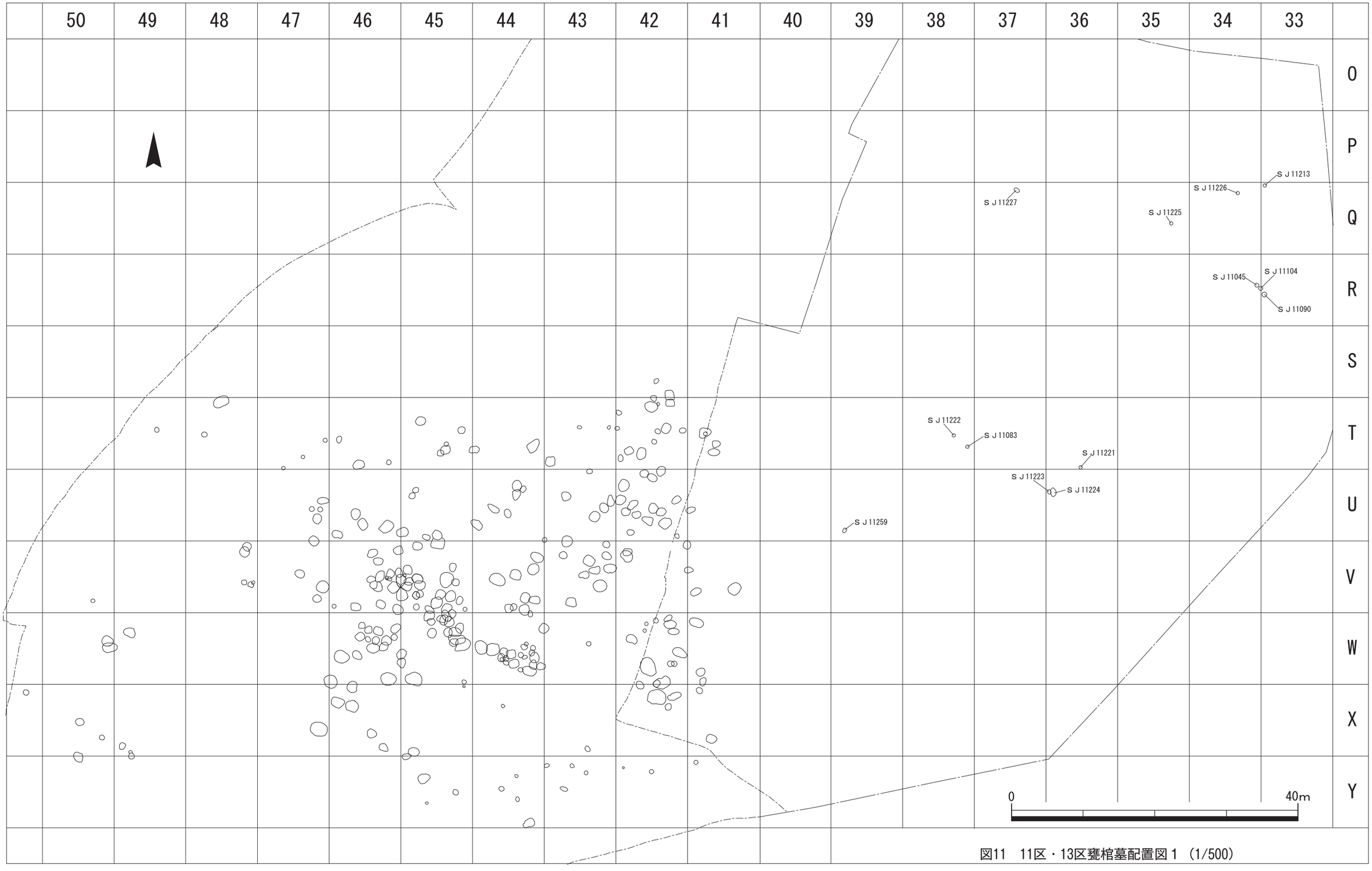


図11　11区・13区甕棺墓配置図１（1/500）

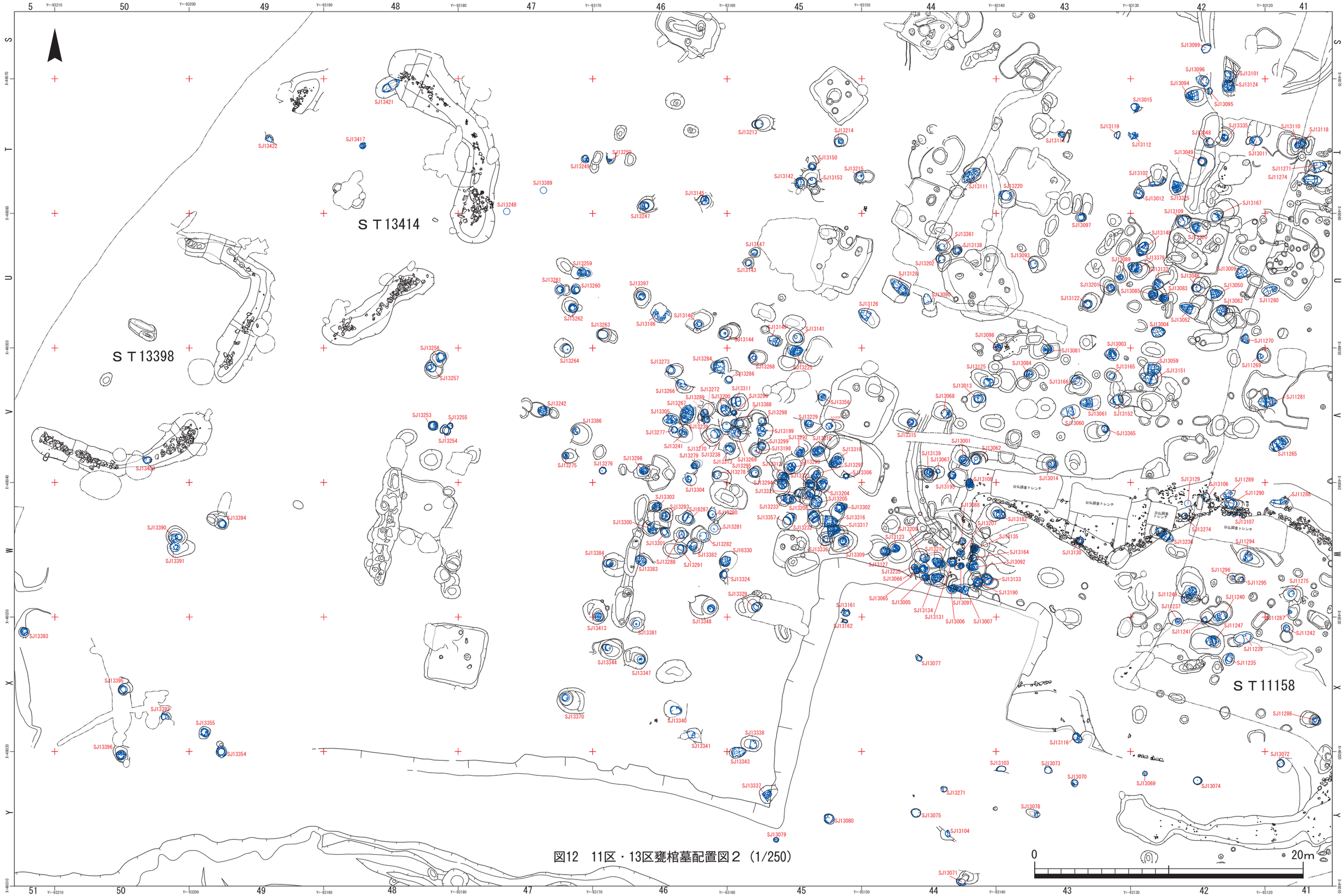


図12　11区・13区甕棺墓配置図２（1/250）

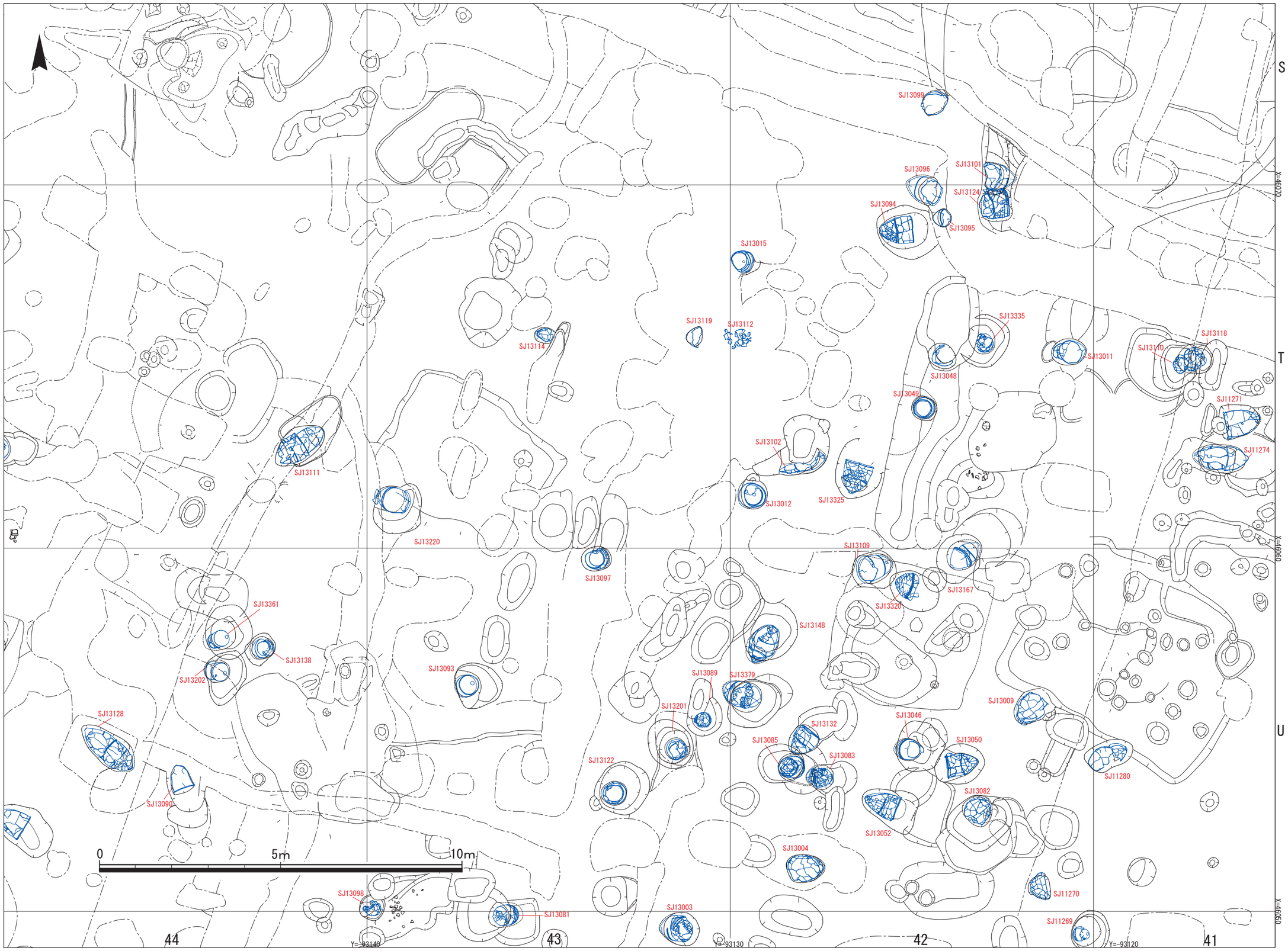


図13　甕棺墓出土状況１（1/100）

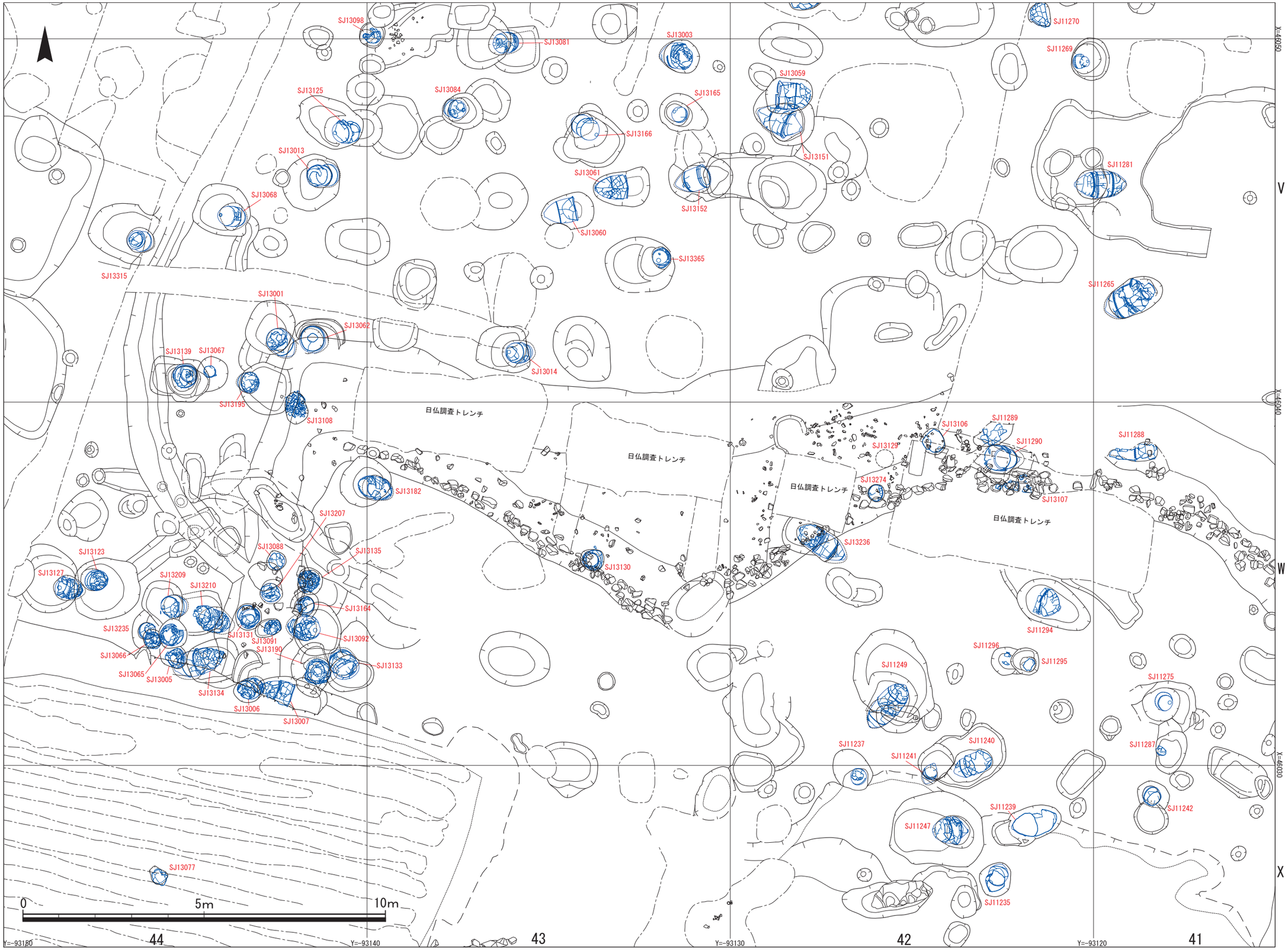


図14　甕棺墓出土状況２（1/100）

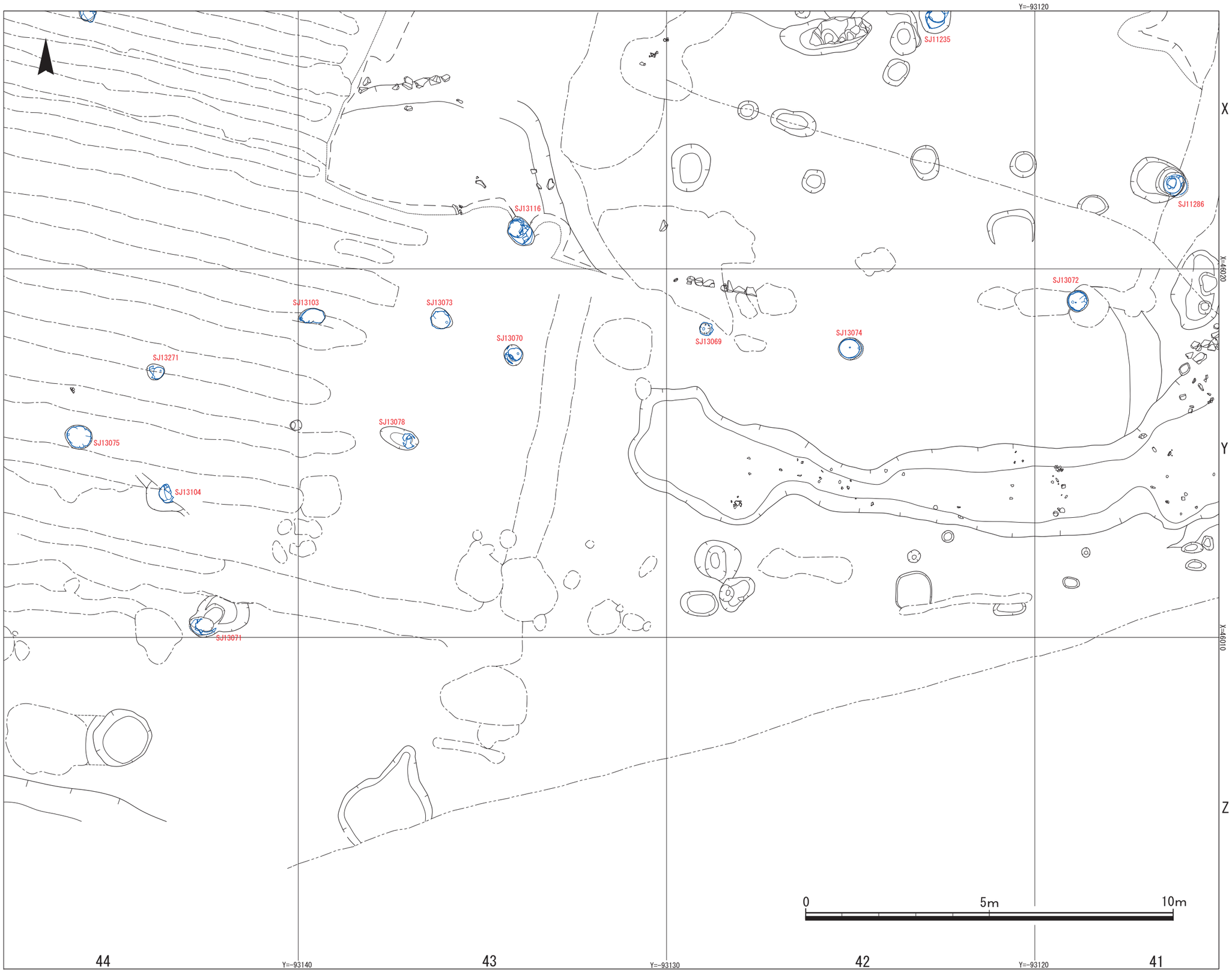


図15　甕棺墓出土状況３（1/100）

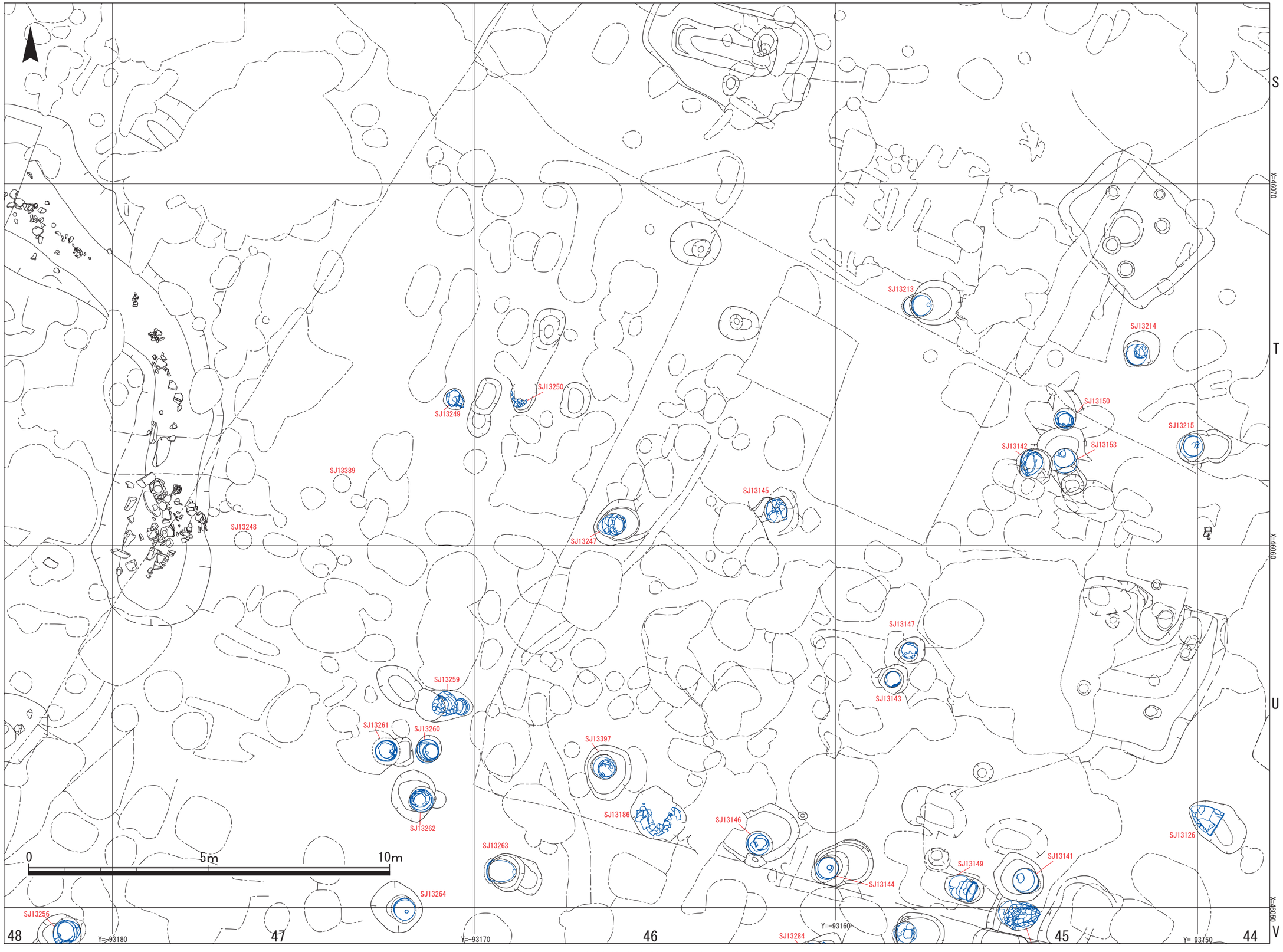


図16　甕棺墓出土状況４（1/100）

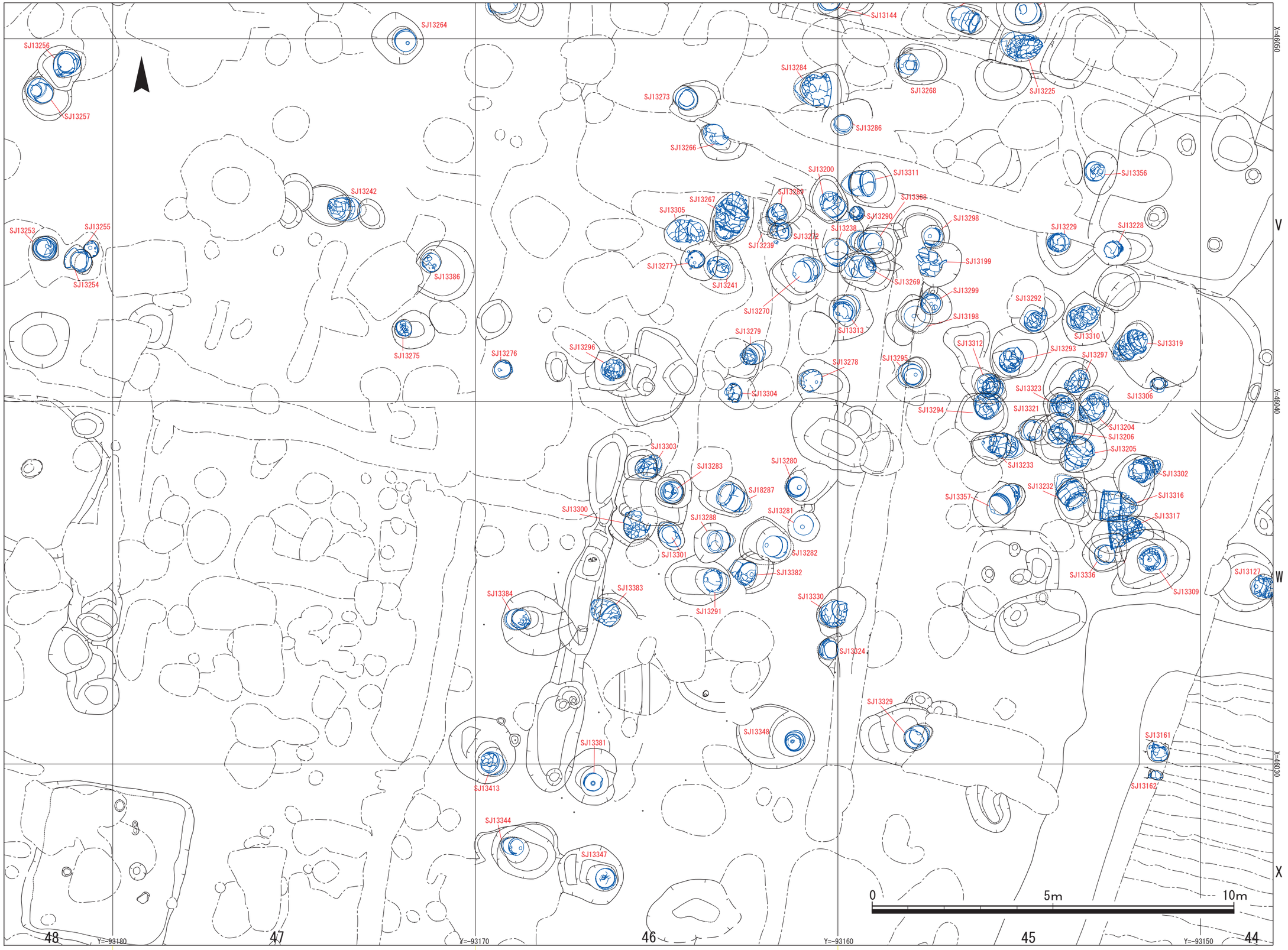


図17　甕棺墓出土状況５（1/100）

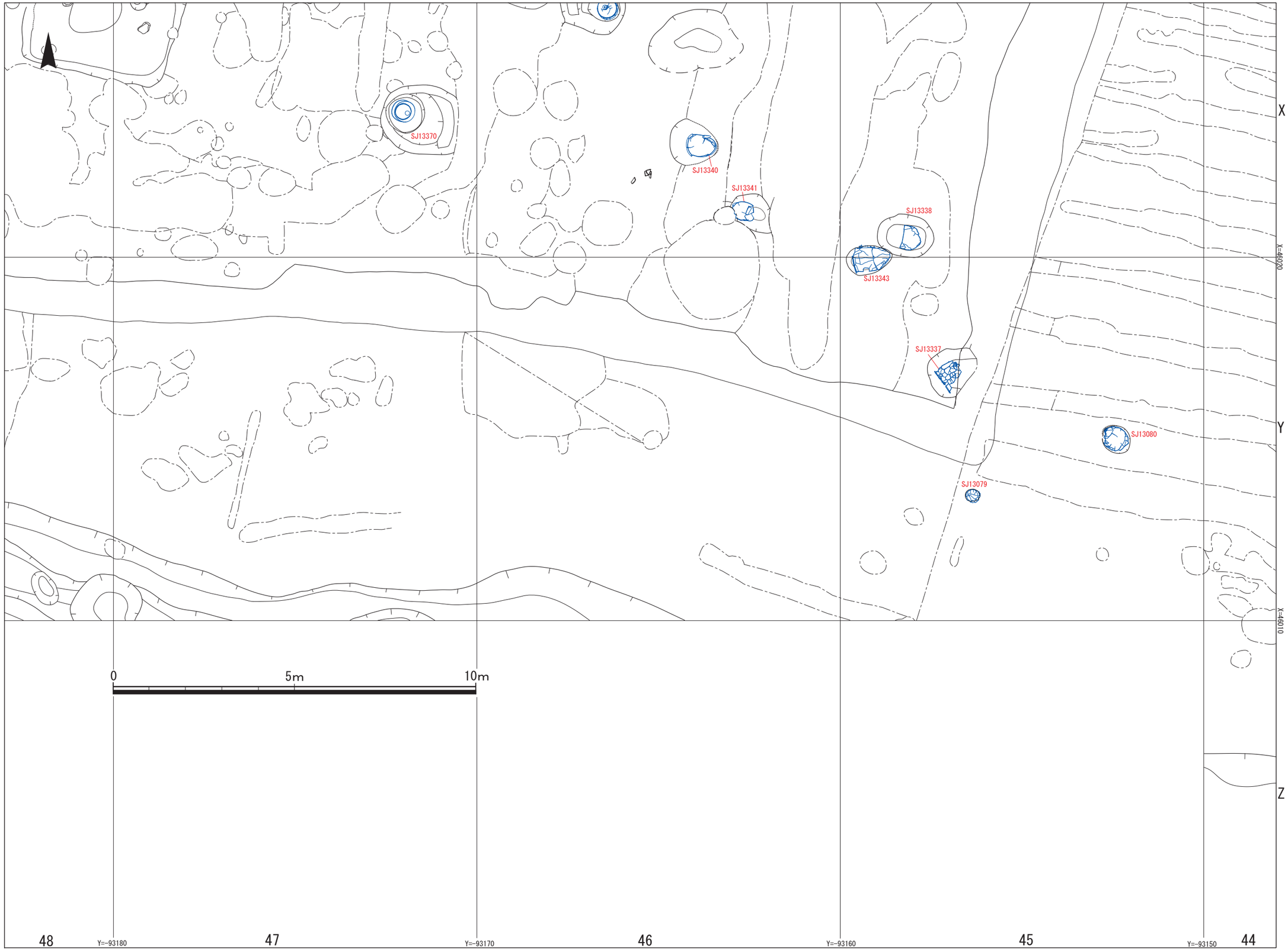


図18　甕棺墓出土状況６（1/100）

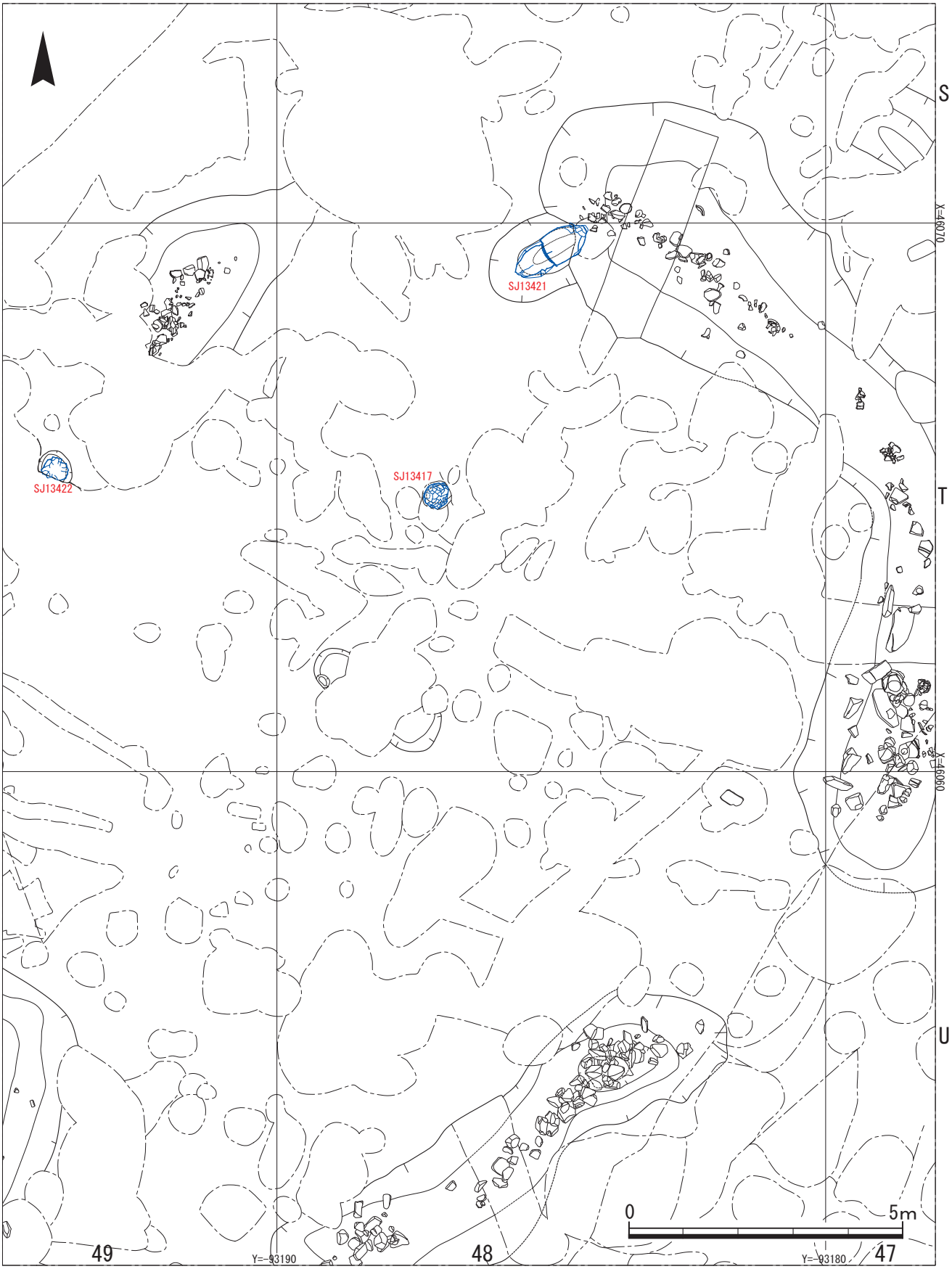


図19　甕棺墓出土状況７（1/100）

図20　甕棺墓出土状況８（1/100）

Ⅳ．11区・13区の甕棺墓の調査

１，概要

11区で39基、13区で242基の計281基の甕棺墓を調査した。甕棺墓群が立地する砂丘微高地の全範囲が調査対象地であったため墓域全域を発掘したことになる。この砂丘微高地を便宜上、11区、12区、13区に分けた。砂丘微高地の東側半分である11区は竪穴住居群と古墳が立地し、甕棺墓は極めて希薄である。11区の甕棺墓は単独が多く、２基あるいは３基の群集がみられるだけである。砂丘微高地の西側縁辺部にあたる13区の西側も単独あるいは２～３基の群集がみられるのみで甕棺墓群は希薄になる。それに対して砂丘微高地の南西部にあたる13区は甕棺墓群が密集しており竪穴住居群は希薄になる。但し、遺構や近・現代の宅地開発により破壊、削平を受けたものもあり、遺存状態が極めて悪いものがみられ、破片のみの検出もあった。そのため遺構図面がない甕棺墓もある(SJ11222、SJ13129、SJ13239、SJ13248、SJ13389)。図11・12は11区・13区の甕棺配置図で、図13～20は甕棺墓出土状況図である。遺構図面がない甕棺墓は甕棺配置図中に○で図示している。表６～８は時期別にみた甕棺副葬品の一覧表である。一覧表には石剣、青銅製切先、石鏃も含む。この時期はⅥ章の編年試案による。

中原遺跡の甕棺墓群の出現時期はⅠ-1期（弥生時代前期前半）であり、Ⅰ期の甕棺墓は15基造られる。その墓域は13区の北西部で、70m×15mの範囲である。この中で副葬品を所有するのはSJ13417のみで、碧玉製管玉10点と丸玉１点が出土した。

Ⅱ-1期（中期初頭）の甕棺墓は９基あるが、その分布範囲はⅠ期の甕棺墓分布域と重なる。Ⅱ-2期（中期前半）になると甕棺墓が急激に増加し、その分布範囲も砂丘微高地の全域に広がる。また、銅矛、円環型銅釧、石製玉類などの副葬品を所有する甕棺墓が群をなして形成する。その期間はⅡ-2期からⅡ-5期までである。

Ⅱ-6期にはいると、再び様相が変化し甕棺墓は衰退していく。Ⅱ-6期からⅢ期の甕棺墓は11区や13区南側にまばらに分布する。とくに41Grと42Grの境に、45m×５mの範囲で、甕棺墓が南北方向に列状に分布し、これらの甕棺墓は鉄矛、鉄斧、鉄製鉇（ヤリガンナ）、石製玉類などの副葬品を所有する。Ⅲ-1期まで甕棺墓は少ないながらもつくられる。

２，遺構

11区、13区の甕棺墓一覧表を掲載する。この一覧表は調査担当者である松浦智、川副麻理子、谷洋一郎が作成したものに加筆、訂正した。

甕棺墓は後世の遺構や近・現代の宅地開発により破壊、削平を受けたものもあり、遺存状態が極めて悪いものもあり、破片のみの検出の場合など甕棺墓の個別図がないものもある。また、甕棺墓であるか否か疑わしい遺構も一覧表には含まれる。疑わしい遺構にはSJ11226、SJ13286、SJ13306がある。これらは甕棺の体部下半を欠失した口縁部のみ検出されている。ただし、SJ13286は口縁部の下方をあたかも墓壙のように掘り込んでいることや、口縁部は打ち欠かれていることから甕棺墓の可能性も考えられる。

甕棺墓は単棺か複式棺であり、複式棺は口縁部を合わせ口にするものが大半である。単棺は傾斜をもつかあるいは水平気味に埋置するが、口縁部を下に向けた倒置棺もみられる。複式棺の合わせ口には覆口式、挿入式、接口式があるが、覆口式の割合が他地域に比べて多い。とくに唐津地域に特徴的な覆口式として直立気味に埋置した下甕を完全に上甕で覆う方法がある。下甕には胴部上半を打ち欠いた甕や口頸部を打ち欠いた広口壺、鉢、小型甕などが用いられる。SJ13295は人骨が遺存した良例であり、人骨

鑑定から被葬者は熟年～老年の男性で、埋葬姿勢は座位屈葬であることが判った。埋葬姿勢に座位屈葬を選択したため倒置棺や直立気味の覆口式棺がみられる。ただし、覆口式甕棺の下甕が鉢や小型甕には成人は納まらないことから、その被葬者は乳、幼児か小児であろう。

また、複式棺で特異な埋葬例として、SJ11265は３個体の甕棺から構成される。下甕は口縁部を欠失した大型甕で、その上に体部下半を打ち欠いた大型甕を置く。但し口縁部は上方を向いており、それを塞ぐかのように、さらに別個体の甕棺の上半部の破片を埋置する。SJ13009は大型甕の底部を欠失しており、それを補うかのように、別個体の甕棺の上半部を埋置する。

以上のように、唐津地域の甕棺の埋葬法は甕棺埋置角度が急傾斜であることや倒置棺や直立気味の覆口式甕棺墓がみられること、目張り粘土を多用しないことなど他地域に比べて地域性がみられることが本遺跡の調査でも明瞭になった。

⑴ 遺物出土の甕棺墓

11区・13区の甕棺墓281基のうち副葬品あるいは石鏃、磨製石剣、青銅製切先などが出土した甕棺は11区13基、13区81基の計94基である。

副葬品は武器として青銅製矛や鉄製矛、工具では板状鉄斧、鉄製鉇（ヤリガンナ）、装身具では円環型銅釧、硬玉製勾玉、管玉、小玉や瑪瑙製管玉、碧玉製管玉などがある。

以下、副葬品などが出土した主な甕棺墓について記す。

SJ11235

X-42区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央部にあたり、隣接して北方にSJ11235が西方にSJ11247がある。

上甕が広口壺で下甕が甕の複式棺で覆口式である。上甕である広口壺は口頸部を打ち欠く。墓壙は不整円形で、埋置角度は47度である。棺内から硬玉製勾玉１点が出土した。

SJ11239

X-42区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央部にあたり、隣接して南方にSJ11235が西方にSJ11247が、北方にSJ11240、SJ11241がある。

上下とも甕の複式棺で接口式である。上甕より下甕が小形であり、口縁部を打ち欠く。上甕も口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は35度である。棺内から硬玉製勾玉１点、碧玉製管玉７点が出土した。

SJ11240

W-42区画とX-42区画の境界で墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央部にあたる。墓壙の西側はSJ11241と切り合う。隣接して北方にはSJ11249、SJ11295が、南方にはSJ11239、SJ11247がある。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕は口縁部を打ち欠く。１次墓壙は楕円形で、埋置角度は26度である。下甕から碧玉製管玉16点が出土した。

SJ11241

W-42区画とX-42区画の境界で墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央部にあたる。

墓壙の東側はSJ11240と切り合う。隣接して北方にはSJ11249、SJ11295が、南方にはSJ11239、SJ11247が西方にはSJ1237がある。

上下とも小型甕の複式棺で接口式である。１次墓壙は楕円形で、埋置角度は53度である。下甕から碧

玉製管玉４点が出土した。

SJ11242

X-41区画で、墓域の南東部隅に位置する。ST11158前方後円墳の後円部にあたり、隣接して北方にSJ11112が、南方約4.4mにSJ11286が西方約2.5mにはSJ11239がある。

甕の単棺で、口縁部は打ち欠く。墓壙は不整円形で、埋置角度は55度である。棺内からガラス製管玉１点が出土した。

SJ11247

X-42区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央部にあたり、隣接して東側からSJ11235、SJ11239、SJ11240、SJ11241、SJ11237がある。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。上甕より下甕が小形であり、口縁部を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は45度である。

下甕から切先を下に向けた銅矛１が出土した。銅矛の上方数cmから人骨片も出土した。人骨鑑定では上肢骨、下肢骨で男性（成人）との結果がでている。

SJ11249

X-42区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部中央にあたり、隣接して南方にSJ11237、SJ11240 SJ11241が、東方にSJ11295がある。

上下とも甕の複式棺で接口式である。上甕は口縁部内側を下甕は口縁部外側をそれぞれ打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、墓壙の長軸に直交して２次墓壙を掘削する。埋置角度は34度である。棺内から硬玉製勾玉１点、硬玉製管玉１点、碧玉製管玉39点が出土した。

SJ11271

T-41区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して南方にSJ11272、SJ11274がある。甕の単棺で、上部を削平され１次墓壙は不明である。埋置角度は１度であり、ほぼ水平である。棺内から碧玉製管玉８点が棺外から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ11275

W-41区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の後円部にあたり、隣接して南方にSJ11112が東方約3.2mにSJ11294、SJ11295がある。

上下とも甕の複式棺で、上下甕とも口縁部を打ち欠いて接口式におさめる。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は76度である。棺内から碧玉製管玉３点と鉄製鉇（ヤリガンナ）１点、人骨片が出土した。

SJ11280

U-41区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13009、SJ13082が、南方約3.8mにSJ11270がある。上下とも甕の複式棺で覆口式である。上甕は口頸部を大きく打ち欠き、下甕は口縁部を打ち欠く。上半部を削平され１次墓壙は不明である。埋置角度は16度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ11281

V-41区画とV-42区画の境界で墓域の北東部に位置する。北方約2.5mにSJ11269が南方約2.5mにSJ11265がある。

上下とも甕の複式棺で、上甕は口頸部を打ち欠き、接口式におさめる。１次墓壙は楕円形で大きく削平される。埋置角度は21度である。棺内から碧玉製管玉５点、瑪瑙製管玉１点が出土した。

SJ11290

W-42区画で、墓域の南東部に位置する。ST11158前方後円墳の周溝内で、日仏合同調査トレンチの北側にあたる。隣接して西方にSJ11289が南西にSJ13107がある。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕上半部は削平される。埋置角度は49度である。棺内から硬玉製勾玉１点と碧玉製管玉８点および人骨片が出土した。人骨片は上肢骨で男性との鑑定であった。本甕棺はST11158周溝と切りあっているが、棺外と思われる埋土中から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ11294

W-41区画とW-42区画の境界で、墓域の南東部に位置する。北方約2.5mにSJ11283が南方約1.9mにはSJ11295がある。

甕の単棺で、口頸部を大きく打ち欠く。底部を上にむけ、倒置気味に埋置する。墓壙は長楕円形で、埋置角度は33度である。壙底から板状鉄斧１が出土した。

SJ13007

W-44区画で、墓域の中央よりやや南側に位置する。隣接して東方にSJ13190、SJ13133、西方にSJ13006、北方にSJ13131、SJ13091、SJ13092がある。

甕の単棺である。墓壙の上部と南側を削平される。墓壙は楕円形で、埋置角度は０度と水平である。棺内から碧玉製管玉６点が出土した。

SJ13009

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して東方にSJ11280、南方にSJ13050、SJ13082がある。

甕棺上半部を大きく削平される。底部を失った甕の単棺であり、欠失した底部を補うように甕棺の口頸部で覆う。埋置角度は０度と水平である。棺内から鉄製鎗（ヤリガンナ）１点が出土した。

SJ13011

T-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13335が、東方にSJ13110、SJ13118がある。上甕から下甕の上半部にかけて大きく削平される。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕は口縁部を打ち欠く。埋置角度は30度である。下甕からやや浮いた状態で鉄矛１が出土した。

SJ13049

T-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して北方にSJ13048が、南方にSJ13325がある。

甕の倒置棺である。底部から胴部下半にかけて削平される。墓壙は円形であり、口縁部を壙底に接する。墓壙の規模は甕棺の大きさに合わせて掘削されたようである。埋置角度は85度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13050

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13046が、南方にSJ13082が、北東にSJ13009がある。

甕の単棺である。墓壙の上部と甕棺上半部を若干削平される。墓壙は不整円形で、埋置角度は０度と水平である。棺内から碧玉製管玉31点が出土した。

SJ13052

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13083が、東方にSJ13082が、北方にSJ13046がある。

甕の単棺である。墓壙の上部が削平される。墓壙は隅丸三角形で、埋置角度は－８度と口縁部がやや

下向きである。棺内から碧玉製管玉５点が出土した。

SJ13059

V-42区画で、墓域の東側中央部に位置する。隣接して南方にSJ13151が、北方にSJ13004がある。

甕の単棺である。墓壙の上部が削平され、埋置した甕棺の上半は破壊される。墓壙は楕円形で、埋置角度は７度と水平に近い。棺内から碧玉製管玉６点が出土した。

SJ13060

V-43区画で、墓域の東側中央部に位置する。隣接して東方にSJ13061がある。

甕の単棺である。墓壙の上部が削平される。墓壙は楕円形で、埋置角度は０度と水平である。棺内の口縁部近くから頭蓋骨と上肢骨片が出土した。人骨は男性で壮～熟年との鑑定であった。また、碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13068

V-44区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して西方にSJ13315が、東方にSJ13013がある。

上下とも甕の複式棺で接口式である。下甕の底部は埋置段階で欠損している。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は58度と傾斜が強い。下甕底部付近から人骨と碧玉製管玉６点が出土した。人骨は頭蓋骨と四肢骨片で熟年男性との鑑定であった。

SJ13069

Y-42区画で、墓域の南東部に位置する。隣接して東方3.2mにSJ13061が、西方約４mにSJ13070がある。本来甕棺の大半は削平を受け、底部のみの遺存であった。本甕棺および周辺の甕棺は大きく削平されていることから旧地形はもっと高かったと推定できる。

底部のみではあるが埋置角度は76度と直立気味である。棺内からガラス小玉233点が出土した。

SJ13071

Y-44区画で、墓域の南部に位置する。隣接して北方にSJ13104がある。甕棺の胴部大半は撹乱を受け、甕棺胴部の一部の遺存であった。墓壙も削平および撹乱をうける。

棺外からガラス小玉１点が出土した。

SJ13074

Y-42区画で、墓域の南東部に位置する。隣接して西方3.2mにSJ13069が、北西方約1.5mにSJ13072がある。甕棺の上半部は削平を受け、胴部から底部にかけての遺存であった。一次墓壙も削平される。

埋置角度は57度と傾斜が強い。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13082

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して北西方にSJ13050が、北東方にSJ13009、SJ11280が、南東方にSJ11270がある。

甕棺の上半部は削平、撹乱をうける。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は13度と水平気味である。棺内から硬玉製勾玉１点と碧玉製管玉１点が出土した。また、棺外？から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13083

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13085が、北西方にSJ13132が、東方にSJ13052が、南方にSJ13004がある。１次墓壙および上甕上半部が削平される。

上甕は広口壺、下甕は鉢の複式棺である。上甕の広口壺の口頸部は打ち欠いており、下甕である完形の鉢に挿入する。１次墓壙はやや不整な楕円形で埋置角度は47度である。棺内から碧玉製管玉５点が出土した。

SJ13085

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して北方にSJ13132が、東方にSJ13083が、北西方にSJ13089が、南西方にSJ13201がある。上甕の上部が破壊される。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺で覆口式である。上甕の甕の口縁部内側は打ち欠く。下甕の広口壺は口頸部から肩部にかけて打ち欠き、鉢状の器形になる。１次墓壙は楕円形で埋置角度は81度と直立気味である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13088

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して東方にSJ13135が、南方にSJ13207がある。本来甕棺の大半は削平を受け、底部のみの遺存であった。底部のみではあるが埋置角度は55度である。棺内から碧玉製管玉４点、棺外から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13092

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して西方にSJ13207、SJ13091が、東方にSJ13164が、北方にSJ13135が、南方にSJ13133がある。１次墓壙上半部が削平され、上甕も破壊される。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。合わせ口部が破壊されており、合わせ口の方法が不明であるが、口径などから接口式か挿入式であろう。１次墓壙は楕円形で埋置角度は42度である。棺内から碧玉製管玉107点が出土した。甕棺出土の玉類では本遺跡のみならず全国で最多である。棺外からも碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13093

U-43区画で、墓域の北東部に位置する。南東約2.5mにSJ13122が、北東約3.8mにSJ13097がある。

甕を倒置式に埋置する。甕の口縁部内側は打ち欠く。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は77度である。墓壙内から黒曜石製石鏃１点が出土した。

SJ13106

W-42区画で、墓域の東側に位置する。隣接して東方にSJ11289が、南方にSJ13129がある。甕棺の上半部は削平を受け、底部から胴部一部の遺存であった。埋置角度は61度である。棺内から碧玉製管玉８点が出土した。

SJ13107

W-42区画で、墓域の東側に位置する。隣接して西方にSJ13129が、北西方にSJ13106が、北方にSJ11289が、北東方にSJ11290がある。ST11158前方後円墳の周溝内にあたり、日仏合同調査トレンチにも隣接する。甕棺は周溝により破壊されおり、甕の底部と胴部片とともに碧玉製管玉７点が出土した。

SJ13110

T-41区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して東方にSJ13118がある。

広口壺を倒置式に埋置する。広口壺は口頸部から肩部にかけて打ち欠く。墓壙は隅丸方形で埋置角度は82度である。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13112

T-43区画で、墓域の北東部に位置する。西方約60cmにSJ13119が、北西約１mにSJ13113がある。

中型甕の単棺であり、上部は著しく破壊されていた。甕棺の中央付近から数cm浮いた状態で円環型銅釧３点と碧玉製管玉６点が出土した。円環型銅釧は極細身で３点は重なって出土した。

SJ13118

T-41区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にあるSJ13118と切り合う。墓壙は切り合いに

よって不明である。

口縁部を打ち欠いた甕の単棺である。埋置角度は24度である。棺内から碧玉製管玉７点が出土した。

SJ13119

T-43区画で、墓域の北東側に位置する。隣接して東方にSJ13112が、北方にSJ13113がある。甕棺の上半部は削平を受け、底部のみの遺存であった。埋置角度は37度である。棺内から人骨片と碧玉製管玉６点が出土した。人骨は四肢骨片で女性（成人）との鑑定である。

SJ13123

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して西方にSJ13127が、東方にSJ13235、SJ13209がある。上甕上部が破壊される。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。上甕の口縁部内側を打ち欠く。下甕は口縁部を打ち欠く。墓壙は隅丸方形で埋置角度は68度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13125

V-44区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して南方にSJ13013が、北東方にSJ13098がある。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺であり覆口式か。上甕は口縁部内側を打ち欠く。下甕は広口壺で口頸部から肩部を打ち欠く。墓壙は楕円形で埋置角度は78度である。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13130

W-43区画で、墓域の東側に位置する。東方約4.4mにSJ13236が、北東約５mにSJ13004が、西方約6.3mにSJ13132がある。上甕の上半部が大きく削平される。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。下甕は口縁部を打ち欠く。埋置角度は82度である。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13132

U-42区画で、墓域の東側に位置する。隣接して北方にSJ13379が、南方にSJ13085、SJ13083がある。墓壙は大きく削平される。

甕の単棺であり、ほぼ水平に埋置される。埋置角度は４度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13133

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して南方にSJ13190が、北方にSJ13092がある。墓壙上部は大きく削平される。

甕の単棺であり、急傾斜に埋置される。埋置角度は60度である。棺内から碧玉製管玉４点、ガラス玉１点、石鏃１点が出土した。また、棺外からも石鏃１点が出土している。

SJ13134

W-44区画で、墓域の中央よりやや南方に位置する。隣接して北方にSJ13210が、西方にSJ13005、SJ13065が、東方にSJ13131、SJ13006がある。

上下とも甕の複式棺で接口式である。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は39度である。

下甕の底部から約20cmの位置から円環型銅釧12点と碧玉製管玉12点が指の骨とともに出土した。出土遺物の周辺で甕棺の直上には厚さ２～５㎜の葦状の植物遺体が遺存していた。これらの植物遺体は編んではおらず、敷き詰めた状態であった。銅釧は植物遺体から約2.5～４cmほど浮いた状態で出土した。個々の銅釧の表面にはタール状の付着物がみられた。

現場での写真撮影後、銅釧は脆弱なため甕棺ごと取り上げ、室内で出土状況の図化作業を行い、甕棺

ごと保存処理委託を実施した。銅釧12点のうち１点は浮いていたため図化せず取り上げ、10点は出土状況の番号を付けて取り上げた。

No.7、No.8、No.10とNo.1、No.3、No.4、No.5は本来重なっていたものがずれ落ちた状態で出土しているように見える。銅釧の間には指の骨が出土していることからも、腕に着装されていた可能性が高い。ただし、片腕にすべて着装していたのか、両腕に着装していたかは不明である。

SJ13135

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して南方にSJ13164が、北方にSJ13132が西方にSJ13088がある。墓壙上部は大きく削平され、甕棺上半部は小破片となって旧状をとどめる。

棺体は鉢の単棺であり、口縁部を壙底にむけた倒置式である。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13144

U-45区画とU-46区画の境界で、墓域の中央部やや北側に位置する。隣接して西方にSJ13146が、南方にSJ13284が、南西方にSJ13268がある。墓壙上部は大きく削平される。

棺体は甕の単棺であり、口縁部を壙底にむけた倒置式である。壙底から約20㎝の厚さで埋土を置いた上に甕を埋置する。埋置角度は84度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13146

U-46区画で、墓域の北西部に位置する。隣接して東方にSJ13144が、北西方にSJ13186がある。墓壙上部は削平され、甕棺上半部も遺存しない。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺で挿入式である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠き、下甕の甕は口縁部を打ち欠く。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は61度である。棺内から碧玉製管玉41点が出土した。

SJ13164

W-44区画で、墓域の南部に位置する。隣接して北方にSJ13135が、東方にSJ13092、SJ13207がある。墓壙上部は大きく削平される。棺体は甕の単棺であり、口縁部を壙底にむけた倒置式である。口縁部内側を打ち欠く。埋置角度は90度である。棺外から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13200

V-45区画とV-46区画の境界で、墓域の中央部に位置する。隣接して東方にSJ13290が、北西方にSJ13286が、南方にSJ13270があり甕棺の密集部である。墓壙上部は削平され、甕棺上半部も破壊される。

上、下とも甕の複式棺で接口式である。上甕は口縁部を打ち欠き、下甕は口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は41度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13206

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して東方にSJ13205が、西方にSJ13233が、北方にSJ13321があり甕棺の密集部である。墓壙上部は削平され、甕棺上半部も破壊される。

上、下とも甕の複式棺で接口式である。上甕は口縁部を打ち欠き、下甕は口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は平面円形で、埋置角度は53度である。棺内から硬玉製勾玉１点が出土した。

SJ13210

W-44区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して西方にSJ13209が、東方にSJ13131が、南方にSJ13134がある。

上、下とも甕の複式棺で接口式である。１次墓壙は平面方形で、埋置角度は45度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13214

T-45区画で、墓域の北部に位置する。隣接して南方にSJ13215が、西方にSJ13150がある。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺で覆口式である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠き、下甕は口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は66度である。棺内から碧玉製管玉９点が出土した。

SJ13215

T-44区画とT-45区画の境界で、墓域の北部に位置する。隣接して北方にSJ13214が、東方にSJ13150、SJ13153、SJ13142がある。

上、下とも甕の複式棺で覆口式である。上甕は口縁部を打ち欠き、下甕は胴部上半までを打ち欠く。１次墓壙は平面方形で、埋置角度は90度と下甕は直立する。棺内から碧玉製管玉６点が出土した。

SJ13220

T-43区画で、墓域の北部に位置する。隣接して西方約3.1ｍにSJ13111が、東方約５ｍにSJ13097がある。墓壙上部は削平を受ける。

上甕は鉢、下甕は甕の複式棺である。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は56度である。棺内から碧玉製管玉５点が出土した。

SJ13232

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して東方にSJ13316、SJ13317、SJ13336がある。墓壙上部は大きく削平される。

甕の単棺である。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は28度である。棺内から硬玉製勾玉１点、硬玉製管玉２点、碧玉製管玉20点が出土した。

SJ13233

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して東方にSJ13206が、北東方にSJ13321が、北西方にSJ13294が、南西方にSJ13357がある。墓壙上部は削平される。

上下とも甕の複式棺で接口式である。上下の甕とも口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は45度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13241

V-46区画で、墓域の中央部やや西側に位置する。隣接して北方にSJ13267が、北西方にSJ13240があり、西方のSJ13277と切り合う。墓壙上部は削平される。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕は口縁部を打ち欠く。埋置角度は68度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13253

V-48区画で、墓域の西側に位置する。隣接して東方にSJ13254、SJ13255がある。墓壙上部は削平され、上甕の上半部も欠失する。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕は胴部上半部を打ち欠く。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は82度である。下甕を壙底に埋置し、埋土で固定したのちに上甕で覆う。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13259

U-47区画で、墓域の北西部に位置する。隣接して南方にSJ13260、南西方にSJ13261がある。墓壙上部は削平される。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺である。上甕と下甕の間に十数cmの隙間がある。下甕の広口壺は口

頸部を打ち欠く。埋置角度は51度である。棺内から青銅製切先１点が出土した。

SJ13270

V-46区画で、墓域の中央部やや西側に位置する。隣接して北方にSJ13200、西方にSJ13272があり甕棺の密集部にあたる。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。上下甕とも口縁部を打ち欠く。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は55度である。棺内から碧玉製管玉２点と人骨片が出土した。

SJ13272

V-46区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して北方にSJ13239が、東方にSJ13270が、西方にSJ13267がある。墓壙上部は攪乱をうける。

上下とも壺の複式棺で覆口式である。上下の広口壺とも口頸部を打ち欠く。埋置角度は44度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13274

W-42区画で、墓域の南東部に位置する。隣接して北方にSJ13129が、南方にSJ13236がある。墓壙上部および甕棺上半部は大きく削平される。

広口壺の単棺である。壺の口頸部は打ち欠く。埋置角度は34度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13277

V-46区画で、墓域の中央部やや西側に位置する。隣接して北方にSJ13129が、南方にSJ13305が、北東方にSJ13240が、東方にSJ13241がある。墓壙上部および甕棺上半部は大きく削平される。

広口壺の単棺である。壺の口頸部は打ち欠く。埋置角度は67度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13283

W-46区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して南方にSJ13301が、西方にSJ13300が、東方にSJ13287がある。

上甕は甕、下甕は鉢の複式棺で覆口式である。鉢は傾斜をもって埋置され、上甕が覆う。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は83度である。棺内から碧玉製管玉６点と人骨片が出土した。

SJ13289

V-46区画で、墓域の中央部やや西側に位置する。隣接して南東方にSJ13200が、南方にSJ13239があり、甕棺の密集部である。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺で覆口式である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。下甕は口縁部を打ち欠く。

１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は57度である。棺内から碧玉製管玉40点が出土した。

SJ13292

V-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して南方にSJ13293が、東方にSJ13310が、西方にSJ13299があり甕棺の密集部である。墓壙の北側は攪乱をうけ、上甕も削平される。

上、下甕とも広口壺の複式棺で覆口式である。下甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は77度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13293

V-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して北方にSJ13292が、南方にSJ13312があり甕棺の密集

部である。墓壙の上部と上甕上部も削平される。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺で覆口式である。下甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。１次墓壙は平面楕円形で、埋置角度は53度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13294

W-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して北方にSJ13312が、南東方にSJ13233があり、甕棺の密集部である。墓壙の上部は削平される。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。上甕は下甕の中に落ち込むような状態で出土しており合わせ方は挿入式か。１次墓壙は平面隅丸方形で、埋置角度は52度である。棺内から硬玉製勾玉１点、碧玉製管玉１点が出土した。碧玉製管玉１点は所在不明である。

SJ13295

W-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して東方にSJ13312、SJ13294が、西方にSJ13313がある。１次墓壙は攪乱をうける。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。下甕は胴部上半部を打ち欠く。下甕を直立させ、完全に上甕で覆う。埋置角度は76度である。棺内から碧玉製管玉７点と人骨が出土した。

人骨の依存状態は良好である。膝を折り曲げた状態で埋葬されており、頭蓋骨は落ち込んでいる。埋葬姿勢は座位屈葬である。鑑定の結果、熟年～老年の男性である。

本甕棺は覆口式であり、被葬者が大人であるのに対して、甕棺内部の高さが約80㎝と低いことなどから、再葬の可能性も含めて検討した。大友遺跡の人骨から弥生人の推定身長は約160㎝前後であることが判っている。頭をたらした座位屈葬とすると尾骨から頭まで約60㎝であり、本甕棺に埋葬することは可能である。これらのことから座位屈葬であるとの結論に至った。

SJ13297

V-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して南東方にSJ13204が、北方にSJ13310があり甕棺の密集部である。墓壙の上部は削平される。

甕の単棺であり口縁部を打ち欠く。埋置角度は66度である。棺内から石剣の切先１が出土した。

SJ13301

W-46区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して北方にSJ13283が、東方にSJ13288、北西にSJ13300がある。墓壙の上部と上甕は削平される。

上下とも甕の複式棺であり、ともに口縁部を打ち欠く。埋置角度は47度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13302

W-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して西方にSJ13316、SJ13317がある。墓壙の上部は削平される。

上甕は鉢、下甕は甕の複式棺であり接口式である。１次墓壙は楕円形で、埋置角度は51度である。棺内から碧玉製管玉10点が出土した。また、棺外から碧玉製管玉1点が出土した。

SJ13310

V-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して東方にSJ13319、西方にSJ13292が、南方にSJ13297がある。墓壙の上部は削平され、上甕は現位置を留めない。

上下とも甕の複式棺であり接口式か。上下の甕とも口縁部を打ち欠く。１次墓壙は不整円形で、埋置角度は50度である。棺内から碧玉製管玉19点が出土した。

SJ13312

V-45区画とW-45区画の境界に位置する。墓域の中央部で甕棺の密集部にあたる。隣接して北方にSJ13293が、南方にSJ13294がある。

上下とも甕の複式棺で覆口式である。上甕の口縁部内側を打ち欠く。下甕の胴部上半部を打ち欠く。

下甕を埋置したのちに上甕で覆う。埋置角度は65度である。棺内から硬玉製勾玉１点が出土した。

SJ13313

V-45区画に位置する。墓域の中央部で甕棺の密集部にあたる。隣接して北東方にSJ13269が、北西方にSJ13270がある。

上下とも甕の複式棺で接口式である。上甕の口縁部は割れ、下甕内に落ち込む。１次墓壙は隅丸方形で、埋置角度は66度である。棺内から碧玉製管玉１点が出土した。

SJ13316

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して南方にSJ13317が、東方にSJ13302が、西方にSJ13232がある。墓壙の上部は削平される。

甕の単式棺である。墓壙は楕円形で、埋置角度は６度と水平に近い。棺内から碧玉製管玉６点が出土した。

SJ13317

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して北方にSJ13316が、南方にSJ13336がある。墓壙の上部は削平される。

甕の単式棺である。墓壙は楕円形で、埋置角度は－６度と水平に近い。棺内から硬玉製勾玉１点が出土した。

SJ13319

V-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して西方にSJ13310が、南西方にSJ13297が、南東方にSJ13306がある。墓壙の上部は削平される。

上甕は鉢、下甕は甕の複式棺であり接口式であり、埋置角度は35度である。棺内から碧玉製管玉29点が出土した。

SJ13321

W-45区画で、墓域の中央部に位置する。隣接して南方にSJ13233、SJ13206、SJ13205がある。甕棺墓の密集部である。墓壙の東側は攪乱をうける。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。上下の甕とも口縁部を打ち欠く。埋置角度は62度である。棺内から碧玉製管玉８点と不明鉄器、人骨片が出土した。

SJ13325

T-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して西方にSJ13102が、南方にSJ13109、SJ13320がある。墓壙の上部は削平される。

甕の単式棺である。墓壙は楕円形で、埋置角度は１度と水平に近い。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13330

W-45区画とW-46区画の境界で墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して南方にSJ13324がある。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。下甕の口縁部内側を打ち欠く。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は51度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13335

T-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して南方にSJ13048が、東方にSJ13011がある。

上下とも広口壺の複式棺であり覆口式である。上下の広口壺とも口頸部を打ち欠く。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は63度である。棺内から碧玉製管玉４点が出土した。

SJ13336

W-45区画で、墓域の中央部やや南側に位置する。隣接して北方にSJ13317が、東方にSJ13309がある。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。上下甕とも口縁部を打ち欠く。１次墓壙は方形で埋置角度は71度と直立に近い。棺内から碧玉製管玉７点が出土した。

SJ13343

X-45区画とY-45区画の境界で、墓域の南部に位置する。隣接して東方にSJ13338がある。墓壙の上部と棺体の上部は削平される。

甕の単式棺である。埋置角度は15度と水平に近い。棺内から碧玉製管玉５点が出土した。

SJ13355

X-49区画で、墓域の南西部に位置する。隣接して南東方にSJ13354がある。墓壙の上部が削平される。

上甕も大半が削平され遺存しないが打ち欠きされた土器片が下甕の上にのっていたため、複式棺とした。覆口式である。下甕は口縁部内側を打ち欠く。埋置角度は66度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13379

U-42区画で、墓域の北東部に位置する。隣接して北方にSJ13148が、南方にSJ13132がある。

上甕は鉢、下甕は甕の複式棺であり接口式である。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は38度である。棺内から碧玉製管玉６点が出土した。

SJ13384

W-46区画で、墓域の南西部に位置する。隣接して東方にSJ13383がある。

上甕は広口壺、下甕は甕の複式棺である。上甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。上甕が下甕に落ち込んでおり甕の合わせ方は接口式か？１次墓壙は楕円形で埋置角度は61度である。棺内から碧玉製管玉３点が出土した。

SJ13390

W-50区画で、墓域の西端に位置する。隣接して南方にSJ13391がある。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。下甕は口縁端部内外面を打ち欠く。１次墓壙は隅丸方形で埋置角度は55度である。棺内から鉄片１点が出土したが図化していない。

SJ13391

W-50区画で、墓域の西端に位置する。隣接して北方にSJ13390がある。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺であり接口式である。下甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。墓壙は楕円形で埋置角度は73度である。棺内から碧玉製管玉８点と黒曜石片が出土した。

SJ13395

X-50区画で、墓域の西端に位置する。隣接して北方にSJ13390がある。

上甕は甕、下甕は広口壺の複式棺であり接口式である。下甕の広口壺は口頸部を打ち欠く。墓壙は楕円形で埋置角度は73度である。棺内から碧玉製管玉８点と黒曜石片が出土した。

SJ13396

Y-50区画で、墓域の南西端に位置する。北西約４ｍにSJ13392がある。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。上甕は口縁部内側を打ち欠く。下甕は口縁部を打ち欠く。下甕の合わせ口を別個体の甕の口縁部で囲む。１次墓壙は楕円形で埋置角度は65度である。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

SJ13400

V-50区画で、墓域の西端に位置する。南方約５ｍにSJ13390がある。

上下とも甕の複式棺であり覆口式である。上下甕とも口縁部を打ち欠く。埋置角度は69度である。棺内から碧玉製管玉５点と鉄片１点が出土した。

SJ13417

T-48区画で、墓域の北西端に位置する。旧地形では砂丘微高地の端部にあたる。北方約４ｍにSJ13421がある。墓壙と棺体の上部は攪乱、削平される。

壺の単式棺である。壺の口縁部を打ち欠く。本遺跡甕棺群の中では最も古い時期にあたる。埋置角度は55度である。棺内から碧玉製管玉10点とアマゾナイト製丸玉１点が出土した。

SJ13421

S-48区画とT-48区画の境界で、墓域の北西端に位置する。旧地形では砂丘微高地の端部にあたる。南方約４ｍにSJ13417がある。墓壙と棺体の上部は攪乱、削平される。

上下とも甕の複式棺であり接口式である。埋置角度は14度と水平に近い。棺内から碧玉製管玉２点が出土した。

⑵　人骨の出土状況

骨片も含めると約70基の甕棺から人骨が出土した。このうち65基65体の甕棺出土人骨の鑑定を長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、分部哲秋・佐伯和信先生に委託した。その人骨鑑定結果はⅥ章に掲載する。甕棺出土人骨は遺存状態が悪く、骨片のみの遺存が大半でほぼ一体分遺存していた甕棺にSJ13073、SJ13213、SJ13295、SJ13348がある。また、頭蓋骨や四肢骨など比較的遺存状態がよかった甕棺はSJ13060、SJ13061、SJ13109、SJ13242、SJ13253、SJ13263、SJ13264、SJ13266、SJ13268、SJ13283、SJ13354、SJ13388がある。

唐津地域の甕棺の埋置角度は急傾斜が多いため人骨の出土状況は原位置を留めないものが多い。その中、SJ13295は埋葬姿勢がわかる好例である。

SJ13295は覆口式の複式棺である。胴部上半部を打ち欠いた下甕は直立して埋置しており、上甕で覆う。下甕に大腿骨と脛骨が甕の胴部にあたかもたてかけられたかのような状態で、また大腿骨と脛骨のかたわらに頭蓋骨も横たわって出土した。被葬者は成人であるのに対して、甕棺内部の高さが約80㎝と低いことなどから、再葬の可能性も含めて検討した。鑑定の結果、被葬者は熟年～老年の男性であり、膝を折り曲げた状態で埋葬されており、頭蓋骨は落ち込んでいる。したがって埋葬姿勢は座位屈葬であるとの見解にいたった。

直立した覆口式の複式棺は唐津地域に多く分布している。また甕棺埋置角度は急傾斜であることや倒置棺などは唐津地域甕棺埋葬法の地域性であり、これは埋葬姿勢からくるものであることが判ってきた。また、SJ13213も人骨の遺存状態が良好であった。接口式の複式棺で埋置角度が56°と急傾斜であるため人骨が下甕底部に落ち込んだ状況で出土した。四肢骨や下顎骨などがみられ、鑑定の結果は壮年の女性であった。

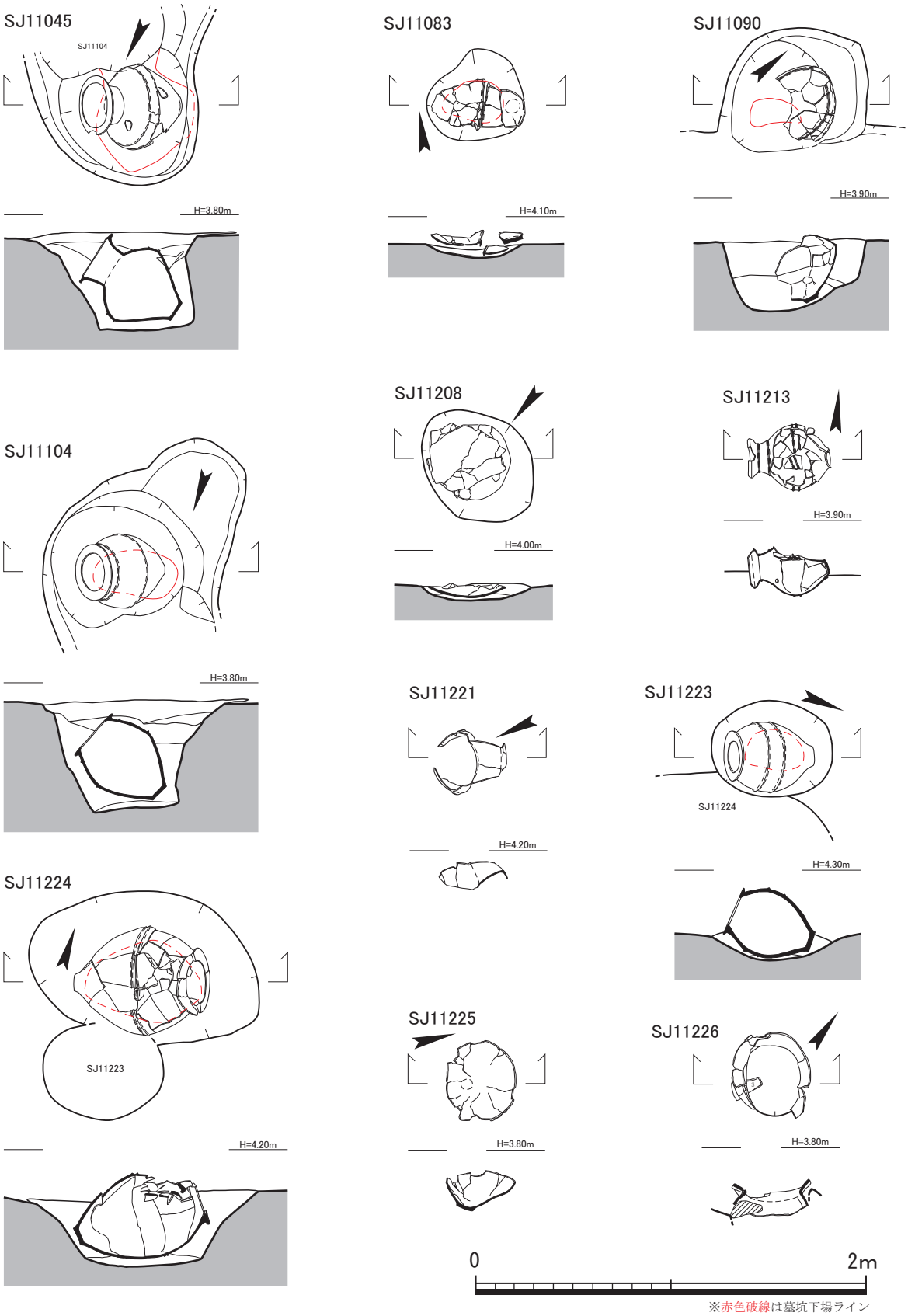
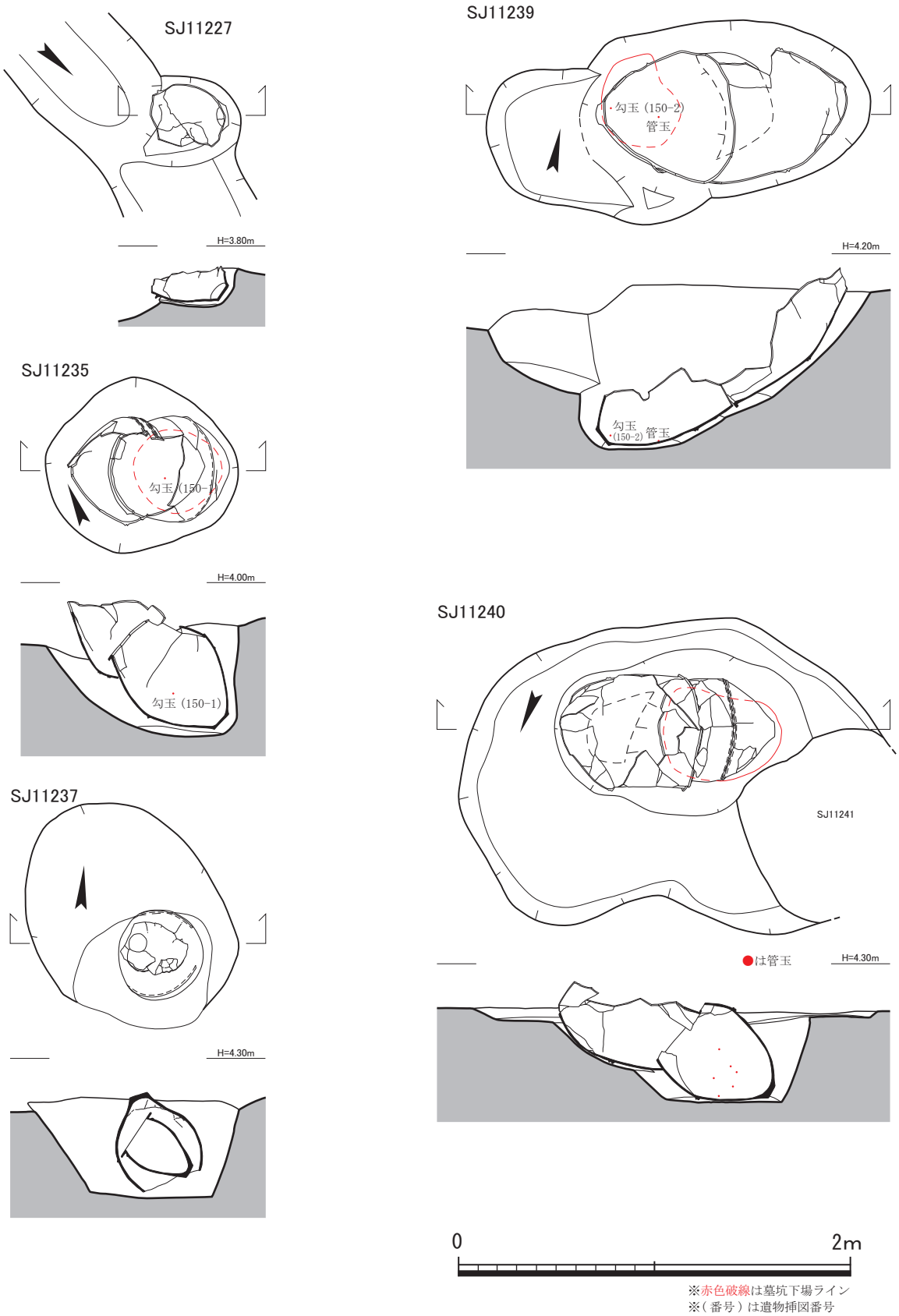


図21　SJ11045・11083・11090・11104・11208・11213・11221・11223・11224・11225・11226甕棺墓（1/30）



※赤色破線は墓坑下場ライン
※（番号）は遺物挿図番号

図22　SJ11227・11237・11235・11239・11240甕棺墓（1/30）

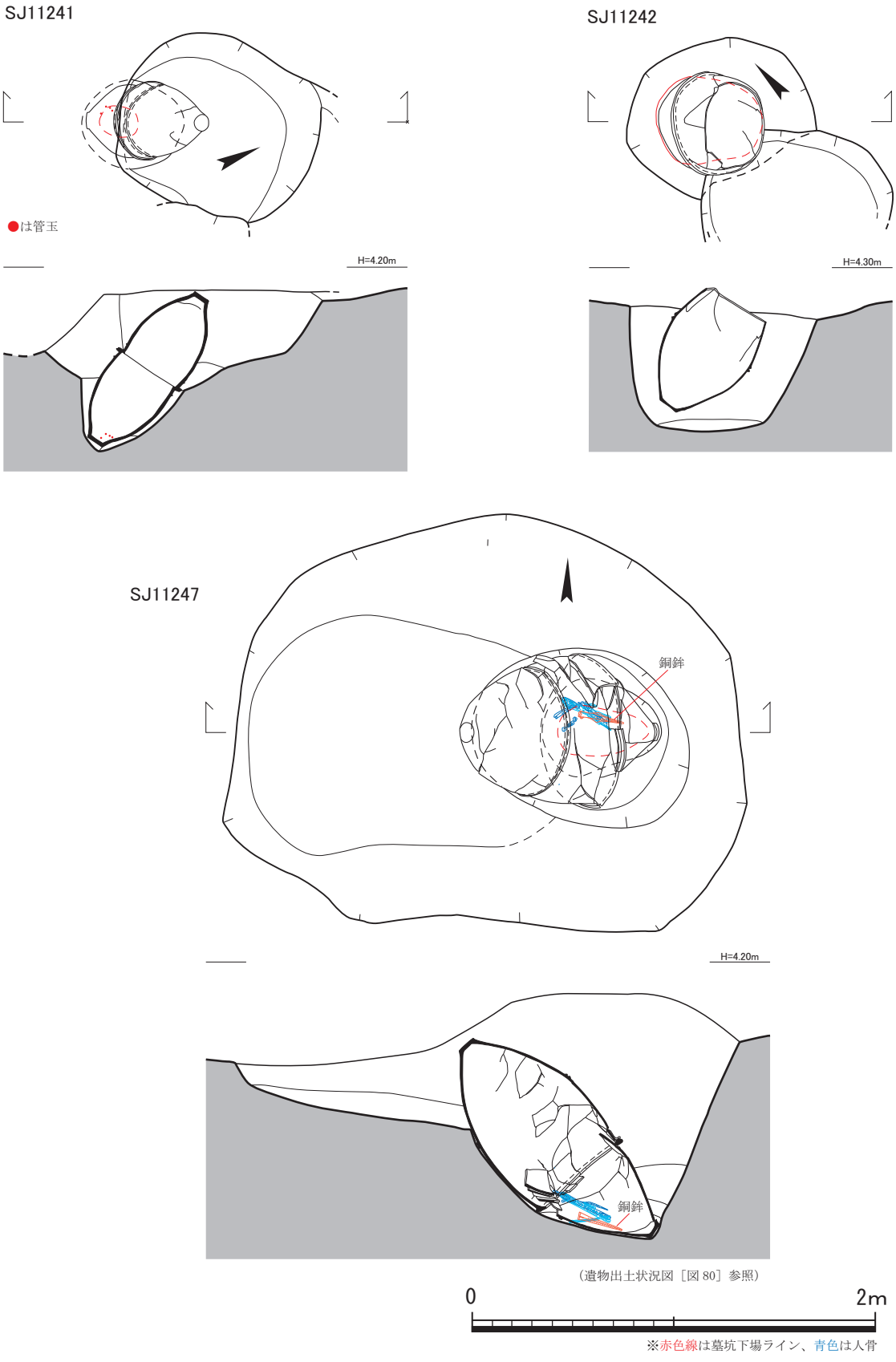


図23　SJ11241・11242・11247甕棺墓（1/30）

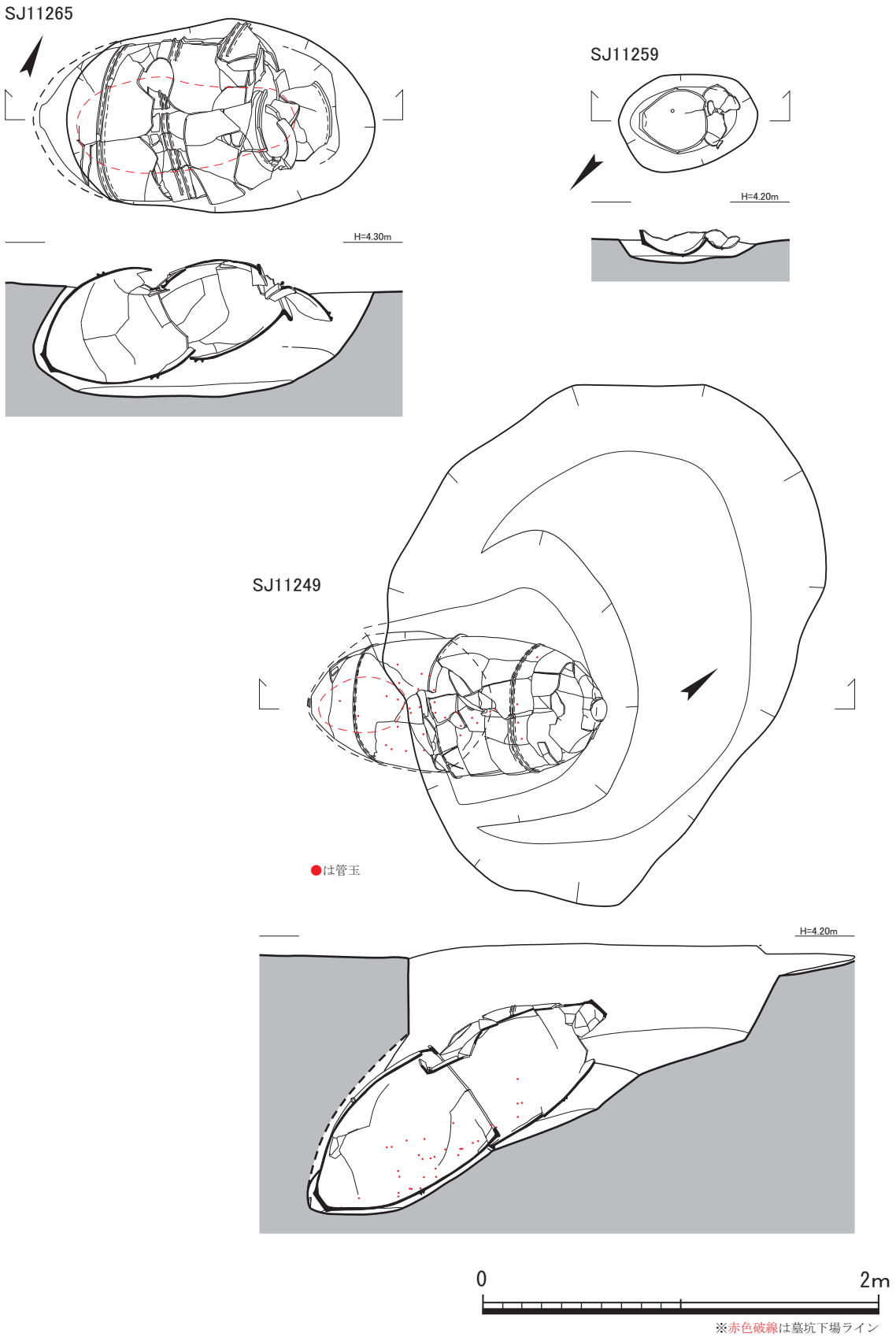


図24　SJ11249・11259・11265甕棺墓（1/30）

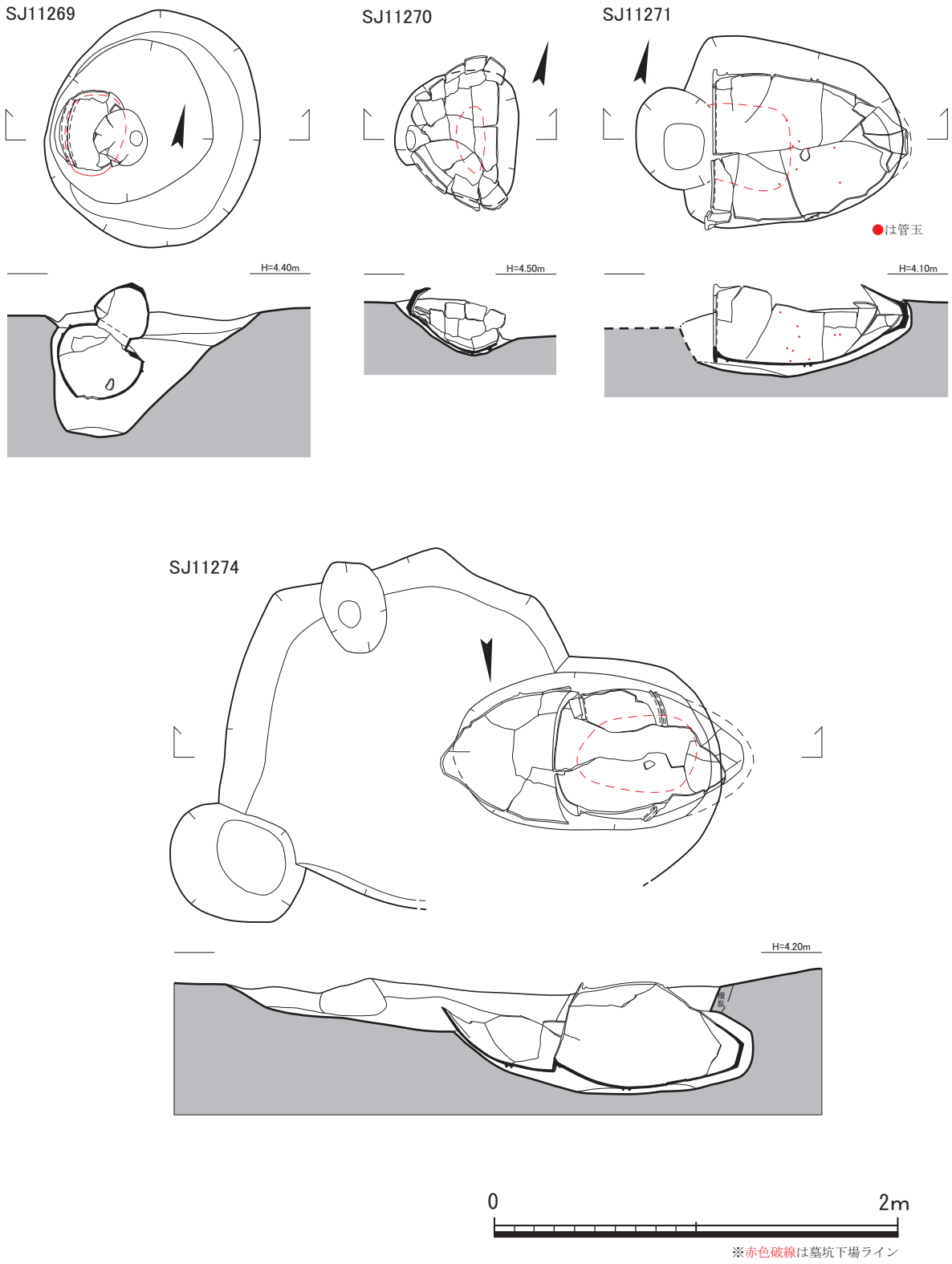


図25　SJ11269・11270・11271・11274甕棺墓（1/30）

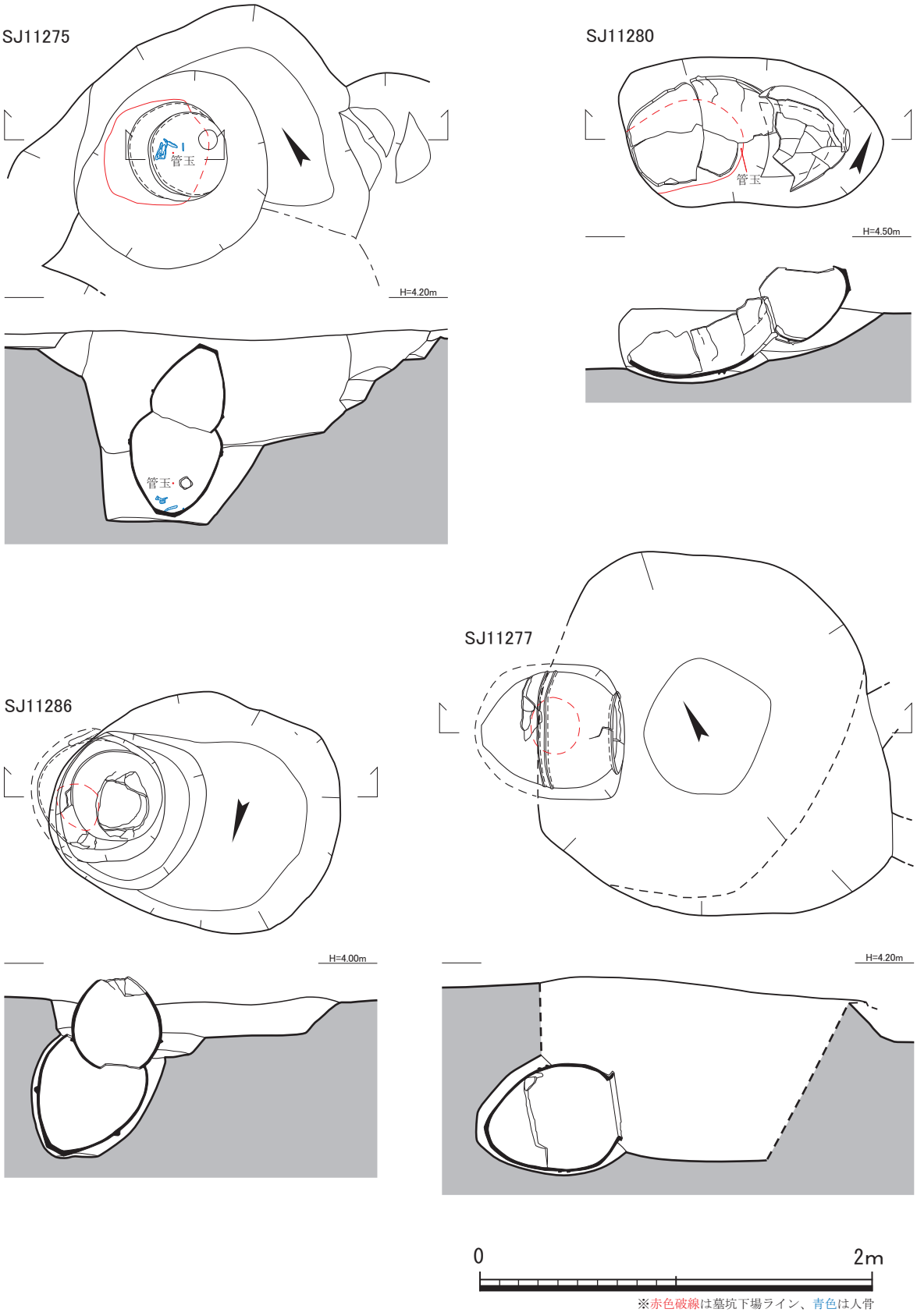


図26　SJ11275・11277・11280・11286甕棺墓（1/30）

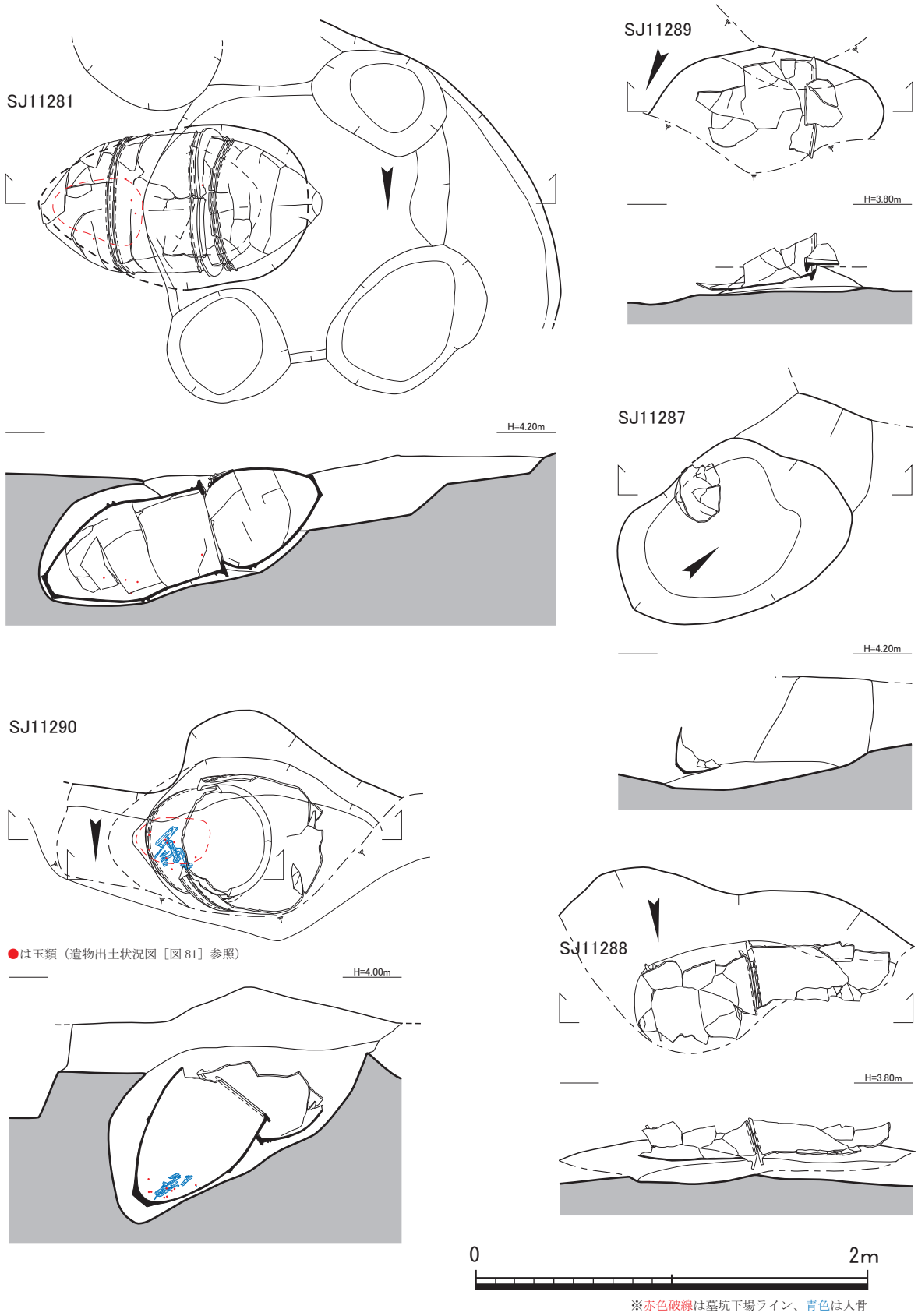


図27　SJ11281・11287・11288・11289・11290甕棺墓（1/30）

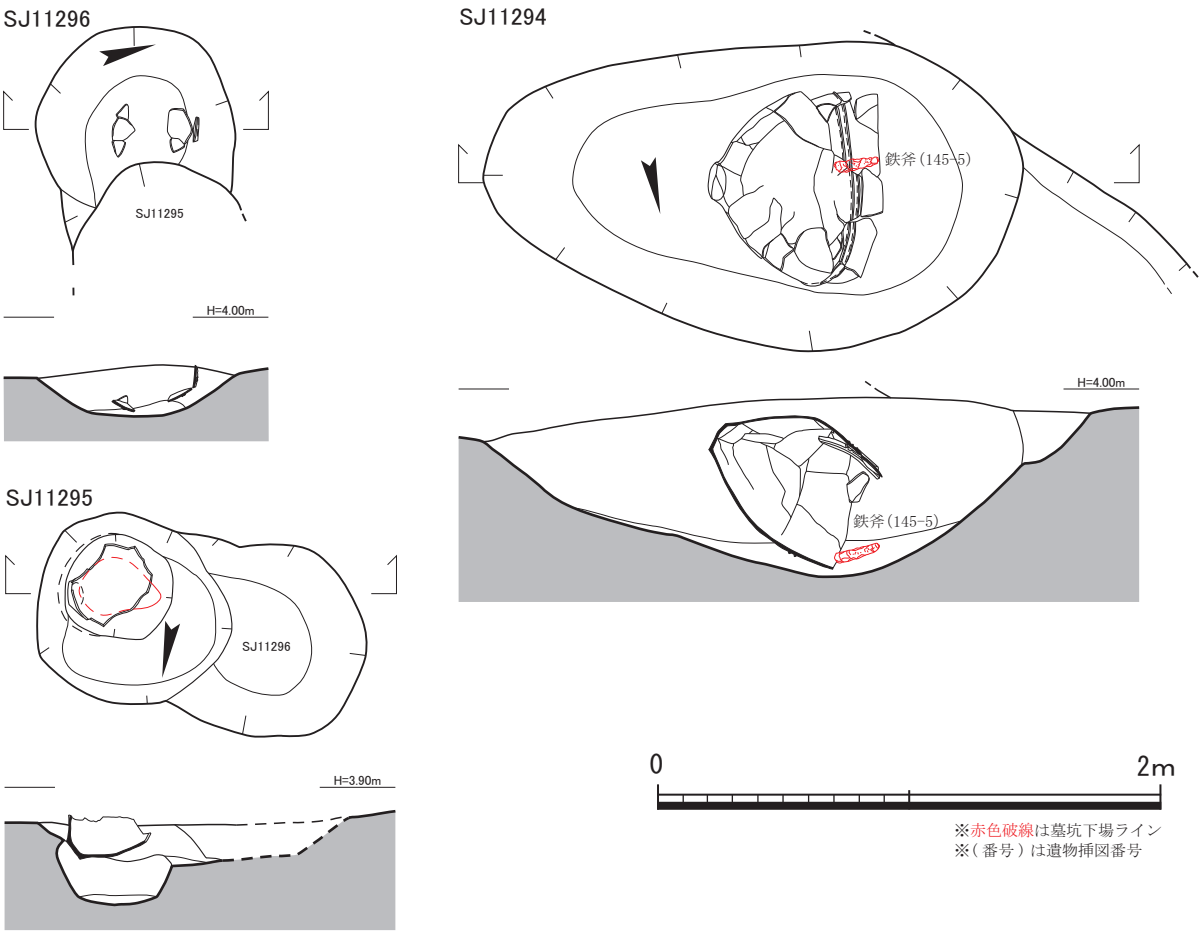


図28　SJ11294・11295・11296甕棺墓（1/30）

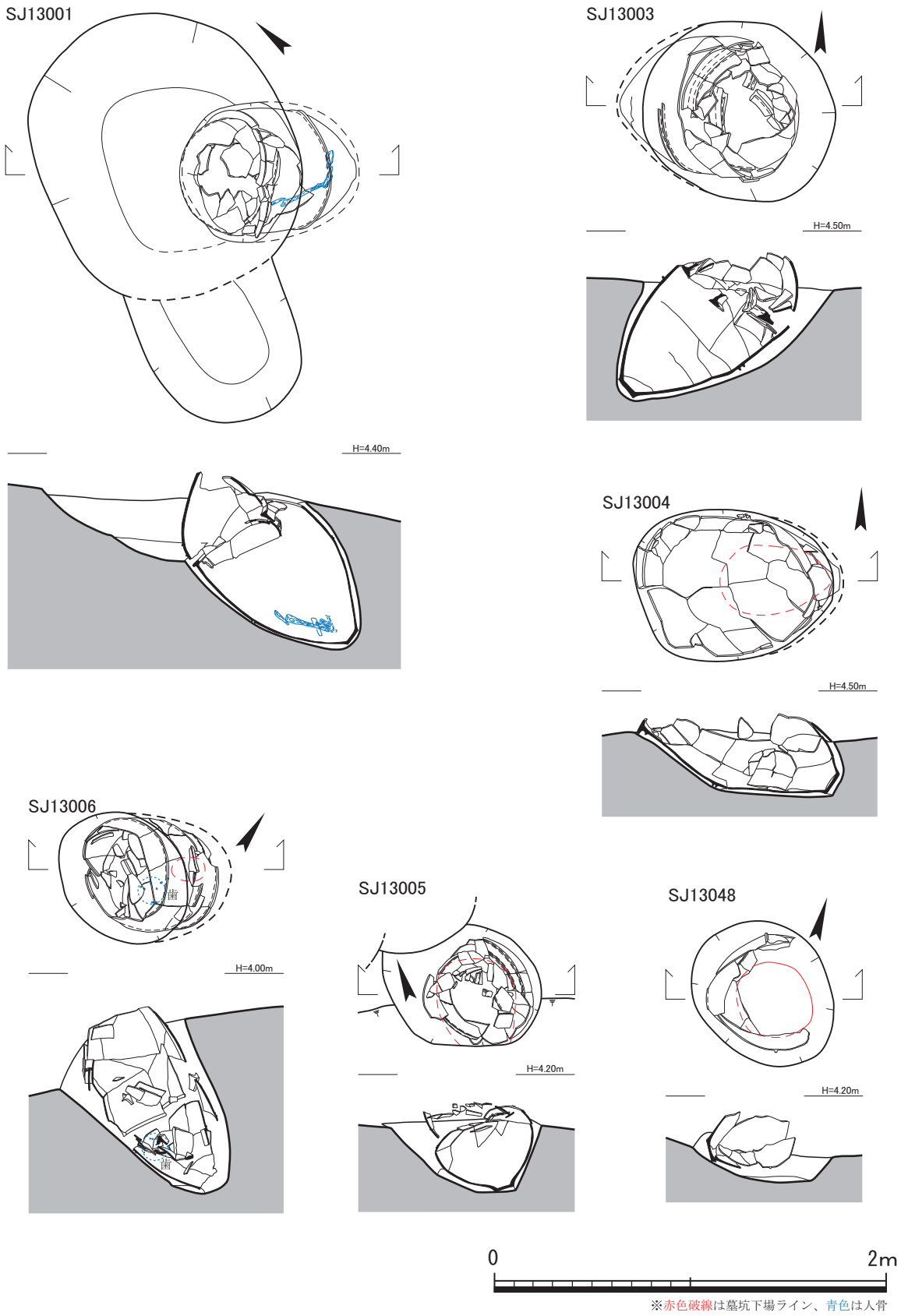
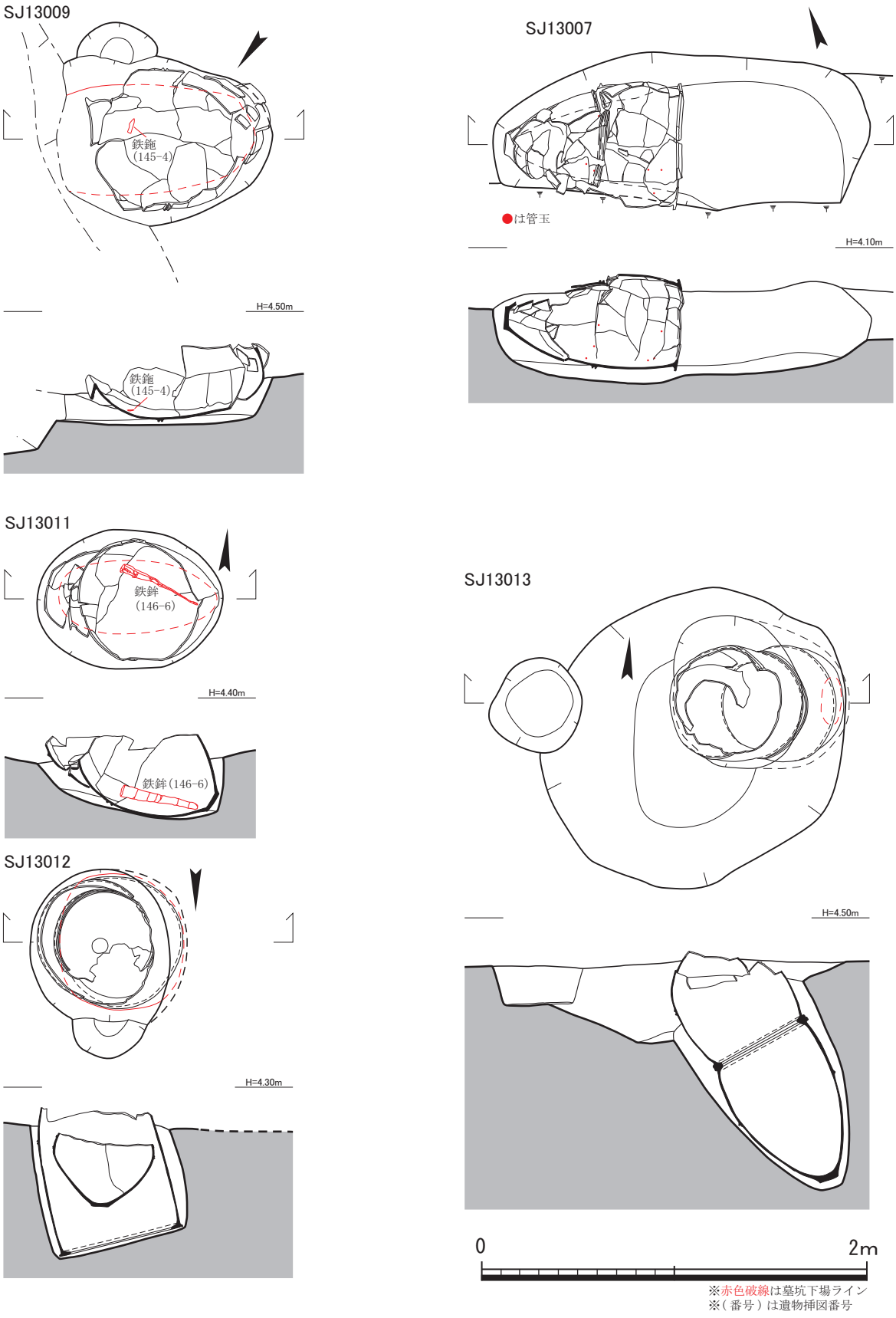


図29　SJ13001・13003・13004・13005・13006・13048甕棺墓（1/30）



※赤色破線は墓坑下場ライン
※(番号)は遺物挿図番号

図30　SJ13007・13009・13011・13012・13013甕棺墓（1/30）

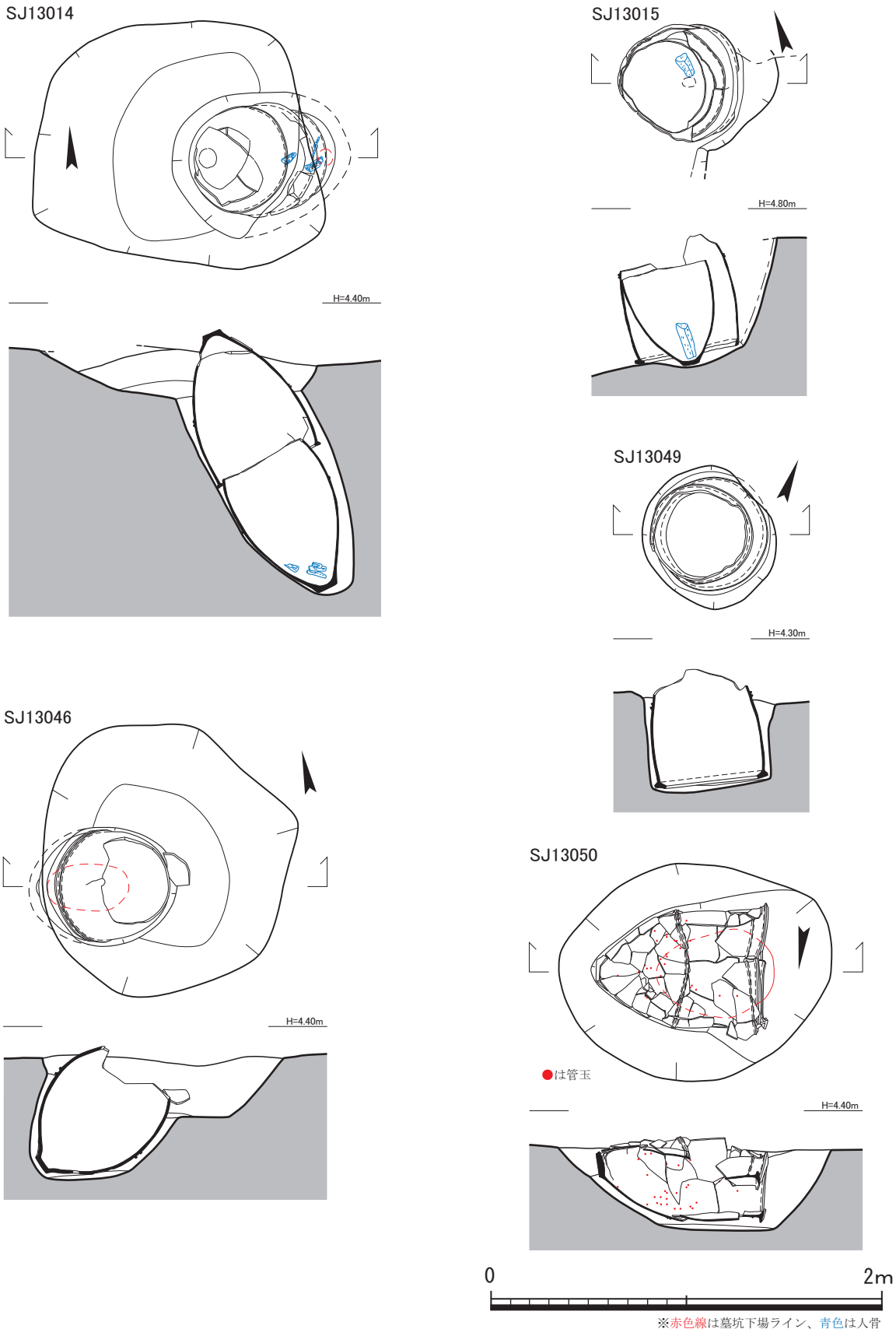


図31　SJ13014・13015・13046・13049・13050甕棺墓（1/30）

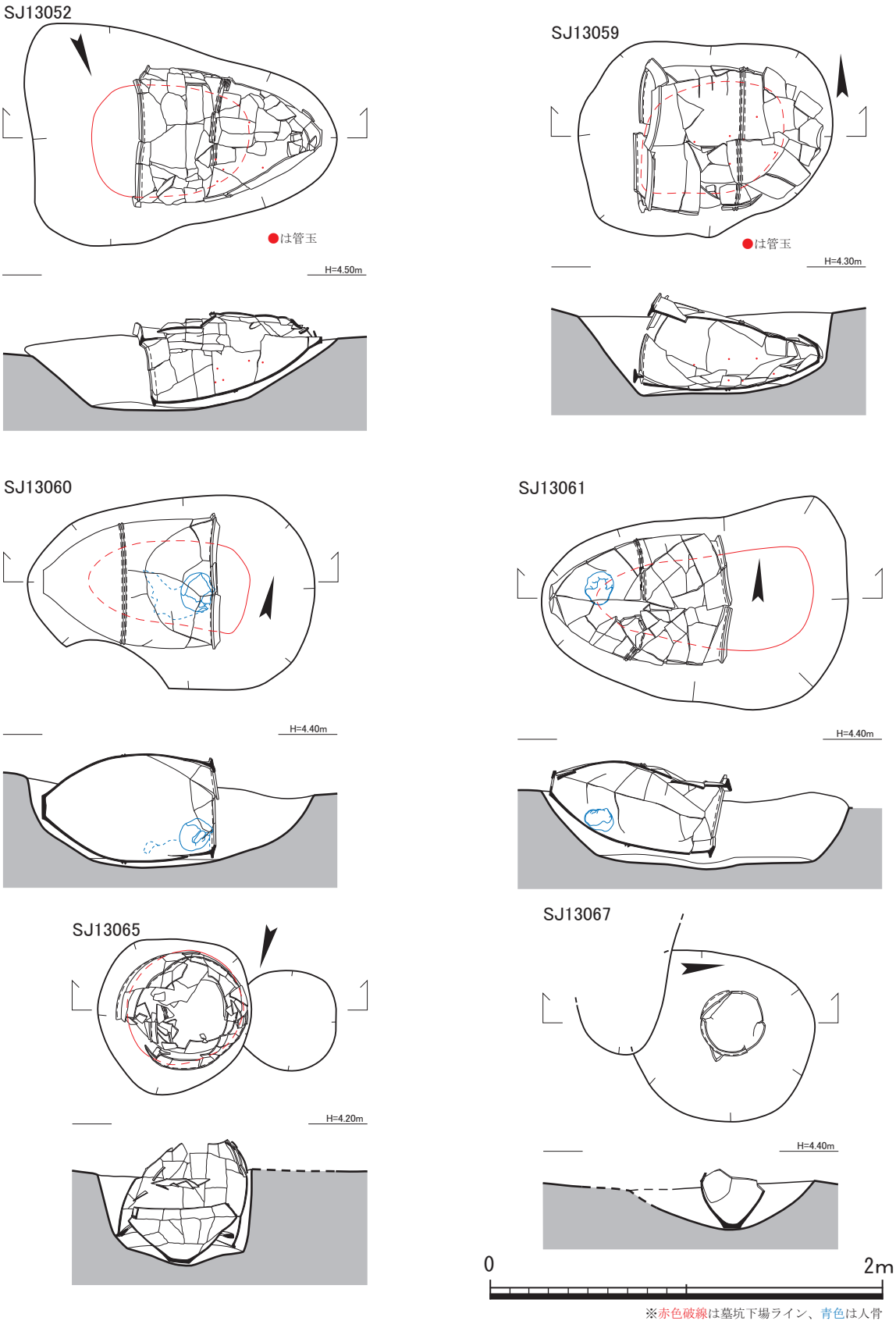


図32　SJ13052・13059・13060・13061・13065・13067甕棺墓（1/30）

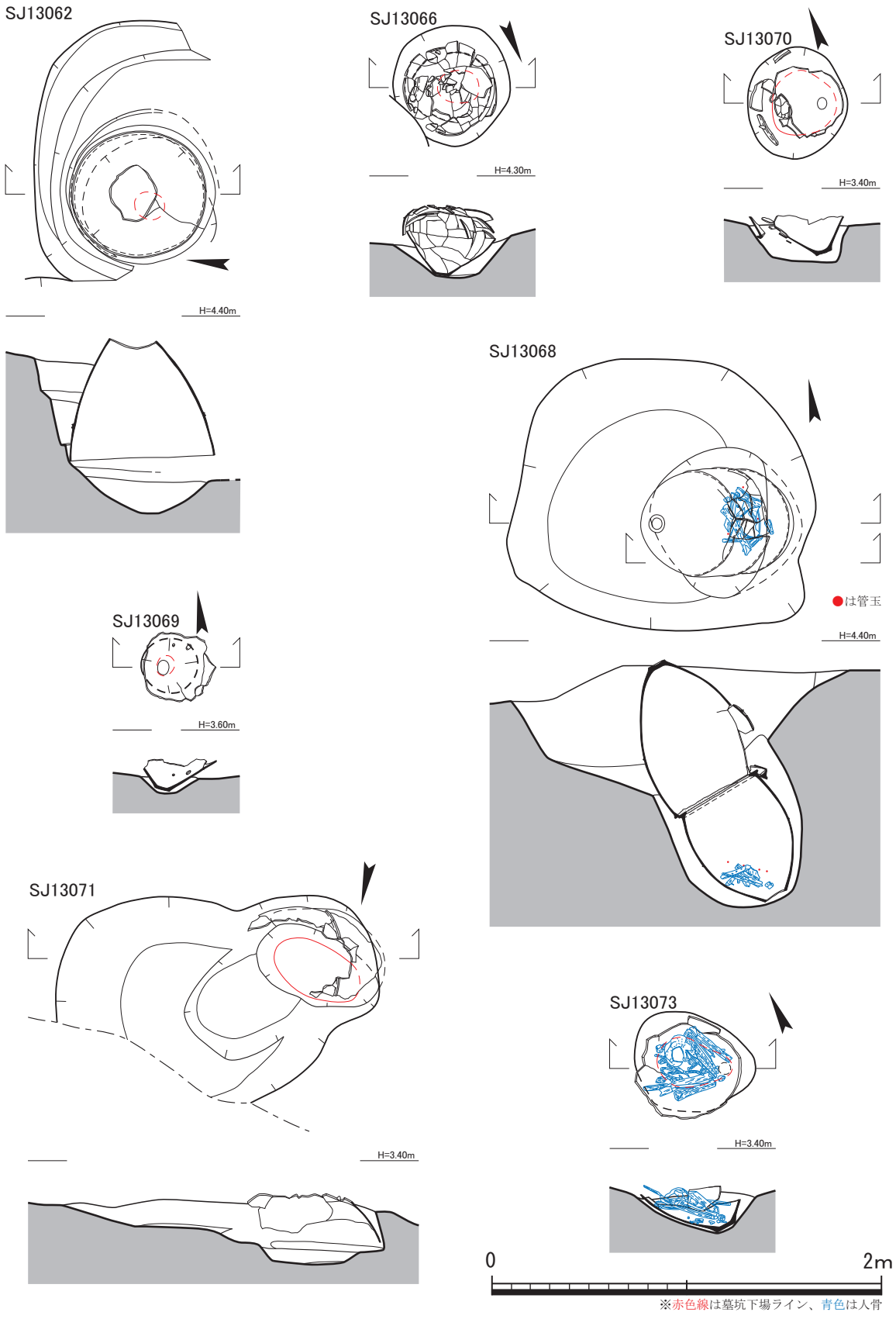


図33　SJ13062・13066・13068・13069・13070・13071・13073甕棺墓（1/30）

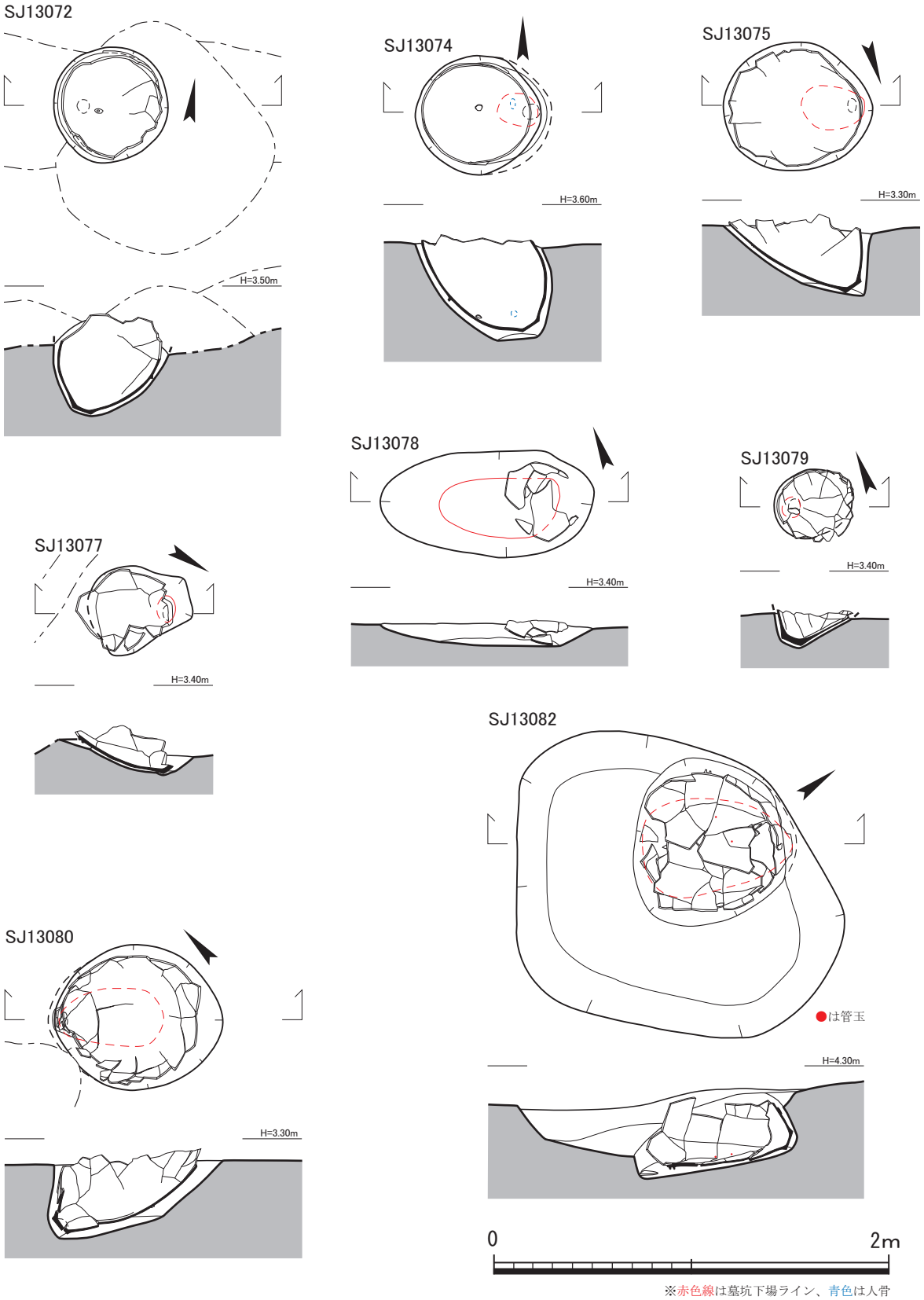


図34　SJ13072・13074・13075・13077・13078・13079・13080・13082甕棺墓（1/30）

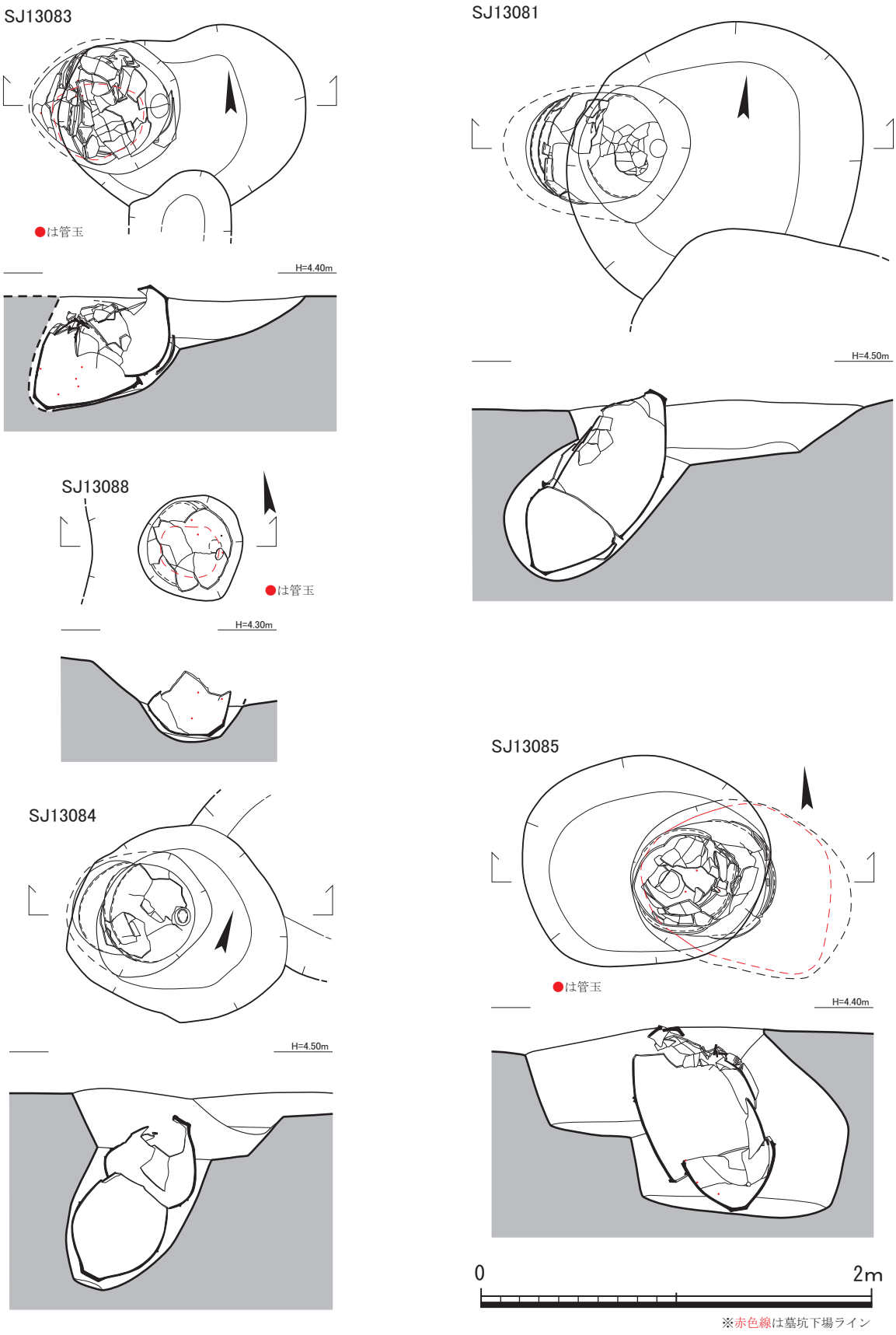


図35　SJ13081・13083・13084・13085・13088甕棺墓（1/30）

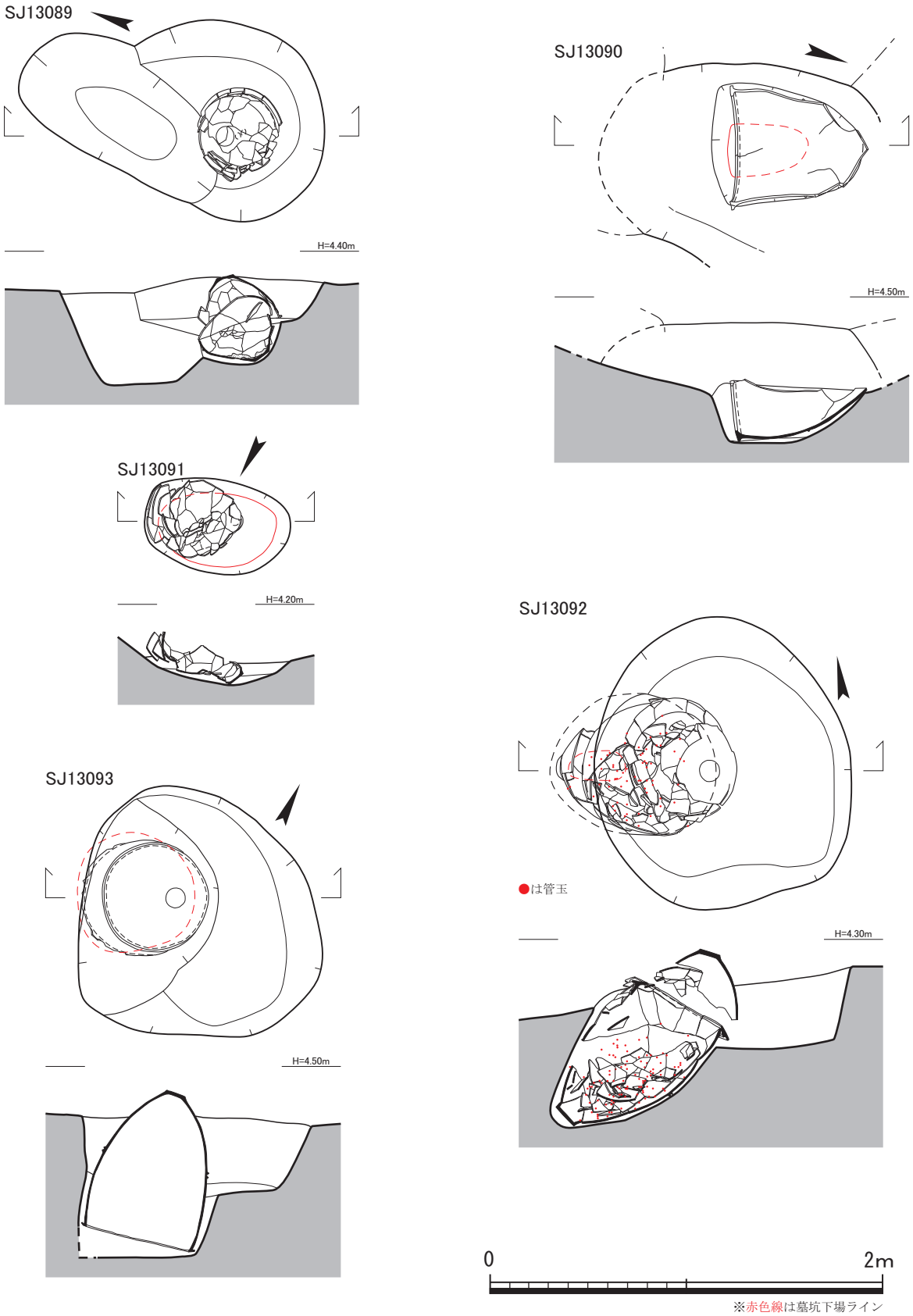


図36　SJ13089・13090・13091・13092・13093甕棺墓（1/30）

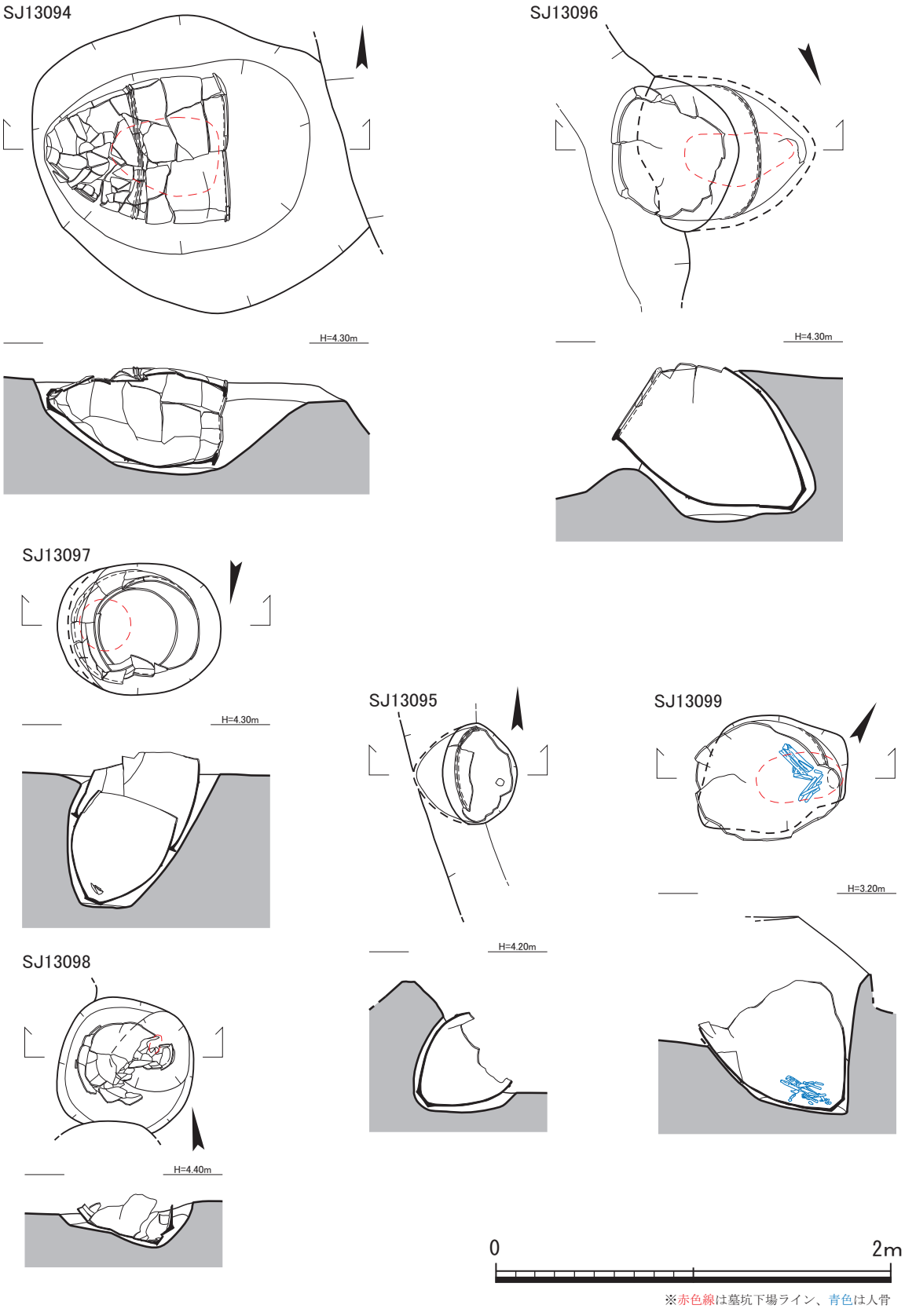


図37　SJ13094・13095・13096・13097・13098・13099甕棺墓（1/30）

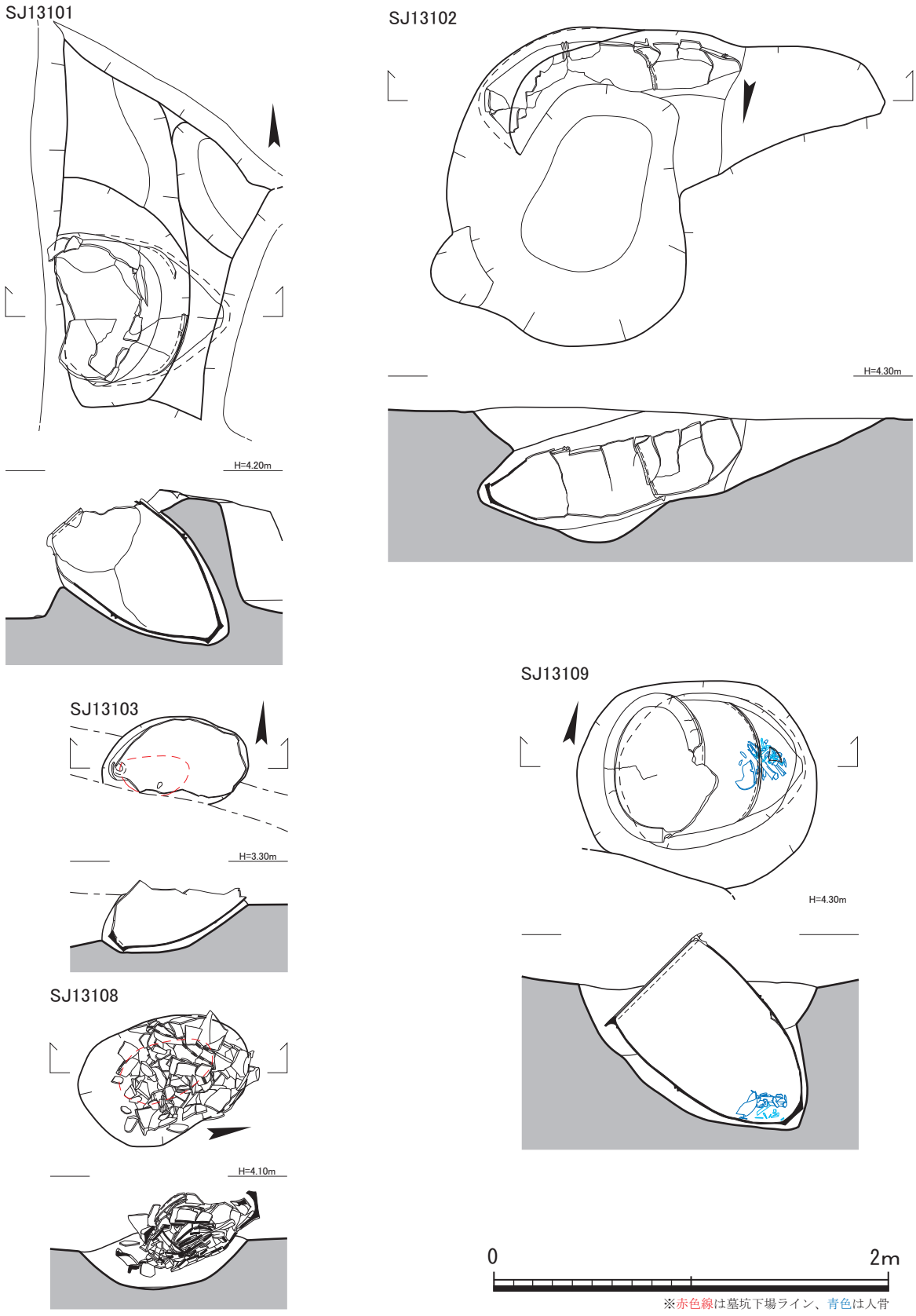


図38　SJ13101・13102・13103・13108・13109甕棺墓（1/30）

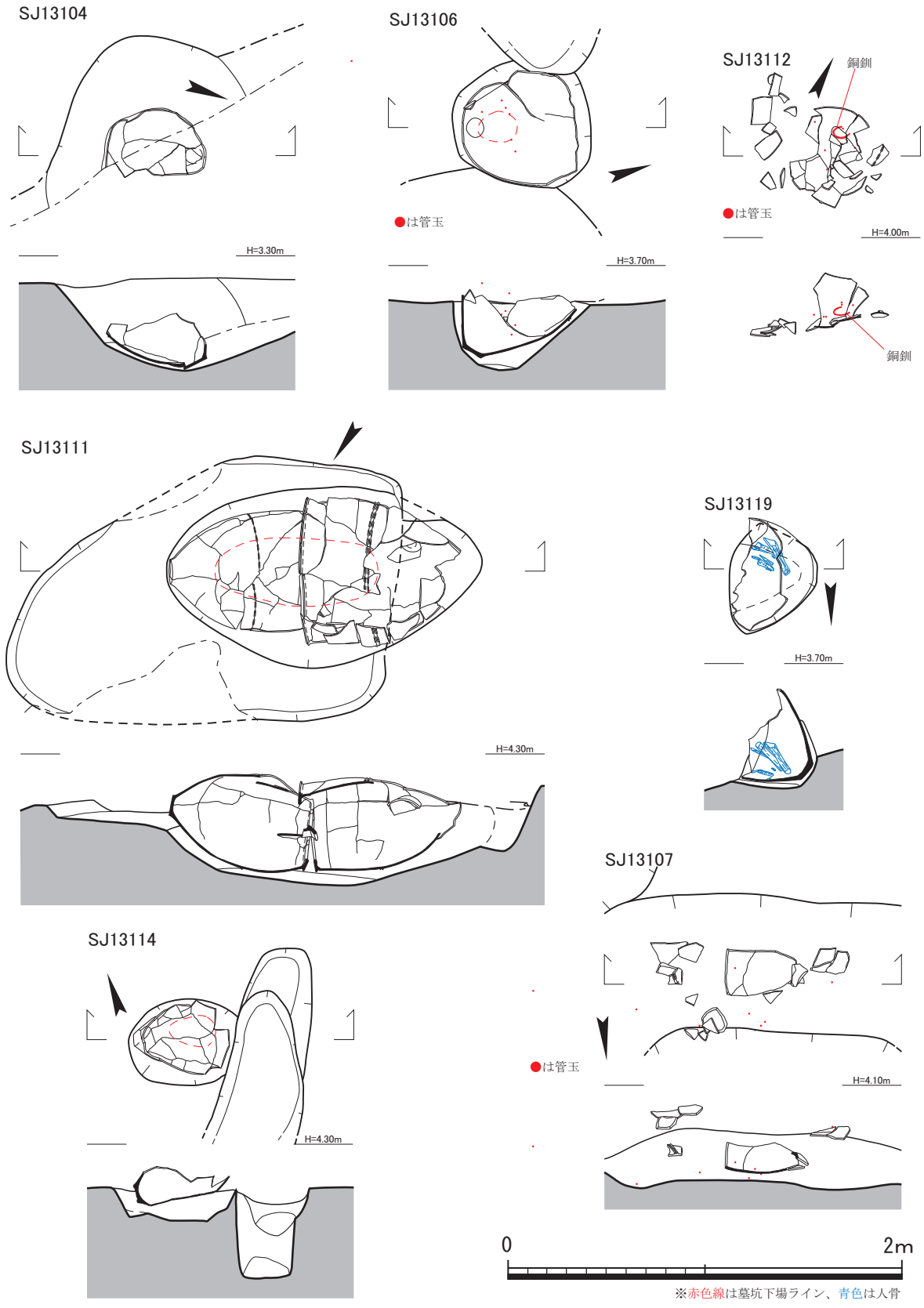


図39　SJ13104・13106・13107・13111・13112・13114・13119甕棺墓（1/30）

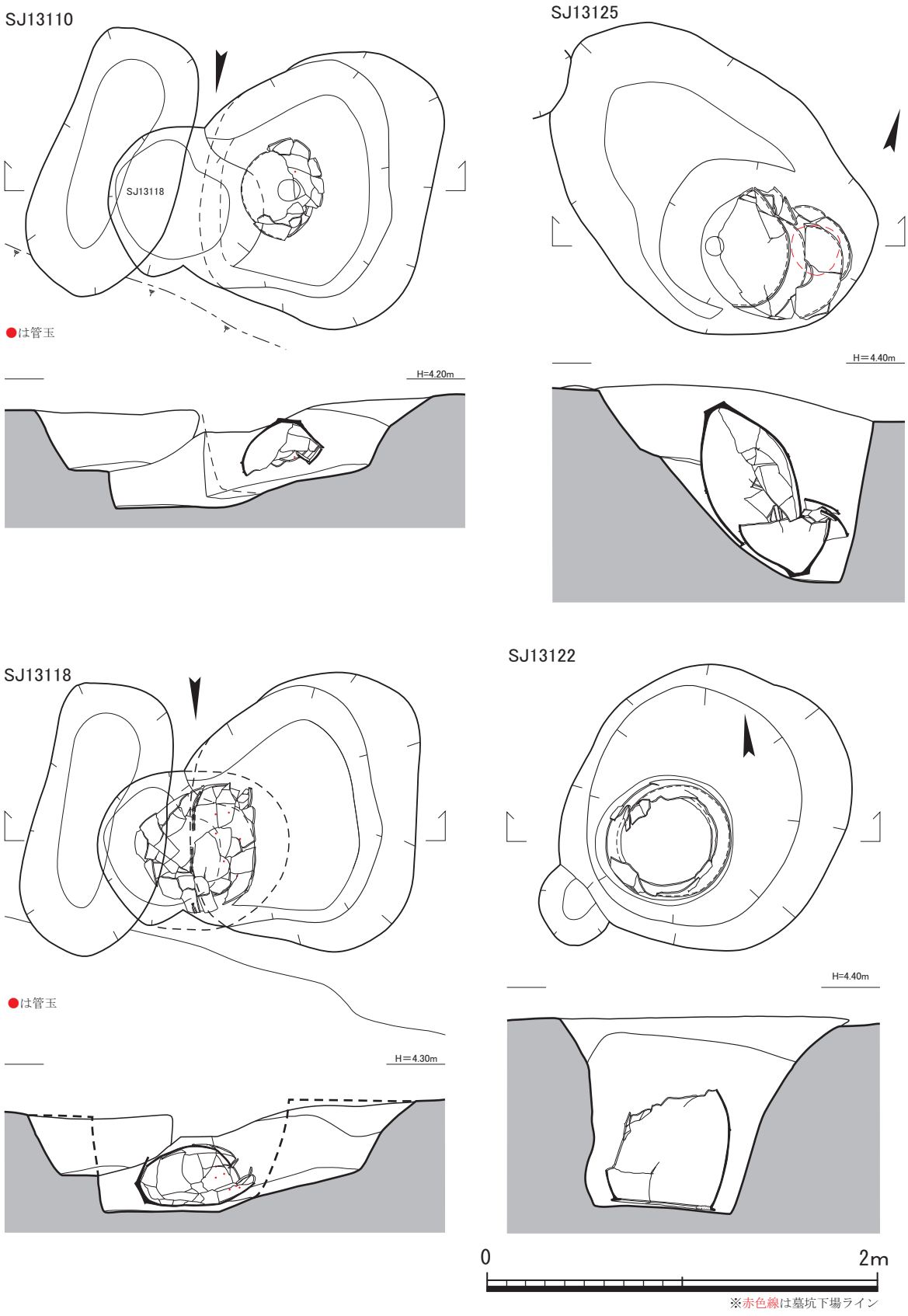


図40　SJ13110・13125・13118・13122甕棺墓（1/30）

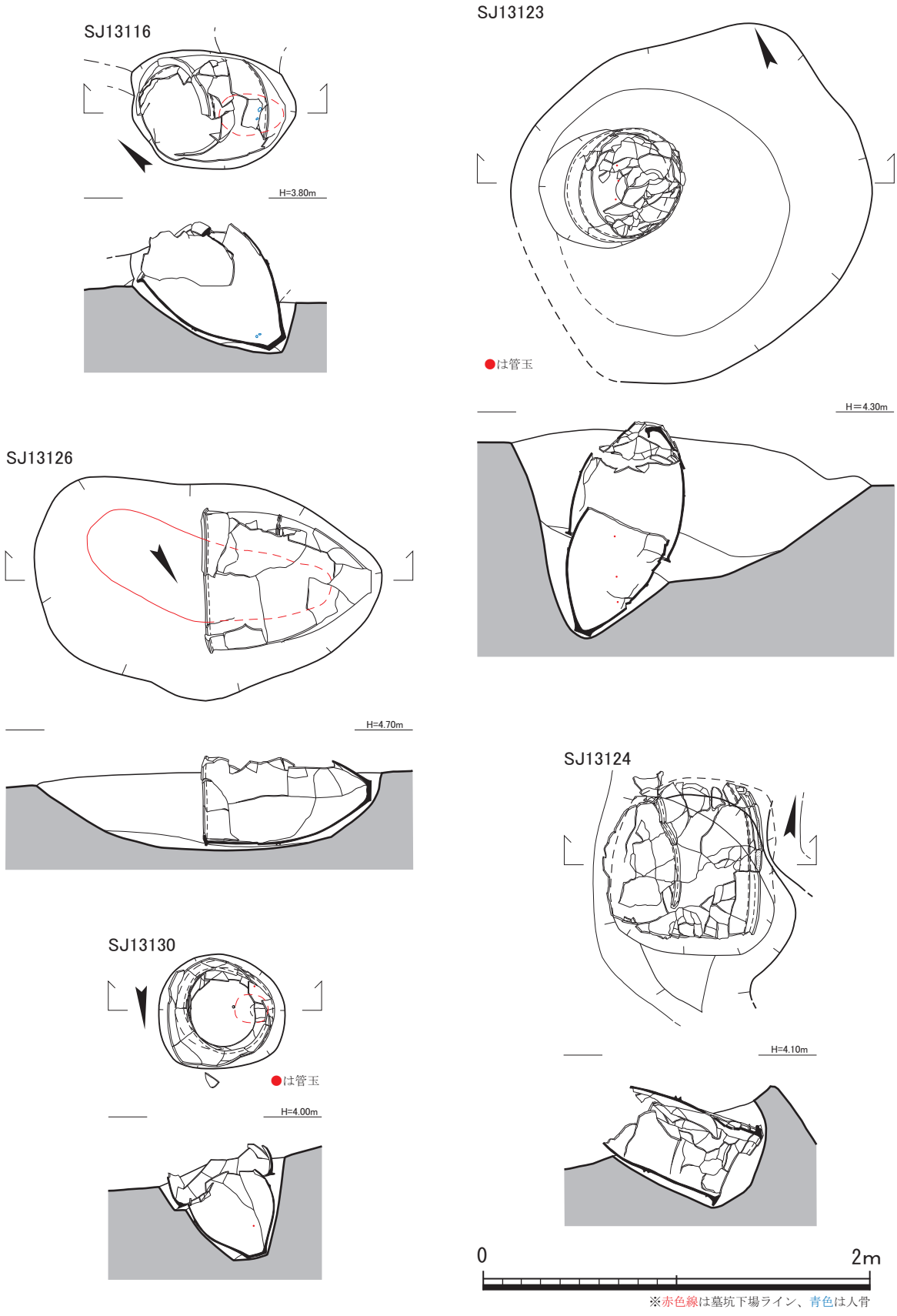


図41　SJ13116・13123・13124・13126・13130甕棺墓（1/30）

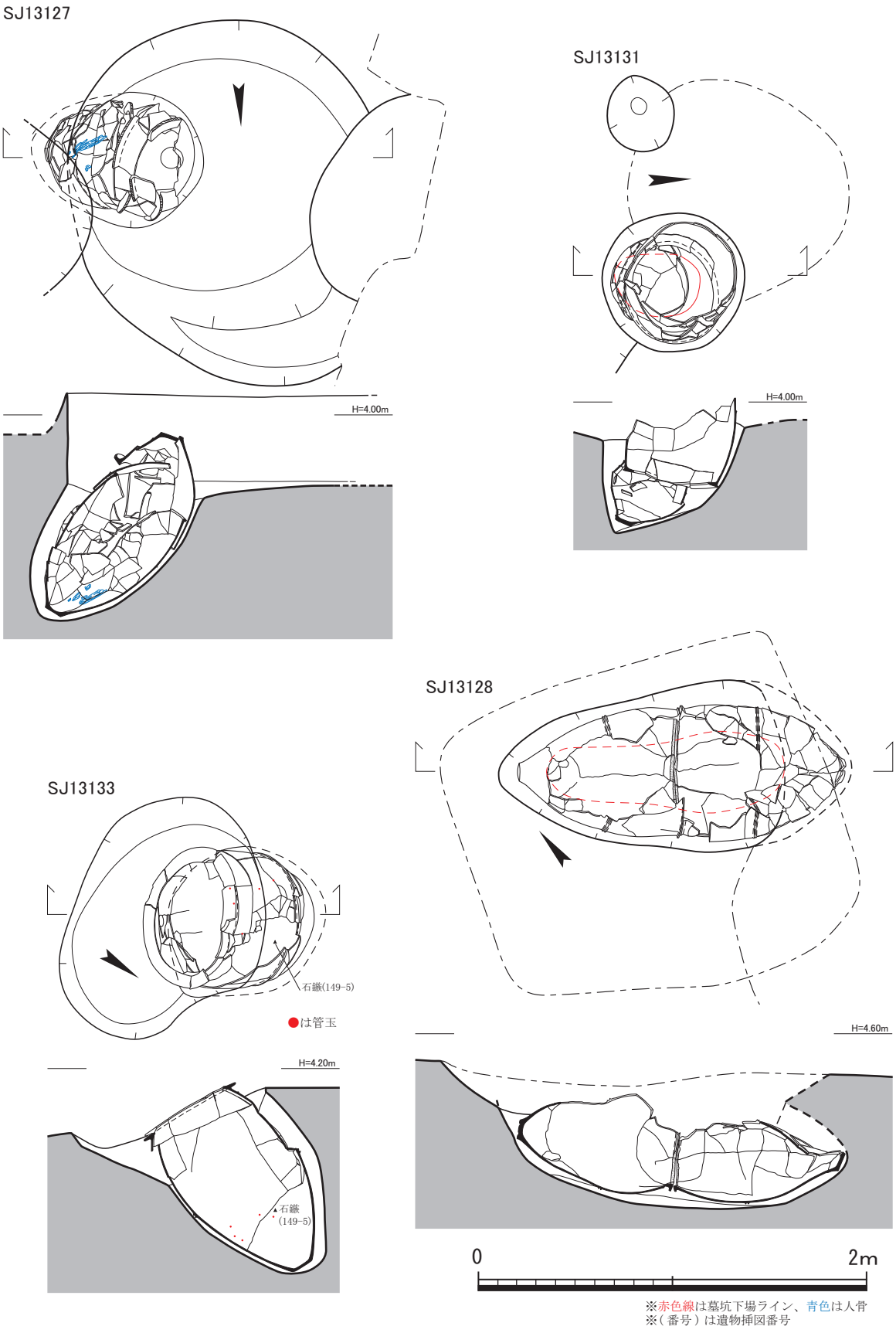


図42　SJ13127・13131・13133・13128甕棺墓（1/30）

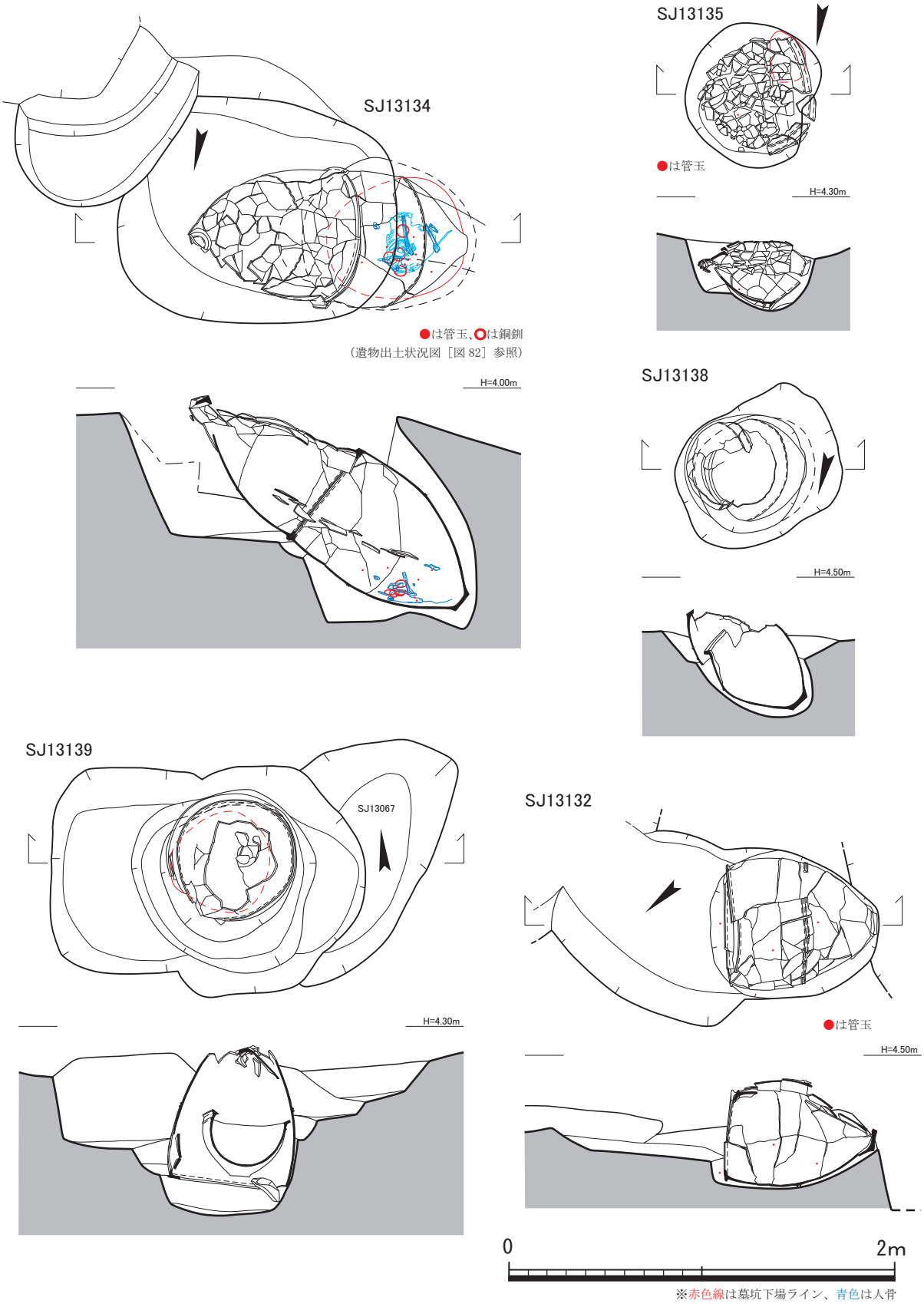


図43　SJ13132・13134・13135・13138・13139甕棺墓（1/30）

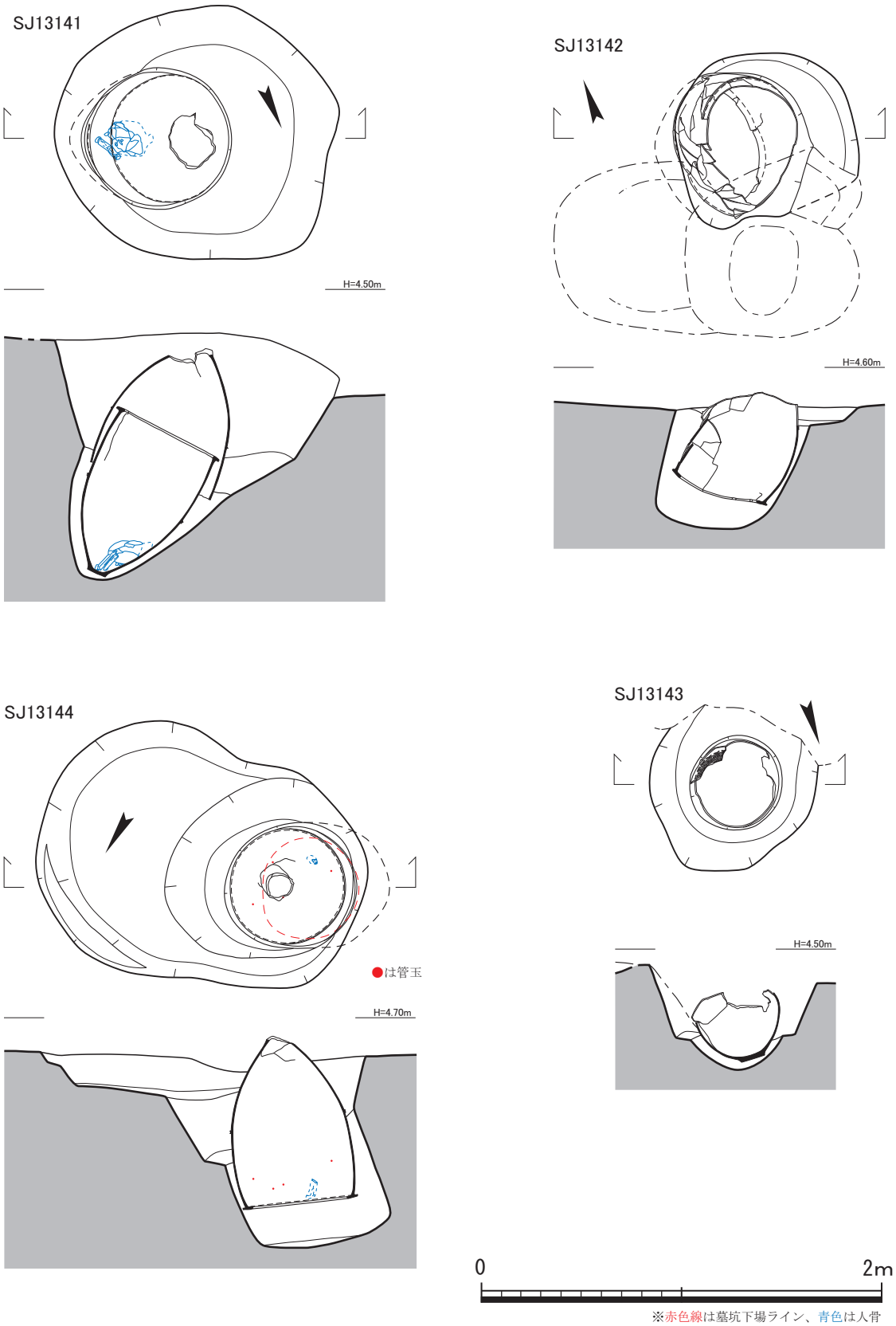


図44　SJ13141・13142・13143・13144甕棺墓（1/30）

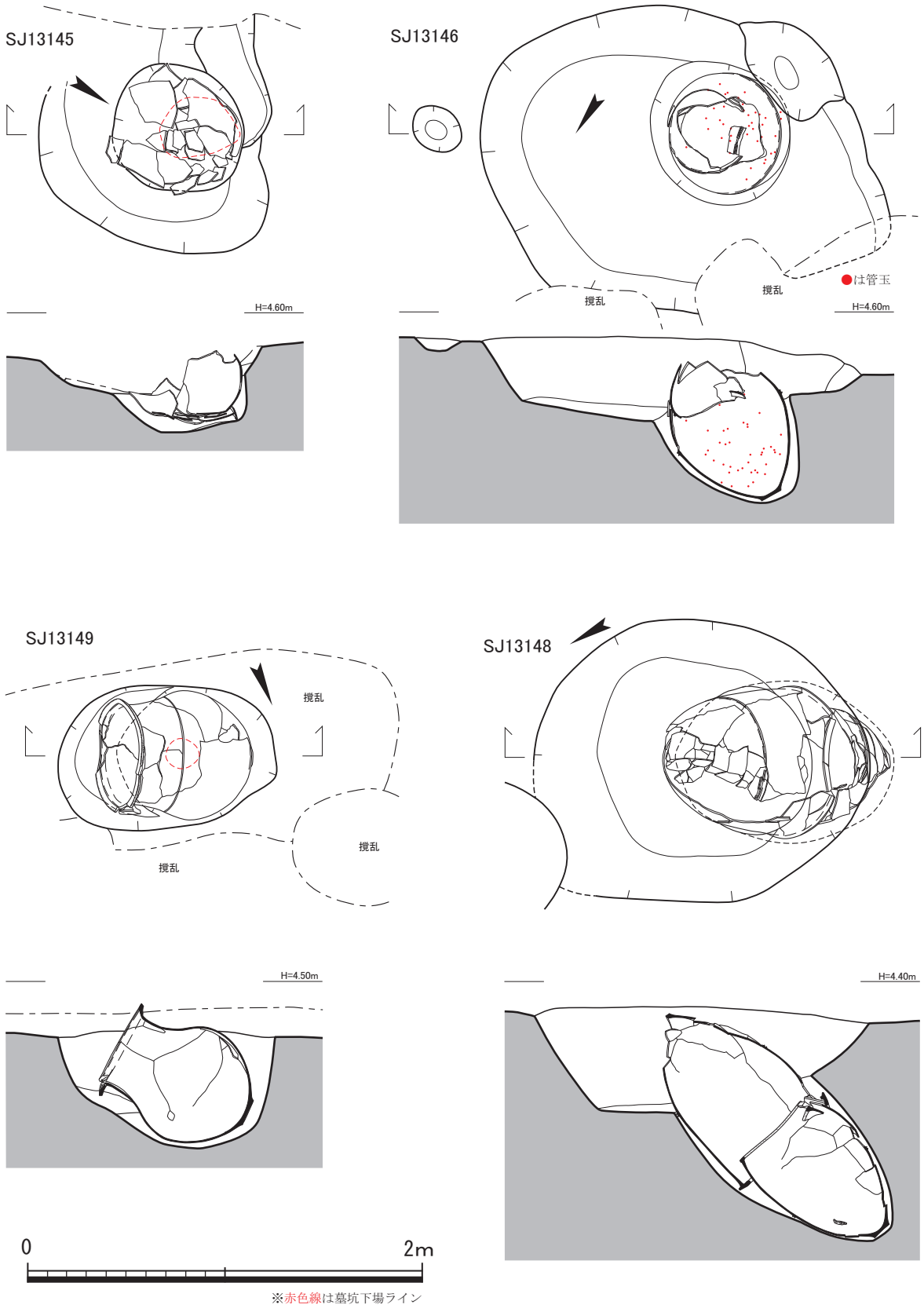


図45　SJ13145・13146・13148・13149甕棺墓（1/30）

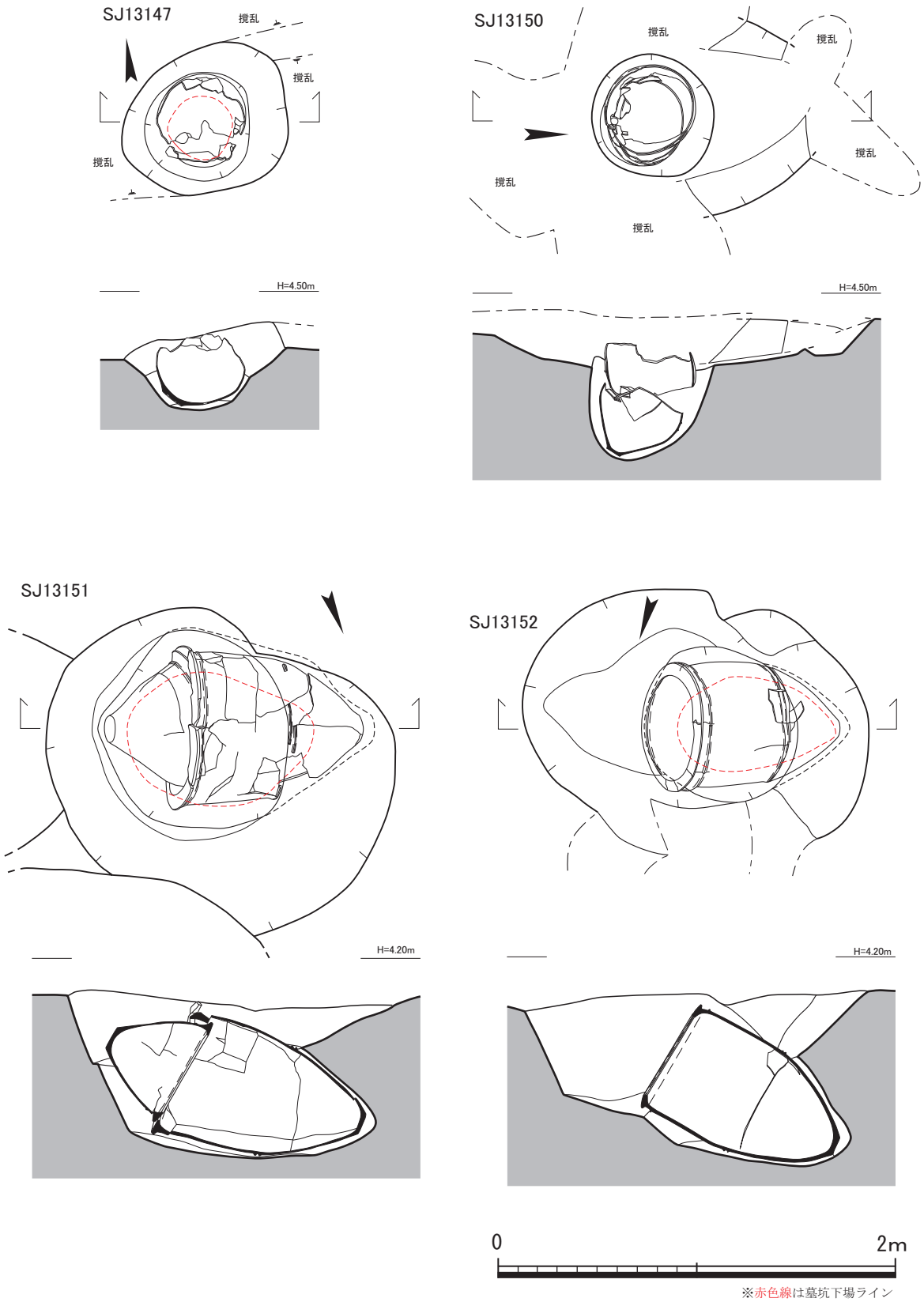


図46　SJ13147・13150・13151・13152甕棺墓（1/30）

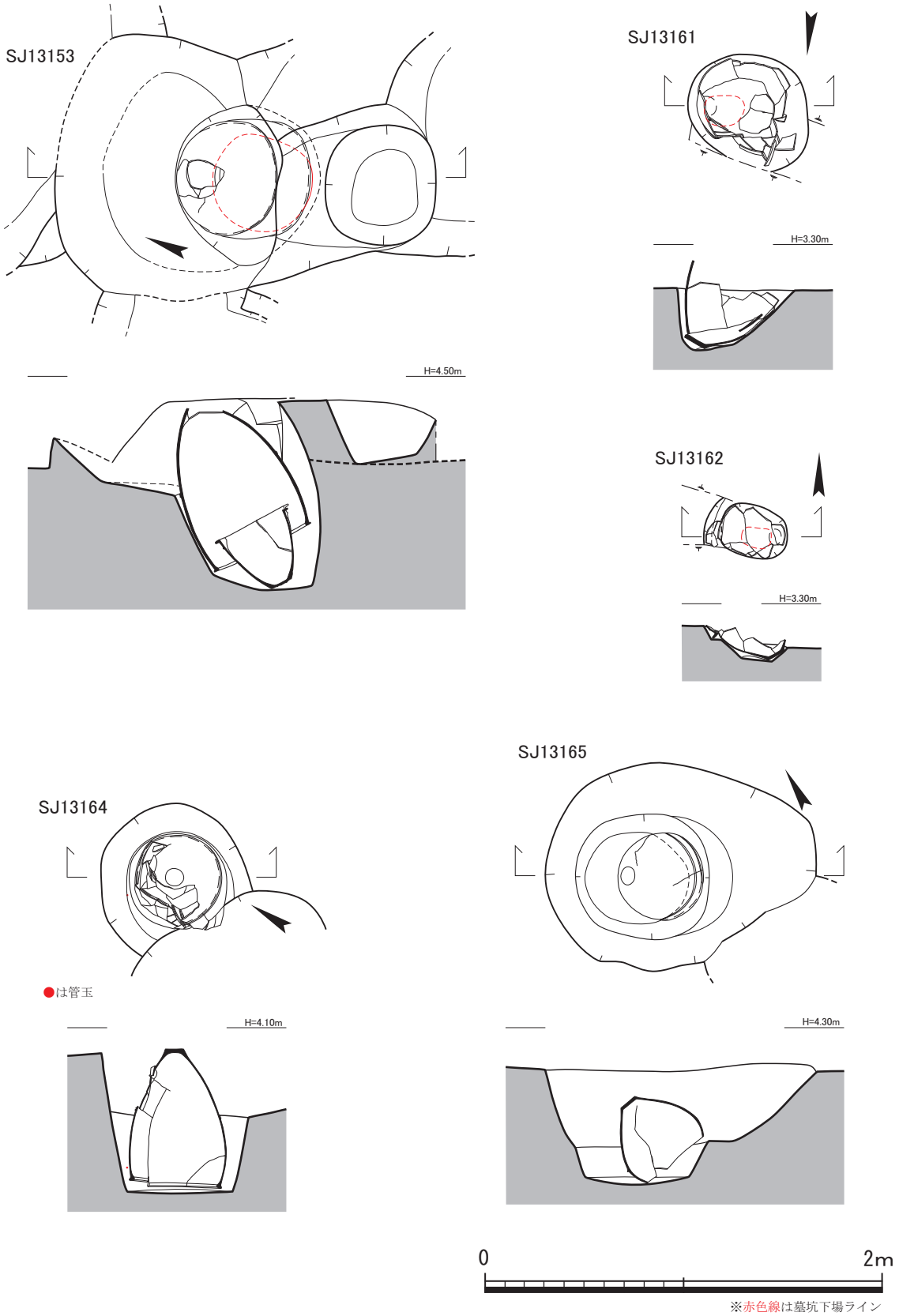


図47　SJ13153・13161・13162・13164・13165甕棺墓（1/30）

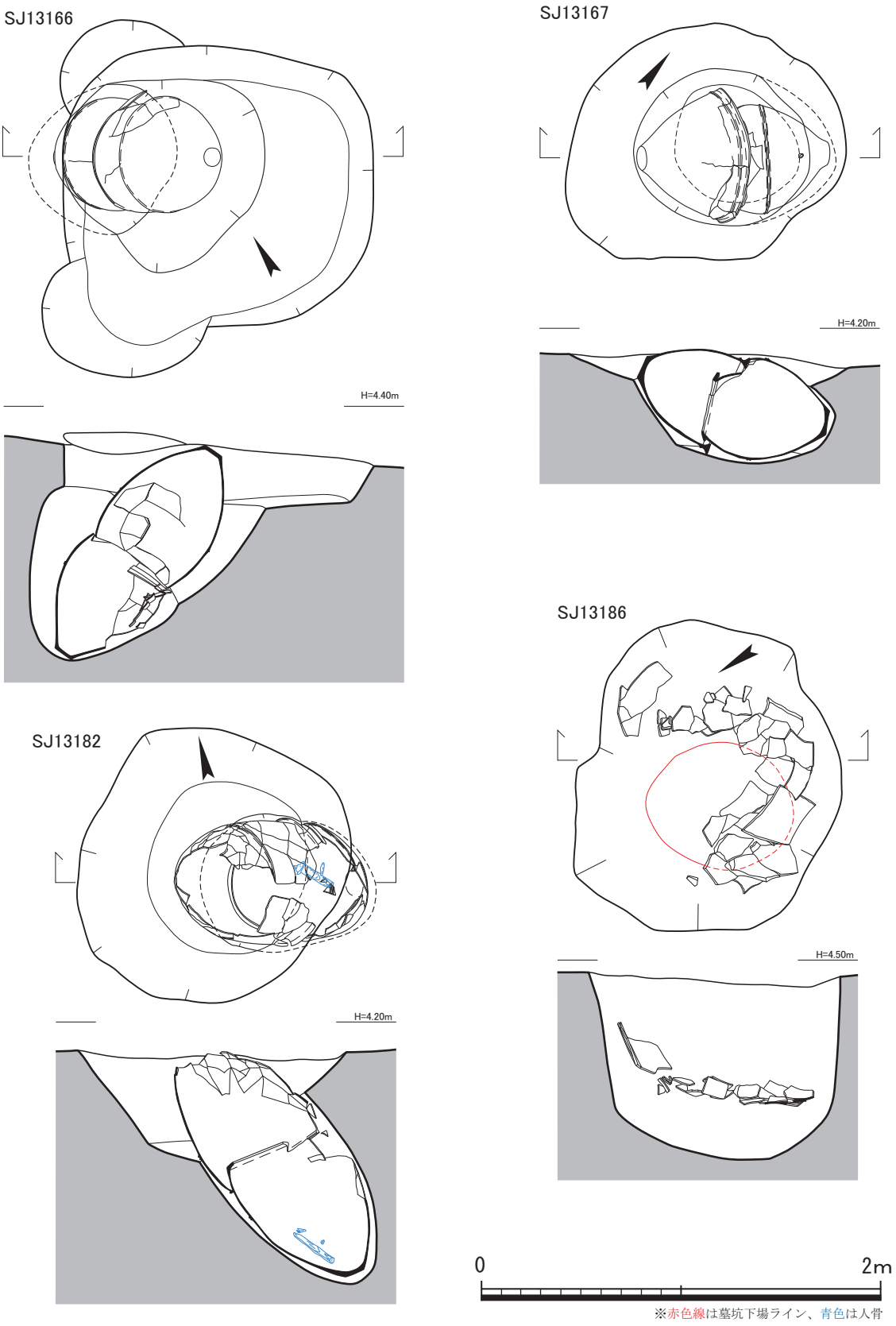


図48　SJ13166・13167・13182・13186甕棺墓（1/30）

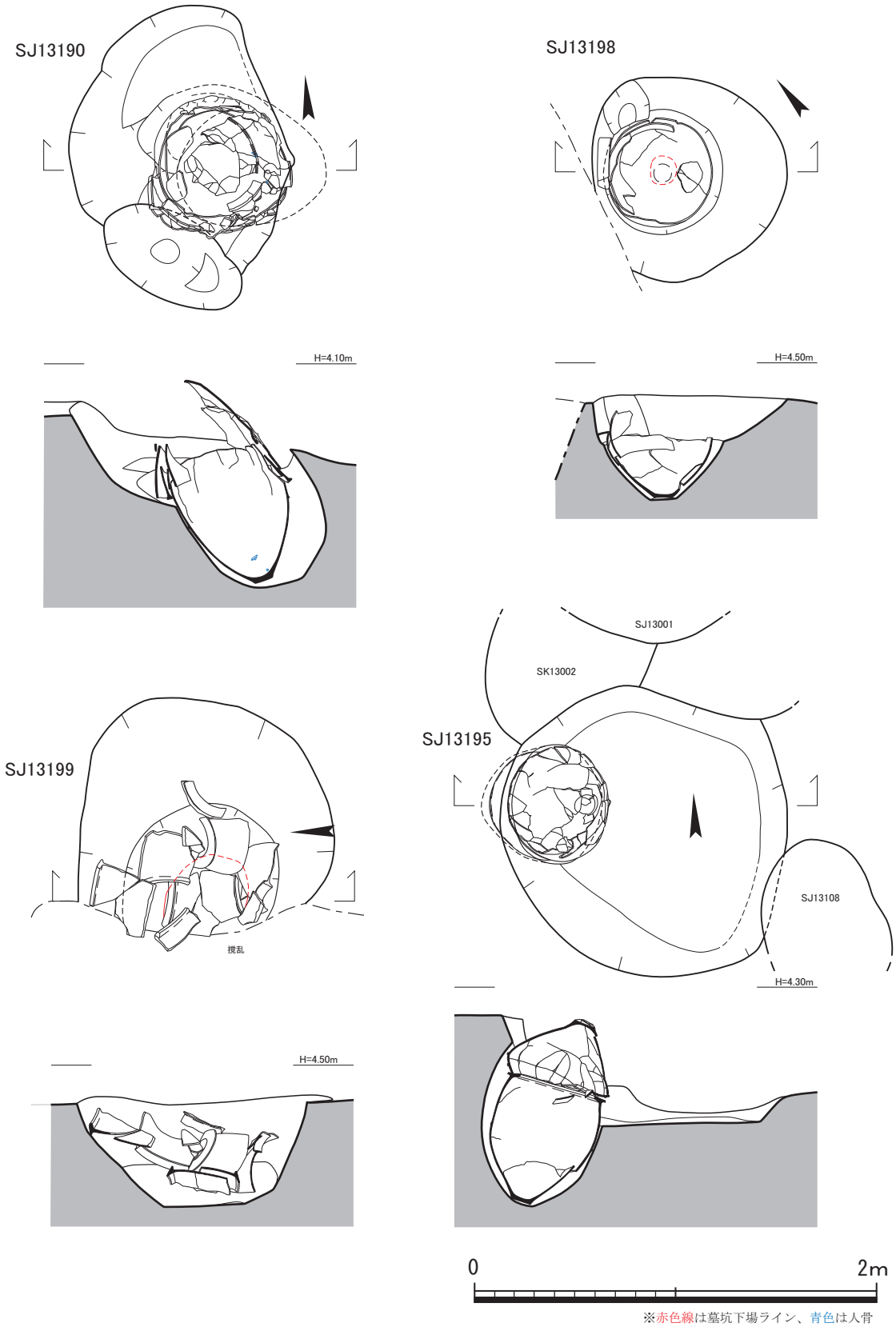


図49　SJ13190・13195・13198・13199甕棺墓（1/30）

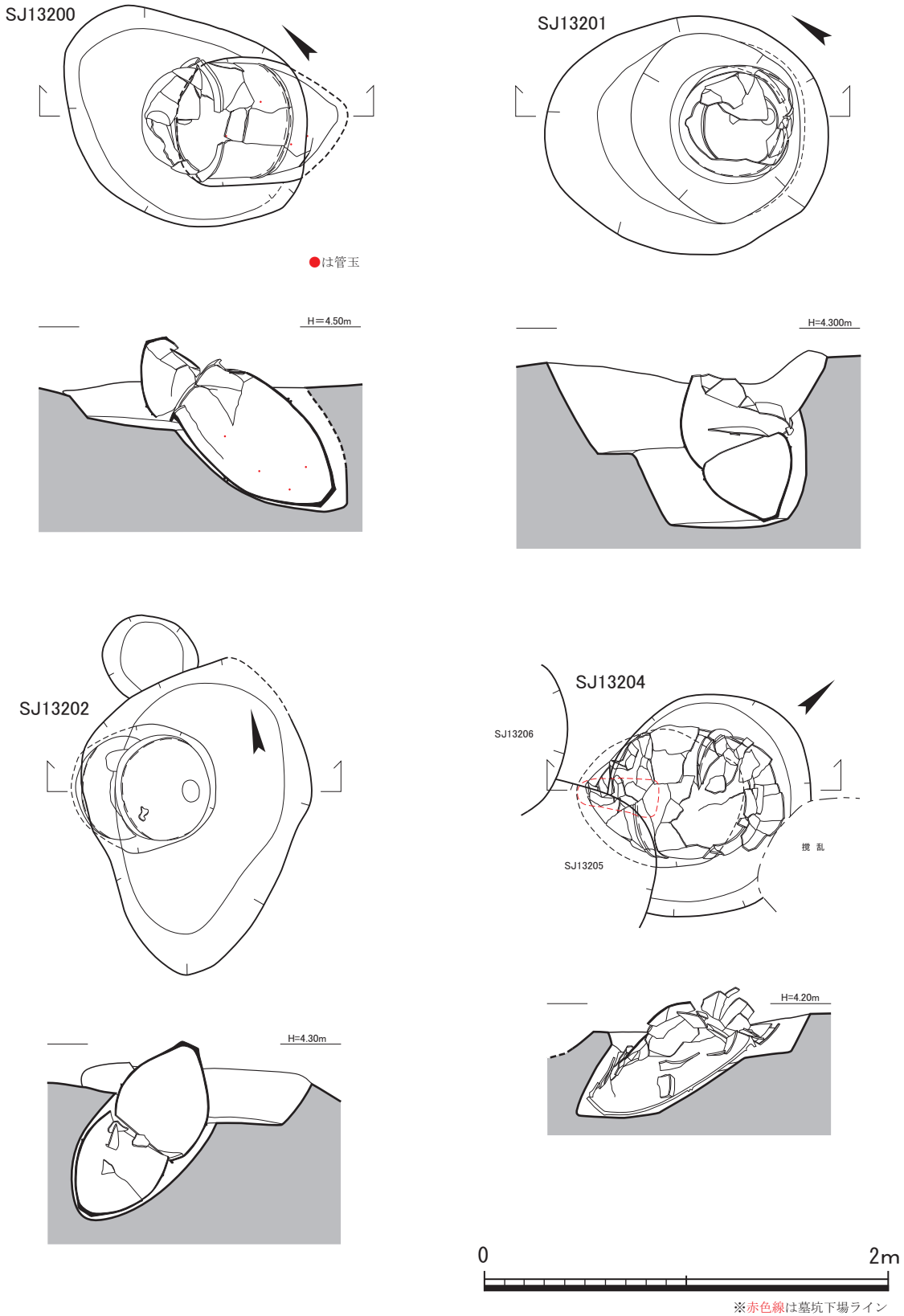


図50　SJ13200・13201・13202・13204甕棺墓（1/30）

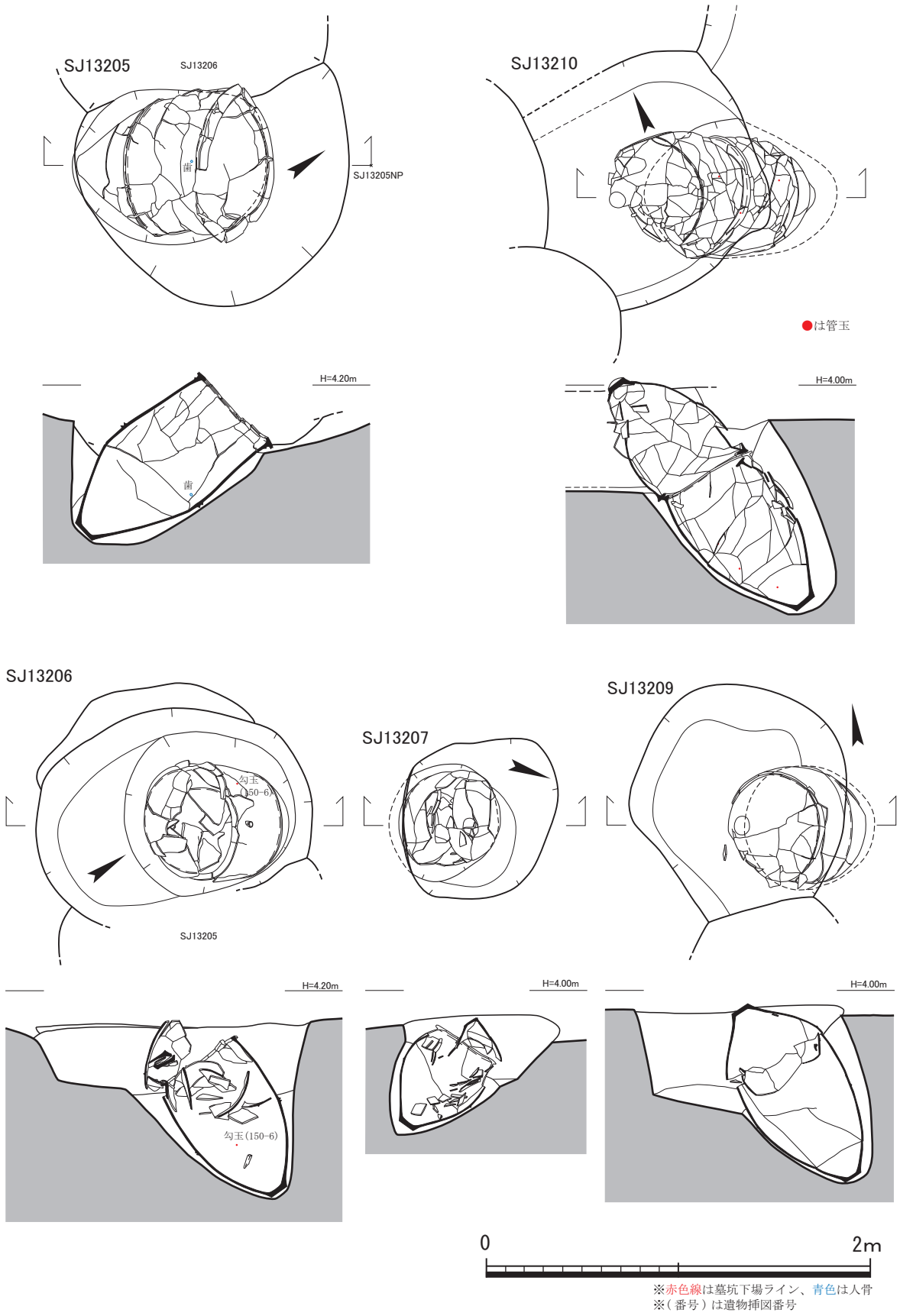


図51　SJ13205・13206・13207・13209・13210甕棺墓（1/30）

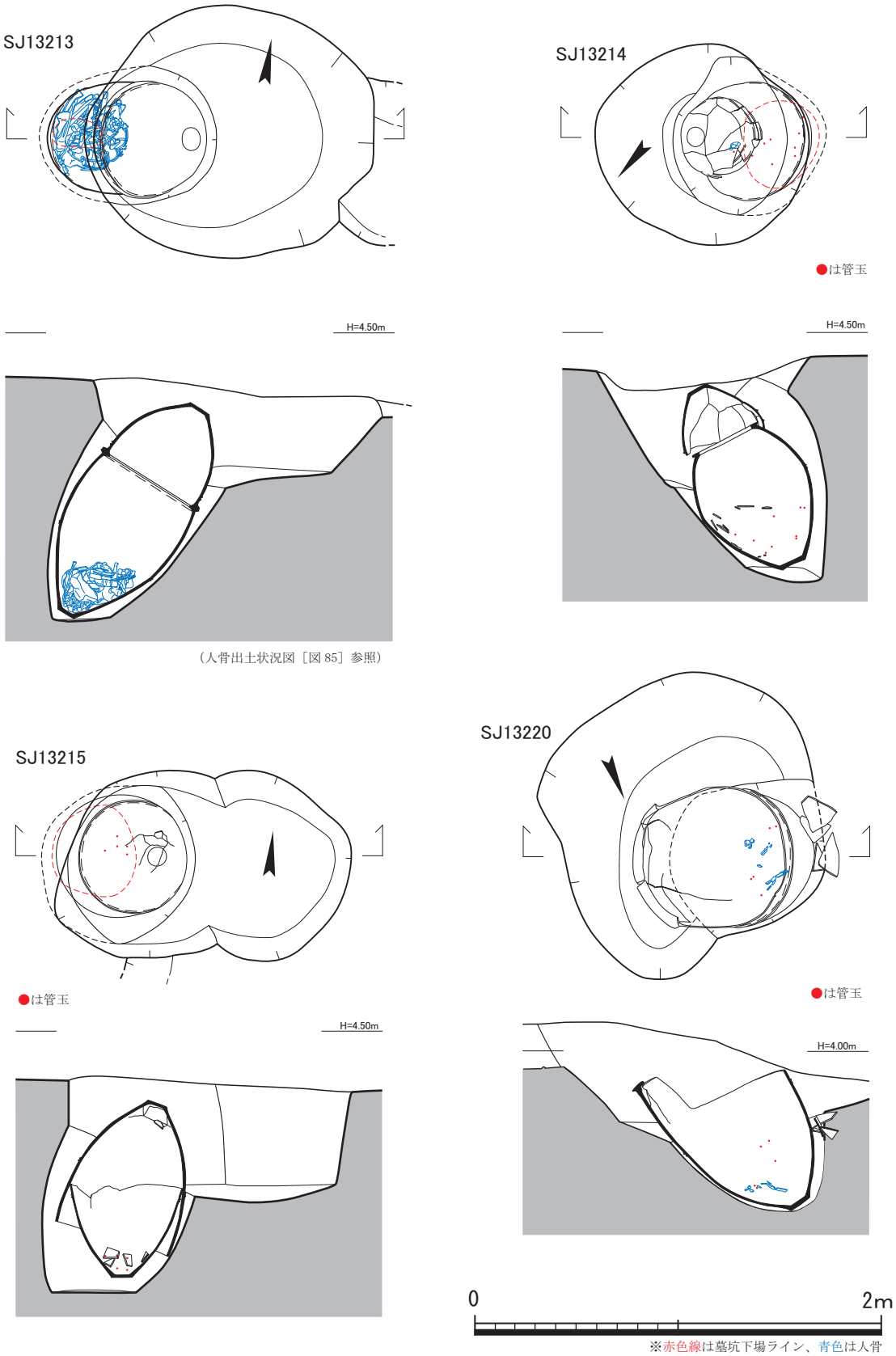


図52　SJ13213・13214・13215・13220甕棺墓（1/30）

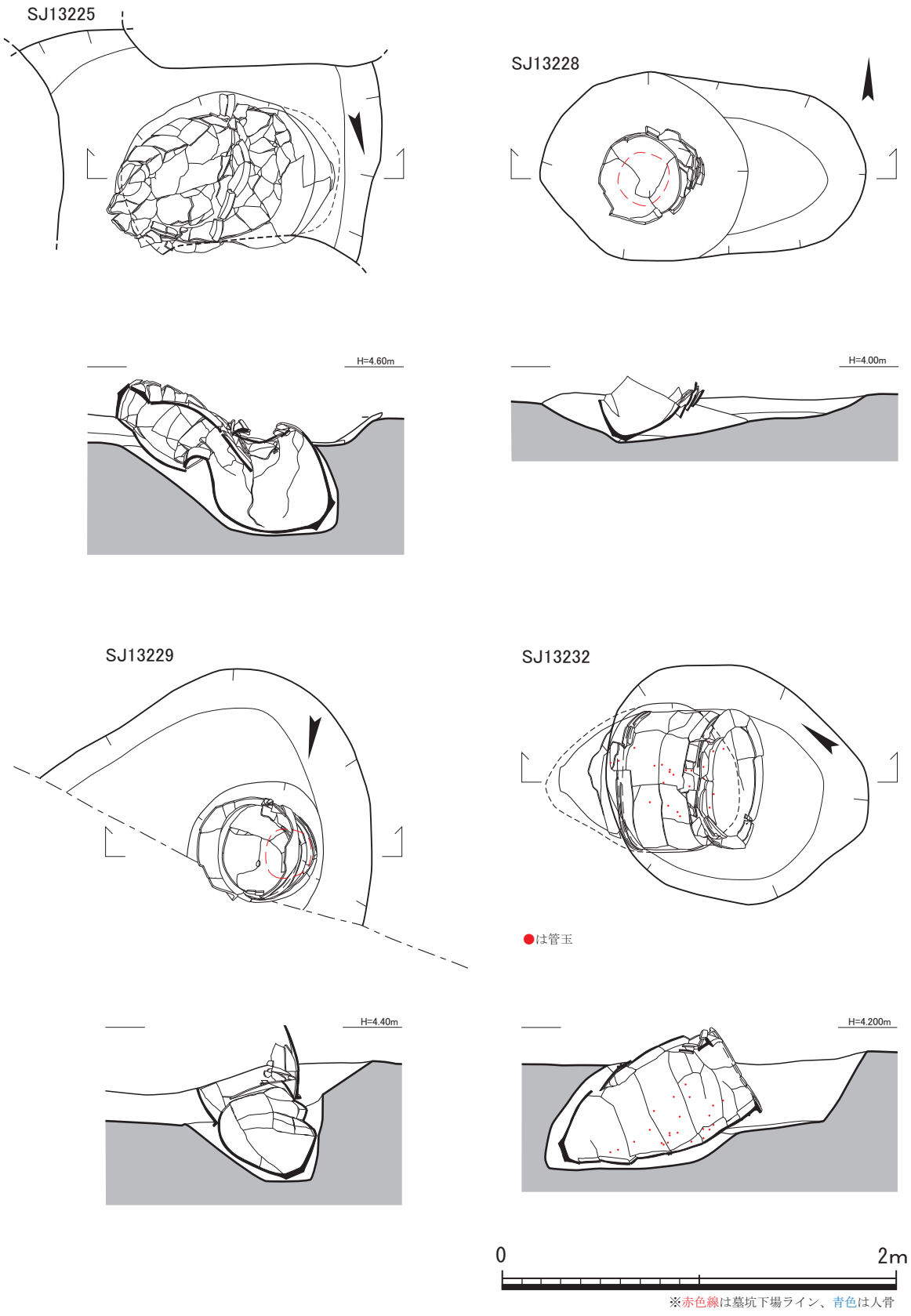


図53　SJ13225・13228・13229・13232甕棺墓（1/30）

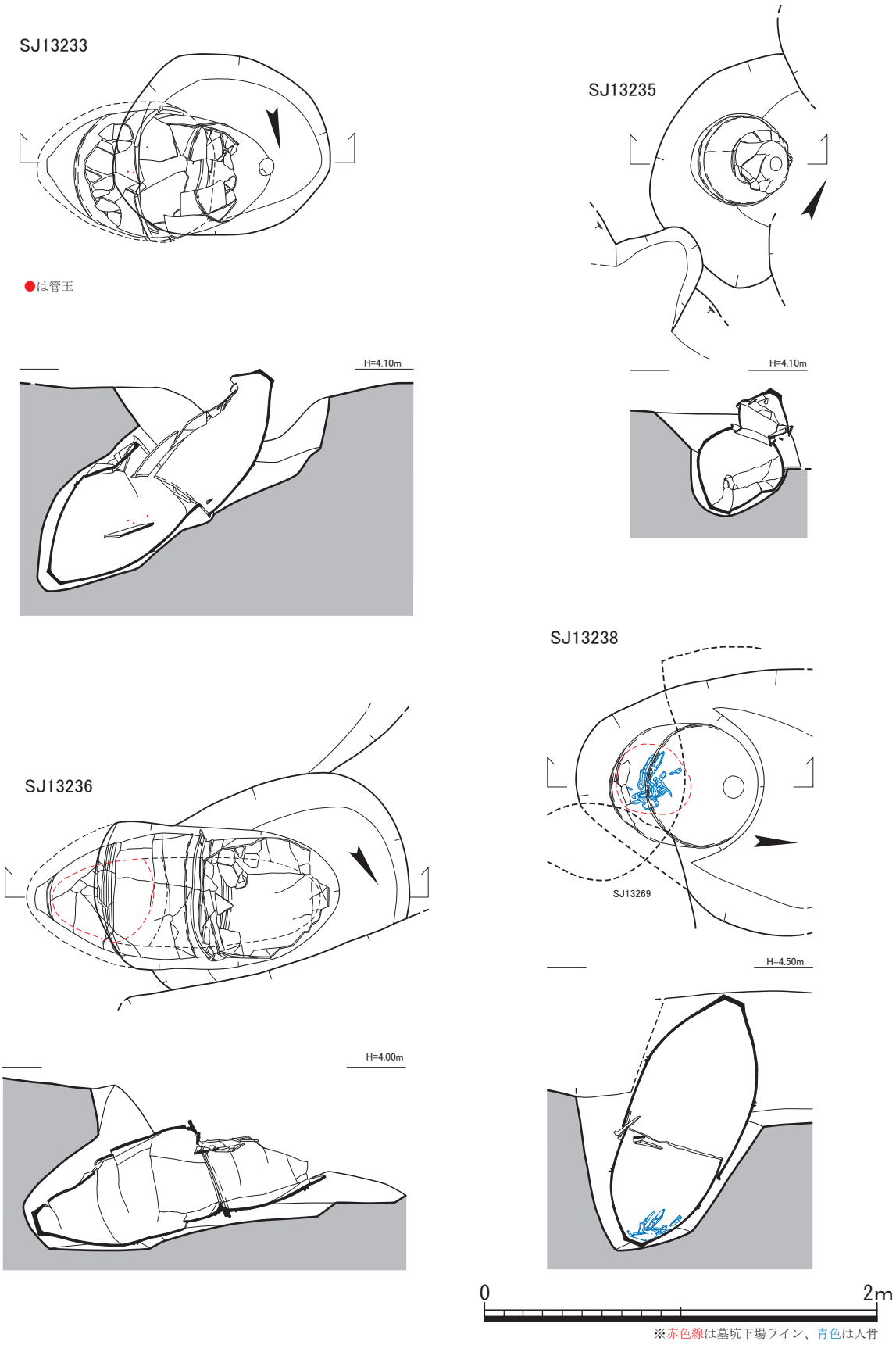


図54　SJ13233・13235・13236・13238甕棺墓（1/30）

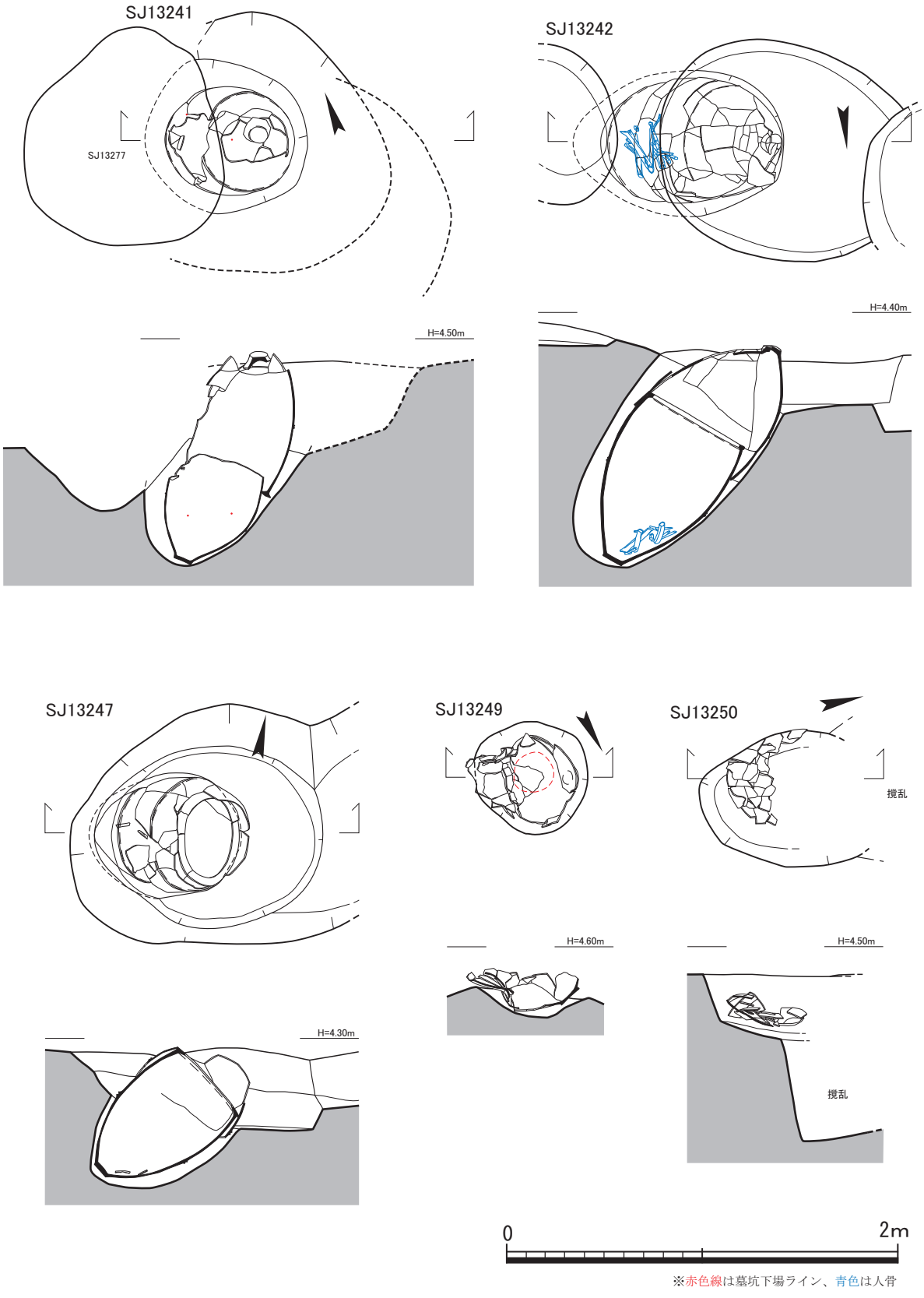


図55　SJ13241・13242・13247・13249・13250甕棺墓（1/30）

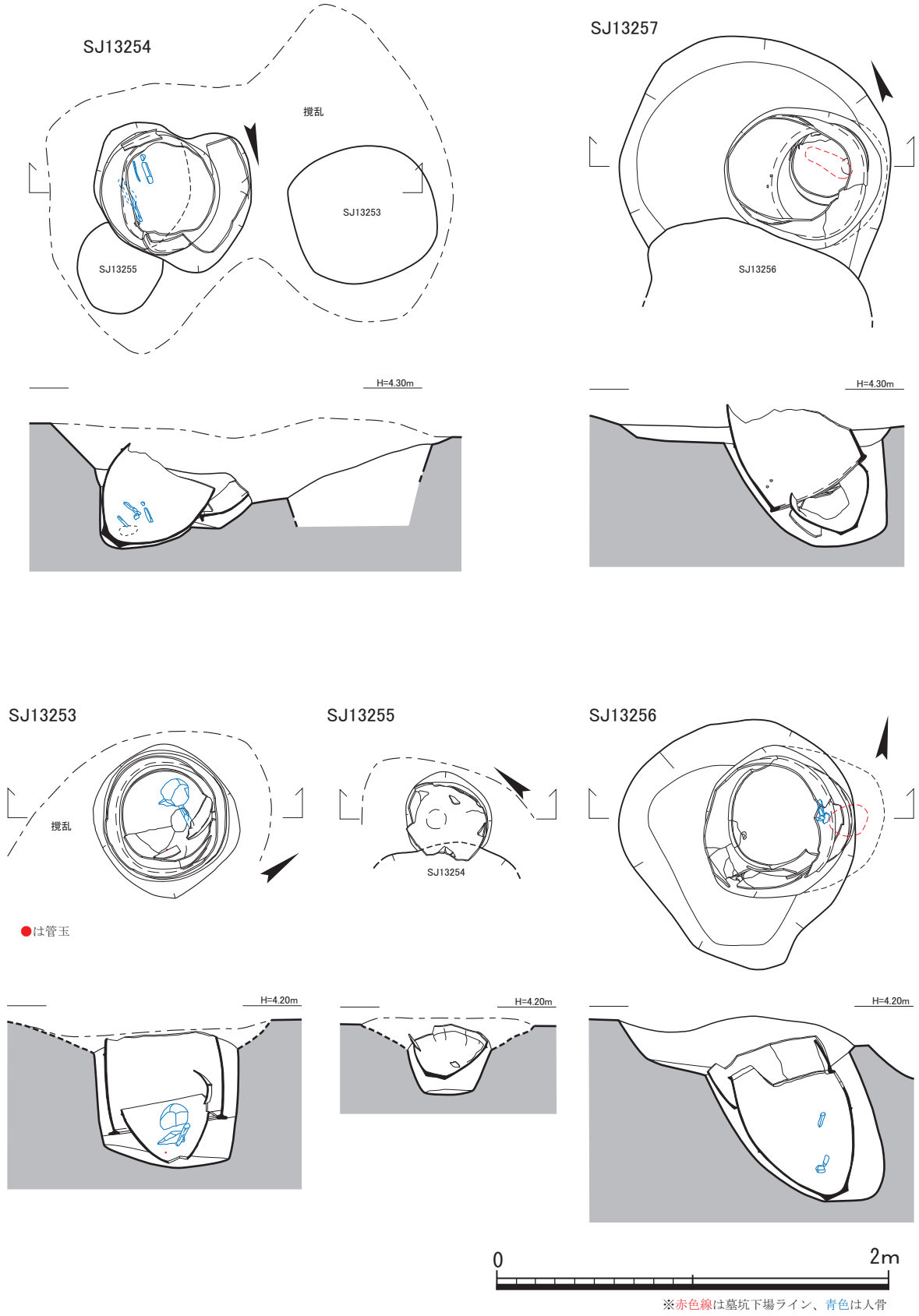


図56　SJ13253・13254・13255・13256・13257甕棺墓（1/30）

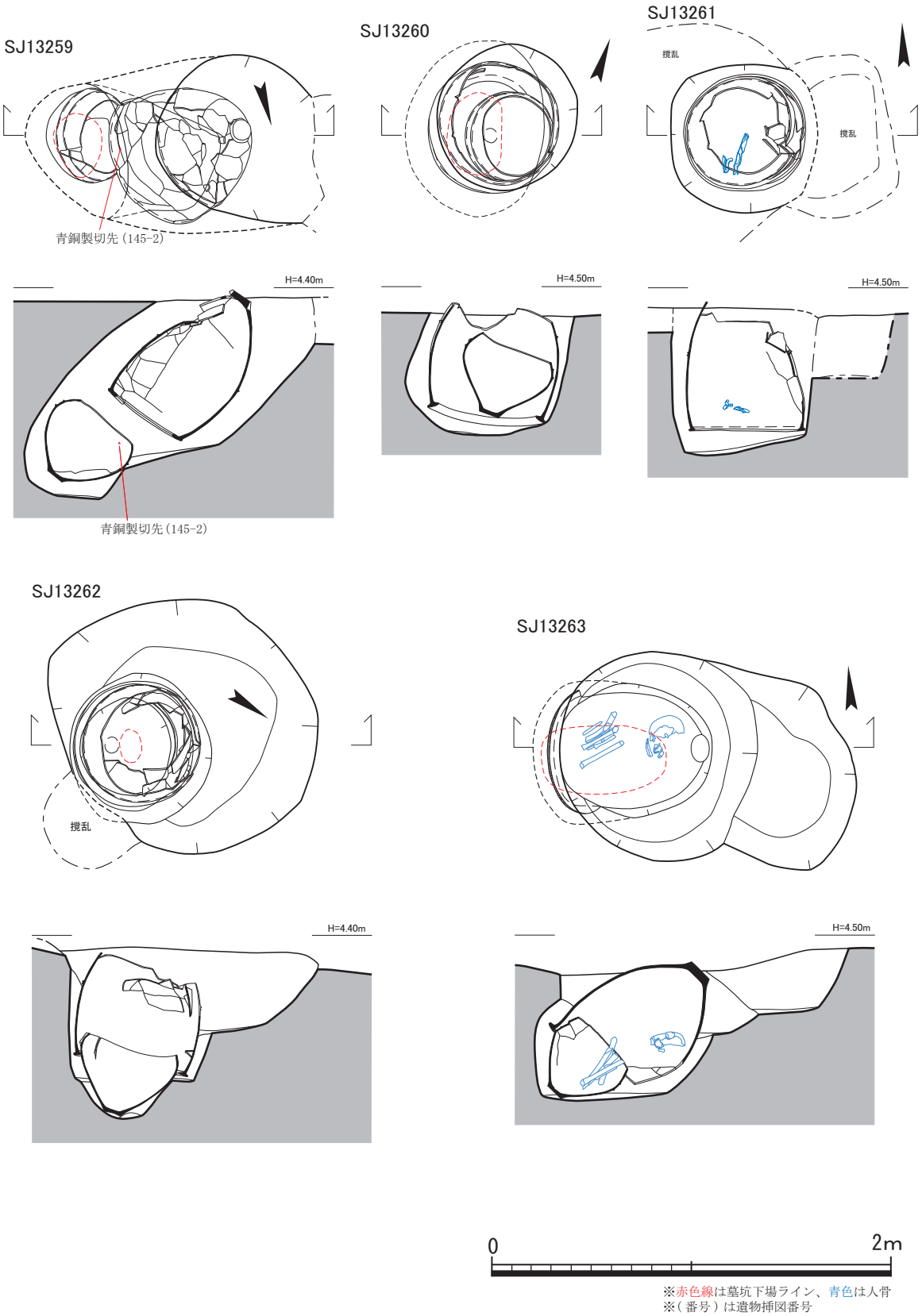


図57　SJ13259・13260・13261・13262・13263甕棺墓（1/30）

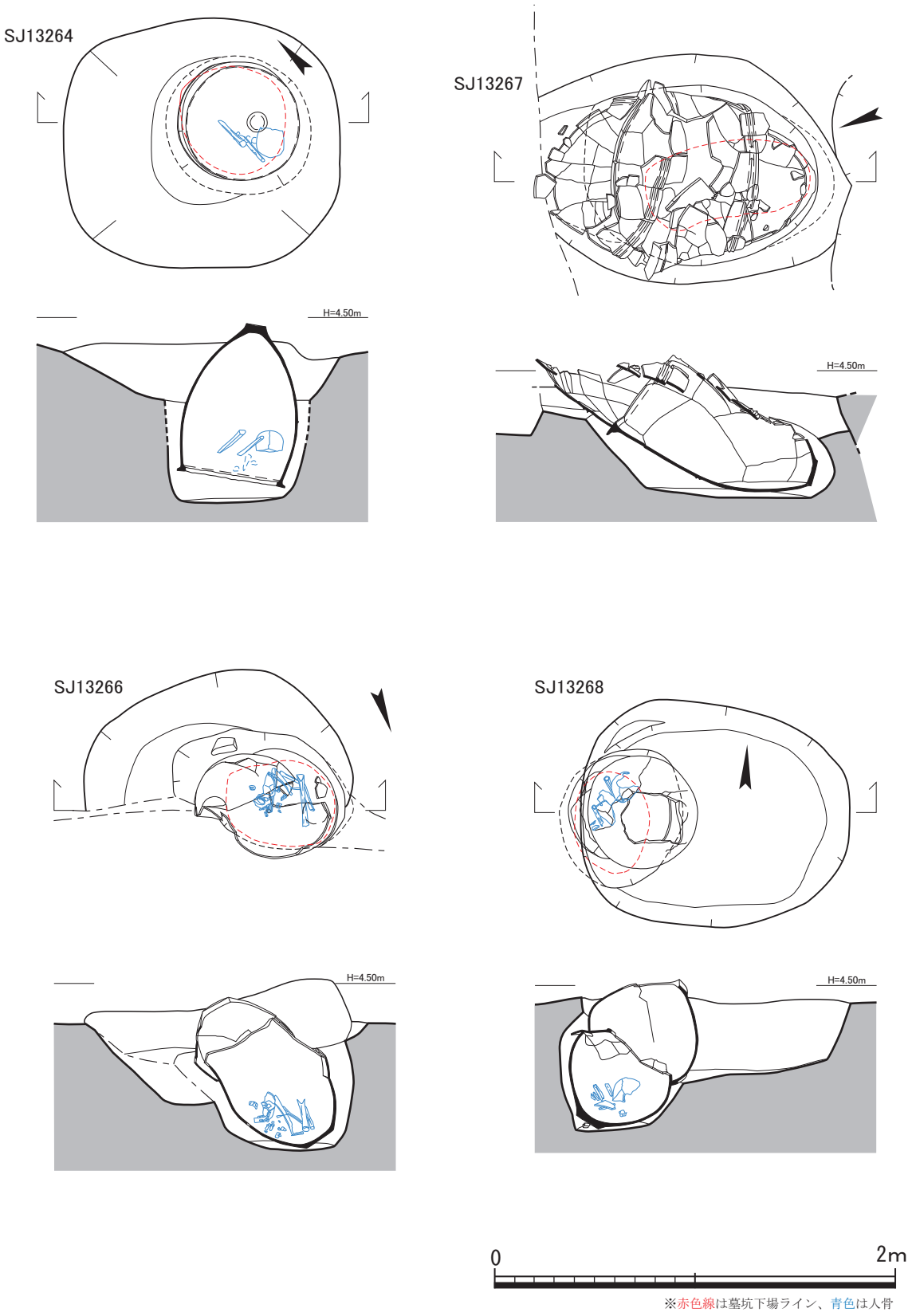


図58　SJ13264・13266・13267・13268甕棺墓（1/30）

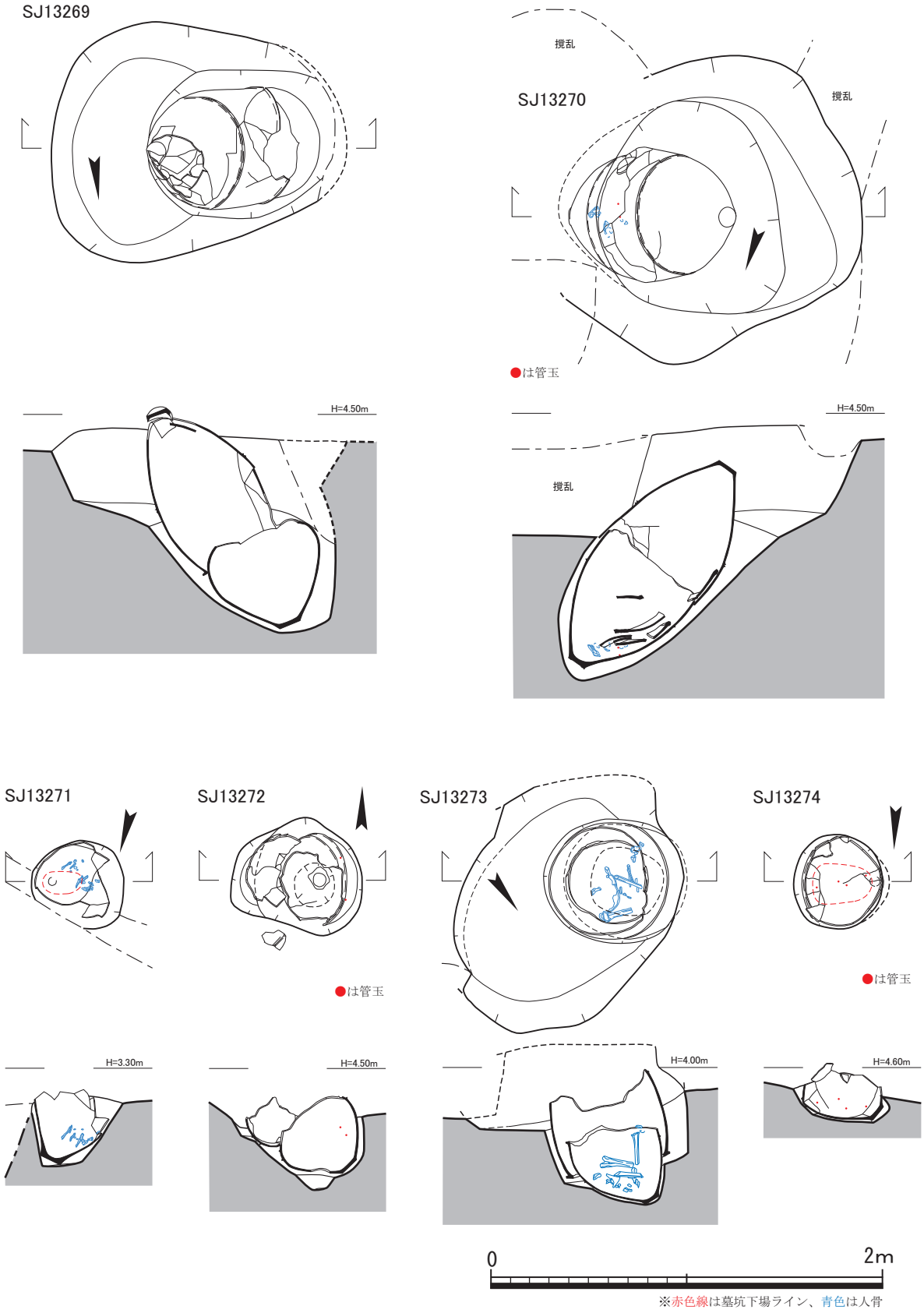


図59　SJ13269・13270・13271・13272・13273・13274甕棺墓（1/30）

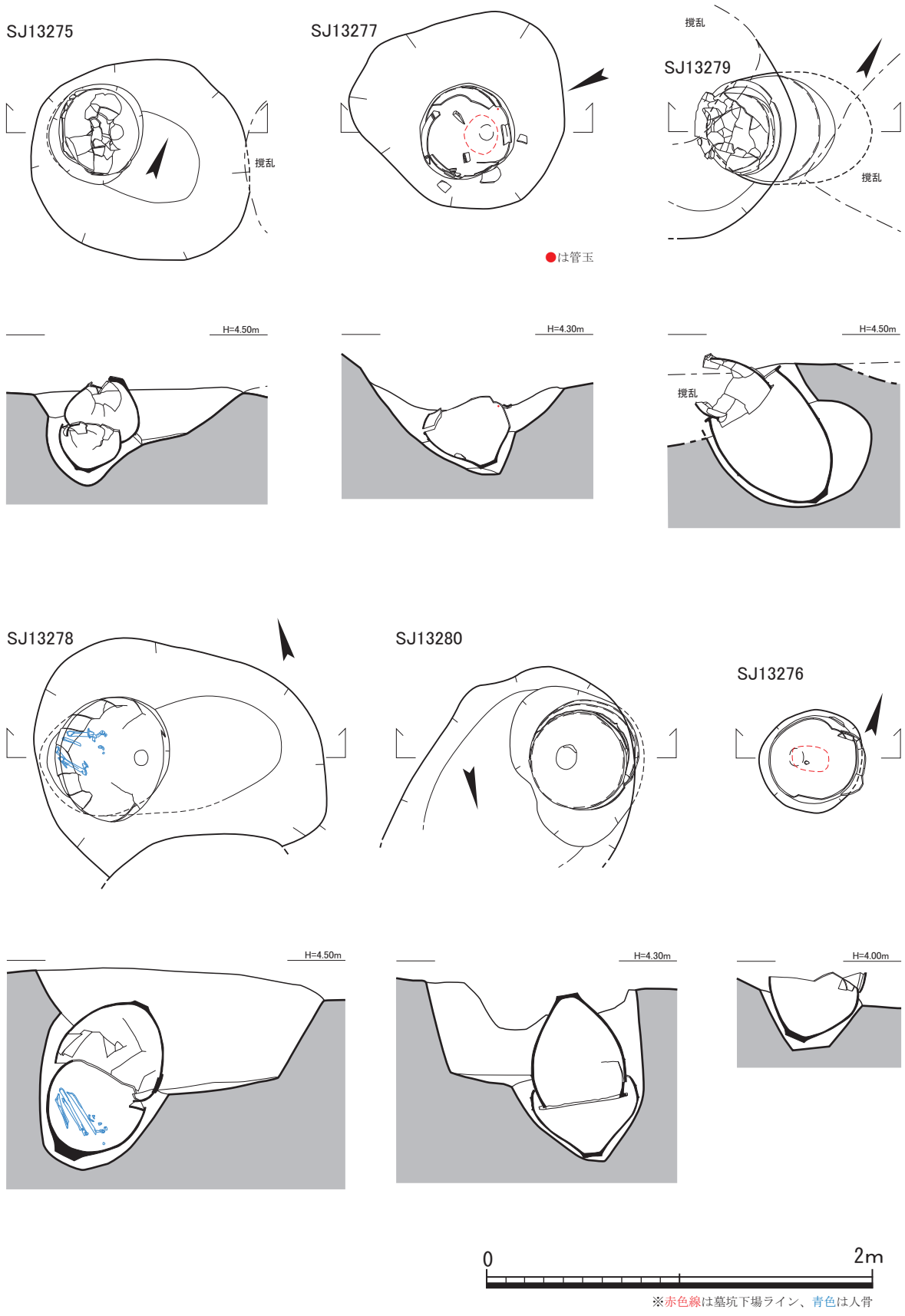


図60　SJ13275・13276・13277・13278・13279・13280甕棺墓（1/30）

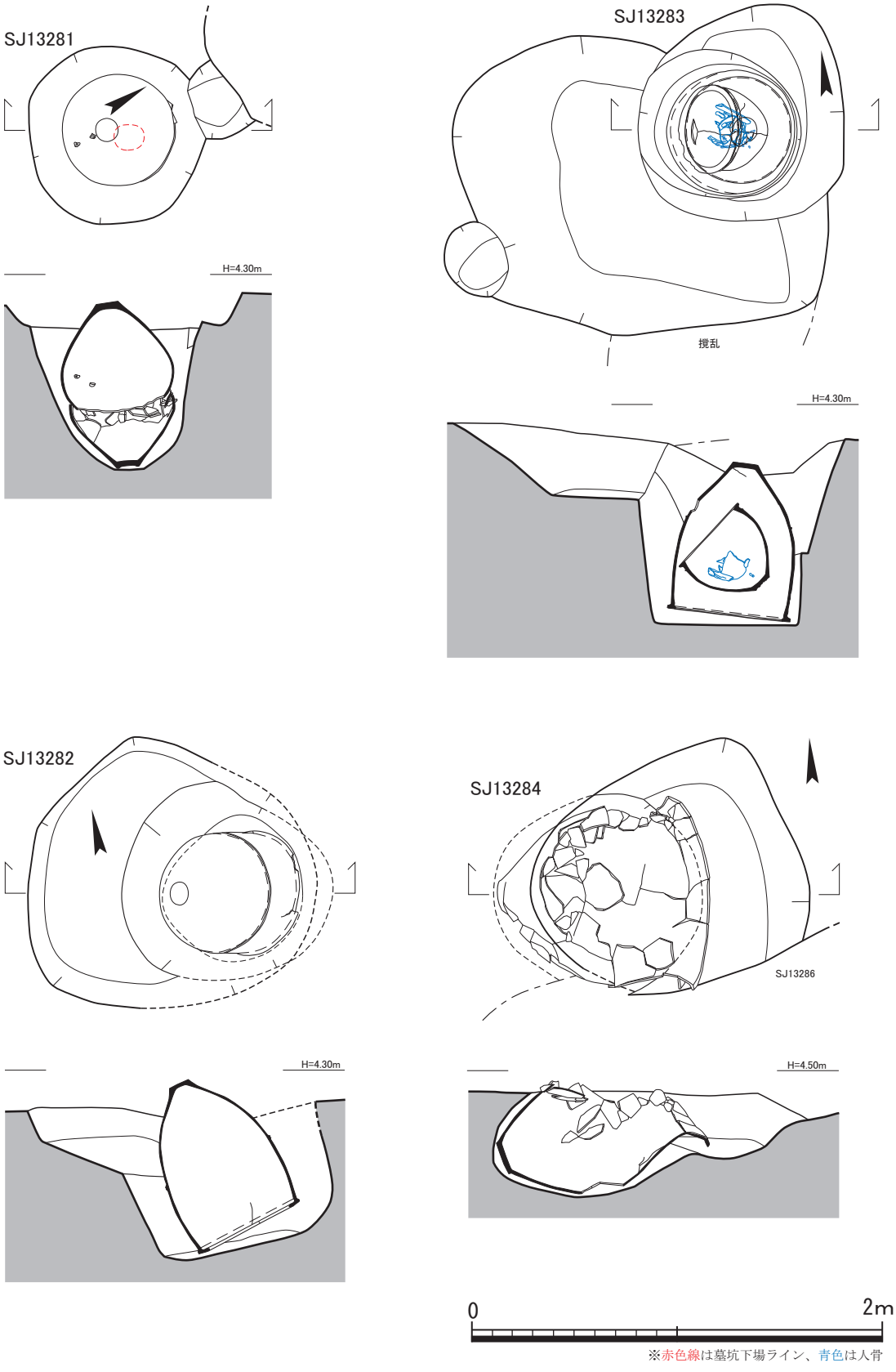


図61　SJ13281・13282・13283・13284甕棺墓（1/30）

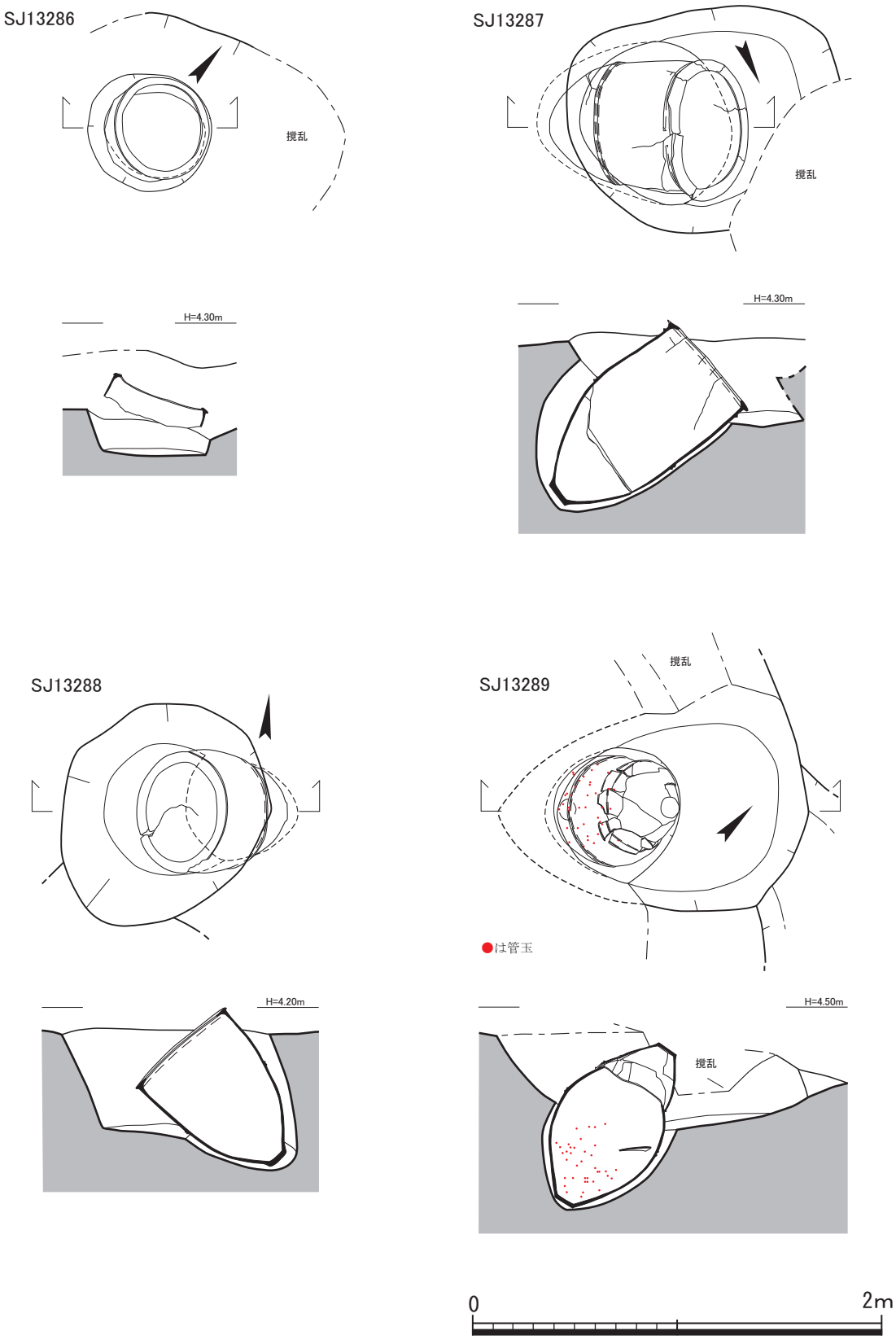


図62　SJ13286・13287・13288・13289甕棺墓（1/30）

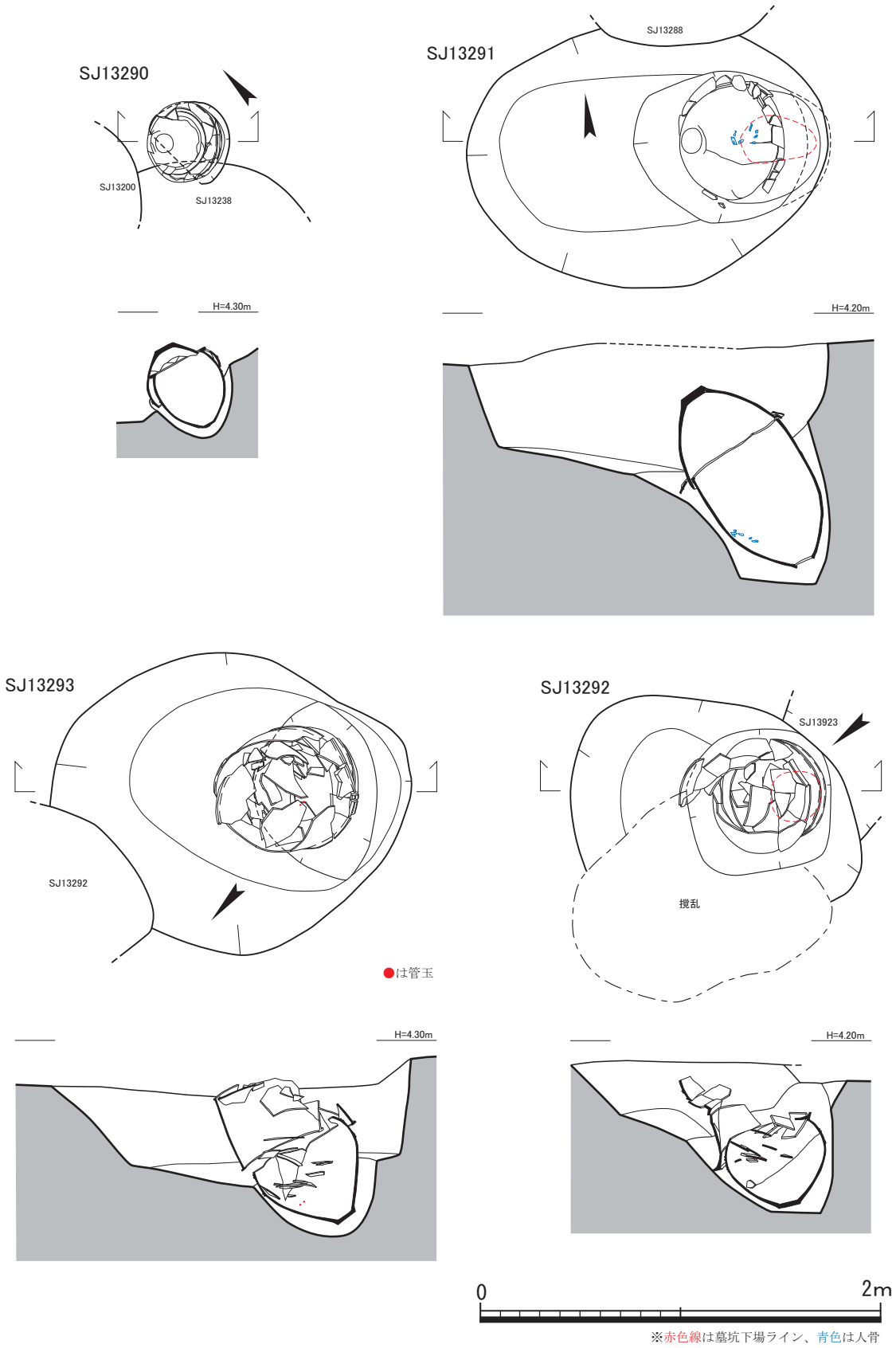


図63　SJ13290・13291・13292・13293甕棺墓（1/30）

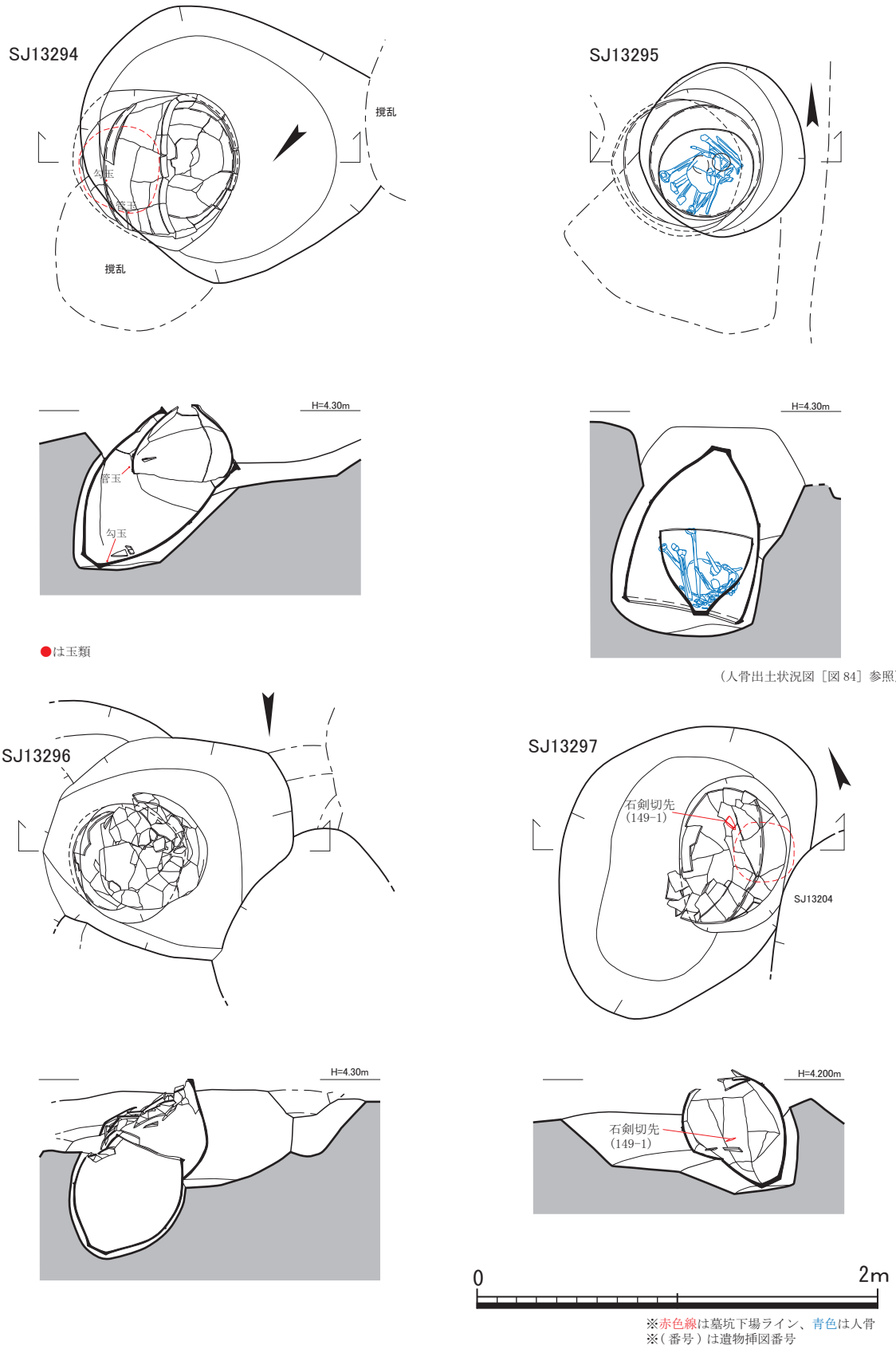


図64　SJ13294・13295・13296・13297甕棺墓（1/30）

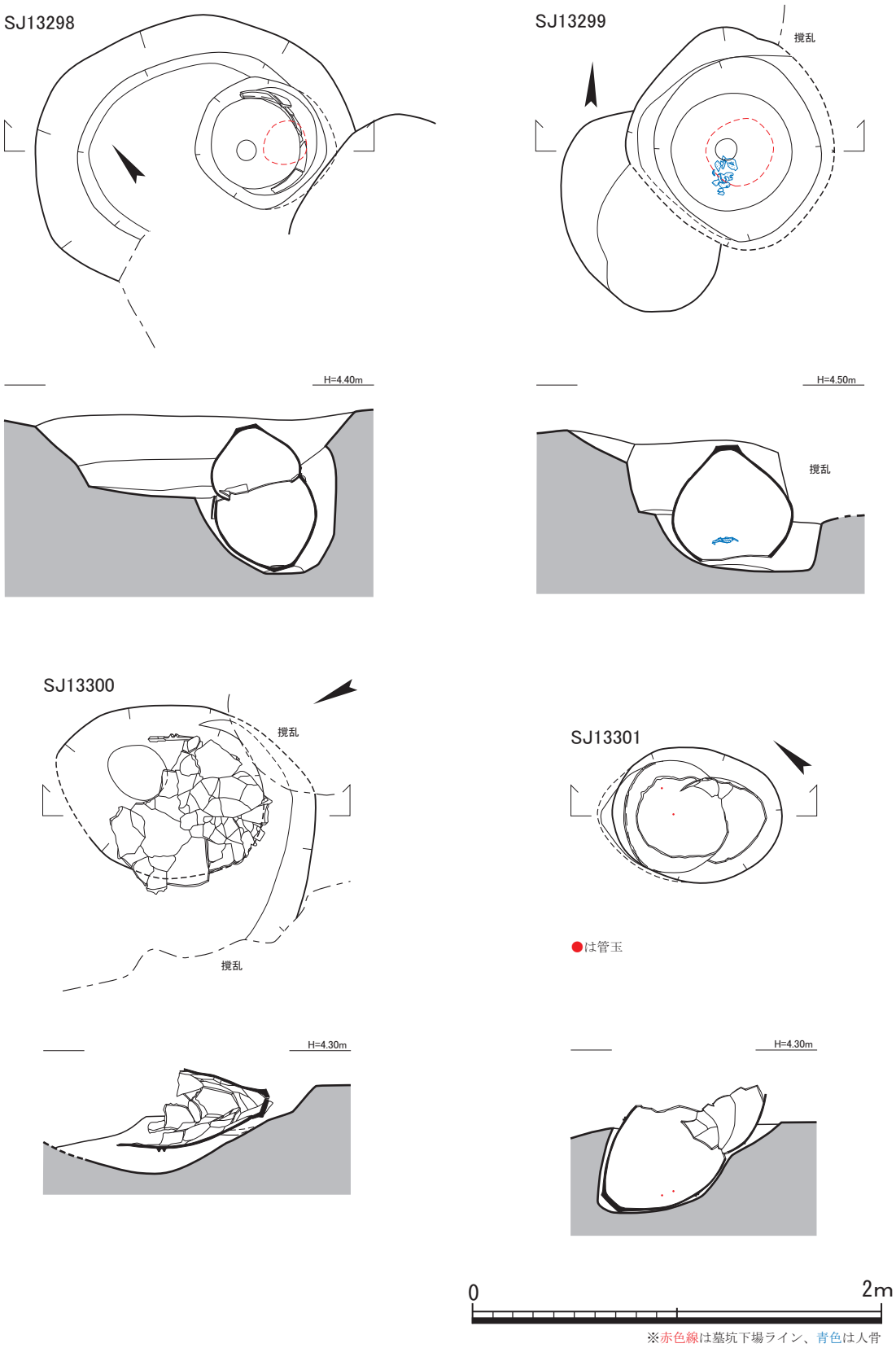


図65　SJ13298・13299・13300・13301甕棺墓（1/30）

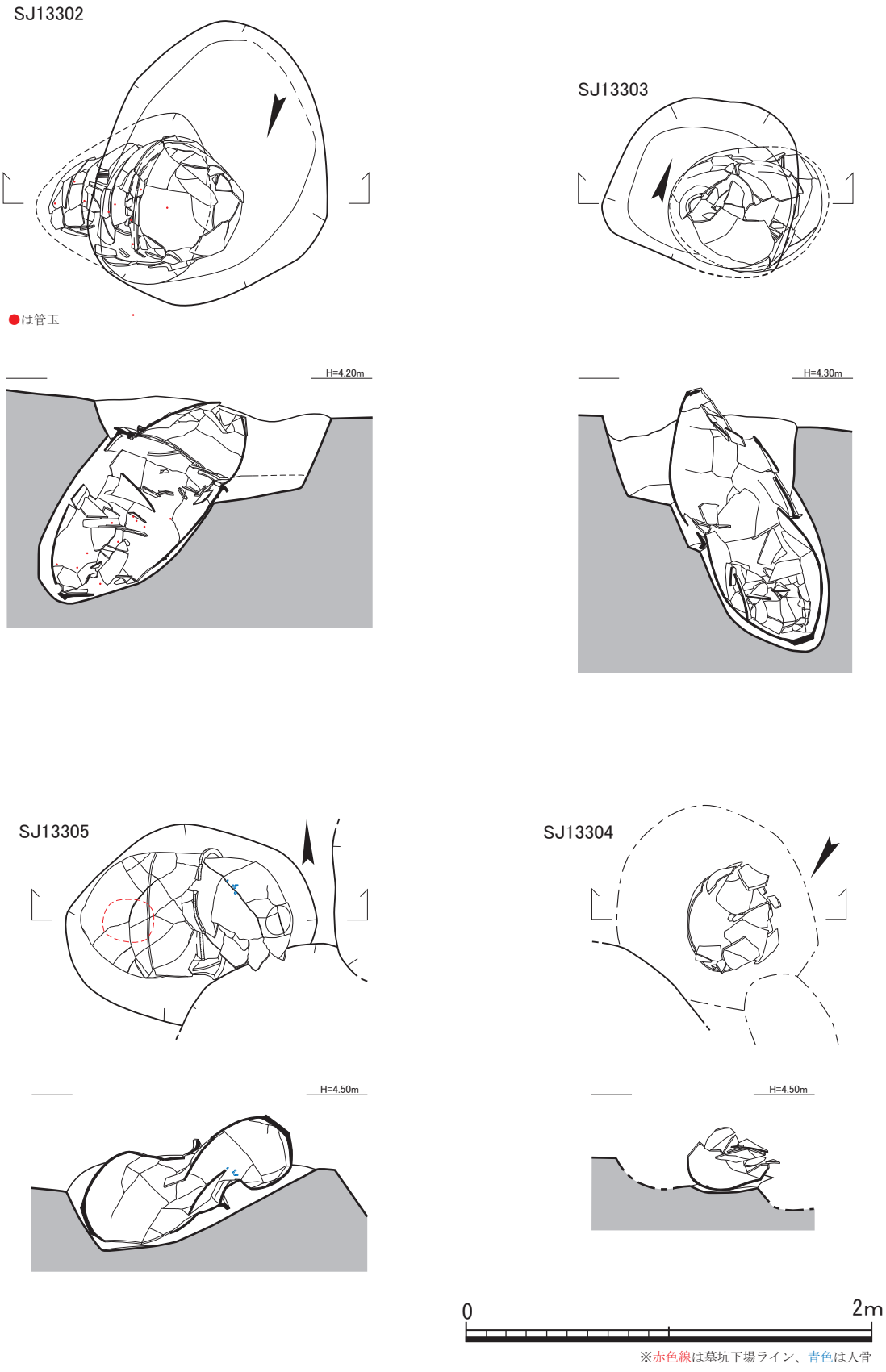


図66　SJ13302・13303・13304・13305甕棺墓（1/30）

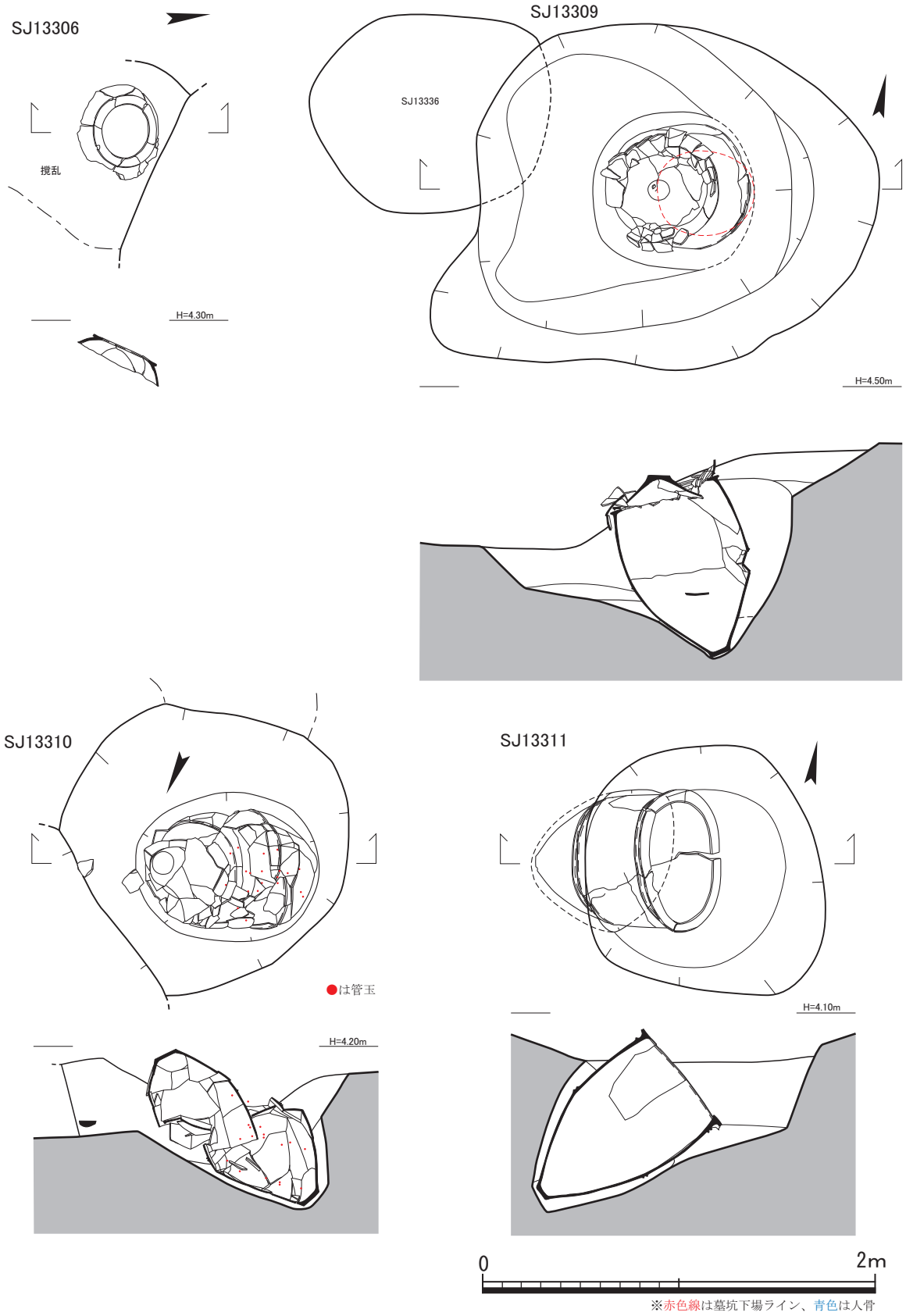


図67　SJ13306・13309・13310・13311甕棺墓（1/30）

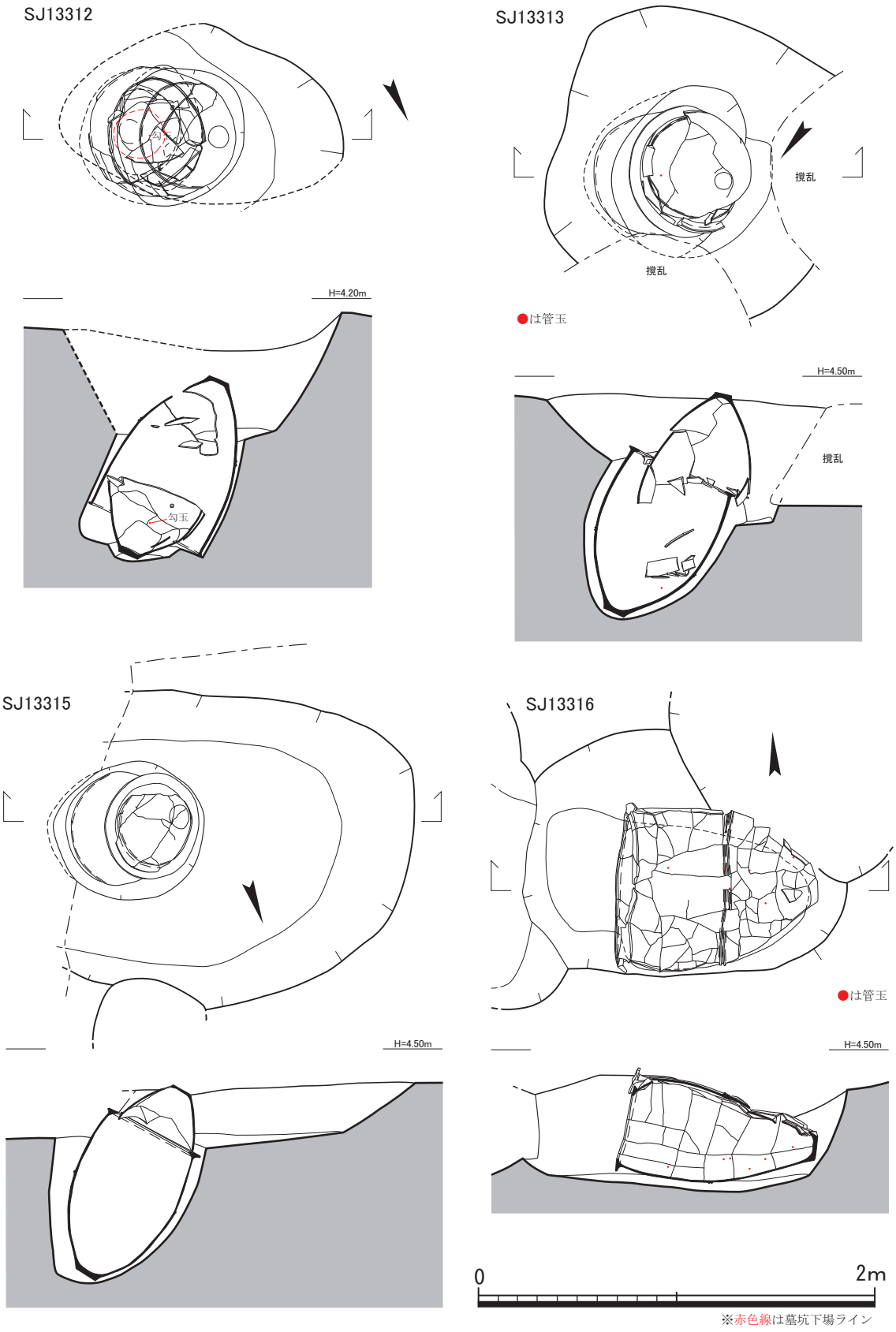


図68　SJ13312・13313・13315・13316甕棺墓（1/30）

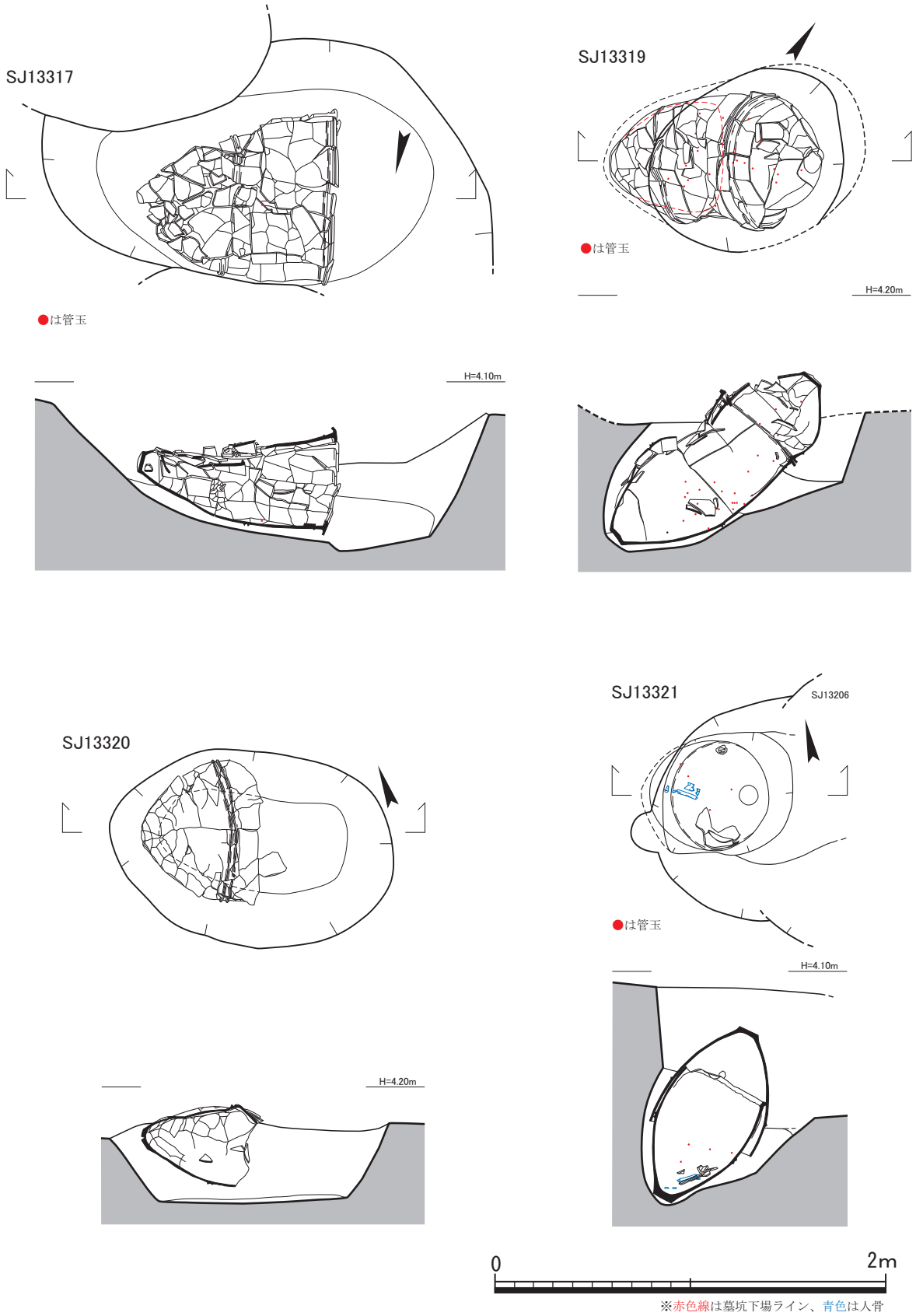


図69　SJ13317・13319・13320・13321甕棺墓（1/30）

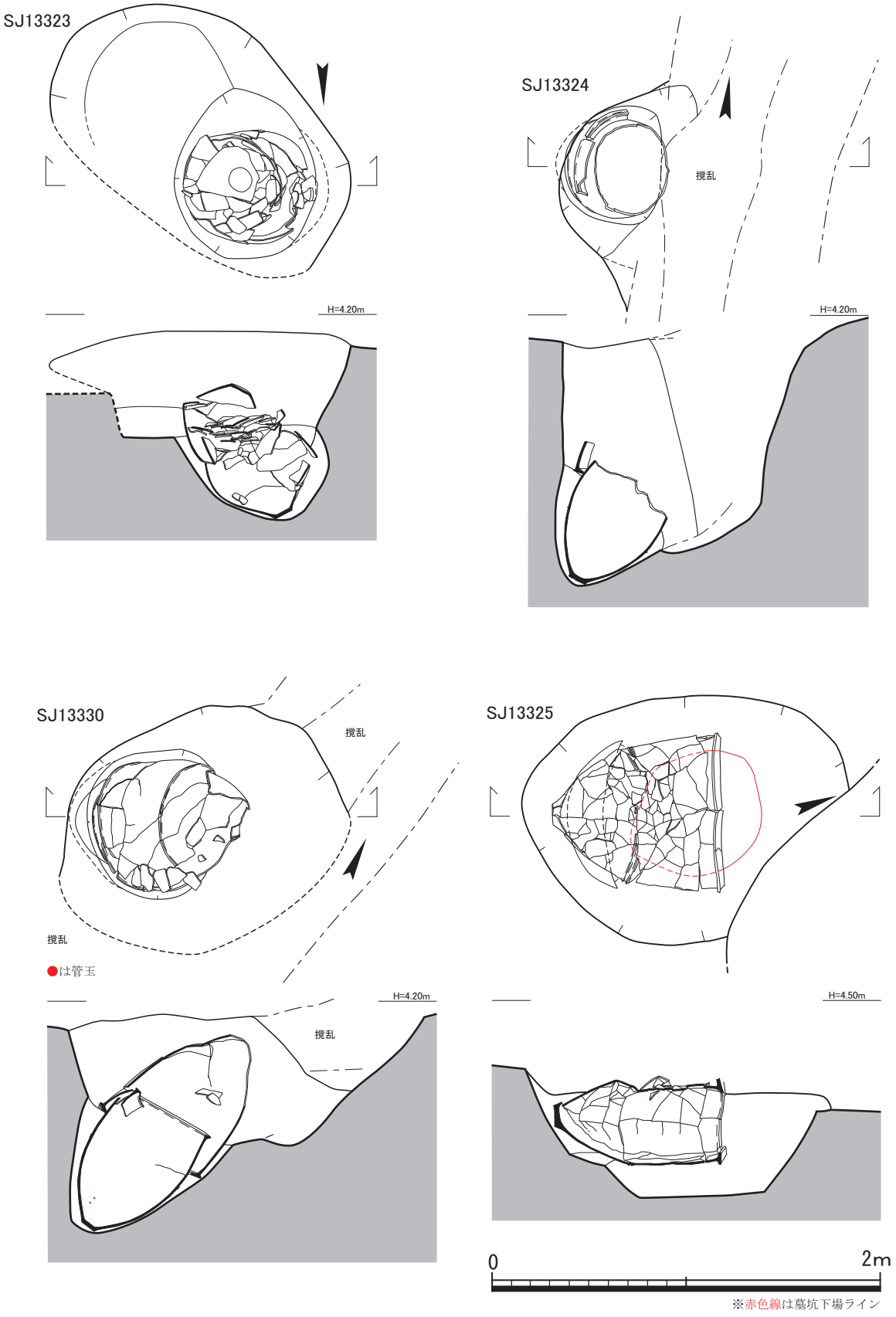


図70　SJ13323・13324・13325・13330甕棺墓（1/30）

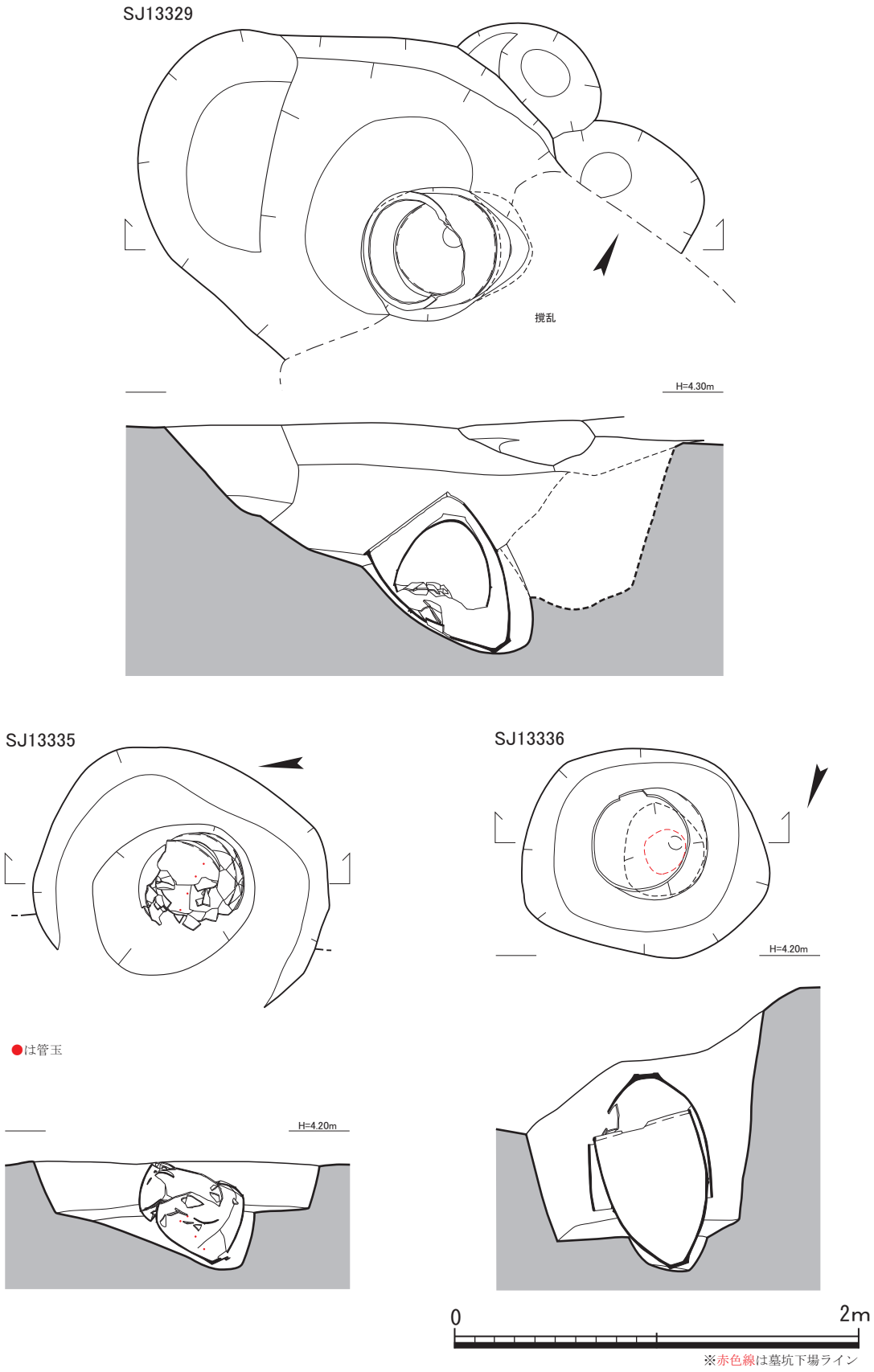


図71　SJ13329・13335・13336甕棺墓（1/30）

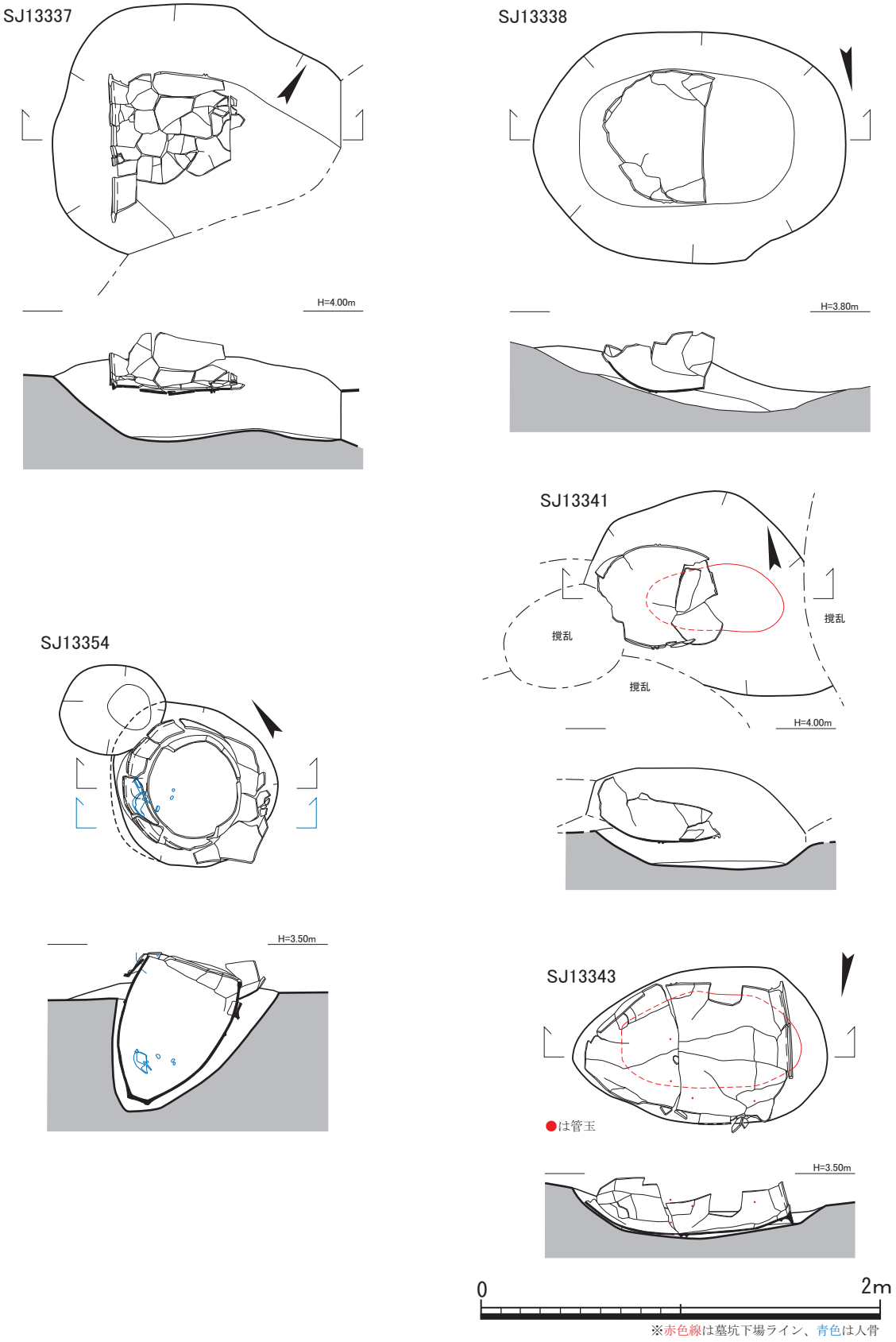


図72　SJ13337・13338・13343・13341・13354甕棺墓（1/30）

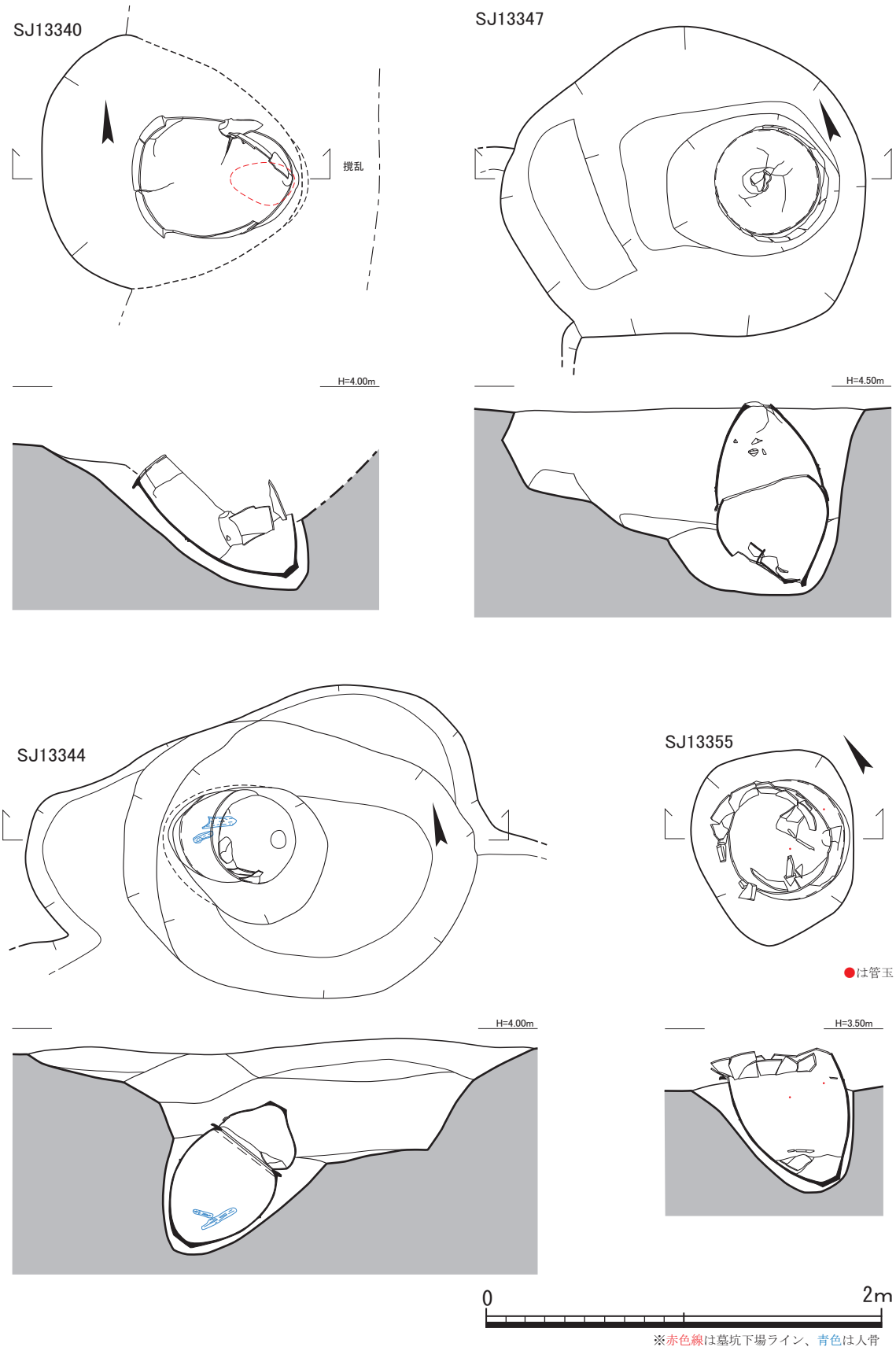


図73　SJ13340・13344・13347・13355甕棺墓（1/30）

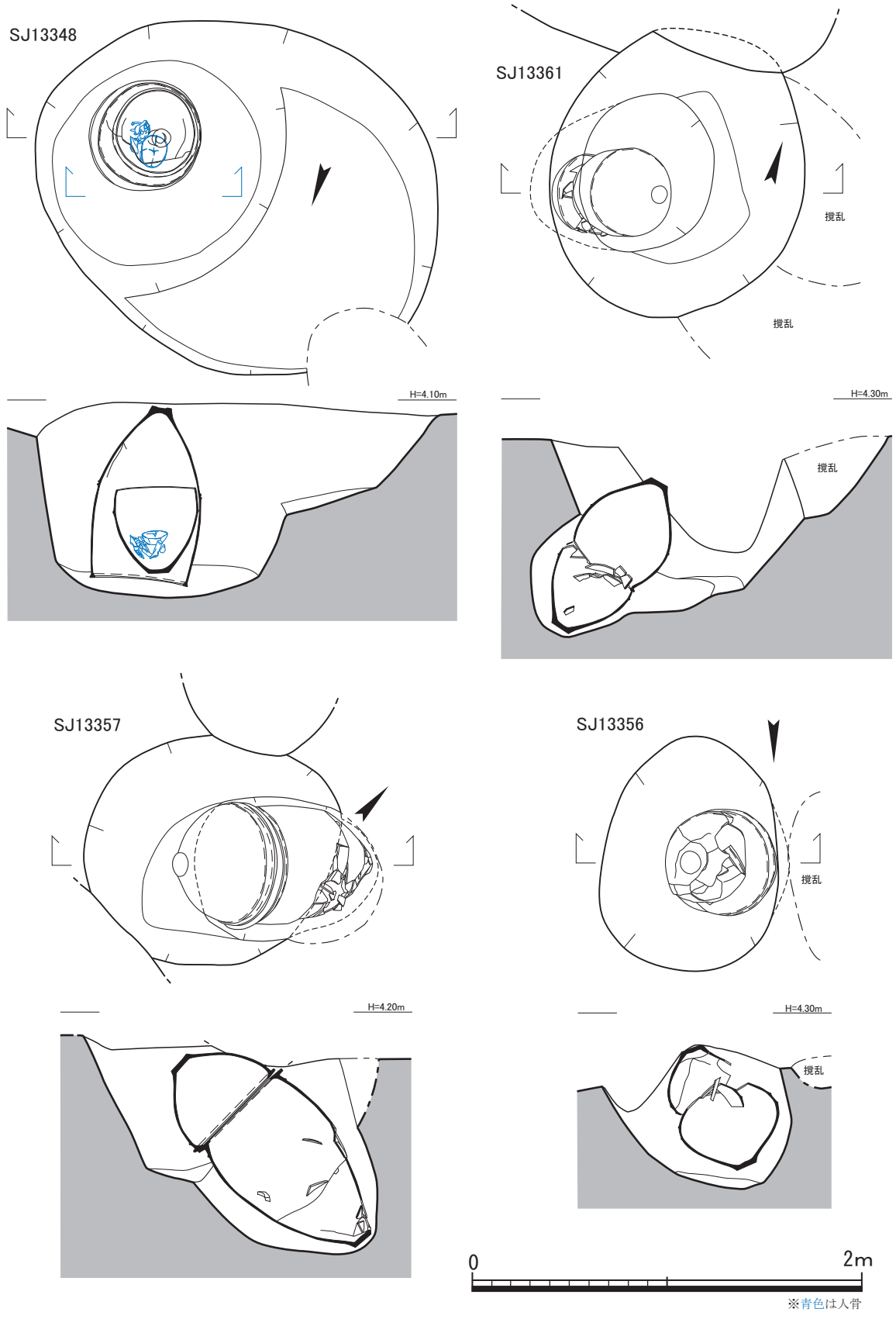


図74　SJ13348・13356・13357・13361甕棺墓（1/30）

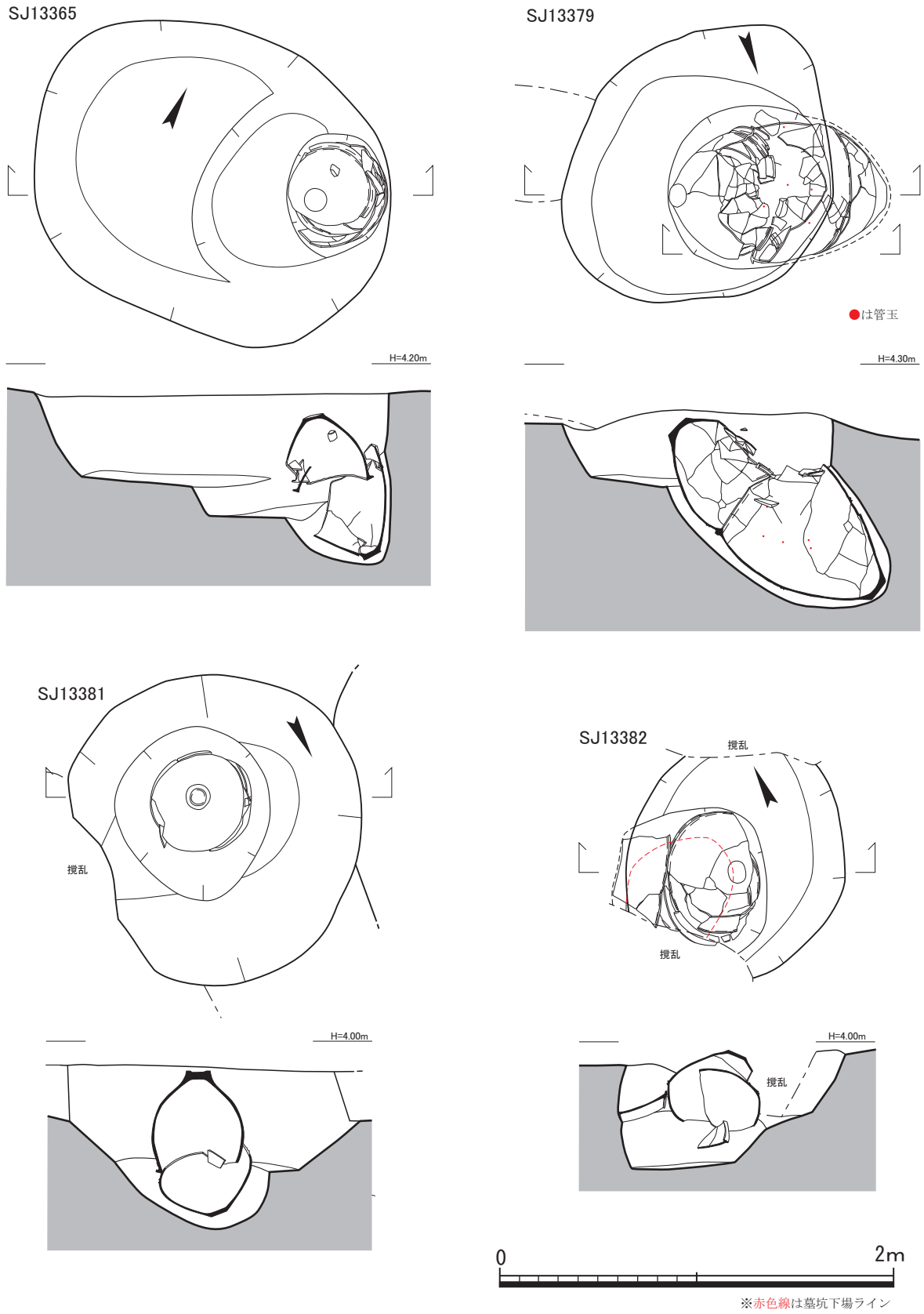


図75　SJ13365・13379・13381・13382甕棺墓（1/30）

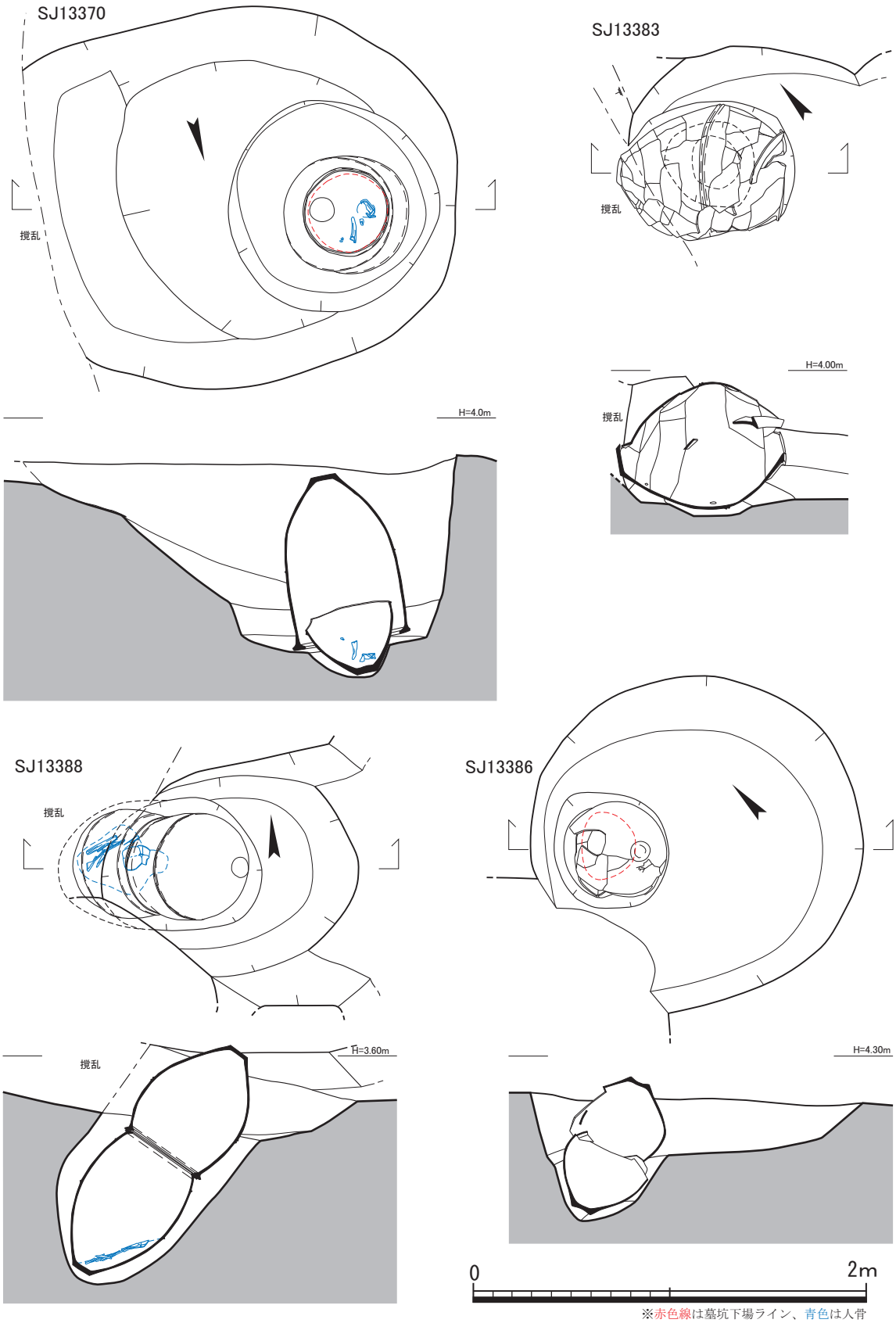


図76　SJ13370・13383・13386・13388甕棺墓（1/30）

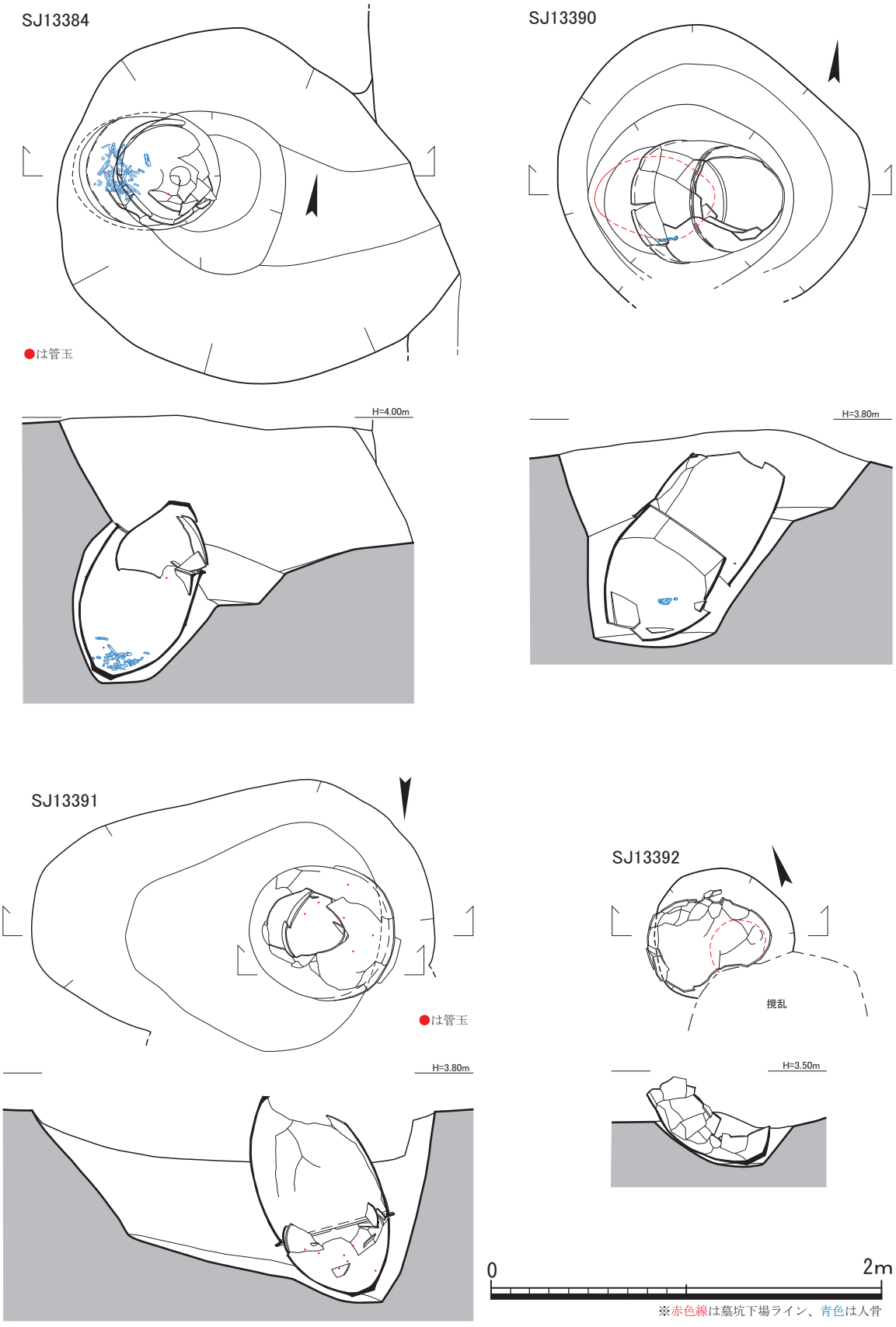


図77　SJ13384・13390・13391・13392甕棺墓（1/30）

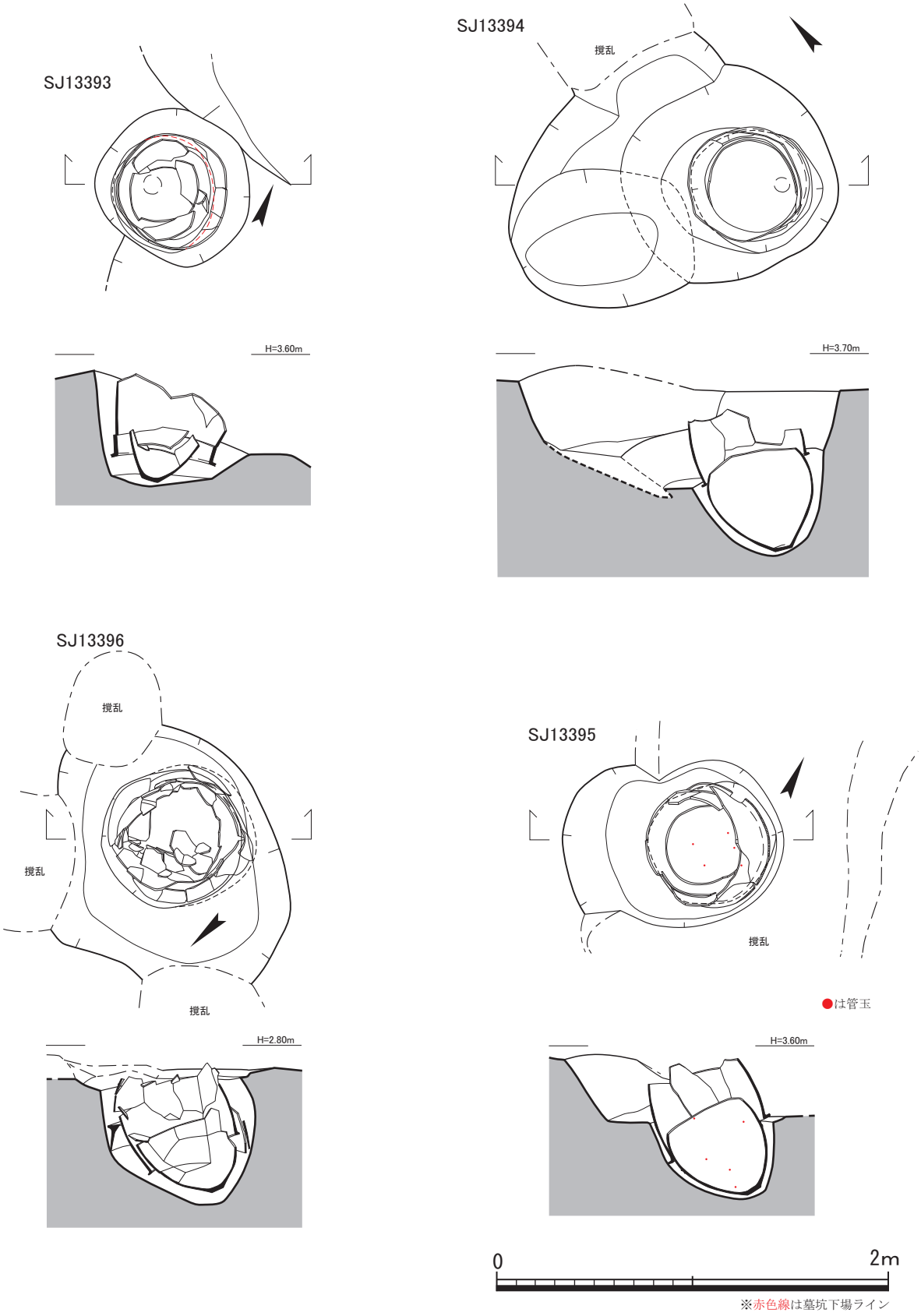


図78　SJ13393・13394・13395・13396甕棺墓（1/30）

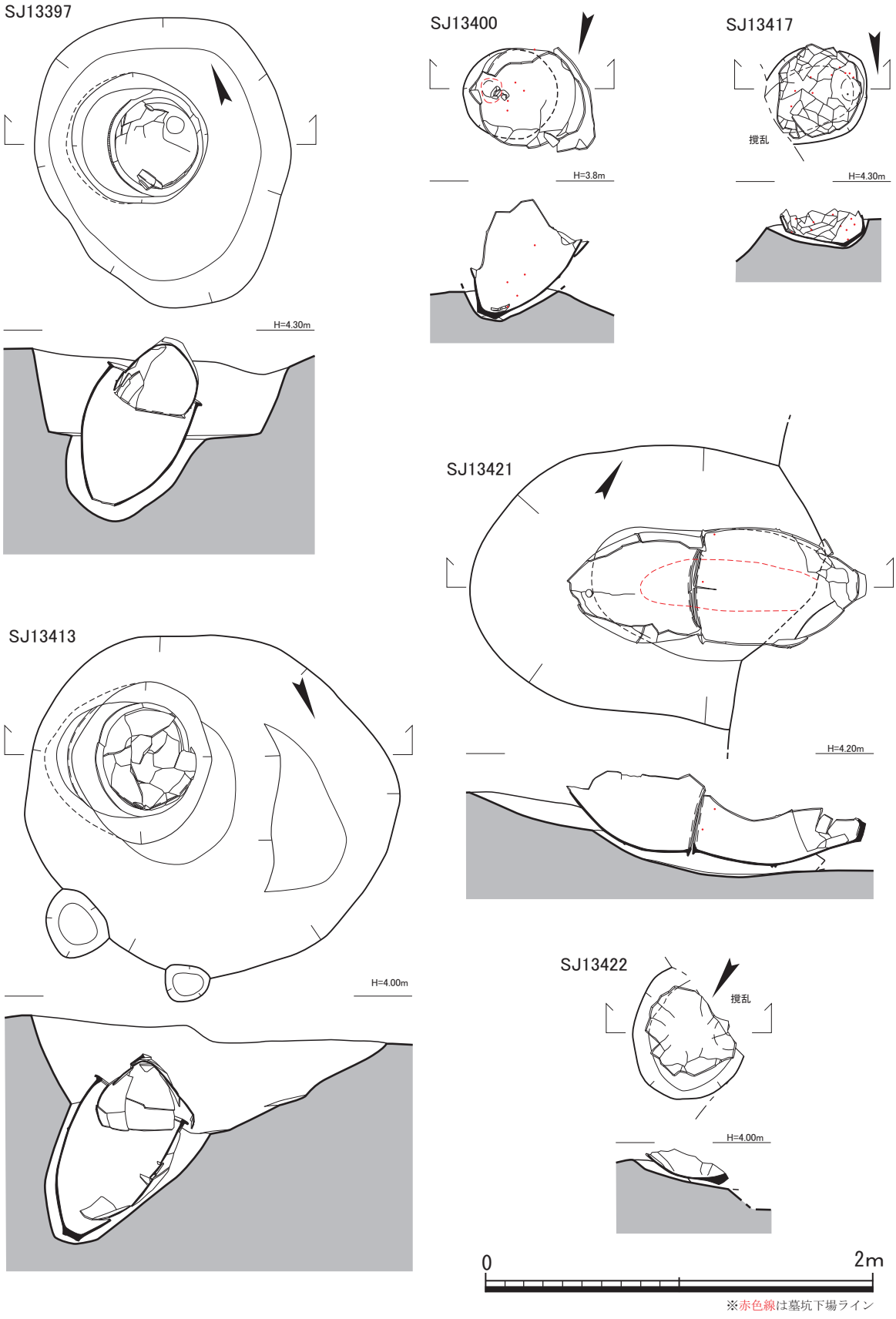


図79　SJ13397・13400・13413・13417・13421・13422甕棺墓（1/30）

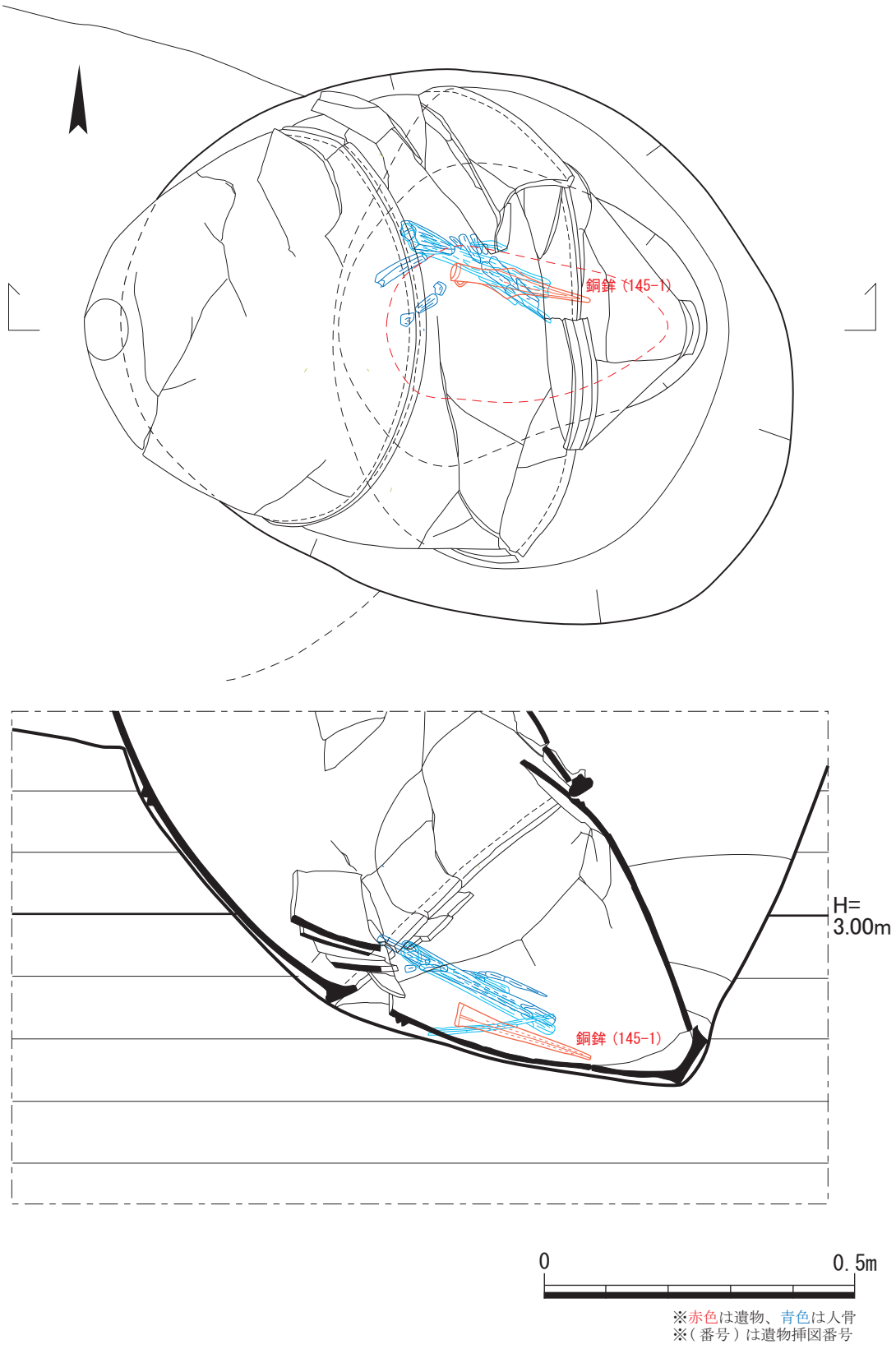


図80　SJ11247甕棺墓遺物出土状況（1/10）

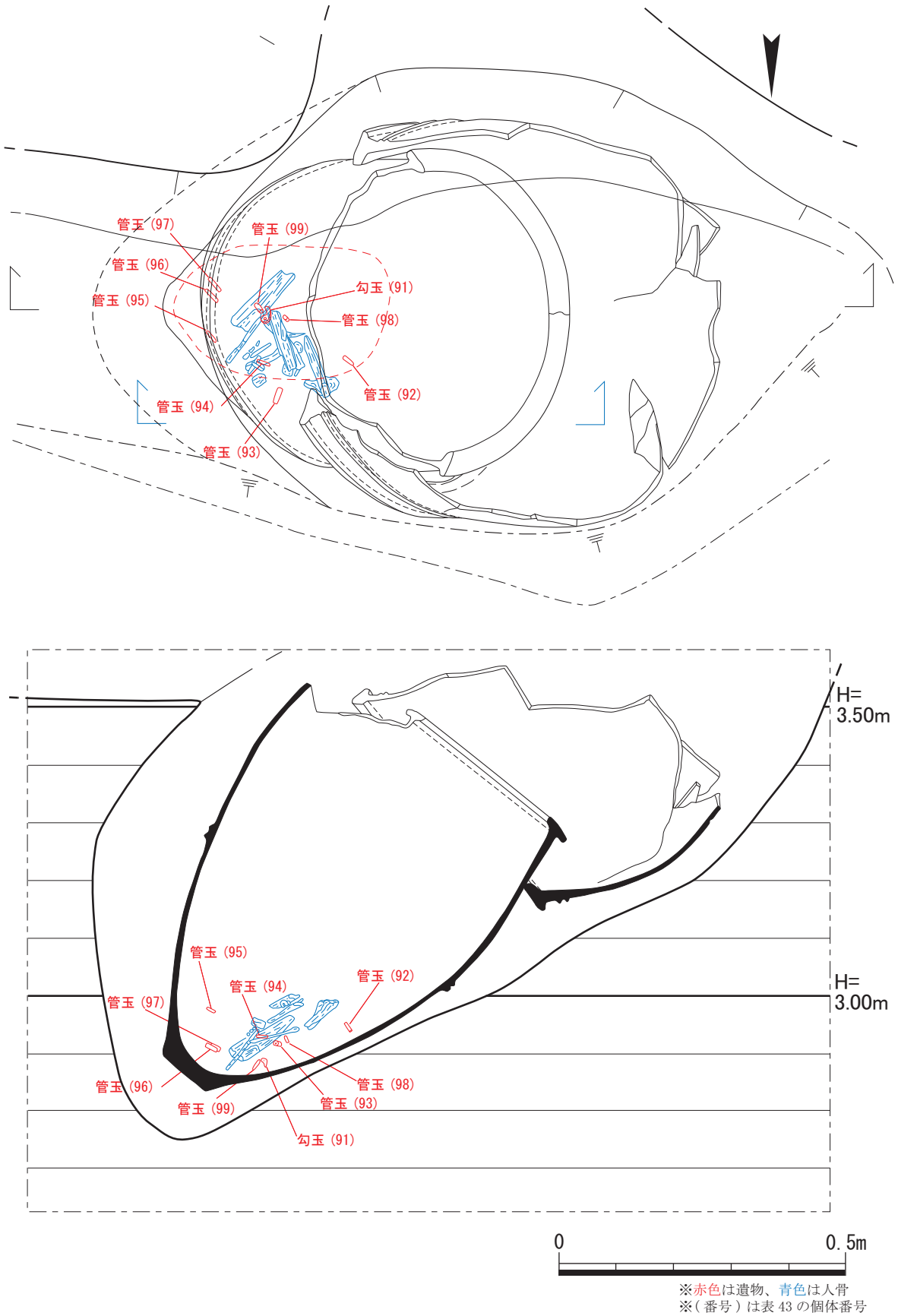


図81　SJ11290甕棺墓遺物出土状況（1/10）

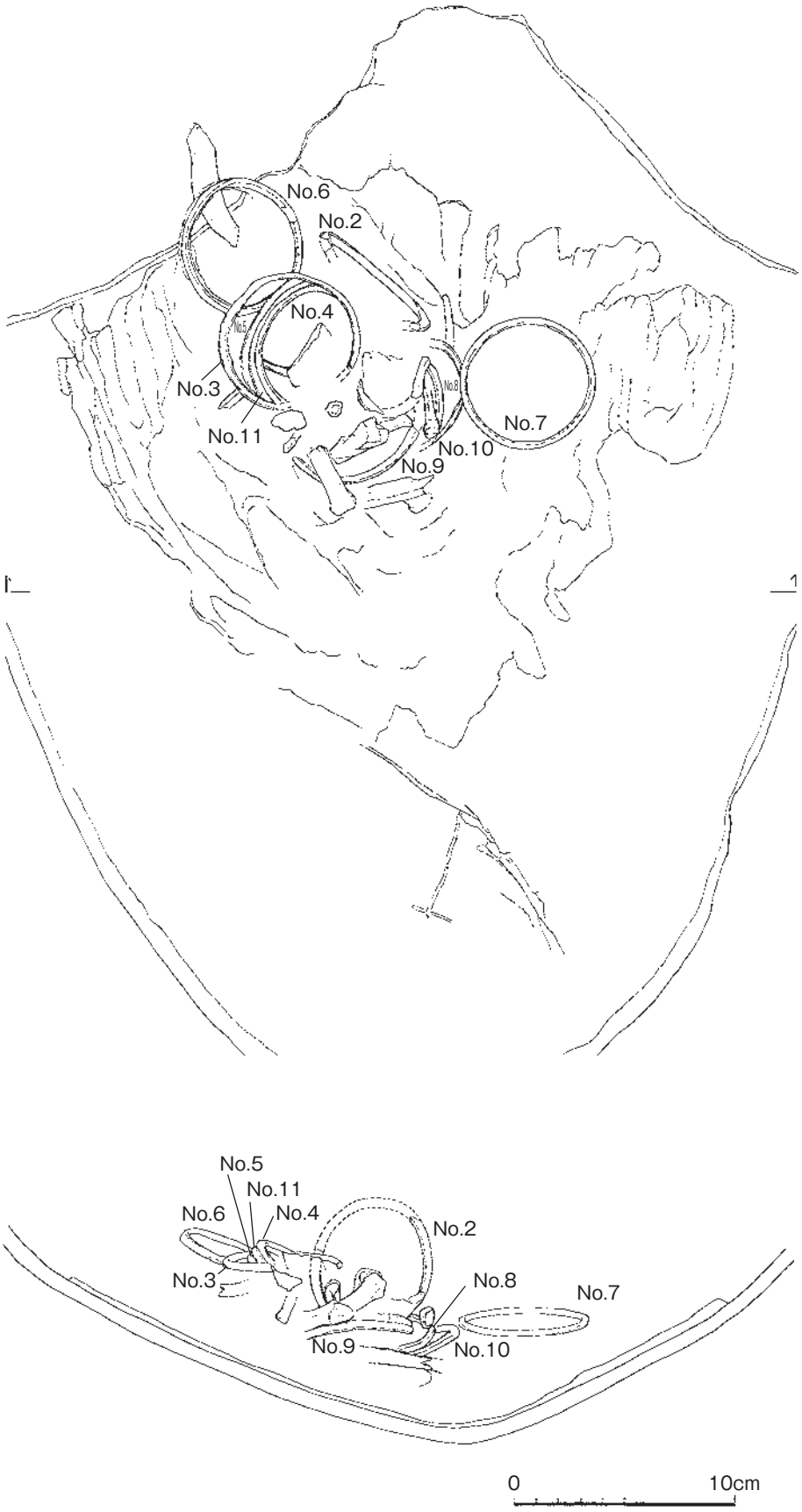


図82　SJ13134銅釧出土状況（1/3）

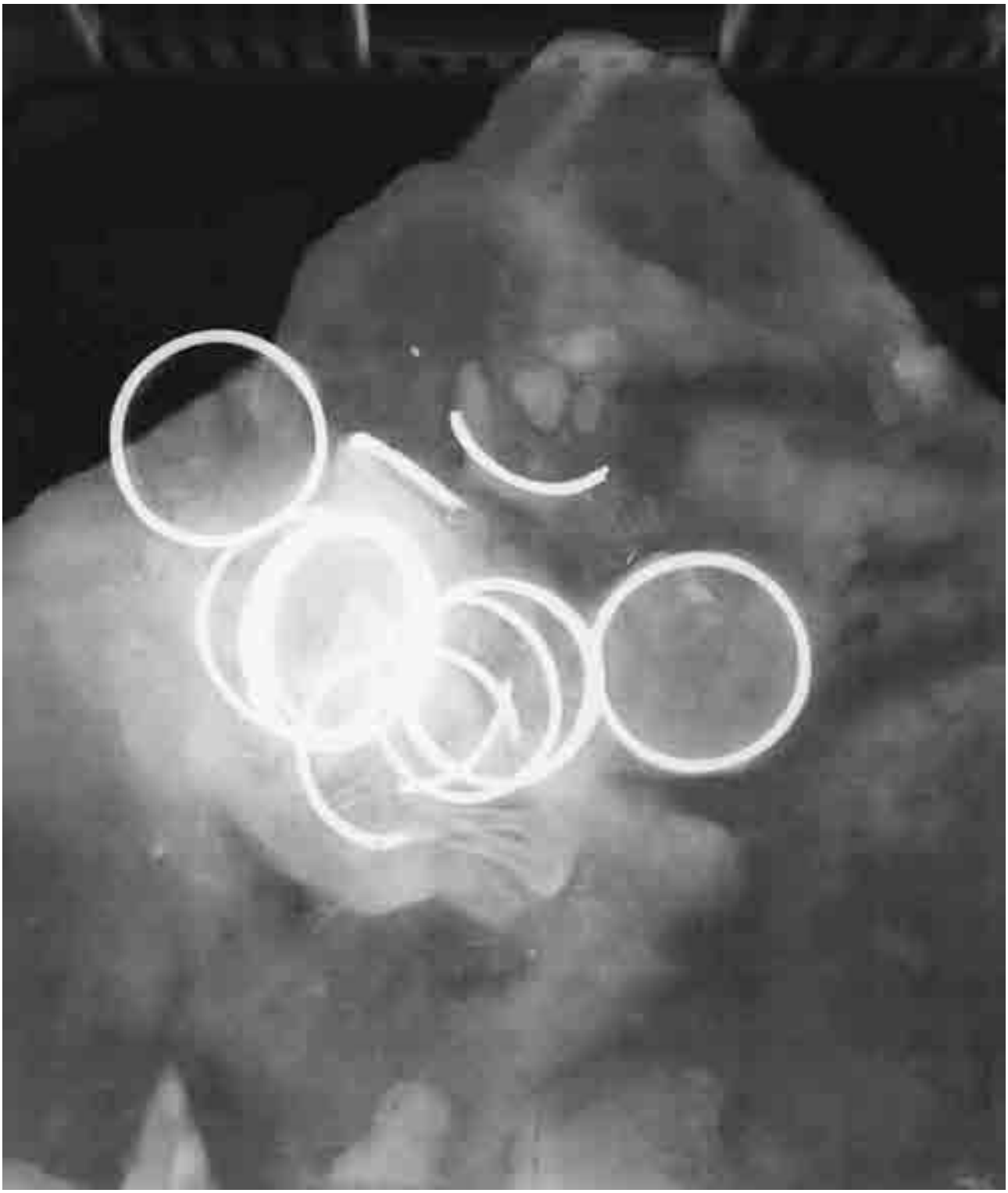


図83　SJ13134出土銅釧出土状況Ｘ線写真

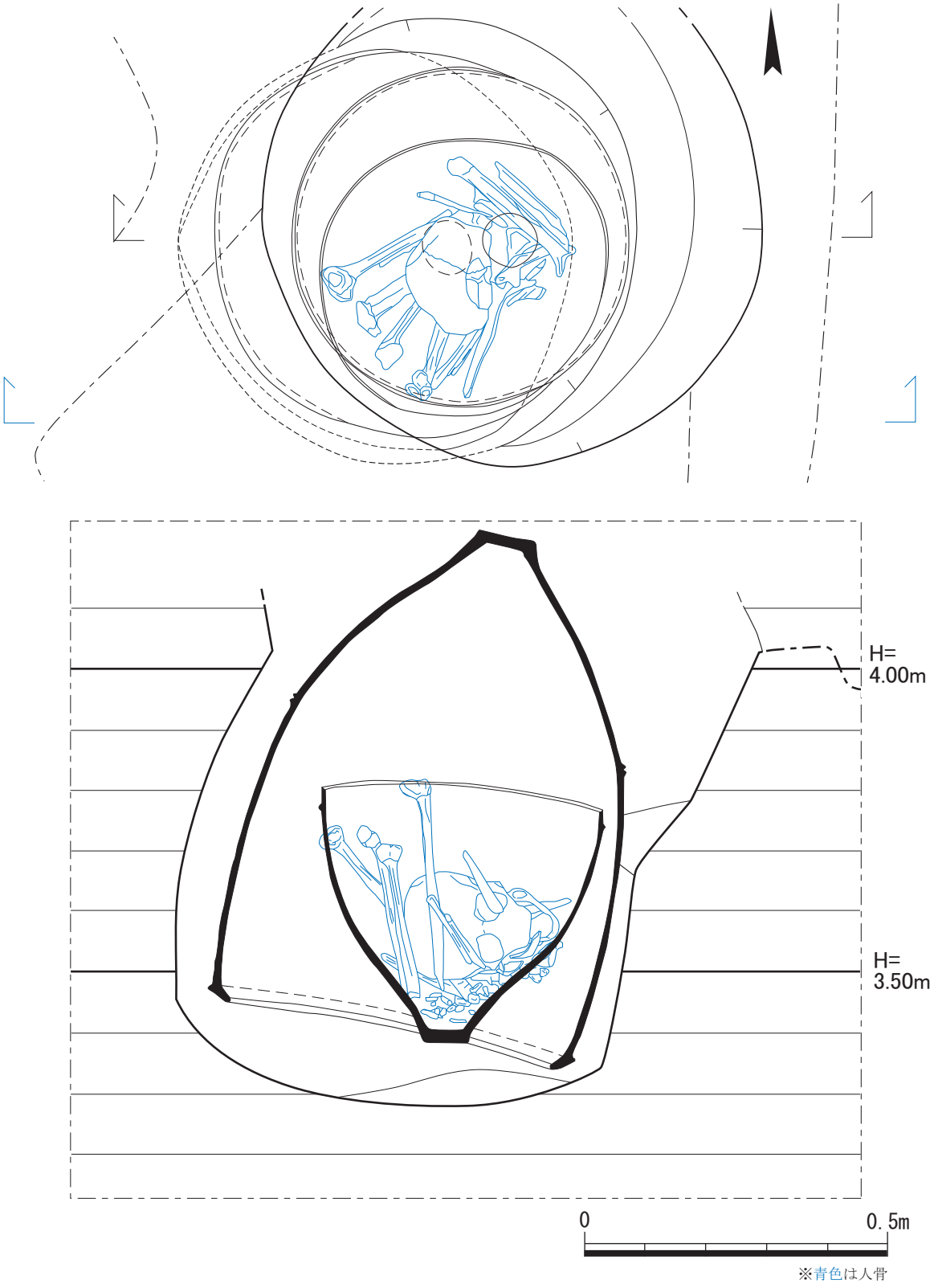


図84　SJ13295甕棺墓人骨出土状況（1/10）

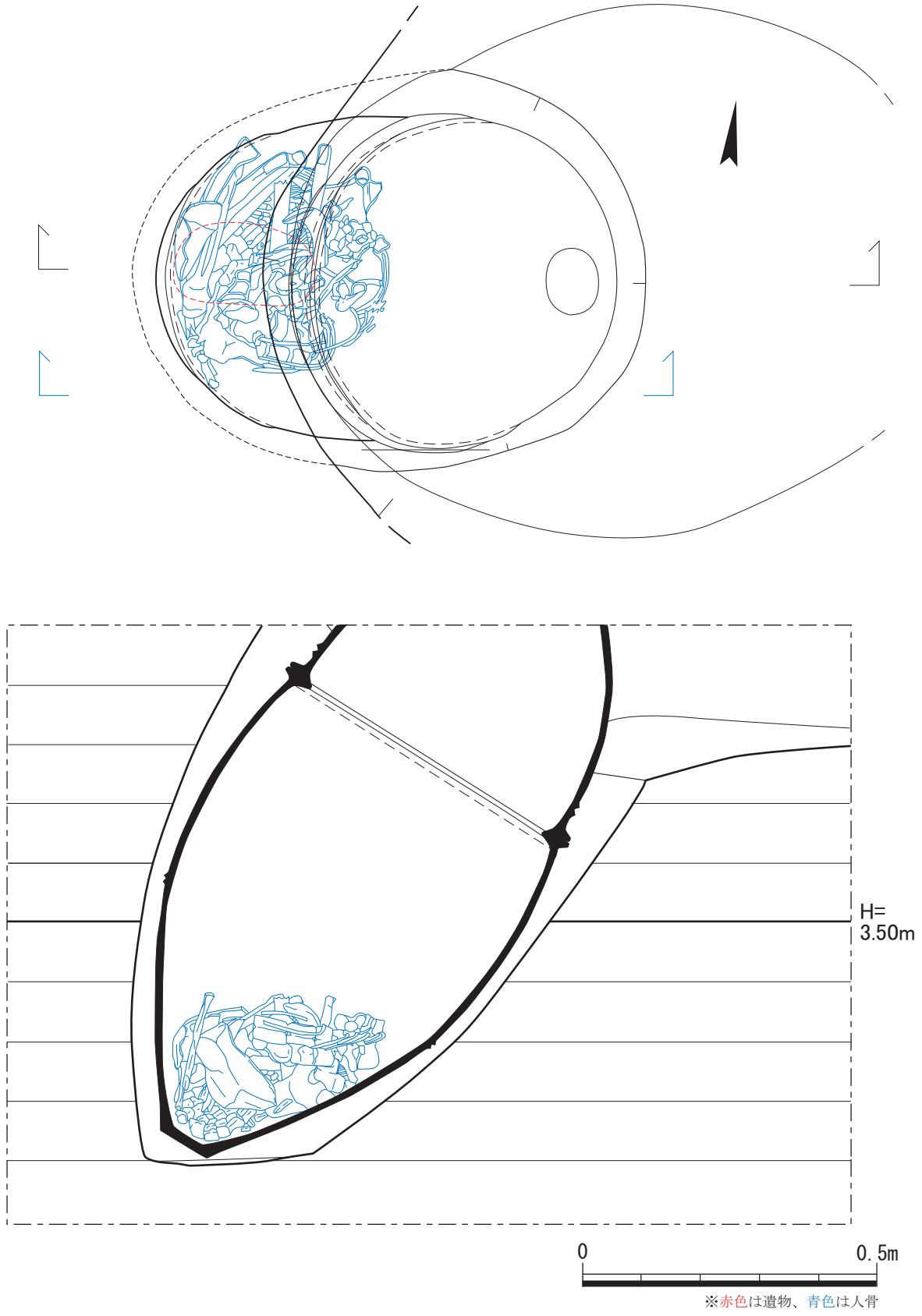


図85　SJ13213甕棺墓人骨出土状況（1/10）

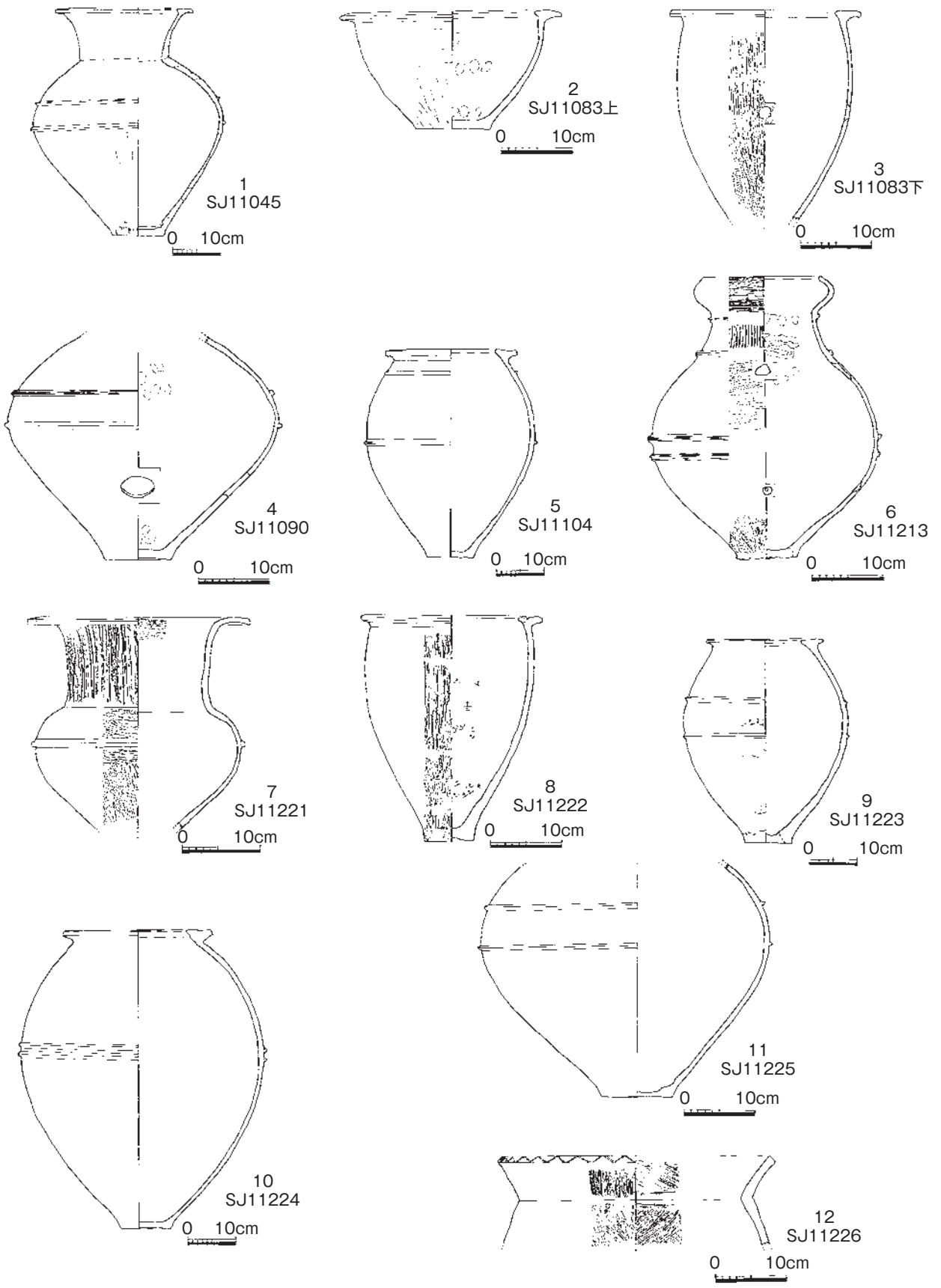


図86　11区出土甕棺１（1/8・1/12）

1、5、9、10は1/12
2～4、6～8、11、12は1/8

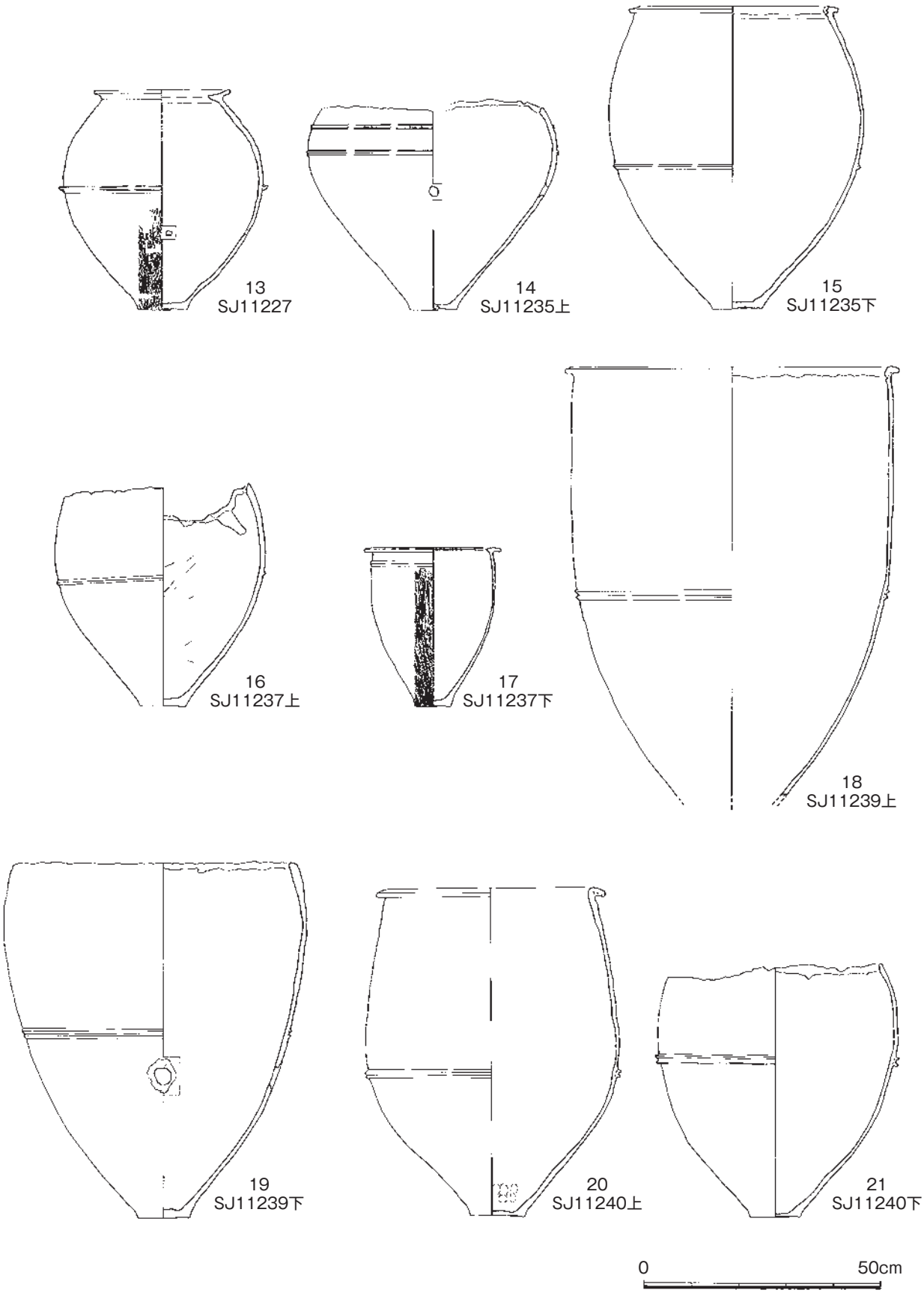


図87　11区出土甕棺２（1/12）

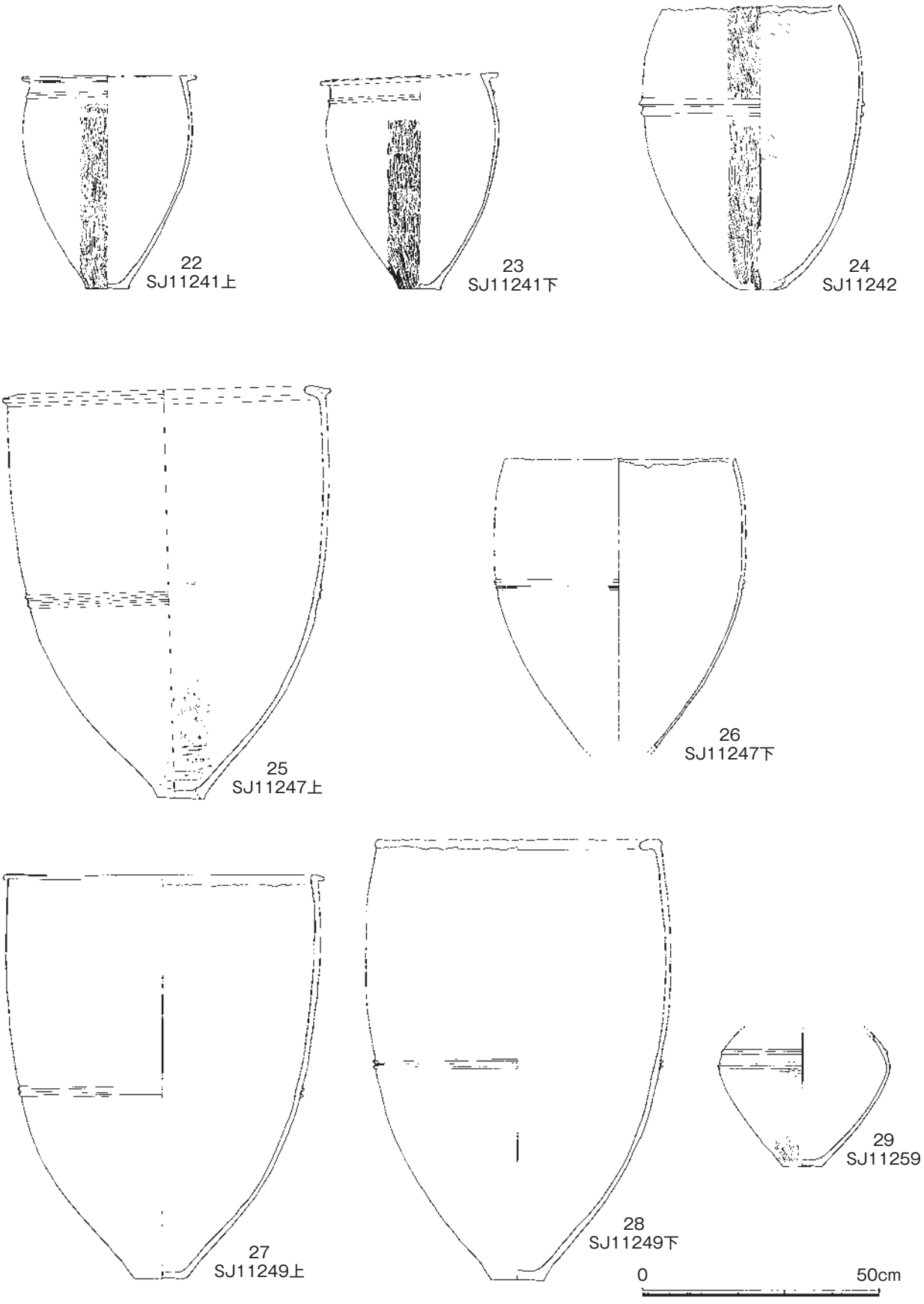


図88　11区出土甕棺３（1/12）

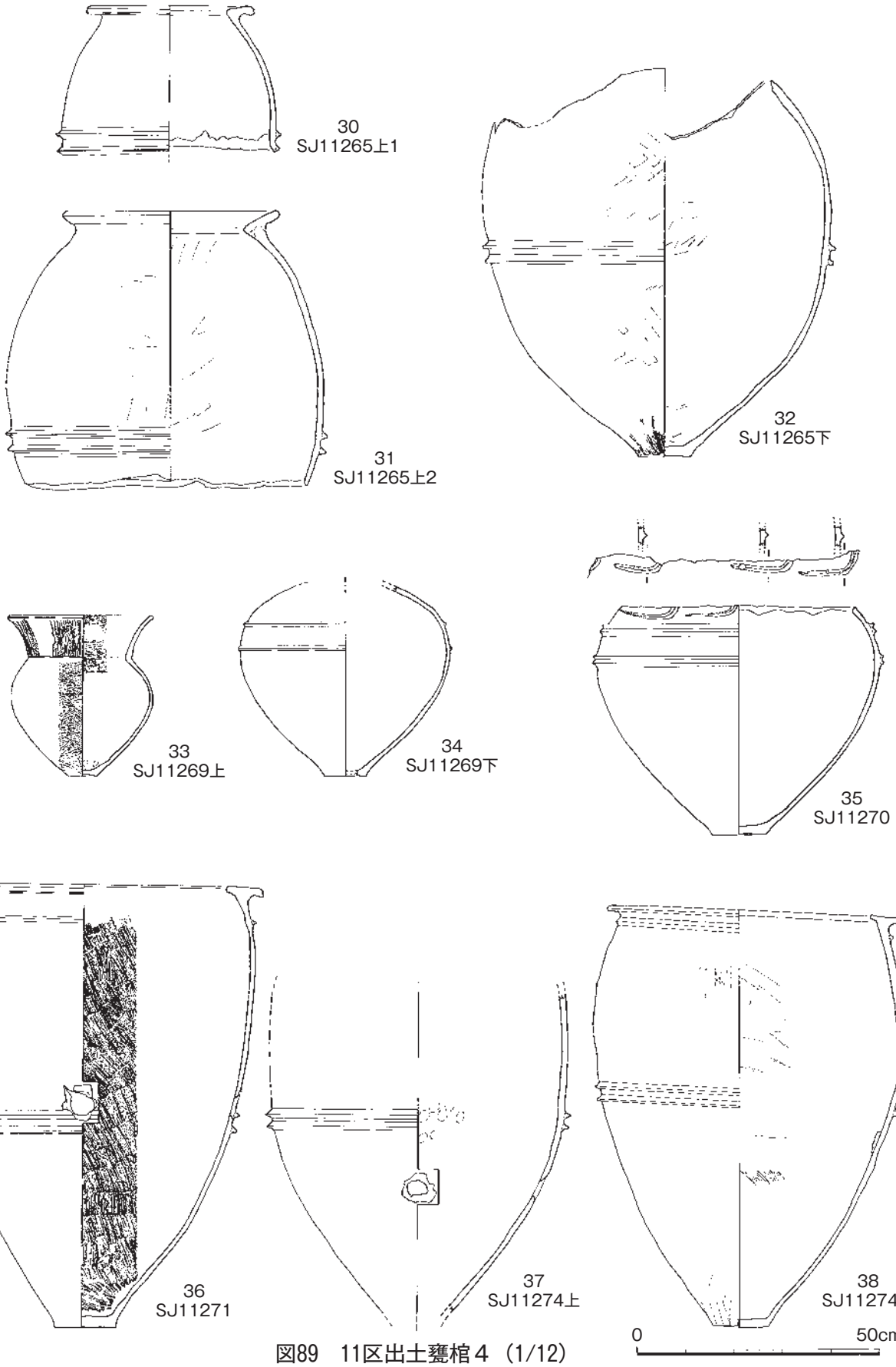


図89　11区出土甕棺４（1/12）

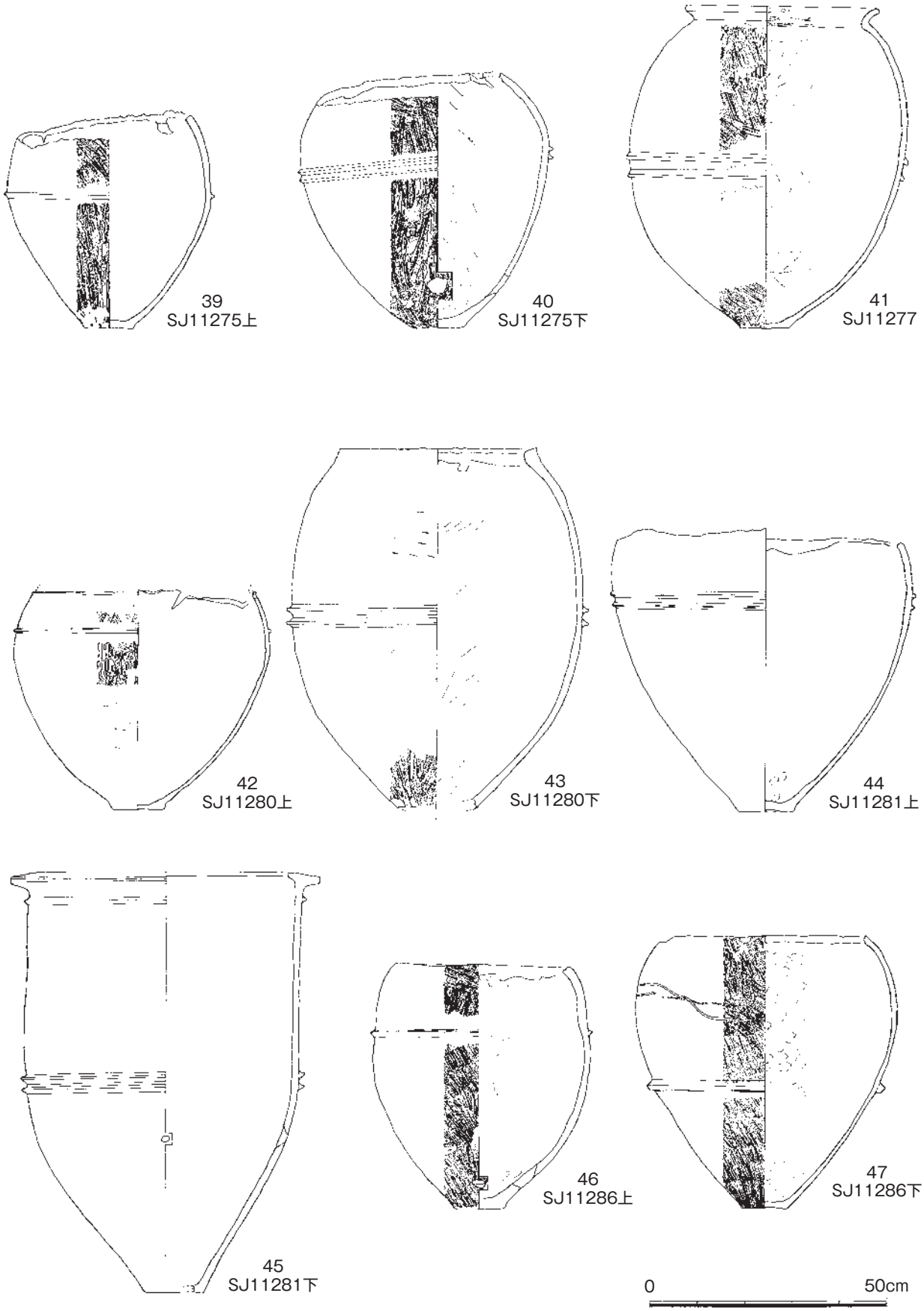


図90　11区出土甕棺５（1/12）

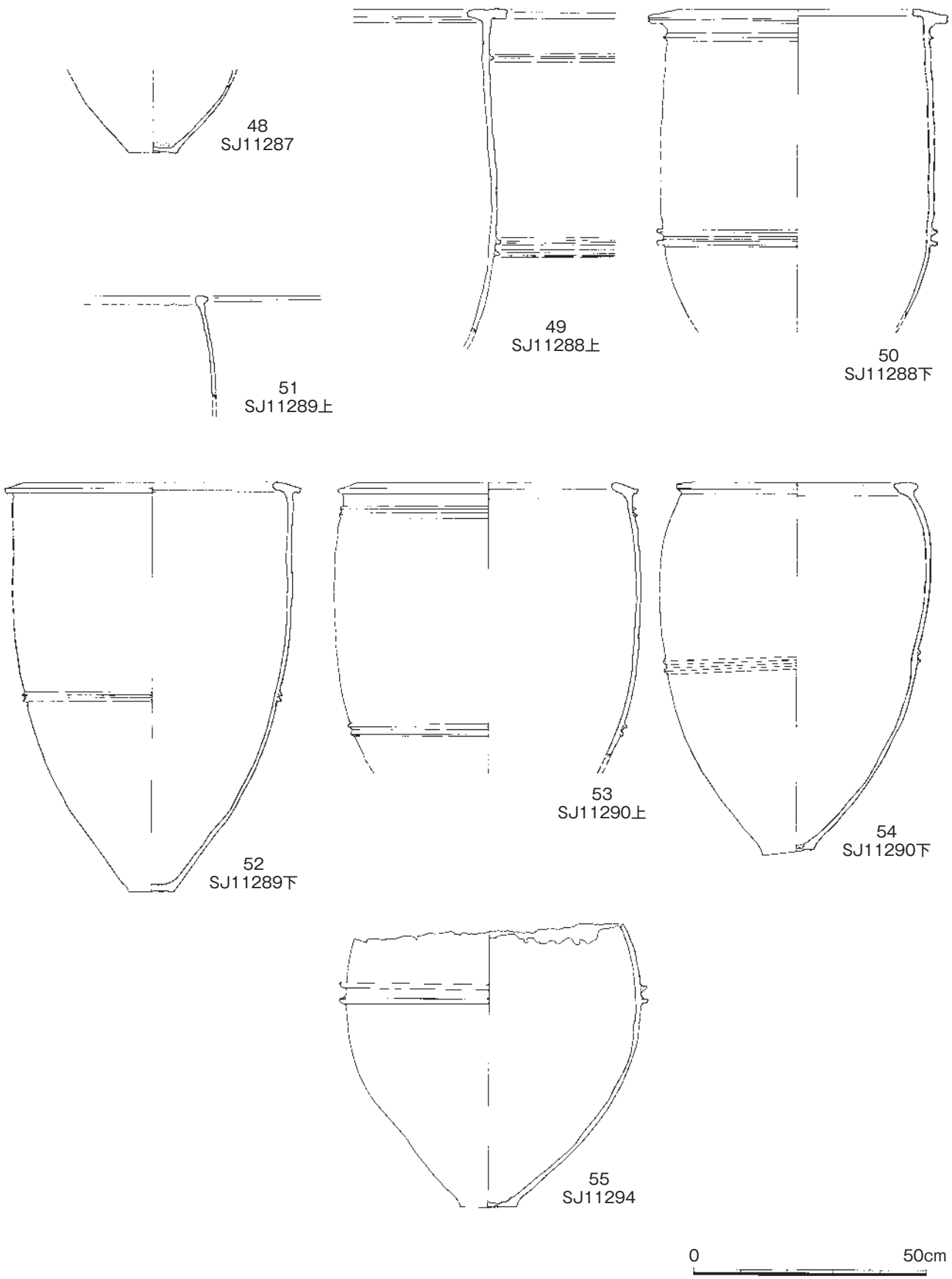


図91　11区出土甕棺６（1/12）

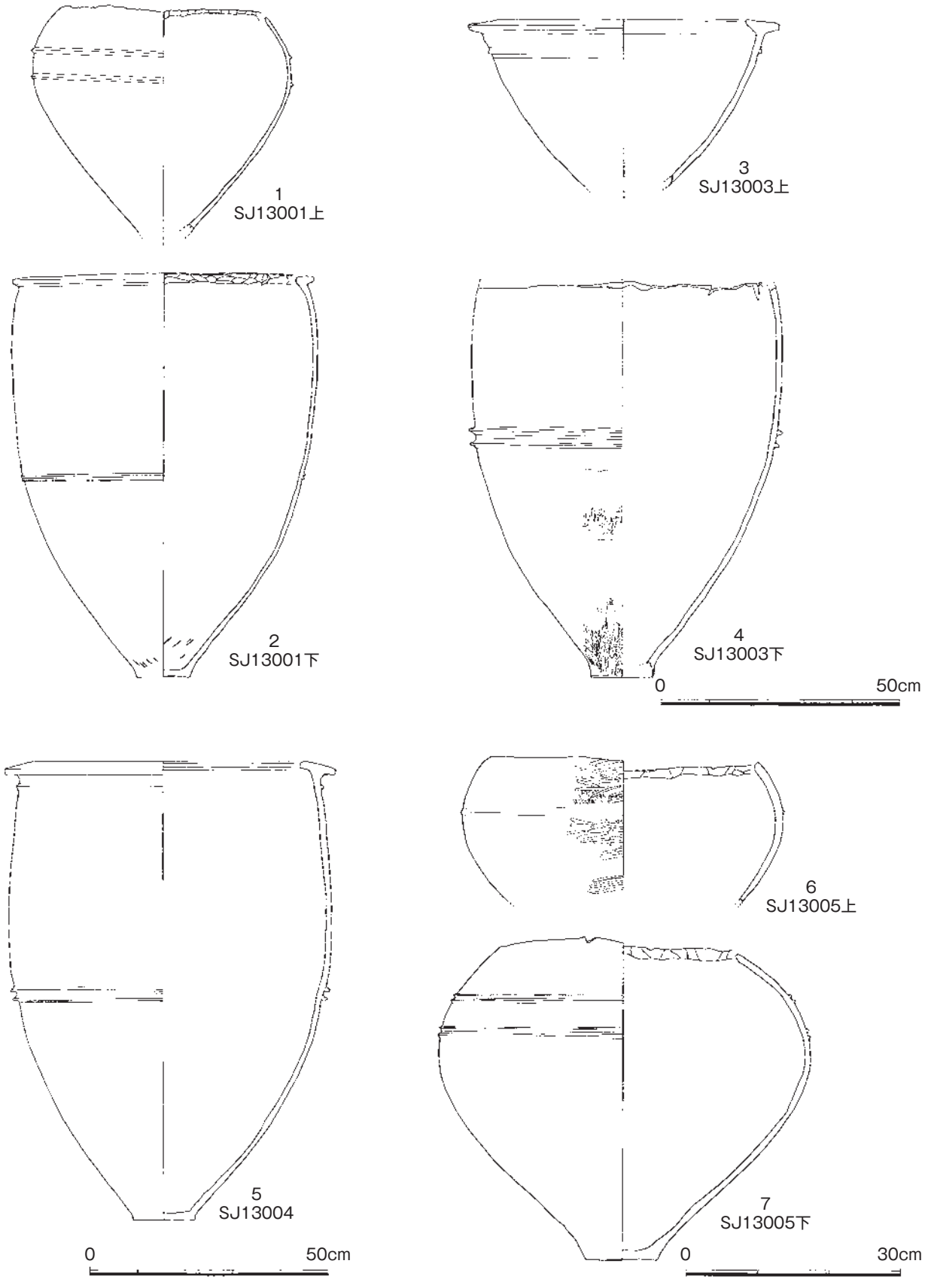


図92　13区出土甕棺１（1/8・1/12）　　1～5は1/12、6、7は1/8

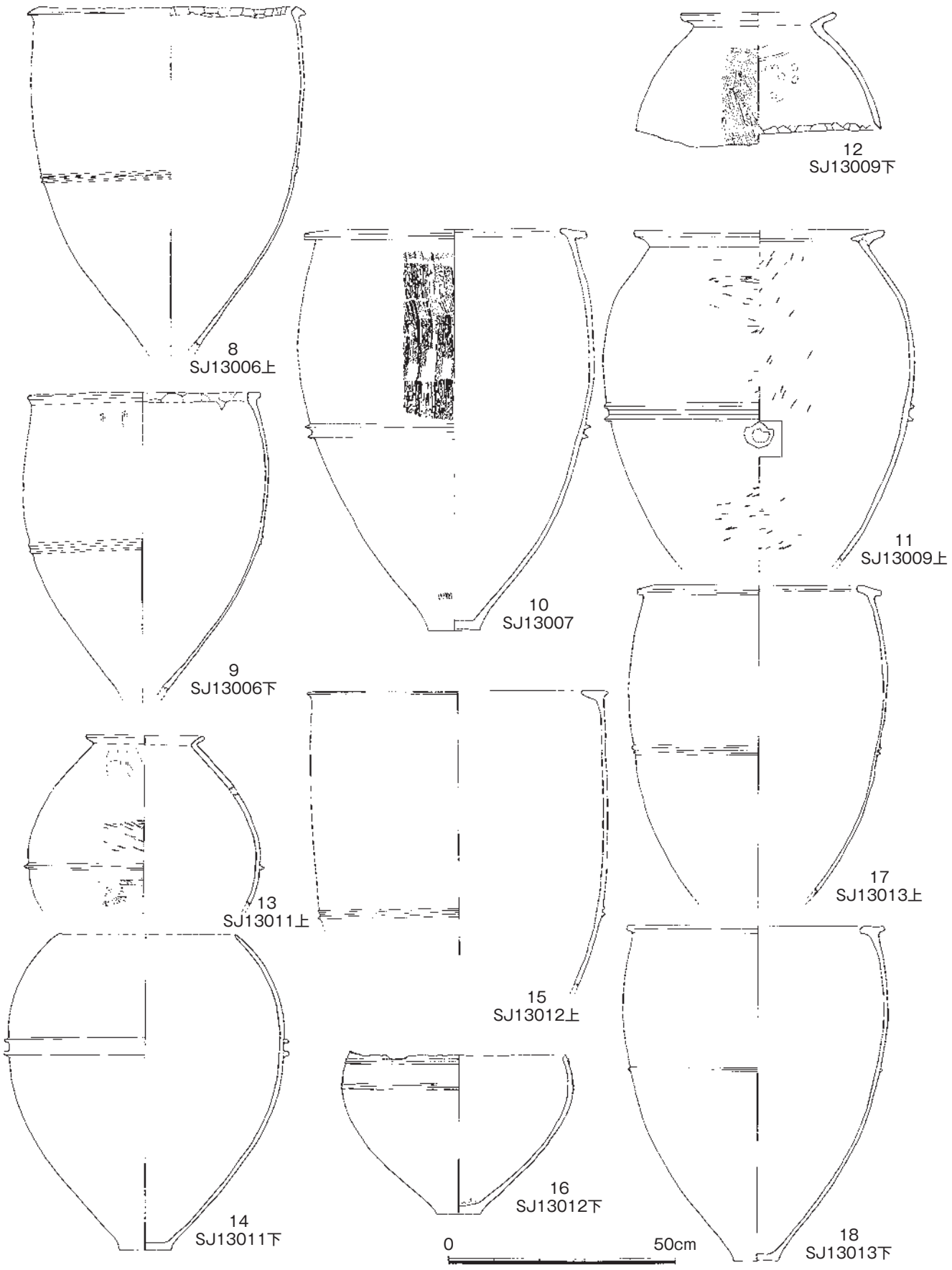


図93　13区出土甕棺２（1/12）

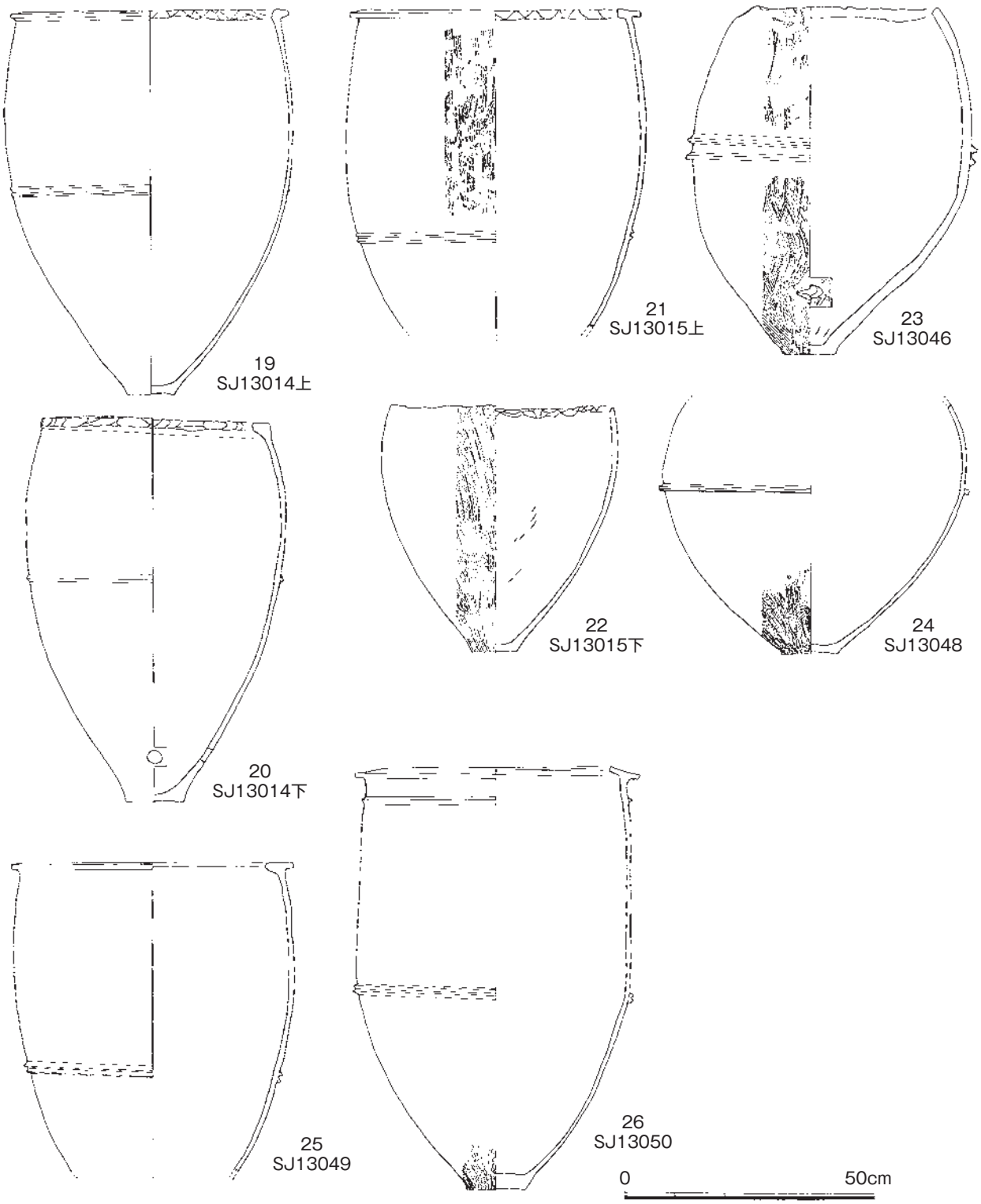


図94　13区出土甕棺３（1/12）

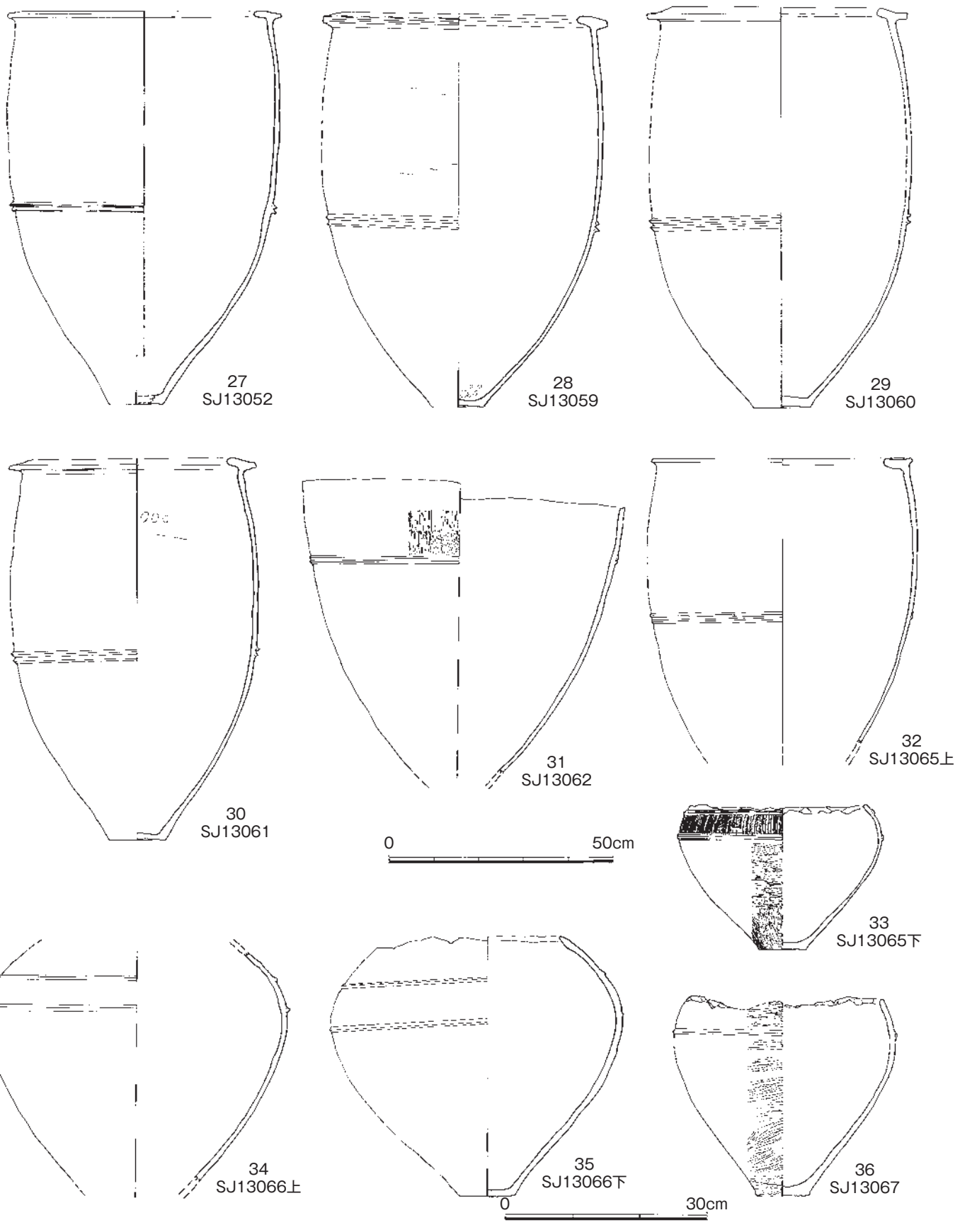


図95　13区出土甕棺４（1/8・1/12）　　34、36は1/8、他は1/12

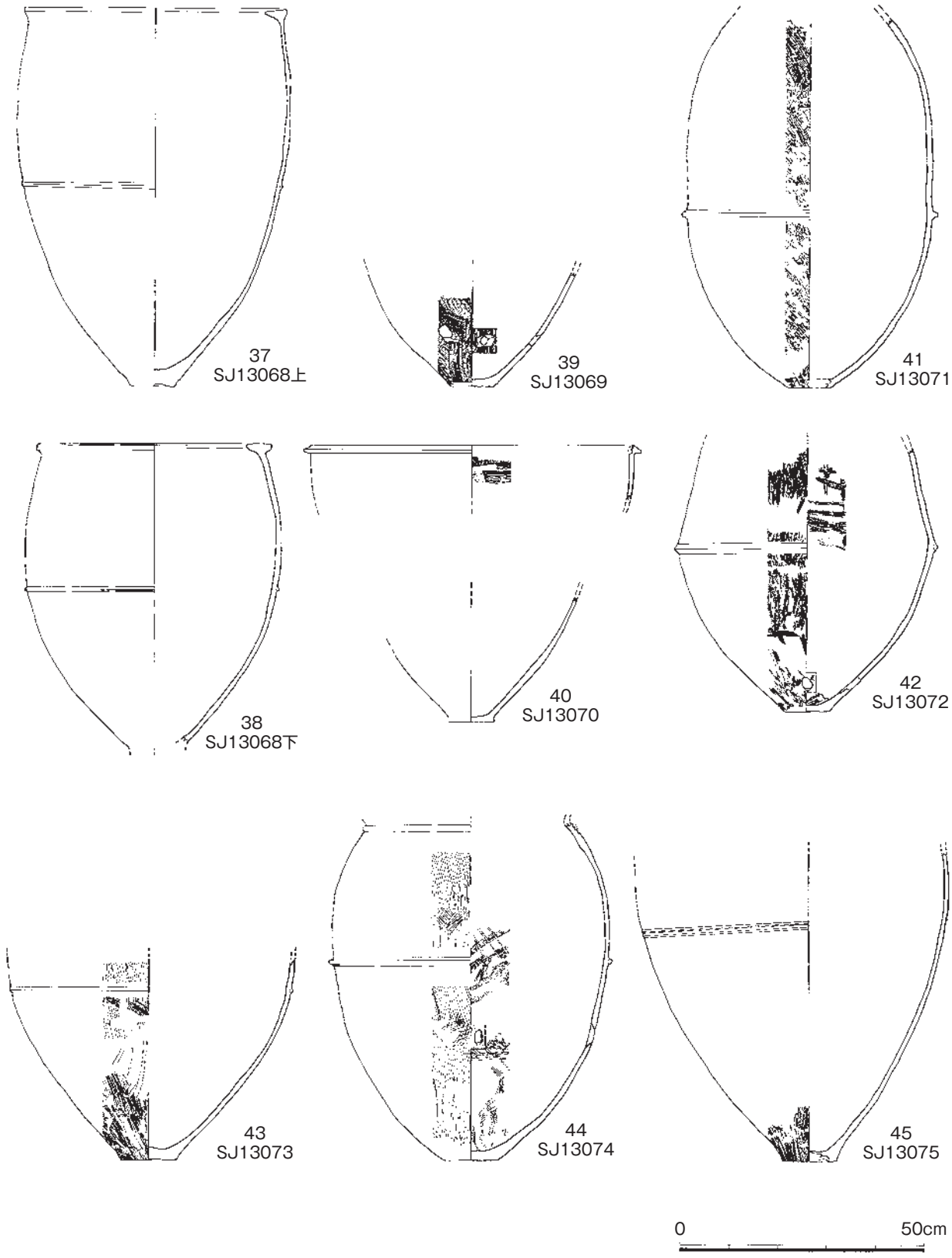


図96　13区出土甕棺５（1/12）

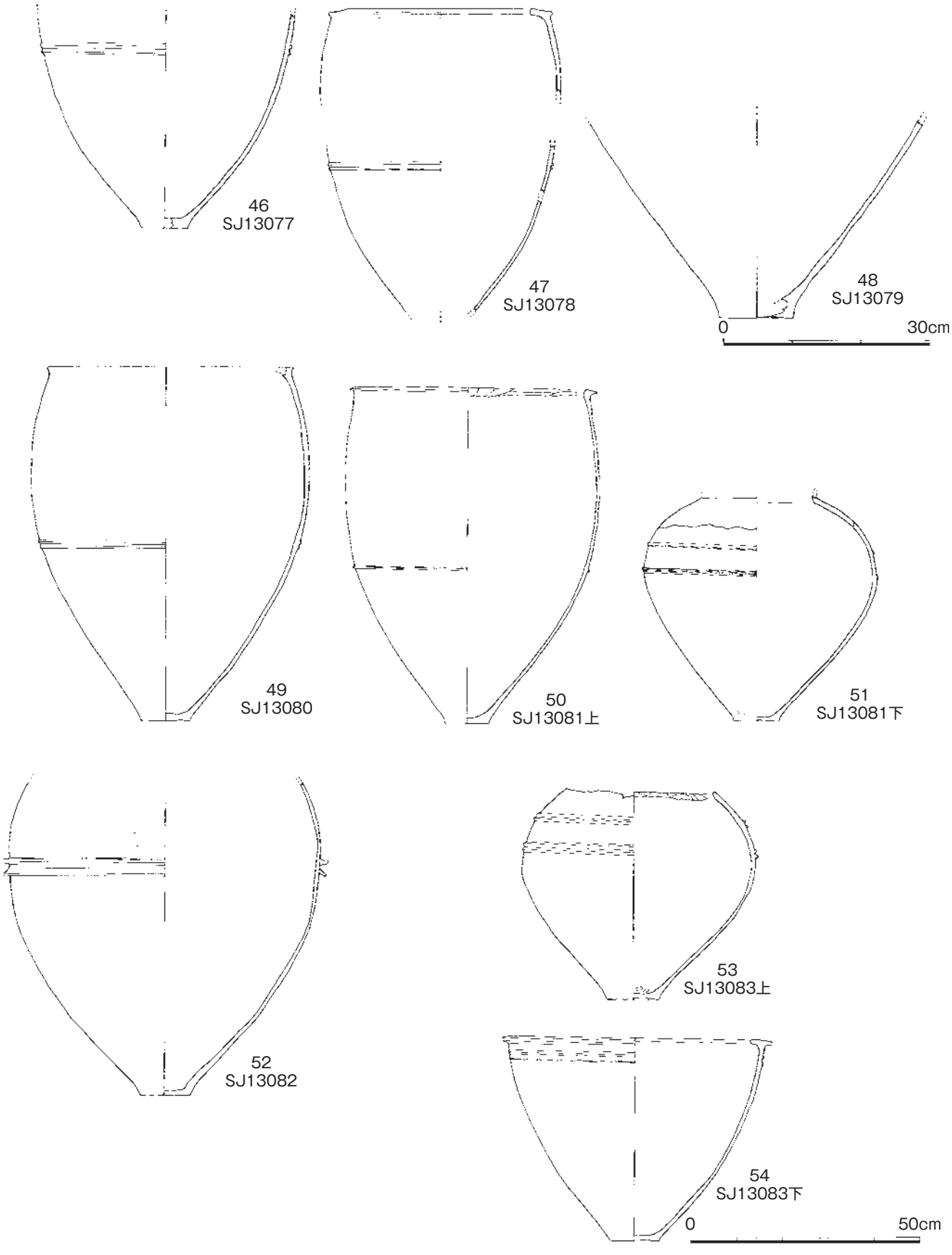


図97　13区出土甕棺６（1/8・1/12）　　48は1/8、他は1/12

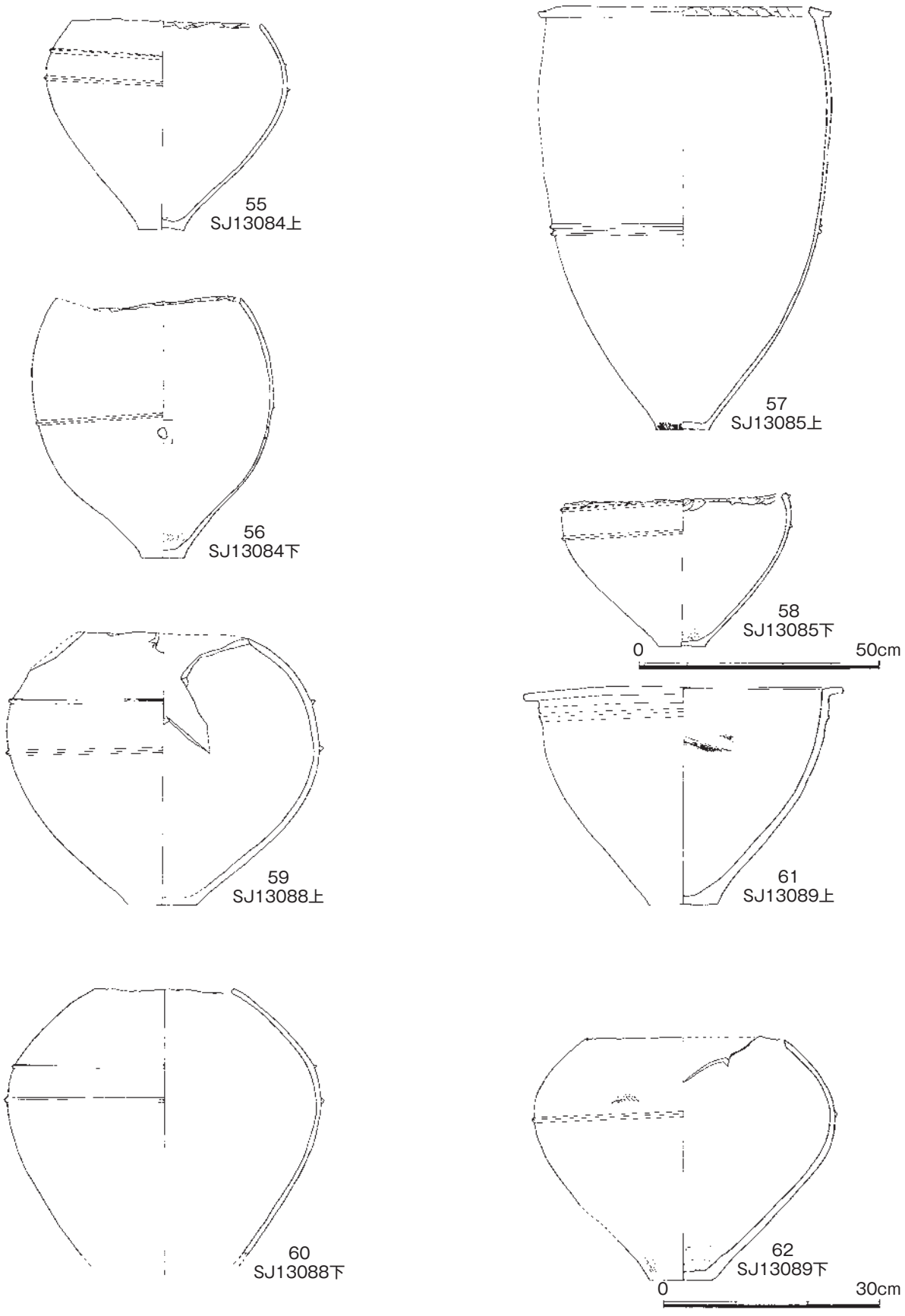


図98　13区出土甕棺７（1/8・1/12）　55～58は1/12、59～62は1/8

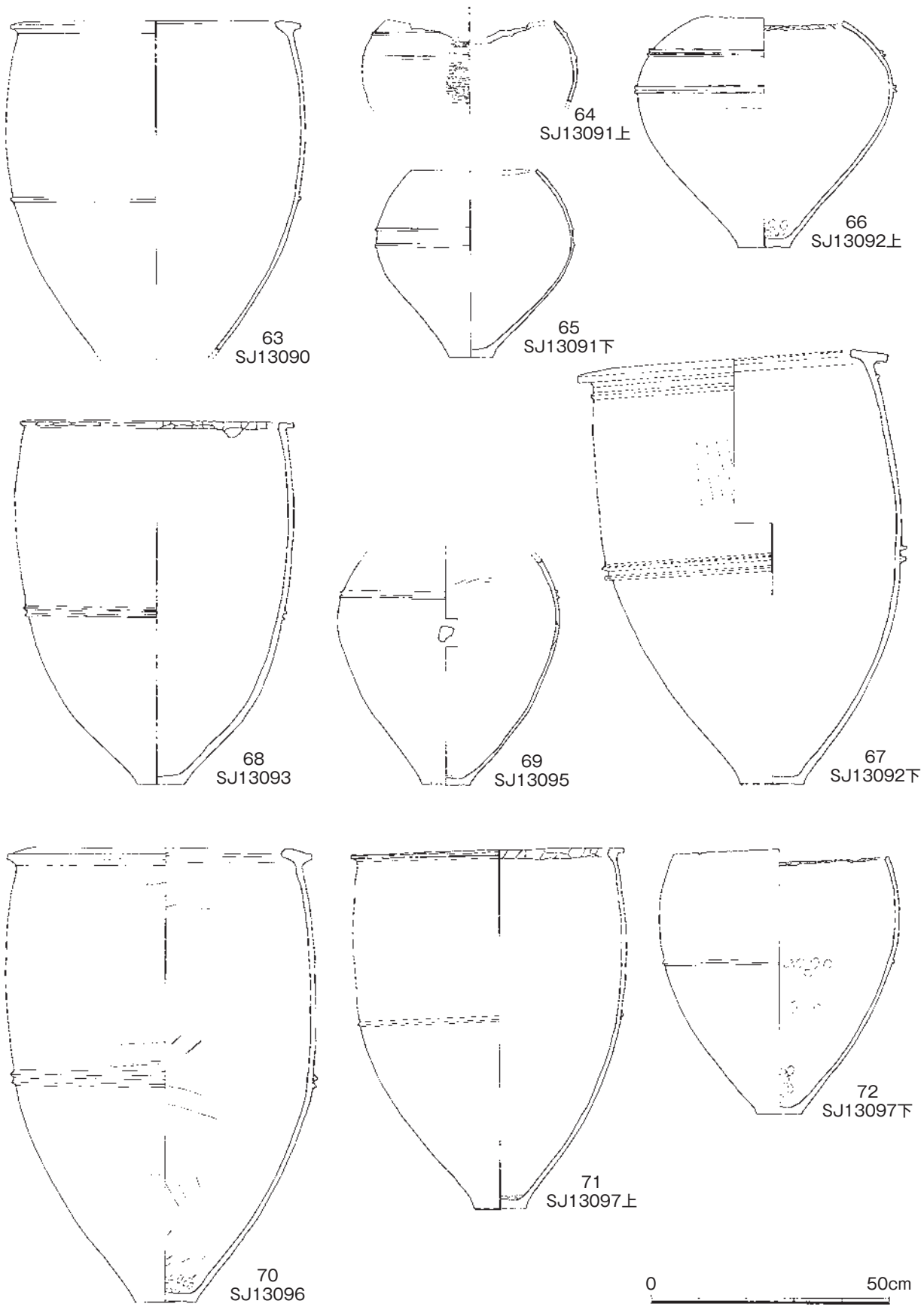
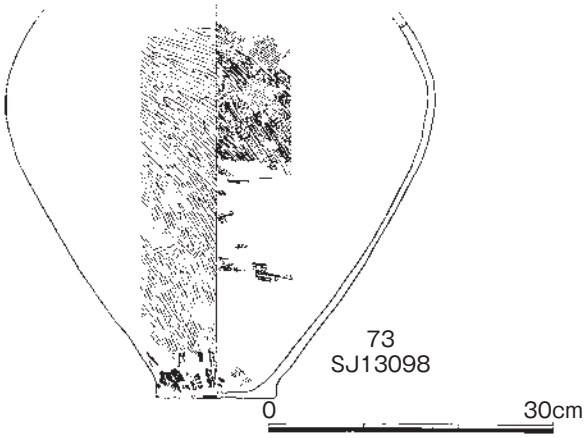
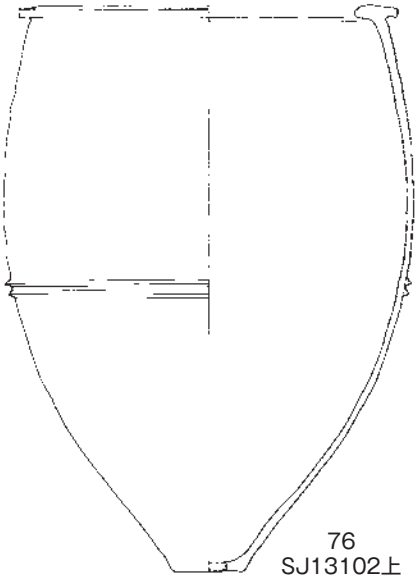
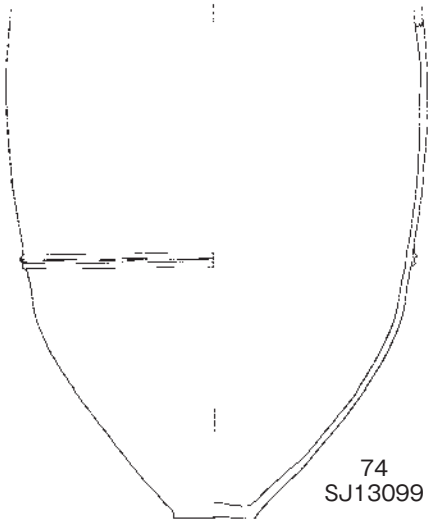
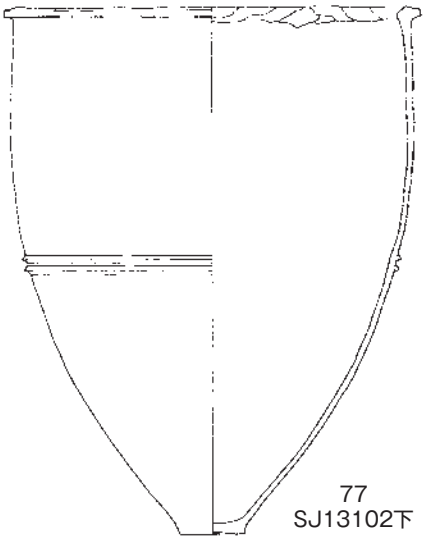


図99　13区出土甕棺８（1/12）









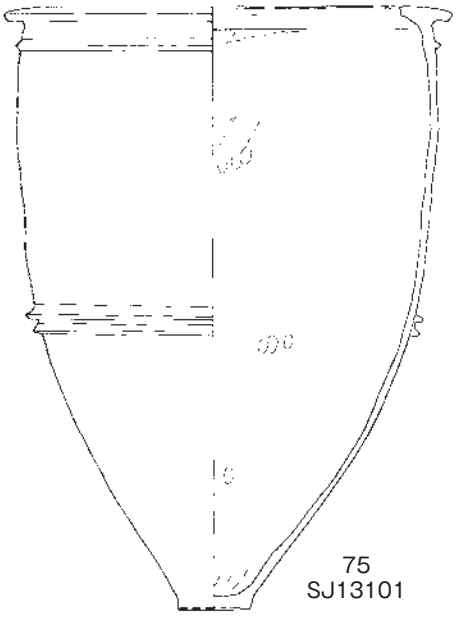


図100　13区出土甕棺９（1/8・1/12）

73は1/8、他は1/12

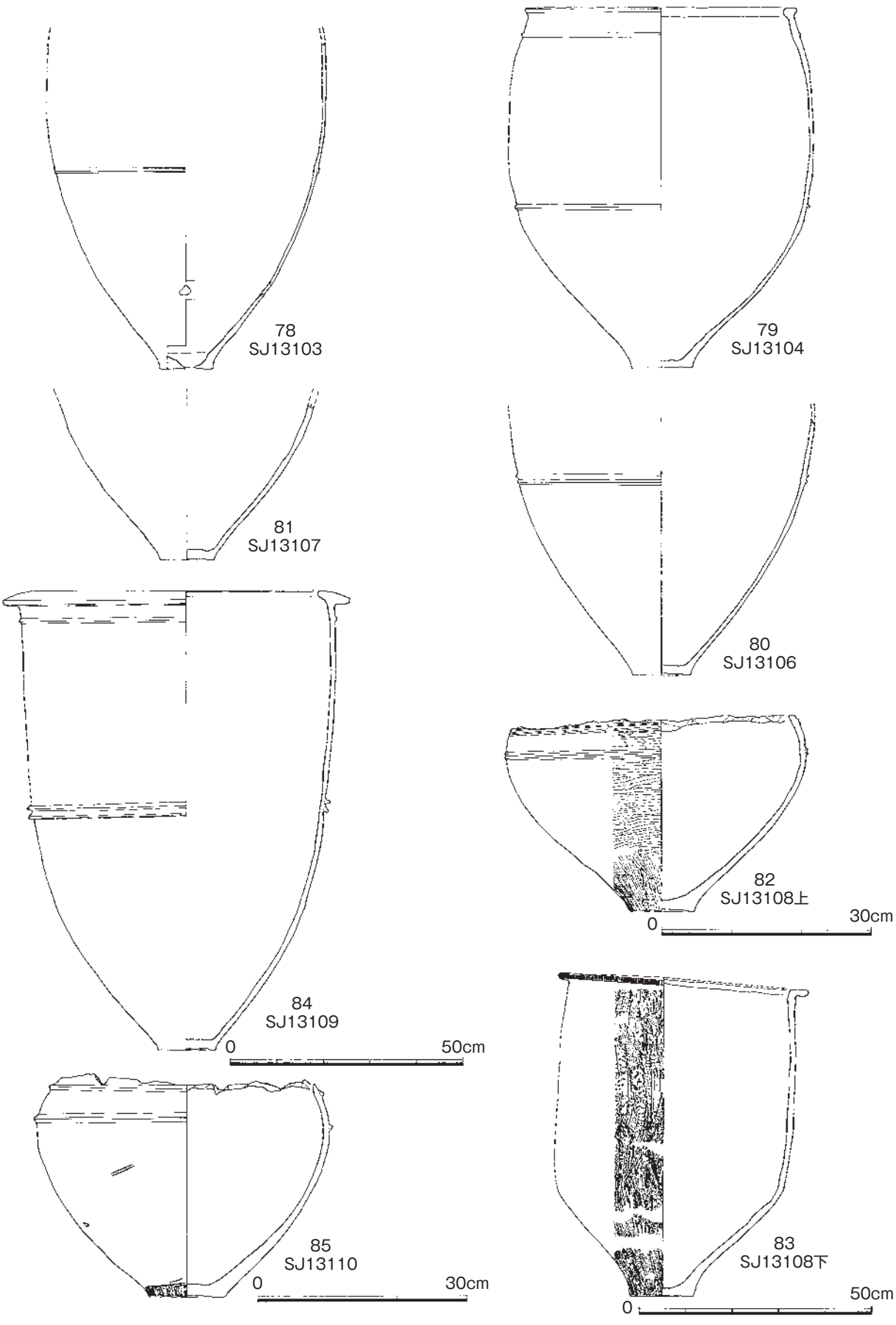


図101　13区出土甕棺10（1/8・1/12）　　82、85は1/8、他は1/12

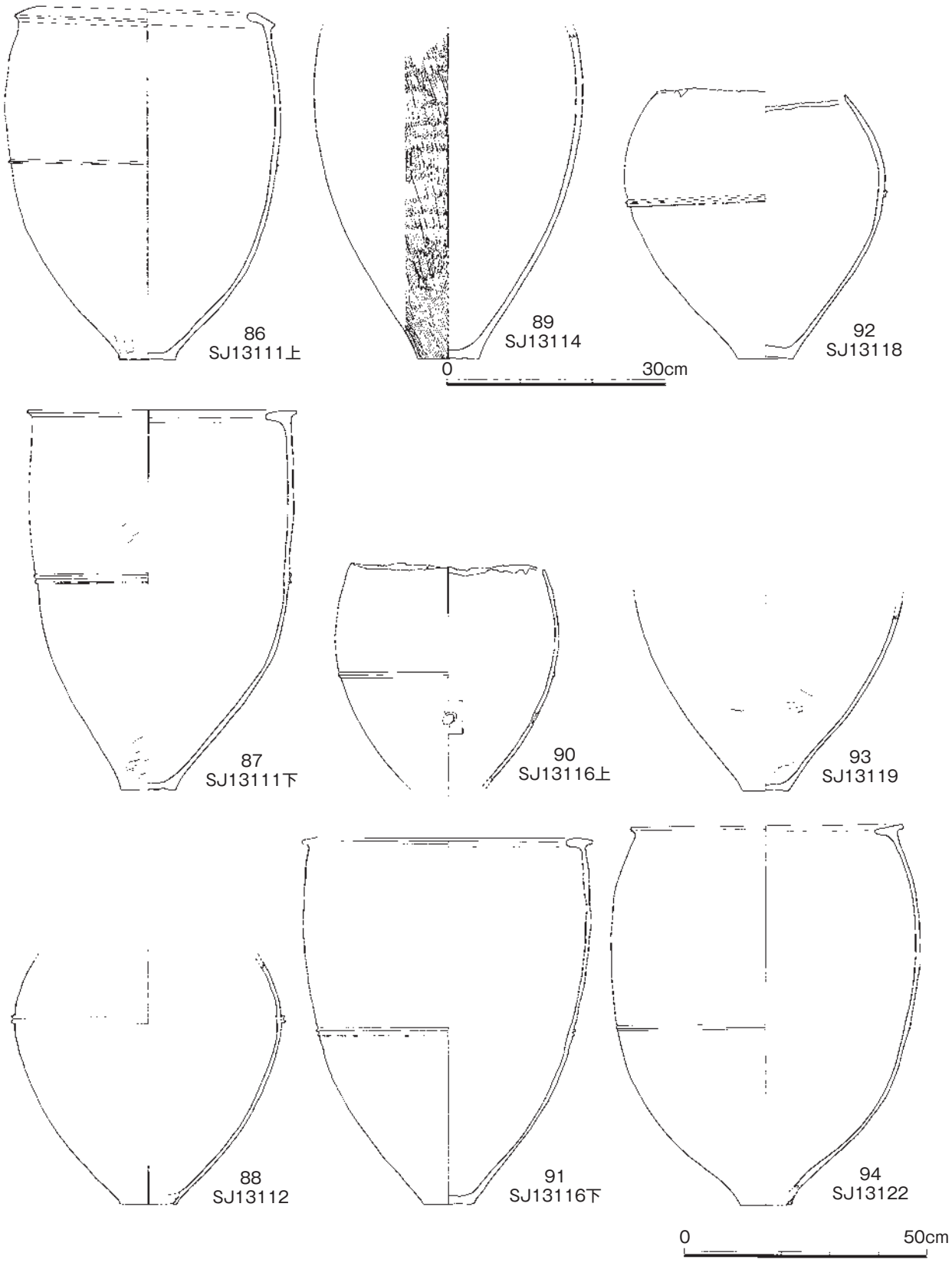


図102　13区出土甕棺11（1/8・1/12）　89は1/8、他は1/12

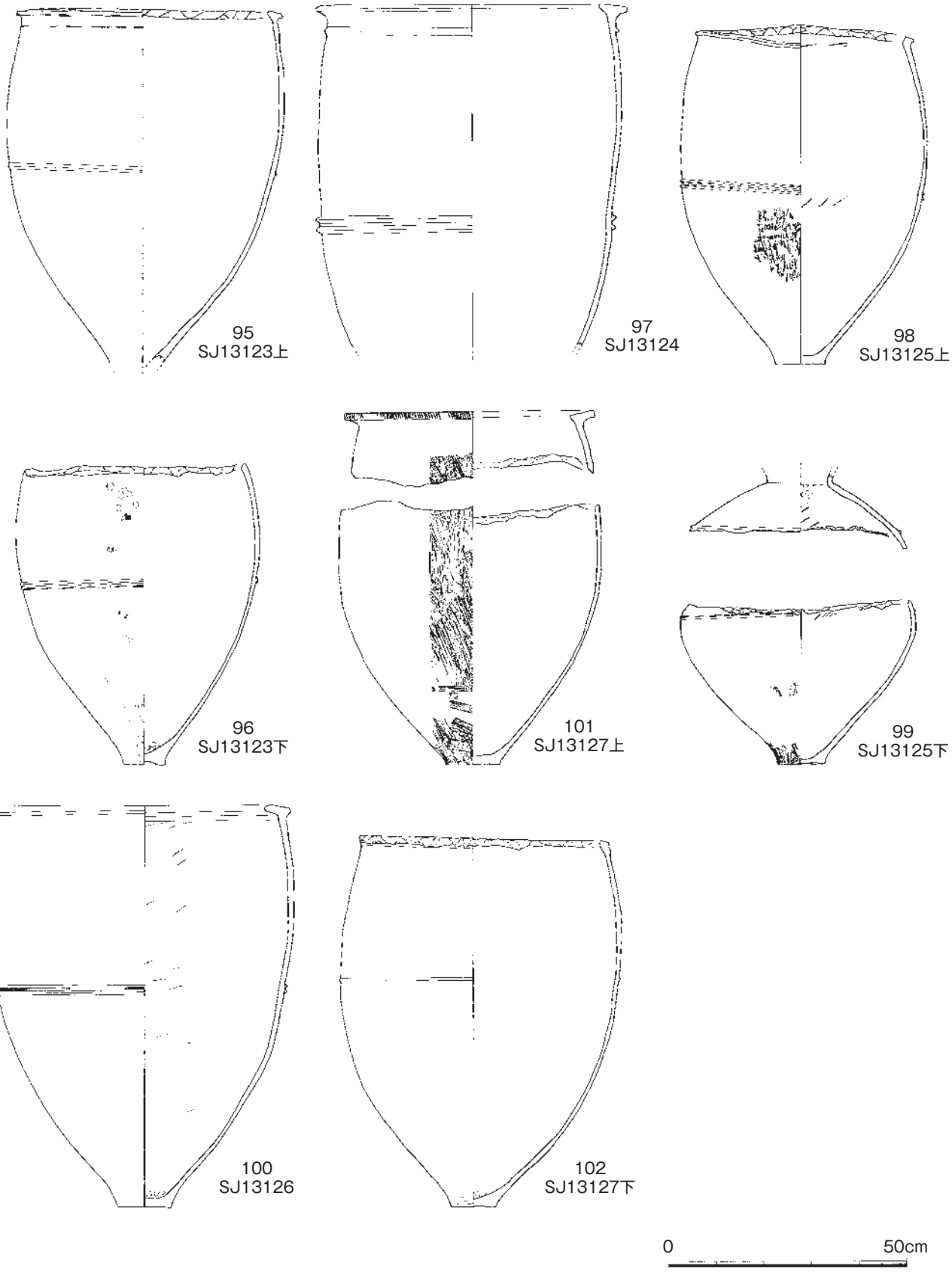


図103　13区出土甕棺12（1/12）

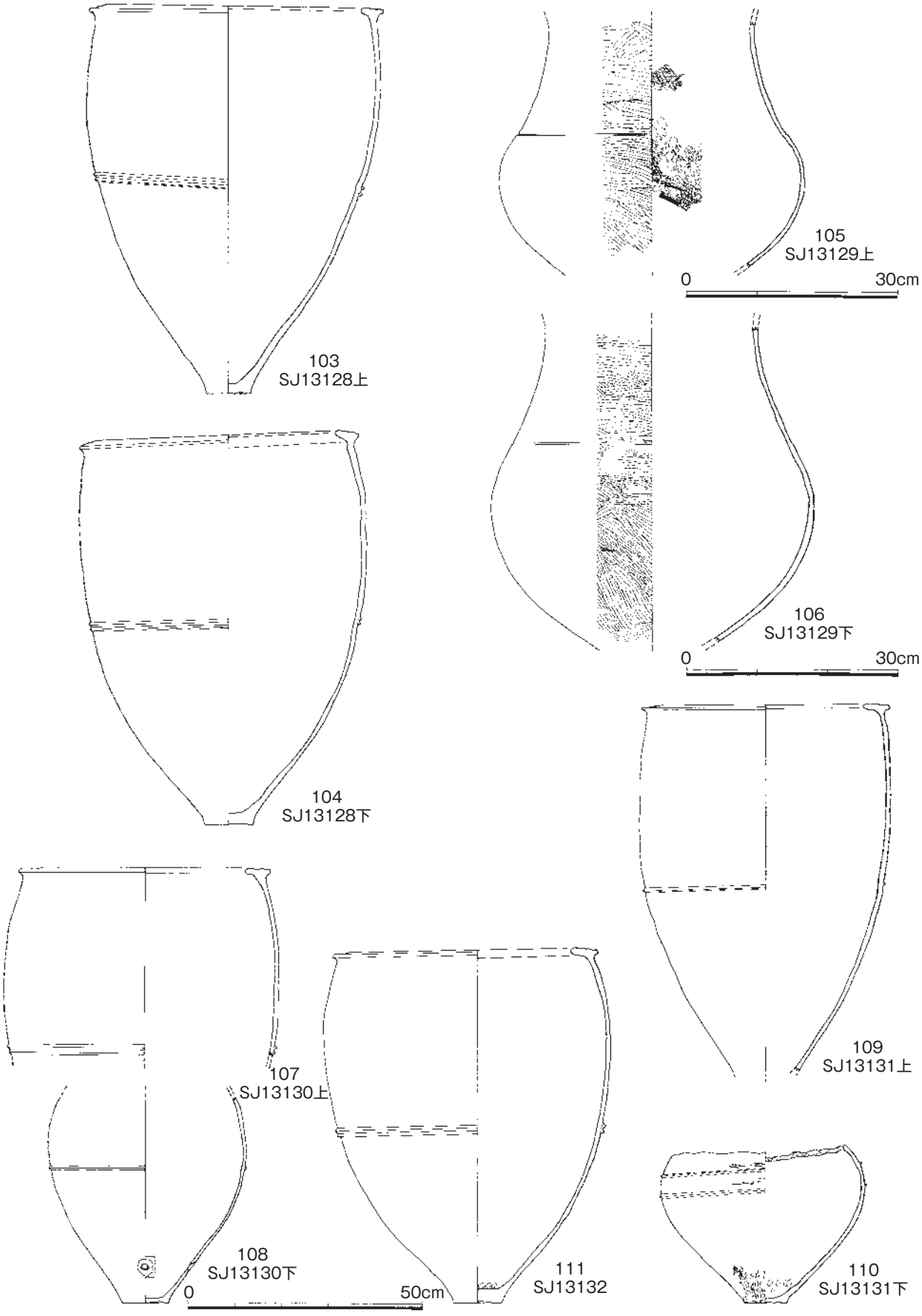


図104　13区出土甕棺13（1/8・1/12）

105、106は1/8、他は1/12

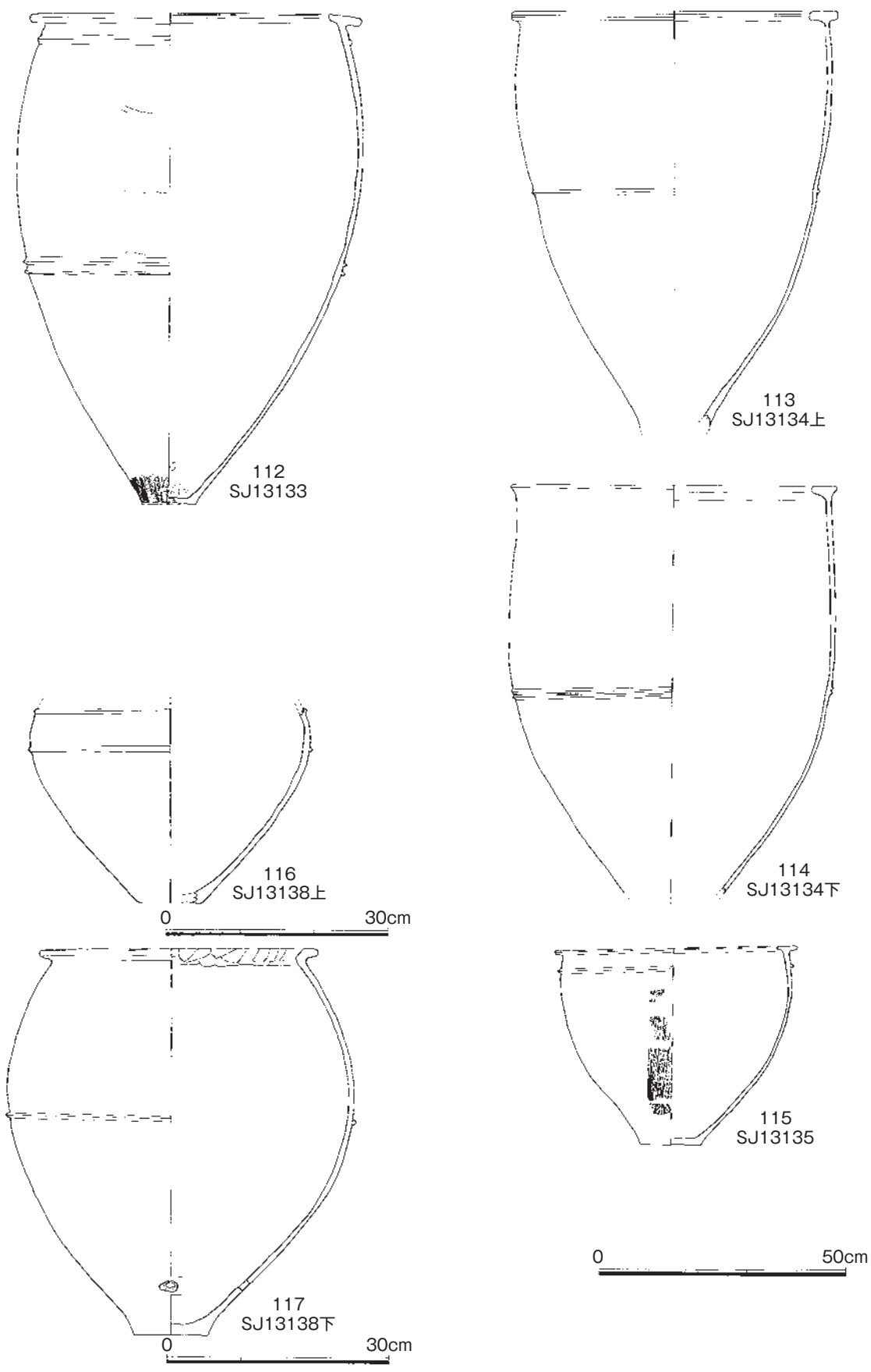


図105　13区出土甕棺14（1/8・1/12）　　116、117は1/8、他は1/12

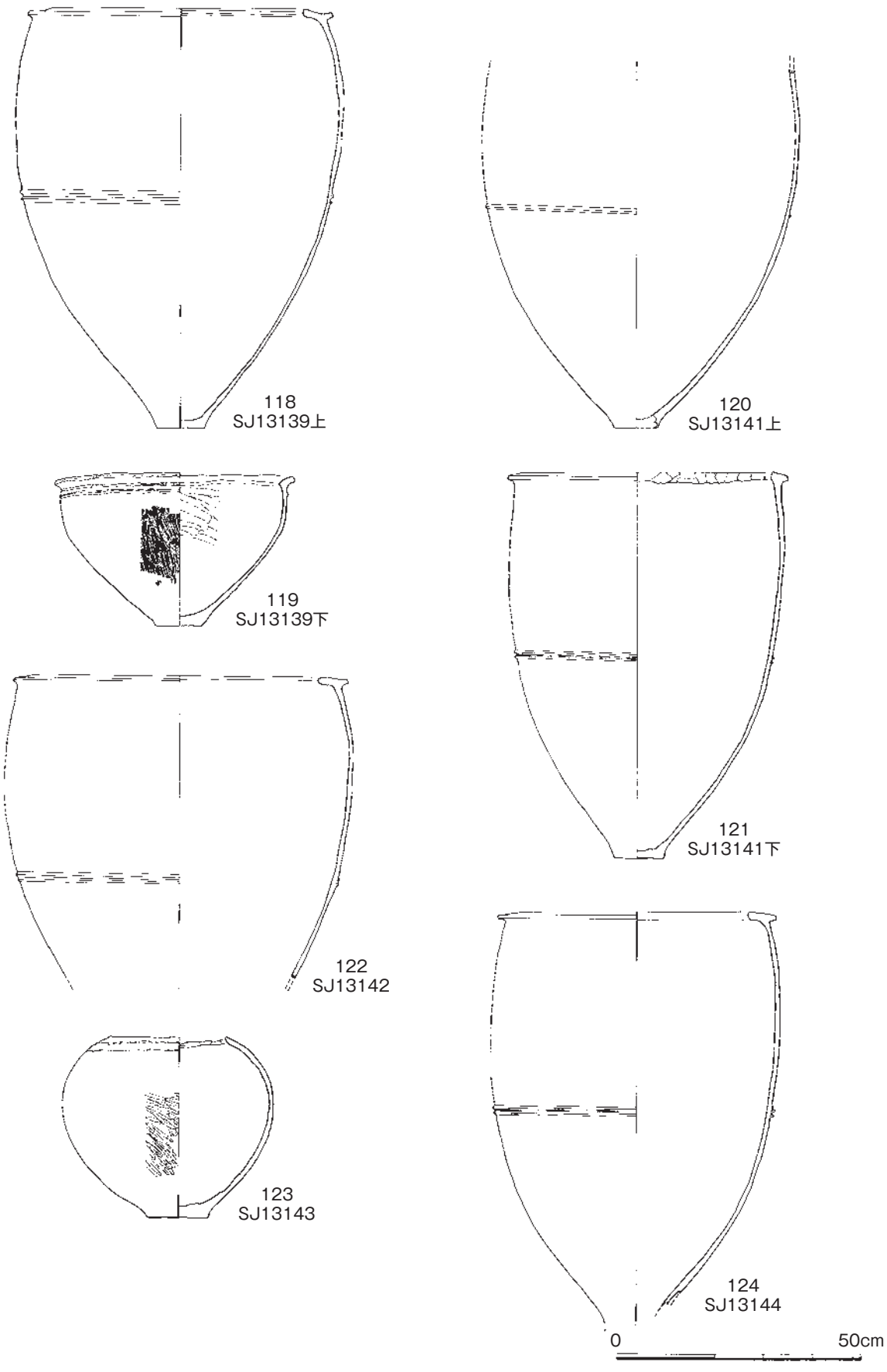


図106　13区出土甕棺15（1/12）

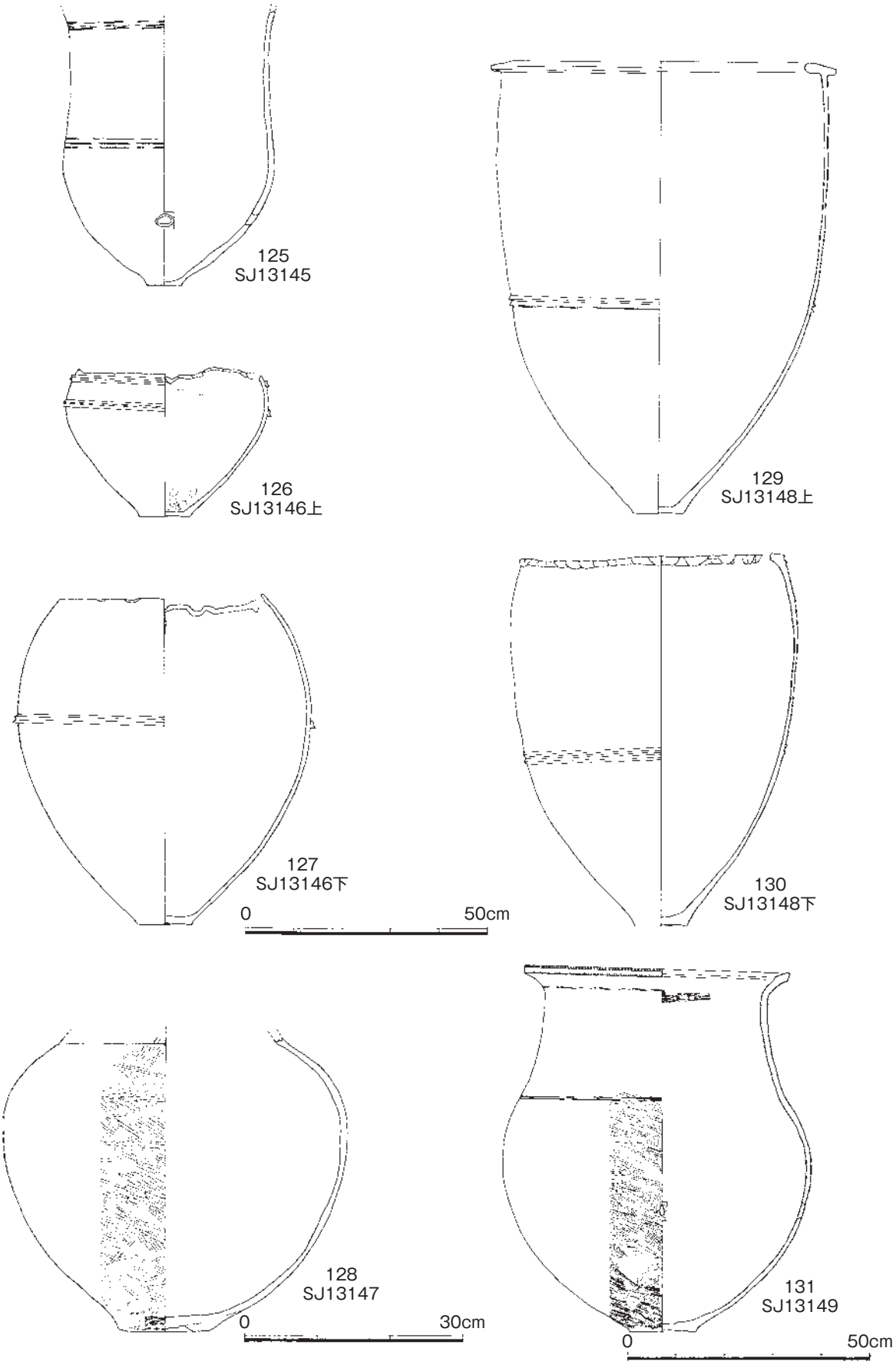


図107　13区出土甕棺16（1/8・1/12）　128は1/8、他は1/12

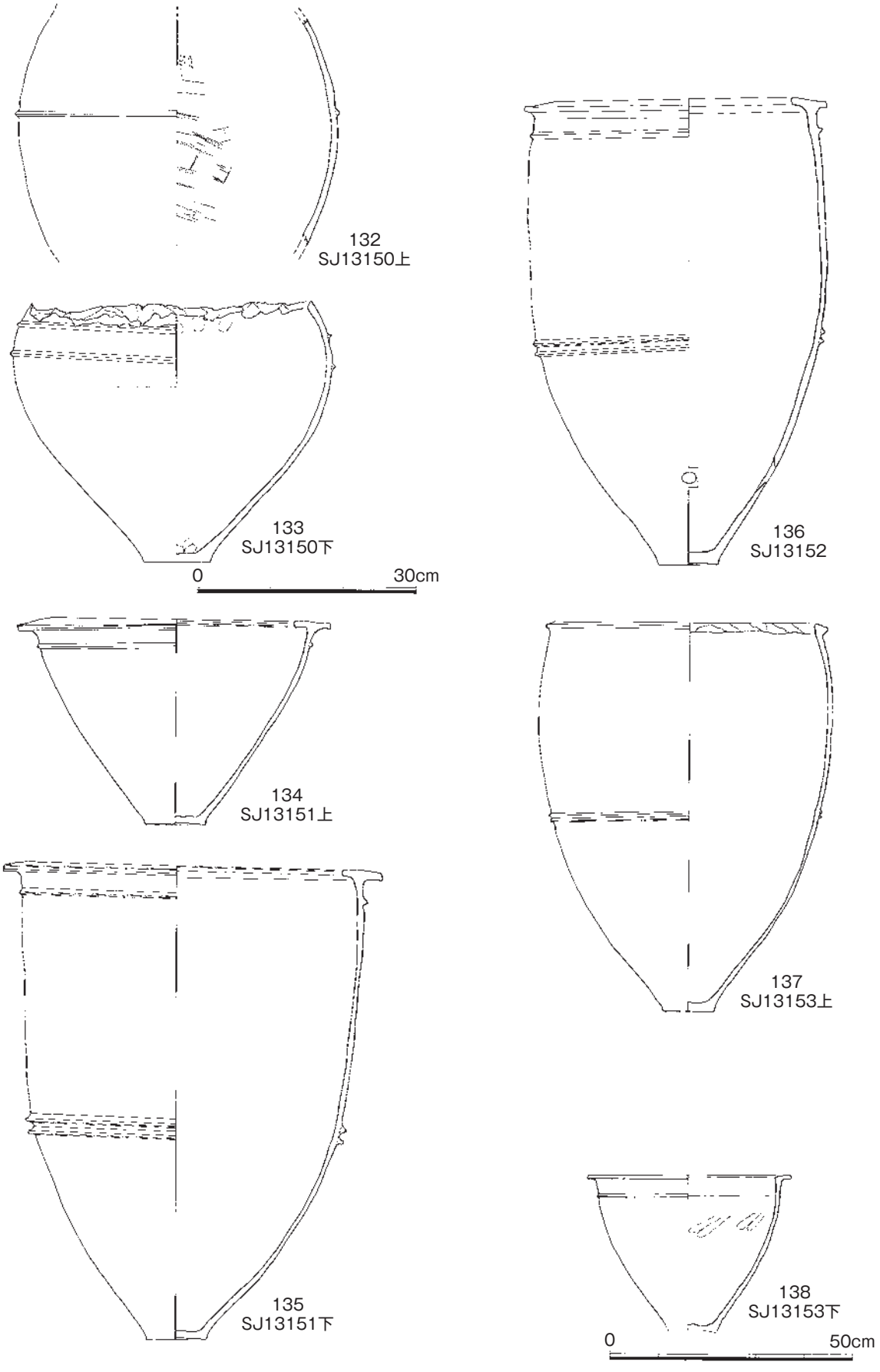


図108　13区出土甕棺17（1/8・1/12）　132、133は1/8、他は1/12

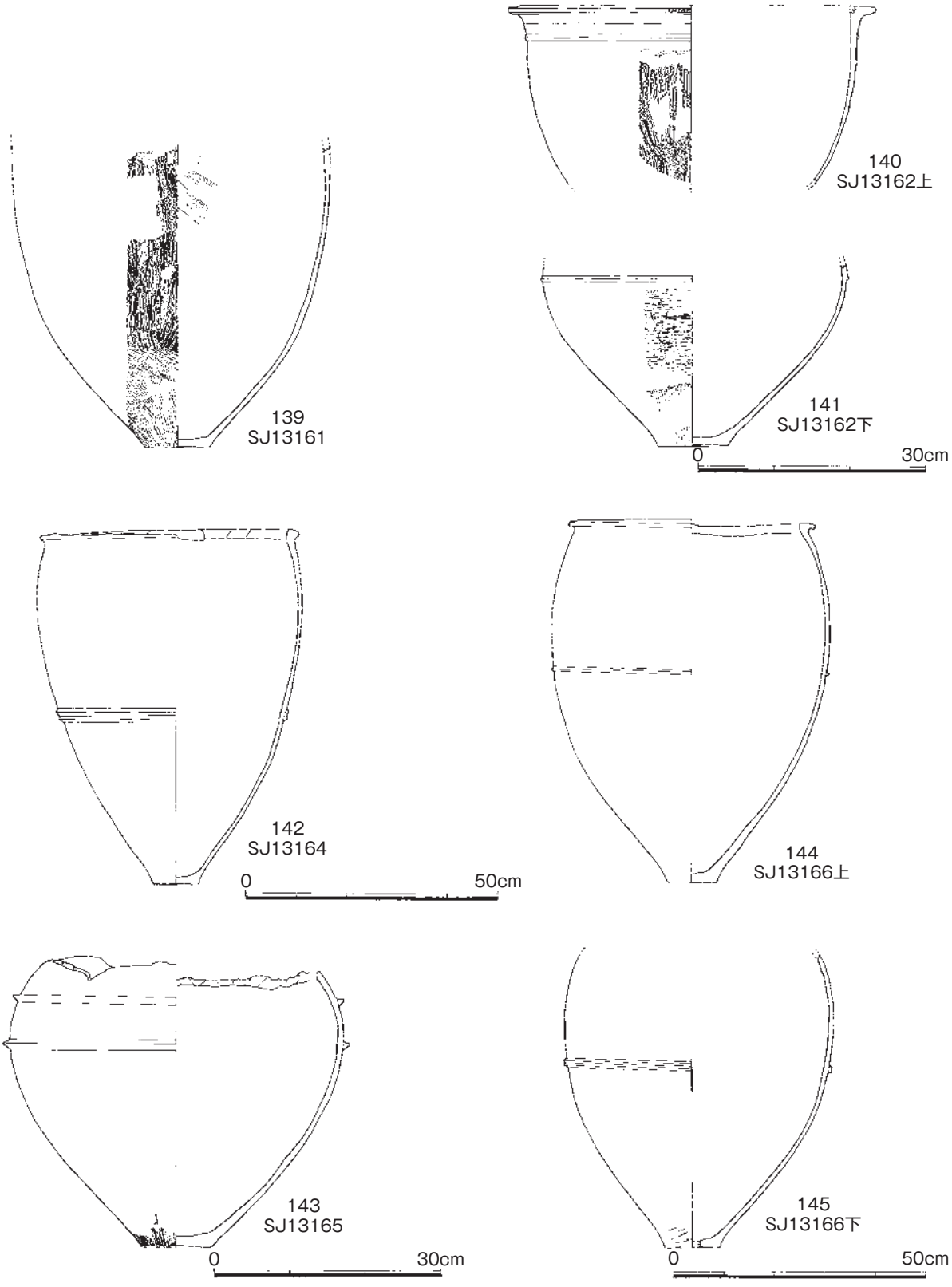


図109　13区出土甕棺18（1/8・1/12）

140、141、143は1/8
他は1/12

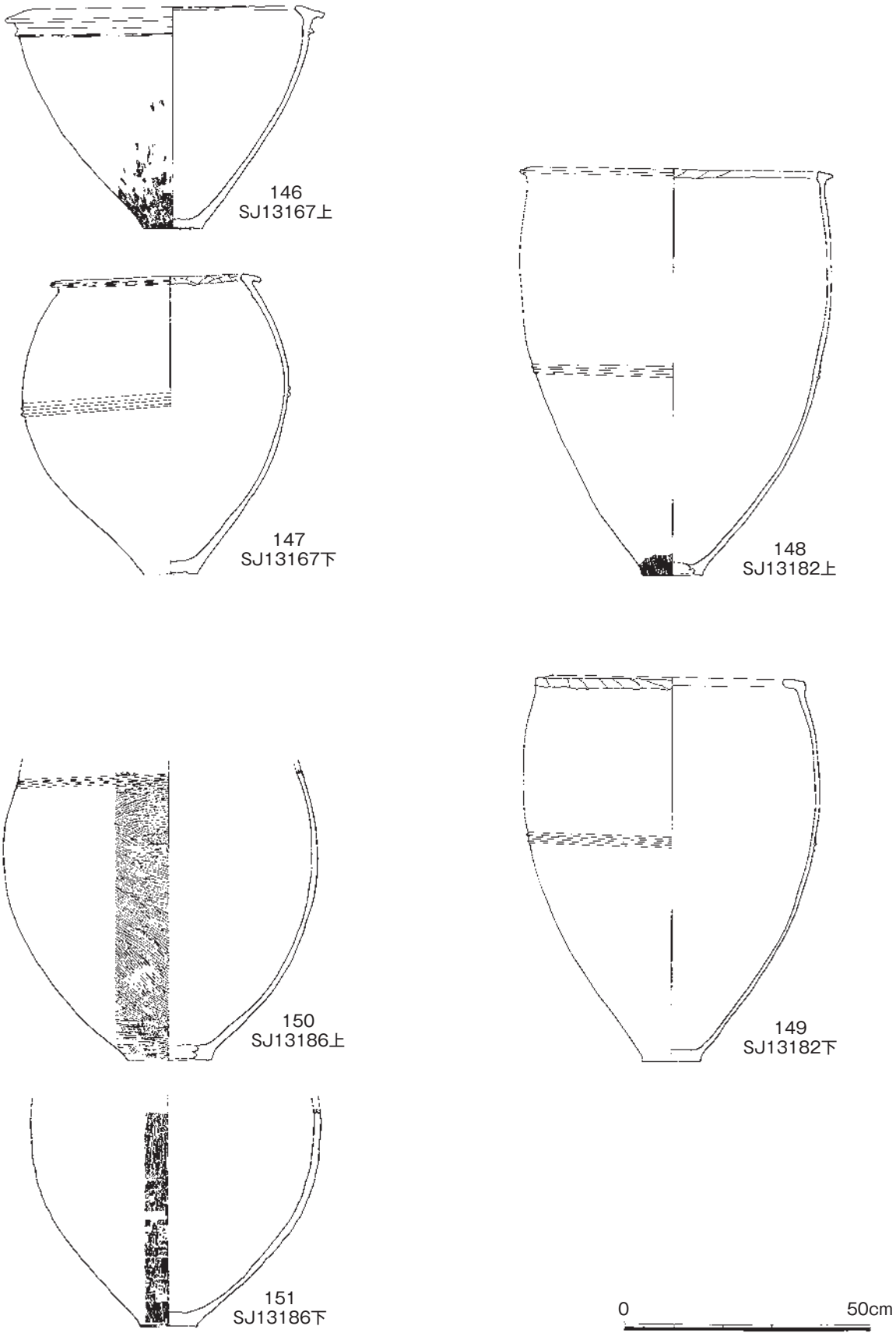


図110　13区出土甕棺19（1/12）

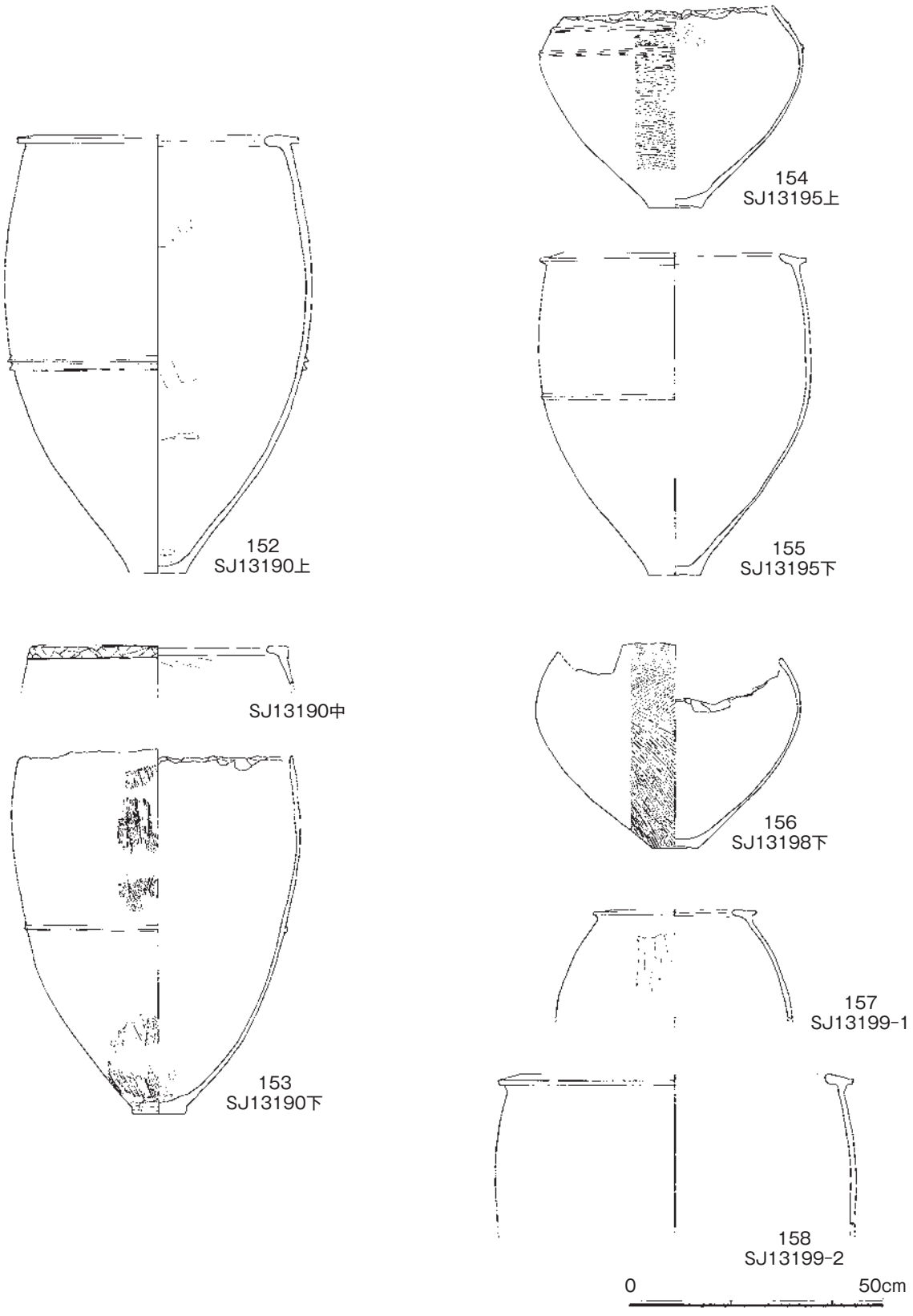


図111　13区出土甕棺20（1/12）

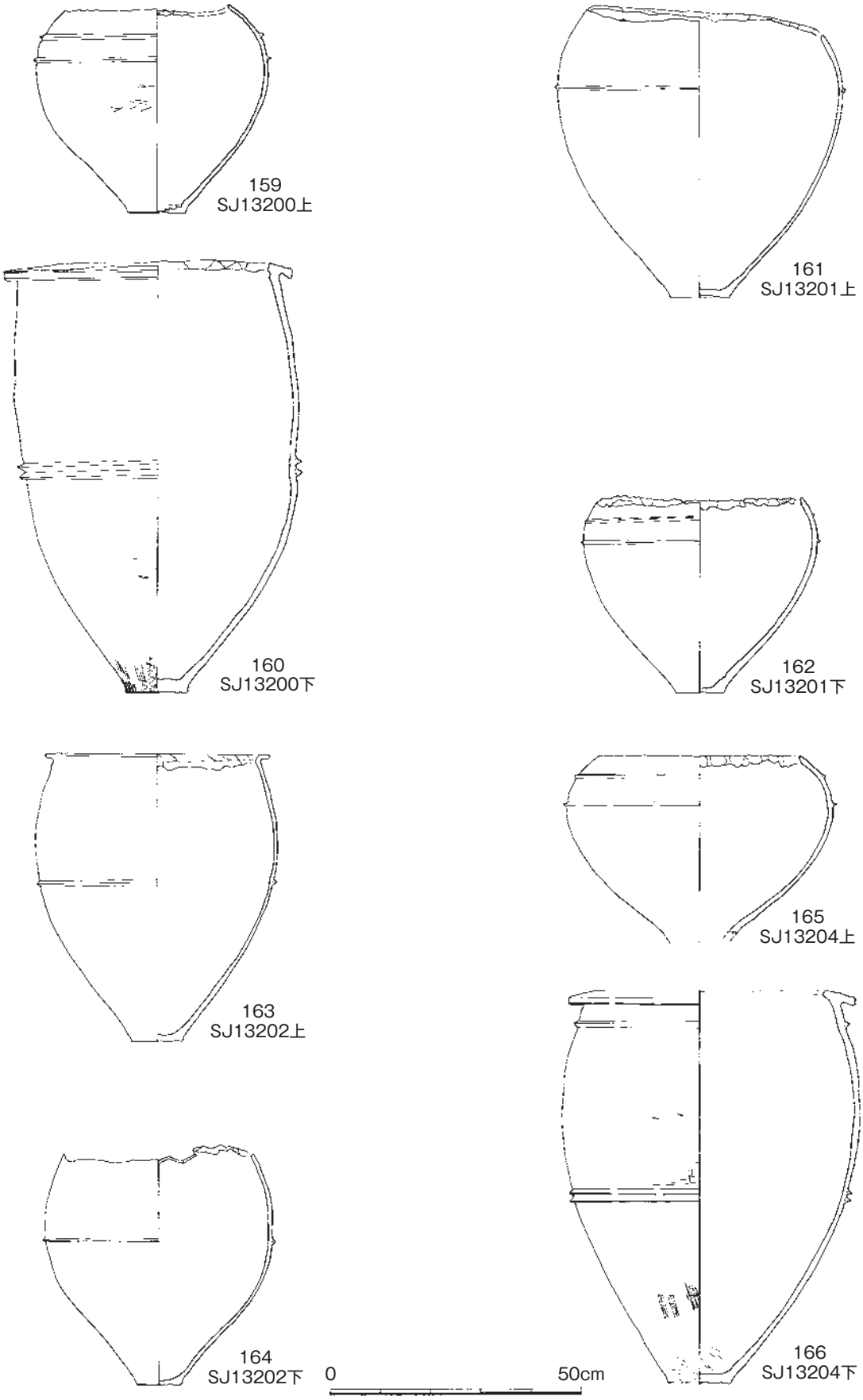


図112　13区出土甕棺21（1/12）

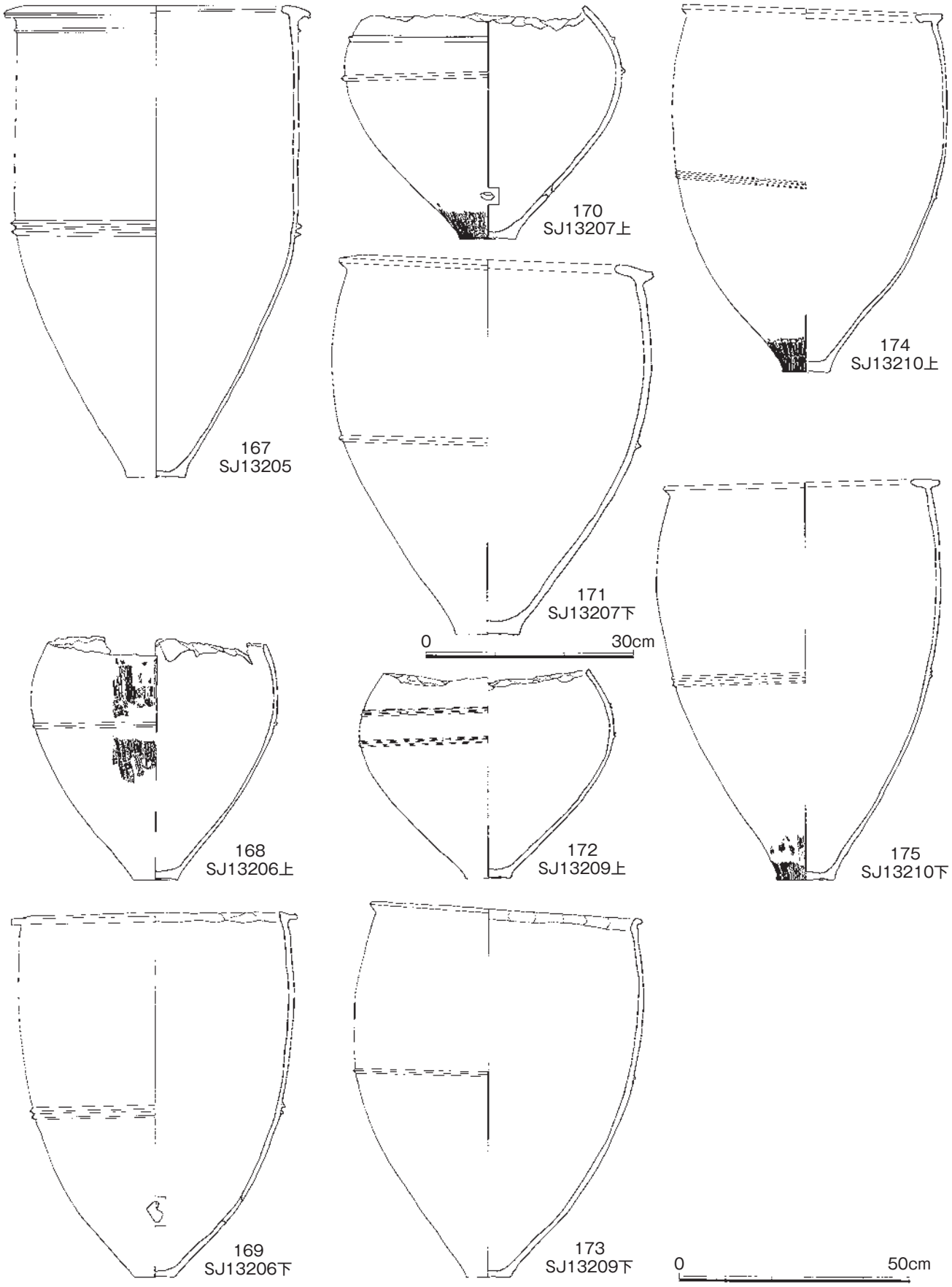


図113　13区出土甕棺22（1/8・1/12）

170、171は1/8、他は1/12

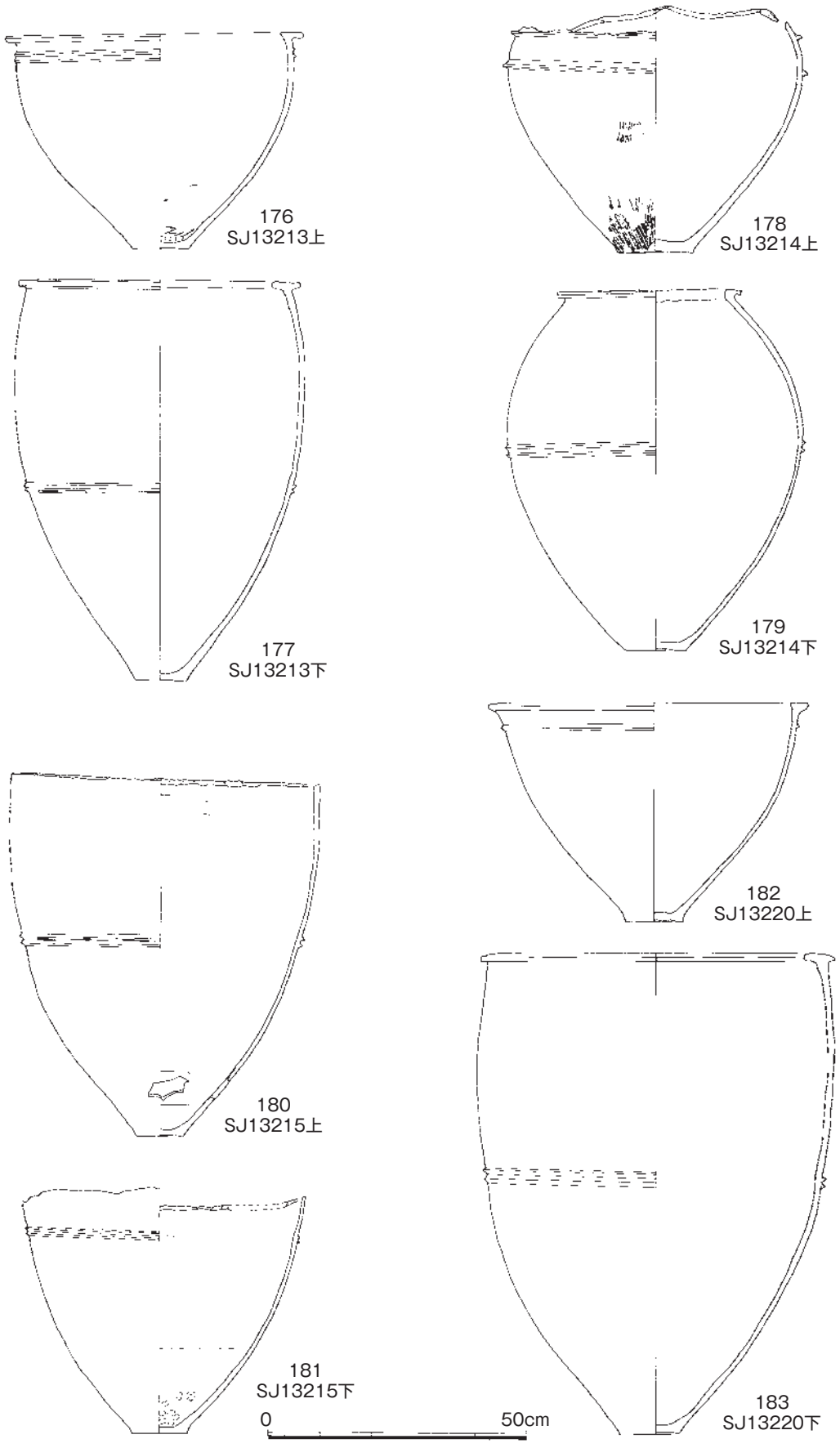


図114　13区出土甕棺23（1/12）

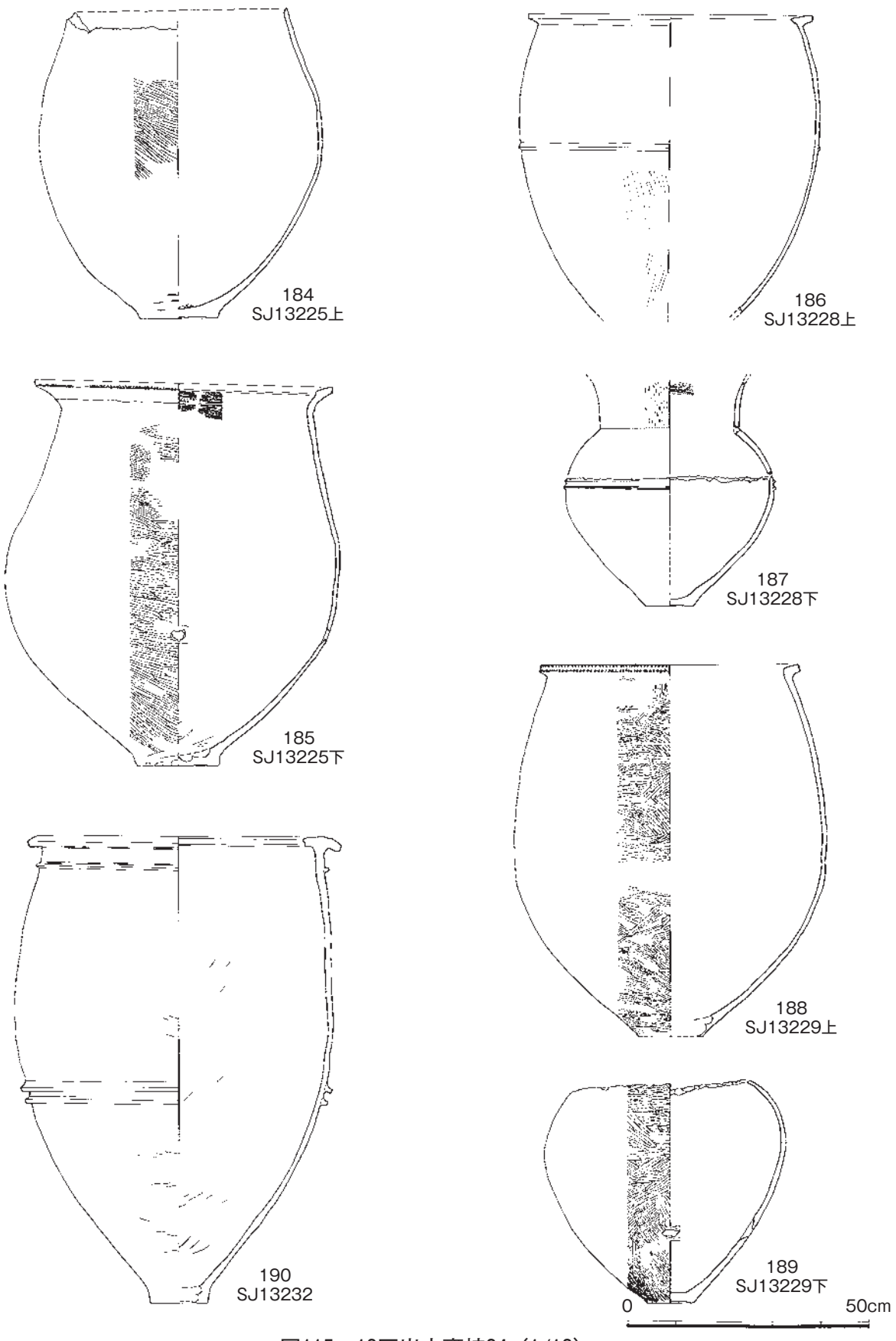


図115　13区出土甕棺24（1/12）

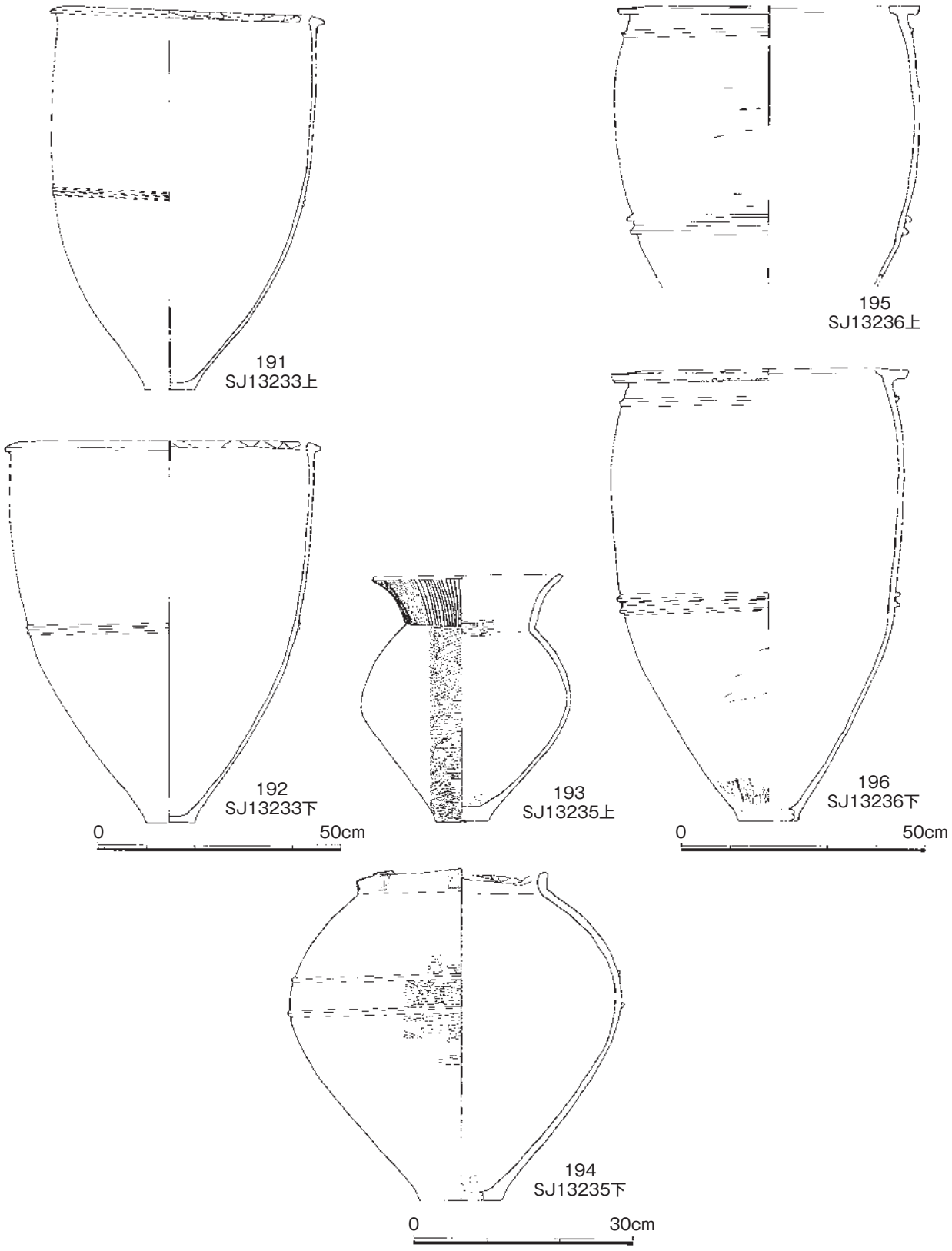


図116　13区出土甕棺25（1/8・1/12）　193、194は1/8、他は1/12

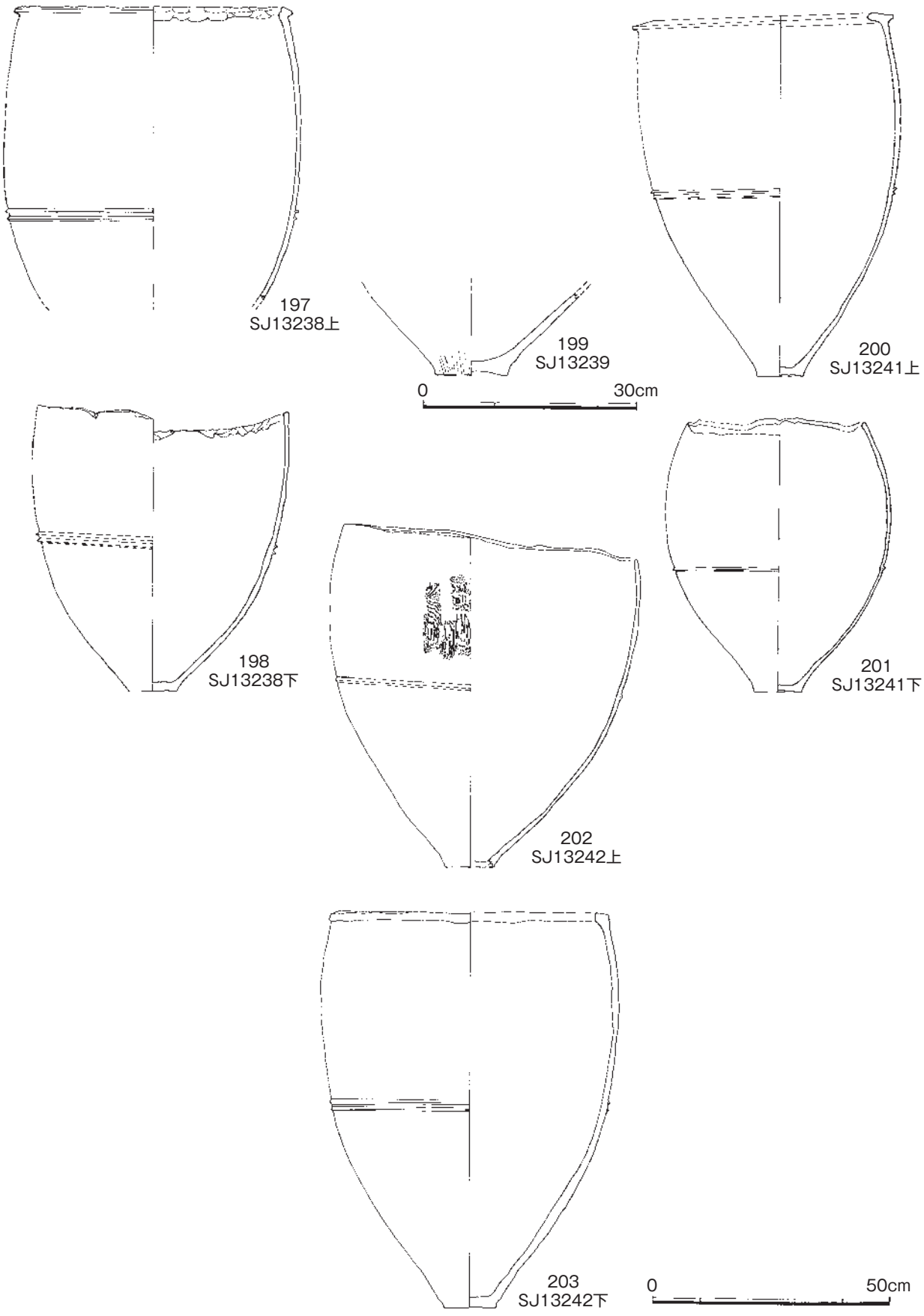


図117　13区出土甕棺26（1/8・1/12）

199は1/8、他は1/12

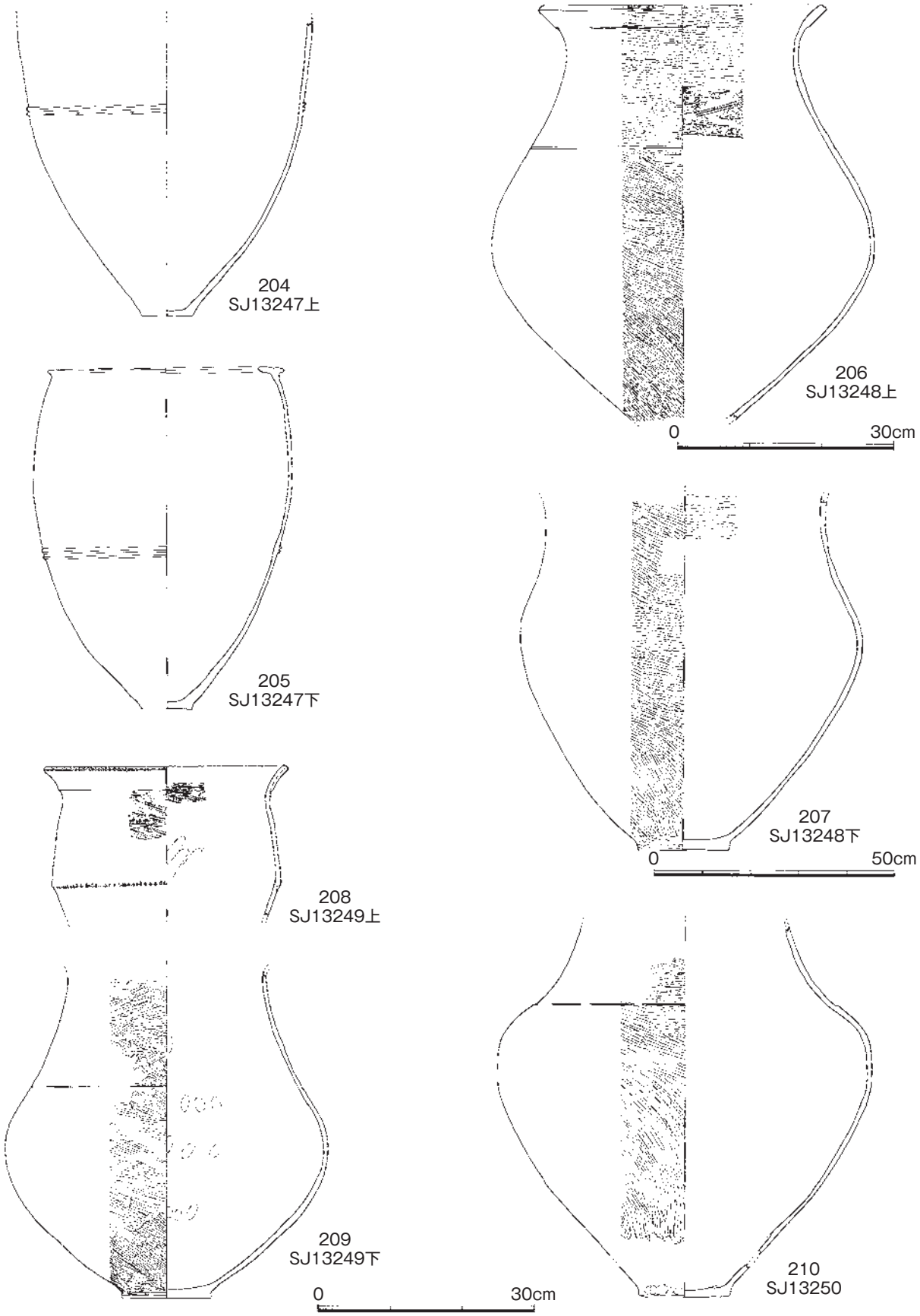


図118　13区出土甕棺27（1/8・1/12）

206、208～210は1/8
他は1/12

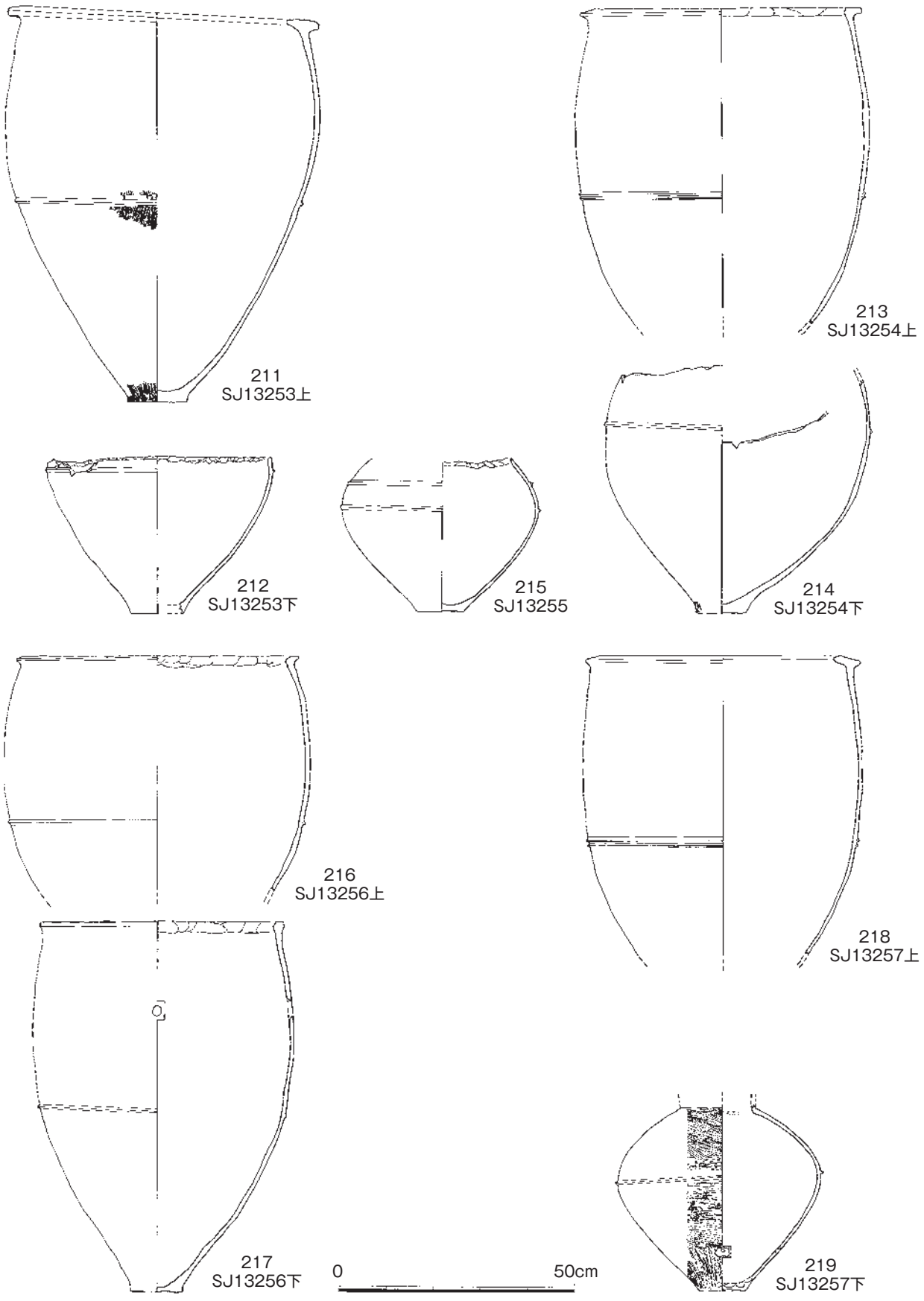


図119　13区出土甕棺28（1/12）

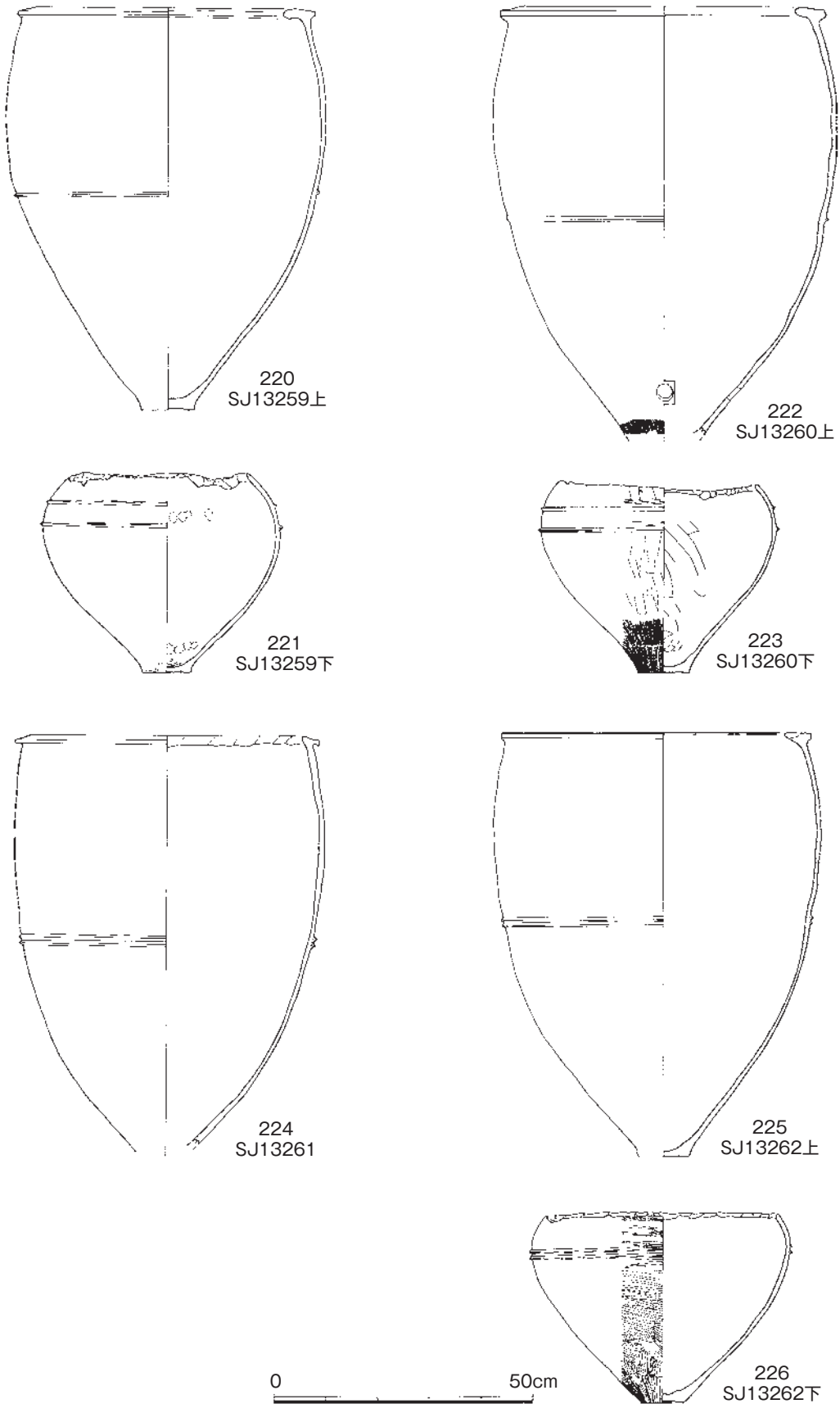


図120　13区出土甕棺29（1/12）

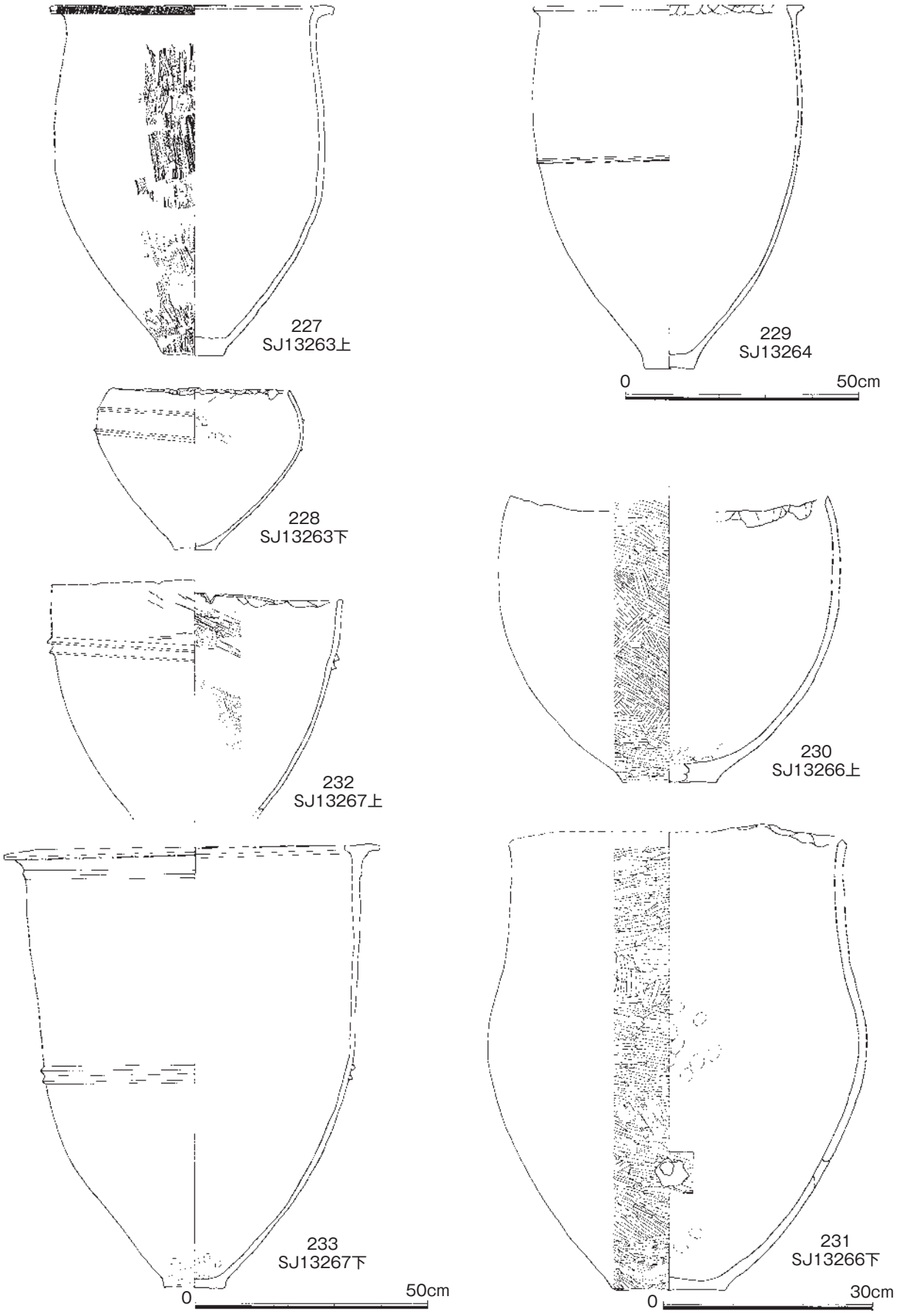


図121　13区出土甕棺30（1/8・1/12）

230、231は1/8、他は1/12

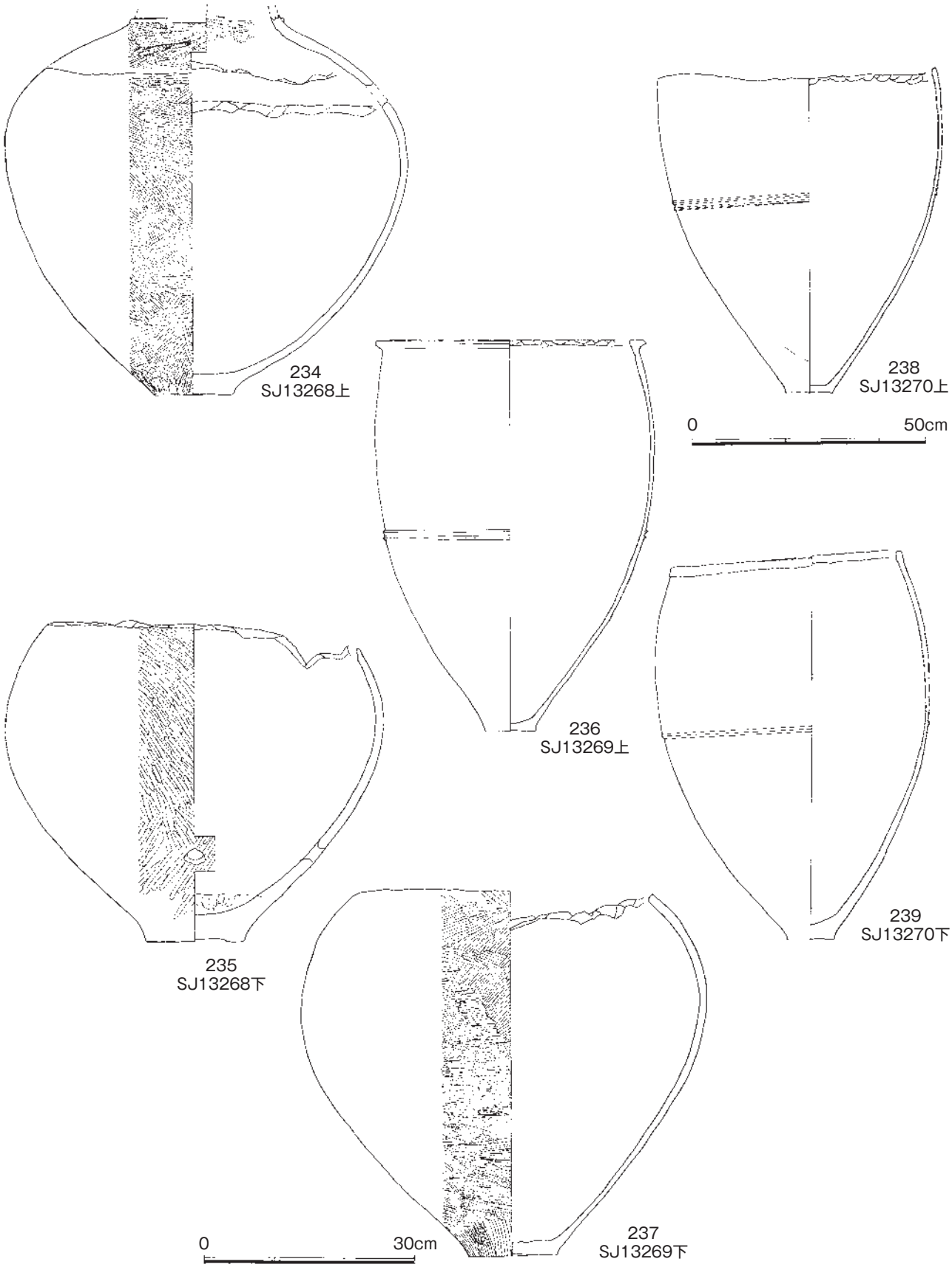


図122　13区出土甕棺31（1/8・1/12）　234、235は1/8、他は1/12

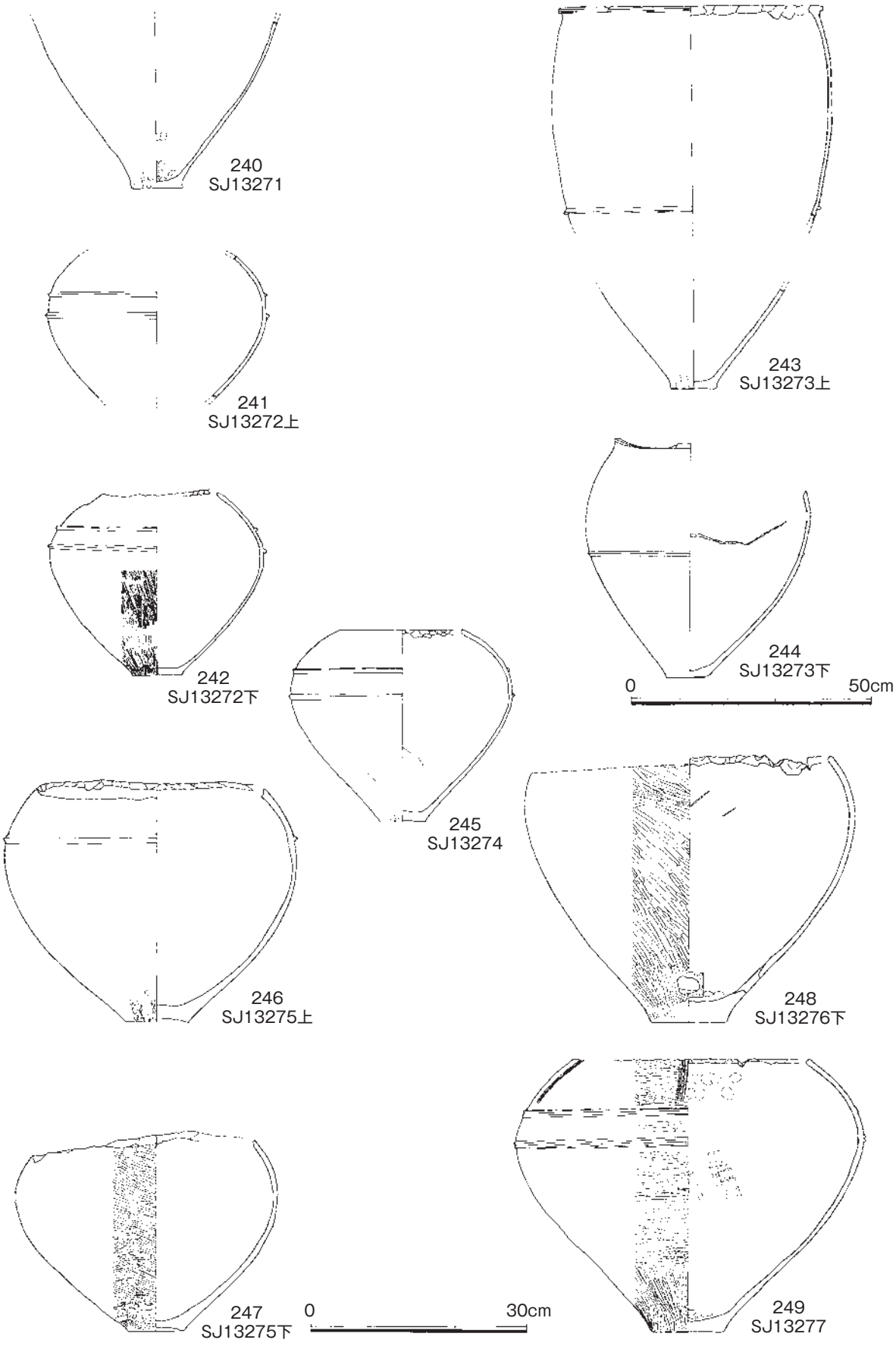


図123　13区出土甕棺32（1/8・1/12）　246～249は1/8、他は1/12

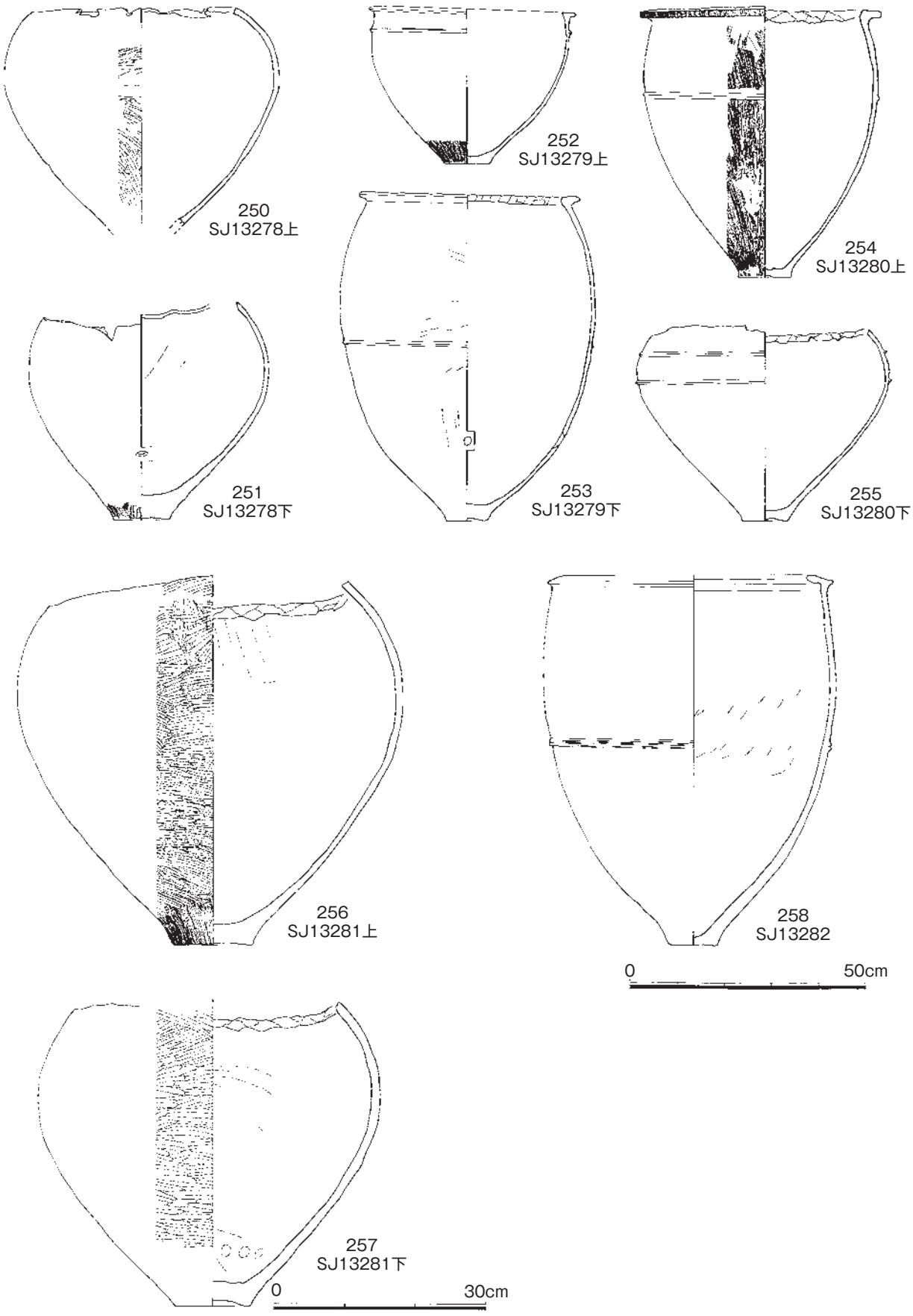


図124　13区出土甕棺33（1/8・1/12）　256、257は1/8、他は1/12

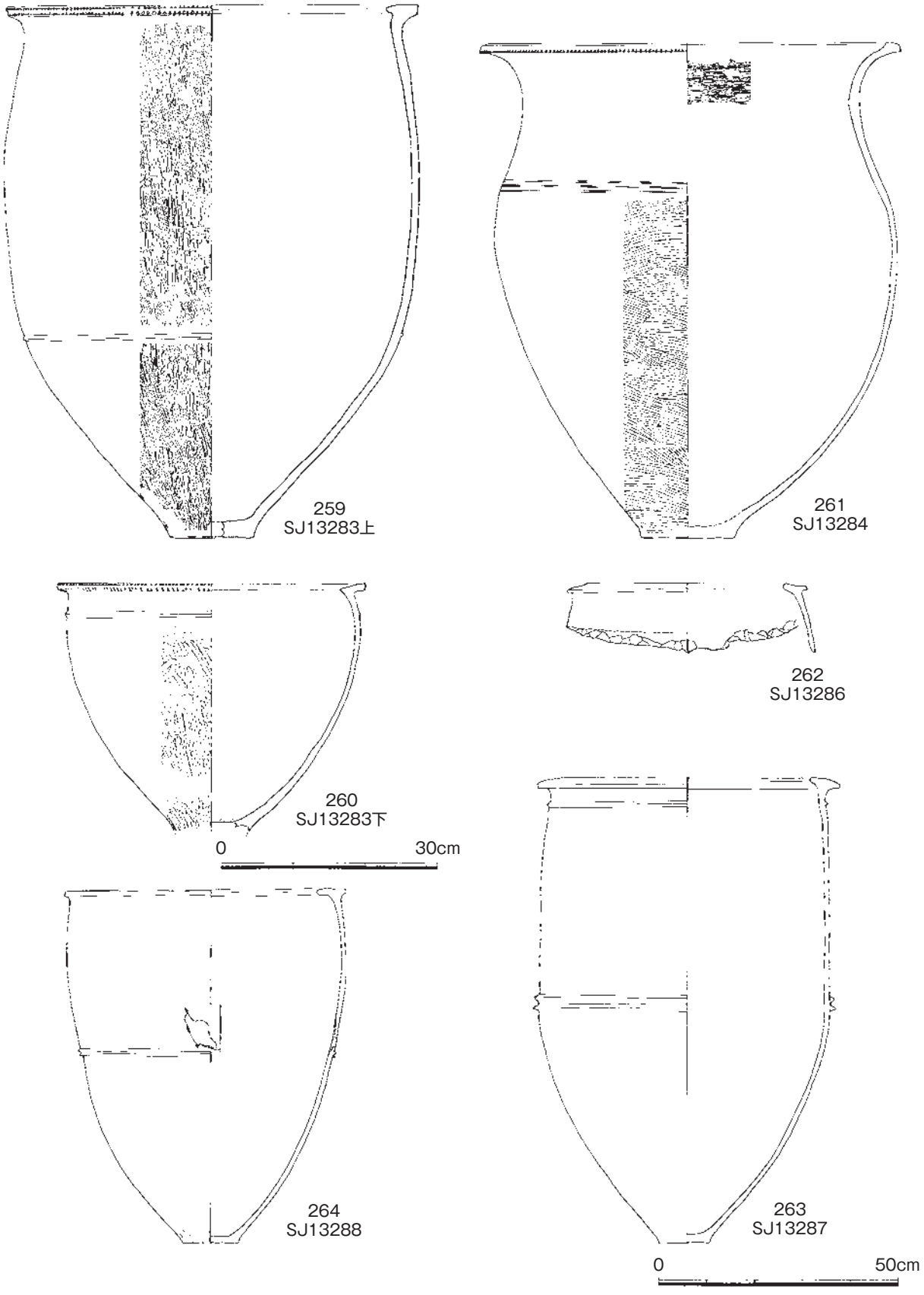


図125　13区出土甕棺34（1/8・1/12）　259、260は1/8、他は1/12

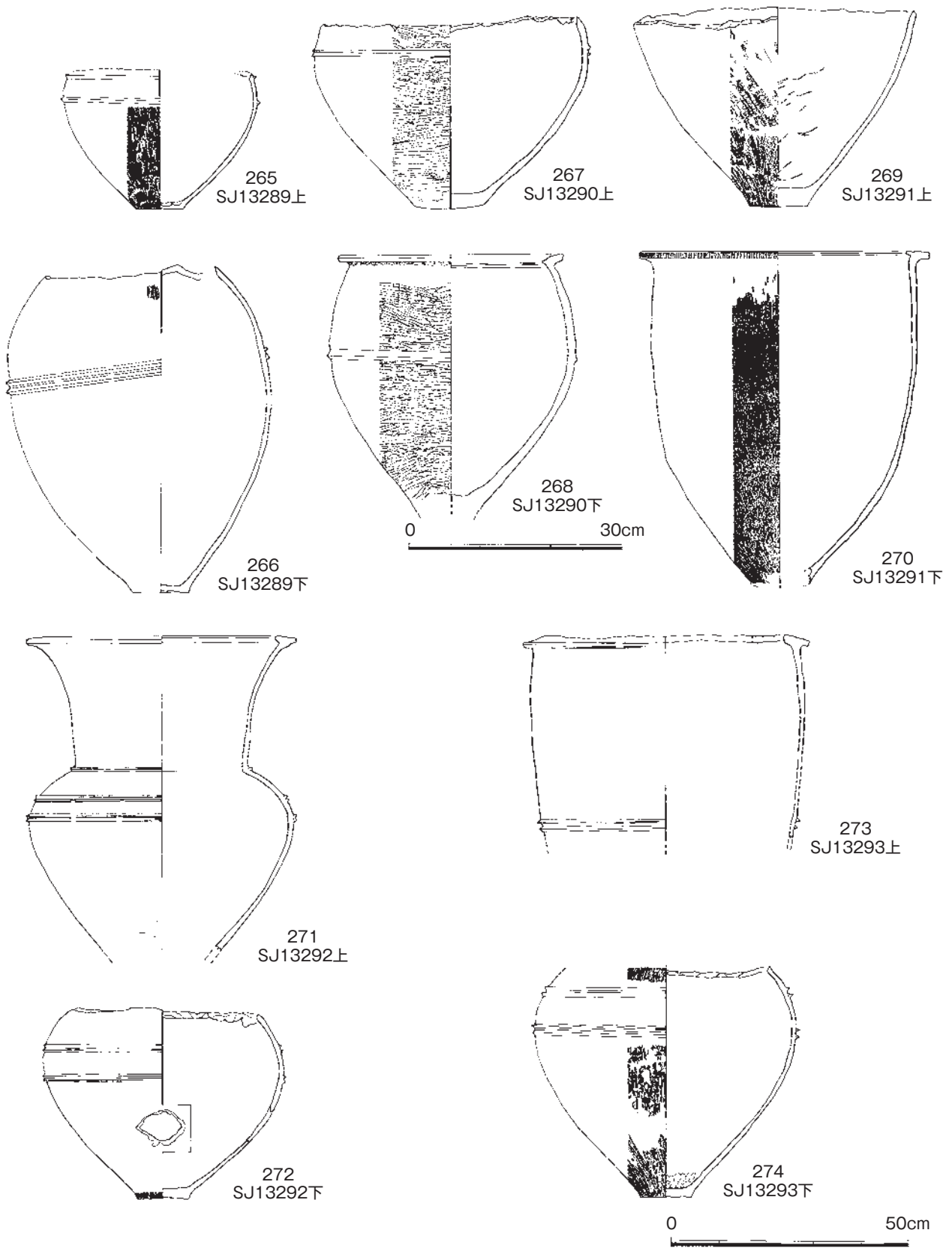


図126　13区出土甕棺35（1/8・1/12）　267、268は1/8、他は1/12

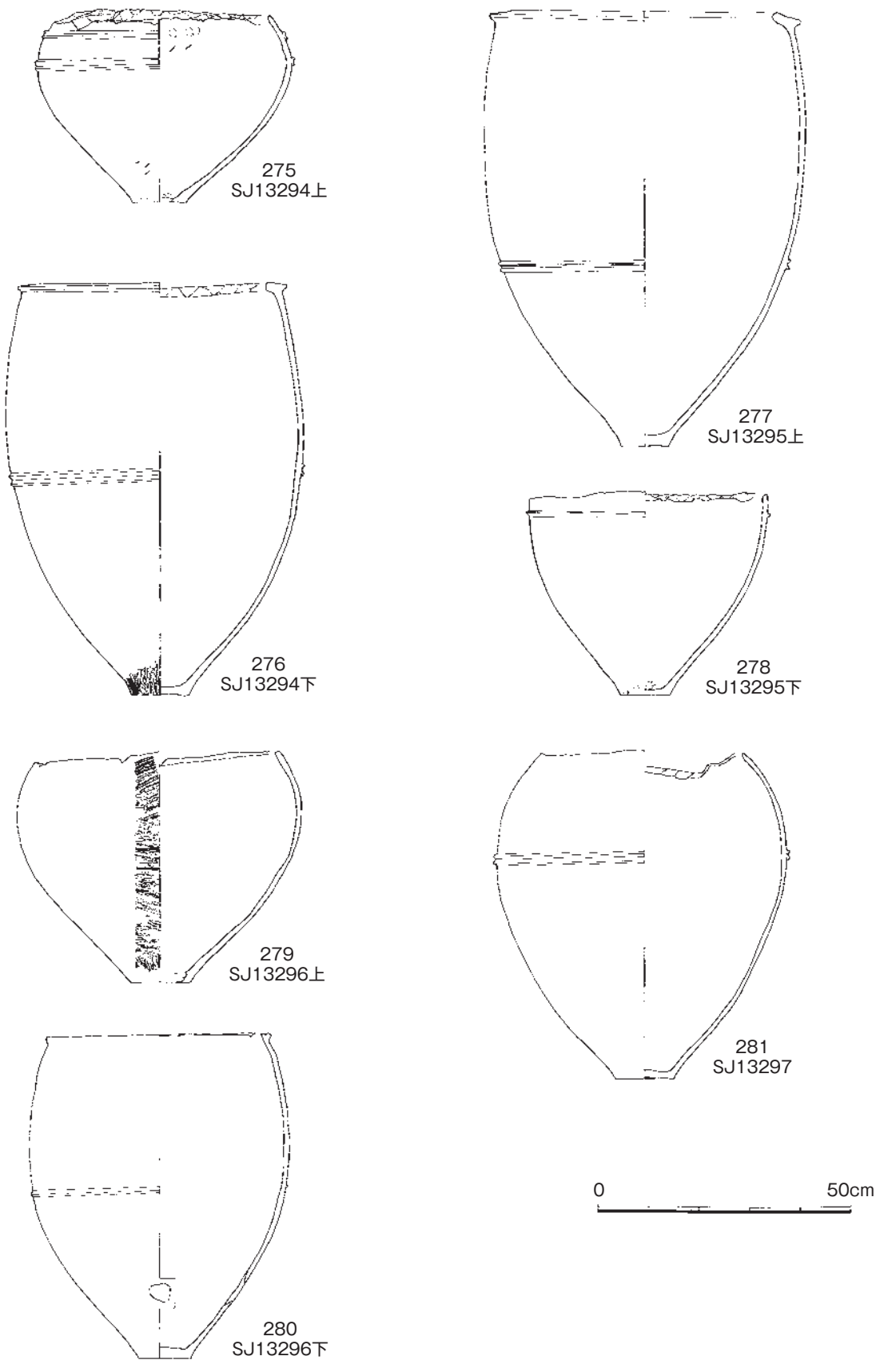


図127　13区出土甕棺36（1/12）

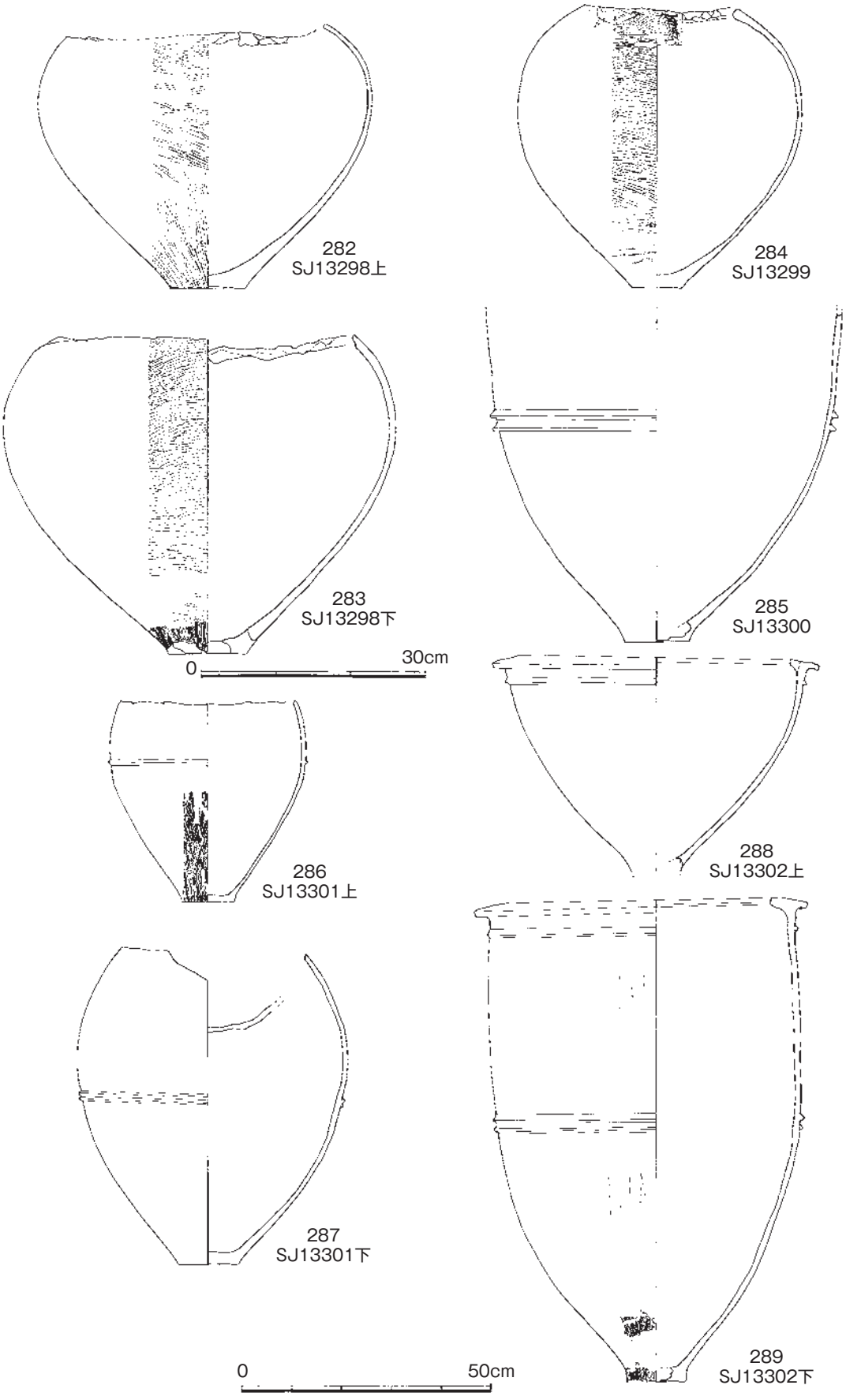


図128　13区出土甕棺37（1/8・1/12）

282、283は1/8、他は1/12

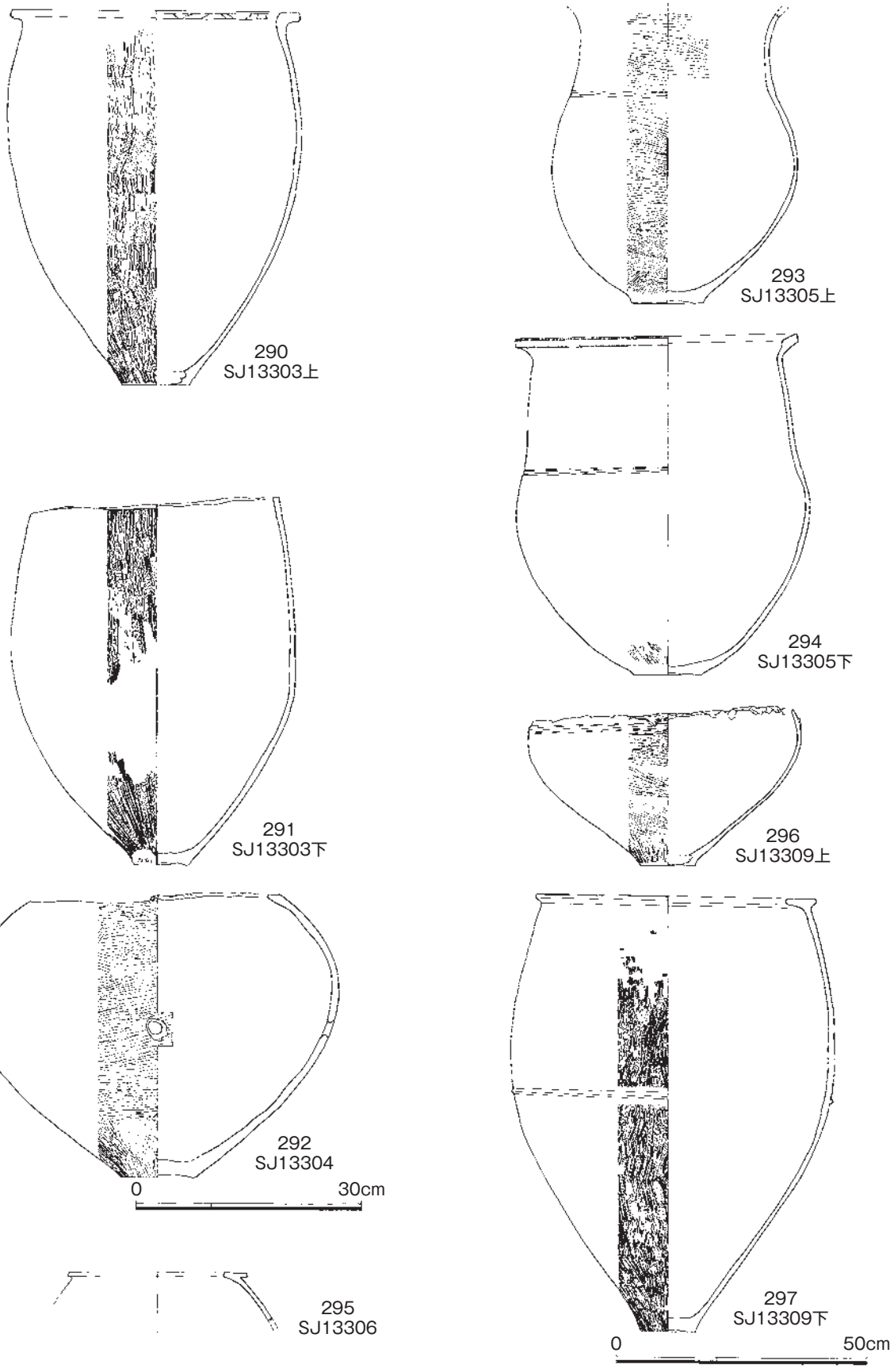


図129　13区出土甕棺38（1/8・1/12）　292は1/8、他は1/12

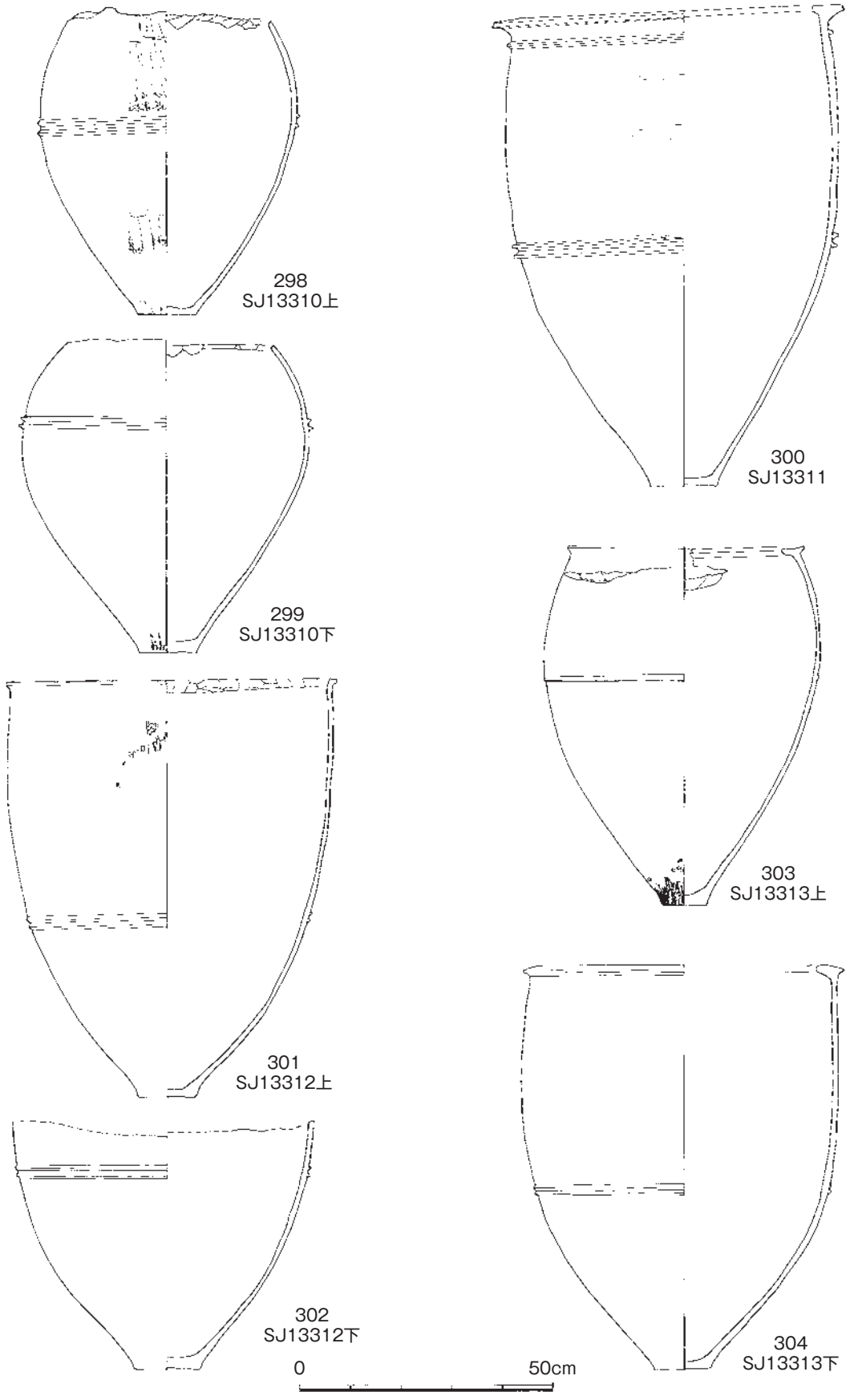


図130　13区出土甕棺39（1/12）

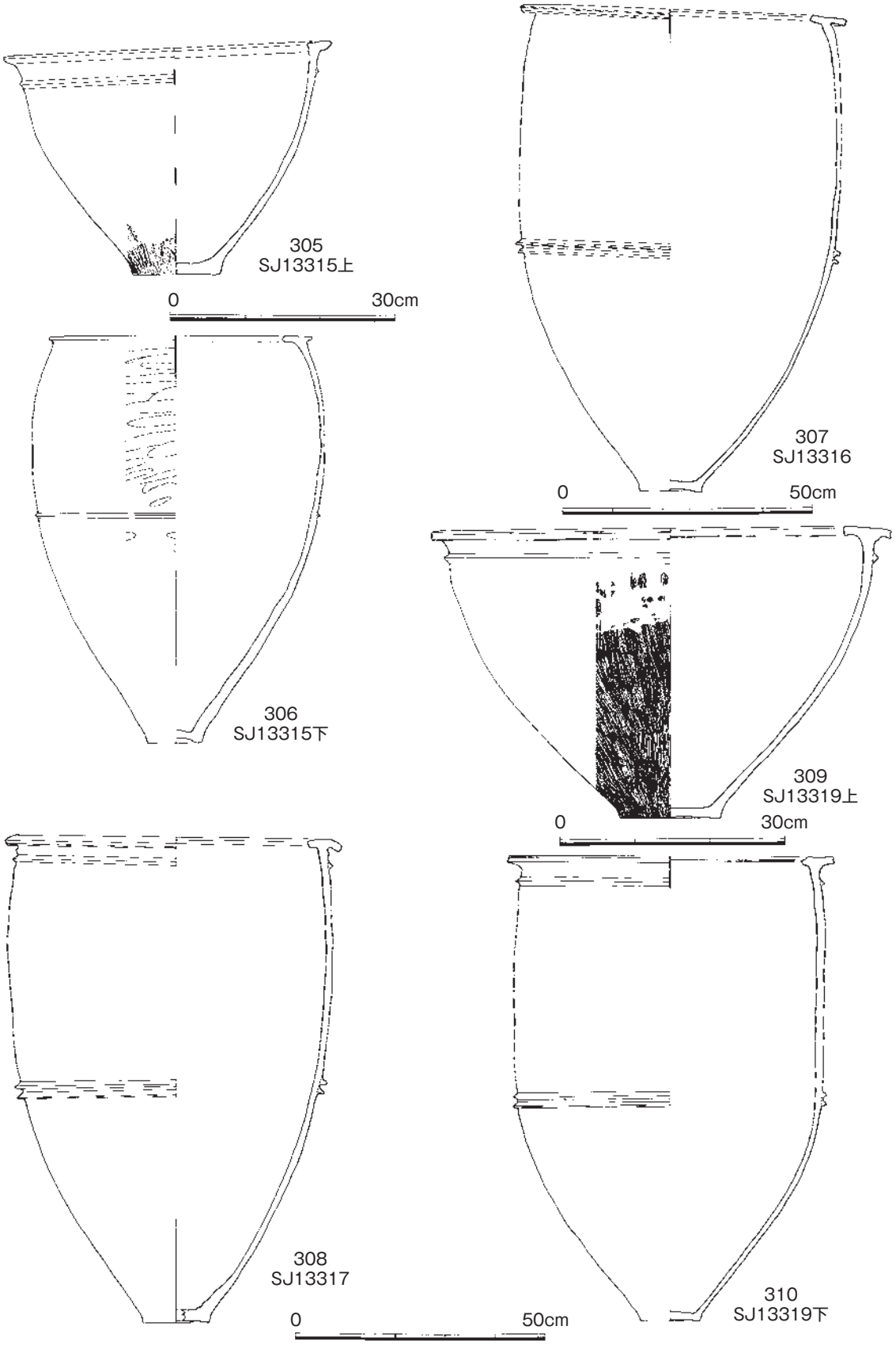


図131　13区出土甕棺40（1/8・1/12）　305、309は1/8、他は1/12

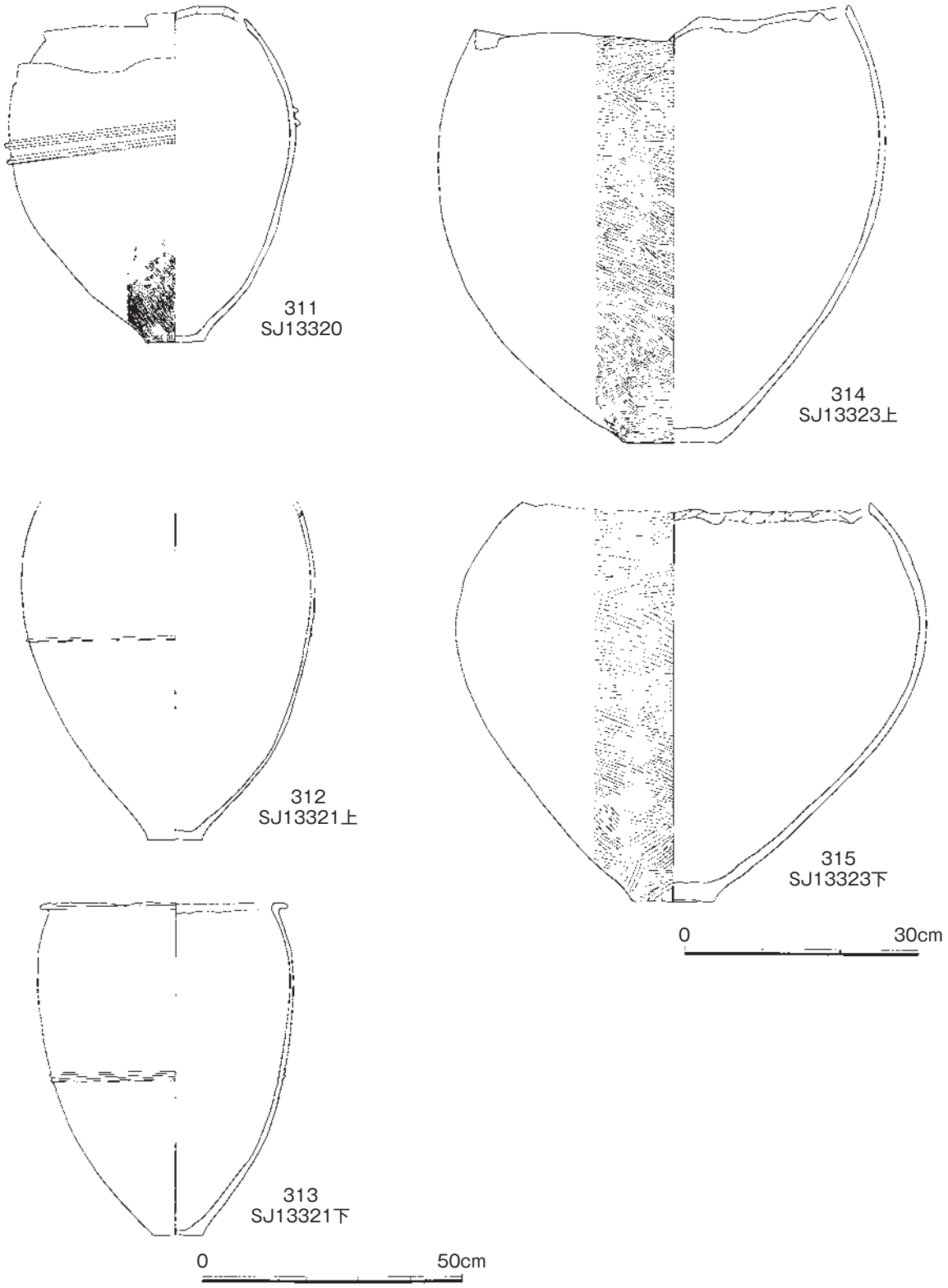


図132　13区出土甕棺41（1/8・1/12）　　314、315は1/8、他は1/12

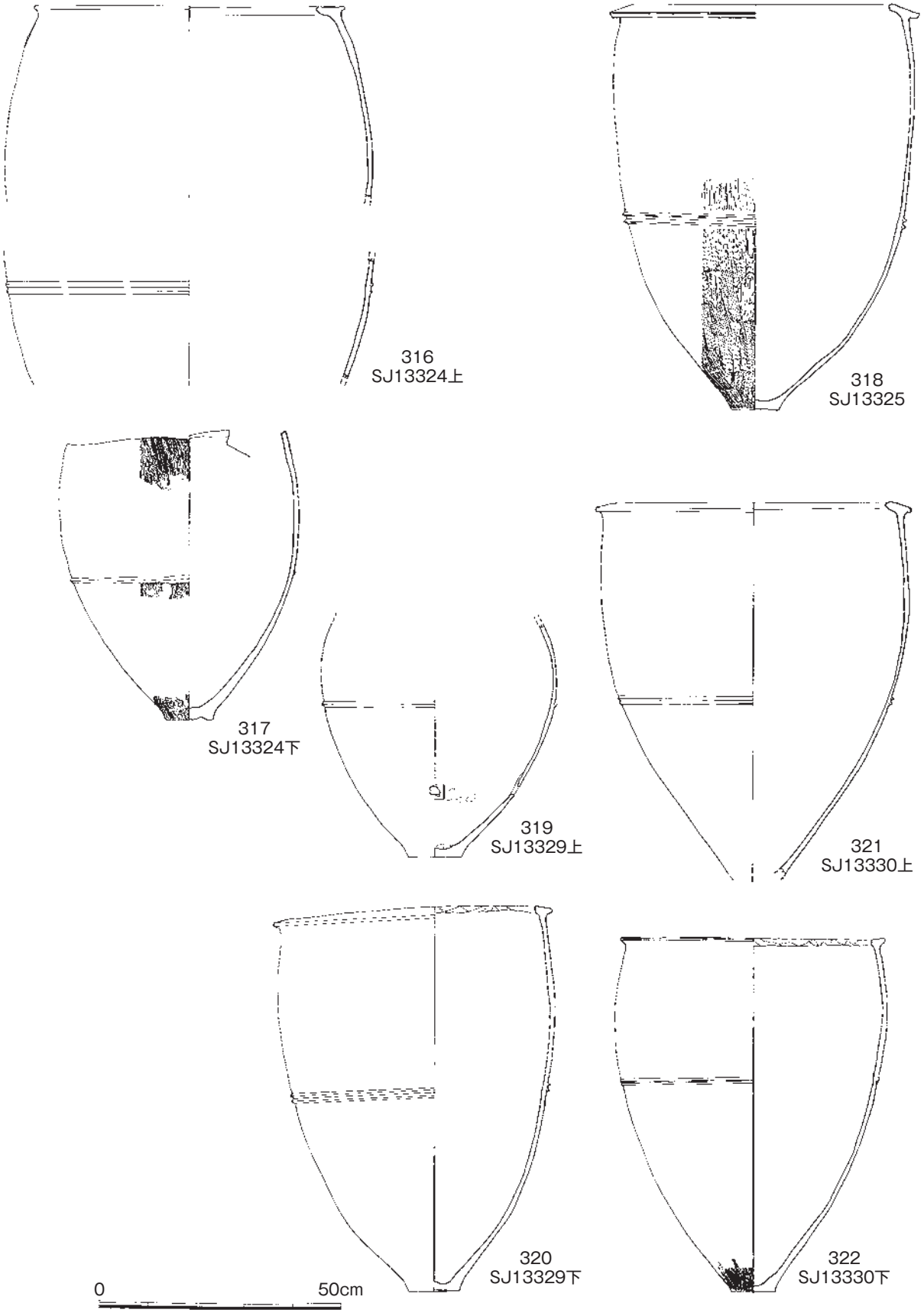


図133　13区出土甕棺42（1/12）

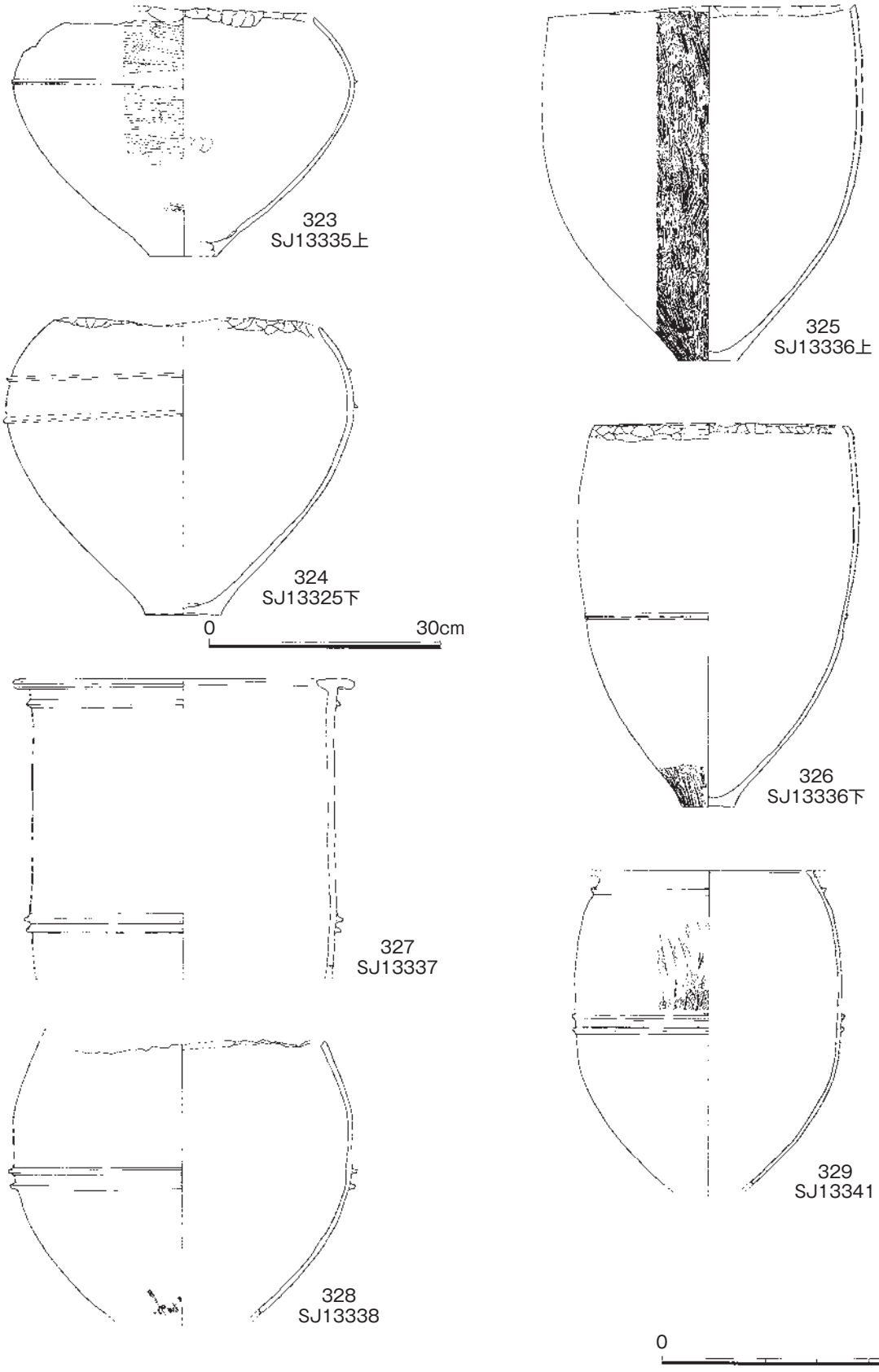


図134　13区出土甕棺43（1/8・1/12）　323、324は1/8、他は1/12

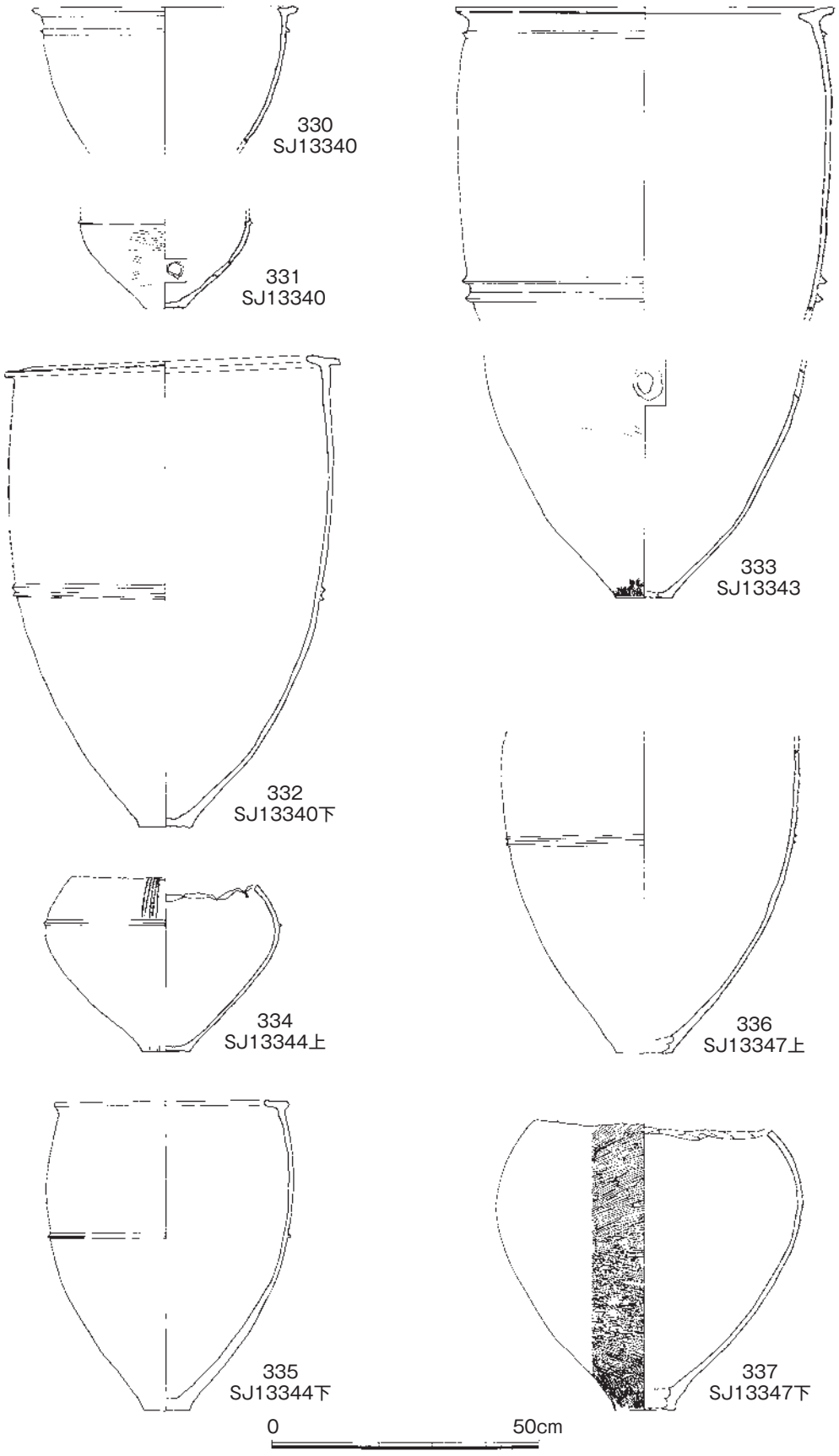


図135　13区出土甕棺44（1/12）

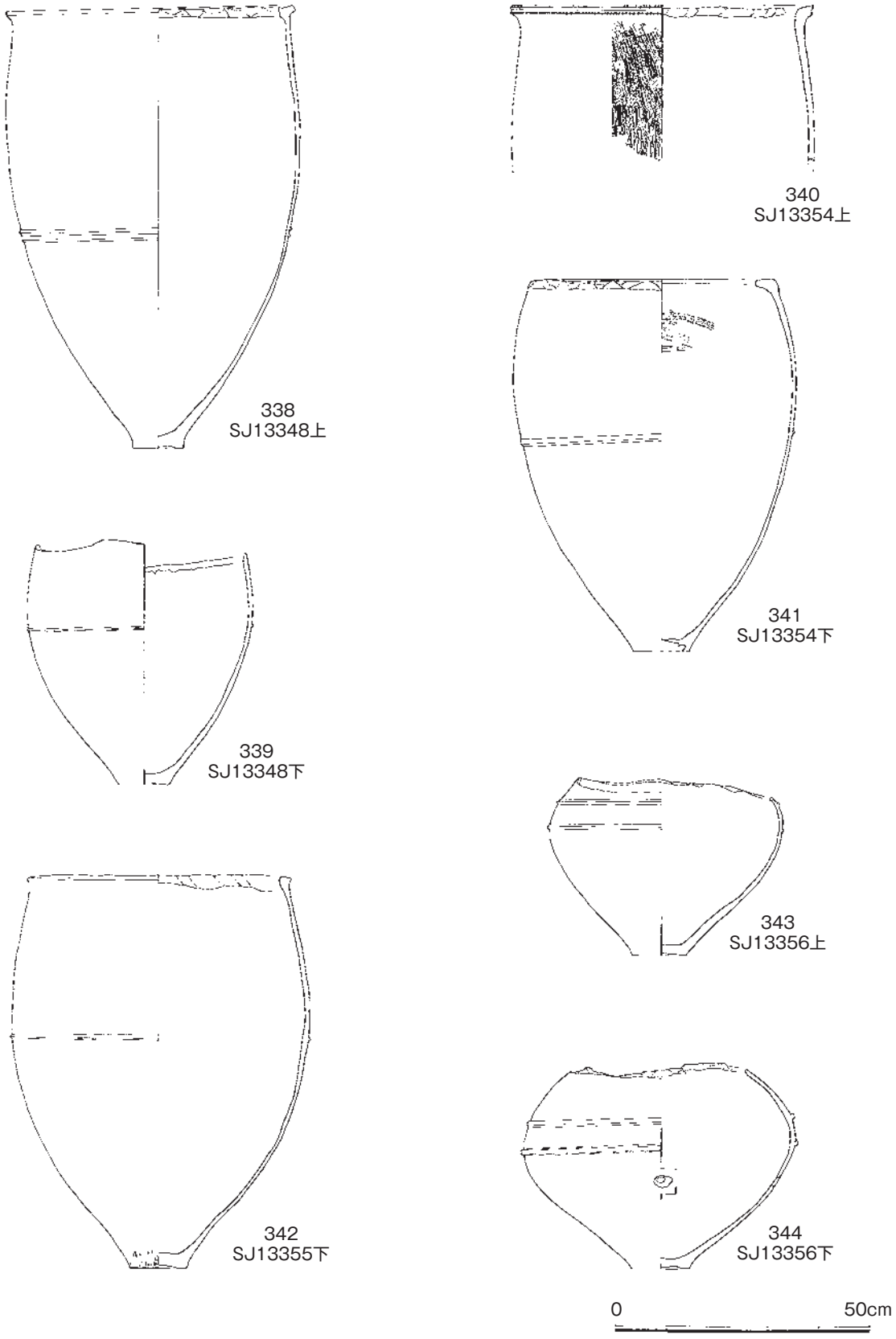


図136　13区出土甕棺45（1/12）

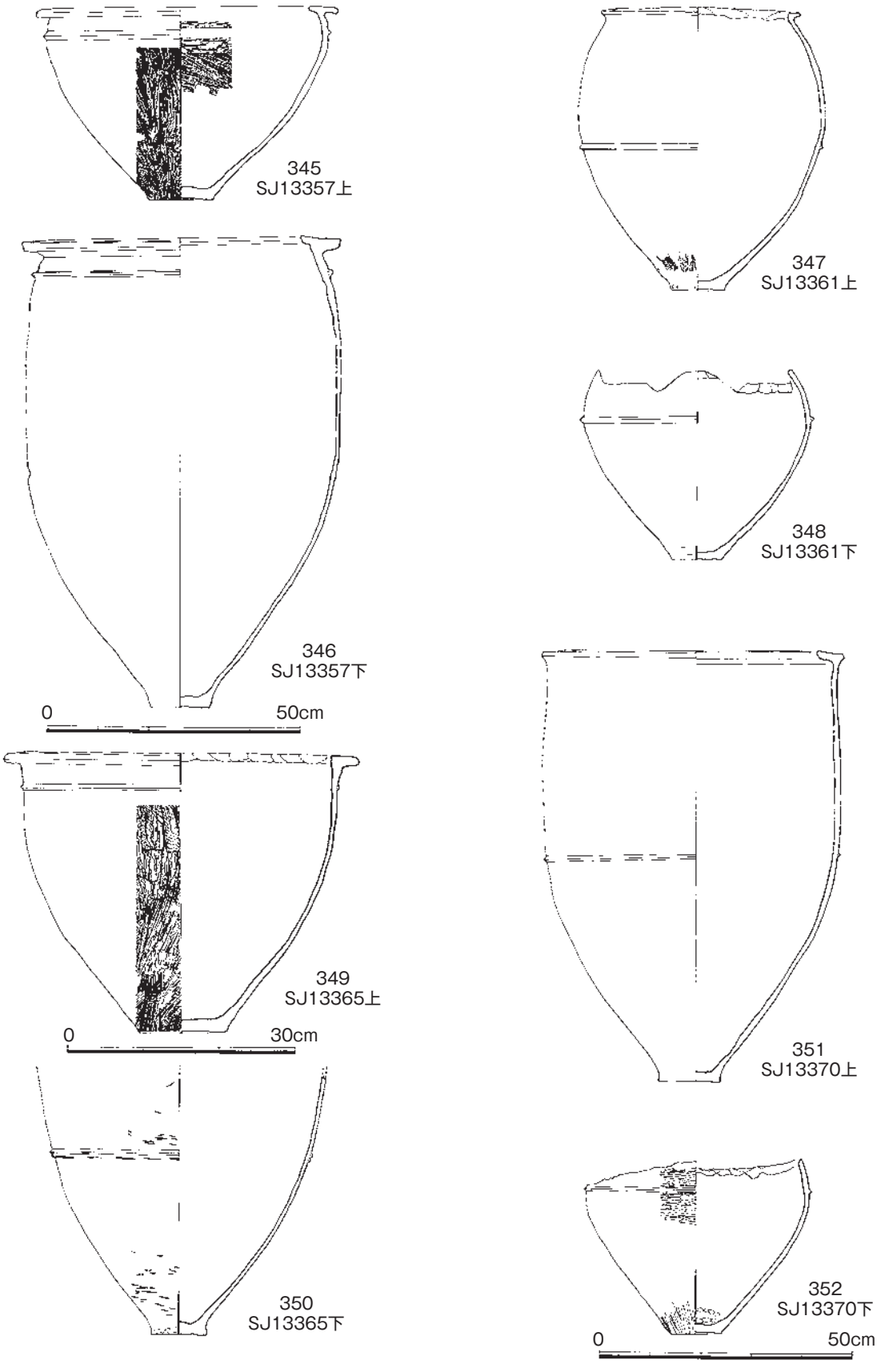


図137　13区出土甕棺46（1/8・1/12）　　349は1/8、他は1/12

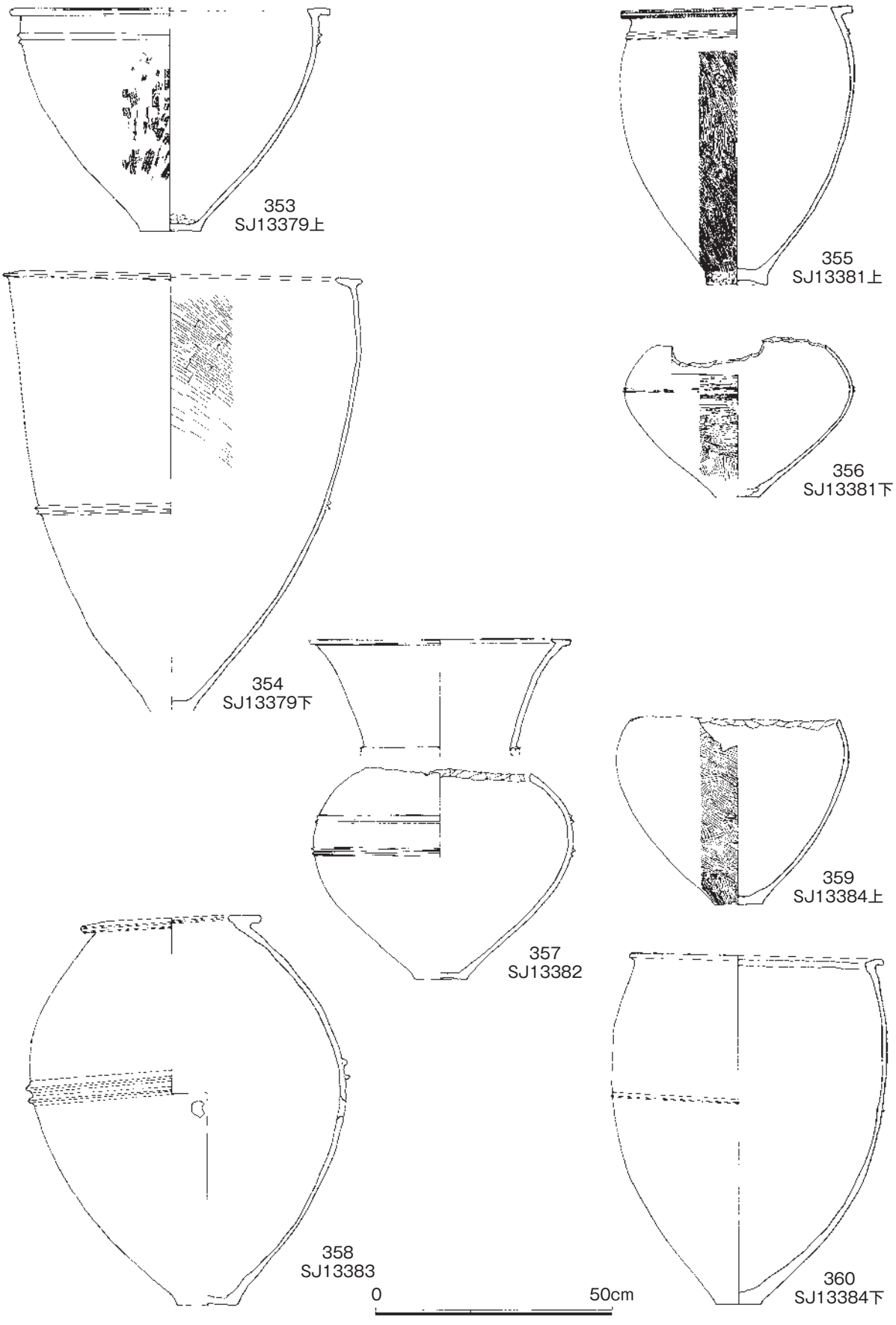


図138　13区出土甕棺47（1/12）

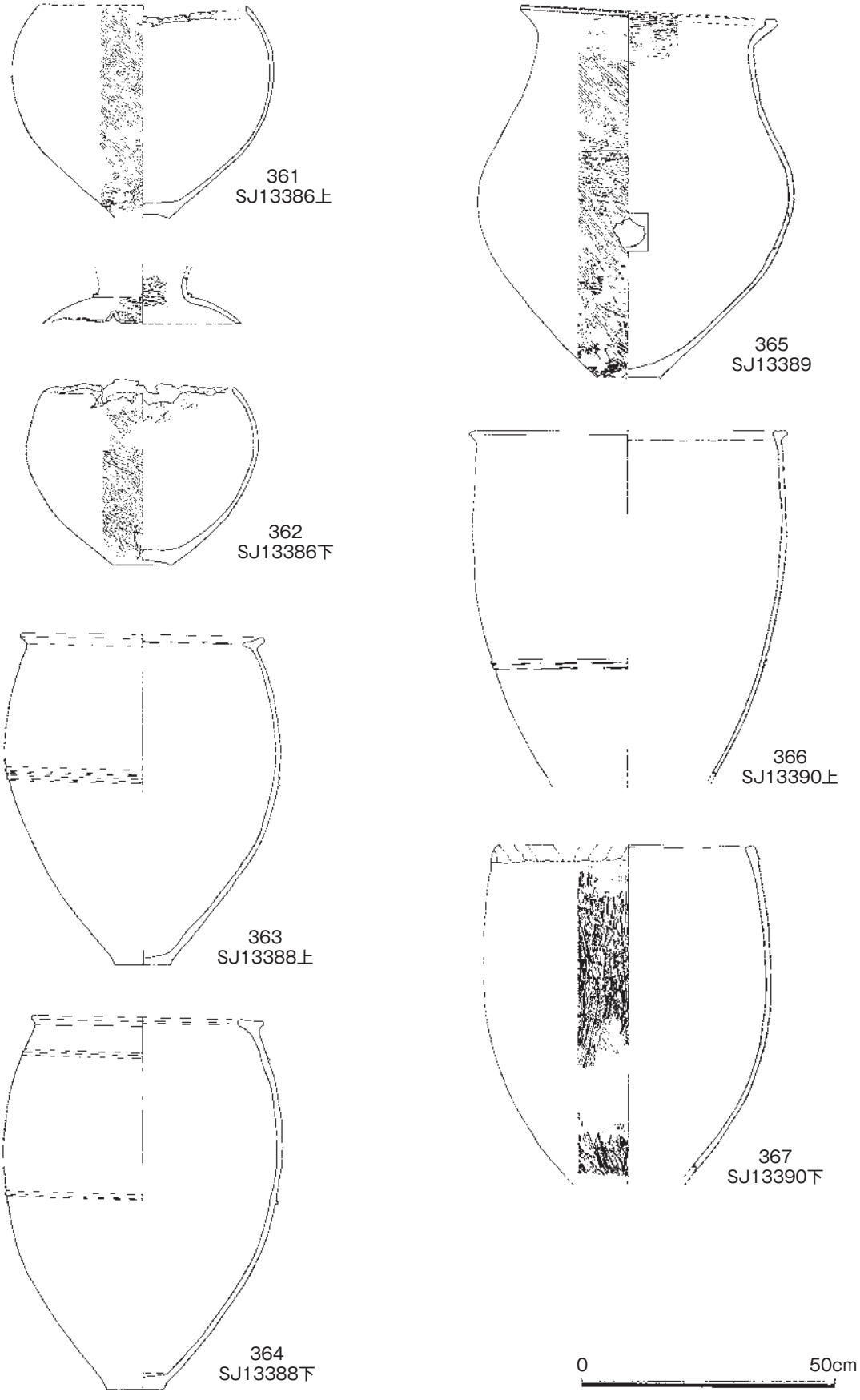


図139　13区出土甕棺48（1/12）

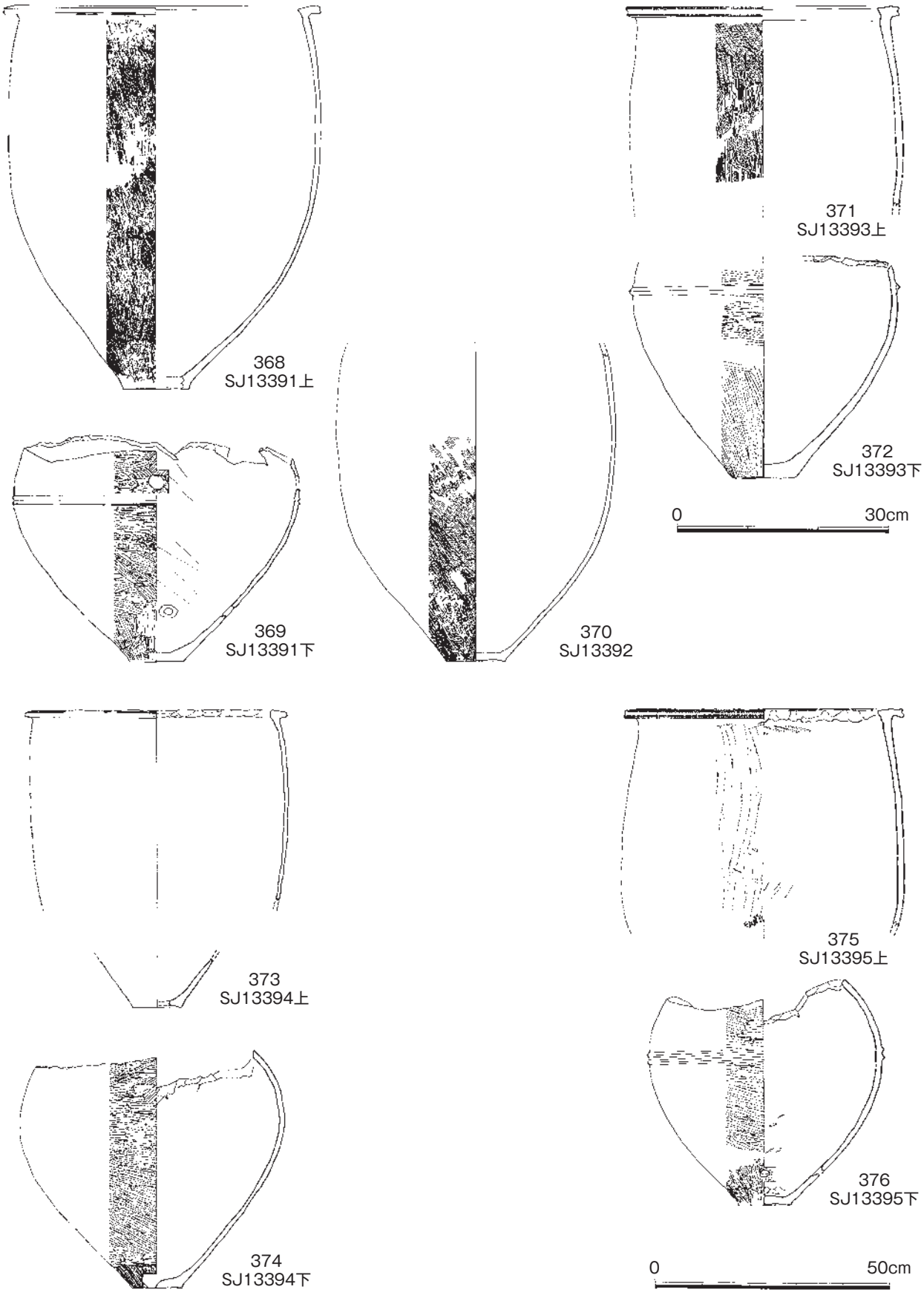


図140　13区出土甕棺49（1/8・1/12）　372は1/8、他は1/12

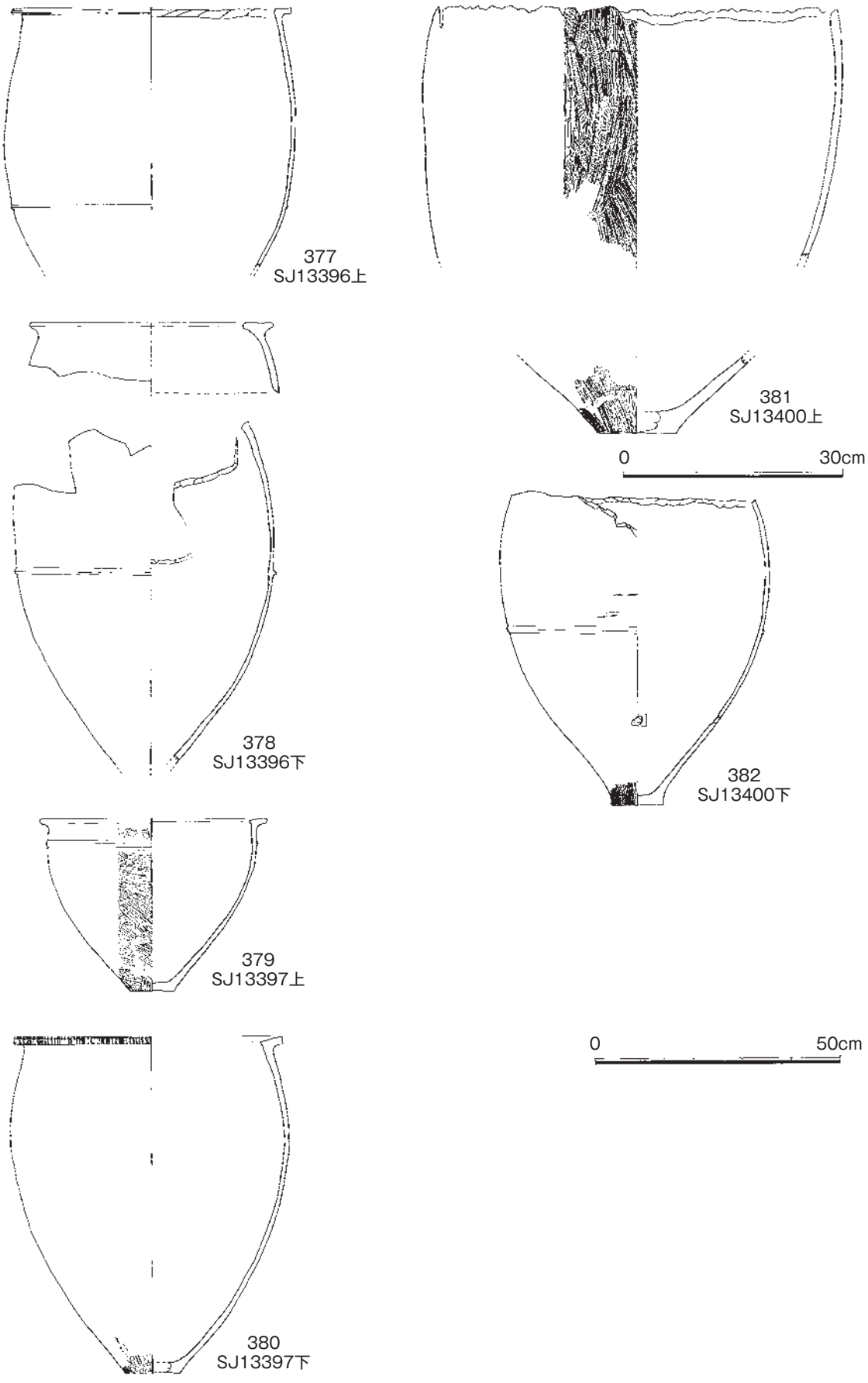


図141　13区出土甕棺50（1/8・1/12）　　381は1/8、他は1/12

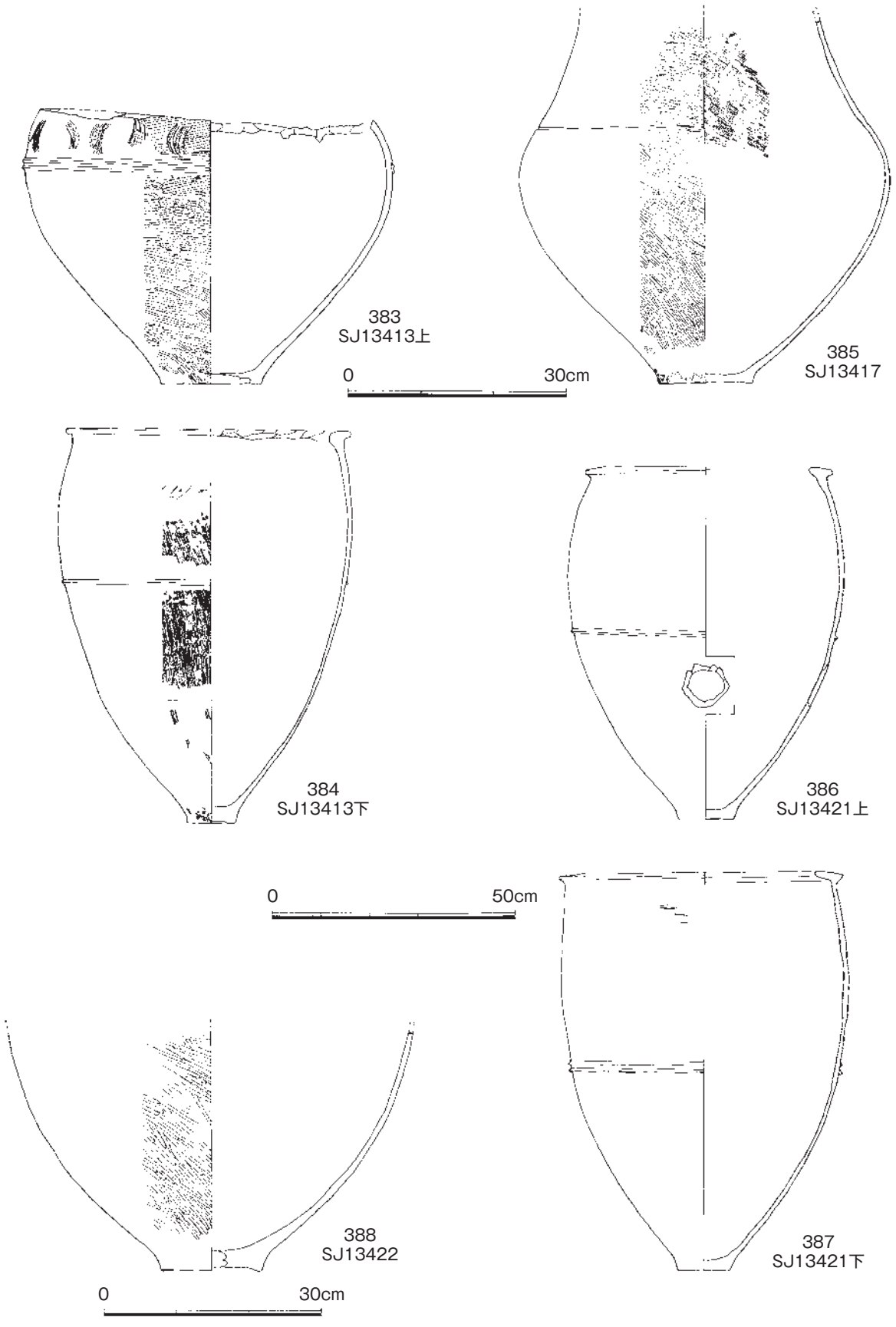


図142　13区出土甕棺51（1/8・1/12）

383、385、388は1/8
他は1/12

3，遺物

⑴ 甕棺

11区で検出した甕棺は39基、13区の甕棺墓は242基で、計281基の甕棺墓を調査した。この中には攪乱や削平を受けて胴部片のみのものや調査および整理時の混乱により照合ができなくなった土器があり、調査したすべての棺を図化できなかった。11区で55点、13区で388点の甕棺を図示している。表16～37に図化した甕棺の観察表を掲載する。

棺として使用の際、口縁部や頸部、上半部を打ち欠いている土器が多くみられた。この傾向は広口壺に顕著で広口壺の大半は口頸部を打ち欠く。甕も口頸部や口縁部内外を打ち欠くものが多い。このことが、甕棺の型式分類や時期決定するにあたり難点になっている。

甕棺として使用された土器は、甕、鉢、壺の３器種である。これらの器種・型式分類についてはⅤ章で述べる。ここで述べた器種・型式分類は唐津地域の甕棺を資料対象にしたため、本遺跡では見当たらない型式もある。大型甕ではＡⅡ2、ＡⅢ1、ＡⅢ2、Ｂ、ＣⅠ1、ＣⅠ2、ＦⅡ、ＦⅢ1がみられなかった。ただし、SJ13186上、SJ13225上、SJ13305上は口縁部を欠失しているため確実ではないものの、ＡⅡ2である可能性がある。いずれにせよ、Ⅰ期（前期）からⅢ期（後期）の甕棺があるが、特に注目されるのが、大型甕Ｂが見られないことである。大型甕Ｂはいわゆる金海式甕棺であり、本遺跡では全く出土していない。さらに、大型甕ＣⅠ1、ＣⅠ2も見られない。大型甕ＣⅠ1、ＣⅠ2はいわゆる城之越式甕棺と呼ばれているものであり、これらのことから、本遺跡ではⅡ-1期（中期初頭）に甕棺墓の形成が一時的に衰退、あるいは断絶したことが考えられる。

唐津地域の甕棺は早良平野や福岡平野などの玄界灘沿岸地域と同じ型式変化をたどると考えていいが、唐津地域では壺棺を多く用いるという特色がある。また、壺ＣⅡは器高60㎝をこえるような大型の壺であり、埋葬専用の壺棺である。壺CⅡのような大型壺は他地域に類例がみえず、唐津地域の甕棺の特徴である。

大型甕棺の法量が他地域のそれに比べて小さく、法量差が大きいことも特徴的である。図143は中原遺跡と鳥栖市柚比梅坂遺跡墓域A群、B群の大型甕Dの法量分布図である。分布図をみると中原遺跡の甕棺は柚比梅坂遺跡のそれに比べて小さいことは一目瞭然である。中原遺跡の甕棺は器高70㎝～90㎝前半台、口径40㎝後半台～60㎝台であるのに対して柚比梅坂遺跡の甕棺は器高80㎝～90㎝前半台、口径60㎝～70㎝前半台である。柚比梅坂遺跡の甕棺は法量差が小さく、法量の規格性が高いことが判る。それに対して中原遺跡の甕棺は器高、口径ともに法量差が大きい。同じ柚比遺跡群に立地する鳥栖市大久保遺跡では甕棺焼成遺構が確認されており、甕棺を焼成していたことは明らかである。このことが法量の規格性を導き出した可能性は高い。

いずれにしても、中原遺跡と柚比梅坂遺跡の大型甕Dの形態的な型式差は認められず、法量差による違いが明瞭に認められる。このことは唐津地域の甕棺の特徴でもあろう。

絵画のある甕棺

SJ13299は口頸部を打ち欠いた広口壺単棺である。肩部外面に鹿と綾杉文が線刻で表現されていた。図144に掲載する。甕棺焼成後の線刻であり、右向きの鹿１頭とその右側３㎝に綾杉文を表現する。鹿の胴部は湾曲する一条の線刻で、前後の足を二本ずつのばし、さらに二本の角も表現する。綾杉文は長さ９㎝の縦線の両側に下向きの枝状の線刻を施し綾杉文とする。さらにその右側にも長さ７㎝の縦線を描き、左側に垂直気味の線を12本描く。

甕棺に描かれた鹿の絵画の類似例に唐津市天神ノ元遺跡20号甕棺、福岡市吉武高木遺跡112号甕棺、小

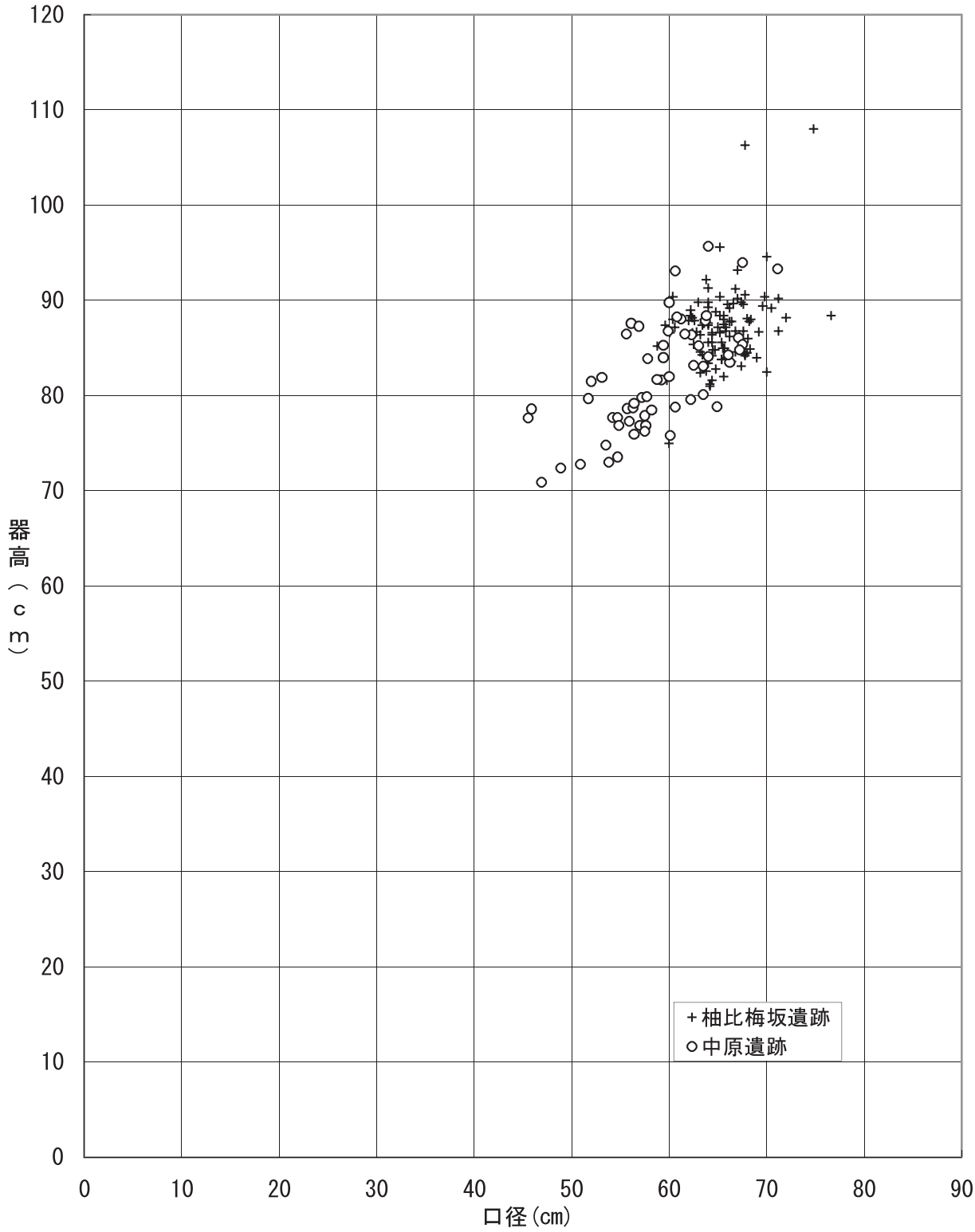


図143　大型甕Dの法量分布図

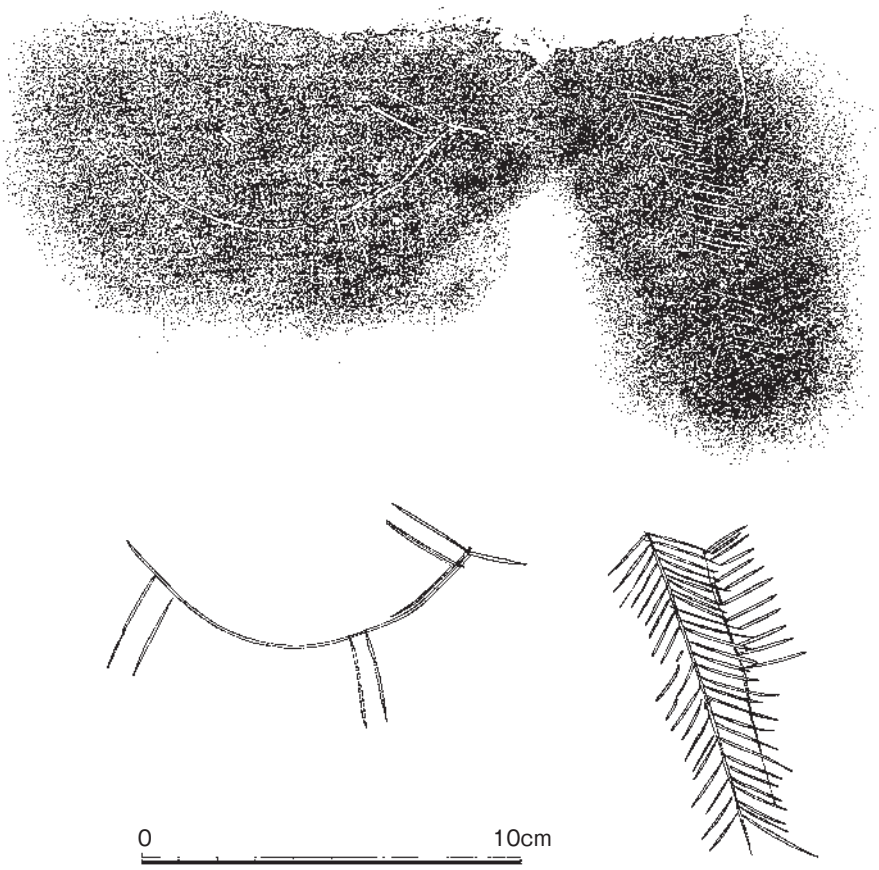


図144　SJ13299甕棺絵画（1/2）

郡市三沢ハサコ宮遺跡22号甕棺などがあり、いずれも胴部は一条の線刻で表現される。

参考文献　常松幹雄1997「弥生時代の甕棺に描かれた絵画と記号」福岡市博物館紀要７号
常松幹雄2006『最古の王墓　吉武高木遺跡』新泉社

⑵　副葬品

①金属器

１は細形銅矛である。SJ11247出土。全長24.3cm、刃部長14.0cm、関部幅3.7cm、刃身最大厚1.3cm。色調は濃緑色で銅質は普通である。片側の鋒部と関部付近の腐食化が進む。脊部と刃部に縦斜め方向の研ぎ痕がみられる。関部、袋部の縁辺に鋳バリが残る。袋中空部の長さは13.0cm。耳部端部は粗い研ぎにより面取りされる。一条節帯で幅4.5㎜である。節帯を貫く孔が見られるが湯回り不良による鋳造欠陥と思われる。樋先端から鋒先までの長さが2.85cmと他の細形銅矛より短いのは､研ぎ減りによりものか。

２は青銅製鋒先である。SJ13259出土。残存長1.5cm。鎬は明瞭に入り、刃部は欠損する。錆化が進み遺存状態はよくない。

３､４は鉄製鉇（ヤリガンナ）である。3はSJ11275出土。身基部を欠損する。身幅は1.5cmと細長い。鎬は不明瞭で、基部にかけて若干幅が狭くなる。全体に裏すきあり。裏面の両端部はわずかに面取りする。

４はSJ13009出土。完形。全長6.2cm、身幅1.7cmと幅広で短い。鎬はやや明瞭で、全体に裏すきあり。刃部はやや反る。裏面には柄と考えられる木質が遺存する。

５は板状鉄斧である。SJ11294出土。身は短冊で刃部にかけてバチ状にやや開く。全長17.6cm、両刃。片面の刃部近くに繊維痕跡が残る。片面の刃部近くには大きい錆ぶくれが遺存する。X線撮影では鉄製

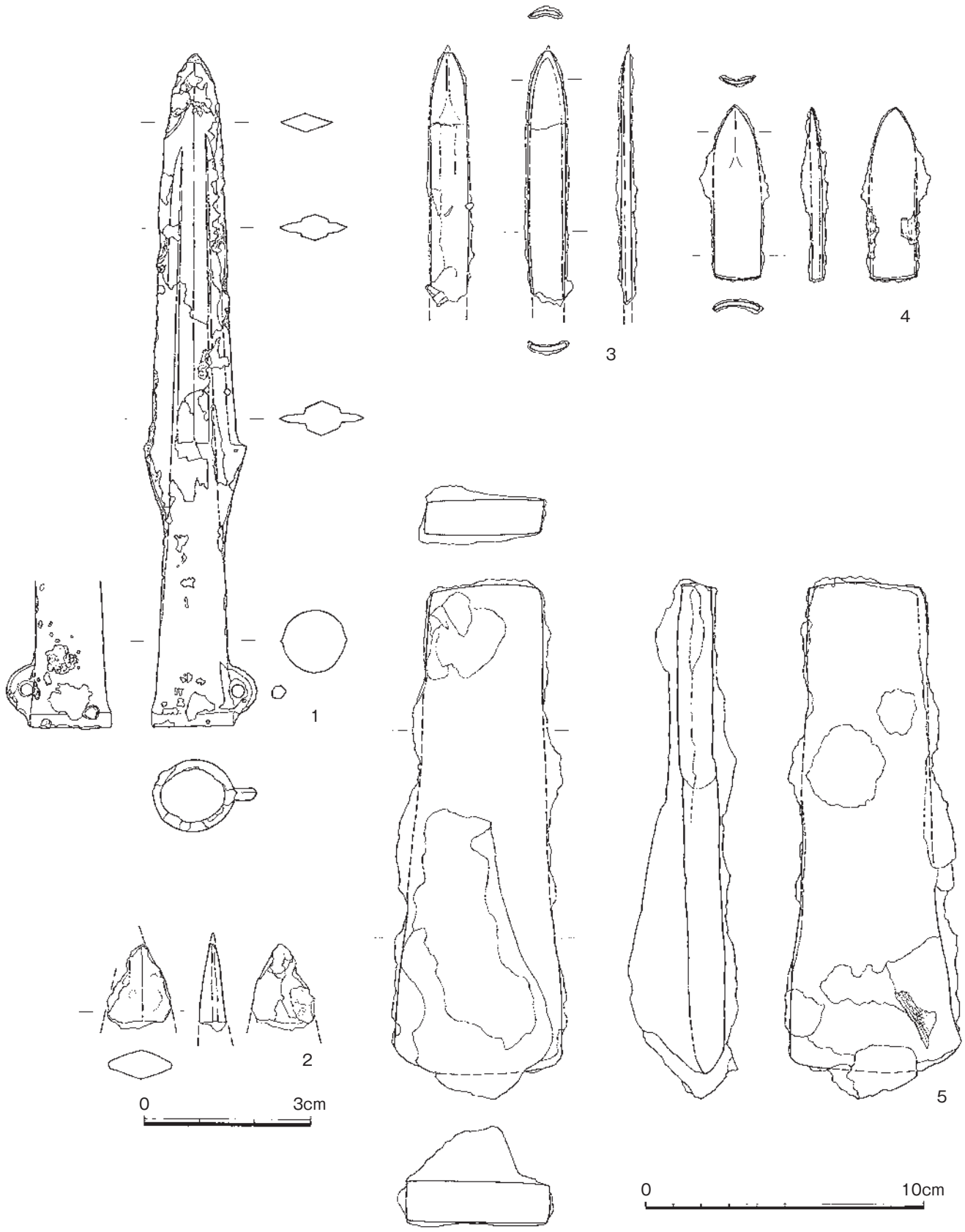


図145　甕棺出土金属器（1/1・1/2）　　2は1/1、他は1/2

図146　甕棺出土鉄矛（1/2）

品ではないとの所見が得られている。

６は鉄矛である。SJ13011出土。全長42.7cm、刃部長21.5cm、刃身幅2.5～3.1cm、刃身厚４㎜である。鎬は不明瞭で、関部はなで肩である。袋部基部（茎部）は断面長方形である。袋部長は10.5cmで、合わせ目は8.3cmである。目釘孔が２箇所ある。繊維の痕跡が部分的ではあるが袋部から刃部にわたってみられ、布巻きで副葬されている。

なお、本遺跡では日仏合同調査７号甕棺棺外から鉄矛が出土している。

円環型銅釧

第147図１～12は円環型銅釧でSJ13134から出土した。円環型銅釧の説明に用いる部位名称は、断面見通し図で示した着装時に腕へ接する面を内面、側面図に示した面を外面、俯瞰図で見えている面を上面、俯瞰図としては図示していない面を下面とする。

１は長径6.8cm、短径6.3cm、厚さ0.3～0.38cm、高さ0.32～0.4cm、重量7.1ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は台形二つを下底で接するよう積み重ねた六辺形に近く、丁寧な研磨により内外面中央の角は丸く落とされている。上下面は平坦に仕上げられている。上半分と下半分との厚さが異なる箇所があり、断面形は一様でなく、平行四辺形に近い部分もある。色調は濃緑色～淡灰緑色を呈する。腐食の進行により表面が剥離している部分もあるものの、完形である。

２は長径6.7cm、短径6.4cm、厚さ0.32～0.45cm、高さ0.4～0.48cm、重量7.3ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近いものの、内面の上半分に凹みをもつ箇所が多く、断面形は整っていない。外面は丸く、上下面は平坦に仕上げられている。凹みがあるため上半分は下半分に比べ厚さが薄い。直径は上下で異なり、上半分が大きい。色調は濃緑色～褐色を呈する。破損面は緑白色を呈する。完形。

３は長径6.6cm、短径6.5cm、厚さ0.28～0.35cm、高さ0.35～0.4cm、重量4.3ｇ。環形は円形を呈する。断面形は五辺形に近く、外面は緩い稜をもつ箇所や丸く仕上げられた箇所がある。内面は平坦に仕上げられるものの、やや膨らむ箇所もある。上下面は平坦に仕上げられるものの、下面は平坦面の幅が狭い箇所が多い。色調は濃緑色～オリーブ色を呈する。破面は緑白色～淡青色を呈する。３片に分かれているものの、それぞれを接合することができ、完形となる。

４は長径6.7cm、短径6.3cm、厚さ0.28～0.35cm、高さ0.3～0.4cm、重量6.1ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は五辺形に近い。丁寧な研磨が施されている。上下面は平坦に仕上げられるが、平坦面の幅は上面で一部狭く、下面では数箇所が狭くなり丸みを帯びている部分もある。色調は濃緑色～暗褐色を呈する。完形。

５は長径6.7cm、短径6.3cm、厚さ0.32～0.42cm、高さ0.4～0.5cm、重量12.3ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近い。内面には凹みの観察できる部分があり、形は整っていないものの、研磨は丁寧で、表面は滑らかに仕上げられている。色調は緑白色～緑味がかった暗灰黄色を呈する。腐食の進行により表面が剥離しかけている箇所があるものの、完形である。

６は長径6.6cm、短径6.4cm、厚さ0.32～0.4cm、高さ0.42～0.45cm、重量10.0ｇ。環形は円形を呈する。断面形は六辺形に近い。上半分は直線的に研磨され、下半分は丸みを帯びるように仕上げられている。直径は上半分が下半分より大きい。色調は濃緑色～淡褐色を呈する。完形。

７は長径6.7cm、短径6.5cm、厚さ0.32～0.45cm、高さ0.42～0.48cm、重量9.5ｇ。環形は円形を呈する。断面形は六辺形に近い。内面の上半分の一部に凹みがある。上下面は平坦に仕上げられているものの、上面は一箇所のみ、平坦面が途切れている。平坦面が途切れた箇所も表面は滑らかである。直径は上半分が大きい。色調は濃緑色～褐色を呈する。腐食の進行により表面が剥離している箇所があるものの完

図147　SJ13134出土銅釧（1/2）

形である。

８は長径6.3cm、短径6.1cm、厚さ0.3～0.4cm、高さ0.4～0.48cm、重量6.9ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近い。上下面は平坦に研磨されているものの、下面はやや丸みを帯びた箇所が多い。上半分の径が大きい。色調は濃緑色～褐色を呈する。完形。

９は長径6.5cm、短径6.2cm、厚さ0.3～0.45cm、高さ0.42～0.48cm、重量8.2ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近いものが主で、五辺形に近い部分や楕円形に近い部分もある。上下面は平坦に研磨されるものの、下面は丸みを帯び、平坦になっていない箇所が多い。色調は濃緑色を呈する。腐食の著しい箇所もあるものの完形である。

10は長径6.25cm、短径6.1cm、厚さ0.3～0.45cm、高さ0.4～0.45cm、重量は12と合わせて16.8ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近い。内面上半分に凹みをもつ箇所がある。色調は濃緑色を呈する。錆に覆われた布らしき付着物がある。12と錆で接着している。完形。

11は長径6.7cm、短径6.5cm、厚さ0.28～0.35cm、高さ0.32～0.4cm、重量6.0ｇ。環形は円形を呈する。断面形は五辺形に近い。内面はやや平坦気味に研磨されている。上下面は平坦に研磨されている。色調は濃緑色を呈する。完形。

12は長径6.3cm、短径6.15cm、厚さ0.28～0.4cm、高さ0.42～0.5cm。環形は楕円形を呈する。断面形は六辺形に近い。上面が図示できないため図示した下面は、丸みを帯び平坦面はほとんどない。色調は濃緑色を呈する。腐食により表面が剥離している箇所もあるが完形である。

１～12の出土状況から着装時の上下関係を復元した図を第148図左に示す。遺体の腐食にともない上腕骨の中では比較的重い肘側の近位端が落ち込み、手首側の遠位端がやや持ち上がった後に１と７の間で骨が割れたため、２群に分かれた出土状況となったのだろう。手首側の銅釧は径が小さいものが用いられている。SJ13134出土銅釧は、いずれも製品の形を掘り込んだ鋳型２枚が合わせて使われる双合笵による鋳造品であり、２・５・７・10には鋳型のずれによる凹みが内面に観察できる。７で観察できる上面平坦面の一部のみが途切れている箇所は、鋳型に青銅を流し込む湯口に面していた可能性がある。湯口であるとするならば､湯口にできる余分なばりを取り除き研磨したため一箇所のみ高さが低くなり、上面研磨時に砥石が当たらなかったものと考えられる。

第148図13～15は円環型銅釧でSJ13112より出土した。13は厚さ0.15～0.18cm、高さ0.13～0.2cm、重量は0.1ｇ以下。断面形は隅丸方形～隅丸長方形である。内外面はやや丸みを帯びた仕上がりで、上下面は平坦に研磨されている。色調は濃緑色～淡緑白色を呈する。９片からなり、それぞれに接合関係はないため、環形を復元することができない。

14は長径6.7cm、復元短径6.1cm、厚さ0.2～0.28cm、高さ0.2～0.25cm、重量3.5ｇ。環形は楕円形を呈する。断面形は隅丸方形～隅丸長方形である。外面は丸みがあるものの平坦気味に仕上げられ、内面は丸みを帯びた仕上がりになっている。上下面は平坦に研磨されている。色調は緑色を呈する。錆により接着している別個体は厚さ0.22cm、高さ0.18cmで15の破片の可能性がある。5/6が残存する。

15は長径6.5cm、復元短径5.85cm、厚さ0.18～0.2cm、高さ0.16～0.2cm、重量1.8ｇ。環形は楕円形に復元できる。断面形は隅丸方形～隅丸長方形である。内外面は丸みを帯びた仕上がりで、上下面はほぼ平坦に研磨されている。色調は濃緑色で、破損面では銅色を呈する。2/3が残存する。

SJ13112出土銅釧13～15のいずれにも鋳型のずれはなく、外面、内面とも中央に鋳型の合わせ目もないため、製品の形を彫り込んだ鋳型１枚を単独に用いる単笵、もしくは製品の形を彫り込んだ鋳型１枚と彫り込みのない鋳型１枚を合わせ一組として用いる単合笵による鋳造品である。

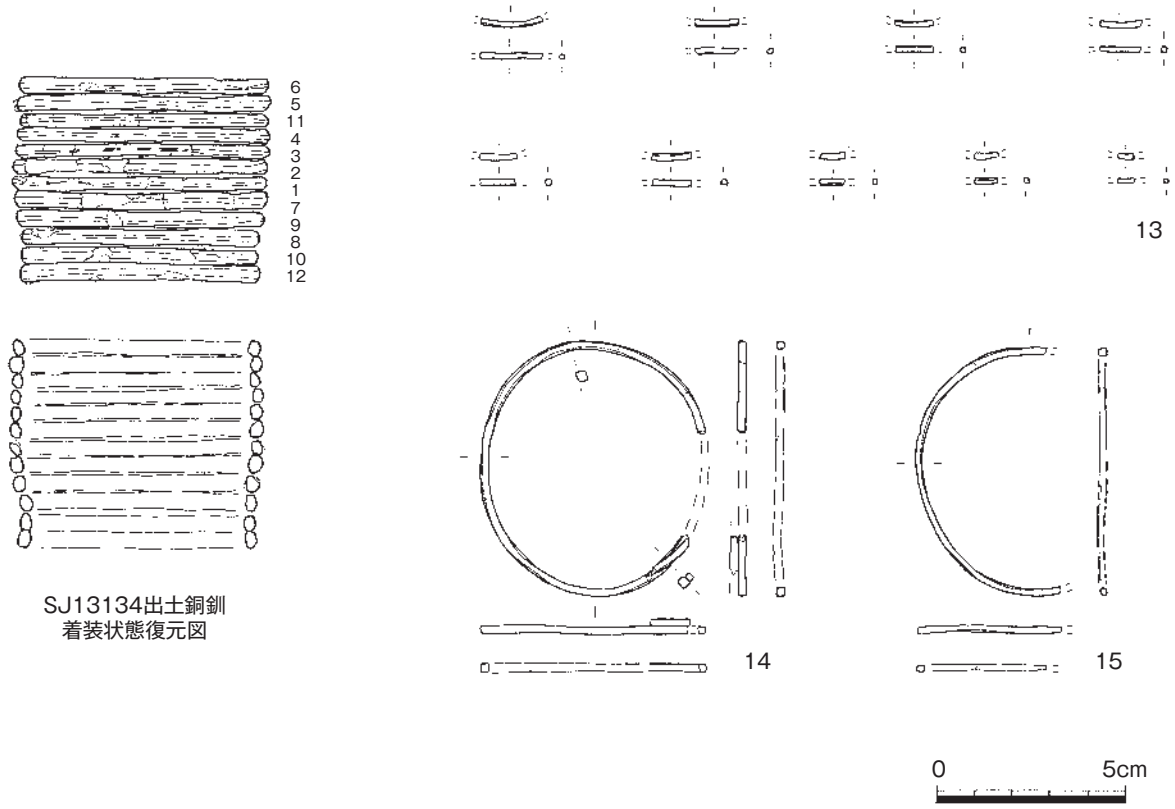


図148　SJ13134出土銅釧着装状態復元図（左）、SJ13112出土銅釧（右）(1/2)

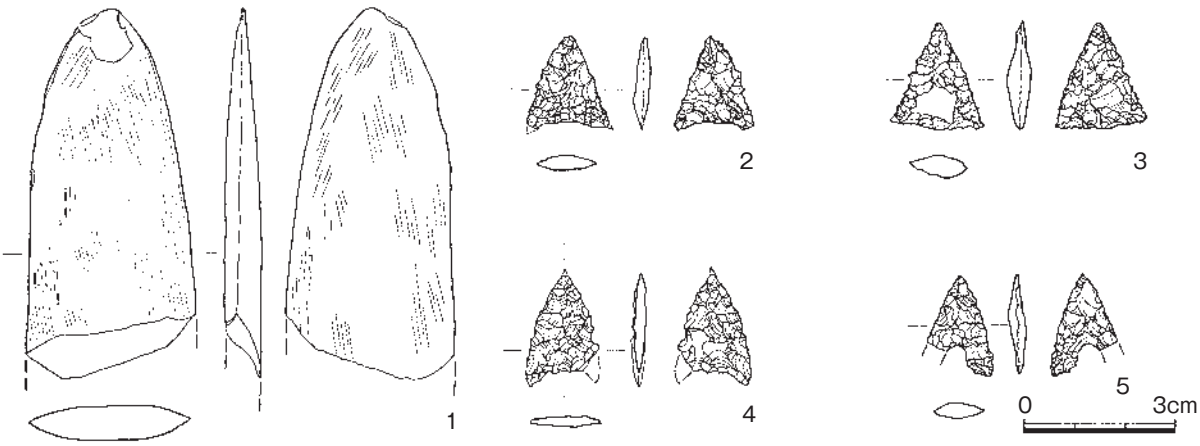


図149　甕棺出土石器（2/3）

②石器

棺内および墓壙内から石器が出土した。１は石剣切先、SJ13297棺内出土。両面とも研磨され鏑はない。２～４は黒曜石製の打製石鏃である。２はSJ13093墓壙内出土である。凹基式で抉りは浅い。３はSJ13096墓壙内出土である。三角形で片面に自然面を残す。４はSJ13133棺内出土。凹基式で抉りは浅い、片側基部欠損。５はSJ13133墓壙内出土である。凹基式で抉りは深い、片側基部欠損。

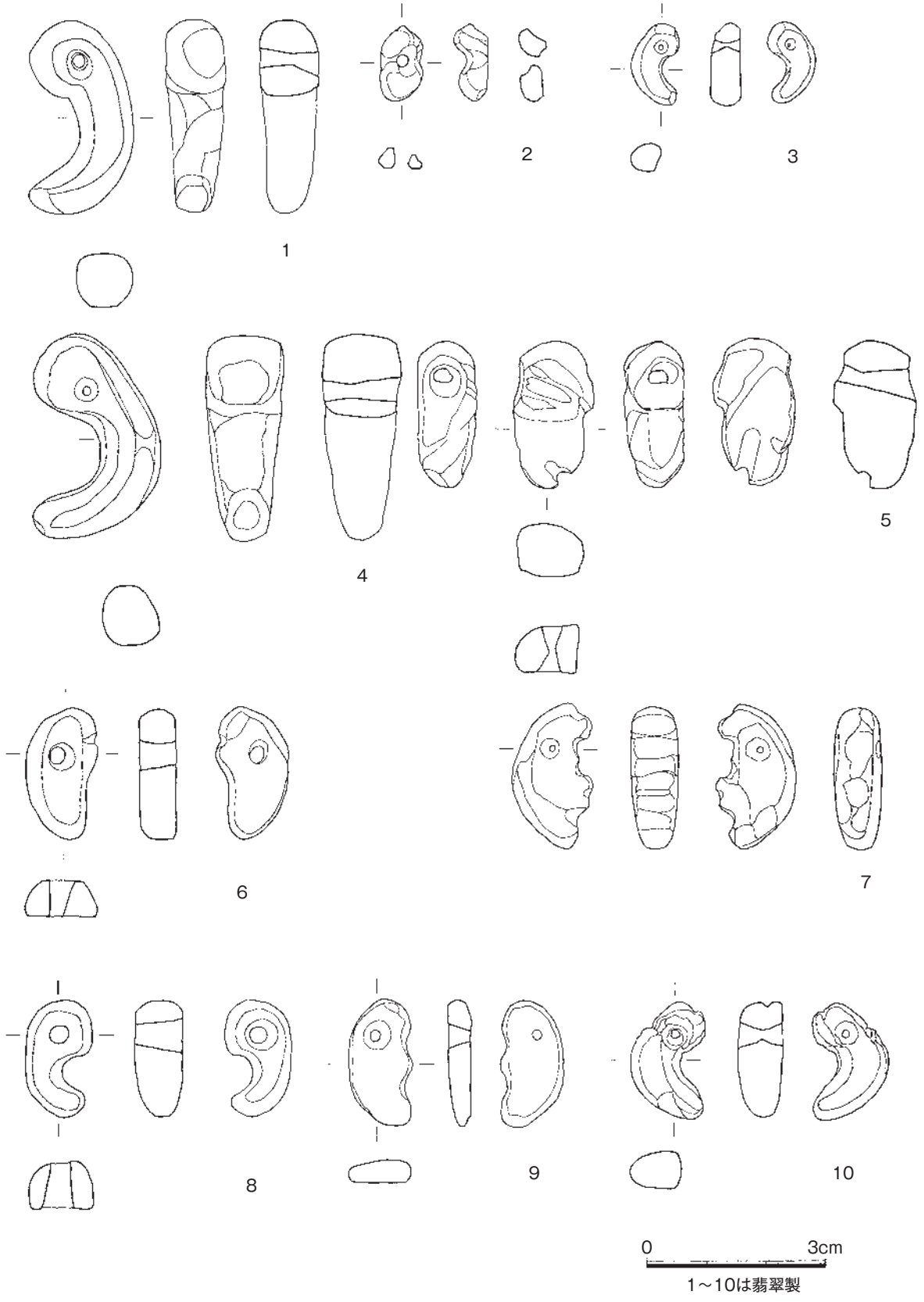


図150　11区・13区甕棺出土玉類１（1/1）

③玉類

甕棺の副葬品の中でも最も多いのが玉類である。材質では石製玉類とガラス製玉類がある。石製玉類は石材が碧玉製、硬玉製（翡翠製）、瑪瑙製他と多様で、種別では管玉が最も多く、他に勾玉、丸玉、小玉などが見られる。

11区・13区の甕棺出土の玉類の一覧表を表44～54に掲載する。玉類すべてに個体番号を付けて法量の計測を行った。全長と直径をノギスを使用して1/20㎜まで計測した。また、碧玉製管玉と硬玉製玉類の一部は蛍光Ｘ線分析法と電子スピン共鳴法を併用した産地分析を藁科哲男氏に依頼した。また、碧玉製管玉については大賀克彦氏から肉眼観察による産地鑑定や穿孔方法について御教示願った。

この一覧表では碧玉製管玉は11区で92点、13区で561点の計653点を掲載するが、所在不明になった碧玉製管玉も数点ある。硬玉製勾玉は10点、硬玉製管玉は３点が出土している。碧玉製管玉や硬玉製玉類の出土量の多さは目を見張るものがある。

硬玉製・瑪瑙製ほかの玉類

硬玉製勾玉や管玉や瑪瑙製管玉など碧玉製管玉以外の石製玉類やガラス製玉類の実測図を図150、151に掲載する。法量等は一覧表に掲載する。以下、観察所見を記す。これらの一部はすでに田平（2008）により紹介されている。

１はSJ11235出土。定形勾玉。翡翠製。透明感のある明緑色で白色が混じる。頭部は丸く仕上げ、腹部との境がくびれ尾部は細くなる。整形、研磨とも良好である。両面穿孔。

２はSJ11239出土。宇木汲田遺跡24号甕棺出土の獣形勾玉に類似した勾玉の背部の一部を垂飾りとした再加工品である。翡翠製。透明な濃緑色である。裏面に紐孔の痕跡が溝状に残る。裏面、両小口面は研磨で面取りされる。

３はSJ11249出土。極小形の勾玉。翡翠製。透明感のある明緑色である。頭部から尾部まで一定の厚さを保ち扁平である。両面穿孔。

４はSJ11290出土。大形の勾玉。翡翠製。透明感のある明緑色である。頭部は方柱状に肥厚し、尾部は急に曲がり細くなる。胴部断面円形。整形、研磨とも良好。両面穿孔。

５はSJ13082出土。不整形で扁平気味な異形勾玉。翡翠製。不透明な緑色で白い節理が不定方向に入る。この石の目に沿って不規則な筋彫装飾を全面に施す。紐孔は両側穿孔。

６はSJ13206出土。扁平板状の勾玉である。翡翠製。透明な明緑色で、両面は極めて平滑に仕上げる。頭部に一条の刻みを施す。片面穿孔。

７はSJ13232出土。異形櫛形勾玉。翡翠製。透明感のある濃緑色で白色が斑に混入する。櫛状部に条溝を施す。両面は平滑に仕上げる。両面穿孔。

８はSJ13294出土。小形の勾玉。翡翠製。透明感のある明緑色で若干、白色味がかる。頭部が大きく尾部が極端にやせる。紐孔の口径が大きい。片面穿孔。

９はSJ13312出土。腹部中位がやや突出する変形櫛形勾玉。翡翠製。透明感のある緑色で若干白色が混じる。厚さ４㎜の扁平板状である。片面穿孔。

10はSJ13317出土。体部がくの字状に曲がる勾玉。翡翠製。透明感のある明緑色である。頭頂部にT字形と頭背部にそれぞれ条溝を施す。

11はSJ11249出土。翡翠製の管玉。透明感のある濃緑色で部分的に白色が混じる。胴部中央が若干膨らみエンタシス状である。断面形は楕円形気味である。穿孔は両面か？判断に迷う。

12はSJ11281出土。瑪瑙製の管玉。茶色味がかった赤橙色である。片面の小口面を一部欠損する。両

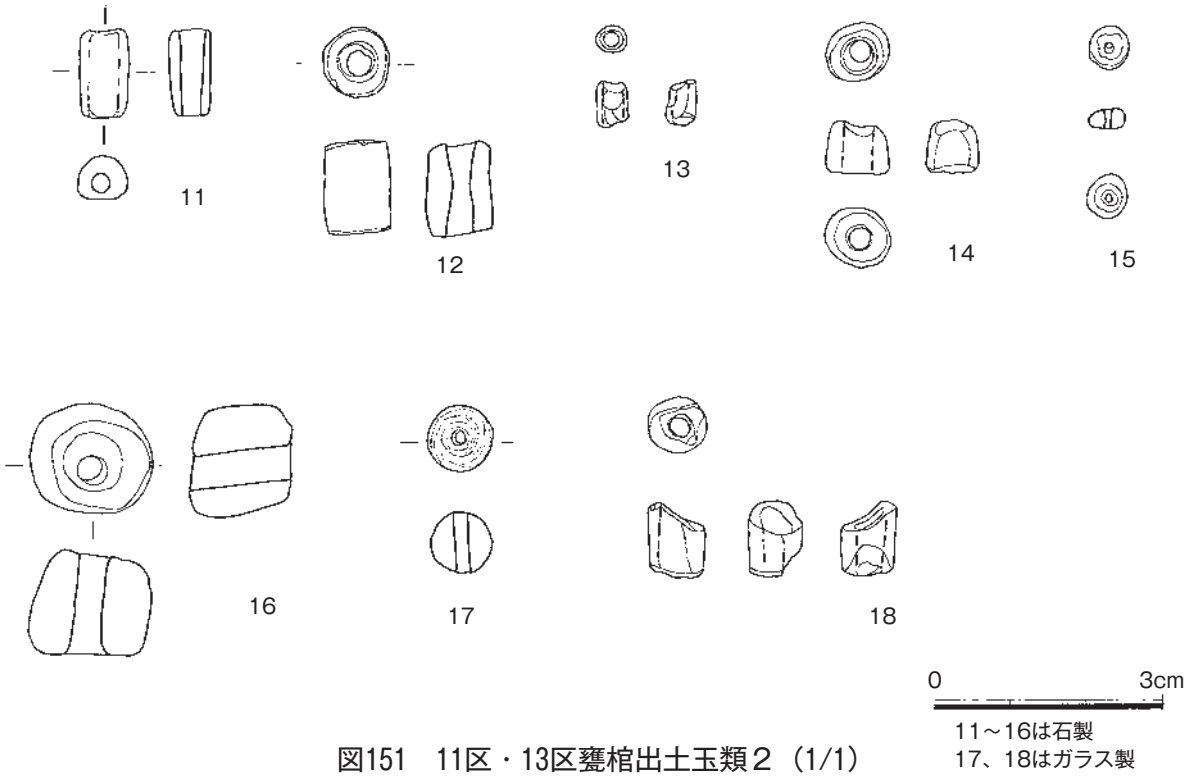


図151　11区・13区甕棺出土玉類２（1/1）

面穿孔。国内では類例が極めて微量で、朝鮮半島にも類例がみられず、生産地は不明である。前原市平原遺跡出土瑪瑙製管玉は鉄針穿孔で本例とは異なる。本管玉の生産地は大陸を含めた広い地域が考えられる。

13はSJ13232出土。翡翠製の管玉。透明感のある濃緑色である。両小口面は面取りをせず、側面の短軸方向に浅い条溝が入る。再加工品か。穿孔は両面か？判断に迷う。

14はSJ13232出土。翡翠製の管玉。透明感のある明緑色である。断面形は楕円形である。小口面は片面を面取りする。両面穿孔。

15はSJ13417出土。扁平な丸玉。天河石である。白色味がかった明るい青色である。両小口面は面取りする。両面穿孔か。

16はSJ13138出土。石材不明の丸玉である。断面楕円形で両小口面および側面は部分的に面取りを施す。片面穿孔か。

17はSJ13133出土。球形の丸玉である。ガラス製。明るい青色で、部分的に白色が混じる。鉛ガラスか。

18はSJ11242出土。ガラス製の管玉である。青色である。両小口は欠損面を研磨している。

この他に図化していないが、SJ13069よりガラス製小玉233点が出土している。巻頭図版12、表55～57参照。径1.2～3.4㎜、全長0.5～3.2㎜で色調は濃青色透明と淡青色透明がある。淡青色透明の小玉は完形23点と破片１個体分が出土した。径2.0㎜前後、2.5㎜前後、3.5㎜前後の３群があり、濃青色透明の小玉と比較して大きく、大きさにはばらつきがある。形態も球状や円筒形、扁平なものがある。孔の開口

面である上下面は丸みを帯びている。孔の壁面は滑らかである。形状に関わりなく、比較的大きな気泡は不規則に散在し、小さな気泡は孔に平行する。表面には孔に平行する細かい線がある。透明度が高い。

濃青色透明の小玉は完形208点、破片１点が出土した。径1.5㎜前後と2.0㎜前後の２群があり、形態は円筒形と扁平なもの、細い管状のものがある。管状のものは全長／直径で求められる指数が1.0以上のもので20点ある。扁平なものは指数0.6未満で73点ある。管状のものと扁平なものの中間的形態の円筒形は指数0.6以上～1.0未満で115点ある。円筒形のものは上下面の仕上がりが均一ではない。形状に関わりなく上下面は丸みを帯び、孔の壁面は滑らかである。気泡は孔に平行する。表面には孔に平行する細かい線がある。白橙色の不純物をかみ込んでいる個体がある。

ガラス製小玉はSJ13071の棺外埋土中からも１点出土している。淡青色透明で径3.0㎜の扁平な小玉である。表面にざらつきが認められ、表面の一部が剥離している。上下面は丸みを帯び、孔の壁面は滑らかである。気泡は孔に並行する。

SJ13069およびSJ13071出土のガラス小玉は、孔の壁面が滑らかで、気泡が孔に平行することから、引き伸ばし法により製作されたものと考えられる。径にまとまりがありながら、全長がばらつき、上下面の仕上がりが均一ではない点も、引き伸ばして作る中空のガラス管を分割して小玉を製作するという引き伸ばし法に由来する。上下面が丸みを帯び、仕上げの整形は再加熱によりおこなわれている。径2.0㎜以下の小玉は微小小玉といえ、粟玉という名称がつけられている。径2.0㎜以下の小玉の類例は福岡県春日市門田遺跡１号石蓋土坑墓と佐賀県吉野ヶ里町・上峰町二塚山遺跡22号土坑墓より出土したガラス小玉が挙げられる。小玉ではないものの、二塚遺跡26号土坑墓出土極細身管玉は製作技法と濃青色という色調が同様で、径1.7～3.0㎜と類似する。類例はいずれも後期のものである。本例について、大賀克彦氏より、中国江南地域に類例があるインド・パシフィックビーズ関連の資料との教示を受けた。加えて、中原遺跡SJ13069出土極小小玉は、二塚山遺跡22号土坑墓出土の緑系の色をした極小小玉とは製作技法、発色材、材質が同じコバルト発色のカリガラスであり、色に違いはあるものの、本質的な違いはなく同系統のものという教示も得た。

参考・引用文献

大賀克彦 2002「島根県下のガラス製品」『島根考古学会誌』第19集　島根考古学会　99-122ページ
藤田　等 1994『弥生時代ガラスの研究―考古学的方法―』名著出版
柳田康雄 2008「弥生ガラスの考古学」『九州と東アジアの考古学―九州大学考古学研究室50周年記念論文集―』九州大学考古学研究室50周年記念論文集刊行会

碧玉製管玉

この一覧表では碧玉製管玉は11区で92点、13区で558点の計650点を掲載するが、所在不明になった碧玉製管玉も数点ある。碧玉製管玉は図化しておらず、計測と肉眼による産地同定と自然科学的手法を用いた産地同定の分析を行った。肉眼観察による産地同定は大賀克彦氏に、自然科学分析は藁科哲男氏によるもので分析結果は本書に掲載する。肉眼観察による産地同定は全点行い、自然科学分析は10基の甕棺出土管玉、計133点を実施した。肉眼観察と自然科学分析結果の違いは133点中16点であった。この16点のうち15点は肉眼観察で石材的には女代南B群的で、管玉形態から未定C群と判断したものが分析結果では女代南B群であった。完全な違いは１点であり、肉眼鑑定の有効性が窺える。

ところで、唐津地域の弥生時代玉類の産地同定分析は宇木汲田遺跡で行われている。その分析対象は翡翠製勾玉10点、棗玉１点と金海式１基、須玖式３基、立岩式２基ほか計８基の甕棺墓から出土した碧

玉製管玉計189点である。その結果、翡翠製玉類は新潟県糸魚川産の原石であることが判明した（藁科1997）。碧玉製管玉は兵庫県豊岡市女代神社南遺跡出土玉作り石片（潮崎1993）と同じ信号をもつ女代南B群と原産地不明の未定C群がみられた。その後の藁科氏、大賀氏らの精力的な研究により女代南B群石材の碧玉製管玉は近畿、中四国地方の各遺跡から出土することが判ってきた。詳細は本書Ⅴ章２の大賀克彦「女代南B群碧玉製管玉に関する認識」を参照されたい。未定C群の管玉は韓国の忠清北道、忠清南道、慶尚北道の遺跡から出土しており、日本出土の未定C群の管玉は韓半島からの搬入品である可能性が高まった。（藁科哲男ほか2008、中村大介・藁科哲男2009）。

さて、本遺跡出土の碧玉製管玉の石材は軟質緑色凝灰岩（軟質グリーンタフ）と碧玉がある。軟質緑色凝灰岩製管玉の色調は明緑灰色で碧玉製管玉の色調は濃緑色であり、両者の区別は容易である。一覧表には軟質GTと記す。この軟質緑色凝灰岩の石材産地は山陰地方であるという考え方もある。

碧玉製管玉の色調は濃緑色でも若干の違いがみられる。女代南B群と未定C群の管玉の違いは色調が類似した濃緑色でも未定C群製管玉は若干青みがかっている。また、片側の小口面が欠損後、破面を研磨したものが多く見られることである。また、本遺跡出土の碧玉製管玉はすべて石針穿孔であり、大半が両面穿孔で若干、片面穿孔がみられる。

図152は本遺跡出土の碧玉製管玉の法量分布図である。これは肉眼鑑定による女代南B群、未定C群、軟質GTの管玉法量図である。図153は分析した碧玉製管玉の法量分布図である。破損、欠損、半裁の管玉は除いて作成した。大賀氏論考の法量分布図は甕棺別の産地別セットの平均値を１つのプロットとしてあるが、本分布図は出土した管玉個々のプロットである。

大賀克彦氏の研究によれば女代南B群碧玉製管玉西日本タイプの法量は直径が2.0㎜～5.0㎜で全長が15㎜以下の小型品と直径が４㎜以上で全長が15㎜以上の大型品に分類でき、小型品が大半を占める。本遺跡出土の管玉法量も前述の傾向を追認している。未定C群、女代南B群、軟質緑色凝灰岩（軟質GT）製管玉は小型品の法量で重なりあっており、大型品では未定C群、軟質緑色凝灰岩（軟質GT）管玉は極めて少量である。

図154～156は甕棺墓出土の未定C群、女代南B群、軟質緑色凝灰岩（軟質GT）製管玉の組成を出土甕棺の時期ごとに並べたグラフである。棺内、棺外出土の管玉を対象にし、石材産地は分析および肉眼鑑定による。表５は時期、産地別の集計表である。中原遺跡出土碧玉製管玉の石材産地はⅠ期は未定C群のみで、Ⅱ-2期以降女代南B群を主体にしながら軟質GTと未定C群が加わる。女代南B群はⅡ-6期に激減し、Ⅲ期は軟質GTのみの少量出土となる。

石材産地別変遷を他遺跡出土例を加えながら詳細に観てみる。まず、中原遺跡SJ13417出土管玉10点は分析の結果すべて未定C群である。藁科氏による分析によれば宇木汲田遺跡の19号甕棺（大型甕B、Ⅱ-1期）は未定C群が４点、不明４点である。大賀氏の肉眼鑑定

表５　甕棺墓出土管玉石材産地別一覧表（中原遺跡）

時　　期	未定C群	女代南B群	軟質GT
Ⅰ-1	0	0	0
Ⅰ-2	10	0	0
Ⅰ-3	0	0	0
Ⅱ-1	0	0	0
Ⅱ-2	11	60	26
Ⅱ-3	9	145*	27
Ⅱ-4	26	125	11
Ⅱ-5	14	128	41
Ⅱ-6	5	7	0
Ⅲ-1	0	0	5
Ⅲ-2	0	0	0
Ⅲ-3	0	0	0
計	75	465	110

*分析結果による玉谷産１点を含む。

によれば宇木汲田遺跡86号甕棺墓（管玉１）、87号甕棺墓（管玉14）、88号甕棺墓（管玉７）、福岡市吉武高木109号甕棺墓（管玉10）、吉武高木110号甕棺墓（管玉74）、吉武高木111号甕棺墓（管玉92）、吉武高木117号甕棺墓（管玉42）、吉武大石51号甕棺墓（管玉11）、佐賀市大和町本村籠遺跡58号甕棺墓（管玉18）出土の碧玉製管玉はすべて未定C群であり、女代南B群がみられないことは重要である。図157に未定C群管玉出土甕棺を掲載する。中原遺跡SJ13417は大型甕ＡⅠ2でⅠ-2期に、宇木汲田遺跡87号下甕は大型甕ＡⅢ2でⅡ-1（古段階）に位置づけられる。吉武高木遺跡110号甕棺は管玉以外に円環型銅釧２点が出土している。上甕は大型甕ＡⅡ3である。吉武高木遺跡109号甕棺は大型甕Bであり、Ⅱ-1期（古段階）に相当する。早良平野に位置する吉武遺跡群ではⅡ-1期（古段階）の甕棺墓から未定C群管玉が多量に出土していることは注目される。佐賀市大和町本村籠遺跡58号甕棺墓（大和町教委1992）は管玉以外に多紐細文鏡１、青銅製鉇（ヤリガンナ）１が出土している。上甕がやや新しい様相を示し、佐賀市増田遺跡編年Ⅱa期（橋口KⅡa新段階）にあたる。本遺跡ではⅡ-1期（新段階）に併行する。

女代南B群管玉の出現時期は本遺跡ではSJ13283、SJ13391によりその時期が推定できる。SJ13283出土管玉は分析により女代南B群５点、未定C群１点の結果が得られている。上甕は大型甕CⅡ1で下甕は鉢CⅡである。SJ13391の管玉８点は大賀氏の肉眼鑑定ではすべて女代南B群である。上甕は大型甕CⅠ3で下甕は壺DⅡである。SJ13283、SJ13391の時期はSJ13283がやや古い様相をもちながらもⅡ-2期である。

中原遺跡以外に女代南B群製管玉の出現時期を求めると、唐津市宇木汲田遺跡94号甕棺墓、同遺跡75号甕棺墓、同市天神ノ元遺跡５号甕棺墓、福岡県二丈町広田遺跡３号甕棺墓がある。図158に女代南Ｂ群管玉出土甕棺実測図を掲載する。これらはすべて大賀氏の肉眼鑑定によるが、宇木汲田遺跡94号甕棺墓は女代南B群１点、未定C群４点である。上甕は大型甕Bである。同遺跡75号甕棺墓は女代南B群５点が出土している。大型甕ＤⅠか？広田遺跡３号甕棺墓は女代南B群２点が出土している。上下甕とも大型甕の胴部上半部を打ち欠いているため時期決定が困難であるが、胴下半部が内湾気味に底部につづくなど大型甕ＡⅡ3か大型甕ＡⅢ2と思われる。天神ノ元遺跡５号甕棺墓は女代南B群１点が出土しており、上下甕とも壺CⅠである。宇木汲田遺跡94号甕棺墓、広田遺跡３号甕棺墓はⅡ-1期（古段階）で、天神ノ元遺跡５号甕棺墓はⅡ-1期である。これらの資料は少量ながらも女代南B群管玉が出現している最古の時期を示す。このように女代南B群管玉はⅡ-1期（古段階、新段階）の出土例が少ないながらもみられる。Ⅱ-2期からⅡ-5期にかけて多量に副葬され、Ⅱ-6期には極端に減少し、Ⅲ期には見られなくなるという変遷をたどる。

Ⅱ期の管玉の石材産地別組成は女代南B群管玉が主体的で一部未定C群が混じる。これに対して基数は少ないものの甕棺１基あたり未定C群が主体的で女代南B群が混じる組み合わせも観られる。Ⅱ-4期のSJ13319は未定C群が23点、女代南B群が６点、Ⅱ-5期のSJ13232は未定C群が14点、女代南B群が６点、Ⅱ-6期のSJ11281は未定C群のみ５点出土している。このような組み合わせは宇木汲田遺跡でも観られ、Ⅱ-4期の宇木汲田遺跡38号甕棺（須玖式）は未定C群が33点、女代南B群が８点、不明が４点で、Ⅱ-5期の同遺跡43号甕棺（須玖式）は未定C群が６点、不明が２点であった。Ⅱ期の碧玉製管玉の石材産地別組成は女代南B群管玉が主体でありながらも甕棺墓によっては未定C群が主体で女代南B群管玉が少量混ざる組成も見られる。

甕棺１基あたりから出土する碧玉製管玉の総点数について表したのが図159である。甕棺棺内出土管玉を対象にした。管玉点数と甕棺基数を示したのが図160である。甕棺１基あたり最も多くの管玉を出土したのがSJ13092の107点である。次にSJ13146の41点、SJ13289の40点、SJ11249の39点と並ぶ。

碧玉製管玉を出土した甕棺79基のうち６点～９点が21基、１点～５点が46基と大半は５点以下である。

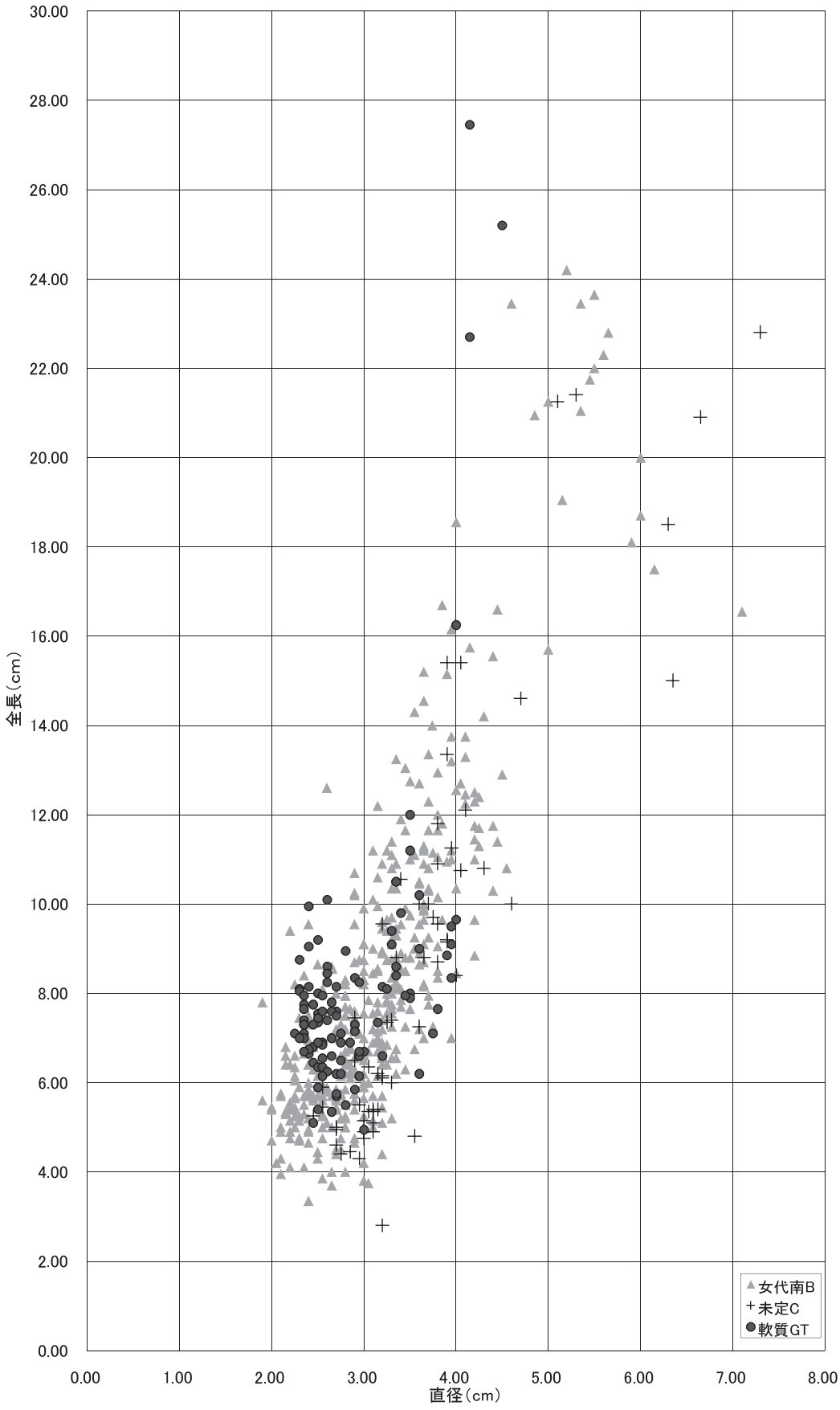


図152　11区・13区甕棺出土碧玉製管玉法量分布図

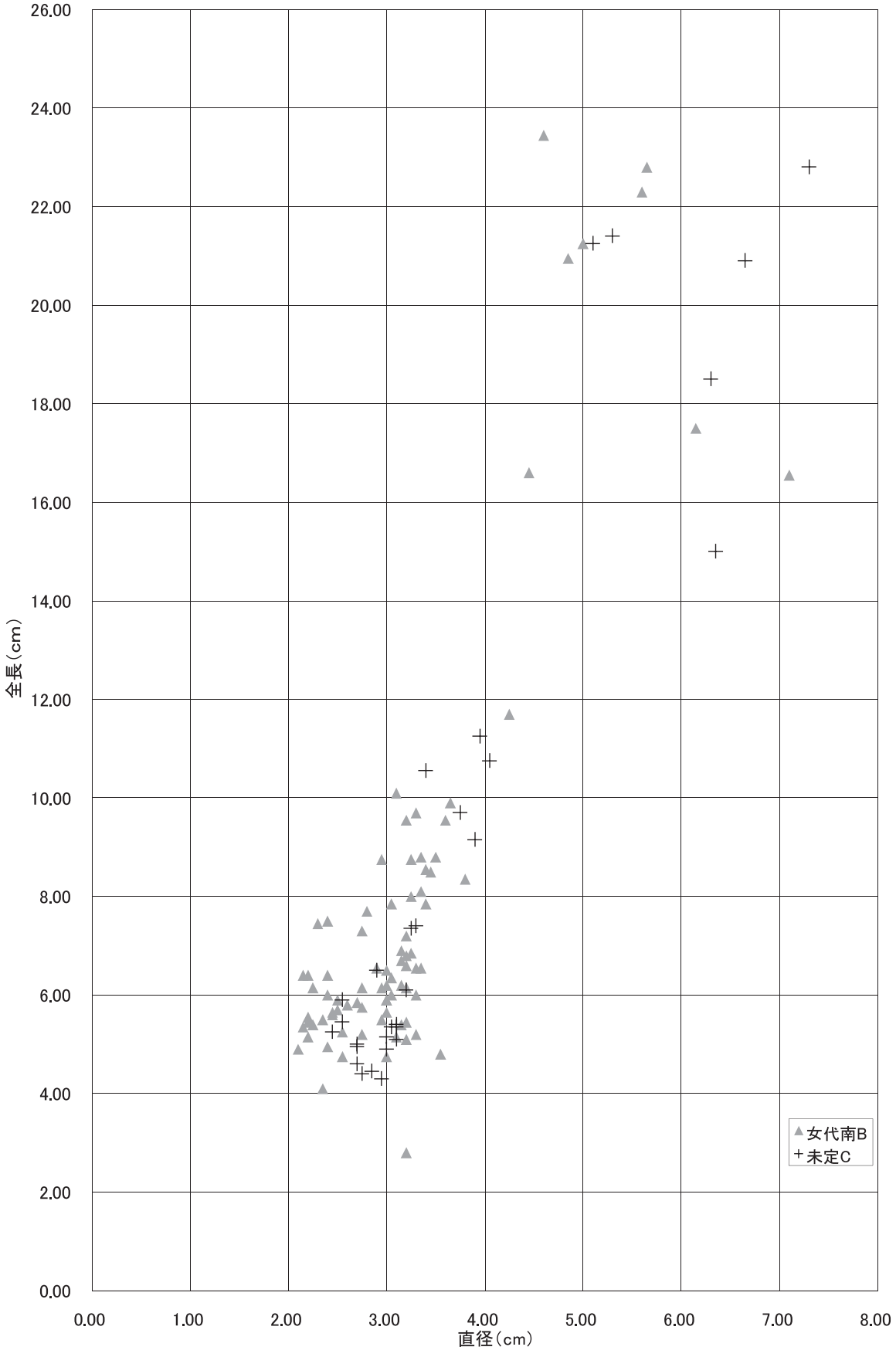


図153　分析用碧玉製管玉法量分布図

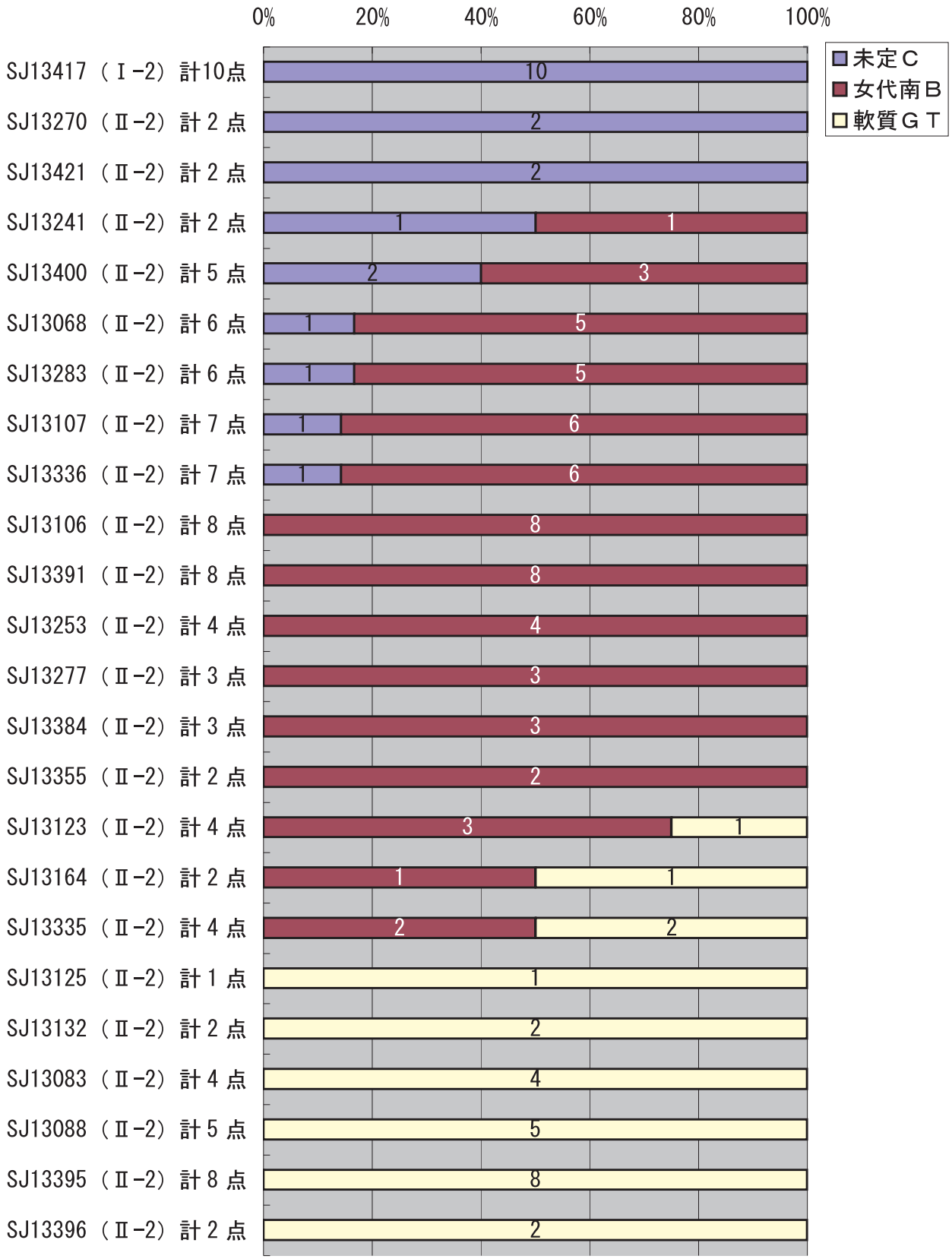
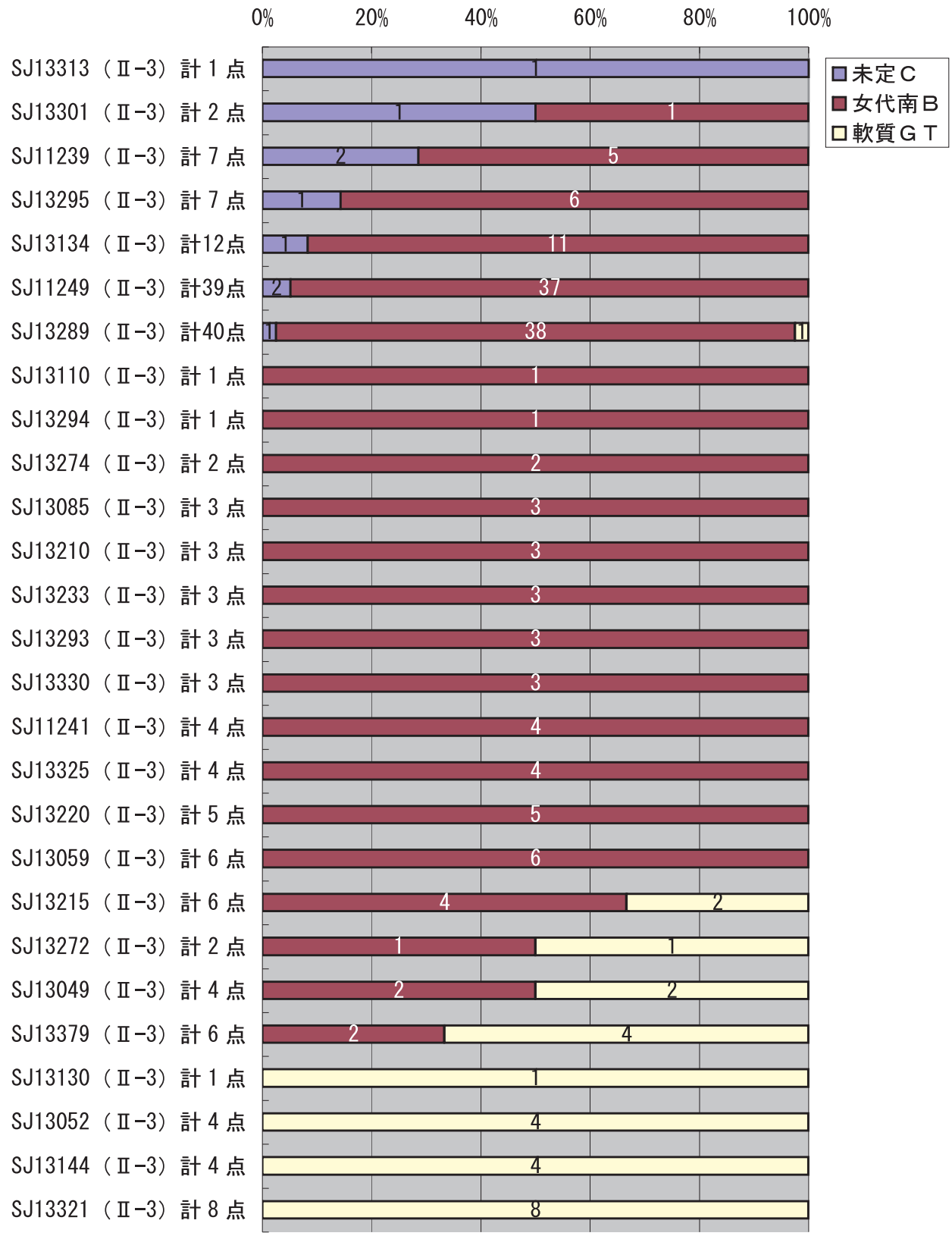


図154　甕棺内出土管玉石材産地別組成１



*SJ11249の女代南Bには分析により玉谷と判断されたものを１点含む

図155　甕棺内出土管玉石材産地別組成２

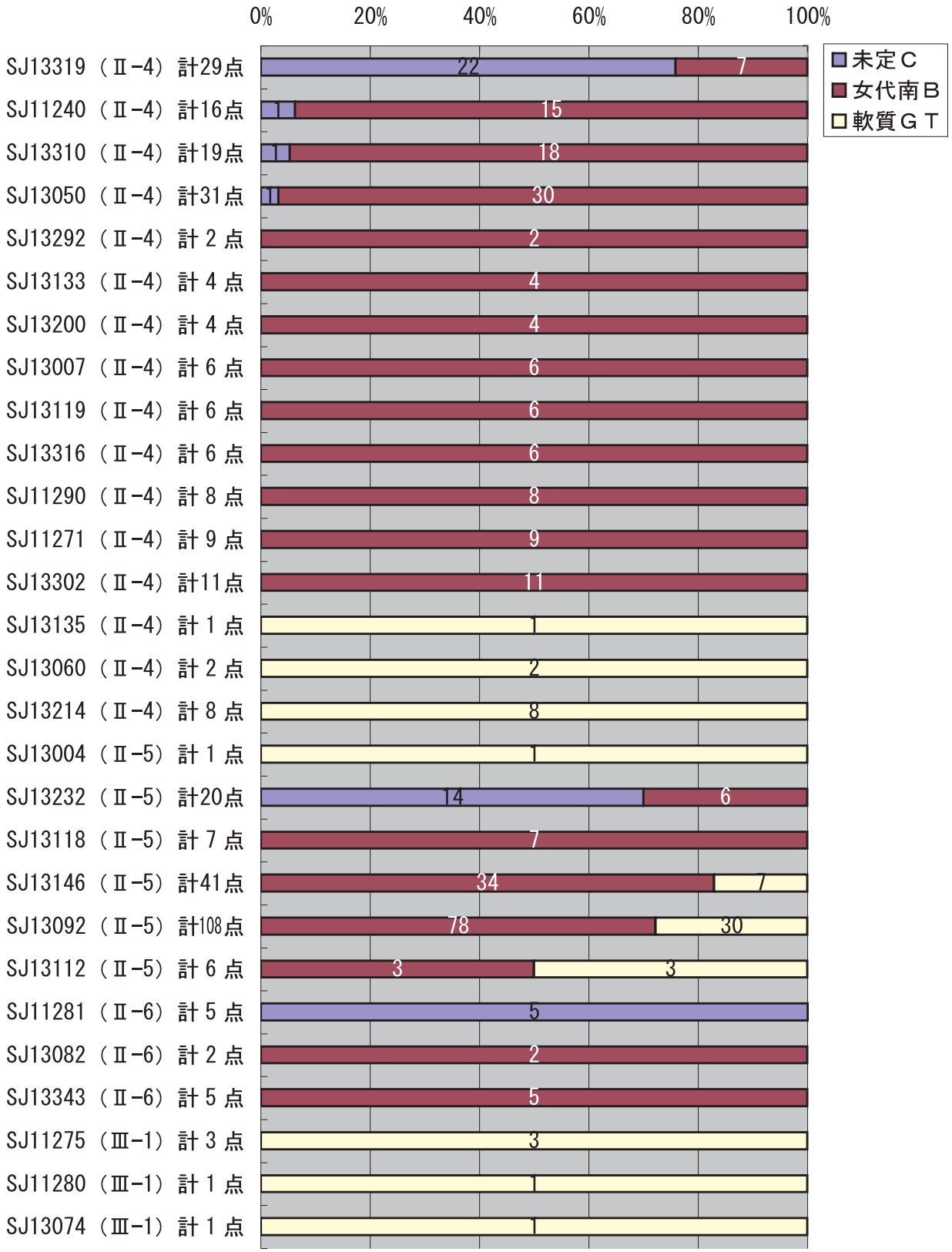
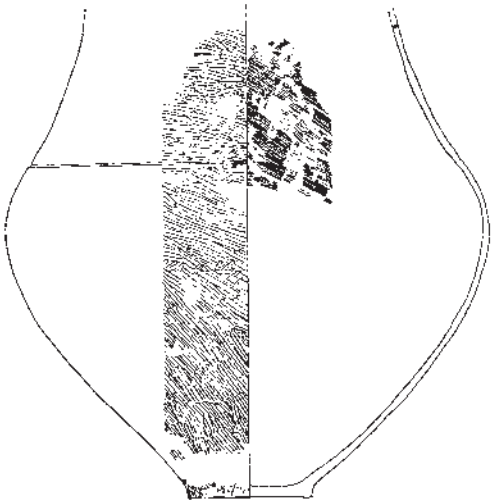
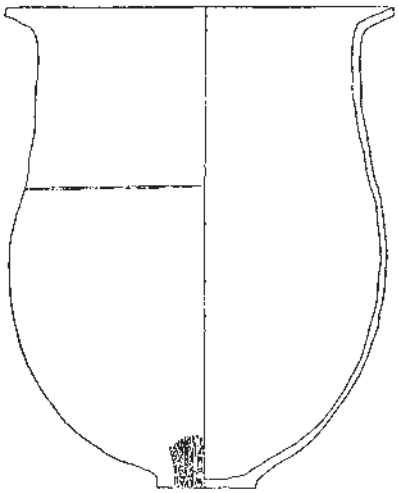


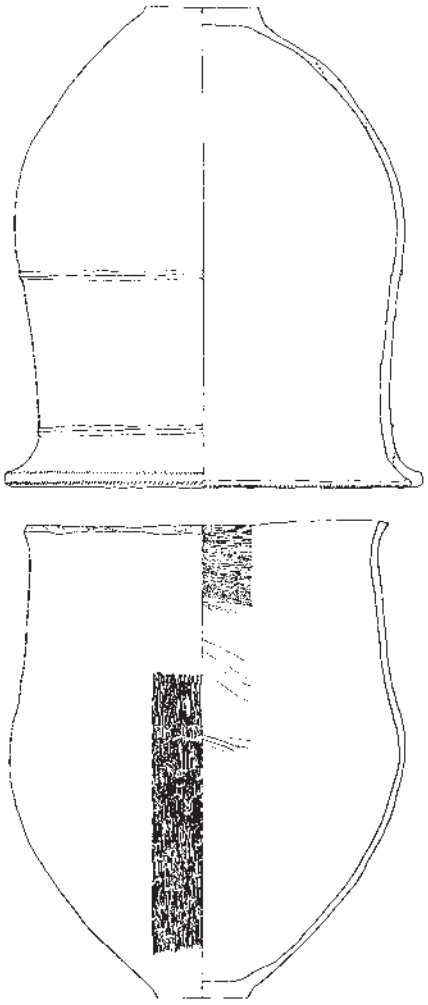
図156　甕棺内出土管玉石材産地別組成３



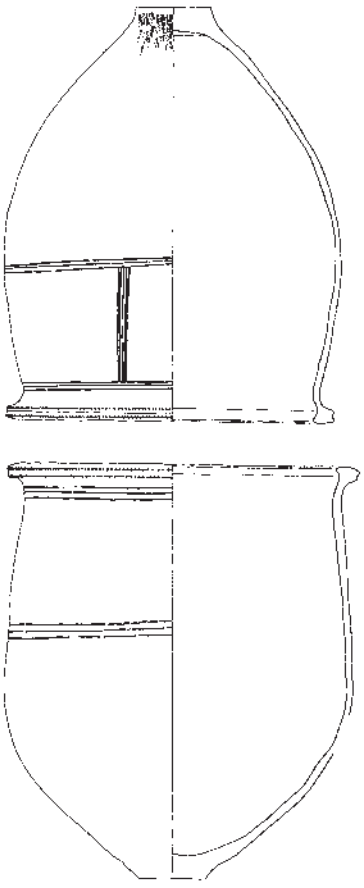
中原遺跡SJ13417（1/8）



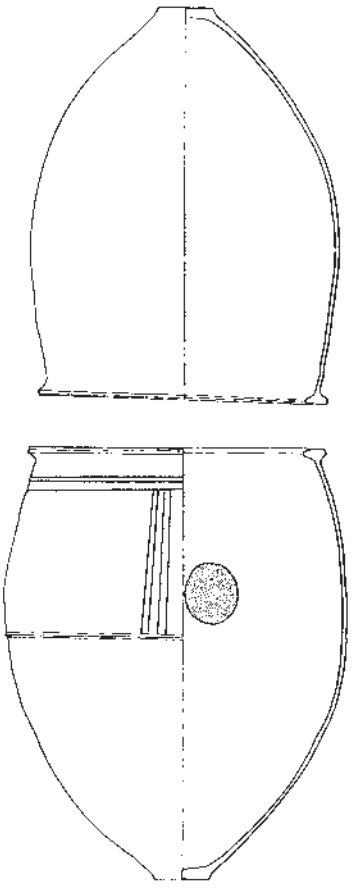
宇木汲田遺跡87号下甕（1/12）



吉武高木遺跡110号甕棺墓（1/15）

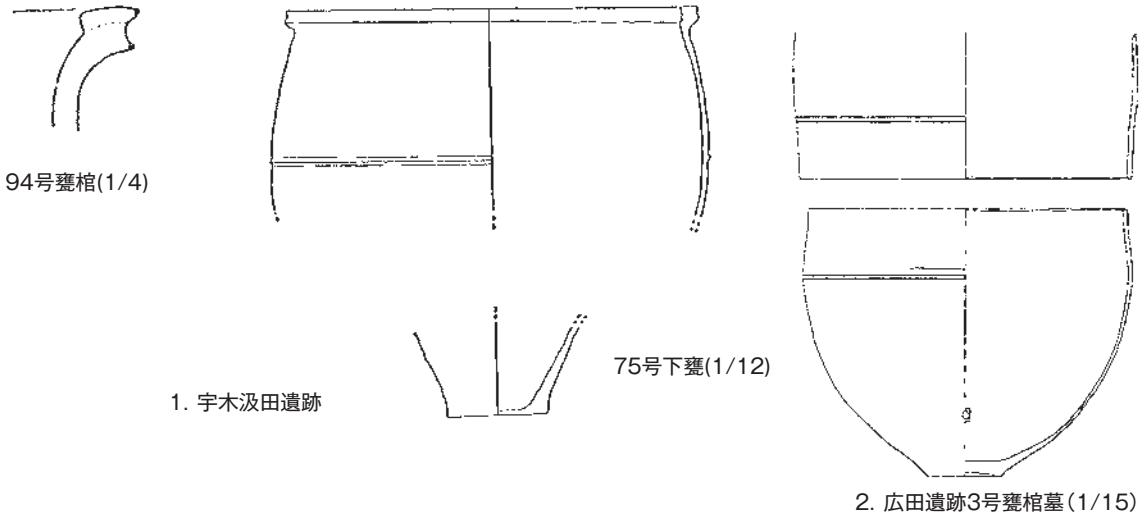


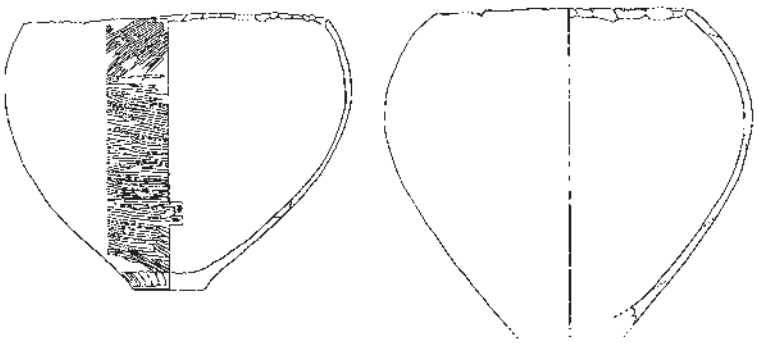
吉武高木遺跡109号甕棺墓（1/15）



木村籠遺跡58号甕棺墓（1/15）

図157　未定C群管玉出土甕棺





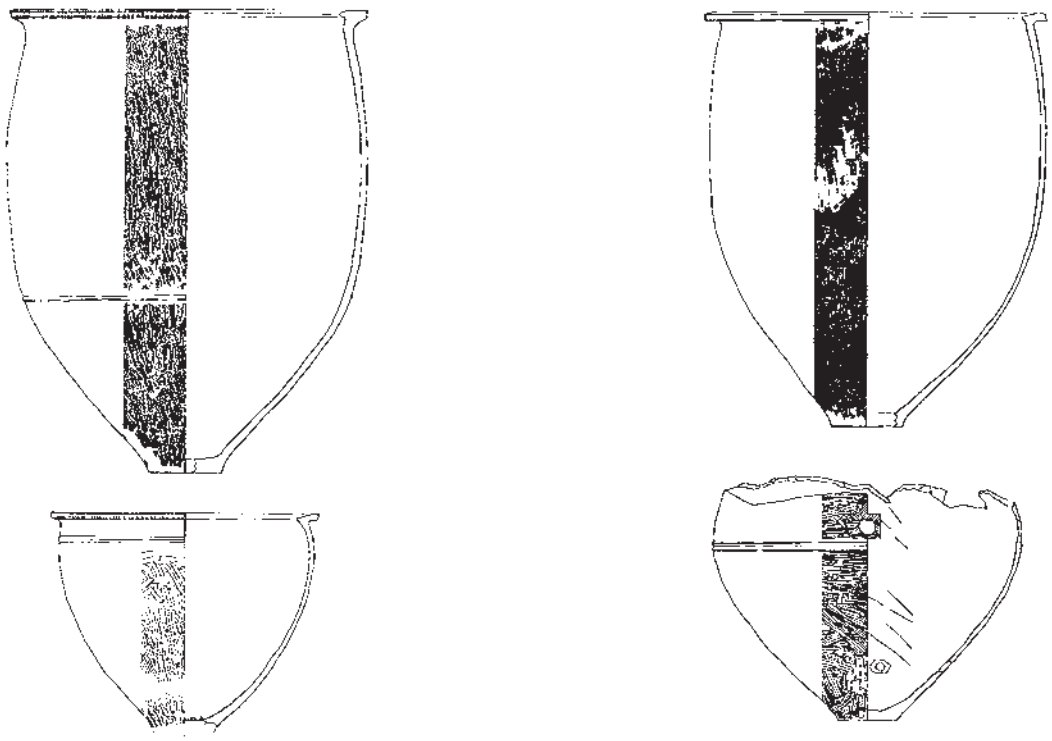


図158　女代南B群管玉出現期甕棺

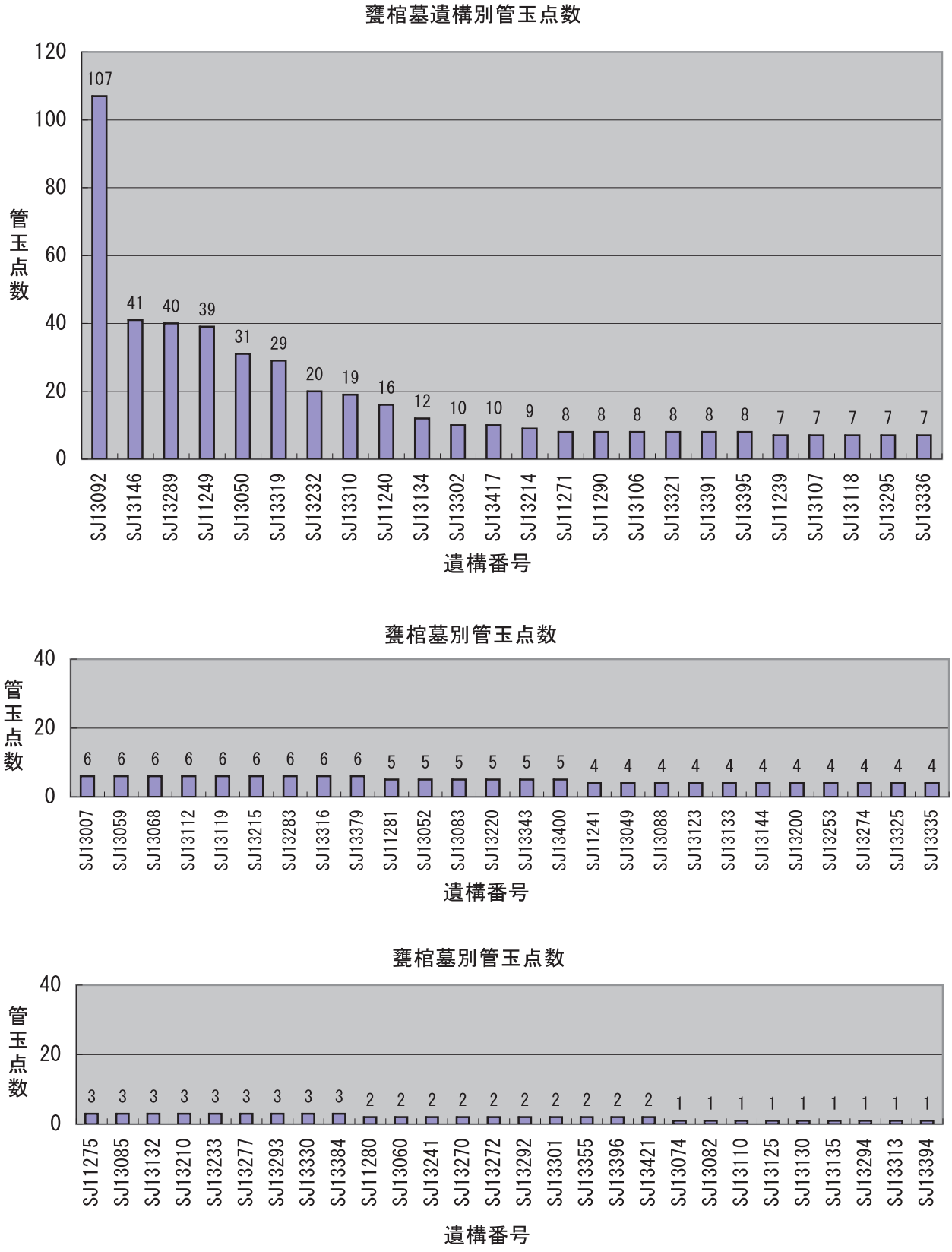


図159　甕棺墓遺構別管玉点数

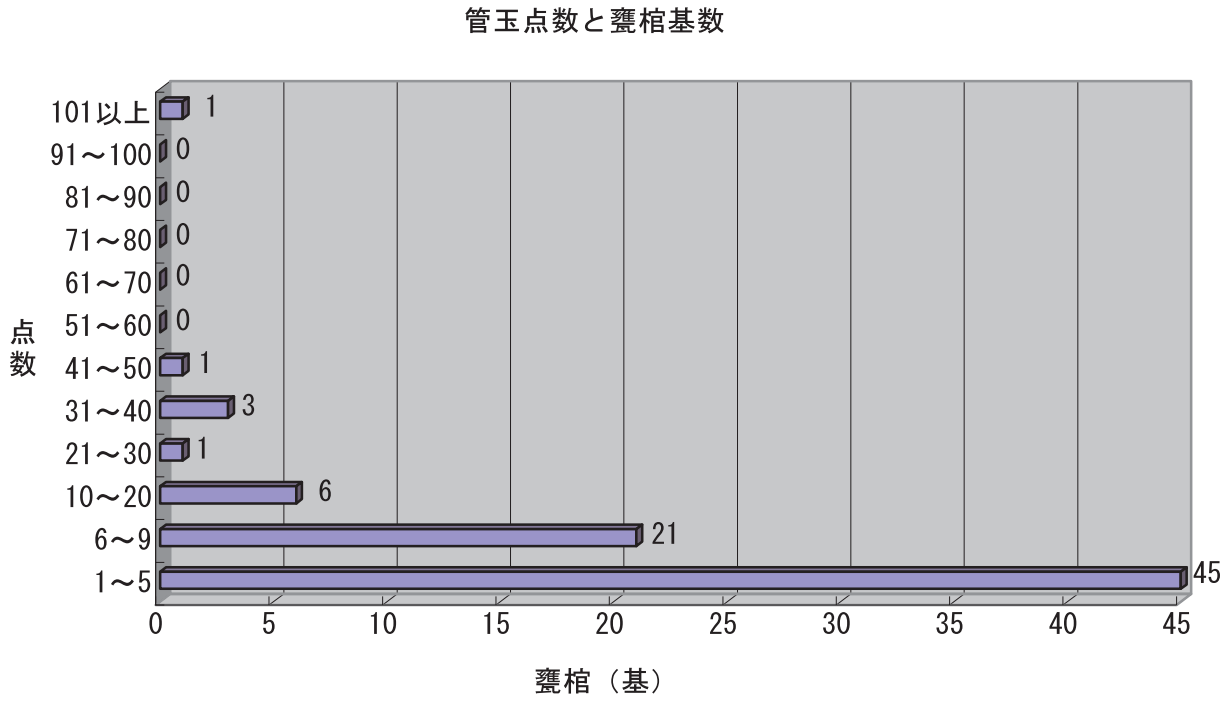


図160　管玉点数と甕棺基数

このことは碧玉製管玉が所有者の副葬品かあるいは被葬者埋葬時の供献によるものかといった問題に関わるのであろう。

参考文献

田平徳栄 2008「九州における弥生時代ヒスイ勾玉の製作と流通について」『研究紀要14』佐賀県立名護屋城博物館

藁科哲男 1997「宇木汲田遺跡出土のヒスイ製勾玉、碧玉製管玉の産地分析」『調査研究書』22集　佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

潮崎誠 1993「豊岡市女代神社南遺跡の遺物をめぐって」『但馬考古学８』

藁科哲男ほか 2008「韓半島における玉類の理化学的分析と流通」『湖西地域邑落社会の変遷』第17回湖西考古学会

中村大介・藁科哲男 2009「韓半島における玉類の理化学的分析と流通」『日本考古学協会第75回総会研究発表要旨』

高島忠平ほか 1982「宇木汲田遺跡」『末盧国』六興出版

福岡市教育委員会 1996「吉武遺跡群Ⅷ」福岡市財文化調査報告書第461集

大和町教育委員会 1992「平成２年度大和町内遺跡確認調査」大和町文化調査報告書第16集

佐賀市教育委員会 2000「増田遺跡群Ⅳ」佐賀市文化財調査報告書第111集

唐津市教育委員会 2004「天神ノ元遺跡(3)」唐津市文化財調査報告書第114集

二丈町教育委員会 2005「広田遺跡Ⅳ区」二丈町文化財調査報告書第33集

表６　時期別副葬品一覧表(1)

時期	武器		工具		装身具						その他
	銅矛	鉄矛	鉄斧	鉄製鉇	円環型銅釧	硬玉製玉類	碧玉製管玉	石材不明丸玉	瑪瑙製管玉	ガラス管玉・小玉	石剣切先・石鏃・青銅製切先
Ⅰ-1											
Ⅰ-2							SJ13417(10)	SJ13417(1)			
Ⅰ-3											
Ⅱ-1											
Ⅱ-2						SJ11235(1)	SJ13068(6) SJ13083(5) SJ13088(5) SJ13106(8) SJ13107(7) SJ13123(4) SJ13125(1) SJ13132(3) SJ13164(2) SJ13241(2) SJ13253(4) SJ13270(2) SJ13277(3) SJ13283(6) SJ13335(4) SJ13336(7) SJ13355(2) SJ13384(3) SJ13391(8) SJ13394(1) SJ13395(8) SJ13396(2) SJ13400(5) SJ13421(2)				SJ13259(1)

表７　時期別副葬品一覧表(2)

時期	武器		工具		装身具						その他
	銅矛	鉄矛	鉄斧	鉄製鉇	円環型銅釧	硬玉製玉類	碧玉製管玉	石材不明丸玉	瑪瑙製管玉	ガラス管玉・小玉	石剣切先・石鏃・青銅製切先
Ⅱ-3	SJ11247(1)				SJ13134(12)	SJ11239(1) SJ11249(2) SJ13294(1) SJ13312(1)	SJ11239(7) SJ11241(4) SJ11249(39) SJ13049(4) SJ13052(5) SJ13059(6) SJ13085(3) SJ13110(1) SJ13130(1) SJ13134(12) SJ13144(4) SJ13210(3) SJ13215(6) SJ13220(5) SJ13233(3) SJ13272(2) SJ13274(4) SJ13289(40) SJ13293(3) SJ13294(1) SJ13295(7) SJ13301(2) SJ13313(1) SJ13321(8) SJ13325(4) SJ13330(3) SJ13379(6)	SJ13138(1)			SJ13093棺外(1) SJ13096棺外(1) SJ13297(1)

表８　時期別副葬品一覧表(3)

時期	武器		工具		装身具						その他
	銅矛	鉄矛	鉄斧	鉄製鉇	円環型銅釧	硬玉製玉類	碧玉製管玉	石材不明丸玉	瑪瑙製管玉	ガラス管玉・小玉	石剣切先・石鏃・青銅製切先
Ⅱ-4						SJ11290(1) SJ13206(1) SJ13317(1)	SJ11240(16) SJ11271(9) SJ11290(8) SJ11290棺外(3) SJ13007(6) SJ13050(31) SJ13060(2) SJ13119(6) SJ13133(4) SJ13135(1) SJ13200(4) SJ13214(9) SJ13292(2) SJ13302(11) SJ13310(19) SJ13316(6) SJ13319(29)			SJ13133(1)	SJ13133(1) SJ13133棺外(1)
Ⅱ-5					SJ13112(3)	SJ13232(3)	SJ13004棺外(1) SJ13092(108) SJ13112(6) SJ13118(7) SJ13146(41) SJ13232(20)				
Ⅱ-6		SJ13011(1)	SJ11294(1)			SJ13082(1)	SJ11281(5) SJ13082(1) SJ13343(5)		SJ11281(1)	SJ13069(233)	
Ⅲ-1				SJ11275(1) SJ11280(2) SJ13009(1)			SJ11275(3) SJ11280(2) SJ13074(1)			SJ11242(1) SJ13071棺外(1)	
Ⅲ-2											

表９　11区甕棺墓一覧表

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ11045	R-33	単棺	×	壺	N-64-E	35	円形？	83	61＋a	50			－	
SJ11083	T-38	接口	鉢	甕	N-81-W	-2	楕円形	50	46	6			－	
SJ11090	R-33	単棺	×	壺	N-39-E	60	円形	73	63＋a	23	13	50	－	
SJ11104	R-33	単棺	×	甕	N-67-E	41	円形？	94	68＋a	55			－	
SJ11208	V-35	単棺	×	甕	N-85-E	0	楕円形	65	52	8			－	
SJ11213	Q-33	単棺	×	壺	N-85-E	-1							－	
SJ11221	T-36	単棺	×	壺	N-18-E	18							－	
SJ11222	T-38	接口	甕	甕									－	遺構図面なし
SJ11223	U-36	単棺	×	甕	N-21-W	22	楕円形	60	49	15			－	
SJ11224	U-36	単棺	×	甕	N-20-W	23	楕円形	121	77	40			－	
SJ11225	Q-35	単棺	×	壺	－	63	なし						－	
SJ11226	Q-34	単棺	×	甕	－	90	なし						－	甕棺？
SJ11227	Q-37	単棺	×	甕	N-32-W	27	楕円形？	39＋?	47	21			－	
SJ11235	X-42	覆口	壺	甕	N-66-W	47	円形	98	90	57			硬玉製勾玉１点	
SJ11237	X-42	覆口	甕	甕	N-74-W	32	楕円形	124	96	46			－	
SJ11239	X-42	接口	甕	甕	N-80-E	35	楕円形	195	98	85	28	0	硬玉製勾玉１点 碧玉製管玉７点	
SJ11240	X-42	覆口	甕	甕	N-67-E	26	楕円形	210＋a	146	56			碧玉製管玉16点	
SJ11241	X-42	接口	甕	甕	N-22-E	53	楕円形	101	88	49	35	0	碧玉製管玉４点	
SJ11242	X-41	単棺	×	甕	S-46-E	55	不整円形	93	80	61			ガラス製管玉１点	
SJ11247	X-42	覆口	甕	甕	S-89-W	45	楕円形	245	201	59			銅矛１点	
SJ11249	W-42	接口	甕	甕	N-39-E	34	楕円形	261	220	60			硬玉製勾玉１点 硬玉製管玉１点 碧玉製管玉39点	
SJ11259	U-39	覆口	×	壺	N-48-E	11	楕円形	71	50	16			－	
SJ11265	V-41	覆口	甕	甕	N-65-E	23	楕円形	171	97	53			－	
SJ11269	V-42	接口	壺	壺	N-76-E	58	楕円形	117	116	12	52	9	－	
SJ11270	V-42	単棺	×	壺	N-72-E	-20	楕円形	55＋a	63	26			－	
SJ11271	T-41	単棺	×	甕	S-78-W	1	楕円形？	133＋a	96	33			碧玉製管玉８点、 棺外から碧玉製管玉１点	
SJ11274	T-41	接口	甕	甕	N-81-W	15	楕円形	175	163	22	32	23	－	下甕に鉄片付着
SJ11275	W-41	接口	甕	甕	S-57-E	76	楕円形	180	－	55	40	0	碧玉製管玉３点 鉄製鉇１点	
SJ11277	V-41	単棺	×	甕	N-61-W	11	円形	177	169	47	12	32	－	
SJ11280	U-41	接口	甕	甕	N-66-E	16	楕円形	121	71	35			碧玉製管玉２点→１点	
SJ11281	V-42	接口	甕	甕	N-88-E	21	楕円形	155	143	31	38	53	碧玉製管玉５点 瑪瑙製管玉１点	
SJ11286	X-41	挿入	甕	甕	N-54-E	61	楕円形	146	123	128	52	13	－	
SJ11287	W-41	単棺	×	甕？	S-42-W	43	×						－	
SJ11288	W-41	接口	甕	甕	N-81-W	7	×						－	ST11158に切られ大破
SJ11289	W-42	接口	甕	甕	S-67-W	12	×						－	ST11158に切られ大破
SJ11290	W-42	覆口	甕	甕	N-89-W	49	楕円形	131	112＋a	74			硬玉製勾玉１点、 碧玉製管玉８点、 棺外から碧玉製管玉３点	ST11158に切られ大破
SJ11294	W-42	単棺	甕	×	S-76-E	33	楕円形	213	117	68			鉄斧１点	
SJ11295	W-37	単棺	×	壺	S-78-W	29	楕円形	81	74	30			－	
SJ11296	W-37	単棺	×	壺	－	－	楕円形	78	54＋a	19			－	

表10　13区甕棺墓一覧表(1)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13001	V-44	接口	壺	甕	N-42-W	34	隅丸方形	148	126	32	45	64	－	
SJ13003	V-43	接口	鉢	甕	N-88-E	38	－	－	－	－	61	81	－	
SJ13004	U-42	単棺	－	甕	S-87-W	34	－	－	－	－	33	50	棺外から碧玉製管玉１点	
SJ13005	W-44	接口	壺	壺	N-71-W	73	－	－	－	－	37	48	－	
SJ13006	W-44	接口	甕	甕	S-56-W	55	－	－	－	－	88	99	－	
SJ13007	W-44	単棺	－	甕	S-72-E	0	楕円形	194	79	49	－	－	碧玉製管玉６点	
SJ13009	U-42	－	甕	甕	N-53-E	0	楕円形	112	87	24	－	－	鉄製鉇	
SJ13011	T-42	覆口	甕	甕	S-85-W	30	－	－	－	－	32	37	鉄矛１点	
SJ13012	T-42	覆口	甕	壺	S-89-E	76	－	－	－	－	69	62	－	
SJ13013	V-44	接口	甕	甕	S-86-W	62	円形	156	154	41	76	102	－	
SJ13014	V-43	覆口	甕	甕	N-87-W	65	隅丸方形	145	125	26	100	110	－	
SJ13015	T-42	覆口	甕	甕	N-73-W	79	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13046	U-42	覆口	甕？	甕	S-77-E	42	五角形	139	128	31	32	41	－	
SJ13048	T-42	単棺	－	甕？	N-73-E	13	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13049	T-42	単棺	甕	－	S-68-W	85	円形	73	68	49	－	－	碧玉製管玉４点	倒置
SJ13050	U-42	単棺	－	甕	S-82-W	0	円形	139	110	42	－	－	碧玉製管玉31点	
SJ13052	U-42	単棺	－	甕	S-69-E	-8	隅丸三角形	155	113	37	－	－	碧玉製管玉５点	
SJ13059	V-42	単棺	－	甕	N-88-W	7	楕円形	129	99	45	－	－	碧玉製管玉６点	
SJ13060	V-43	単棺	－	甕	N-78-E	0	楕円形	146	99	44	－	－	碧玉製管玉２点	
SJ13061	V-43	単棺	－	甕	N-87-E	-14	楕円形	156	102	37	－	－	－	
SJ13062	V-44	単棺	甕	－	N-6-W	85	隅丸方形	132	98	81	－	－	－	倒置
SJ13065	W-44	覆口	甕	壺	N-74-E	88	円形	79	78	49	－	－	－	
SJ13066	W-44	接口	壺	壺	N-68-W	82	円形	62	60	22	－	－	－	
SJ13067	V-44	単棺	－	壺	N-6-E	90	円形	89	86	23	－	－	－	
SJ13068	V-44	接口	甕	甕	N-81-W	58	隅丸方形	154	139	51	77	82	碧玉製管玉６点	
SJ13069	Y-42	単棺	－	甕	S-84-E	76	－	－	－	－	－	－	ガラス小玉233点	下甕の底部のみ
SJ13070	Y-43	単棺	－	甕	N-71-W	71	－	－	－	－	19	21	－	下甕の底部のみ
SJ13071	Y-44	単棺	－	甕	S-80-E	－	－	－	－	－	－	－	棺外からガラス小玉１点	
SJ13072	Y-42	単棺	－	甕	N-82-E	70	－	－	－	－	36	36	－	
SJ13073	Y-43	単棺	－	甕	N-66-W	60	－	－	－	－	21	24	－	
SJ13074	Y-42	単棺	－	甕	S-89-W	57	－	－	－	－	49	54	碧玉製管玉１点	下甕の底部と胴部のみ
SJ13075	Y-44	単棺	－	甕	S-75-E	54	－	－	－	－	35	46	－	下甕の底部のみ
SJ13077	X-44	単棺	－	甕	S-30-E	57	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13078	Y-43	単棺	－	甕	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13079	Y-45	単棺	－	甕	S-69-E	65	－	－	－	－	－	－	－	下甕の底部のみ
SJ13080	Y-45	単棺	－	甕	S-46-E	50	－	－	－	－	39	59	－	下甕の底部と胴部のみ
SJ13081	U,V-43	覆口	甕	壺	S-85-W	56	隅丸方形	150	125	32	59	73	－	
SJ13082	U-42	単棺	－	甕	S-35-W	13	隅丸方形	166	145	26	12	17	硬玉製勾玉１点、碧玉製管玉１点、甕棺付近から碧玉製管玉１点	
SJ13083	U-42	挿入	壺	鉢	S-87-E	47	楕円形	126	92	26	33	47	碧玉製管玉５点	
SJ13084	V-43	覆口	壺	甕	N-73-E	63	円形	104	101	37	67	74	－	
SJ13085	U-42	覆口	甕	壺	N-86-W	81	楕円形	126	105	56	41	85	碧玉製管玉３点	

表11　13区甕棺墓一覧表(2)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13088	W-44	単棺	壺	壺	N-81-W	55	−	−	−	−	−	−	碧玉製管玉４点、棺外から碧玉製管玉１点	
SJ13089	U-42,43	覆口	鉢	壺	N-19-W	56	楕円形	101	85	22	22	20	−	
SJ13090	U-44	単棺	−	甕	S-71-W	-6	楕円形	−	−	−	24	22	−	
SJ13091	W-44	接口?	壺	壺	S-59-E	53	−	−	−	−	−	−	−	
SJ13092	W-44	接口?	壺	甕	N-79-E	42	楕円形	149	131	46	41	55	碧玉製管玉107点、棺外から碧玉製管玉１点	
SJ13093	U-43	単棺	甕	−	N-64-E	77	隅丸方形	126	124	39	32	38	墓坑内埋土中から石鏃１点	倒置
SJ13094	T-42	単棺	−	甕	N-89-E	0	円形	158	149	46	−	−	−	
SJ13095	T-42	単棺	−	甕	N-89-E	36	−	−	−	−	48	33	−	
SJ13096	S,T-42	単棺	−	甕	S-66-E	35	−	−	−	−	75	76	墓坑内埋土中から石鏃１点	
SJ13097	U-43	覆口	甕	甕	N-82-E	68	−	−	−	−	68	73	−	
SJ13098	U-43	単棺	−	甕	N-81-W	35	−	−	−	−	7	9	−	底部のみ
SJ13099	S-42	単棺	−	甕	S-60-W	50	−	−	−	−	33	48	−	現代溝に切られている
SJ13101	S-42	単棺	−	甕	N-88-W	39	−	−	−	−	67	70	−	
SJ13102	T-42	挿入	甕	甕	N-81-E	15	−	−	−	−	12	26	−	
SJ13103	Y-43	単棺	−	甕	N-87-E	45	−	−	−	−	24	32	−	
SJ13104	Y-44	単棺	−	甕	S-20-E	29	−	−	−	−	−	−	−	
SJ13106	W-42	単棺	−	甕	N-20-E	61	−	−	−	−	34	37	碧玉製管玉８点	
SJ13107	W-42	単棺	−	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	碧玉製管玉７点	日仏合同調査トレンチ内
SJ13108	V,W-44	?	壺	甕	S-9-W	-24	−	−	−	−	25	−	−	
SJ13109	U-42	単棺	−	甕	S-75-W	43	−	120	100	34	37	54	−	
SJ13110	T-41	単棺	壺	−	S-82-E	82	隅丸方形	141	99	53	−	−	碧玉製管玉１点	
SJ13111	T-44	接口	甕	甕	S-56-W	0	方形	191	133	9	26	−	−	
SJ13112	T-43	単棺	−	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	銅釧３点、碧玉製管玉６点	
SJ13114	T-43	単棺	−	甕	−	−	−	−	−	−	17	−		
SJ13116	X-43	挿入	甕	甕	N-44-W	54	−	−	−	−	35	65	−	
SJ13118	T-41	単棺	−	甕	N-89-E	24	−	−	−	−	37	−	碧玉製管玉７点	
SJ13119	T-43	単棺	−	甕	S-89-E	37	−	−	−	−	17	11	碧玉製管玉６点	
SJ13122	U-43	単棺	甕	−	S-83-E	85	隅丸方形	145	135	101	−	−	−	倒置
SJ13123	W-44	覆口	甕	甕	S-66-E	68	隅丸方形	171	169	78	29	32	碧玉製管玉４点	
SJ13124	T-42	単棺	甕	−	N-83-E	-21	−	−	−	−	51	42	−	
SJ13125	V-44	覆口	甕	壺	S-74-W	78	楕円形	187	129	41	60	68	碧玉製管玉１点	
SJ13126	U-44	単棺	−	甕	S-57-E	0	楕円形	178	112	39	−	−	−	
SJ13127	W-44	覆口	甕	甕	S-87-E	58	円形	186	149	50	65	73	−	
SJ13128	U-44	接口	甕	甕	N-49-W	9	−	−	−	−	52	−	−	
SJ13129	W-42	覆口	甕	甕									−	遺構図面なし
SJ13130	W-43	覆口	甕	甕	S-85-E	82	−	−	−	−	53	54	碧玉製管玉１点	
SJ13131	W-44	覆口	甕	壺	N-2-E	61	−	−	−	−	53	51	−	
SJ13132	U-42	単棺	−	甕	N-41-E	4	楕円形	109	92	18	14	−	碧玉製管玉3点（2点実在）	
SJ13133	W-44	単棺	−	甕	S-34-E	60	楕円形	129	99	50	45	71	石鏃２点、碧玉製管玉４点、ガラス玉１点	
SJ13134	W-44	接口	甕	甕	N-76-E	39	隅丸方形	144	116	67	44	73	碧玉製管玉12点、銅釧12点	

表12　13区甕棺墓一覧表(3)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13135	W-44	単棺	−	鉢	S-81-W	−	円形	75	68	27	10	8	碧玉製管玉１点	
SJ13138	U-44	覆口	壺	甕	N-74-E	45	方形	86	70	16	27	31	丸玉１点	
SJ13139	V-44	覆口	甕	鉢	S-84-E	82	方形	116	94	66	21	−	−	
SJ13141	U,V-45	覆口	甕	甕	N-65-W	65	楕円形	141	126	62	61	67	−	
SJ13142	T-45	単棺	甕	−	S-70-E	65	隅丸方形	95	95	9	51	52	−	倒置
SJ13143	U-45	単棺	−	壺	N-72-W	72	円形	83	82	37	15	−	−	
SJ13144	U-45,46	単棺	甕	−	N-59-E	84	隅丸方形	164	123	21	75	−	碧玉製管玉４点	倒置
SJ13145	T-46	単棺	−	甕	−	−	−	−	−	−	19	−	−	
SJ13146	U-46	挿入	壺	甕	N-56-E	61	隅丸方形	181	159	42	41	49	碧玉製管玉41点	
SJ13147	U-45	単棺	−	壺	S-85-E	54	−	−	−	−	11	−	−	
SJ13148	U-42	覆口	甕	甕	N-29-E	44	楕円形	169	141	53	65	92	−	
SJ13149	U,V-45	単棺	−	甕	S-67-E	24	楕円形	109	74	59	−	−	−	
SJ13150	T-45	覆口	甕	壺	N-0-E	57	−	−	−	−	48	−	−	
SJ13151	V-42	接口	鉢	甕	S-67-E	20	隅丸方形	116	−	37	48	82	−	
SJ13152	V-43	単棺	−	甕	N-72-E	31	楕円形	−	−	52	33	71	−	
SJ13153	T-45	覆口	甕	鉢	N-21-W	64	隅丸方形	131	111	43	53	59	−	
SJ13161	W-45	単棺	−	甕	S-82-W	58	−	−	−	−	32	37	−	
SJ13162	X-45	覆口	鉢	壺	S-89-E	57	−	−	−	−	−	−	−	
SJ13164	W-44	単棺	甕	−	S-31-E	90	円形	75	69	69	−	−	棺外から碧玉製管玉２点	倒置
SJ13165	V-43	単棺	壺	−	N-61-W	48	楕円形	136	105	38	22	−	−	倒置
SJ13166	V-43	接口	甕	甕	S-58-E	52	隅丸方形	155	140	32	76	97	−	
SJ13167	T,U-42	覆口	鉢	甕	S-49-W	10	円形	138	118	12	43	49	−	
SJ13182	W-43,44	覆口	甕	甕	N-77-W	68	隅丸方形	137	129	46	71	92	−	
SJ13186	U-46	−	甕	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	−	後世破壊
SJ13190	W-44	覆口	甕	甕	N-85-W	70	円形	118	104	51	41	54	−	
SJ13195	V,W-44	接口	壺	甕	S-86-E	72	円形	142	142	55	40	42	−	
SJ13198	V-45	単棺	−	壺	S-52-E	90	円形	101	96	22	29	−	−	
SJ13199	V-45	−	甕	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	−	後世破壊
SJ13200	V-45	接口	壺	甕	N-42-W	41	楕円形	118	101	24	41	62	碧玉製管玉４点	
SJ13201	U-42,43	覆口	甕	壺	N-35-W	70	楕円形	138	118	45	32	−	−	
SJ13202	U-44	接口	甕	甕	S-80-E	57	楕円形	151	113	27	48	53	−	
SJ13204	V,W-45	接口	壺	甕	N-42-E	45	円形	108	100	26	30	40	−	
SJ13205	W-45	単棺	−	甕	N-34-E	42	円形	135	−	11	49	60	−	
SJ13206	W-45	接口	甕	甕	S-33-W	53	円形	143	102	33	57	69	硬玉製勾玉１点	
SJ13207	W-44	接口	壺	甕	N-20-W	51	隅丸方形	81	77	33	29	31	−	
SJ13209	W-44	接口	壺	甕	N-83-W	58	隅丸方形	110	94	53	37	55	−	
SJ13210	W-44	接口	甕	甕	N-71-W	45	方形	120	118	54	63	81	碧玉製管玉３点	
SJ13213	T-45	接口	鉢	甕	N-83-E	56	楕円形	142	124	53	52	86	−	
SJ13214	T-45	覆口	壺	甕	N-46-E	66	楕円形	99	94	57	46	62	碧玉製管玉９点	
SJ13215	T-44,45	覆口	甕	甕	N-85-E	90	方形	96	−	59	48	52	碧玉製管玉６点	
SJ13220	T-43	?	鉢	甕	S-67-E	56	隅丸方形	133	129	48	44	45	碧玉製管玉５点	
SJ13225	V-45	覆口	甕	甕	S-75-E	34	−	−	−	−	46	70	−	
SJ13228	V-45	覆口	甕	壺	N-90-E	70	−	−	−	−	25	−	−	
SJ13229	V-45	覆口	甕	壺	N-80-E	74	−	−	−	−	28	−	−	
SJ13232	W-45	単棺	−	甕	S-36-E	28	楕円形	132	121	34	20	56	碧玉製管玉20点、硬玉製管玉２点、硬玉製勾玉１点	
SJ13233	W-45	接口	甕	甕	N-79-W	45	楕円形	110	92	64	40	91	碧玉製管玉３点	
SJ13235	W-44	挿入	壺	壺	N-61-E	73	楕円形	−	−	29	24	21	−	

表13　13区甕棺墓一覧表(4)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位(°)	角度(°)	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13236	W-42	接口	甕	甕	N-58-W	19	隅丸方形	141	91	58	23	44	－	
SJ13238	V-45,46	覆口	甕	甕	N-1-W	68	楕円形	154	136	69	64	68	－	
SJ13239	V-46	－	－	壺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	破片のため遺構図面なし
SJ13241	V-46	覆口	甕	甕	S-71-E	68	－	－	－	－	59	73	碧玉製管玉２点	
SJ13242	V-47	覆口	甕	甕	N-85-W	60	楕円形	122	109	26	83	110	－	
SJ13247	T-46	覆口	甕	甕	N-80-E	41	楕円形	121	－	41	31	30	－	
SJ13248	T-47	－	甕	甕	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ST13414で破壊されており遺構図面なし
SJ13249	T-47	覆口	甕	甕	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13250	T-46	単棺	－	甕	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
SJ13253	V-48	覆口	甕	壺	N-34-E	82	隅丸方形	72	69	69	－	－	碧玉製管玉４点	
SJ13254	V-48	覆口	甕	甕	N-78-W	52	－	－	－	13	10	14	－	
SJ13255	V-48	単棺	－	壺	S-38-E	81	－	－	－	－	22	－	－	
SJ13256	V-48	覆口	甕	甕	S-81-W	64	楕円形	127	120	26	64	76	－	
SJ13257	V-48	覆口	甕	壺	N-68-W	63	隅丸方形	135	122	8	54	55	－	
SJ13259	U-47	?	甕	壺	N-75-W	51	－	－	－	－	98	137	青銅製剣先１点	
SJ13260	U-47	覆口	甕	壺	N-70-E	83	円形	73	69	60	－	－	－	
SJ13261	U-47	単棺	甕	－	N-0-W	90	隅丸方形	74	71	72	－	－	－	倒置
SJ13262	U-47	覆口	甕	壺	N-32-W	74	隅丸方形	131	122	41	44	48	－	
SJ13263	U-46	覆口	甕	壺	S-86-E	46	円形	105	99	32	33	37	－	
SJ13264	U,V-47	単棺	甕	－	S-45-E	80	隅丸方形	137	124	29	52	－	－	倒置
SJ13266	V-46	覆口	甕	甕	S-70-E	56	隅丸方形	134	92	26	43	54	－	
SJ13267	V-46	接口	甕	甕	N-19-E	56	楕円形	153	114	12	40	57	－	
SJ13268	V-45	覆口	壺	壺	N-88-E	59	楕円形	133	112	41	25	46	－	
SJ13269	V-45	覆口	甕	壺	S-84-E	68	楕円形	144	122	48	56	64	－	
SJ13270	V-46	覆口	甕	甕	S-70-W	55	隅丸方形	158	139	55	76	94	碧玉製管玉２点	
SJ13271	Y-44	単棺	－	甕	S-73-W	64	－	－	－	－	32	－	－	
SJ13272	V-46	覆口	壺	壺	N-86-E	44	－	－	－	－	38	－	碧玉製管玉２点	
SJ13273	V-46	覆口	甕	甕	S-54-E	61	楕円形	132	105	43	38	47	－	
SJ13274	W-42	単棺	－	壺	N-87-E	34	－	－	－	－	12	－	碧玉製管玉4点（2点実在）	
SJ13275	V-47	覆口	壺	壺	N-23-E	77	円形	111	103	28	23	27	－	
SJ13276	V-46	覆口	?	壺	N-71-E	66	－	－	－	－	31	－	－	
SJ13277	V-46	単棺	－	壺	N-24-E	67	楕円形	110	101	26	24	25	碧玉製管玉３点	
SJ13278	V,W-46	覆口	壺	壺	S-73-E	64	隅丸方形	148	122	64	39	59	－	
SJ13279	V-46	挿入	鉢	甕	S-60-W	52	隅丸方形	107	－	29	39	63	－	
SJ13280	W-46	挿入	甕	壺	S-77-E	85	楕円形	108	97	48	44	－	－	
SJ13281	W-46	接口	壺	壺	S-33-W	84	円形	86	85	69	－	－	－	
SJ13282	W-46	単棺	甕	－	N-80-W	62	五角形	－	132	31	43	37	－	倒置
SJ13283	W-46	覆口	甕	鉢	S-86-E	83	隅丸方形	105	100	55	36	－	碧玉製管玉６点	
SJ13284	V-46	単棺	－	甕	S-85-E	24	方形	127	111	31	19	63	－	
SJ13286	V-45	単棺	－	甕	－	－	－	－	－	－	－	－	－	甕棺？
SJ13287	W-46	単棺	－	甕	N-63-W	36	隅丸方形	137	108	43	42	65	－	
SJ13288	W-46	単棺	－	甕	S-84-W	48	楕円形	108	91	50	19	27	－	
SJ13289	V-46	覆口	壺	甕	N-45-E	57	楕円形	－	－	47	40	48	碧玉製管玉40点	
SJ13290	V-45	覆口	壺	甕	N-47-W	65	－	－	－	－	32	25	－	
SJ13291	W-46	覆口	甕	甕	N-84-W	59	楕円形	178	127	65	55	72	－	
SJ13292	V-45	覆口	壺	壺	N-38-E	77	隅丸方形	137	94	39	36	42	碧玉製管玉２点	
SJ13293	V-45	覆口	甕	壺	N-50-E	53	楕円形	178	149	51	38	30	碧玉製管玉３点	

表14　13区甕棺墓一覧表(5)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13294	W-45	挿入	壺	甕	S-49-W	52	隅丸方形	142	136	−	27	41	碧玉製管玉１点 硬玉製勾玉１点	
SJ13295	V-45	覆口	甕	甕	S-88-W	76	円形	86	82	58	45	47	碧玉製管玉７点	
SJ13296	V-46	覆口	壺	甕	N-89-E	65	隅丸方形	123	109	48	35	47	−	
SJ13297	V-45	単棺	−	甕	N-67-W	66	楕円形	159	118	29	11	27	石剣切先１点	
SJ13298	V-45	接口	壺	壺	N-51-W	75	楕円形	156	−	40	37	48	−	
SJ13299	V-45	単棺	壺	−	S-87-W	85	隅丸方形	−	−	34	28	−	−	倒置
SJ13300	W-46	単棺	−	甕	N-64-E	0	−	−	−	51	−	−	−	
SJ13301	W-46	接口	甕	甕	S-40-E	47	楕円形	82	65	15	29	42	碧玉製管玉２点	
SJ13302	W-45	接口	鉢	甕	N-70-E	51	楕円形	137	116	52	50	77	碧玉製管玉10点 棺外から碧玉製管玉１点	
SJ13303	W-46	覆口	甕	甕	N-68-E	70	隅丸方形	91	83	40	73	75	−	
SJ13304	W-46	単棺	−	壺	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
SJ13305	V-46	挿入	甕	甕	S-88-E	32	−	−	−	−	43	−	−	
SJ13306	V,W-45	単棺	−	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	−	甕棺？
SJ13309	W-45	接口	壺	甕	S-79-W	68	隅丸方形	163	154	34	29	−	−	
SJ13310	V-45	接口	甕	甕	N-64-E	50	円形	148	147	28	40	27	碧玉製管玉19点	
SJ13311	V-45	単棺	−	甕	N-79-E	38	隅丸方形	126	117	35	43	71	−	
SJ13312	V,W-45	覆口	甕	甕	N-64-W	65	−	−	−	45	62	68	硬玉製勾玉１点	
SJ13313	V-45	接口	甕	甕	S-52-W	66	隅丸方形	142	138	63	48	68	碧玉製管玉１点	
SJ13315	V-44	接口	鉢	甕	S-70-E	56	楕円形	158	153	28	68	−	−	
SJ13316	W-45	単棺	−	甕	N-88-W	6	楕円形	163	124	54	−	−	碧玉製管玉６点	
SJ13317	W-45	単棺	−	甕	S-81-W	-6	楕円形	222	126	45	−	−	硬玉製勾玉１点	
SJ13319	V-45	接口	鉢	甕	N-54-E	35	−	−	−	46	20	45	碧玉製管玉29点	
SJ13320	U-42	単棺	−	甕	S-69-E	−	−	143	100	41	−	−	−	
SJ13321	W-45	覆口	甕	甕	S-80-E	62	−	−	−	63	44	52	鉄製品１点 碧玉製管玉８点	
SJ13323	V,W-45	覆口	壺	壺	S-88-E	62	楕円形	167	−	54	43	47	−	
SJ13324	W-45,46	覆口	甕	甕	N-84-E	63	−	−	−	−	−	−	−	
SJ13325	T-42	単棺	−	甕	N-18-E	1	楕円形	167	127	37	11	−	碧玉製管玉４点	
SJ13329	W-45	挿入	甕	甕	S-63-E	53	楕円形	210	160	70	44	52	−	
SJ13330	W-45,46	覆口	甕	甕	N-64-E	51	隅丸方形	149	−	65	48	58	碧玉製管玉３点	
SJ13335	T-42	覆口	壺	壺	N-5-E	63	隅丸方形	143	114	29	24	28	碧玉製管玉４点	
SJ13336	W-45	覆口	甕	甕	N-70-E	71	方形	122	101	107	−	−	碧玉製管玉７点	
SJ13337	Y-45	単棺	−	甕	S-56-W	0	楕円形	144	123	41	−	−	−	
SJ13338	X-45	単棺	−	甕	N-81-W	−	楕円形	151	115	23	−	−	−	
SJ13340	X-46	単棺	−	甕	N-87-W	50	−	−	−	127	−	−	−	
SJ13341	X-46	単棺	−	甕	S-80-E	−	楕円形	110	99	49	−	−	−	
SJ13343	X,Y-45	単棺	−	甕	S-81-W	15	楕円形	127	79	8	−	−	碧玉製管玉５点	
SJ13344	X-46	接口	壺	甕	S-78-E	51	隅丸方形	159	133	42	46	60	−	
SJ13347	X-46	覆口	甕	壺	N-69-W	76	五角形	183	155	45	42	49	−	
SJ13348	W,X-46	覆口	甕	甕	S-70-W	87	楕円形	216	177	56	43	−	−	
SJ13354	X,Y-49	覆口	甕	甕	S-54-E	73	−	−	−	−	64	−	−	
SJ13355	X-49	覆口	？	甕	N-55-W	66	−	−	−	−	51	−	碧玉製管玉２点	
SJ13356	V-45	覆口	壺	壺	S-89-E	67	−	−	−	−	69	−	−	
SJ13357	W-45	接口	鉢	甕	N-45-W	48	円形	129	118	69	38	47	−	
SJ13361	U-44	接口	甕	甕	N-72-E	57	楕円形	146	129	75	22	46	−	
SJ13365	V-43	接口	鉢	甕	S-65-W	65	楕円形	190	150	46	40	45	−	
SJ13370	X-47	覆口	甕	壺	S-75-E	77	楕円形	210	192	26	83	−	−	
SJ13379	U-42	接口	鉢	甕	S-69-E	38	隅丸方形	138	135	39	61	85	碧玉製管玉６点	

表15　13区甕棺墓一覧表(6)

遺構番号	Gr	甕棺形式			棺の埋置		1次墓坑				2次墓坑		副葬品	備　考
		合わせ口	上甕	下甕	主軸方位（°）	角度（°）	平面形	規模（cm）			規模（cm）			
								長軸	短軸	深さ	深さ	奥行		
SJ13381	W,X-46	覆口	甕	壺	S-61-E	69	円形	156	143	50	29	−	−	
SJ13382	W-46	単棺	壺	−	−	−	楕円形	112	111	31	23	−	−	
SJ13383	W-46	単棺	−	甕	S-50-E	10	−	−	−	69	−	−	−	
SJ13384	W-46	接口	壺	甕	N-82-E	61	楕円形	194	170	73	55	77	碧玉製管玉３点	
SJ13386	V-47	接口	壺	壺	S-46-E	27	円形	166	164	27	33	−	−	
SJ13388	V-45	接口	甕	甕	S-85-E	55	楕円形	130	102	31	73	95	−	
SJ13389	T-47	−	−	甕	−	−	−	−	−	−	−	−	−	遺構図面なし
SJ13390	W-50	覆口	甕	甕	N-87-E	55	隅丸方形	155	142	45	64	78	鉄製品１点	
SJ13391	W-50	接口	甕	壺	N-88-E	73	楕円形	205	−	42	35	−	碧玉製管玉８点 黒曜石１点	
SJ13392	X-50	単棺	−	甕	N-70-W	64	−	−	−	−	26	−	−	
SJ13393	X-51	覆口	甕	壺	S-69-W	85	円形	79	79	51	−	−	−	
SJ13394	W-49	覆口	甕	壺	N-49-W	75	隅丸方形	97	94	51	34	−	管玉１点（実在せず）	
SJ13395	X-50	覆口	甕	壺	S-66-W	56	−	−	−	34	40	−	碧玉製管玉８点	
SJ13396	Y-50	覆口	甕	甕	N-43-E	65	楕円形	−	−	5	64	68	碧玉製管玉２点	
SJ13397	U-46	挿入	鉢	甕	N-69-W	65	楕円形	149	132	41	44	43	−	
SJ13400	V-50	覆口	甕	甕	S-74-W	69	−	−	−	−	−	−	碧玉製管玉５点 鉄製品１点	
SJ13413	W,X-46	接口	壺	甕	N-64-W	65	楕円形	192	177	48	58	72	−	
SJ13417	T-48	単棺	−	甕	S-86-E	55	−	−	−	−	−	−	碧玉製管玉10点、 アマゾナイト製丸玉１点	
SJ13421	S,T-48	接口	甕	甕	N-58-E	14	楕円形	177	142	11	20	−	碧玉製管玉２点	
SJ13422	T-49	単棺	−	壺	N-58-E	56	−	−	−	−	−	−	−	

表16　11区甕棺一覧表(1)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内 外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内 口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
86-1	SJ11045	単棺	広口壺	ほぼ完形	29.15	41.6	10.9	48.75	にぶい黄橙色 灰黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ	ナデ			03001753
〃-2	SJ11083	上	鉢	1/2残	23.7 31.2		10.4	16.8	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ 一部工具痕	ナデ・一部 指頭圧痕			04000054
〃-3	SJ11083	下	甕	口縁～底部	19.5 26.8	24.7		(29.6)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・ 一部黒斑	ナデ		穿孔１	04000055
〃-4	SJ11090	単棺	広口壺	頸部～底部		37.7	9.3	(31.55)	明赤褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ 一部黒斑	ナデ・一部 指頭圧痕		穿孔１	04000060
〃-5	SJ11104	単棺	甕	完形	28.15	36.8	10.1	44.6	褐色 黄褐色	砂粒を多く含む		良	ナデ・ハケ・ 一部黒斑	ナデ			03000265
〃-6	SJ11213	単棺	袋状口縁壺	ほぼ完形	16.5	33.0	8.7	40.0	赤褐色	砂粒をわずかに含む		良	ナデ・ハケ・ ヘラミガキ・ 暗文	ヘラミガキ・ 指頭圧痕		穿孔２	03000264
〃-7	SJ11221	単棺	広口壺	1/3残	(31.3)	48.7		29.7	にぶい 赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	暗文・ ヘラミガキ・ 一部黒斑	ナデ・ミガキ・ スス付着			04000063

表17　11区甕棺一覧表(2)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
86-8	SJ11222		甕	ほぼ完形	26.0		6.8	32.3	橙色 明褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・ススス付着	ナデ			03000263
〃-9	SJ11223	単棺	甕	完形	24.8	53.2	9.9	43.7	橙色	8㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			03000262
〃-10	SJ11224	単棺	甕	5/6残	20.3 31.8	53.3	10.3	64.4	にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり		ナデ・一部黒斑				03000336
〃-11	SJ11225		広口壺	頸部～底部		45.0	10.1	(33.0)	赤褐色 浅黄色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ	ナデ・一部黒斑			04000052
〃-12	SJ11226		甕	口縁～胴部	38.9			(12.8)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ハケ・ナデ			04000053
87-13	SJ11227	単棺	甕	1/2残	(28.8)	(45.3)	1.4	47.3					ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ			03000266
〃-14	SJ11235	上	広口壺	胴上部～底部			10.2	(44.9)	橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ 黒塗り	ナデ		穿孔1	04002242
〃-15	SJ11235	下	甕		42.0	53.7	10.4	64.0	黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ	ナデ・一部指頭圧痕			03002416
〃-16	SJ11237	上	甕	胴上部～底部			9.8	(47.95)	橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部工具痕・黒斑	ナデ・一部工具痕	あり		04000046
〃-17	SJ11237	下	甕	ほぼ完形	22.7 29.05		7.75	33.8	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ			04000056
〃-18	SJ11239	上	甕		(37.8)	(67.7)		(90.6)	黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ	ナデ・一部工具痕			04000044
〃-19	SJ11239	下	甕			63.8		(74.9)	灰黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ	ナデ・一部指頭圧痕			04000034
〃-20	SJ11240	上	甕	ほぼ完形	48.2	54.0		69.1	黄褐色 灰黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ	ナデ・一部指頭圧痕			03002413
〃-21	SJ11240	下	甕	ほぼ完形		51.3		(53.6)	黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ		あり		03002414
88-22	SJ11241	上	甕	完形	37.2		9.3	45.33	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			04000049
〃-23	SJ11241	下	甕	完形	37.9		9.0	46.3	明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			04000047
〃-24	SJ11242	単棺	甕	底部欠損		47.8	9.5	(60.4)	にぶい橙色 橙色	砂粒少量含む			ハケ	ナデ・一部工具痕			04000015
〃-25	SJ11247	上	甕	ほぼ完形	67.1	67.3	10.0	86.1	黄褐色 黒褐色	5㎜以下の砂粒を含む			ナデ・ハケ・一部工具痕	ナデ・ヘラケズリ・一部工具痕			04000017
〃-26	SJ11247	下	甕	底部欠損	48.6	53.2		(61.2)	灰黄褐色 黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ			04000016
〃-27	SJ11249	上	甕	ほぼ完形	67.5	66.3		85.4	明赤褐色	砂粒少量含む			ナデ	ナデ			04002258
〃-28	SJ11249	下	甕	ほぼ完形	60.6	64.3		93.1	淡黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ			04002259
〃-29	SJ11259		広口壺	胴部～底部			8.5	(29.0)	橙色 黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・ミガキ	ナデ			04000064
89-30	SJ11265	上1	甕	口縁～胴上部	23.7 35.0				橙色 橙色	1～3㎜の砂粒を含む		良	ナデ・黒斑あり	ナデ			03000335
〃-31	SJ11265	上2	甕	口縁～胴上部	30.8 45.5	66.7		(57.95)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部工具痕・黒斑	ナデ・一部工具痕	あり		03000338
〃-32	SJ11265	下	甕	胴上部～底部			11.8	(81.7)	明赤褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ・ハケ・一部工具痕・黒斑	ナデ・一部工具痕・ススス付着	あり		03000337

表18　11区甕棺一覧表(3)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
89-33	SJ11269上	上	広口壺	ほぼ完形	29.5		6.15	33.6	明褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり		ナデ・ミガキ・暗文・黒塗り	ミガキ・指頭圧痕			04000058
〃-34	SJ11269	下	広口壺	胴部～底部			8.6	(39.85)	にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部黒斑・黒塗り・赤色顔料	ナデ			04002247
〃-35	SJ11270	単棺	広口壺	1/2残	60.6	11.2	46.9		褐灰色 褐色	4㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ			03002417
〃-36	SJ11271	単棺	甕		51.8 67.2		13.6	93.0	黄橙色 橙色	5㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部工具痕・黒塗り	ナデ・一部工具痕・黒塗り	・		03001379
〃-37	SJ11274	上	甕	底部欠く				(67.5)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部工具痕・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕・黒斑		穿孔１	03001380
〃-38	SJ11274	下	甕	ほぼ完形	48.0 61.5		11.7	89.1	橙色	5㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部工具痕・黒斑	ナデ・一部工具痕			03001381
90-39	SJ11275	上	甕	胴部～底部			10.4	(46.5)	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ			04000048
〃-40	SJ11275	下	甕	ほぼ完形		10.8	54.4		明黄褐色	4㎜以下の砂粒を含む			ナデ・ハケ	ナデ・一部工具痕	あり	穿孔１	04000050
〃-41	SJ11277	単棺	甕	完形	41.2	60.2	10.5	69.45	橙色	5㎜以下の砂粒を含む			ハケ・ナデ・一部黒斑・赤彩	ナデ・一部工具痕			03001382
〃-42	SJ11280	上	甕	胴部～底部		54.8	10.95	(47.3)	にぶい橙色 橙色	4㎜以下の砂粒を含む			ハケ・ナデ・一部工具痕・黒斑	ナデ			03001383
〃-43	SJ11280	下	甕	1/3残				(77.6)	浅黄色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む			ハケ・ナデ・一部工具痕・黒斑	ナデ・一部工具痕			03001384
〃-44	SJ11281	上	甕	ほぼ完形			11.5	(60.6)	明赤褐色 赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む			ナデ・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕			03001385
〃-45	SJ11281	下	甕	ほぼ完形	51.8 65.8	59.4	12.5	90.65	黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり		ナデ・一部黒斑			穿孔1	03001386
〃-46	SJ11286	上	甕	胴部～底部		47.4	10.5	(52.6)	明赤褐色 黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む			ハケ・ナデ・一部黒斑・ケズリ	ナデ		穿孔1	03001387
〃-47	SJ11286	下	甕				9.8	(58.7)	橙色	5㎜以下の砂粒を含む			ハケ・ナデ・一部黒斑・ス ス付着	ナデ・一部工具痕・黒斑	あり		03001388
91-48	SJ11287		甕？	底部のみ			10.8	(15.3)	黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕			04000057
〃-49	SJ11288	上	甕					(69.9)	淡灰黄褐色 淡褐色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			04002256
〃-50	SJ11288	下	甕		(64.0)	60.0		(66.5)	淡黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ・一部工具痕			04002257
〃-51	SJ11289	上	甕	口縁～胴上部				(22.6)	黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			04000100
〃-52	SJ11289	下	甕		(63.7)	(55.9)	(9.8)	87.9	赤褐色	4㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ			04000068
〃-53	SJ11290	上	甕		(64.5)	66.0		(59.9)	黄褐色	砂粒少量含む		良	ナデ	ナデ			03002418
〃-54	SJ11290	下	甕		51.7			79.7	明黄褐色	6㎜以下の砂粒を含む			ナデ	ナデ			04000014
〃-55	SJ11294	単棺	甕	胴部～底部		63.5	12.4		赤褐色	砂粒少量含む							03002415

表19　13区甕棺一覧表(1)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内 外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内 口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
92-1	SJ13001	上	広口壺	胴部		54.0		48.0	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		04003326
〃-2	SJ13001	下	甕	ほぼ完形	63.0		11.0	85.25	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・工具痕	ナデ・工具痕	あり		04003327
〃-3	SJ13003	上	鉢	底部欠損	50.9 65.25			(35.2)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒斑	ナデ	あり		04003328
〃-4	SJ13003	下	甕	口縁・底部欠損		64.5	(13.15)	83.5	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ	ナデ・黒塗り	あり		04003329
〃-5	SJ13004	単棺	甕	1/2残	57.0 69.3		13.1	96.85	にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ・一部黒斑			04003330
〃-6	SJ13005	上	広口壺	胴部		44.8		(19.8)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ	あり		04003331
〃-7	SJ13005	下	広口壺	胴部～底部		51.8	10.1	(45.4)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕	あり		04003332
93-8	SJ13006	上	甕	3/4残底部欠損	61.1			(75.25)	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		04003333
〃-9	SJ13006	下	甕	2/3残底部欠損	51.2	58.4		66.7	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・黒斑	ナデ	あり		04003334
〃-10	SJ13007	単棺	甕	3/4残	50.0 63.2	69.0	11.5	88.65	にぶい黄色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			04003335
〃-11	SJ13009	上（北）	甕	2/3残底部欠損	55.2	69.0		73.35	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ・一部工具痕		穿孔1	04003336
〃-12	SJ13009	下（南）	甕	口縁～胴部1/2残	(34.3)	54.0		(29.5)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・一部黒斑	ナデ・工具痕・指頭圧痕			04003337
〃-13	SJ13011	上	甕	口縁～胴部	26.5	51.6		12.4 25.6	橙色 明赤褐色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・タタキ・赤色顔料	ナデ・赤色顔料		銅矛出土	07001932
〃-14	SJ13011	下	甕	胴部～底部		60.7	11.5	(69.75)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05000679
〃-15	SJ13012	上	甕	口縁～胴部1/2残	66.7	65.5		(65.7)	黄白色 黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ			04003347
〃-16	SJ13012	下	広口壺	胴部～底部		50.7	9.6	(36.2)	橙色 浅黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕	あり		05000616
〃-17	SJ13013	上	甕	口縁～胴部	43.0 53.75	56.8		(68.7)	明赤褐色 にぶい橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ・黒塗り			06002830
〃-18	SJ13013	下	甕	1/2残	57.0	59.6	9.9	76.85	にぶい黄色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ			04003272
94-19	SJ13014	上	甕	2/3残	55.9	57.9	9.6	77.3	にぶい黄橙色 浅黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001720
〃-20	SJ13014	下	甕	ほぼ完形	45.55	52.4	11.7	77.65	黒色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	内外口縁	穿孔1	04003273
〃-21	SJ13015	上	甕	口縁～胴部	58.2	60.1		(64.0)	にぶい褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05000671
〃-22	SJ13015	下	甕	胴部～底部		47.6	9.05	49.8	橙色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・一部黒斑	ナデ・一部工具痕	あり		04003310
〃-23	SJ13046	単棺	甕	胴部～底部		58.1	10.8	(70.0)	黄白色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・一部黒斑	ナデ	あり		04003348

表20　13区甕棺一覧表(2)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
94-24	SJ13048	単棺	甕？	胴部～底部		60.5	11.5	(50.6)	にぶい黄橙色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		06002875
〃-25	SJ13049	単棺	甕	口縁～胴部	44.9 56.6	57.3		(62.4)	にぶい黄橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ			06000084
〃-26	SJ13050	単棺	甕	ほぼ完形	45.4 57.2	55.0		85.0	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ			05000767
95-27	SJ13052	単棺	甕	口縁～底部一部欠損	49.0 61.2	59.7	(11.6)	88.05	灰黄褐色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・黒塗り			07001897
〃-28	SJ13059	単棺	甕	ほぼ完形	50.0 63.8	62.7	11.8	88.4	明黄褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・黒塗り・工具痕	ナデ・黒塗り・一部黒斑・指頭圧痕		人骨写真	05000768
〃-29	SJ13060	単棺	甕	ほぼ完形	43.8 58.2	58.5	12.9	89.9	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕・黒塗り			04003324
〃-30	SJ13061	単棺	甕	ほぼ完形	41.7 58.2	55.4	12.7	85.7	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕・黒塗り・工具痕			04003321
〃-31	SJ13062	単棺	甕	胴部		70.0		(65.3)	にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001646
〃-32	SJ13065	上	甕	口縁～胴部	45.4 58.35	59.6		(63.8)	橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・黒塗り	ナデ			06002926
〃-33	SJ13065	下	広口壺	胴部～底部		45.4	10.6	(33.1)	にぶい黄橙色 黒褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・暗文・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑	あり		06002993
〃-34	SJ13066	上	広口壺	胴部1/2残		67.2		(35.2)	にぶい橙色 黒褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			07002042
〃-35	SJ13066	下	広口壺	胴部～底部	(29.0)	44.3	8.2	(41.0)	橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒斑・黒塗り		あり		07001859
〃-36	SJ13067	単棺	広口壺	胴部～底部		32.9	7.9	(30.0)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	あり		06002839
96-37	SJ13068	上	甕	ほぼ完形	54.2	56.0	8.4	77.7	淡赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・スス付着	ナデ			04003349
〃-38	SJ13068	下	甕	底部欠損	38.0 48.1	52.5		(62.4)	にぶい褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			06002816
〃-39	SJ13069	単棺	甕	底部	(42.9)		9.0	(22.7)	にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ			穿孔２	07001889
〃-40	SJ13070	単棺	甕	口縁底部	(44.0)			(11.0) (26.0)		6㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ハケ・ナデ			07001887
〃-41	SJ13071	単棺	甕	頸部～底部		53.0	(9.2)	(76.5)	明黄橙色 橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ	ナデ			07001891
〃-42	SJ13072	単棺	甕	胴部～底部		52.4	9.4	(54.5)	浅黄色 にぶい黄色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・一部黒斑・黒塗り	ナデ・ハケ・工具痕			05000758
〃-43	SJ13073	単棺	甕	胴部～底部		59.2	11.6	(42.25)	にぶい黄橙色 橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕		人骨写真	06003884
〃-44	SJ13074	単棺	甕	頸部～底部	(43.0)	57.3	10.0	(70.2)	浅黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ	ハケ・ナデ		穿孔１	07001878

表21　13区甕棺一覧表(3)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径 外	胴径	底径	器高 （　）は残存高					外器面	内器面			
96-45	SJ13075	単棺	甕	胴部～底部 1/3残		64.05	10.0	63.4	赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			06000162
97-46	SJ13077	単棺	甕	胴部～底部		57.6	(10.6)	(48.5)	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒斑・赤色顔料	ナデ・赤色顔料・黒塗り			07002043
〃-47	SJ13078	単棺	甕	口縁胴部	(49.2) (61.4)	66.0		23.9 13.5+31.0	明褐色 黒色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・赤色顔料			07002050
〃-48	SJ13079	単棺	甕	底部		(48.0)	10.55	(28.65)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			07001877
〃-49	SJ13080	単棺	甕	口縁欠損	(53.8)	59.4	10.6	77.45	にぶい黄橙色 明赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06002927
〃-50	SJ13081	上	甕	ほぼ完形	54.0	55.5	9.5	73.8	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	内口縁		06000085
〃-51	SJ13081	下	広口壺	胴部～底部		50.4	10.0	(48.7)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05000709
〃-52	SJ13082	単棺	甕	胴部～底部		67.9	11.0	(68.7)	橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・赤色顔料・黒塗り	ナデ	あり	管玉写真	06002877
〃-53	SJ13083	上	広口壺	胴部～底部		51.0	11.6	(46.25)	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり	勾玉写真	05000769
〃-54	SJ13083	下	鉢	ほぼ完形	48.5 58.8		10.5	44.8	にぶい橙色 浅黄色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			05001721
98-55	SJ13084	上	広口壺	胴部～底部		50.0	9.5	(44.3)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕	あり		06002869
〃-56	SJ13084	下	甕	胴部～底部		49.8	8.9	(54.9)	橙色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕	あり	穿孔1	05000759
〃-57	SJ13085	上	甕	ほぼ完形	60.8	60.4	10.8	88.3	にぶい黄色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06000163
〃-58	SJ13085	下	広口壺	胴部～底部		47.7	9.8	32.3	明赤褐色 明黄褐色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕	あり		06000164
〃-59	SJ13088	上	広口壺	胴部～底部	(23.2)	43.6	9.3	(37.3)	にぶい褐色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		07001860
〃-60	SJ13088	下	広口壺	胴部	(18.6)	40.2		(37.5)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		07001888
〃-61	SJ13089	上	鉢	5/6残	44.0	40.0	9.5	30.0	橙色 淡橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・ハケ			07001866
〃-62	SJ13089	下	広口壺	胴部～底部	(27.2)	41.2	8.6	(33.2)	褐灰色 橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部工具痕・黒塗り	ナデ・赤色顔料後黒塗り	あり		07001862
99-63	SJ13090	単棺	甕	2/3残 底部欠損	50.2 61.0			(69.8)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕			06002829
〃-64	SJ13091	上	広口壺		(35.3)	(45.5)		(18.0)	にぶい黄橙色 黒褐色	3㎜以下の砂粒を含む			ナデ・ミガキ	ナデ	あり		07001882
〃-65	SJ13091	下	広口壺	頸部～底部	26.8	42.5	9.3	(40.1)	橙色 黄褐色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		07001880
〃-66	SJ13092	上	広口壺	胴部～底部		53.5	10.9	(48.9)	橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕	あり		05000771
〃-67	SJ13092	下	甕	ほぼ完形	49.0 65.4	71.1	13.5	91.3	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ			05000772

表22　13区甕棺一覧表(4)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
99-68	SJ13093	単棺	甕	ほぼ完形	57.6	58.8	9.8	76.85	浅黄橙色 黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・赤彩・一部工具痕	ナデ・赤彩	内口縁		04003274
〃-69	SJ13095	単棺	甕	胴部～底部		46.7	10.3	(47.4)	明褐色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕		穿孔１	05000710
〃-70	SJ13096	単棺	甕	ほぼ完形	51.1 64.0		12.8	(95.7)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕			04003322
〃-71	SJ13097	上	甕	2/3残	57.5	65.1	10.9	76.25	浅黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕	内口縁		04003323
〃-72	SJ13097	下	甕	胴部～底部		50.1	9.5	55.8	明褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕・赤色顔料・黒塗り	あり		04003320
100-73	SJ13098	単棺	甕	胴部～底部			12.8	(40.1)									07001929
〃-74	SJ13099	単棺	甕	胴部～底部		66.6	12.7	79.3	にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			05000684
〃-75	SJ13101	単棺	甕	胴部～底部	(54.4) (71.0)		(11.5)	95.8	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕			04003325
〃-76	SJ13102	上	甕	1/3残	(46.2) (60.0)	(65.0)	11.1	89.8	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・赤色顔料・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002831
〃-77	SJ13102	下	甕	1/4残	(66.2)	(64.0)	(10.3)	(83.5)	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06002832
101-78	SJ13103	単棺	甕	胴部～底部 1/4残		(60.0)	11.65	(70.6)	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒斑		穿孔２	06002813
〃-79	SJ13104	単棺	甕	口縁～胴部 1/6残	(58.2)	(65.6)	13.0	77.5	にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		06003878
〃-80	SJ13106	単棺	甕	胴部～底部		65.1	12.5	55.3	明黄褐色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒斑			06002815
〃-81	SJ13107	単棺	甕	胴部～底部		(46.0)	12.0	(34.7)	にぶい黄橙色 にぶい赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ			07002044
〃-82	SJ13108	上	広口壺	胴部～底部		42.9	9.35	28.2	にぶい褐色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・赤色顔料	あり		06002994
〃-83	SJ13108	下	甕	ほぼ完形	54.1		13.7	70.5	にぶい黄橙色 灰褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り		口縁刻み目	06003804
〃-84	SJ13109	単棺	甕	4/5残	61.7 75.5	67.8	12.3	99.7	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒斑	ナデ・工具痕			06002928
〃-85	SJ13110	単棺	広口壺	胴部～底部	(36.3)	42.0	11.1	(32.1)	橙色 明黄褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・工具痕・黒塗り	ナデ	あり		07001863
102-86	SJ13111	上	甕	ほぼ完形	53.8	57.0	11.5	73.0	にぶい橙色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・工具痕	ナデ			04003275
〃-87	SJ13111	下	甕	1/2残	55.7	54.8	11.2	78.65	浅黄色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒斑・工具痕	ナデ			04003276

表23　13区甕棺一覧表(5)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
102-88	SJ13112	単棺	甕	胴部～底部		56.6	11.6	50.3	茶褐色 黒茶褐色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ		銅釧写真	04002296
〃-89	SJ13114	単棺	甕	胴部～底部		37.0	8.6	45.0	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			06003881
〃-90	SJ13116	上	甕	胴部～底部	40.2	(46.6)		(46.0)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり	穿孔1	07001874
〃-91	SJ13116	下	甕	2/3残	49.1 60.1	59.4	10.5	75.8	明褐灰色 にぶい黄橙色	5㎜以下の砂粒を含む		不良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000681
〃-92	SJ13118	単棺	甕	胴部～底部	39.6	55.0	11.6	(56.8)	橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり	管玉写真	07001873
〃-93	SJ13119	単棺	甕	胴部～底部		55.4	9.8	40.0	橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・工具痕			06003801
〃-94	SJ13122	単棺	甕	ほぼ完形	45.1 56.3	62.4	10.7	(78.7)	にぶい褐色 にぶい黄色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003877
103-95	SJ13123	上	甕	底部欠損	55.9	58.2		(74.7)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部黒斑	内口縁		05000773
〃-96	SJ13123	下	甕	胴部～底部		50.7	8.75	63.6	にぶい黄橙色 明黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部黒斑・指頭圧痕			05000774
〃-97	SJ13124	単棺	甕	口縁～胴部	53.4 65.5	63.4		(72.3)	にぶい橙色 浅黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002929
〃-98	SJ13125	上	甕	ほぼ完形	45.9	51.8	10.5		にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑・工具痕	内口縁		05000676
〃-99	SJ13125	下	広口壺	口縁胴部～底部		49.7	10.0	(15.5) (34.5)	明黄褐色 浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕	あり		05000692
〃-100	SJ13126	単棺	甕	2/3残	56.2 67.2	66.8	11.3	84.8	橙色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ	ナデ・一部指頭圧痕			05000775
〃-101	SJ13127	上	甕	胴中位欠損	42.0 52.5	55.1	11.3	(15.75) (55.5)	にぶい黄橙色 灰黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑	あり		05001678
〃-102	SJ13127	下	甕	ほぼ完形口縁欠損		58.7	9.4	78.3	浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕	あり		05001679
104-103	SJ13128	上	甕	3/4残	53.1 62.5	62.3	9.5	83.2	浅黄色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06000165
〃-104	SJ13128	下	甕	2/3残	49.0 59.4	60.7	10.3	84.0	にぶい褐色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06000166
〃-105	SJ13129	上	甕	頸部～胴部		43.4		35.25	明黄褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・一部黒斑・黒塗り	ハケ・ナデ・指頭圧痕			07001926
〃-106	SJ13129	下	甕	頸部～胴部1/3残		46.8		45.75	にぶい橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒斑・黒塗り・赤色顔料	ナデ			07001927
〃-107	SJ13130	上	甕	口縁～胴部	42.8 53.6	57.5		(40.2)	橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003814
〃-108	SJ13130	下	甕	胴部～底部		42.6	9.9	(44.6)	灰色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り		穿孔1	06003000

表24　13区甕棺一覧表(6)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
104-109	SJ13131	上	甕	1/2残 底部欠損	41.4 52.8	53.3		(78.35)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002930
〃-110	SJ13131	下	広口壺	胴部～底部		43.9	9.3	(34.25)	橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・一部指頭圧痕			06002995
〃-111	SJ13132	単棺	甕	ほぼ完形	45.2 56.4	61.1	10.5	75.95	橙色 明黄褐色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕			05000776
105-112	SJ13133	単棺	甕	1/3残	53.85 67.4	65.1	11.2	100.0	にぶい橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ﾅﾃﾞ･ﾊｹ･一部黒斑・工具痕	ナデ・一部指頭圧痕・工具痕			05001680
〃-113	SJ13134	上	甕	口縁～胴部	(66.0)	66.0		83.0	淡灰黄褐色 黄褐色	6㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ		穿孔１	04002260
〃-114	SJ13134	下	甕	口縁～胴部	66.0	58.4		(84.7)	灰褐色 淡黄褐色	微細粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ			04002261
〃-115	SJ13135	単棺	鉢	胴部一部欠損	49.8	48.3	12.6	41.3	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ﾅﾃﾞ･ﾊｹ･一部黒斑	ナデ・黒塗り			07001870
〃-116	SJ13138	上	広口壺	胴部～底部 1/6残		38.4	(8.4)	(26.8)	にぶい褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り		玉製品写真	07002034
〃-117	SJ13138	下	甕	4/5残	37.8	47.0	10.0	52.6	にぶい黄橙色 浅黄橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	内口縁		06000086
106-118	SJ13139	上	甕	ほぼ完形	49.7 62.3	66.9	9.8	86.4	橙色 黒褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002827
〃-119	SJ13139	下	鉢	ほぼ完形	48.9		9.4	31.5	橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ﾅﾃﾞ･ﾊｹ･一部黒斑	ナデ・一部黒斑・工具痕			04003311
〃-120	SJ13141	上	甕	胴部～底部		64.2	8.8	73.7	橙色 浅黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000683
〃-121	SJ13141	下	甕	ほぼ完形	51.4 57.0		10.1	79.2	にぶい黄橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑・赤彩	ナデ・一部黒斑・赤彩			04003277
〃-122	SJ13142	単棺	甕	口縁～胴部	56.4 68.4	71.3		(62.3)	にぶい橙	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ			06003812
〃-123	SJ13143	単棺	壺	胴部～底部	(24.3)	43.7	12.8	(37.6)	橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ﾐｶﾞｷ･ﾅﾃﾞ･黒塗り	ナデ			07001857
〃-124	SJ13144	単棺	甕	口縁～胴部	57.0	59.2		(84.3)	黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05000629
107-125	SJ13145	単棺	甕	胴部～底部 2/3残		43.7	7.3	56.8	浅黄橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り		穿孔１	06003887
〃-126	SJ13146	上	広口壺	胴部～底部		41.0	10.3	31.1	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			05000682
〃-127	SJ13146	下	甕	胴部～底部		59.7	11.1	68.4	にぶい橙色 浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部ｽｽ付着	ナデ	あり		05000614
〃-128	SJ13147	単棺	壺	胴部～底部		47.4	12.7	(40.7)	にぶい黄橙色 にぶい黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り				07001934
〃-129	SJ13148	上	甕	完形	57.6 71.1	68.1	10.2	93.35	にぶい橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			06000087
〃-130	SJ13148	下	甕	ほぼ完形	(54.7)	58.9	10.8	76.7	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	口縁内外		06000167
〃-131	SJ13149	単棺	甕	ほぼ完形	54.6	63.4	13.8	45.7	橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ﾅﾃﾞ･ﾐｶﾞｷ･黒塗り・一部黒斑	ナデ		穿孔１	05001722

表25　13区甕棺一覧表(7)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
108-132	SJ13150	上	甕	胴部		43.6		31.3	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑・工具痕			06002863
〃-133	SJ13150	下	広口壺	胴部～底部		43.5	9.0	35.8	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・工具痕	ナデ・一部指頭圧痕・赤彩			06000168
〃-134	SJ13151	上	鉢	ほぼ完形	49.45 64.5		12.5	42.7	橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ			05000618
〃-135	SJ13151	下	甕	ほぼ完形	61.45 12.2	69.2	12.2	96.5	にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部黒斑			05000777
〃-136	SJ13152	単棺	甕	完形	62.1	61.5	12.25	96.5	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り		穿孔1	04003278
〃-137	SJ13153	上	甕	ほぼ完形	57.85		10.6	80.25	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	内口縁		06002812
〃-138	SJ13153	下	鉢	ほぼ完形 底部欠損	42.5			32.9	浅黄色 黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			04003238
109-139	SJ13161	単棺	甕				12.8	(60.1)	浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒斑 黒塗り	ナデ・黒斑			07001898
〃-140	SJ13162	上	鉢		(49.0)			(23.8)	橙色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ	ナデ			07002037
〃-141	SJ13162	下	広口壺	胴部～底部 1/4残		(40.0)	9.2	(24.5)	浅黄色 明褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ミガキ・黒塗り	ナデ			07002035
〃-142	SJ13164	単棺	甕	ほぼ完形	51.2	52.5	9.1	70.6	橙色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	内口縁		06002931
〃-143	SJ13165	単棺	広口壺	胴部～底部		44.0	8.9	(38.7)	にぶい橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06003864
〃-144	SJ13166	上	甕	ほぼ完形	48.9	55.1	9.7	72.4	赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ	内口縁		05000609
〃-145	SJ13166	下	甕	胴部～底部		53.1	11.0	58.3	にぶい黄橙色 浅黄色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ナデ	あり		06002821
110-146	SJ13167	上	鉢	ほぼ完形	52.75 64.7		12.0	45.6	橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06000169
〃-147	SJ13167	下	甕	ほぼ完形	42.6	54.0	11.2	61.6	にぶい橙色 灰白色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	内口縁		05000619
〃-148	SJ13182	上	甕	ほぼ完形	63.5	63.3	(12.4)	83.1	橙色 明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・一部黒斑	ナデ	あり		06002822
〃-149	SJ13182	下	甕	ほぼ完形	45.9	60.3	11.8	78.6	にぶい黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	外口縁		06002823
〃-150	SJ13186	上	甕	胴部～底部 1/4残		63.7	17.0	(59.3)	橙色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒斑・黒塗り	ナデ・黒塗り			07001899
〃-151	SJ13186	下	甕	胴部～底部	59.25	59.55	11.75	(45.2)	にぶい黄橙色 明赤褐色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ	ナデ			07001875
111-152	SJ13190	上	甕	1/2残	42.2 55.6	60.8	(11.2)	86.5	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・一部工具痕			07001900

表26　13区甕棺一覧表(8)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
111-153	(SJ13190)	中	甕	口縁	43.0		7.8		にぶい黄橙色 橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部工具痕	外口縁		05001681
〃-153	SJ13190	下	甕	胴部～底部		56.7	10.4	72.3	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・ケズリ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑	あり		05001681
〃-154	SJ13195	上	広口壺	胴部～底部		51.8	10.4	40.0	にぶい黄橙色 橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		05001682
〃-155	SJ13195	下	甕	ほぼ完形	42.1 52.7	53.9	10.3	64.0	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06002932
〃-156	SJ13198	下	広口壺	胴部～底部		52.8	8.9	41.1	明赤褐色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06003866
〃-157	SJ13199-1		甕	口縁～胴部	22.55 32.75	47.4		21.7	明黄褐色 にぶい赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ			06003883
〃-158	SJ13199-2		甕	口縁～胴部	(72.0)	75.4		(31.2)	にぶい橙色 褐灰色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			07002045
112-159	SJ13200	上	広口壺	胴部～底部		46.0	11.5	41.6	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ	あり		06002862
〃-160	SJ13200	下	甕	ほぼ完形	46.7	56.6	12.5	86.5	明赤褐色 明褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ	内口縁		05001620
〃-161	SJ13201	上	甕	胴部～底部		56.5	11.7	(58.5)	明黄褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		06002810
〃-162	SJ13201	下	広口壺	胴部～底部		45.6	9.8	(39.1)	橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		05000617
〃-163	SJ13202	上	甕	ほぼ完形	44.8	48.1	11.3	57.6	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ	内口縁		06002870
〃-164	SJ13202	下	甕	胴部～底部		45.9	9.0	(48.2)	橙色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・赤色顔料後黒塗り	ナデ	あり		06003821
〃-165	SJ13204	上	広口壺	胴部 2/3残		54.4		(36.8)	にぶい橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・赤色顔料後黒塗り	ナデ	あり		06002870
〃-166	SJ13204	下	甕	1/3残	44.0 57.0	54.4	12.6	78.5	黒褐色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り・工具痕			05001683
113-167	SJ13205	単棺	甕	3/4残	54.0 66.6	61.5	12.7	102.6	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			06002818
〃-168	SJ13206	上	甕	胴部～底部		53.4	9.85	(52.8)	にぶい橙色 橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05000778
〃-169	SJ13206	下	甕	ほぼ完形	62.2	60.0	9.2	79.6	にぶい橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ		穿孔1 勾玉写真	05000779
〃-170	SJ13207	上	広口壺	胴部～底部		40.2	8.2	(88.2)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ		穿孔1	06002992
〃-171	SJ13207	下	甕	5/6残	34.95 45.95	46.5	9.2	55.1	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			06002999
〃-172	SJ13209	上	広口壺	胴部～底部		55.2	9.95	(45.3)	明黄褐色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06002842

表27　13区甕棺一覧表(9)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
113-173	SJ13209	下	甕	ほぼ完形	59.2	62.6	9.6	81.65	にぶい褐色 にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		06002834
〃-174	SJ13210	上	甕	口縁～底部胴部1/4欠損	45.0 57.2	59.9	10.4	79.8	橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			07001902
〃-175	SJ13210	下	甕	口縁1/2欠損胴部1/4欠損	47.4 59.9	61.8	12.5	86.8	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ			07001903
114-176	SJ13213	上	鉢	ほぼ完形	58.05	54.1	11.0	42.1	明黄褐色 褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ・工具痕			04003312
〃-177	SJ13213	下	甕	ほぼ完形	43.5 54.7	56.4	9.7	77.7	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・スス付着	ナデ	あり		04003279
〃-178	SJ13214	上	広口壺	胴部～底部		38.0	9.9	(32.0)	明黄褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06003863
〃-179	SJ13214	下	甕	ほぼ完形	35.8	57.8	11.3	70.2	淡黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・スス付着	あり		04003350
〃-180	SJ13215	上	甕	胴部～底部		59.6	9.1	70.2	橙色 浅黄色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり	穿孔1	05000621
〃-181	SJ13215	下	甕	胴部～底部		54.7	10.6	47.8	橙色 明赤褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・工具痕・指頭圧痕			05000733
〃-182	SJ13220	上	鉢	2/3残	62.3		11.1	42.5	明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ	ナデ			06002872
〃-183	SJ13220	下	甕	ほぼ完形	67.5	69.2	11.8	94.0	黄褐色 浅黄橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			04003313
115-184	SJ13225	上	甕	胴部～底部		58.6	16.2	(64.1)	にぶい橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕・赤色顔料	ナデ・指頭圧痕	あり		05001684
〃-185	SJ13225	下	甕	1/5欠損	61.5	69.0	17.0	80.0	橙色 明赤褐色	7㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・ハケ		穿孔1	06001685
〃-186	SJ13228	上	甕	口縁～胴部	41.2 48.7	51.3		51.35	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕・黒塗り	ナデ			07002029
〃-187	SJ13228	下	広口壺	頸部～胴下部	(32.0)	43.3	9.6	(47.0)	灰黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	暗文・ミガキ・ハケ・黒塗り	ナデ・ハケ	あり		07001865
〃-188	SJ13229	上	甕	1/3残	53.9	64.8	13.1	77.0	褐灰色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒斑・黒塗り	ナデ		口縁刻み目	06003805
〃-189	SJ13229	下	広口壺	胴部～底部		50.1	10.4	(46.5)	明褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ		穿孔1	06003802
〃-190	SJ13232	単棺	甕	2/3残	49.0 64.7	66.6	(12.0)	96.8	黄褐色 にぶい褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕・赤色顔料		獣形勾玉写真	05001686

表28　13区甕棺一覧表(10)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高 （　）は残存高					外器面	内器面			
116-191	SJ13233	上	甕	ほぼ完形	56.4	53.6	10.4	(79.2)	明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		06002808
〃-192	SJ13233	下	甕	ほぼ完形	64.9	62.4	10.0	78.85	橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		05000622
〃-193	SJ13235	上	広口壺	2/3残	26.1	28.8	7.2	34.0	橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・暗文・一部黒斑	ナデ・ミガキ・指頭圧痕			06000088
〃-194	SJ13235	下	広口壺	胴部～底部		45.5	11.0	(45.7)	橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・指頭圧痕	あり		06000089
〃-195	SJ13236	上	甕	1/3残	49.1 62.2	62.7		(56.1)	褐色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ			06003813
〃-196	SJ13236	下	甕	1/2残	47.2 61.1	60.3	12.4	93.4	灰褐色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・工具痕	ナデ			05001687
117-197	SJ13238	上	甕	2/3残	58.6	57.5		(62.1)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ			06002807
〃-198	SJ13238	下	甕	胴部～底部		48.2	10.0	60.5	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			05001647
〃-199	SJ13239		広口壺？	底部		28.5	8.8	(11.5)	橙色 明褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部工具痕・黒塗り	ナデ・一部工具痕			07002033
〃-200	SJ13241	上	甕	4/5残	44.4 54.85		10.0	76.85	にぶい黄色 にぶい褐色	微細粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06000170
〃-201	SJ13241	下	甕	胴部～底部		47.4	10.0	(57.85)	橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		05000711
〃-202	SJ13242	上	甕	胴部～底部		64.9	(10.4)	(72.3)	橙色 暗赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001688
〃-203	SJ13242	下	甕	口縁の一部欠く	53.0 59.0	63.0	11.2	84.0	黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		04003344
118-204	SJ13247	上	甕	胴部～底部		61.2	10.8	(61.8)	橙色 にぶい黄橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		06000171
〃-205	SJ13247	下	甕	ほぼ完形	38.3 49.1	55.4	10.4	71.5	明黄褐色 淡黄色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000623
〃-206	SJ13248	上	甕	胴部～底部		70.7	18.8	(73.9)	にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			06003806
〃-207	SJ13248	下	甕	口縁～胴部	(40.1)	53.2		(57.9)	明黄褐色 黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ハケ・ナデ			06003869
〃-208	SJ13249	上	甕	口縁～胴部	(34.0)	31.9		(21.0)	褐色 黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・指頭圧痕			06002859
〃-209	SJ13249	下	甕	頸部～底部		44.8	12.6	(45.75)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・指頭圧痕		07001869と突帯が似る	06002864
〃-210	SJ13250	単棺	甕	頸部～底部		52.0	12.7	46.1 4.6	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・赤色顔料・黒塗り・一部黒斑	ナデ			07001930

表29　13区甕棺一覧表(11)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
119-211	SJ13253	上	甕	ほぼ完形	52.2 66.05	66.6	12.6	84.3	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部ハケ	ナデ			05000678
〃-212	SJ13253	下	広口壺	胴部～底部		47.7	11.2	(33.5)	暗灰黄色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り	あり		05000735
〃-213	SJ13254	上	甕	口縁～胴部	59.8	57.2		(67.45)	にぶい橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・赤色顔料	ナデ・黒塗り	内口縁		07001904
〃-214	SJ13254	下	甕	胴部～底部		57.0	10.5	(52.8)	にぶい黄褐色 暗黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部ハケ	ナデ	あり		04003341
〃-215	SJ13255	単棺	広口壺	胴部～底部		12.0	10.0	(33.25)	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部ミガキ	ナデ・黒塗り・一部黒斑	あり		06003817
〃-216	SJ13256	上	甕	口縁～胴部	60.0	65.0		49.8	橙色 浅黄色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	あり		06000172
〃-217	SJ13256	下	甕	1/2残	51.9	55.5	10.9	78.95	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り		穿孔1	06000090
〃-218	SJ13257	上	甕	口縁～胴部	47.6 58.0	60.1		63.65	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			06000173
〃-219	SJ13257	下	広口壺	頸部～底部		43.0	9.6	(39.8)	にぶい黄橙色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・指頭圧痕	あり	穿孔1	06000174
120-220	SJ13259	上	甕	2/3残	45.7 57.5	61.7	10.2	77.9	にぶい橙	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			05001689
〃-221	SJ13259	下	広口壺	胴部～底部		45.8	9.2	(38.7)	灰黄褐色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕	あり		05000712
〃-222	SJ13260	上	甕	3/4残	51.0 63.0	66.4		(82.9)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・ハケ・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑		穿孔1	06002876
〃-223	SJ13260	下	広口壺	胴部～底部		45.4	9.9	(37.0)	にぶい黄橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・ハケ・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り・一部工具痕・指頭圧痕	あり		06002866
〃-224	SJ13261	単棺	甕	口縁～胴部	58.6	59.8		(79.2)	にぶい橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・ハケ・一部黒斑	ナデ	あり		06000091
〃-225	SJ13262	上	甕	ほぼ完形	49.8 60.0	63.1	(9.9)	82.0	にぶい橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	あり		06002835
〃-226	SJ13262	下	広口壺	胴部～底部		50.0	8.45	(37.0)	灰黄色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		06002857
121-227	SJ13263	上	甕	5/6残	(61.4)		12.9	75.7	浅黄色 にぶい黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ	ナデ	あり	刻目	04003294
〃-228	SJ13263	下	広口壺	胴部～底部		44.4	8.8	(34.9)	にぶい黄橙色 浅黄橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕	あり		05000736
〃-229	SJ13264	単棺	甕	1/2残	58.2	58.1	10.8	78.5	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06003811
〃-230	SJ13266	上	甕	胴部～底部		48.6	(13.4)	(41.25)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕			06003868
〃-231	SJ13266	下	甕	胴部～底部		54.4	16.3	67.15	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ミガキ・黒斑	ナデ・指頭圧痕	あり	穿孔1	05001648

表30　13区甕棺一覧表(12)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
121-232	SJ13267	上	甕	胴部		59.5		(49.8)	にぶい黄橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ﾊｹ・ﾅﾃﾞ・一部黒斑	あり		05001690
〃-233	SJ13267	下	甕	2/3残	65.7 81.0		13.2	95.9	黒褐色 灰黄色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕			05001691
122-234	SJ13268	上	壺	頸部～底部		56.9	11.7	(46.75)	橙色 明褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	あり		05001649
〃-235	SJ13268	下	壺	胴部～底部		53.9	14.1	(45.95)	明赤褐色 明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕		穿孔1	05000713
〃-236	SJ13269	上	甕	5/6残	57.8		10.6	83.9	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05001723
〃-237	SJ13269	下	広口壺	胴部～底部		56.8	12.5	(52.6)	にぶい黄色 にぶい黄橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・ハケ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001650
〃-238	SJ13270	上	甕	胴部～底部		60.2	10.3	(69.7)	橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・黒塗り・一部黒斑	あり		06002811
〃-239	SJ13270	下	甕	ほぼ完形	(50.0)	58.6	10.2	83.4	明黄褐色 明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ	ナデ	あり		04003346
123-240	SJ13271	単棺	甕	胴部～底部		50.5	10.6	(34.9)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕			06002840
〃-241	SJ13272	上	広口壺	1/3残	(59.8)		11.2	(88.4)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ 黒塗り	ナデ	あり		06003819
〃-242	SJ13272	下	広口壺	胴部～底部		44.4	10.5	(38.8)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕	あり		06002855
〃-243	SJ13273	上	甕	胴部 一部欠損	(55.15)	53.3	9.6	(45.7) (20.8)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・一部黒斑	あり		06002814
〃-244	SJ13273	下	甕	3/4残		46.8	9.0	50.1	黄褐色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ	あり		04003339
〃-245	SJ13274	単棺	広口壺	胴部～底部		46.1	9.8	(40.0)	明褐色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑・工具痕	ナデ・工具痕	あり		06002841
〃-246	SJ13275	上	広口壺	胴部～底部		40.5	(8.7)	(33.8)	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06002996
〃-247	SJ13275	下	壺	胴部～底部		36.5	7.7	(28.05)	灰黄褐色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		06003862
〃-248	SJ13276		広口壺	胴部～底部		45.8	10.6	(37.2)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり	穿孔1	05000737
〃-249	SJ13277	単棺	広口壺	胴部～底部		48.1	10.2	(38.2)	灰黄色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑・一部指頭圧痕	あり		05000760
124-250	SJ13278	上	広口壺	胴部～底部	44.0	59.0		(47.2)	にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		07001876
〃-251	SJ13278	下	広口壺	胴部～底部		51.1	11.8	(46.3)	赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ	あり		04003342

表31　13区甕棺一覧表(13)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
124-252	SJ13279	上	鉢	ほぼ完形	44.3	42.2	9.4	34.0	明黄褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・ミガキ・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑			07001868
〃-253	SJ13279	下	甕	ほぼ完形	46.8	54.0	8.6	69.9	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・工具痕	ナデ・黒塗り	あり	穿孔１	04003280
〃-254	SJ13280	上	甕	ほぼ完形	51.0	49.6	11.2	57.8	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05000693
〃-255	SJ13280	下	広口壺	胴部～底部		53.6	9.9	(46.5)	明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	あり		06002865
〃-256	SJ13281	上	広口壺	胴部～底部		54.2	11.2	(52.4)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・ミガキ・一部黒斑	ナデ・一部工具痕	あり		05000761
〃-257	SJ13281	下	広口壺	胴部～底部		48.5	10.6	(43.2)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・一部黒斑	ナデ・一部工具痕・一部指頭圧痕	あり		05000688
〃-258	SJ13282	単棺	甕	完形	60.6	62.0	9.5	78.8	明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ			04003343
125-259	SJ13283	上	甕	ほぼ完形 底部一部欠損	48.2 57.2	57.8	11.7	74.4	赤褐色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000675
〃-260	SJ13283	下	鉢	ほぼ完形 底部一部欠損	35.9 42.0	40.7		34.4	明黄褐色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・一部黒斑・工具痕			05000687
〃-261	SJ13284	単棺	甕	2/3残	78.3	74.5	17.2	91.75	明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・ハケ・一部黒斑			06003880
〃-262	SJ13286	単棺	甕	口縁～胴部	40.0 50.2	53.2		14.5	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ			06002860
〃-263	SJ13287	単棺	甕	ほぼ完形	62.0 69.0	60.6	10.5	97.4	にぶい黄橙色 浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ		穿孔？	04003314
〃-264	SJ13288	単棺	甕	ほぼ完形	46.3 58.7	58.1	11.6	74.2	橙色 にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			05000624
126-265	SJ13289	上	広口壺	胴部～底部		41.2	(30.4)	10.2	にぶい赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・一部黒斑・黒塗り	ナデ	あり		07002036
〃-266	SJ13289	下	甕	口縁を欠く		55.7	11.9	69.1	赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			04003351
〃-267	SJ13290	上	広口壺	胴部～底部	(35.5)	37.9	10.1	(25.4)		2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ハケ	ナデ	あり		07001864
〃-268	SJ13290	下	甕	ほぼ完形 底部一部欠損	31.8			(36.3)	にぶい黄橙色 黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ	ナデ			04003239
〃-269	SJ13291	上	甕	胴部～底部		59.1	12.4	42.25	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		05001651
〃-270	SJ13291	下	甕	ほぼ完形 底部一部欠損	52.3 61.6			71.1	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ			05001652
〃-271	SJ13292	上	広口壺		48.6 57.6	56.3	(67.0)										07002031

表32　13区甕棺一覧表(14)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内 口径 外	胴径	底径	器高 （　）は残存高					外器面	内器面			
126-272	SJ13292	下	広口壺	胴部～底部		51.0	11.2	(40.8)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ		穿孔１	05000734
〃-273	SJ13293	上	甕	口縁～胴部	60.45	56.8		(42.9)	にぶい橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・赤色顔料	あり		06002819
〃-274	SJ13293	下	広口壺	胴部～底部		54.6	10.8	(48.75)	にぶい黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		05000738
127-275	SJ13294	上	広口壺	胴部～底部		50.0	10.9	(38.5)	橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・工具痕	あり		05000690
〃-276	SJ13294	下	甕	ほぼ完形	53.1	58.8	11.5	81.9	明赤褐色 橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		05000677
〃-277	SJ13295	上	甕	完形	50.5 61.6	63.9	9.2	86.5	橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			05000680
〃-278	SJ13295	下	甕	胴部～底部		47.0	9.9	(40.6)	灰黄色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		05000714
〃-279	SJ13296	上	広口壺	胴部～底部	49.0	56.8		(45.3)	にぶい赤褐色 灰黄色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・ナデ・ハケ	ナデ			07001872
〃-280	SJ13296	下	甕	頸部～底部		51.2	(11.4)	(64.7)	にぶい黄橙色 灰黄色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・ス ス付着	ナデ・ス ス付着	あり		05000615
〃-281	SJ13297	単棺	甕	胴部～底部		57.0	11.6	(65.2)	にぶい黄橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		06002833
128-282	SJ13298	上	広口壺	胴部～底部		44.5	10.1	(35.5)	にぶい黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06002861
〃-283	SJ13298	下	広口壺	胴部～底部		52.4	10.6	42.9	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑	あり		05000762
〃-284	SJ13299	単棺	壺	胴部～底部		56.0	9.9	57.05	明黄褐色 明赤褐色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり	線刻	05000763
〃-285	SJ13300	単棺	甕	胴部～底部		70.8	13.0	66.2	黒色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06003807
〃-286	SJ13301	上	甕	胴部～底部	(35.5)	39.7	10.7	(41.0)	橙色 浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り・一部黒斑		あり		07001871
〃-287	SJ13301	下	甕	胴部～底部		54.5	12.2	63.7	暗黄褐色 暗赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		05000610
〃-288	SJ13302	上	鉢	ほぼ完形 底部一部欠損	54.4 66.2			44.3	橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り・工具痕	ナデ			06002997
〃-289	SJ13302	下	甕	1/2残	52.0 66.0	57.5	(12.0)	97.05	橙色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			06002933
129-290	SJ13303	上	甕	1/3残	57.8	58.9	13.6	74.9	黒色 橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001653
〃-291	SJ13303	下	甕	ほぼ完形	(49.8)	56.8	(10.65)	(73.3)	黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り		穿孔１	05001724
〃-292	SJ13304	単棺	広口壺	胴部～底部		48.9	10.0	38.1	にぶい黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003865
〃-293	SJ13305	上	甕	頸部～底部		48.8	14.3	58.1	にぶい黄橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ミガキ・ナデ・一部黒斑			06002824

表33　13区甕棺一覧表(15)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
129-294	SJ13305	下	甕	3/4残	56.1	58.6	13.5	68.15	明黄褐色 にぶい黄色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・工具痕・黒塗り・一部黒斑	ナデ			06002820
〃-295	SJ13306	単棺	甕	口縁	(36.0)	(46.6)		(10.0)	明褐色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			07001886
〃-296	SJ13309	上	広口壺	胴部～底部	54.5	54.7	10.8	(31.5)	灰黄褐色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		05001725
〃-297	SJ13309	下	甕	ほぼ完形	44.0 56.1	64.7	10.6	87.6	にぶい黄橙色 黒褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・黒塗り	ナデ・黒塗り			05001726
130-298	SJ13310	上	甕	胴部～底部		50.4	11.7	60.6	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部赤色顔料	あり		06003822
〃-299	SJ13310	下	甕	胴部～底部		56.4	11.3	62.0	にぶい橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		06002934
〃-300	SJ13311	単棺	甕	ほぼ完形 底部一部欠損	55.7 69.3	65.4	13.4	94.95	橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・工具痕・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000625
〃-301	SJ13312	上	甕	ほぼ完形	65.2	64.1	11.4	82.6	にぶい黄橙色 黒色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	内口縁		06000092
〃-302	SJ13312	下	甕	胴部～底部		58.8	13.1	(49.15)	にぶい黄橙色 明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑	あり		05000626
〃-303	SJ13313	上	甕	口縁一部欠損	37.5 46.9	54.4	8.9	70.9	橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	あり		06002828
〃-304	SJ13313	下	甕	ほぼ完形	63.5	63.0	11.2	80.1	浅黄橙色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・スス付着	ナデ			04003295
131-305	SJ13315	上	鉢	1/3残	37.2 43.7		11.7	31.0	明黄褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003882
〃-306	SJ13315	下	甕	完形	41.0 52.0	58.4	10.7	81.5	淡褐色 淡黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			04003345
〃-307	SJ13316	単棺	甕	ほぼ完形	50.6 65.1	64.0	12.4	97.6	にぶい橙色 橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ			06003808
〃-308	SJ13317	単棺	甕	ほぼ完形	53.2 67.4	65.1	(13.2)	97.4	にぶい黄色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002935
〃-309	SJ13319	上	鉢	ほぼ完形	48.9 61.4		13.35	39.05	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002998
〃-310	SJ13319	下	甕	ほぼ完形	52.15 65.4	63.1	(11.8)	(92.75)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002936
132-311	SJ13320	単棺	甕	胴部～底部		55.5	11.5	(65.0)	橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ	あり		06002937
〃-312	SJ13321	上	甕	胴部～底部		56.7	10.7	63.4	明赤褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	内口縁		06000175
〃-313	SJ13321	下	甕	口縁～底部	47.8	49.3	9.7	64.3	赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			04003352
〃-314	SJ13323	上	広口壺	胴部～底部		57.2	12.6	56.3	明赤褐色 赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ	あり		06003816
〃-315	SJ13323	下	広口壺	胴部～底部		60.4	10.6	(51.3)	明赤褐色 にぶい褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		07001905

表34　13区甕棺一覧表(16)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内 口径 外	胴径	底径	器高 （　）は残存高					外器面	内器面			
133-316	SJ13324	上	甕	口縁～胴部	(49.2) (60.0)	71.0		(37.1) (23.4)	浅黄色	2㎜以下の砂粒を含む			ナデ・黒塗り	ナデ			07002032
〃-317	SJ13324	下	甕	胴部～底部		49.7	10.2	60.0	赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ	あり		05000611
〃-318	SJ13325	単棺	甕	ほぼ完形	51.4 64.0	62.2	9.6	84.1	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06002938
〃-319	SJ13329	上	甕	胴部～底部		48.7	11.1	(48.4)	にぶい黄橙色 にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑・一部指頭圧痕			06002873
〃-320	SJ13329	下	甕	3/4残	57.7	57.2	10.6	79.9	橙色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	内口縁		06000176
〃-321	SJ13330	上	甕	口縁～胴部 底部欠く	54.6 65.2	63.8		77.3	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003810
〃-322	SJ13330	下	甕	ほぼ完形	54.7	56.0	9.2	73.55	明赤褐色 赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部指頭圧痕	内口縁		05000627
134-323	SJ13335	上	広口壺	胴部～底部		44.1	8.8	(32.5)	明黄褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		06002867
〃-324	SJ13335	下	広口壺	胴部～底部		44.8	10.0	(38.7)	にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	あり		06002856
〃-325	SJ13336	上	甕	胴部～底部		62.2	11.35	(69.2)	灰褐色 にぶい褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部黒斑			05000670
〃-326	SJ13336	下	甕	ほぼ完形	(49.0)	54.5	10.4	74.4	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑	内外口縁		05000673
〃-327	SJ13337	単棺	甕	口縁～胴部	(51.4) (66.2)	58.7		(56.5)	にぶい黄橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ			06003875
〃-328	SJ13338	単棺	甕	胴部				(53.6)	明褐色 明赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む			ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり		07001906
〃-329	SJ13341	単棺	甕	胴部～底部	(37.9)	51.6		(61.6)	にぶい橙色 にぶい黄橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ黒塗り	ナデ			07001907
135-330	SJ13340	別甕	鉢	口縁～胴部	(50.0)			(26.1)	明褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ			07001884
〃-331	SJ13340	別甕	広口壺	胴部～底部		32.0	(77.5)	(17.3)	暗灰黄色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ナデ	ナデ・黒塗り			07001883
〃-332	SJ13340	下	甕	4/5残	50.3 62.9	60.7	10.0	88.4	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部黒斑			06000177
〃-333	SJ13343	単棺	甕	口縁 胴部～底部	(58.0) (71.0)	70.0	10.7	(57.2) (43.0)	浅黄橙色 明赤褐色	5㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ナデ・黒塗り		穿孔1	06002939
〃-334	SJ13344	上	広口壺		(35.3)	45	9.0	(33.2)	明赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ			07001858
〃-335	SJ13344	下	甕	完形	44.2	46.5	8.7	58.0	黄褐色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・スス付着	ナデ			04003340
〃-336	SJ13347	上	甕	胴部～底部		55.4	10.7	(57.85)	橙色 明赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			06002809

表35　13区甕棺一覧表(17)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内外 口径	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
135-337	SJ13347	下	広口壺	胴部～底部		58.1	11.6	(55.1)	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ハケ・黒塗り	ナデ	あり		06002843
136-338	SJ13348	上	甕	ほぼ完形	56.9	57.6	10.1	87.3	にぶい橙色 明黄褐色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001654
〃-339	SJ13348	下	甕	胴部～底部		44.5	10.0	47.3	赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ	あり		05000612
〃-340	SJ13354	上	甕	口縁～胴部	59.6	59.2		30.7	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・黒塗り	ナデ	あり		06003886
〃-341	SJ13354	下	甕	1/2残	40.2 (47.3)	55.8	11.2	73.3	明褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ・一部黒斑	外口縁		05000628
〃-342	SJ13355	下	甕	1/2残	(52.2)	58.8	11.3	77.5	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・ハケ・黒塗り・一部工具痕	内口縁		06003876
〃-343	SJ13356	上	広口壺	胴部～底部	(38.3)	47.0	11.1	(55.5)	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑		あり		07001861
〃-344	SJ13356	下	広口壺	胴部～底部		53.8	11.8	(41.15)	にぶい褐色 にぶい橙色	1㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ	あり	穿孔1	05000715
137-345	SJ13357	上	鉢	完形	59.7	56.5	12.8	37.8	赤褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・一部黒斑	ナデ・ハケ			04003338
〃-346	SJ13357	下	甕	ほぼ完形	46.9 63.0	62.3	11.6	93.3	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			05001655
〃-347	SJ13361	上	甕	ほぼ完形	39.1	48.6	10.5	56.1	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	内口縁		06002874
〃-348	SJ13361	下	甕	胴部～底部		45.0	10.0	37.4	明黄褐色 橙色	微細粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ナデ	あり		04003281
〃-349	SJ13365	上	鉢	2/3残	47.1	41.4	11.6	37.4	明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・ハケ	ナデ	内口縁		04003282
〃-350	SJ13365	下	甕	胴部～底部		56.4	11.0	51.9	橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・黒塗り・一部工具痕・指頭圧痕	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕			06003803
〃-351	SJ13370	上	甕	ほぼ完形	47.8 59.4		12.5	85.3	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ス付着	ナデ・ス付着			05000601
〃-352	SJ13370	下	広口壺	胴部～底部		43.8	10.0	34.65	にぶい黄橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部指頭圧痕	あり		05000689
138-353	SJ13379	上	鉢	ほぼ完形	(67.8)	63.2	12.8	47.4	明赤褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り	ナデ・一部指頭圧痕			06002858
〃-354	SJ13379	下	甕	一部欠損	65.0 75.65	77.9	11.3	91.5	明黄褐色 橙色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部工具痕			06002940
〃-355	SJ13381	上	甕	ほぼ完形 口縁1/2欠	40.1 48.9	49.4	13.15	59.1	にぶい黄橙色 明黄褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			06000178
〃-356	SJ13381	下	広口壺	胴部～底部 一部残		47.4	9.4	34.1	にぶい黄橙色 にぶい黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・一部黒斑	あり		06002871
〃-357	SJ13382	単棺	広口壺	口縁～頸部 胴部～底部	47.2 55.5	54.8	11.2	23.45 45.0	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06002844

表36　13区甕棺一覧表(18)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 口径 内外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
138-358	SJ13383	単棺	甕	3/4残	24.0 38.2	66.3	12.8	82.7	にぶい褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・一部黒斑	ナデ		穿孔1	06002826
〃-359	SJ13384	上	広口壺	胴部～底部		49.6	10.2	40.4	橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り			06003867
〃-360	SJ13384	下	甕	ほぼ完形	53.5	58.1	9.6	74.8	暗褐色 赤褐色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ	ナデ	内口縁		05000613
139-361	SJ13386	上	広口壺	胴部～底部		52.0	10.9	42.3	にぶい赤褐色 にぶい黄橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		05001727
〃-362	SJ13386	下	広口壺	口縁～胴部 胴部～底部		45.9	11.4	9.7 36.9	橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・ミガキ・一部工具痕・一部指頭圧痕	あり		05001728
〃-363	SJ13388	上	甕	ほぼ完形	54.9	54.9	11.0	65.75	にぶい橙色 橙色	5㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・スス付着	ナデ・スス付着			05000602
〃-364	SJ13388	下	甕	ほぼ完形	46.4	55.4	11.3	73.1	にぶい黄橙色 にぶい褐色	6㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・スス付着	ナデ			05000603
〃-365	SJ13389	単棺	甕	胴部一部欠損	50.8	57.5	12.9	73.7	にぶい橙色 明赤褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ハケ・黒塗り・一部黒斑	ミガキ・ナデ		穿孔1	06003809
〃-366	SJ13390	上	甕	口縁～胴部	63.0	62.0		(68.4)	浅黄橙色 橙色	4㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・一部黒斑			06002825
〃-367	SJ13390	下	甕	口縁～胴部	47.05	51.1		(65.5)	にぶい橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り	外口縁		06002817
140-368	SJ13391	上	甕	1/4残	57.85 67.6	66.5	14.2	81.8	にぶい褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ			06000093
〃-369	SJ13391	下	広口壺	胴部～底部		60.2	11.2	48.3	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ミガキ・黒塗り・一部工具痕	ナデ・一部黒斑・一部工具痕	あり	穿孔2	05001729
〃-370	SJ13392	単棺	甕	胴部～底部		60.2	12.6	66.6	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・黒塗り	ナデ			06003879
〃-371	SJ13393	上	甕	口縁～胴部	58.1 48.65	56.6		(42.8)		2㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・一部黒斑	ナデ・黒塗り			07001908
〃-372	SJ13393	下	広口壺	口縁～胴部		37.7	9.0	(32.05)		3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ			07002038
〃-373	SJ13394	上	甕	口縁～胴部底部	56.1	55.2	10.4	40.7 10.5	明褐色	1㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ		図面2枚	06000179
〃-374	SJ13394	下	広口壺	胴部～底部		56.1	11.0	50.8	灰オリーブ 浅黄橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り	ナデ・黒塗り・一部工具痕	あり		06000190
〃-375	SJ13395	上	甕	口縁～胴部	59.9	60.5		46.6	明赤褐色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・ナデ・一部黒斑	ナデ・一部黒斑・一部工具痕	内口縁		05000672
〃-376	SJ13395	下	広口壺	胴部～底部		49.6	11.3	48.2	橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・ナデ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り・一部工具痕	あり	穿孔1	05000739
141-377	SJ13396	上	甕	口縁～胴部	57.3	59.0		53.15	橙色 赤色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ	内口縁		06003815
〃-378	SJ13396	下	甕	口縁～胴部	37.55 50.0	52.6		14.0 70.0	暗灰黄色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り	ナデ・黒塗り	あり		06002941

表37　13区甕棺一覧表(19)

※口径の（　）は復元径

挿図番号	遺構番号		器種	残存部位	法量（cm）				色調 内 外	胎土	雲母の表記	焼成	調整		打ち欠き	備考	登録番号
					口径 内 口径 外	胴径	底径	器高（　）は残存高					外器面	内器面			
141-379	SJ13397	上	鉢	ほぼ完形	39.7 46.7	42.8	9.3	35.3	にぶい褐色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ミガキ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑			05000691
〃-380	SJ13397	下	甕	ほぼ完形	45.7 54.9	56.8	11.2	69.0	にぶい黄橙色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・一部黒斑	内口縁		05000674
〃-381	SJ13400	上	甕	胴部		57.0		(34.5)	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06003885
〃-381	SJ13400	上	甕	底部		30.6	11.0	(10.5)	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ハケ・黒塗り・一部黒斑	ナデ・黒塗り			06003885
〃-382	SJ13400	下（単棺）	甕	底部		54.8	10.5	64.25	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・黒塗り・一部工具痕	ナデ・黒塗り・一部黒斑		穿孔1	06003823
142-383	SJ13413	上	広口壺	胴部～底部		50.2	13.8	38.15	明黄褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ミガキ・黒塗り	ナデ	あり	貝殻による文様	06002868
〃-384	SJ13413	下	甕	ほぼ完形	58.75		10.15	(81.7)	赤褐色 明黄褐色	2㎜以下の砂粒を含む		良	ナデ・ハケ・一部工具痕・一部黒斑	ナデ・一部黒斑	内口縁		06002806
〃-385	SJ13417	単棺	甕	胴部～底部		51.0	13.2	(50.4)	明赤褐色 橙色	2㎜以下の砂粒を含む			ミガキ・ハケ・ナデ・赤色顔料	ナデ・赤色顔料・黒塗り			07001928
〃-386	SJ13421	上	甕	2/3残	40.9 (50.9)		11.25	72.8	にぶい黄橙色 橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑	ナデ		穿孔１	06000181
〃-387	SJ13421	下	甕	4/5残			10.6	82.6	にぶい黄橙色 にぶい橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり	良	ナデ・一部黒斑・一部工具痕・赤色顔料	ナデ・赤色顔料	内口縁		06000182
〃-388	SJ13422	単棺	壺	胴部～底部		56.0	(14.0)	(33.2)	橙色	3㎜以下の砂粒を含む	あり		ミガキ・赤色顔料・黒塗り	ナデ			07001925

表38　11区・13区甕棺墓出土金属器一覧表

挿図番号	種　　別	調査区	遺構番号	法　　量	登録番号
145-1	細形銅矛	11区	SJ11247	全長24.3cm、関幅3.7cm、刃部長14.0cm	03001632
〃-2	青銅製切先	13区	SJ13259	残存長1.5cm、最大残存幅1.15cm	06003948
〃-3	鉄製鎗（ヤリガンナ）	11区	SJ11275	残存長9.2cm、最大残存幅1.5cm	04000021
〃-4	鉄製鎗（ヤリガンナ）	13区	SJ13009	全長6.2cm、幅1.7cm、最大厚0.2cm	04000031
〃-5	鉄斧	11区	SJ11294	全長17.6cm、最大幅7.0cm、最大厚1.3cm	09001201
146-6	鉄矛	13区	SJ13011	全長42.7cm、最大幅3.2cm	07001949

表39　13区出土円環型銅釧一覧表

挿図番号	種　別	調査区	遺構番号	長径（cm）	短径（cm）	高さ（cm）	厚さ（cm）	残存状況	登録番号
147-1	円環型銅釧	13区	SJ13134 №1	6.8	6.3	0.32～0.4	0.3～0.38	完形	07001950
〃-2	円環型銅釧	13区	SJ13134 №2	6.7	6.4	0.4～0.48	0.32～0.45	完形	07001951
〃-3	円環型銅釧	13区	SJ13134 №3	6.6	6.5	0.35～0.4	0.28～0.35	完形	07001952
〃-4	円環型銅釧	13区	SJ13134 №4	6.7	6.3	0.4～0.5	0.28～0.35	完形	07001953
〃-5	円環型銅釧	13区	SJ13134 №5	6.7	6.3	0.4～0.5	0.32～0.42	完形	07001954
〃-6	円環型銅釧	13区	SJ13134 №6	6.6	6.4	0.42～0.45	0.32～0.4	完形	07001955
〃-7	円環型銅釧	13区	SJ13134 №7	6.7	6.5	0.42～0.48	0.32～0.45	完形	07001956
〃-8	円環型銅釧	13区	SJ13134 №8	6.3	6.1	0.4～0.48	0.3～0.4	完形	07001957
〃-9	円環型銅釧	13区	SJ13134 №9	6.5	6.2	0.42～0.48	0.3～0.45	完形	07001958
〃-10	円環型銅釧	13区	SJ13134 №10	6.25	6.1	0.4～0.45	0.3～0.45	完形	07001963
〃-11	円環型銅釧	13区	SJ13134 №11	6.7	6.5	0.32～0.4	0.28～0.35	完形	07001962
〃-12	円環型銅釧	13区	SJ13134 №12	6.3	6.15	0.42～0.5	0.28～0.4	完形	07001961
148-13	円環型銅釧	13区	SJ13112 №1			0.13～0.2	0.15～0.18	細片	09001273
〃-14	円環型銅釧	13区	SJ13112 №2	6.7	(6.1)	0.2～0.25	0.2～0.28	5/6残存	07001964
〃-15	円環型銅釧	13区	SJ13112 №3	6.5	(5.85)	0.16～0.2	0.18～0.2	2/3残存	07001965

表40　13区甕棺墓出土石器一覧表

挿図番号	種　別	調査区	遺構番号	法　量	石　材	登録番号
149-1	石剣切先	13区	SJ13297	残存長7.4cm、最大幅3.45cm、最大厚0.7cm	安山岩	08003887
〃-2	石鏃	13区	SJ13093	全長1.85cm、最大幅1.6cm、最大厚0.35cm	黒曜石	09000926
〃-3	石鏃	13区	SJ13096	全長2.1cm、最大幅1.85cm、最大厚0.45cm	黒曜石	09000927
〃-4	石鏃	13区	SJ13133	全長2.2cm、幅1.4cm、最大厚0.25cm	黒曜石	08003754
〃-5	石鏃	11区	SJ13133棺外	全長2.0cm、最大幅1.35cm、最大厚0.35cm	黒曜石	09000928

表41　11区甕棺出土玉類観察表(1)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
1	150-1	11区	SJ11235	勾玉	翡翠	33.00	最大厚9.00	5.00	5.00		両面			03001621
2	〃-2	11区	SJ11239	勾玉	翡翠	13.00	最大厚5.00	2.25	2.00		両面			03001623
3		11区	SJ11239 №3	管玉	碧玉 女代南B	5.50	2.80	1.20	1.20	石針	片面			
4		11区	SJ11239 №4	管玉	碧玉 女代南B	7.60	3.15	2.00	1.80	石針	両面			
5		11区	SJ11239	管玉	碧玉 未定C	5.80	(1.45)			石針	両面	両端部含む縦長の小片		
6		11区	SJ11239	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.90	2.00	1.90	石針	両面			
7		11区	SJ11239	管玉	碧玉 未定C	4.20＋	3.60	2.00	2.00	石針	両面	破面研磨		
8		11区	SJ11239	管玉	碧玉 女代南B	3.35	2.40	2.00	1.50	石針	両面			
9		11区	SJ11239	管玉	碧玉 女代南B	8.20	2.25	1.20	1.00	石針	両面			
10		11区	SJ11240 №1	管玉	碧玉 女代南B	9.95	3.15	1.50	1.70	石針	両面			
11		11区	SJ11240 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.45＋	3.35	2.00	1.80	石針	両面	破面研磨		
12		11区	SJ11240 №3	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.80	1.80	1.50	石針	両面			
13		11区	SJ11240 №4	管玉	碧玉 女代南B	8.10	3.40	2.00	2.10	石針	片面			
14		11区	SJ11240 №5	管玉	碧玉 女代南B	4.50	2.70	1.80	1.60	石針	両面			
15		11区	SJ11240 №6	管玉	碧玉 女代南B	6.20	2.90	2.00	1.70	石針	両面			
16		11区	SJ11240 №7	管玉	碧玉 女代南B	6.80	2.45	0.18	0.15	石針	両面			
17		11区	SJ11240 №8	管玉	碧玉 女代南B	19.40＋	4.10	1.80	1.80	石針	両面	欠損		
18		11区	SJ11240 №9	管玉	碧玉 女代南B	4.40	2.70	1.00	1.20	石針	両面			
19		11区	SJ11240 №10	管玉	碧玉 女代南B	3.60＋	3.55	1.80	1.80	石針	決定不能	欠損		
20		11区	SJ11240 №11	管玉	碧玉 女代南B	10.45	3.60	2.00	2.10	石針	両面			
21		11区	SJ11240 №12	管玉	碧玉 女代南B	9.65	3.85	2.00	1.60	石針	両面			
22		11区	SJ11240 №13	管玉	碧玉 女代南B	11.65	3.45	1.90	1.70	石針	両面			
23		11区	SJ11240	管玉	碧玉 未定C	10.00	3.70	2.20	2.55	石針	両面			
24		11区	SJ11240	管玉	碧玉 女代南B	5.90	2.60	1.10	1.25	石針	両面			
25		11区	SJ11240	管玉	碧玉 女代南B	10.25	2.90	1.35	1.60	石針	両面			
26		11区	SJ11241 №1	管玉	碧玉 女代南B	7.20	2.80	1.65	1.60	石針	両面			

表42　11区甕棺出土玉類観察表(2)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
27		11区	SJ11241 №2	管玉	碧玉 女代南B	8.60	3.35	1.85	1.65	石針	両面			
28		11区	SJ11241 №3	管玉	碧玉 女代南B	11.20	3.10	1.70	1.70	石針	両面			
29		11区	SJ11241 №4	管玉	碧玉 女代南B	6.70	2.80	1.80	1.55	石針	両面			
30	151-18	11区	SJ11242 №1	管玉	ガラス	10.10＋	7.70	2.80	2.10	—	—	両端欠損後研磨		08003751
31	150-3	11区	SJ11249	勾玉	翡翠	13.65	最大厚4.70	1.75	1.75		両面			06003905
32	151-11	11区	SJ11249 №32	管玉	翡翠	11.50	6.20	2.00	2.00		片面			06003907
33		11区	SJ11249 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.60	2.45	1.20	1.10	石針	両面			
34		11区	SJ11249 №33	管玉	碧玉 未定C	15.00	6.35	2.50	2.20	石針	両面			
35		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C?	5.25	2.45	1.60	1.50	石針	両面			
36		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.10	2.35	1.50	1.50	石針	片面			
37		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.55	2.20	1.00	1.00	石針	両面			
38		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.15	2.20	1.10	1.00	石針	両面			
39		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.95	2.40	1.20	1.20	石針	両面			
40		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.80	2.60	1.00	1.00	石針	両面			
41		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.45	2.20	1.00	0.90	石針	両面			
42		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.20	2.75	1.50	1.40	石針	両面			
43		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.55	1.30	1.20	石針	両面			
44		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.20	1.00	1.20	石針	両面			
45		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.80＋	2.50	1.10	1.00	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
46		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.85	2.70	1.70	1.80	石針	両面			
47		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	6.00	2.40	1.00	1.20	石針	両面			
48		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	7.50	2.40	1.20	1.20	石針	両面			
49		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C?	21.25	5.10	3.20	3.00	石針	両面		分析：玉谷	
50		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.35	2.15	1.00	1.00	石針	両面			
51		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	22.30	5.60	2.50	2.10	石針	両面			
52		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.50	2.35	1.30	1.10	石針	両面			
53		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.15	1.40	1.20	石針	両面			
54		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	23.45	4.60	2.20	2.10	石針	両面			
55		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.50	1.00	1.00	石針	両面			
56		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.30＋	2.15	1.00	1.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
57		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.65	2.45	1.10	1.00	石針	両面			
58		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.25	2.55	1.00	1.00	石針	両面			
59		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.25	1.10	1.10	石針	両面			
60		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.40	1.70	1.40	石針	両面			
61		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	4.90	2.10	1.20	1.10	石針	両面			
62		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	7.45	2.30	1.10	1.30	石針	両面			
63		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.75	1.70	1.50	石針	両面			
64		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	5.90	2.50	1.50	1.80	石針	両面			
65		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C	18.50	6.30	3.80	3.70	石針	両面			
66		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C?	21.40	5.30	2.80	3.00	石針	両面			
67		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	21.25	5.00	2.20	2.00	石針	両面			
68		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	6.15	2.25	1.10	1.00	石針	両面			
69		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C?	22.80	7.30	3.90	3.20	石針	両面		側面鈍い稜残す	
70		11区	SJ11249	管玉	碧玉 女代南B	17.50	6.15	2.50	2.20	石針	両面			
71		11区	SJ11249	管玉	碧玉 未定C	20.90	6.65	3.00	2.70	石針	両面			
72		11区	SJ11271 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.30	3.00	1.70	1.65	石針	両面			
73		11区	SJ11271 №2	管玉	碧玉 女代南B	9.10	3.30	1.90	2.00	石針	両面			
74		11区	SJ11271 №3	管玉	碧玉 女代南B	12.75	3.50	2.00	2.00	石針	両面			
75		11区	SJ11271 №4	管玉	碧玉 女代南B	9.20	3.30	2.00	1.60	石針	両面			
76		11区	SJ11271 №5	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.80	1.10	1.00	石針	片面			
77		11区	SJ11271 №6	管玉	碧玉 女代南B	14.55	3.65	1.50	1.60	石針	両面			
78		11区	SJ11271 №7	管玉	碧玉 女代南B	8.20	3.65	1.70	1.40	石針	両面			
79		11区	SJ11271 №8	管玉	碧玉 女代南B	8.00	3.30	1.70	1.90	石針	両面			
80		11区	SJ11271 棺外	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.75	1.80	1.70	石針	両面			
81		11区	SJ11275 №1	管玉	軟質GT	27.45	4.15	1.95	2.10	不明	両面			

表43　11区甕棺出土玉類観察表(3)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
82		11区	SJ11275 №2	管玉	軟質GT	25.20	4.50	1.60	1.80	不明	両面			
83		11区	SJ11275 №3	管玉	軟質GT	22.70	4.15	2.10	1.95	不明	両面			
84		11区	SJ11280	管玉	軟質GT	16.25	4.00	1.85	2.00	不明	両面			
85		11区	SJ11281 №1	管玉	碧玉 未定C	6.95＋	3.55	2.10	2.10	石針	両面	欠損		
86		11区	SJ11281 №2	管玉	碧玉 未定C	7.20＋	4.00	2.40	2.00	石針	両面	欠損		
87		11区	SJ11281 №3	管玉	碧玉 未定C	10.90	3.80	2.25	2.20	石針	両面			
88		11区	SJ11281 №4	管玉	碧玉 未定C	8.15＋	3.70	1.95	1.90	石針	両面	破面研磨		
89		11区	SJ11281	管玉	碧玉 未定C	7.15＋	4.00	2.25	2.05	石針	両面	欠損		
90	151-12	11区	SJ11281 №5	管玉	瑪瑙	12.15	8.80	3.80	3.00		両面			06003908
91	150-4	11区	SJ11290 №9	勾玉	翡翠	3.50	最大厚10.00	3.50	3.30		両面			03001620
92		11区	SJ11290 №1	管玉	碧玉 女代南B	20.00	6.00	2.15	2.15	石針	両面			
93		11区	SJ11290 №2	管玉	碧玉 女代南B	21.05	5.35	2.20	2.20	石針	両面			
94		11区	SJ11290 №3	管玉	碧玉 女代南B	18.70	6.00	2.00	1.90	石針	両面			
95		11区	SJ11290 №4	管玉	碧玉 女代南B	12.90＋	5.00	2.05	2.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
96		11区	SJ11290 №5	管玉	碧玉 女代南B	19.05	5.15	2.20	2.00	石針	両面			
97		11区	SJ11290 №6	管玉	碧玉 女代南B	24.20	5.20	2.00	2.15	石針	両面			
98		11区	SJ11290 №7	管玉	碧玉 女代南B	21.75	5.45	1.70	2.00	石針	両面			
99		11区	SJ11290 №8	管玉	碧玉 女代南B	17.90＋	5.70	1.90	2.20	石針	両面	一端欠損後研磨		

表44　13区甕棺出土玉類観察表(1)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
1		13区	SJ13004 №1棺外	管玉	軟質GT	9.80	3.40	2.00	1.75	石針	両面			
2		13区	SJ13007 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.45＋	2.65	1.60	1.70	石針	両面	欠損		
3		13区	SJ13007 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.10	2.85	1.85	1.20	石針	片面			
4		13区	SJ13007 №3	管玉	碧玉 女代南B	11.10	3.30	1.90	1.80	石針	片面			
5		13区	SJ13007 №4	管玉	碧玉 女代南B	8.65	3.60	1.80	2.00	石針	両面			
6		13区	SJ13007 №5	管玉	碧玉 女代南B	8.50	3.80	1.80	1.70	石針	片面			
7		13区	SJ13007 №6	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.75	1.20	1.00	石針	両面			
8		13区	SJ13049	管玉	軟質GT	6.70	3.00	1.40	1.30	石針	両面			
9		13区	SJ13049	管玉	軟質GT	8.35	2.90	1.50	1.40	石針	両面			
10		13区	SJ13049	管玉	碧玉 女代南B	10.35	3.30	2.00	1.80	石針	両面			
11		13区	SJ13049	管玉	碧玉 女代南B	6.25＋	2.50	1.15	1.10	石針	両面	一端欠損後摩滅		
12		13区	SJ13050 №1	管玉	碧玉 女代南B	4.90	2.40	1.70	1.75	石針	両面			
13		13区	SJ13050 №15	管玉	碧玉 未定C	6.65＋	3.90	2.20	2.00	石針	決定不能	一端欠損後摩滅		
14		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	7.80	3.15	1.80	1.70	石針	両面			
15		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.20	1.30	1.30	石針	両面			
16		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.95＋	2.80	1.50	1.60	石針	両面	一端研磨		
17		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	6.60	2.25	1.00	1.20	石針	両面			
18		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.65＋	2.65	1.65	1.70	石針	決定不能	一端研磨		
19		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.45	2.50	1.20	1.30	石針	両面			
20		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.20	1.00	1.10	石針	片面			
21		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.70	2.30	1.20	1.00	石針	両面			
22		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.40	1.20	1.10	石針	両面			
23		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.85	2.55	1.45	1.05	石針	両面			
24		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.95	2.55	1.45	1.25	石針	両面			
25		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.45	2.20	1.00	1.00	石針	両面			
26		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.30	1.20	1.35	石針	両面			
27		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.55	1.20	1.25	石針	両面			
28		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.90	2.50	1.35	1.30	石針	両面			
29		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.30	2.50	1.35	1.20	石針	両面			
30		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.60	2.55	1.55	1.35	石針	両面			
31		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.45	1.25	1.25	石針	両面			
32		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	3.85	2.55	1.20	1.20	石針	片面			

表45　13区甕棺出土玉類観察表(2)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
33		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.55	1.30	1.10	石針	両面			
34		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	3.40＋	2.75	1.20	1.10	石針	決定不能	一端研磨		
35		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.50	2.75	1.30	1.25	石針	両面			
36		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.30	0.90	1.30	石針	両面			
37		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	6.30	2.45	1.40	1.20	石針	両面			
38		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.20	3.00	1.35	1.30	石針	両面			
39		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	5.65	2.25	1.10	1.10	石針	両面			
40		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	6.65＋	2.65	1.45	1.40	石針	両面	一端欠損後摩滅		
41		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.90	2.20	1.45	1.05	石針	両面			
42		13区	SJ13050	管玉	碧玉 女代南B	4.15＋	2.90	1.40	1.05	石針	片面	一端欠損後摩滅		
43		13区	SJ13052 №1	管玉	軟質GT	8.60	3.35	1.35	1.35	石針	片面	接合完形		
44		13区	SJ13052 №2	管玉										
45		13区	SJ13052 №3	管玉	軟質GT	9.40	3.30	1.60	1.60	石針	片面			
46		13区	SJ13052 №4	管玉	軟質GT	8.00	3.50	1.30	1.45	石針	片面			
47		13区	SJ13052 №5	管玉	軟質GT	8.40	3.35	1.50	1.55	石針	片面			
48		13区	SJ13059 №1	管玉	碧玉 女代南B	12.80＋	4.15	2.30	2.35	石針	決定不能	欠損		
49		13区	SJ13059 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.80	2.85	1.60	1.60	石針	両面			
50		13区	SJ13059 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.00	2.70	1.20	1.30	石針	両面			
51		13区	SJ13059 №4	管玉	碧玉 女代南B	21.80＋	4.40	2.25	2.35	石針	両面	欠損		
52		13区	SJ13059 №5	管玉	碧玉 女代南B	6.60	3.00	1.80	1.80	石針	両面			
53		13区	SJ13059 №6	管玉	碧玉 女代南B	18.55	4.00	2.15	2.00	石針	両面			
54		13区	SJ13060	管玉	軟質GT	9.95	2.40	1.00	1.00	石針	両面			
55		13区	SJ13060	管玉	軟質GT	9.65	4.00	1.50	1.40	石針	片面			
56		13区	SJ13068 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.00	3.25	1.70	2.00	石針	両面			
57		13区	SJ13068 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.30	2.75	1.00	1.20	石針	両面			
58		13区	SJ13068 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.85	3.05	1.50	1.50	石針	両面			
59		13区	SJ13068 №4	管玉	碧玉 未定C	10.55	3.40	1.70	2.00	石針	両面			
60		13区	SJ13068	管玉	碧玉 女代南B	7.70	2.80	1.00	1.00	石針	両面			
61		13区	SJ13068	管玉	碧玉 女代南B	6.00	3.05	1.20	1.50	石針	両面			
62		13区	SJ13074	管玉	軟質GT	10.20	3.60	1.70	1.65	石針	両面			
63	150-5	13区	SJ13082 №1	勾玉	翡翠	25.00	最大厚10.00	5.30	4.70		両面			06003921
64		13区	SJ13082 №2	管玉	碧玉 女代南B	15.70	5.00	2.00	2.00	石針	両面			
65		13区	SJ13082付近出土	管玉	碧玉 女代南B	5.30	2.35	0.80	1.20	石針	片面			
66		13区	SJ13083 №1	管玉	軟質GT	11.20	3.50	1.75	1.45	石針	両面			
67		13区	SJ13083 №2	管玉	軟質GT	7.10	3.75	1.95	1.65	石針	片面			
68		13区	SJ13083 №3	管玉	軟質GT	7.65	3.80	1.70	1.60	石針	片面			
69		13区	SJ13083 №4	管玉	軟質GT	9.50	3.95	1.55	1.70	石針	片面	接合完形		
70		13区	SJ13083 №5	管玉										
71		13区	SJ13085 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.25＋	2.50	1.35	1.20	石針	両面	欠損		
72		13区	SJ13085 №2	管玉	碧玉 女代南B	4.40	3.20	1.40	1.30	石針	両面			
73		13区	SJ13085 №3	管玉	碧玉 女代南B	4.55＋	2.75	1.25	1.25	石針	両面	破面研磨		
74		13区	SJ13088 №1	管玉	軟質GT	7.10	2.25	1.40	1.40	石針	片面			
75		13区	SJ13088 №2	管玉	軟質GT	6.65	2.40	1.15	1.35	石針	片面			
76		13区	SJ13088 №3	管玉	軟質GT	7.75	2.45	1.20	1.15	石針	片面			
77		13区	SJ13088 №4	管玉	軟質GT	7.35	2.50	1.35	1.10	石針	片面			
78		13区	SJ13088 №5棺外	管玉	軟質GT	4.85＋	2.35	1.45	1.55	石針	決定不能	一端欠損		
79		13区	SJ13092 №1	管玉	軟質GT	6.45	2.45	0.95	1.25	石針	不明	両端縁部摩滅		
80		13区	SJ13092 №50	管玉	碧玉 女代南B	7.65	3.50	1.75	1.75	石針	両面			
81		13区	SJ13092 №100	管玉	碧玉 女代南B	23.45	5.35	2.15	2.45	石針	両面			
82		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	12.00	3.50	1.85	2.00	石針	両面			
83		13区	SJ13092 棺外	管玉	碧玉 女代南B	9.25	3.55	1.85	1.90	石針	両面			
84		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	12.40	4.25	2.40	2.40	石針	両面			
85		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.65	3.80	2.00	1.90	石針	両面			
86		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.05	3.80	1.85	1.90	石針	両面			
87		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.00	3.65	2.00	2.15	石針	片面			
88		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.35	3.35	1.80	1.80	石針	両面			
89		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.25	3.45	2.00	1.95	石針	片面			
90		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	16.15	3.95	2.35	2.15	石針	両面			

表46　13区甕棺出土玉類観察表(3)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（㎜）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
91		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	12.70	4.05	2.20	2.20	石針	両面			
92		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.85	3.65	1.45	1.40	石針	両面			
93		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	10.50	3.35	1.70	1.60	石針	両面			
94		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	15.15	3.90	1.90	1.95	石針	両面			
95		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.35	3.70	1.65	1.70	石針	両面			
96		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.90	3.40	1.60	1.50	石針	両面			
97		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	12.25	4.10	2.20	2.20	石針	片面			
98		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.60	3.20	1.90	1.90	石針	片面			
99		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.20	3.95	1.45	1.70	石針	両面			
100		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.45	4.20	1.60	1.90	石針	片面			
101		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.80	3.70	2.00	2.00	石針	両面			
102		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.30	3.65	2.35	2.30	石針	両面			
103		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.25	3.35	1.50	1.80	石針	両面			
104		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.90	3.00	1.70	1.80	石針	両面			
105		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.75	4.10	2.20	2.00	石針	両面			
106		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.25＋	4.45	2.15	1.90	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
107		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.35＋	4.20	1.65	1.65	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
108		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.25	3.65	2.00	1.90	石針	両面			
109		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.40	4.45	2.40	2.20	石針	両面			
110		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	14.30	3.55	1.80	2.00	石針	両面			
111		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.65	3.25	1.55	1.60	石針	両面			
112		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.30	4.10	2.20	2.00	石針	両面			
113		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.45	3.35	1.95	1.75	石針	両面			
114		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.90	3.35	1.80	1.70	石針	両面			
115		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.30	4.25	1.95	1.80	石針	両面			
116		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.95	3.90	1.80	1.90	石針	両面			
117		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.15	3.80	1.80	1.90	石針	両面			
118		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.10	3.65	2.20	1.50	石針	両面			
119		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.65	3.65	2.10	1.50	石針	両面			
120		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.30	3.35	1.80	1.70	石針	両面			
121		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.05	3.45	2.05	1.75	石針	両面			
122		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.40	3.30	1.80	1.85	石針	両面			
123		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.15	3.65	2.20	1.90	石針	両面			
124		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.75	3.30	1.95	1.80	石針	両面			
125		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.75	3.30	2.00	2.00	石針	両面			
126		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.00	3.60	1.70	1.90	石針	両面			
127		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	11.00	4.20	2.00	2.00	石針	両面			
128		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.45	3.10	1.80	1.90	石針	両面			
129		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.10	3.30	1.60	1.55	石針	両面			
130		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.65	2.85	2.00	2.00	石針	両面			
131		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	15.75	4.15	2.00	2.00	石針	両面			
132		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.95	3.70	2.00	2.00	石針	片面			
133		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	13.35	3.70	1.70	1.50	石針	両面			
134		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.40	3.25	2.00	1.90	石針	両面			
135		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.90	3.20	2.00	1.90	石針	両面			
136		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.20＋	3.70	2.00	1.80	石針	決定不能	一端欠損後摩滅		
137		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.25	3.35	1.80	1.70	石針	両面			
138		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.25	3.70	2.60	2.00	石針	両面			
139		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.85	3.25	1.90	2.00	石針	両面			
140		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.20	3.35	1.80	1.90	石針	両面			
141		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.65	3.30	1.60	1.90	石針	片面			
142		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.30	3.35	1.90	1.90	石針	両面			
143		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.60	3.15	1.90	1.95	石針	両面			
144		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.00	3.55	1.90	2.00	石針	両面			
145		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	10.90	3.20	1.90	1.80	石針	片面			
146		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	12.55＋	3.95	2.20	1.95	石針	両面	一端欠損後研磨		
147		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.65	4.20	2.30	2.15	石針	片面			
148		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.80	3.45	1.85	2.00	石針	両面			

表47　13区甕棺出土玉類観察表(4)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（㎜）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
149		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	6.75＋	3.75	1.45	1.80	石針	両面	一端欠損後摩滅		
150		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	9.75	3.50	2.00	1.95	石針	両面			
151		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	6.30	3.45	1.75	2.15	石針	両面			
152		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.50＋	3.35	1.60	1.90	石針	両面	一端欠損後摩滅		
153		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.00	3.15	1.90	1.45	石針	両面			
154		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.55	3.25	1.55	1.70	石針	両面			
155		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	6.75	3.55	1.35	1.70	石針	両面			
156		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	7.20	3.60	1.50	1.75	石針	両面			
157		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	22.00	5.50	2.20	1.90	石針	両面			
158		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	18.10	5.90	2.40	2.20	石針	両面			
159		13区	SJ13092	管玉	碧玉 女代南B	8.30	3.00	1.55	1.60	石針	両面			
160		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	9.10	3.30	2.00	2.00	石針	両面	両端稜部摩滅		
161		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	9.05	2.40	1.50	1.20	石針	片面			
162		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.55	2.50	1.60	1.20	石針	片面			
163		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.10	2.30	1.25	1.35	石針	片面			
164		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.30	2.35	1.40	1.30	石針	片面	両端一部欠損		
165		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.75	2.35	1.00	1.20	石針	片面			
166		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.10	2.35	1.30	1.10	石針	片面			
167		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.40	2.35	1.30	1.00	石針	片面			
168		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.80	2.45	1.00	1.00	石針	片面			
169		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.45	2.50	1.40	1.00	石針	片面			
170		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.75	2.40	1.00	0.80	石針	片面			
171		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.00	2.50	1.35	1.40	石針	片面			
172		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.75	2.30	0.90	0.90	石針	片面			
173		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.65	2.35	1.20	1.40	石針	片面			
174		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.30	2.35	1.40	1.20	石針	片面			
175		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.05	2.30	1.30	1.05	石針	片面			
176		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.00	2.35	1.20	1.00	石針	片面			
177		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.60	2.60	1.20	1.20	石針	片面			
178		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.90	2.55	1.00	1.00	石針	片面			
179		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.95	2.35	1.30	1.00	石針	片面			
180		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.35	2.50	1.50	1.35	石針	片面			
181		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	7.30	2.35	1.45	1.20	石針	片面			
182		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	8.15	2.40	1.40	1.40	石針	片面			
183		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.85	2.55	1.30	1.15	石針	片面			
184		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	5.70＋	2.25	1.20	1.10	石針	決定不能	一端欠損		
185		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.90	2.50	1.00	1.35	石針	片面			
186		13区	SJ13092	管玉	軟質GT	6.70	2.35	1.20	1.10	石針	片面			
187		13区	SJ13106 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.20	2.80	1.80	1.50	石針	片面			
188		13区	SJ13106 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.20	2.70	1.50	1.20	石針	両面			
189		13区	SJ13106 №3	管玉	碧玉 女代南B	5.70	3.10	1.45	2.00	石針	片面			
190		13区	SJ13106 №4	管玉	碧玉 女代南B	8.20	3.00	1.70	1.70	石針	両面			
191		13区	SJ13106 №5	管玉	碧玉 女代南B	7.25	3.30	1.90	1.20	石針	片面			
192		13区	SJ13106	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.90	1.45	1.45	石針	片面			
193		13区	SJ13106	管玉	碧玉 女代南B	7.50	2.80	1.55	1.55	石針	両面			
194		13区	SJ13106	管玉	碧玉 女代南B	8.55	2.65	1.50	1.70	石針	両面			
195		13区	SJ13107 №1	管玉	碧玉 女代南B	10.80	4.55	2.00	2.10	石針	片面			
196		13区	SJ13107 №2	管玉	碧玉 女代南B	23.65	5.50	2.30	2.40	石針	両面			
197		13区	SJ13107 №3	管玉	碧玉 女代南B	8.85	4.20	1.70	1.90	石針	両面			
198		13区	SJ13107 №4	管玉	碧玉 女代南B	10.30＋	4.60	2.20	1.85	石針	両面	欠損		
199		13区	SJ13107 №5	管玉	碧玉 女代南B	8.45	4.00	1.90	1.60	石針	両面			
200		13区	SJ13107 №6	管玉	碧玉 女代南B	6.95＋	4.00	2.20	2.15	石針	決定不能	欠損		
201		13区	SJ13107 №7	管玉	碧玉 未定C	7.85＋	3.95	2.10	2.10	石針	両面	破面研磨		
202		13区	SJ13110 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.00	2.70	1.50	1.40	石針	両面			
203		13区	SJ13112 №1	管玉	軟質GT	8.95	2.80	1.45	1.40	石針	片面			
204		13区	SJ13112 №5	管玉	軟質GT	7.60	2.70	1.20	1.40	石針	片面			
205		13区	SJ13112	管玉	碧玉 女代南B	6.30	2.50	1.70	1.60	石針	両面			
206		13区	SJ13112	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.55	1.50	1.40	石針	両面			

表48　13区甕棺出土玉類観察表(5)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（㎜）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
207		13区	SJ13112	管玉	碧玉 女代南B	6.95	2.40	1.45	1.25	石針	両面			
208		13区	SJ13112	管玉	軟質GT	7.10	2.75	1.60	1.30	石針	片面			
209		13区	SJ13118 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.70＋	3.10	1.80	1.75	石針	両面	欠損		
210		13区	SJ13118 №2	管玉	碧玉 女代南B	9.10	3.00	1.80	2.00	石針	両面			
211		13区	SJ13118 №3	管玉	碧玉 女代南B	8.30	3.00	2.00	1.80	石針	両面			
212		13区	SJ13118 №4	管玉	碧玉 女代南B	9.05	3.80	1.80	1.85	石針	両面			
213		13区	SJ13118 №5	管玉	碧玉 女代南B	6.15	3.15	2.00	1.90	石針	両面			
214		13区	SJ13118 №6	管玉	碧玉 女代南B	9.55	2.90	1.90	1.95	石針	両面			
215		13区	SJ13118	管玉	碧玉 女代南B	4.25＋	2.70	1.60	1.55	石針	決定不能	欠損		
216		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	7.00	3.00	1.50	1.50	石針	両面			
217		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	8.90	3.40	1.90	2.20	石針	両面			
218		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	6.60	3.20	1.55	1.80	石針	両面？			
219		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	6.75	2.85	1.80	1.45	石針	両面			
220		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	10.20	2.90	1.70	1.50	石針	両面			
221		13区	SJ13119	管玉	碧玉 女代南B	5.70	3.20	1.60	1.55	石針	両面			
222		13区	SJ13123 №1	管玉	碧玉 女代南B	4.30＋	2.90	1.55	1.45	石針	両面	一端欠損後研磨		
223		13区	SJ13123 №2	管玉	碧玉 女代南B	4.65	2.40	1.00	1.00	石針	両面			
224		13区	SJ13123 №3	管玉	碧玉 女代南B	5.15	2.30	1.40	1.30	石針	両面			
225		13区	SJ13123	管玉	軟質GT	5.10	2.45	1.30	1.20	石針	両面			
226		13区	SJ13125 №1	管玉	軟質GT	8.35	3.95	1.90	1.80	石針	両面			
227		13区	SJ13130 №1	管玉	軟質GT	5.50	2.80	1.40	1.75	石針	両面			
228		13区	SJ13132 №2	管玉	軟質GT	9.10	3.95	1.20	1.70	石針	片面			
229		13区	SJ13132 №3	管玉	軟質GT	8.85	3.90	2.25	2.10	石針	片面			
230		13区	SJ13133 №2	管玉	碧玉 女代南B	11.65	3.70	2.00	1.80	石針	両面			
231		13区	SJ13133 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.55	3.30	1.60	1.60	石針	両面			
232		13区	SJ13133 №4	管玉	碧玉 女代南B	8.75	3.00	1.70	1.55	石針	両面			
233		13区	SJ13133 №6	管玉	碧玉 女代南B	8.55	3.15	1.85	1.80	石針	片面			
234	151-17	13区	SJ13133 №5	小玉	ガラス	7.80	8.45	2.00	1.80	—	—			08003752
235		13区	SJ13134	管玉	碧玉 未定C?	5.10	3.10	2.00	2.00	石針	両面		分析：女代南B	
236		13区	SJ13134	管玉	碧玉 未定C?	6.15	3.20	2.00	2.00	石針	両面		分析：女代南B	
237		13区	SJ13134	管玉	碧玉 未定C?	5.50	2.95	2.00	2.00	石針	両面		分析：女代南B	
238		13区	SJ13134	管玉	碧玉 未定C	6.35	3.05	1.50	1.50	石針	両面		分析：女代南B	
239		13区	SJ13134 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.20	3.30	1.60	1.50	石針	両面			
240		13区	SJ13134	管玉	碧玉 未定C	6.20	3.15	1.50	1.50	石針	両面			
241		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	6.15	2.95	1.20	1.10	石針	両面			
242		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	5.90	3.00	1.90	1.90	石針	両面			
243		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	5.15	3.10	1.80	1.70	石針	片面			
244		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	5.45	3.20	2.00	2.00	石針	両面			
245		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	5.65	3.00	1.80	1.80	石針	両面			
246		13区	SJ13134	管玉	碧玉 女代南B	5.10	3.20	1.80	1.80	石針	両面			
247		13区	SJ13135 №1	管玉	軟質GT	7.00	2.30	1.35	1.55	石針	片面			
248	151-16	13区	SJ13138 №1	丸玉	不明石材		最大厚13.50	4.50	4.50		両面			06003923
249		13区	SJ13144 №1	管玉	軟質GT	8.15	2.70	1.40	1.45	石針	両面			
250		13区	SJ13144 №2	管玉	軟質GT	8.20	2.55	1.30	1.30	石針	両面	半裁品		
251		13区	SJ13144 №3	管玉	軟質GT	7.60	2.55	1.00	1.15	石針	両面			
252		13区	SJ13144 №4	管玉	軟質GT	7.20	2.40	2.25	1.80	石針	両面	半裁品		
253		13区	SJ13146 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.70	3.65	1.95	1.95	石針	両面			
254		13区	SJ13146 №40	管玉	碧玉 女代南B	5.20	2.40	1.40	1.40	石針	片面			
255		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	6.65	3.00	1.45	1.15	石針	両面			
256		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	9.10	3.00	1.70	1.90	石針	両面			
257		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.10	1.00	1.15	石針	片面			
258		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.30	2.15	1.15	1.15	石針	両面			
259		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.60	1.90	0.95	0.95	石針	両面			
260		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.25	1.40	1.20	石針	両面			
261		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.45	2.25	1.00	1.00	石針	片面			
262		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	6.60	2.95	1.20	1.25	石針	両面			
263		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	7.70＋	3.40	2.15	1.85	石針	両面	一端欠損後研磨		
264		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.45	2.00	1.00	1.00	石針	両面			

表49　13区甕棺出土玉類観察表(6)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
265		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	6.70	3.05	1.80	1.20	石針	片面			
266		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	6.60	2.15	1.10	1.00	石針	片面			
267		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	6.90	3.20	1.50	1.40	石針	両面			
268		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	7.15	2.90	1.45	1.60	石針	両面			
269		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.10	1.40	1.20	石針	両面			
270		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.65	2.25	1.45	1.30	石針	両面			
271		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	6.20	2.70	1.25	1.35	石針	両面			
272		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	8.60	2.65	1.70	1.70	石針	両面			
273		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	6.70	2.95	1.40	1.35	石針	両面			
274		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	7.35	3.15	1.70	1.55	石針	両面			
275		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	7.80	1.90	1.00	1.00	石針	両面			
276		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.25	2.30	1.10	1.10	石針	両面			
277		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	4.95	3.00	1.50	1.20	石針	両面			
278		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.00	1.10	1.00	石針	片面			
279		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	4.20	2.05	1.00	1.00	石針	両面			
280		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	9.45	3.20	1.90	1.65	石針	両面			
281		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.30	2.55	1.30	1.15	石針	両面			
282		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	4.40＋	2.70	1.45	1.35	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
283		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.75＋	1.90	1.00	1.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
284		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.25	1.55	1.20	石針	両面			
285		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	3.95	2.10	1.00	1.00	石針	片面			
286		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	4.70	2.00	0.80	1.50	石針	両面			
287		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	6.80	2.15	1.35	1.35	石針	両面			
288		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	6.15	2.95	1.40	1.50	石針	両面			
289		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	8.95	3.20	1.70	1.70	石針	両面			
290		13区	SJ13146	管玉	軟質GT	8.25	2.95	1.65	1.60	石針	両面			
291		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	11.15	3.75	1.50	1.50	石針	両面			
292		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	11.20	3.65	1.70	1.70	石針	両面			
293		13区	SJ13146	管玉	碧玉 女代南B	15.20	3.65	1.90	1.90	石針	両面			
294		13区	SJ13164 №1棺外	管玉	碧玉 女代南B	15.55	4.40	2.35	2.35	石針	両面			
295		13区	SJ13164 墓坑埋土	管玉	軟質GT	6.35	2.55	1.45	1.30	石針	片面			
296		13区	SJ13200 №1	管玉	碧玉 女代南B	10.50	3.60	2.00	1.80	石針	両面			
297		13区	SJ13200 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.90	3.10	1.55	1.60	石針	両面			
298		13区	SJ13200 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.25	3.75	1.90	1.70	石針	両面			
299		13区	SJ13200 №4	管玉	碧玉 女代南B	5.25	3.00	1.60	1.20	石針	片面			
300	150-6	13区	SJ13206 №1	勾玉	翡翠	22.50	最大厚6.00	3.80	3.40		両面			06003913
301		13区	SJ13210 №1	管玉	碧玉 女代南B	7.20	3.10	1.50	1.50	石針	両面			
302		13区	SJ13210 №2	管玉	碧玉 女代南B	10.70	2.90	1.80	1.60	石針	両面			
303		13区	SJ13210 №3	管玉	碧玉 女代南B	10.35	4.00	1.70	1.70	石針	両面			
304		13区	SJ13214 №1	管玉	軟質GT	8.15	3.20	1.35	1.60	石針	片面	接合完形		
305		13区	SJ13214 №2	管玉										
306		13区	SJ13214 №3	管玉	軟質GT	6.60	3.20	1.20	1.10	石針	片面			
307		13区	SJ13214 №4	管玉	軟質GT	7.60	2.65	1.45	1.20	石針	片面			
308		13区	SJ13214 №5	管玉	軟質GT	9.00	3.60	1.70	1.45	石針	片面			
309		13区	SJ13214 №6	管玉	軟質GT	10.50	3.35	1.50	1.20	石針	片面			
310		13区	SJ13214 №7	管玉	軟質GT	7.90	3.50	1.45	1.50	石針	片面			
311		13区	SJ13214 №8	管玉	軟質GT	8.10	3.25	2.00	1.40	石針	片面			
312		13区	SJ13214 №9	管玉	軟質GT	7.95	3.45	1.00	1.90	石針	両面			
313		13区	SJ13215 №1	管玉	碧玉 女代南B	4.30	2.10	1.75	1.10	石針	片面			
314		13区	SJ13215 №2	管玉	軟質GT	6.20	2.75	0.90	1.80	石針	両面			
315		13区	SJ13215 №3	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.85	1.70	1.85	石針	両面			
316		13区	SJ13215 №4	管玉	碧玉 女代南B	5.30＋	2.10	1.00	0.90	石針	両面	欠損	接合しないが318と同一個体	
317		13区	SJ13215 №5	管玉	軟質GT	5.85	2.90	0.70	1.50	石針	両面			
318		13区	SJ13215	管玉	碧玉 女代南B	4.40＋	2.10	1.00	1.00	石針	決定不能	欠損	接合しないが316と同一個体	
319		13区	SJ13220 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.30	2.90	1.80	1.80	石針	両面			
320		13区	SJ13220 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.45	2.90	2.20	1.90	石針	両面			
321		13区	SJ13220 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.10	2.95	1.50	1.50	石針	片面			

表50　13区甕棺出土玉類観察表(7)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
322		13区	SJ13220 №4	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.10	1.45	1.10	石針	両面			
323		13区	SJ13220 №5	管玉	碧玉 女代南B	7.40	3.20	2.15	1.80	石針	両面			
324		13区	SJ13232 №1	管玉	碧玉 未定C	8.70	3.80	2.20	2.10	石針	両面			
325		13区	SJ13232 №2	管玉	碧玉 未定C	10.00	4.60	2.20	2.35	石針	両面			
326		13区	SJ13232 №3	管玉	碧玉 未定C	15.40	3.90	2.20	2.00	石針	両面			
327		13区	SJ13232 №4	管玉	碧玉 未定C	7.25	3.60	2.60	2.60	石針	両面			
328		13区	SJ13232 №5	管玉	碧玉 未定C	12.35＋	5.60	3.00	2.95	石針	両面	破面研磨		
329		13区	SJ13232 №6	管玉	碧玉 女代南B	11.75	4.20	2.15	2.20	石針	両面			
330		13区	SJ13232 №7	管玉	碧玉 未定C	8.40	4.00	2.50	2.30	石針	両面			
331		13区	SJ13232 №8	管玉	碧玉 女代南B	10.30	4.40	2.00	2.10	石針	両面			
332		13区	SJ13232 №9	管玉	碧玉 未定C	8.80	3.65	2.15	2.05	石針	両面			
333		13区	SJ13232 №11	管玉	碧玉 未定C	11.80＋	4.70	2.85	2.95	石針	両面	欠損		
334		13区	SJ13232 №13	管玉	碧玉 女代南B	12.90	4.50	2.70	2.30	石針	両面			
335		13区	SJ13232 №14	管玉	碧玉 未定C	12.10	4.10	2.10	2.20	石針	両面			
336		13区	SJ13232 №16	管玉	碧玉 女代南B	12.30	4.20	2.20	1.85	石針	両面			
337		13区	SJ13232 №17	管玉	碧玉 未定C	14.60	4.70	2.75	2.80	石針	両面			
338		13区	SJ13232 №18	管玉	碧玉 未定C	9.20	3.90	2.20	2.30	石針	両面			
339		13区	SJ13232 №19	管玉	碧玉 未定C	7.60＋	4.00	2.20	2.30	石針	決定不能	欠損		
340		13区	SJ13232 №20	管玉	碧玉 女代南B	14.20	4.30	2.30	2.20	石針	両面			
341		13区	SJ13232 №21	管玉	碧玉 女代南B	11.80	3.85	2.30	1.90	石針	両面			
342		13区	SJ13232 №22	管玉	碧玉 未定C	10.80	4.30	2.35	2.35	石針	両面			
343		13区	SJ13232 №23	管玉	碧玉 未定C	5.60＋	3.80	2.45	1.60	石針	決定不能	破面研磨		
344	151-13	13区	SJ13232 №10	管玉	翡翠	7.00	7.50	2.50	2.70		片面			08000498
345	151-14	13区	SJ13232 №12	管玉	翡翠	5.90	4.60	2.40	3.00		片面			08000499
346	150-7	13区	SJ13232 №15	勾玉	翡翠	25.00	最大厚6.50	2.90	2.55		両面			04002392
347		13区	SJ13233 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.50	3.15	1.75	2.00	石針	両面			
348		13区	SJ13233 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.80	3.25	1.70	1.70	石針	両面			
349		13区	SJ13233 №3	管玉	碧玉 女代南B	8.20	3.35	1.55	1.55	石針	両面			
350		13区	SJ13241 №1	管玉	碧玉 未定C	15.40	4.05	2.65	2.80	石針	両面			
351		13区	SJ13241 №2	管玉	碧玉 女代南B	12.45	4.10	1.90	1.90	石針	両面			
352		13区	SJ13253 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.70	2.90	1.70	1.70	石針	両面？			
353		13区	SJ13253	管玉	碧玉 女代南B	4.00	2.65	1.60	1.40	石針	両面			
354		13区	SJ13253	管玉	碧玉 女代南B	4.10	2.20	1.30	1.20	石針	両面			
355		13区	SJ13253	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.65	1.45	1.45	石針	両面			
356		13区	SJ13270 №1	管玉	碧玉 未定C	11.80	3.80	2.30	2.10	石針	両面			
357		13区	SJ13270 №2	管玉	碧玉 未定C	7.45	2.90	2.00	2.00	石針	両面			
358		13区	SJ13272 №1	管玉	碧玉 女代南B	7.50	2.55	1.50	1.50	石針	両面			
359		13区	SJ13272 №2	管玉	軟質GT	6.90	2.85	1.40	1.25	石針	片面			
360		13区	SJ13274 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.65	2.50	1.70	1.45	石針	両面			
361		13区	SJ13274 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.70	3.00	1.00	1.40	石針	両面？			
362		13区	SJ13277 №1	管玉	碧玉 女代南B	7.40	2.40	1.00	1.00	石針	両面			
363		13区	SJ13277 №2	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.90	1.85	1.85	石針	両面？			
364		13区	SJ13277 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.55＋	3.25	2.00	2.00	石針	決定不能	欠損		
365		13区	SJ13283 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.50	3.00	1.50	1.20	石針	両面？			
366		13区	SJ13283 №2	管玉	碧玉 未定C	9.70	3.75	2.30	2.00	石針	両面			
367		13区	SJ13283 №3	管玉	碧玉 女代南B	8.75	2.95	1.80	1.50	石針	両面			
368		13区	SJ13283 №4	管玉	碧玉 女代南B	12.55＋	3.65	2.00	1.90	石針	両面	一端欠損後研磨		
369		13区	SJ13283	管玉	碧玉 女代南B	6.15	2.75	1.50	1.30	石針	片面			
370		13区	SJ13283	管玉	碧玉 女代南B	6.80	3.20	1.20	1.20	石針	両面			
371		13区	SJ13289 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.50	1.35	1.20	石針	両面			
372		13区	SJ13289 №20	管玉	碧玉 女代南B	11.00	3.95	1.90	1.95	石針	両面			
373		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	7.30	2.90	1.50	1.55	石針	両面			
374		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.45	2.70	1.70	1.60	石針	両面			
375		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.75	3.35	1.70	1.95	石針	両面			
376		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.25	2.85	1.30	1.40	石針	両面			
377		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.40	3.25	1.20	1.30	石針	両面			
378		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.20	2.80	1.35	1.40	石針	両面			
379		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	4.75	2.75	1.40	1.40	石針	両面			

表51　13区甕棺出土玉類観察表(8)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
380		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.90	1.90	1.90	石針	片面			
381		13区	SJ13289	管玉	碧玉 未定C	6.45＋	2.55	1.30	1.20	石針	決定不能	一端欠損		
382		13区	SJ13289	管玉	軟質GT	6.20	3.60	1.75	1.80	石針	片面			
383		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	8.35	3.30	1.65	1.70	石針	両面			
384		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	7.75	3.70	2.00	2.70	石針	両面			
385		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	4.25＋	2.65	1.75	1.60	石針	両面	一端研磨		
386		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.35	1.20	1.10	石針	両面			
387		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.20	3.35	1.80	1.70	石針	片面			
388		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.05	2.25	1.20	1.30	石針	両面			
389		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	7.55	3.00	1.70	1.70	石針	片面			
390		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.55	3.20	1.55	1.20	石針	片面			
391		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.25	2.25	1.20	1.25	石針	両面			
392		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	3.70	2.65	1.20	1.00	石針	両面			
393		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.65	2.35	1.20	1.20	石針	片面			
394		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	6.35	2.50	1.00	1.00	石針	片面	一端の一部欠損		
395		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.75	2.40	1.15	1.45	石針	片面			
396		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	8.30	2.80	1.30	1.20	石針	両面			
397		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	8.90	3.60	1.70	1.70	石針	両面			
398		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	9.00	3.10	1.70	1.50	石針	両面			
399		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	9.90	3.45	1.45	1.45	石針	両面			
400		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	4.00	2.80	1.50	1.50	石針	両面			
401		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	3.75	3.05	1.20	1.20	石針	両面			
402		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.70	1.45	1.25	石針	両面			
403		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	5.65	2.70	1.50	1.50	石針	両面			
404		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	10.10＋	2.55	1.20	1.00	石針	決定不能	一端欠損		
405		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	7.55	3.10	1.50	1.00	石針	両面			
406		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	8.10	2.55	1.40	1.00	石針	両面			
407		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	11.00	3.50	1.10	1.10	石針	両面			
408		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	11.20	3.25	1.55	2.00	石針	両面			
409		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	12.20	3.15	1.80	1.90	石針	両面			
410		13区	SJ13289	管玉	碧玉 女代南B	12.95	3.80	1.70	1.70	石針	両面			
411		13区	SJ13292	管玉	碧玉 女代南B？	8.80	3.35	2.20	2.00	石針	両面			
412		13区	SJ13292	管玉	碧玉 女代南B	9.55	2.40	2.00	1.90	石針	両面			
413		13区	SJ13293 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.00	3.10	1.40	1.35	石針	両面			
414		13区	SJ13293 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.60	2.90	1.45	1.45	石針	両面			
415		13区	SJ13293	管玉	碧玉 女代南B	4.80＋	2.45	2.00	1.90	石針	決定不能	欠損		
416		13区	SJ13294 №1	管玉	碧玉 女代南B	7.55	2.55	1.25	1.50	石針	両面			
417	150-8	13区	SJ13294 №2	勾玉	翡翠	20.00	最大厚8.00	5.80	3.10		片面			06003914
418		13区	SJ13295 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.00	3.00	1.65	1.70	石針	両面？			
419		13区	SJ13295 №2	管玉	碧玉 女代南B	5.85	2.40	1.20	1.40	石針	両面			
420		13区	SJ13295 №3	管玉	碧玉 女代南B	6.15	2.50	1.65	1.60	石針	両面？			
421		13区	SJ13295 №4	管玉	碧玉 女代南B	5.90	2.30	1.10	1.10	石針	片面			
422		13区	SJ13295 №5	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.65	1.30	1.40	石針	両面			
423		13区	SJ13295 №6	管玉	碧玉 未定C	4.90	3.10	2.00	1.95	石針	両面			
424		13区	SJ13295	管玉	碧玉 女代南B	6.60	2.75	1.60	1.60	石針	両面			
425		13区	SJ13301 №1	管玉	碧玉 女代南B	22.80	5.65	2.50	2.20	石針	両面	端面稜摩滅		
426		13区	SJ13301 №2	管玉	碧玉 未定C?	12.85＋	6.55	2.90	2.80	石針	両面	一端欠損後研磨		
427		13区	SJ13302 №1	管玉	碧玉 女代南B	12.70	3.60	1.40	1.40	石針	両面			
428		13区	SJ13302 №2	管玉	碧玉 女代南B	8.50	3.00	1.45	1.50	石針	両面			
429		13区	SJ13302 №3	管玉	碧玉 女代南B	9.55	3.40	1.90	1.75	石針	両面			
430		13区	SJ13302 №4	管玉	碧玉 女代南B	7.70	3.40	1.80	1.45	石針	両面			
431		13区	SJ13302 №5	管玉	碧玉 女代南B	12.60	2.60	2.00	1.85	石針	両面			
432		13区	SJ13302 №6	管玉	碧玉 女代南B	7.00	3.95	1.55	1.50	石針	両面			
433		13区	SJ13302 №7	管玉	碧玉 女代南B	10.90	3.65	2.00	2.00	石針	両面			
434		13区	SJ13302 №8	管玉	碧玉 女代南B	14.00	3.75	2.15	2.05	石針	両面			
435		13区	SJ13302 №9	管玉	碧玉 女代南B	12.30	3.70	1.70	1.80	石針	両面			
436		13区	SJ13302 №10	管玉	碧玉 女代南B	12.55	4.00	2.00	2.00	石針	両面			
437		13区	SJ13302 №11棺外	管玉	碧玉 女代南B	11.20	3.95	2.00	2.00	石針	両面			

表52　13区甕棺出土玉類観察表(9)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
438		13区	SJ13310 №1	管玉	碧玉 未定C	4.75＋	3.35	1.50	1.70	石針	両面	一端欠損後研磨		
439		13区	SJ13310 №2	管玉	碧玉 女代南B	8.75	3.25	2.00	2.00	石針	両面			
440		13区	SJ13310 №3	管玉	碧玉 女代南B	9.90	3.65	2.00	2.00	石針	両面			
441		13区	SJ13310 №4	管玉	碧玉 女代南B	6.55	3.35	1.20	1.10	石針	片面			
442		13区	SJ13310 №5	管玉	碧玉 未定C?	9.55	3.20	1.20	1.00	石針	両面		分析：女代南B	
443		13区	SJ13310 №6	管玉	碧玉 女代南B	8.80	3.50	1.20	1.00	石針	片面			
444		13区	SJ13310 №7	管玉	碧玉 未定C?	5.40	3.15	2.00	2.00	石針	両面		分析：女代南B	
445		13区	SJ13310 №8	管玉	碧玉 未定C?	8.80	3.35	2.00	1.80	石針	両面		分析：女代南B	
446		13区	SJ13310 №9	管玉	碧玉 女代南B	11.70	4.25	2.00	2.00	石針	両面			
447		13区	SJ13310 №10	管玉	碧玉 女代南B	7.85	3.40	2.00	1.70	石針	両面			
448		13区	SJ13310 №11	管玉	碧玉 女代南B	8.35	3.80	1.50	1.50	石針	両面			
449		13区	SJ13310 №12	管玉	碧玉 女代南B	8.50	3.45	2.00	2.00	石針	両面			
450		13区	SJ13310 №13	管玉	碧玉 女代南B	6.55	2.90	1.00	1.10	石針	片面			
451		13区	SJ13310 №14	管玉	碧玉 女代南B	16.60	4.45	2.00	1.90	石針	両面			
452		13区	SJ13310 №15	管玉	碧玉 女代南B	9.55	3.60	2.00	1.50	石針	両面			
453		13区	SJ13310 №16	管玉	碧玉 女代南B	5.90	3.00	1.10	1.00	石針	両面			
454		13区	SJ13310 №17	管玉	碧玉 女代南B	6.70	3.15	1.50	1.50	石針	両面			
455		13区	SJ13310 №18	管玉	碧玉 女代南B	13.90＋	4.95	2.20	2.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
456		13区	SJ13310	管玉	碧玉 女代南B	6.85	3.25	1.80	1.50	石針	両面			
457	150-9	13区	SJ13312 №1	勾玉	翡翠	21.50	最大厚4.00	4.00	2.00		片面			06003912
458		13区	SJ13313 №1	管玉	碧玉 未定C	8.60＋	3.85	2.00	2.40	石針	両面	破面研磨		
459		13区	SJ13316 №1	管玉	碧玉 女代南B	12.00	3.80	1.90	1.90	石針	両面			
460		13区	SJ13316 №2	管玉	碧玉 女代南B	16.70	3.85	2.10	2.00	石針	両面			
461		13区	SJ13316 №3	管玉	碧玉 女代南B	10.80	3.30	2.20	2.20	石針	両面			
462		13区	SJ13316 №4	管玉	碧玉 女代南B	10.00	3.65	1.85	1.60	石針	両面			
463		13区	SJ13316 №5	管玉	碧玉 女代南B	11.10	3.55	2.00	1.70	石針	両面			
464		13区	SJ13316 №6	管玉	碧玉 女代南B	13.75	3.95	1.70	1.70	石針	両面			
465	150-10	13区	SJ13317 №1	勾玉	翡翠	20.00	最大厚6.50	4.50	3.55		両面			06003911
466		13区	SJ13319 №1	管玉	碧玉 未定C?	4.80	3.55	2.10	1.90	石針	両面		分析：女代南B	
467		13区	SJ13319 №2	管玉	碧玉 未定C	6.00＋	3.30	1.70	1.70	石針	両面	一端欠損後研磨		
468		13区	SJ13319 №3	管玉	碧玉 未定C	5.05＋	3.00	1.50	1.20	石針	両面	一端調整研磨		
469		13区	SJ13319 №4	管玉	碧玉 未定C?	4.75	3.00	1.30	1.30	石針	両面		分析：女代南B	
470		13区	SJ13319 №5	管玉	碧玉 女代南B	20.95	4.85	2.80	2.50	石針	両面			
471		13区	SJ13319 №6	管玉	碧玉 未定C?	5.00	2.70	1.20	1.10	石針	両面			
472		13区	SJ13319 №7	管玉	碧玉 未定C	4.90＋	3.85	2.10	2.10	石針	両面	一端欠損後研磨		
473		13区	SJ13319 №8	管玉	碧玉 未定C	4.65＋	2.95	1.00	0.70	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
474		13区	SJ13319 №9	管玉	碧玉 未定C	5.20＋	3.35	2.20	2.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
475		13区	SJ13319 №10	管玉	碧玉 未定C	4.90＋	3.45	2.00	1.80	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
476		13区	SJ13319 №11	管玉	碧玉 未定C	5.90	2.55	1.50	1.00	石針	両面			
477		13区	SJ13319 №12	管玉	碧玉 未定C	5.35	3.10	2.00	2.00	石針	両面			
478		13区	SJ13319 №13	管玉	碧玉 未定C	5.15＋	3.40	2.00	2.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
479		13区	SJ13319 №14	管玉	碧玉 未定C	5.15	3.00	1.00	1.20	石針	両面			
480		13区	SJ13319 №15	管玉	碧玉 未定C	6.80＋	3.50	2.00	1.50	石針	両面	一端欠損後研磨		
481		13区	SJ13319 №16	管玉	碧玉 未定C	4.45	2.85	1.50	1.20	石針	両面			
482		13区	SJ13319 №17	管玉	碧玉 未定C	6.50	2.90	1.60	1.60	石針	両面			
483		13区	SJ13319 №18	管玉	碧玉 未定C	4.55＋	3.20	1.80	1.80	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
484		13区	SJ13319 №19	管玉	碧玉 未定C	5.45＋	3.85	2.10	2.00	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
485		13区	SJ13319 №20	管玉	碧玉 未定C	3.80＋	2.70	1.50	1.20	石針	両面	一端欠損後研磨		
486		13区	SJ13319 №21	管玉	碧玉 女代南B	16.55	7.10	3.20	3.00	石針	両面			
487		13区	SJ13319 №22	管玉	碧玉 女代南B	10.10	3.10	1.70	1.70	石針	両面			
488		13区	SJ13319 №23	管玉	碧玉 未定C	5.40	3.10	1.90	1.90	石針	両面			
489		13区	SJ13319 №24	管玉	碧玉 未定C	6.10	3.20	2.00	2.00	石針	両面			
490		13区	SJ13319 №25	管玉	碧玉 未定C?	6.00	3.30	1.70	1.50	石針	両面		分析：女代南B	
491		13区	SJ13319 №26	管玉	碧玉 未定C	4.30	2.95	1.50	1.50	石針	両面			
492		13区	SJ13319 №27	管玉	碧玉 未定C	5.35	3.05	2.00	2.00	石針	両面			
493		13区	SJ13319	管玉	碧玉 未定C	7.35	3.25	2.20	2.00	石針	両面			
494		13区	SJ13319	管玉	碧玉 未定C?	2.80	3.20	1.60	1.60	石針	両面		分析：女代南B	
495		13区	SJ13321 №2	管玉	軟質GT	7.50	2.70	0.80	1.00	石針	片面			

表53　13区甕棺出土玉類観察表(10)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（mm）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
496		13区	SJ13321 №3	管玉	軟質GT	7.80	2.65	1.45	1.05	石針	片面			
497		13区	SJ13321 №4	管玉	軟質GT	10.10	2.60	1.40	1.25	石針	片面			
498		13区	SJ13321 №5	管玉	軟質GT	7.40	2.60	1.40	1.10	石針	片面			
499		13区	SJ13321	管玉	軟質GT	6.55	2.55	1.00	1.00	石針	片面			
500		13区	SJ13321	管玉	軟質GT	7.95	2.55	1.00	0.90	石針	片面			
501		13区	SJ13321	管玉	軟質GT	8.25	2.60	1.00	1.00	石針	片面			
502		13区	SJ13321	管玉	軟質GT	6.60	2.65	1.00	1.35	石針	両面			
503		13区	SJ13325	管玉	碧玉 女代南B	5.00	2.80	1.60	1.30	石針	片面			
504		13区	SJ13325	管玉	碧玉 女代南B	3.80	3.00	1.30	1.60	石針	両面			
505		13区	SJ13325	管玉	碧玉 女代南B	4.65	2.90	1.60	1.60	石針	両面			
506		13区	SJ13325	管玉	碧玉 女代南B	5.85	2.80	1.90	1.60	石針	両面			
507		13区	SJ13330 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.40	2.35	1.55	1.90	石針	両面			
508		13区	SJ13330 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.40	2.20	1.50	1.50	石針	両面			
509		13区	SJ13330	管玉	碧玉 女代南B	9.40	2.20	1.40	1.50	石針	両面			
510		13区	SJ13335 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.35	2.25	1.30	1.20	石針	片面			
511		13区	SJ13335 №2	管玉	碧玉 女代南B	6.00	2.90	1.80	1.90	石針	両面	一端の一部欠損		
512		13区	SJ13335 №3	管玉	軟質GT	9.20	2.50	1.00	1.20	石針	片面			
513		13区	SJ13335 №4	管玉	軟質GT	7.30	2.45	1.20	1.00	石針	片面			
514		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	8.10＋	3.05	1.00	1.00	石針	決定不能	一端欠損後研磨		
515		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	6.55	3.30	1.50	1.20	石針	両面			
516		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	7.20	3.20	2.00	1.80	石針	両面			
517		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	6.90	3.15	2.00	1.80	石針	片面			
518		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	6.60	3.20	1.10	1.00	石針	片面			
519		13区	SJ13336	管玉	碧玉 未定C	7.40	3.30	1.80	1.60	石針	両面			
520		13区	SJ13336	管玉	碧玉 女代南B	6.20	3.00	1.50	1.50	石針	両面			
521		13区	SJ13343 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.50	2.80	1.80	1.80	石針	片面			
522		13区	SJ13343 №2	管玉	碧玉 女代南B	5.60	2.90	1.80	1.90	石針	両面？			
523		13区	SJ13343 №3	管玉	碧玉 女代南B	7.50	2.80	1.80	1.65	石針	両面			
524		13区	SJ13343 №4	管玉	碧玉 女代南B	5.70	2.40	1.80	1.40	石針	両面			
525		13区	SJ13343	管玉	碧玉 女代南B	5.40	2.70	1.45	1.40	石針	両面			
526		13区	SJ13355 №1	管玉	碧玉 女代南B	5.60	2.70	1.45	1.50	石針	両面			
527		13区	SJ13355 №2	管玉	碧玉 女代南B	5.10	2.60	1.70	1.35	石針	両面			
528		13区	SJ13379 №1	管玉	軟質GT	8.00	2.35	1.70	1.45	石針	両面	一端の一部欠損		
529		13区	SJ13379 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.30	2.40	1.20	1.00	石針	両面			
530		13区	SJ13379 №3	管玉	軟質GT	8.45	2.60	1.35	1.50	石針	両面			
531		13区	SJ13379 №4	管玉	軟質GT	7.30	2.90	1.40	1.00	石針	両面			
532		13区	SJ13379 №5	管玉	軟質GT	6.50	2.75	1.20	1.20	石針	両面			
533		13区	SJ13379	管玉	碧玉 女代南B	7.95	2.80	1.40	1.20	石針	両面			
534		13区	SJ13384	管玉	碧玉 女代南B	9.70	3.30	2.00	2.00	石針	両面			
535		13区	SJ13384 №1	管玉	碧玉 女代南B	8.10	3.35	1.50	1.50	石針	両面			
536		13区	SJ13384 №2	管玉	碧玉 女代南B	8.55	3.40	1.50	1.10	石針	両面			
537		13区	SJ13391 №1	管玉	碧玉 女代南B	6.40	3.20	1.60	1.70	石針	片面			
538		13区	SJ13391 №2	管玉	碧玉 女代南B	7.95	2.80	1.80	1.65	石針	両面			
539		13区	SJ13391 №3	管玉	碧玉 女代南B	5.00	3.00	1.65	1.60	石針	両面			
540		13区	SJ13391 №4	管玉	碧玉 女代南B	7.20	2.90	1.70	1.90	石針	両面			
541		13区	SJ13391 №5	管玉	碧玉 女代南B	8.20	2.80	1.60	1.60	石針	両面			
542		13区	SJ13391 №6	管玉	碧玉 女代南B	6.60＋	3.10	1.40	1.30	石針	両面	欠損		
543		13区	SJ13391 №7	管玉	碧玉 女代南B	7.15	3.15	1.45	1.45	石針	両面			
544		13区	SJ13391	管玉	碧玉 女代南B	5.25	2.80	1.70	1.70	石針	両面			
545		13区	SJ13395 №1	管玉	軟質GT	5.35	2.65	1.40	1.35	石針	両面			
546		13区	SJ13395 №2	管玉	軟質GT	6.25	2.60	1.35	1.25	石針	両面			
547		13区	SJ13395 №3	管玉	軟質GT	6.15	2.55	1.45	1.30	石針	両面			
548		13区	SJ13395 №4	管玉	軟質GT	5.90	2.50	1.30	1.30	石針	両面？			
549		13区	SJ13395 №5	管玉	軟質GT	7.00	2.65	1.50	1.40	石針	片面			
550		13区	SJ13395	管玉	軟質GT	5.40	2.50	1.45	1.40	石針	両面			
551		13区	SJ13395	管玉	軟質GT	5.70	2.70	1.40	1.30	石針	両面？			
552		13区	SJ13395	管玉	軟質GT	5.75	2.70	1.45	1.20	石針	両面			
553		13区	SJ13396 №1	管玉	軟質GT	7.15	2.90	1.50	1.60	石針	両面			

表54　13区甕棺出土玉類観察表(11)

個体番号	挿図番号	調査区	遺構番号	種別	材質・石材産地	法量（㎜）				穿孔具	穿孔方向	残存状況	備考	県遺物登録番号
						全長	直径	孔径						
554		13区	SJ13396 №2	管玉	軟質GT	6.90	2.75	1.25	1.20	石針	片面			
555		13区	SJ13400 №1	管玉	碧玉 女代南B	10.30	3.70	2.00	2.00	石針	両面			
556		13区	SJ13400 №2	管玉	碧玉 女代南B	12.50	4.20	1.80	1.65	石針	両面			
557		13区	SJ13400 №3	管玉	碧玉 未定C	13.35	3.90	2.80	2.40	石針	両面			
558		13区	SJ13400 №4	管玉	碧玉 未定C	10.00	3.60	1.90	1.60	石針	両面			
559		13区	SJ13400 №6	管玉	碧玉 女代南B	11.75	4.40	1.95	1.75	石針	両面			
560		13区	SJ13417 №1	管玉	碧玉 未定C	4.60	2.70	1.20	1.10	石針	両面			
561		13区	SJ13417 №2	管玉	碧玉 未定C	11.25	3.95	2.20	2.00	石針	両面			
562		13区	SJ13417 №4	管玉	碧玉 未定C	4.90	3.00	1.60	1.50	石針	両面			
563		13区	SJ13417 №5	管玉	碧玉 未定C?	9.15	3.90	1.20	1.00	石針	両面	調整研磨？		
564		13区	SJ13417 №6	管玉	碧玉 未定C	9.80＋	4.50	2.10	2.00	石針	両面	一端欠損後摩滅		
565		13区	SJ13417 №7	管玉	碧玉 未定C	4.40	2.75	1.50	1.20	石針	両面			
566		13区	SJ13417 №8	管玉	碧玉 未定C	10.75	4.05	2.00	2.00	石針	両面			
567		13区	SJ13417 №9	管玉	碧玉 未定C	5.45	2.55	1.50	1.50	石針	両面			
568		13区	SJ13417 №10	管玉	碧玉 未定C	4.95	2.70	1.20	1.20	石針	両面			
569		13区	SJ13417	管玉	碧玉 未定C	4.20＋	2.55	1.00	1.00	石針	両面	一端欠損後研磨		
570	151-15	13区	SJ13417 №3	丸玉	アマゾナイト	2.80	5.75	1.00	1.00	石針	両面			08003753
571		13区	SJ13421 №1	管玉	碧玉 未定C	5.70＋	4.60	2.40	2.40	石針	決定不能	破面研磨		
572		13区	SJ13421 №2	管玉	碧玉 未定C	9.55	3.80	1.95	1.90	石針	両面			

表55　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(1)

個体番号	調査区	遺構番号	種別	法量（㎜）						色調	残存状況
				全長		直径		孔径			
				最大	最小	最大	最小	最大	最小		
1	13区	SJ13069	小玉	0.7	0.6	2.1	2.0	0.7	0.7	濃青色透明	完形
2	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.8	1.7	0.8	0.8	濃青色透明	完形
3	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.8	1.6	0.6	0.6	濃青色透明	完形
4	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	2.2	1.9	1.2	0.8	濃青色透明	完形
5	13区	SJ13069	小玉	0.7	0.6	1.8	1.6	0.9	0.9	濃青色透明	完形
6	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.8	1.7	1.1	1.1	濃青色透明	完形
7	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	1.9	1.7	1.0	1.0	濃青色透明	完形
8	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.0	1.8	0.9	0.9	濃青色透明	完形
9	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.8	1.8	1.7	0.7	0.7	濃青色透明	完形
10	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.8	1.6	0.9	0.9	濃青色透明	完形
11	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.3	1.9	1.0	0.8	濃青色透明	完形
12	13区	SJ13069	小玉	1.3	0.9	2.2	1.9	0.8	0.8	濃青色透明	完形
13	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.8	1.7	0.8	0.8	濃青色透明	完形
14	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.9	1.8	1.0	1.0	濃青色透明	完形
15	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.6	1.9	1.6	1.0	1.0	濃青色透明	完形
16	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	2.1	1.9	0.8	0.8	濃青色透明	完形
17	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.5	1.4	0.8	0.8	濃青色透明	完形
18	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.0	1.8	0.8	0.8	濃青色透明	完形
19	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.8	1.6	0.8	0.8	濃青色透明	完形
20	13区	SJ13069	小玉	1.5	0.9	1.8	1.6	1.1	1.1	濃青色透明	完形
21	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.7	1.7	0.7	0.7	濃青色透明	完形
22	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.2	2.1	0.9	0.9	濃青色透明	完形
23	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	1.9	1.7	0.8	0.8	濃青色透明	完形
24	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.7	1.6	0.8	0.8	濃青色透明	完形
25	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.2	2.0	1.4	1.0	濃青色透明	完形
26	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.1	1.8	0.8	0.8	濃青色透明	完形
27	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	1.7	1.5	1.0	1.0	濃青色透明	完形
28	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.6	1.4	0.7	0.7	濃青色透明	完形
29	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.9	2.2	2.1	0.9	0.9	濃青色透明	完形
30	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.5	1.8	1.6	0.9	0.9	濃青色透明	完形
31	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	1.6	1.4	0.9	0.9	濃青色透明	完形
32	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.8	1.7	1.5	0.8	0.8	濃青色透明	完形
33	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.8	1.6	1.0	1.0	濃青色透明	完形
34	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.7	1.5	0.9	0.9	濃青色透明	完形
35	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.9	1.7	0.8	0.8	濃青色透明	完形
36	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.1	2.0	1.0	1.0	濃青色透明	完形
37	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.7	1.9	1.6	0.9	0.9	濃青色透明	完形
38	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.1	1.5	0.9	0.6	濃青色透明	完形
39	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	1.5	1.4	0.9	0.9	濃青色透明	完形
40	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	1.4	1.3	0.8	0.8	濃青色透明	完形
41	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.4	2.2	1.0	1.0	濃青色透明	完形
42	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	2.0	1.8	0.9	0.9	濃青色透明	完形
43	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.0	2.0	1.5	1.0	0.9	濃青色透明	完形
44	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.8	1.5	1.0	1.0	濃青色透明	完形
45	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	2.1	1.7	1.3	0.8	濃青色透明	完形
46	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.6	2.0	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
47	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.5	1.4	0.9	0.8	濃青色透明	完形
48	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	1.7	1.5	0.9	0.8	濃青色透明	完形
49	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.0	1.7	1.0	0.8	濃青色透明	完形
50	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	2.2	2.1	1.1	0.8	濃青色透明	完形
51	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.1	1.9	1.0	0.8	濃青色透明	完形
52	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.3	1.9	1.1	0.7	濃青色透明	完形
53	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.9	1.7	1.0	0.8	濃青色透明	完形
54	13区	SJ13069	小玉	0.8	0.6	2.2	2.1	1.0	1.2	濃青色透明	完形
55	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.8	1.5	1.0	0.9	濃青色透明	完形
56	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.1	1.8	1.0	0.8	濃青色透明	完形
57	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.8	2.1	2.0	1.1	0.8	濃青色透明	完形
58	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	1.6	1.5	0.8	0.7	濃青色透明	完形

表56　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(2)

個体番号	調査区	遺構番号	種別	法量（mm）						色調	残存状況
				全長		直径		孔径			
				最大	最小	最大	最小	最大	最小		
59	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.5	1.4	0.7	0.5	濃青色透明	完形
60	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	1.9	1.8	0.8	0.9	濃青色透明	完形
61	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.0	1.8	0.8	0.8	濃青色透明	完形
62	13区	SJ13069	小玉	1.0	1.0	1.9	1.5	0.8	0.6	濃青色透明	完形
63	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	1.7	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
64	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.0	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
65	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.8	2.1	1.8	1.5	0.9	濃青色透明	完形
66	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.8	1.6	1.4	1.0	0.8	濃青色透明	完形
67	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.8	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
68	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.0	1.7	1.1	0.8	濃青色透明	完形
69	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.7	1.8	1.7	1.1	0.9	濃青色透明	完形
70	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	1.7	1.4	0.9	0.8	濃青色透明	完形
71	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	1.8	1.7	1.0	1.0	濃青色透明	完形
72	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.5	1.4	0.9	0.8	濃青色透明	完形
73	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.5	1.3	0.8	0.7	濃青色透明	完形
74	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.2	1.7	0.8	0.6	濃青色透明	完形
75	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.9	1.6	0.8	0.7	濃青色透明	完形
76	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.8	1.6	1.0	1.0	濃青色透明	完形
77	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.1	1.8	1.1	0.8	濃青色透明	完形
78	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.9	1.7	0.7	0.6	濃青色透明	完形
79	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.1	1.8	1.2	0.8	濃青色透明	完形
80	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.8	2.2	2.0	1.0	0.8	濃青色透明	完形
81	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	2.0	1.9	1.0	0.9	濃青色透明	完形
82	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.8	1.6	0.8	0.7	濃青色透明	完形
83	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.8	1.6	0.7	0.7	濃青色透明	完形
84	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.7	1.5	0.6	0.6	濃青色透明	完形
85	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.0	1.6	1.4	0.7	0.7	濃青色透明	完形
86	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	1.7	1.6	0.6	0.6	濃青色透明	完形
87	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.8	1.7	0.8	0.7	濃青色透明	完形
88	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.6	1.6	0.6	0.6	濃青色透明	完形
89	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	1.8	1.7	0.7	0.6	濃青色透明	完形
90	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.5	1.4	0.8	0.8	濃青色透明	完形
91	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.6	1.5	0.8	0.7	濃青色透明	完形
92	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	2.2	2.0	0.8	0.6	濃青色透明	完形
93	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	2.0	1.9	0.7	0.7	濃青色透明	完形
94	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.0	2.0	1.0	1.0	濃青色透明	完形
95	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.0	2.7	2.1	1.2	0.8	濃青色透明	完形
96	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.5	1.3	0.7	0.7	濃青色透明	完形
97	13区	SJ13069	小玉	2.5	2.0	1.3	1.2	0.7	0.6	濃青色透明	完形
98	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.6	2.4	2.2	1.3	1.1	濃青色透明	完形
99	13区	SJ13069	小玉	0.8	0.5	2.0	1.8	1.2	0.8	濃青色透明	完形
100	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.3	1.9	1.7	0.7	0.5	濃青色透明	完形
101	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.0	1.7	1.1	0.6	濃青色透明	完形
102	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.1	1.8	1.5	1.0	0.8	濃青色透明	完形
103	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.7	1.7	0.9	0.9	濃青色透明	完形
104	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.7	1.6	0.9	0.9	濃青色透明	完形
105	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	1.9	1.6	0.9	0.7	濃青色透明	完形
106	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	2.3	2.1	0.8	0.7	濃青色透明	完形
107	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.7	1.3	1.2	0.6	0.6	濃青色透明	完形
108	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	2.0	1.7	0.8	0.7	濃青色透明	完形
109	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.1	2.0	1.7	0.8	0.7	濃青色透明	完形
110	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.5	1.5	1.4	0.7	0.7	濃青色透明	完形
111	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.5	1.4	1.3	0.7	0.7	濃青色透明	完形
112	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.8	1.6	0.8	0.8	濃青色透明	完形
113	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.9	1.8	0.7	0.7	濃青色透明	完形
114	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	2.2	2.0	1.2	0.9	濃青色透明	完形
115	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	2.1	1.8	0.9	0.7	濃青色透明	完形
116	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.8	2.0	1.7	0.7	0.7	濃青色透明	完形
117	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	1.9	1.8	1.0	0.9	濃青色透明	完形
118	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	2.0	1.7	0.9	0.9	濃青色透明	完形
119	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	1.6	1.5	0.8	0.8	濃青色透明	完形
120	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	2.1	1.8	0.7	0.7	濃青色透明	完形
121	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.1	2.0	1.0	0.9	濃青色透明	完形
122	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.6	1.4	0.9	0.8	濃青色透明	完形
123	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.3	1.5	1.5	0.8	0.8	濃青色透明	完形
124	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.4	2.0	1.7	0.7	0.7	濃青色透明	完形
125	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.6	1.4	0.7	0.7	濃青色透明	完形
126	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.9	2.3	2.2	1.0	0.9	濃青色透明	完形
127	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	2.4	2.1	0.8	0.7	濃青色透明	完形
128	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	1.9	1.7	0.6	0.6	濃青色透明	完形
129	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	2.0	1.7	0.9	0.5	濃青色透明	完形
130	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.4	1.6	1.4	0.5	0.5	濃青色透明	完形
131	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.7	2.2	2.0	1.2	0.8	濃青色透明	完形
132	13区	SJ13069	小玉	0.8	0.8	2.0	1.8	0.9	0.9	濃青色透明	完形
133	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.5	1.4	0.6	0.6	濃青色透明	完形
134	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	2.1	1.6	1.1	0.5	濃青色透明	完形
135	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	1.9	1.8	0.7	0.7	濃青色透明	完形
136	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.1	2.0	0.9	0.4	濃青色透明	完形
137	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.0	1.8	0.7	0.7	濃青色透明	完形
138	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.7	1.5	0.9	0.5	濃青色透明	完形
139	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.7	1.5	0.7	0.6	濃青色透明	完形
140	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	1.9	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
141	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	1.8	1.6	1.0	0.8	濃青色透明	完形
142	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.7	1.5	0.7	0.6	濃青色透明	完形
143	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.7	1.6	0.7	0.6	濃青色透明	完形
144	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.8	1.7	1.0	0.7	濃青色透明	完形
145	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.9	1.3	1.2	0.6	0.6	濃青色透明	完形
146	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.6	1.4	0.7	0.7	濃青色透明	完形
147	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.7	2.0	1.8	1.3	0.9	濃青色透明	完形
148	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	2.1	1.6	1.2	0.7	濃青色透明	完形
149	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	1.9	1.7	0.9	0.5	濃青色透明	完形
150	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.9	1.6	1.2	0.9	濃青色透明	完形
151	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.6	1.6	0.6	0.6	濃青色透明	完形
152	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.1	1.8	1.0	0.8	濃青色透明	完形
153	13区	SJ13069	小玉	0.9	0.6	2.1	2.0	1.0	0.9	濃青色透明	完形
154	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	2.2	2.1	1.3	1.0	濃青色透明	完形
155	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.9	1.7	1.0	0.7	濃青色透明	完形
156	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.6	2.1	1.9	1.0	0.8	濃青色透明	完形
157	13区	SJ13069	小玉	1.3	0.9	1.9	1.7	1.0	0.5	濃青色透明	完形
158	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	2.1	2.0	0.7	0.7	濃青色透明	完形
159	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.0	1.7	1.5	0.7	0.6	濃青色透明	完形
160	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.6	1.4	0.8	0.6	濃青色透明	完形
161	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	2.0	1.9	0.8	0.8	濃青色透明	完形
162	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.2	2.0	1.8	0.7	0.5	濃青色透明	完形
163	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.1	1.7	1.7	0.6	0.5	濃青色透明	完形
164	13区	SJ13069	小玉	1.1	1.0	1.9	1.7	0.7	0.7	濃青色透明	完形
165	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.6	1.5	0.7	0.7	濃青色透明	完形
166	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.7	1.6	0.7	0.7	濃青色透明	完形
167	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.7	1.5	0.8	0.7	濃青色透明	完形
168	13区	SJ13069	小玉	1.4	0.9	1.9	1.7	0.9	0.8	濃青色透明	完形
169	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.0	1.9	1.8	0.6	0.5	濃青色透明	完形
170	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.6	1.5	0.7	0.6	濃青色透明	完形
171	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	1.9	1.6	0.6	0.5	濃青色透明	完形
172	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.1	2.0	1.8	0.7	0.5	濃青色透明	完形
173	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	1.8	1.6	0.7	0.7	濃青色透明	完形
174	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.8	1.8	1.4	1.3	0.8	濃青色透明	完形
175	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.5	1.4	1.0	0.8	濃青色透明	完形
176	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.8	1.6	0.7	0.6	濃青色透明	完形

表57　13区甕棺出土ガラス玉類観察表(3)

個体番号	調査区	遺構番号	種別	法量（mm）						色調	残存状況
				全長		直径		孔径			
				最大	最小	最大	最小	最大	最小		
177	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.8	1.6	1.0	0.9	濃青色透明	完形
178	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.8	1.9	1.7	0.9	0.8	濃青色透明	完形
179	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.9	1.8	0.8	0.8	濃青色透明	完形
180	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	1.6	1.5	0.8	0.7	濃青色透明	完形
181	13区	SJ13069	小玉	1.4	0.8	1.7	1.6	0.7	0.6	濃青色透明	完形
182	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	1.6	1.5	0.8	0.8	濃青色透明	完形
183	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	1.8	1.6	1.1	0.7	濃青色透明	完形
184	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.2	2.0	1.9	1.0	0.9	濃青色透明	完形
185	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.6	2.0	1.9	0.7	0.6	濃青色透明	完形
186	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.7	1.9	1.7	0.7	0.5	濃青色透明	完形
187	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.2	2.4	2.2	1.0	0.8	濃青色透明	完形
188	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.3	1.9	1.7	0.8	0.7	濃青色透明	完形
189	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.3	2.0	1.8	0.9	0.7	濃青色透明	完形
190	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	2.1	1.8	0.9	0.7	濃青色透明	完形
191	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.2	1.7	1.5	0.8	0.7	濃青色透明	完形
192	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.7	1.6	1.1	0.8	濃青色透明	完形
193	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.1	1.5	1.4	0.9	0.7	濃青色透明	完形
194	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.2	1.9	0.7	1.0	濃青色透明	完形
195	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	1.6	1.4	0.8	0.6	濃青色透明	完形
196	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.8	2.2	2.0	1.0	0.7	濃青色透明	完形
197	13区	SJ13069	小玉	1.8	1.6	1.6	1.4	0.7	0.5	濃青色透明	完形
198	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.9	2.1	1.7	1.2	0.7	濃青色透明	完形
199	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.3	1.5	1.4	0.8	0.5	濃青色透明	完形
200	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	1.8	1.6	0.9	0.7	濃青色透明	完形
201	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	1.7	1.5	0.6	0.6	濃青色透明	完形
202	13区	SJ13069	小玉	1.4	0.8	1.6	1.4	1.0	0.7	濃青色透明	完形
203	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	1.6	1.5	0.8	0.8	濃青色透明	完形
204	13区	SJ13069	小玉	1.2	1.0	2.2	2.1	1.2	0.9	濃青色透明	完形
205	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	1.9	1.7	1.0	0.8	濃青色透明	完形

個体番号	調査区	遺構番号	種別	法量（mm）						色調	残存状況
				全長		直径		孔径			
				最大	最小	最大	最小	最大	最小		
206	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.0	1.8	1.0	0.9	濃青色透明	完形
207	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.9	2.0	1.8	0.8	0.7	濃青色透明	完形
208	13区	SJ13069	小玉	1.1	0.9	2.0	1.9	1.1	0.8	濃青色透明	完形
209	13区	SJ13069	小玉							濃青色透明	細片
210	13区	SJ13069	小玉	3.2	2.7	3.4	3.0	1.5	1.1	淡青色透明	完形
211	13区	SJ13069	小玉	2.4	2.4	2.7	2.4	1.1	0.9	淡青色透明	完形
212	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	2.5	2.3	0.9	0.4	淡青色透明	完形
213	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.4	2.6	2.4	1.0	0.9	淡青色透明	完形
214	13区	SJ13069	小玉	2.1	1.8	2.5	2.4	1.0	0.8	淡青色透明	完形
215	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	3.4	3.2	1.5	1.3	淡青色透明	完形
216	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.8	2.7	2.6	1.0	1.0	淡青色透明	完形
217	13区	SJ13069	小玉	1.3	1.1	2.1	2.3	0.8	0.8	淡青色透明	完形
218	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.4	2.5	2.2	0.8	0.8	淡青色透明	完形
219	13区	SJ13069	小玉	1.5	1.2	2.8	2.3	1.0	0.8	淡青色透明	完形
220	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.6	2.4	0.9	0.8	淡青色透明	完形
221	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	2.1	2.1	1.0	0.7	淡青色透明	完形
222	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	2.6	2.4	1.1	0.7	淡青色透明	完形
223	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.0	1.9	0.9	0.6	淡青色透明	完形
224	13区	SJ13069	小玉	1.2	0.8	2.4	2.0	0.9	0.9	淡青色透明	完形
225	13区	SJ13069	小玉	1.0	0.8	2.4	2.1	1.2	0.8	淡青色透明	完形
226	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.4	2.4	2.3	1.1	1.1	淡青色透明	完形
227	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.4	2.2	0.8	0.8	淡青色透明	完形
228	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.0	1.8	0.5	0.5	淡青色透明	完形
229	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.3	1.9	1.8	0.7	0.7	淡青色透明	完形
230	13区	SJ13069	小玉	1.4	1.2	2.1	1.7	0.8	0.8	淡青色透明	完形
231	13区	SJ13069	小玉	1.7	1.5	2.3	2.1	1.0	0.7	淡青色透明	完形
232	13区	SJ13069	小玉	1.6	1.5	2.0	1.8	0.7	0.6	淡青色透明	完形
233	13区	SJ13069	小玉	2.0	1.9	2.8	2.5	1.0		淡青色透明	細片
234	13区	SJ13071	小玉	1.8	1.5	3.0	2.5	1.5	1.0	淡青色透明	完形

Ⅴ．総括

1，唐津地域甕棺の器種・型式分類と編年試案

小松　譲

⑴　はじめに

これまでの唐津地域の甕棺墓の器種分類や編年は、多くの甕棺墓を検出した宇木汲田遺跡、大友遺跡でなされているものの確立したものではない。中島直幸氏[1]は前期から後期の唐津地域と佐賀地域の甕棺を当時の編年研究に沿って行っている。この他、仁田坂聡氏[2]は天神ノ元遺跡出土の甕棺を対象に橋口編年[3]に対比させた編年を行った。しかし、これらはいずれも遺跡単位での器種分類や編年であり、資料の制約もあり唐津地域の甕棺の時期的位置づけを考えるときに充分とは言えない。とくに唐津地域の甕棺墓には青銅製武器や装身具などが副葬され、それらの遺物研究の年代特定のためにも甕棺編年の持つ意味は大きい。

本遺跡は唐津地域最大の甕棺墓群を検出し、その時期も前期から後期の長時期にわたり資料が極めて増加した。そこで、本遺跡出土甕棺を主体的に用いながら、宇木汲田遺跡[4]や大友遺跡[5]、天神ノ元遺跡などの主要な甕棺も合わせて編年や地域性の研究の基本作業である甕棺の器種･型式分類を行う。さらに、設定した各型式を上下の甕棺や供献土器などの組み合わせから時期比定し、唐津地域の甕棺編年の基礎資料としたい。

⑵　器種分類

器種分類は本遺跡の近くに立地し、時期、副葬品組成が類似する宇木汲田遺跡での分類を参考に行う。甕棺として使用された土器は、甕、鉢、壺の３器種である。小型甕や壺は日常生活土器や祭祀土器の転用棺がほとんどであるが、壺の中で埋葬専用棺として大形化した壺ＣⅡや玄界灘沿岸に分布する壺Ｆ、壺Ｇ、壺Ｈなどがみられる。ここでは埋葬専用甕棺を主対象とした分類とするため日常生活土器である小形甕や壺などの細かな型式分類は行わない。また、前期は基本的に壺形の土器であるが、大形土器は「甕」と呼称する。

次ぎのような器種、型式に分類できる。ローマ数字のあとの算用数字は型式組列である。

・甕

大型甕：器高約70㎝以上の甕を大型甕とする。但し、大型甕Ａ類には壺形で器高約60㎝以下の土器があるが大型甕として分類する。

中型甕：体部形態が丸味をもつ甕と大型甕の器形をひとまわり小さくした甕がある。器高は50㎝～60㎝台が主体的である。中型甕Ｅには体部が丸みをもつ甕で器高が80㎝をこえるSJ13383のような甕も出現する。この甕も形態上、中型甕に分類した。

小型甕：日常土器の転用である。

［大型甕］

大型甕Ａ（図161）

肩あるいは胴部が張り、頸部がくびれた壺形の土器である。体部形態と口縁部形態で細分した。ＡⅠは口縁部が外反し､口縁部外側が肥厚する。体部形態は肩部が張る。→なで肩への型式変化がみられる。体部と頸部の間に一条の沈線が入る。器高は60㎝に満たない。

ＡⅡは頸部のくびれがよりあまくなる。口縁部は外反し、口縁部内面は粘土貼り付けにより肥厚し、

外面はわずかに段をもつ。口唇部上下端は刻み目をもつ。口縁部内面が内傾→平坦への型式変化がみられる。ＡⅡ1は器高約65cm～80cmである。ＡⅡ2はさらに器高が高くなり、ＡⅡ3は器高が90cmを超える土器がある。肩部の沈線はあるものとないものがある。

ＡⅢは外反する口縁部の内面に粘土帯の貼り付けがない。胴部最大径が中位→下位への型式変化がみられる（ＡⅢ1、ＡⅢ2)。ＡⅢ2は佐賀平野部に多く見られる（佐賀市大和町東山田一本杉遺跡[6]など)。

大型甕Ｂ（図162　1～4）

いわゆる金海式甕棺である。唐津地域での出土例は少なく、完形品となると僅かである。口縁部下がくびれるなど壺から発達した形態的特徴を残す。口縁部上面に厚く粘土帯を貼り付けし、上端面は平坦に仕上げるものが多い。口縁部上端面が内傾、外傾するものもある。また、口縁外側端面上下には刻目を施す。口縁部下のくびれが強い→弱い、口縁部上面の粘土帯の貼り付けが厚い→薄いへの型式変化がみられる。口縁下と胴部に２～３条の沈線をめぐらし、その間に縦沈線２～３条を数箇所施すものもある。外面調整は斜め方向の磨きや縦、斜め方向のハケ目が施される。器高は70cm以上と法量的には規格性をもちはじめる。資料の制約から細分はしない。

大型甕Ｃ（図162　5～20)

口縁部下のくびれがなくなり、体部は砲弾形である。口縁部形態で細分した。

ＣⅠは外反する口縁部の内側に粘土帯を貼り付けて、短く内傾する口縁部をつくる。口縁部の内側に粘土帯貼り付け時のくびれが残る→くびれが残らず、内傾しながらも逆Ｌ字状に近くなる、への型式変化がみられる（ＣⅠ1、ＣⅠ2)。口縁外側端面の刻目はあるものとないものがある。また、体部の沈線や細かい断面三角形の突帯が施されるものもある。外面調整は大型甕Ｂと同じく斜め方向の磨き、縦、斜め方向のハケ目がある。

ＣⅡは口縁部が逆Ｌ字状を呈する。口縁部内側の粘土帯貼り付けによるくびれが残る→逆Ｌ字状への型式変化がみられる（ＣⅡ1、ＣⅡ2)。口縁外側端面の刻目が施される。外面調整は縦、斜め方向のハケ目が多用される。

大型甕Ｄ（図163)

いわゆる汲田式甕棺である。口縁はほぼ平坦になり、外側にほとんど発達しないが内側に大きく張り出す傾向が生じる。体部形態は口縁下がすぼまるもの→砲弾形への型式変化がみられる。胴部の突帯により細分した。

ＤⅠは胴部に細かな断面三角形突帯１条をめぐらす。上述の体部形態の形式変化と突帯は細→太への型式変化がみられる（ＤⅠ1、ＤⅠ2)。

ＤⅡは胴部にM字突帯１条をめぐらす。見かけ２条造り１条の突帯もM字突帯に含める。このM字突帯の中には断面三角形突帯２条との区別が難しいものもみられる。上述の体部形態の形式変化がみられる（ＤⅡ1、ＤⅡ2)。

大型甕Ｅ（図164)

いわゆる須玖式甕棺である。口縁部は内外に発達しＴ字形を呈する。口縁部は平坦なものや外に低くなるものがある。さらに内側への突出より外側への突出が大きくなる。体部形態は砲弾形で、大形化する。胴部突帯はさらに発達し２条の断面三角形や断面コ字形がみられるようになる。口縁下の突帯の有無と口縁部形態で細分した。

ＥⅠは口縁下に突帯がなく、胴部にM字形突帯、２条突帯をめぐらす。

ＥⅡは口縁下に断面三角形突帯、胴部に２条の突帯をめぐらす。口縁部外側への突出や胴部突帯が断

面三角形から断面コ字形への型式変化がみられる（ＥⅡ1、ＥⅡ2)。

ＥⅢは口縁の内側より外側への張り出しが大きいものである。胴部突帯はＥⅠ、ＥⅡと同様である。

大型甕Ｆ（図165）

ＥⅢの口縁部形態が型式変化した逆Ｌ字形～く字形口縁を呈する。資料が少なく、完形も限られており細分化が難しいが体部形態などで分類した。

ＦⅠは体部砲弾形でく字形口縁をなす。口縁下と胴部突帯はＥⅡ、ＥⅢと同様である。

ＦⅡは口縁部にかけてすぼまる截頭卵形の体部に外傾する口縁部がつく。

ＦⅢは体部が球状に丸味をもち、口縁はく字形を呈する。胴部中位にM台形やコ字形の突帯が２条以上めぐる。く字形口縁の角度で型式変化がみられる（ＦⅢ1、ＦⅢ2)。このＦⅢは井上裕弘氏が提唱した中原型[(7)]である。

大型甕Ｇ（図166）

く字形口縁の角度がＦよりさらに大きくなり、胴部下半部は内湾気味に底部へとつづく。資料が少なく完形品も限られる。

ＧⅠは卵形の体部にく字形の口縁がつく。胴部は１条か２条の突帯がめぐり、口縁下の突帯はあるものとないものがある。

ＧⅡは体部が球状に丸味をもち、口縁はく字形を呈する。胴部に１条もしくは２条の突帯をめぐらす。ＦⅢよりく字形口縁が進み、胴部下半部が内湾気味に丸味をもつなどの違いがみられる。

大型甕Ｈ（図166）

底部は丸底で、く字形口縁である。また口縁部は長くなる。資料は少なく体部形態で細分した。

ＨⅠは丸底、あるいは丸底気味の底部で、体部は卵形を呈する。口縁は長く、く字形で突帯は口縁下と胴部中位にめぐる。

ＨⅡは丸底の底部で体部は胴部が張った球状である。外反する口縁部は長大化し、口縁端部には鋸歯状や直線状の刻目を施文する。体部には口縁下と胴部中位と胴部下半部に突帯を回す。その突帯にも直線状の刻目を施文するものがある。

［中型甕］（図167）

体部は非常に丸味をもつ甕棺である。中型甕Ｅの例外を除いて器高70㎝以下である。口縁の形態、突帯の位置、形態、器面調整は大型甕や広口壺と共通する型式変化をもつ。資料に制限があり細分はできなかった。

中型甕Ｃ：胴部上半部は緩やかに内湾する。器形的には大型甕Ｄの古い形態に類似する。

中型甕Ｄ：胴部上半部の丸みが強まる。断面三角形突帯が胴部や口縁下にめぐる。

中型甕Ｅ：胴部の丸みがさらに強まる。断面三角形突帯やM字形突帯がめぐる。器高80㎝をこえる同型式の甕が出現する。

中型甕Ｆ：丸味をもった体部がくずれはじめ、口縁部は逆Ｌ字形～く字形を呈する。突帯はコ字形もみられる。

中型甕Ｇ：く字形口縁がさらに進む。体部形態のくずれが進行する。

これら以外に大型甕をひとまわり小さくした甕もある。器高は50㎝後半～60㎝台である。中原遺跡SJ13195下、SJ13202上、SJ13280上、SJ13321下、SJ13344下、SJ13381上、SJ13388上が相当する。ここでは分類しない。

［小型甕］（図171）

日常生活土器の転用棺である。

小型甕Ｄ：逆Ｌ字形口縁で口縁下に突帯を貼り付ける。胴部最大径は上位にある。

小型甕Ｅ：逆Ｌ字形口縁で口縁下に突帯を貼り付ける。胴部の張りがなくなり、最大径がやや下位になる。

［壺］（図168、169、170）

口縁部を欠失しているものが多く、全体の形状がわかるものが少ない。日常生活土器や祭祀土器の転用が多いため、細分は集落出土資料を加えて検討する必要があろう。ここでは、埋葬用棺として使用された壺を羅列することを目的とする。

壺Ａ：口縁部は外反し、胴部は球形である。肩部に１条～数条の沈線または有軸羽状文を施すものもある。

壺Ｂ：肩が張り、口頸部との境には１条～２条の突帯をまわす。外反する口縁部の内側に粘土帯を貼り付け、口頸部外面にも段をもつ。

壺Ｃ：長胴で胴部最大径は肩部にある。胴下半部は底部にかけて内湾気味にすぼまる。胴下半部の形態が内湾→直線気味への型式変化がみられる。法量で大小があり細分した。

ＣⅠはともに口頸部を欠失し器高は不明であるが、壺Ｃの小形である。

ＣⅡは壺Ｃの大形である。瀬戸口支石墓出土壺が唯一の全形がわかる資料で器高62.5㎝を測る。外反気味の口頸部に鋤先口縁がつく。埋葬専用の壺棺（甕棺）であろう。

壺Ｄ：口頸部を欠失するものが多く口縁形態で２分類する。口頸基部が狭い→広いへの型式変化がみられる。

ＤⅠは素口縁の広口壺である。

ＤⅡは鋤先口縁の広口壺である。胴部に突帯をまわす。突帯には断面三角形１条や２条、断面Ｍ字形１条や２条などがある。突帯の型式変化は大型甕と共通する。

壺Ｆ：類例に乏しく器形で分類する。突帯はコ字形かＭ字形である。

ＦⅠは素口縁の広口壺である。口縁部は大きく外反する。

ＦⅡはなで肩の胴部に外反した鋤先口縁がつく。胴部と肩部に３条のＭ字突帯をまわす。糸島系祭祀土器と呼称される。

ＦⅢは体部がＦⅡときわめて類似する袋状口縁壺である。

ＦⅣは胴部が玉葱形に大きく張り、直立気味の口頸部がつく。口縁部は鋤先状である。器高66㎝と大形であり、埋葬専用の壺棺（甕棺）であろう。

壺Ｇ：上半部を欠失するが類例から鋤先口縁をもつ大形壺である。胴部下半は内湾気味に底部につづく。埋葬専用の壺棺（甕棺）であろう。

壺Ｈ：底部は丸底で球形の胴部に外反気味の口頸部がつく。口縁部内側に断面三角形突帯を１条まわす。胴部と口頸部との境に２条突帯をまわす。口縁部形態にはこれ以外に内面に粘土帯を貼り付けて段をもつものがある。後者は壺Ｈの古式の要素であろう。

［鉢］（図171）

日常生活用の鉢と埋葬専用の大形鉢がある。類例も少ないため羅列する。

鉢Ｃ：体部は丸味をもつ。口縁部で細分した。日常生活用の鉢である。

ＣⅠは発達しない逆Ｌ字形の口縁部である。口縁下に突帯をもつ。

CⅡは内傾する逆Ｌ字形の口縁部である。口縁下に突帯をもつ。

鉢Ｄ：逆Ｌ字形の口縁部である。体部の丸味がなくなる。日常生活用の鉢である。

鉢Ｅ：Ｔ字形の口縁である。体部形態は鉢Ｄに近いものや断面形が台形に近くなるもの、底の浅い鉢などがある。埋葬専用の大形鉢である。

⑶ 各型式の時期の検証

編年を組み立てるためには、資料的制約があるもののさらに細かな型式に細分し、各型式組列とその組み合わせの検証作業を行わなければならない。本稿は基礎資料の提示を目的とするため、ここでは資料が比較的そろった前期後半～中期初頭の大型甕を中心に、壺や鉢などの組み合わせから日常土器編年との併行関係の時期比定に参考になる資料を提示したい。対象は大型甕Ａ、大型甕Ｂ、大型甕Ｃとしたい。ただし、唐津地域の甕棺だけでは組み合わせや供献小壺から日常土器編年との併行関係がわかる良好な資料がないため、唐津地域以外では玄界灘沿岸地域である早良平野の吉武遺跡群や福岡平野南部の春日市伯玄社遺跡[8]の甕棺も含めて図172に掲示する。

１は大型甕ＡⅡ1で、2はその供献土器である。２は板付ⅡCに位置づけられる。

４と６は大型甕ＡⅡ3で､それぞれ３と５の鉢ＣⅠと組み合う。３と５は城ノ越式期に位置づけられる。８は大型甕ＡⅢ2で、７の鉢ＣⅠと組み合う。大型甕ＡⅢ2は佐賀平野部に多く分布しており、田平徳栄氏が細分、編年作業を行っている。９は壺ＣⅠで10は壺CⅡである。11はその供献土器であり、城ノ越式期にあたる。

13と15は大型甕Ｂで、それぞれ12と14の鉢ＣⅠと組み合う。５、７より口縁部が発達している。16と17は大型甕Ｂで、18はその供献土器であり城ノ越式期にあたる。18と11は類似し、同一型式であり併行関係が看取できる。19は大型甕Ｂで、20の壺CⅡと組み合う。大型甕Ｂはいわゆる金海式甕棺である。

21、23は大型甕ＣⅠ1で、それぞれ22、24の壺ＣⅠと組み合う。25は大型甕ＣⅠ2で、壺ＤⅡと組み合う。27は大型甕CⅡ1で、28の壺ＤⅠと組み合う。29は大型甕CⅡ2で、30の壺ＤⅡと組み合う。

以上の資料から、①大型甕ＡⅡ1と日常土器編年・板付ⅡC式期との併行関係がわかる。②大型甕ＡⅡ3、ＡⅢ2と日常土器編年・城ノ越式期との併行関係がわかる。③大型甕Ｂ（いわゆる金海式甕棺）と日常土器編年・城ノ越式期との併行関係がわかる。④大型甕ＡⅡ3、ＡⅢ2と大型甕Ｂは城ノ越式期併行であるが、それぞれ組み合う鉢の口縁部形態では明確に型式差がわかり大型甕ＡⅡ3、ＡⅢ2が古く、大型甕Ｂが新しいことがわかる。⑤大型甕ＣⅠ1は壺ＣⅠと組み合う。壺ＣⅠ、壺CⅡは９、10、11から日常土器編年城ノ越式期との併行関係がわかっていることから、大型甕ＣⅠ1は日常土器編年城ノ越式期との併行関係がわかる。

以上のように、甕棺組み合わせや供献土器から大型甕Ａ、大型甕Ｂ、大型甕Ｃと日常土器編年との併行関係がわかってきた。

⑷ 唐津地域甕棺編年試案

器種、型式分類をもとにした編年試案を下記に示す。弥生時代を３期に区分した。Ⅰ期を３段階に、Ⅱ期を６段階に区分した。さらにⅡ-1期は古段階と新段階に細分した。また､Ⅲ期は２段階に区分した。Ⅲ期は甕棺埋葬自体が減少していくため、資料が少なく型式分類も未整備である。

Ⅰ期は大型甕が壺形の形態を残す。大型甕Ａの器形は壺形から甕形へと形態変化するが、それに伴い大型甕ＡⅠ2は器高約60㎝、大型甕ＡⅡ1は器高約70㎝と法量も大形化していく。ただし、大型甕Ａは法量的、形態的に規格性がないのが特徴である。大型甕Ａの大形化は被葬者が小児、成人と拡がっていくことを示すのだろう。

Ⅱ期は新器種である中型甕や壺Ｂや壺Ｃといった広口壺が新たに出現する。また、大型甕では大型甕Ｂ、大型甕Ｃにみられるように体部形態や法量に規格化がみられるようになる。埋葬専用の定形化された大型甕の成立であり、Ⅱ期は甕棺編年では大きな画期である。

Ⅲ期は甕棺墓が減少するため、資料も少なくなる。く字形口縁が定型化していく。とくにⅡ期の後半からⅢ期にかけては資料の制約もあり、充分な検討ができず御容赦願いたい。

日常土器編年や既往の甕棺編年との対応は、Ⅰ-1期は板付１式期併行、Ⅰ-2期は板付１式期後半～板付２式前半併行、Ⅰ-3期は板付２式後半併行とする。Ⅱ-1期は城ノ越式期併行で、Ⅱ-1期古段階とⅡ-1新段階に細分した。Ⅱ-1期古段階は橋口編年のＫⅠc式、Ⅱ-1期新段階は橋口編年のＫⅡa式に併行する。Ⅱ-2期、Ⅱ-3期はいわゆる汲田式にあたり、Ⅱ-2期は橋口編年のＫⅡb式、Ⅱ-2期は橋口編年のＫⅡC式に併行する。

Ⅱ-4期、Ⅱ-5期はいわゆる須玖式にあたり、橋口編年ＫⅢa式に併行する。Ⅱ-6期は橋口編年のＫⅢb式、ＫⅢc式に併行する。

Ⅲ期は資料の増加を待って今後細分する必要がある。Ⅲ-1期は橋口編年ＫⅣ式、Ⅲ-1期は橋口編年ＫⅤ式に併行する。

以上、非常に雑駁であるが、唐津地域の埋葬専用棺である大型甕を主に、甕棺に採用された壺、鉢などを一覧できるように、さらに今後の日常生活土器との併行関係を綿密に検証するための甕棺編年作業の基礎資料として提示する。

表58　唐津地域甕棺編年試案

期	小段階		大型甕	中型甕	壺	鉢
Ⅰ	1		ＡⅠ$_1$		Ａ	
	2		ＡⅠ$_2$			
	3		ＡⅡ$_1$，ＡⅢ$_1$			
Ⅱ	1	古段階	ＡⅡ$_2$，ＡⅡ$_3$，ＡⅢ$_2$		Ｂ，ＣⅠ，ＣⅡ	
		新段階	Ｂ，ＣⅠ$_1$	Ｃ		ＣⅠ，ＣⅡ
	2		ＣⅠ$_2$，ＣⅠ$_3$，ＣⅡ$_1$，ＣⅡ$_2$，ＤⅠ$_1$，ＤⅡ$_1$	Ｄ	ＤⅠ，ＤⅡ	Ｄ
	3		ＤⅠ$_2$，ＤⅡ$_2$			
	4		ＥⅠ，ＥⅡ$_1$	Ｅ		Ｅ
	5		ＥⅡ$_2$，ＥⅢ			
	6		ＦⅠ，ＦⅡ，ＦⅢ$_1$，ＦⅢ$_2$	Ｆ	ＦⅠ，ＦⅡ，ＦⅢ，ＦⅣ	
Ⅲ	1		ＧⅠ，ＧⅡ	Ｇ	Ｇ	
	2		ＨⅠ，ＨⅡ		Ｈ	

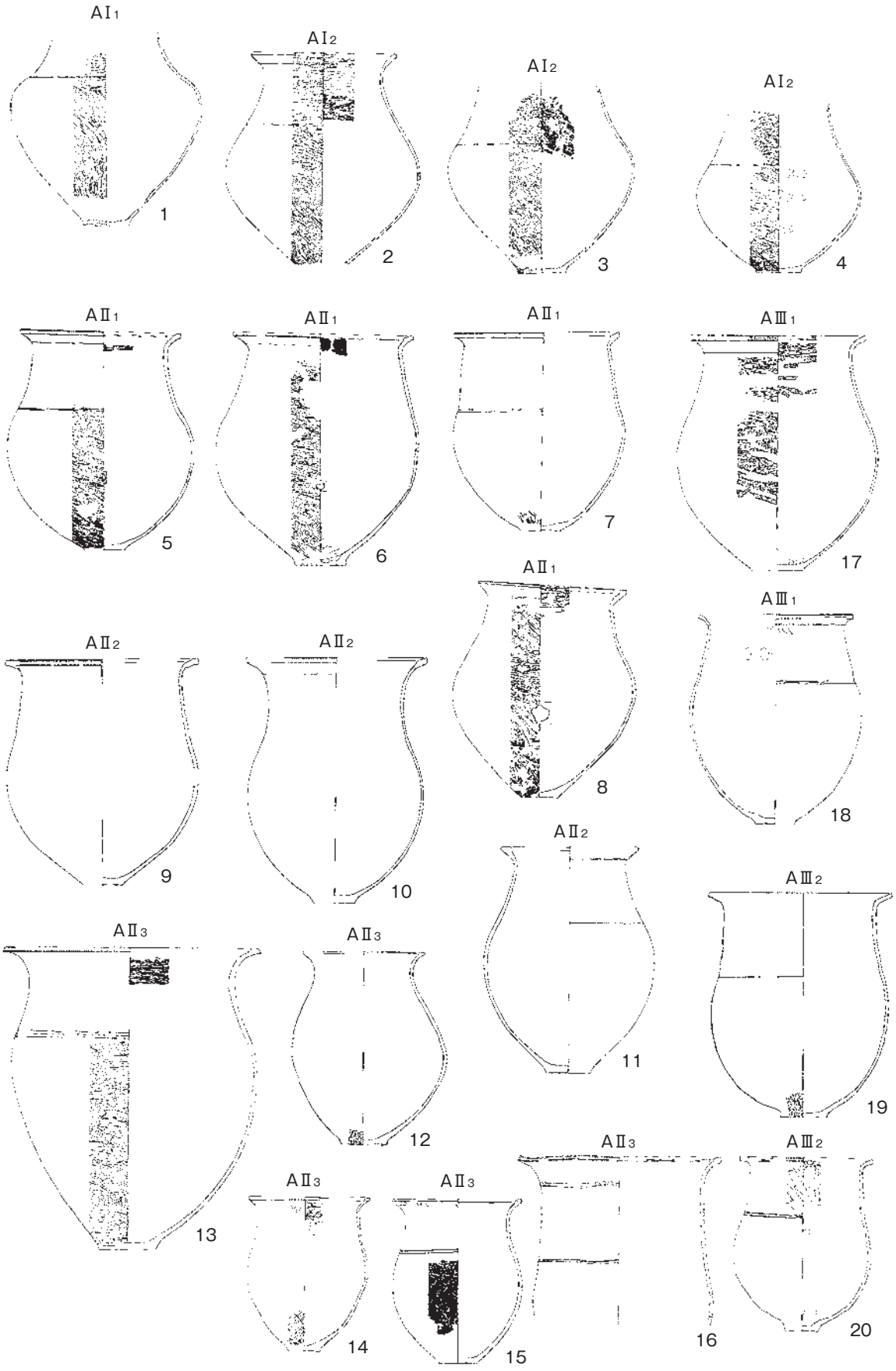


図161　大型甕A（1/16・1/20）　　1～4は1/16、5～20は1/20

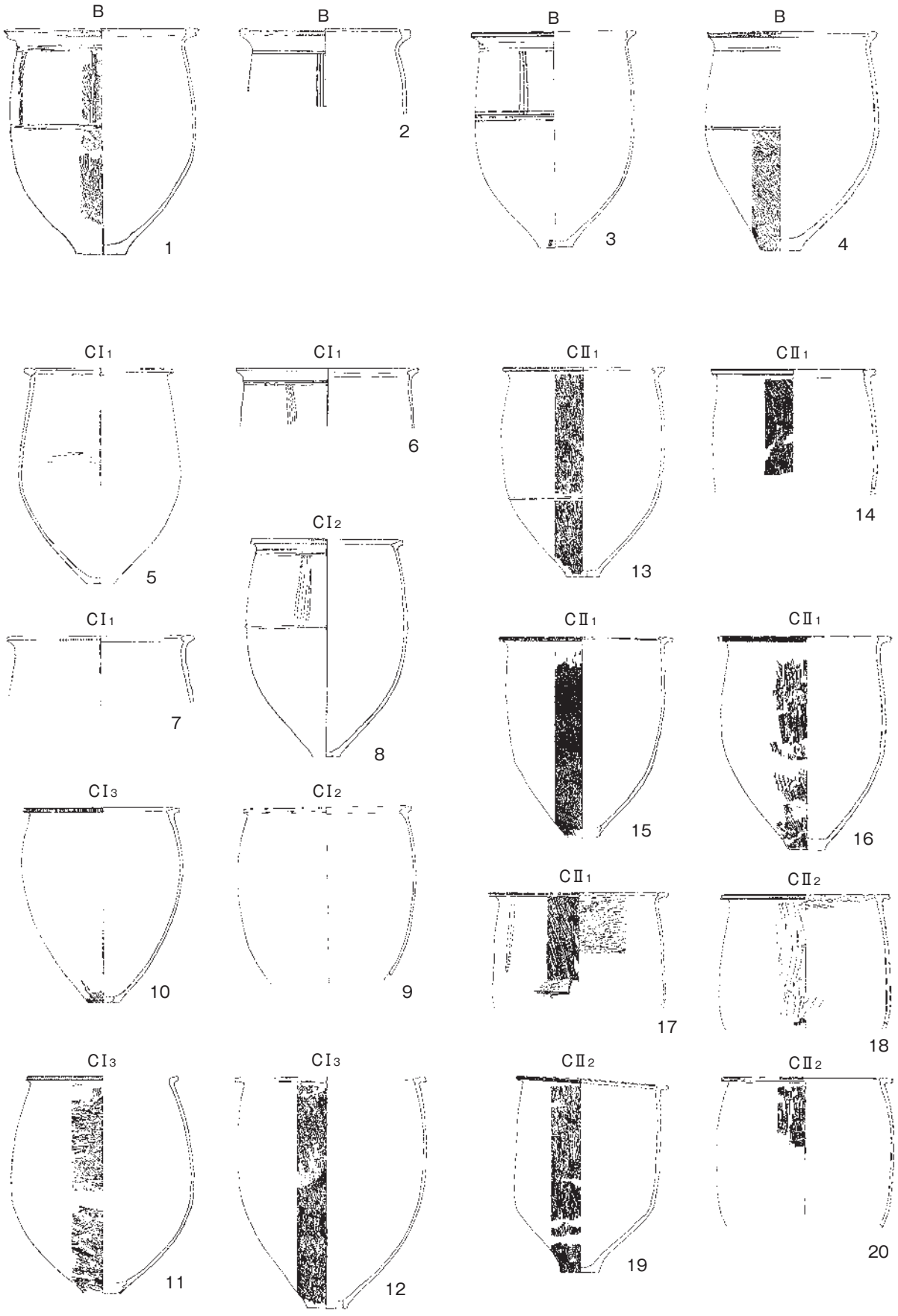


図162　大型甕B、大型甕C（1/20）

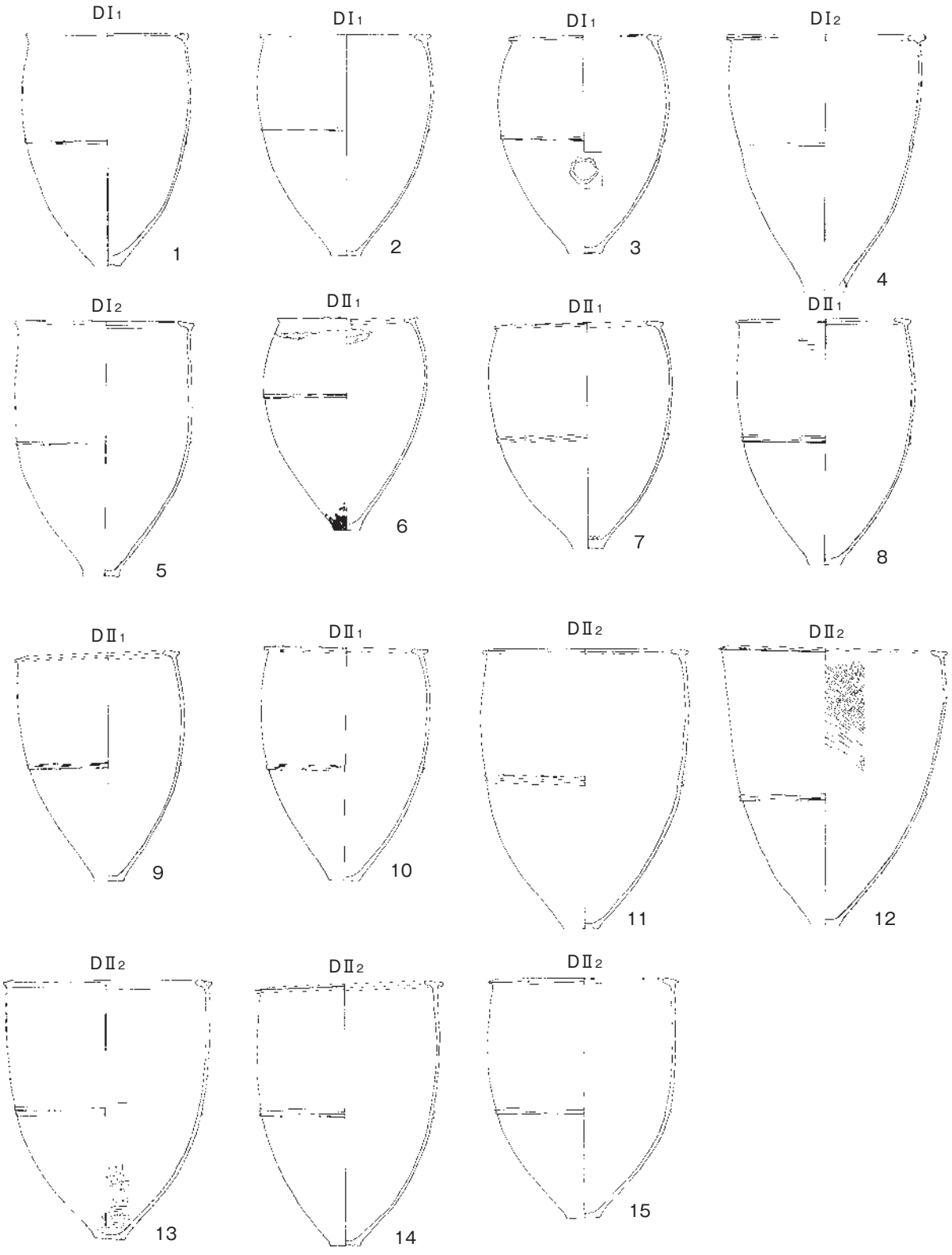


図163　大型甕D（1/20）

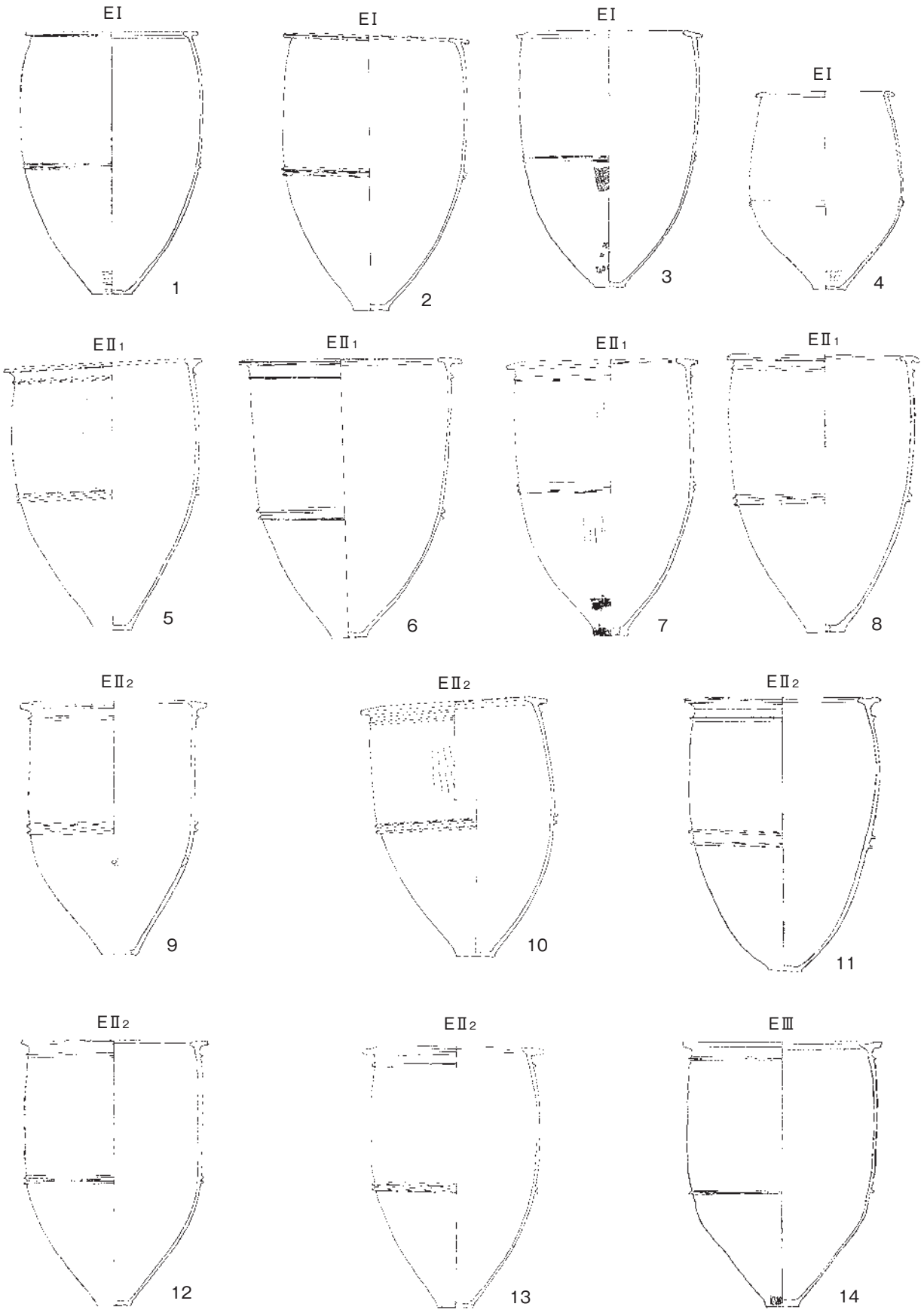


図164　大型甕E（1/20）

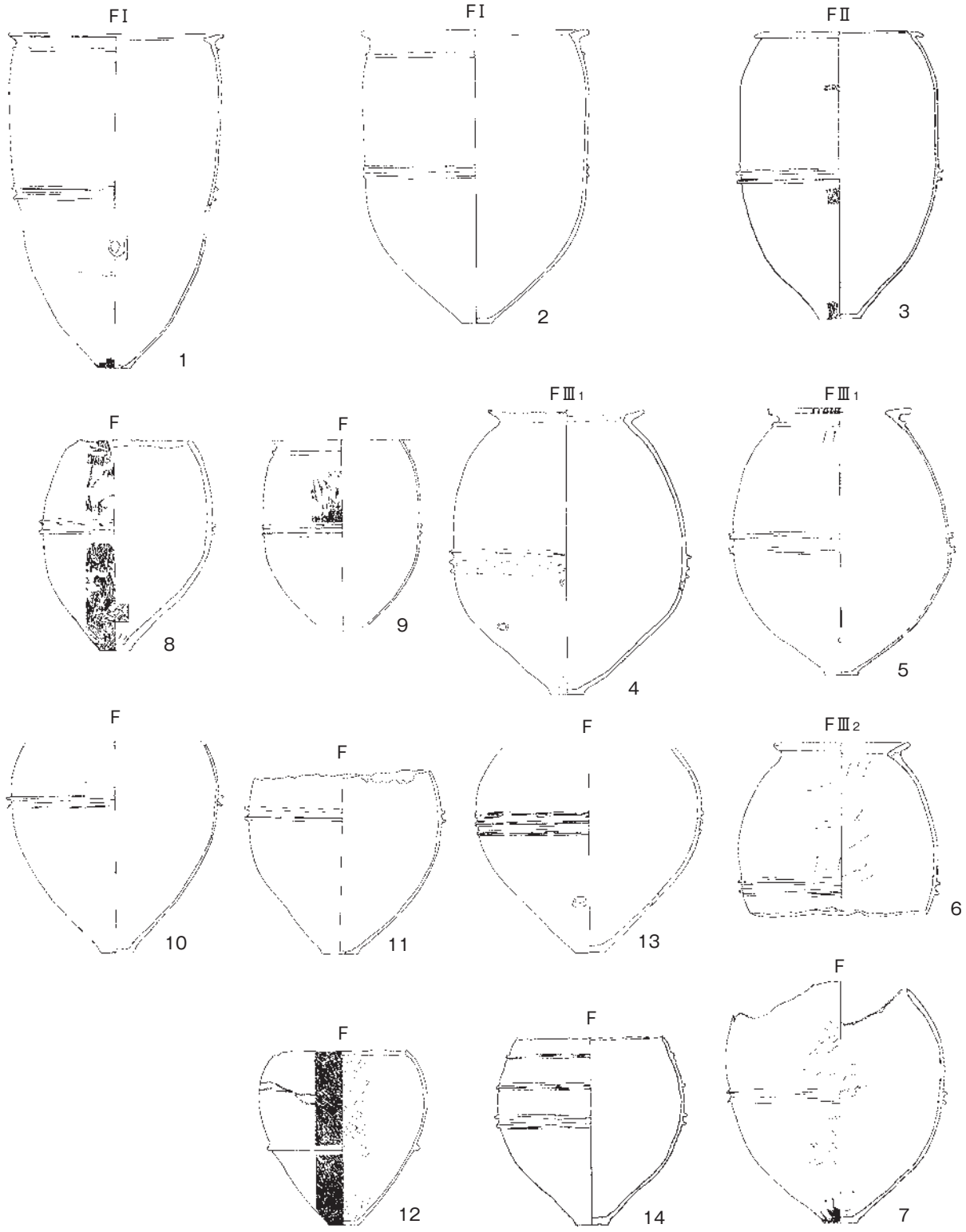


図165　大型甕F（1/20）

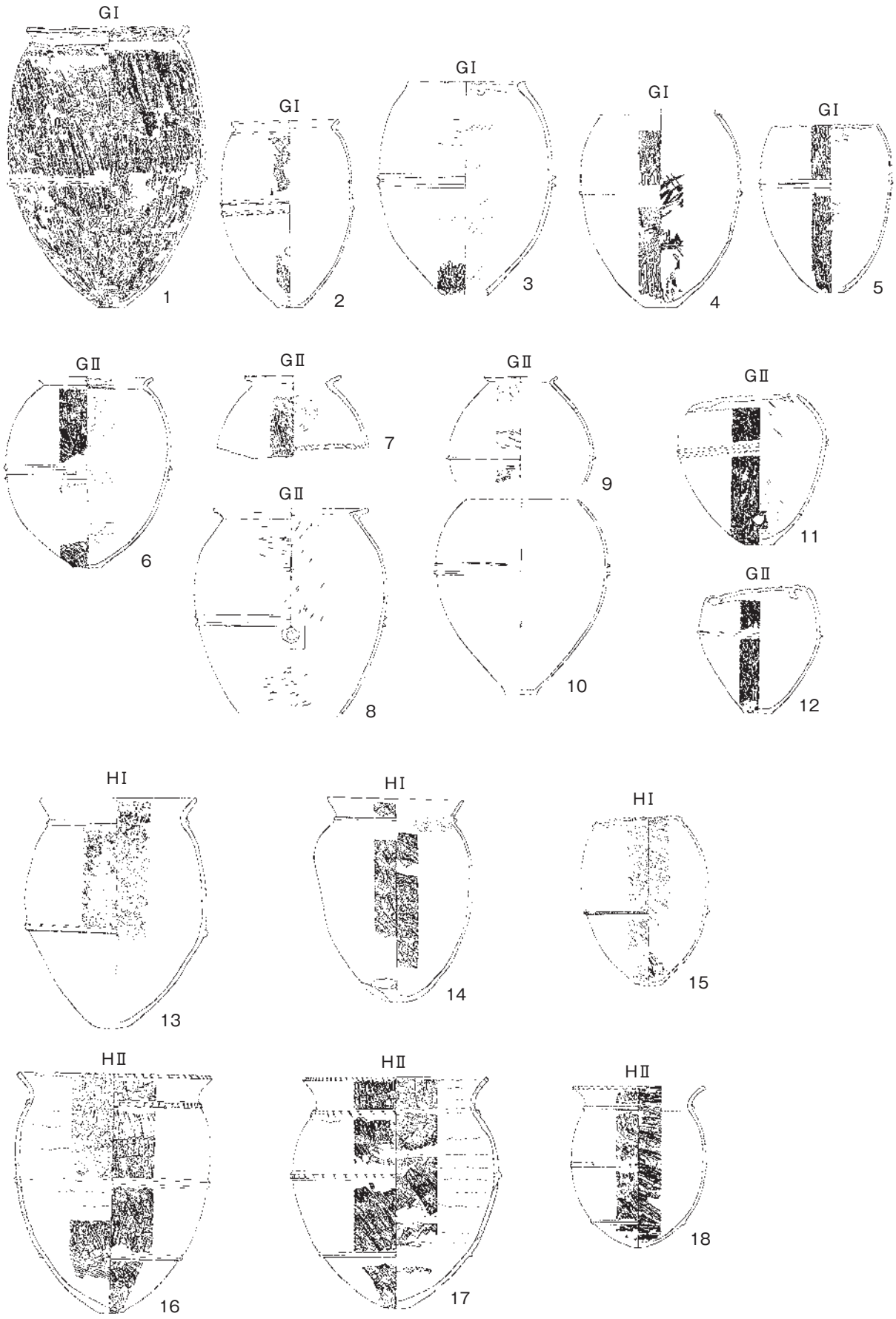


図166　大型甕G、大型甕H（1/20）

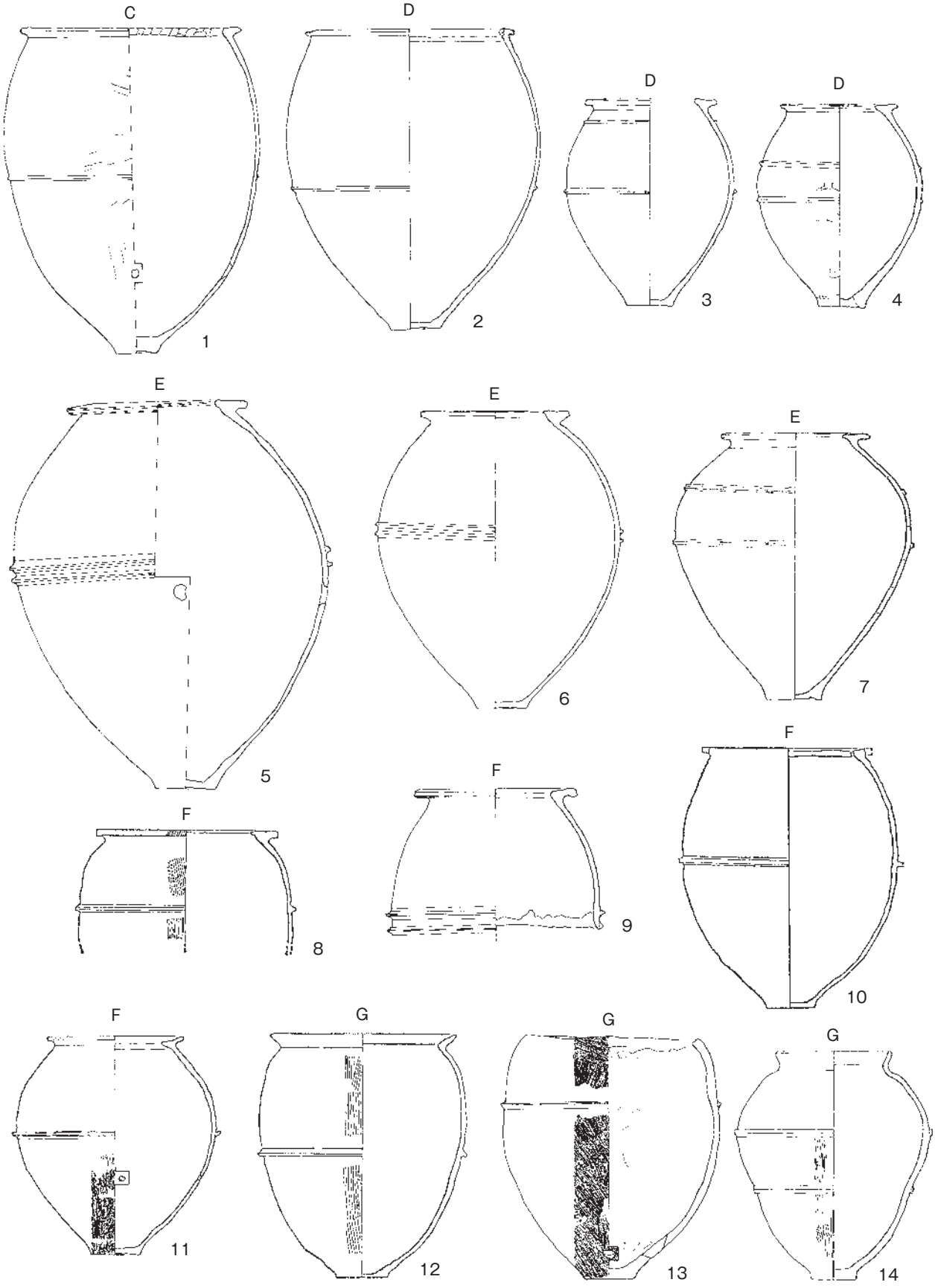


図167　中型甕D、E、F、G（1/12）

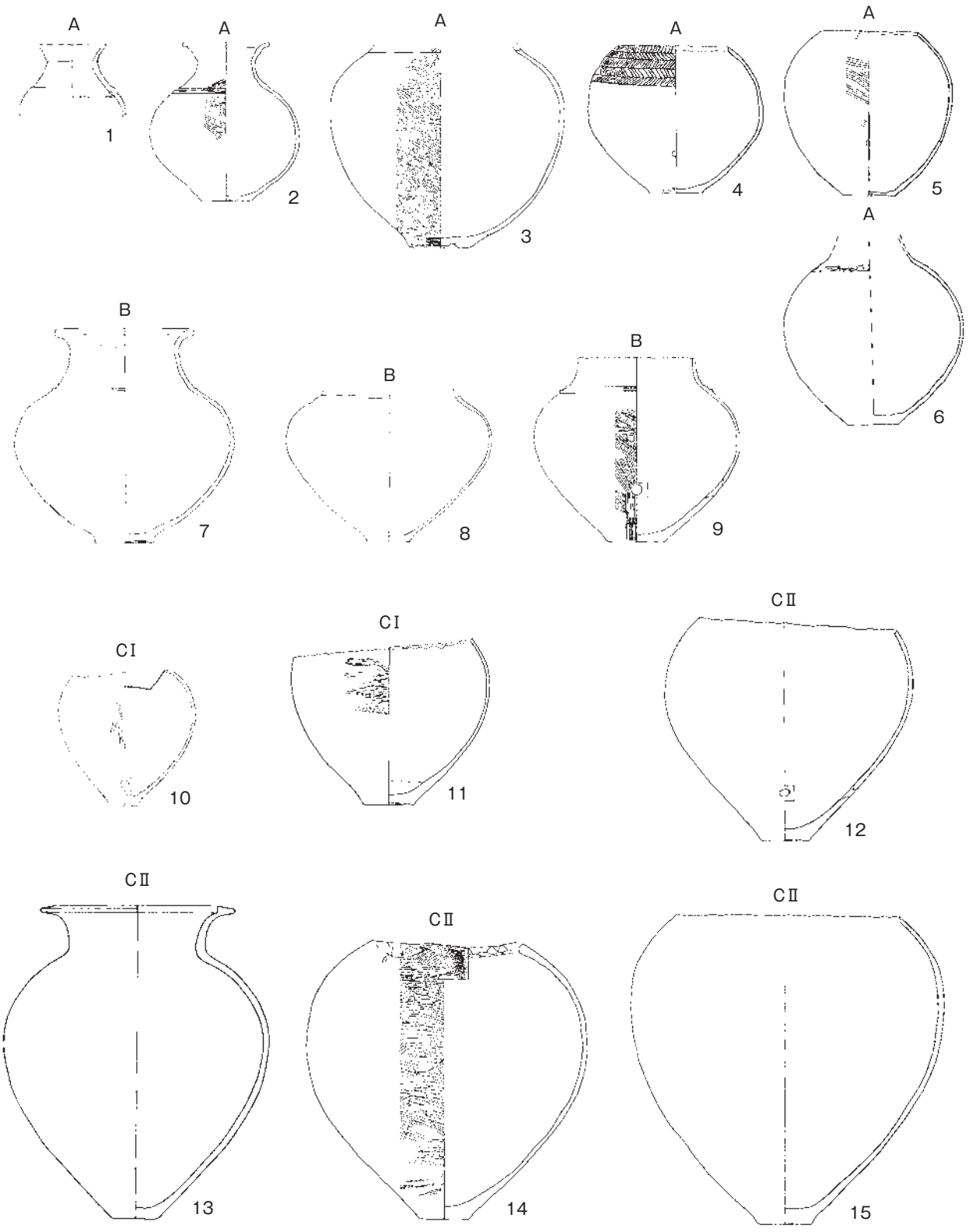


図168　壺A、B、C（1/8・1/12）

1、2、7～9は1/8
他は1/12

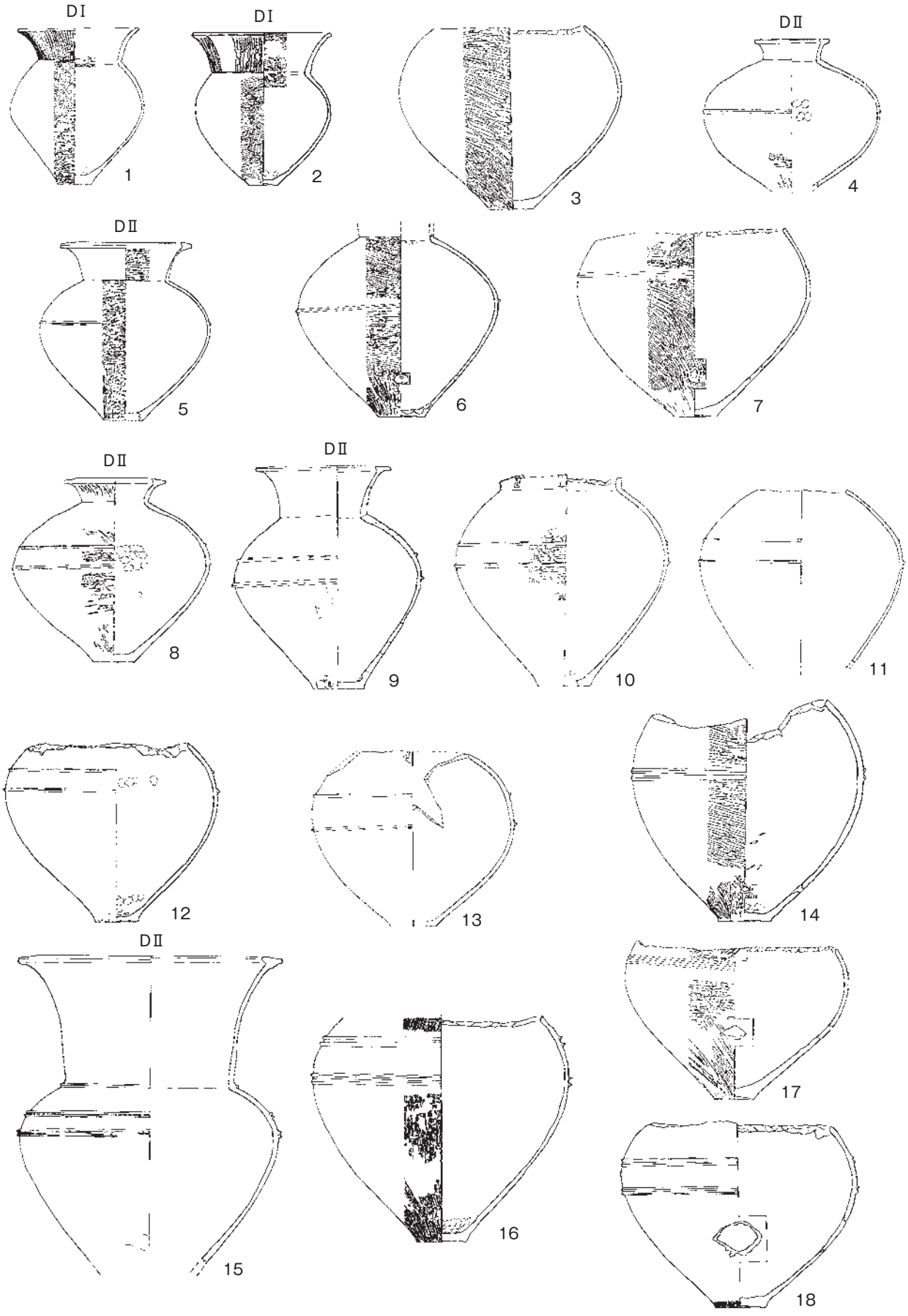


図169　壺D（1/12）

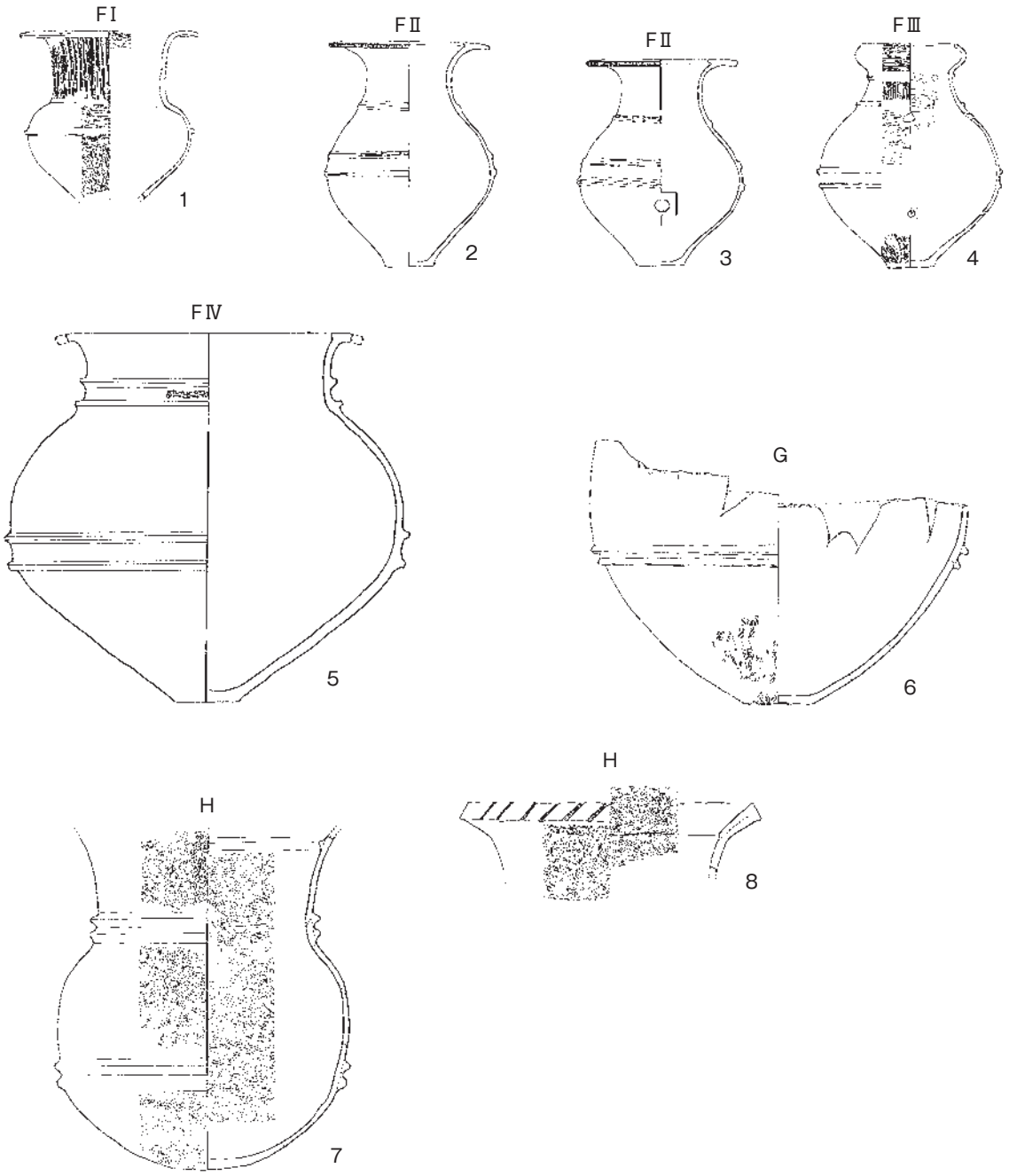


図170　壺F、G、H（1/12）

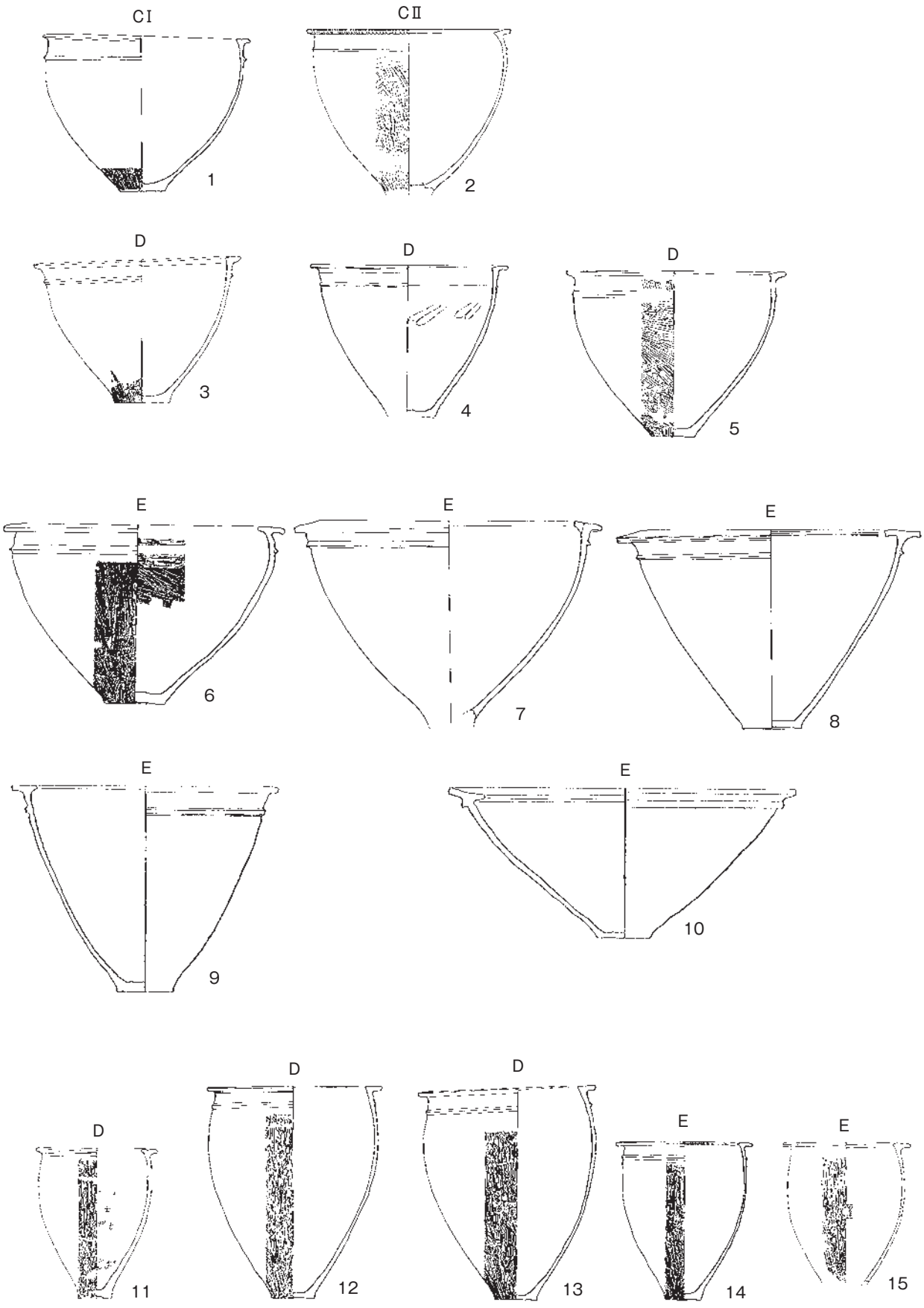


図171　鉢C、D、E、小型甕D、E（1/12）

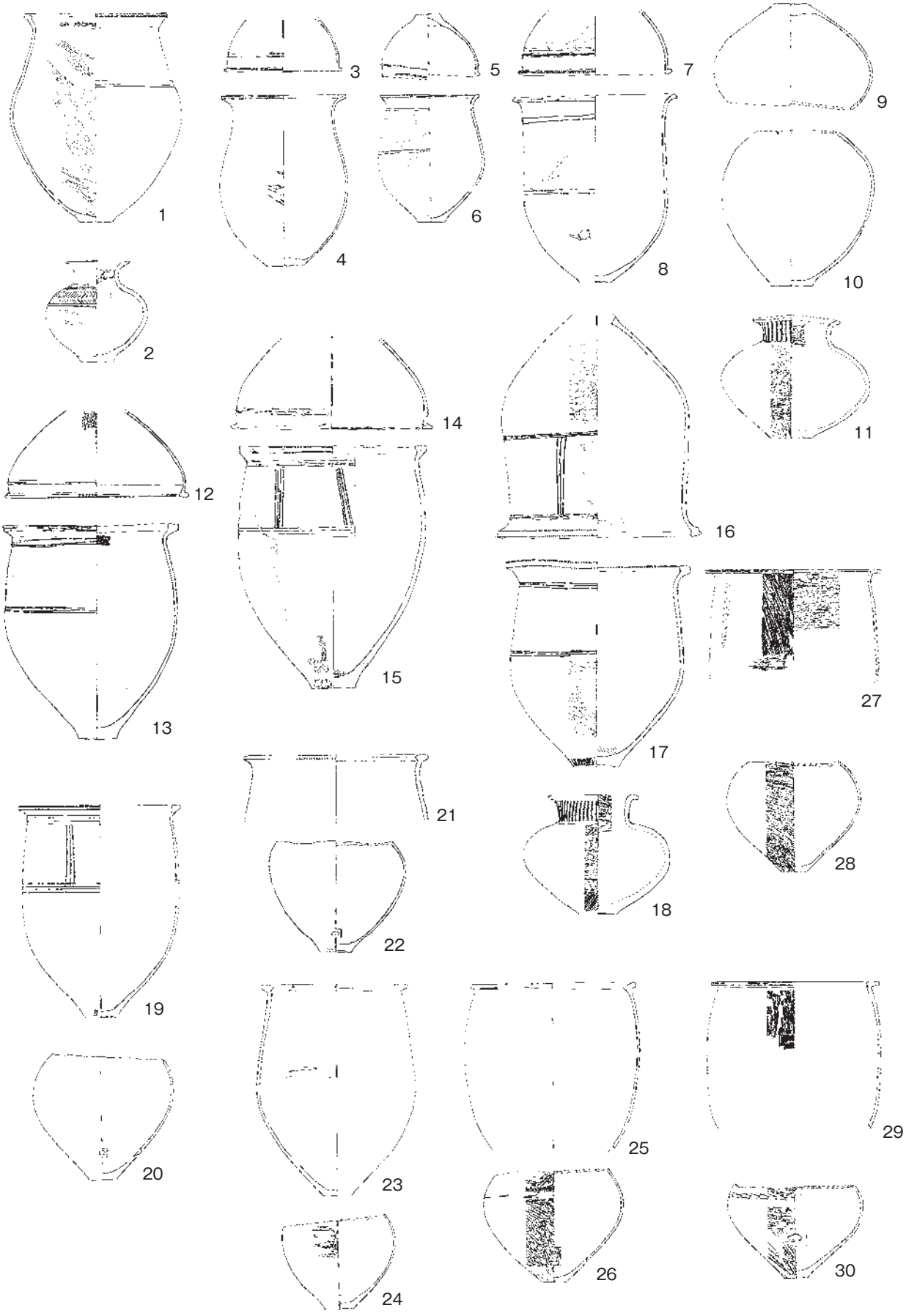


図172　大型甕A、大型甕B、大型甕Cの組み合わせ（1/8・1/20）　2、11、18は1/8 他は1/20

参考文献

1、中島直幸 1983『柏崎小長崎遺跡』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第６集

2、仁田坂聡 2004『天神ノ元遺跡(3)』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第114集

3、橋口達也 1979「甕棺の編年的研究」『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告』XXXI　福岡県教育委員会

4、高島忠平 1982「宇木汲田遺跡　甕棺」『末盧国』六興出版

5、東中川忠美 1981『大友遺跡』呼子町教育委員会　呼子町文化財調査報告書第１集

6、田平徳栄 1995『東山田一本杉遺跡』佐賀県教育委員会　佐賀県文化財調査報告書第125集

7、井上裕弘 2000「北部九州の首長墓と甕棺」『大塚初重先生頌寿記念考古学論集』東京堂出版『北部九州弥生・古墳社会の展開』梓書店に再録

8、吉武遺跡群、伯玄社遺跡は掲載資料文献に記す。

図掲載資料　（　　）は（縮尺、文献）

図161：１中原遺跡SJ13250（1/16、本書）、２中原遺跡SJ13248（1/16、本書）、３中原遺跡SJ13417（1/16、本書）、４中原遺跡SJ13249（1/16、本書）、５中原遺跡SJ13149（1/20、本書）、６中原遺跡SJ13225（1/20、本書）、７中原遺跡SJ13305（1/20、本書）、８中原遺跡SJ13149（1/20、本書）、９宇木汲田遺跡３号下（1/20、①）、10宇木汲田遺跡６号下（1/20、①）、11宇木汲田遺跡３号上（1/20、①）、12宇木汲田遺跡107号下（1/20、②）、13中原遺跡SJ13284（1/20、本書）、14大友遺跡３次23号下（1/20、③）、15天神ノ元遺跡K52下（1/20、④）、16天神ノ元遺跡K52上（1/20、④）、17柏崎小長崎遺跡３号（1/20、⑤）、18大友遺跡３次23号上（1/20、③）、19宇木汲田遺跡87号下（1/20、②）、20大友遺跡２次不明（1/20、③）

図162：１宇木汲田遺跡18号上（1/20、②）、２宇木汲田遺跡109号上（1/20、②）、３堂の前遺跡SJ29上（1/20、⑥）、４天神ノ元遺跡K35（1/20、④）、５柏崎小長崎遺跡６号上（1/20、⑤）、６宇木汲田遺跡31号上（1/20、②）、７宇木汲田遺跡82号上（1/20、②）、８宇木汲田遺跡31号下（1/20、②）、９天神ノ元遺跡K50上（1/20、④）、10中原遺跡SJ13397下（1/20、本書）、11中原遺跡SJ13229下（1/20、本書）、12中原遺跡SJ13391上（1/20、本書）、13中原遺跡SJ13283上（1/20、本書）、14中原遺跡SJ13393下（1/20、本書）、15中原遺跡SJ13291下（1/20、本書）、16中原遺跡SJ13263（1/20、本書）、17天神ノ元遺跡K13上（1/20、④）、18中原遺跡SJ13395上（1/20、本書）、19中原遺跡SJ13291下（1/20、本書）、20天神ノ元遺跡K8上（1/20、④）

図163：１中原遺跡SJ13068上（1/20、本書）、２中原遺跡SJ13013下（1/20、本書）、３中原遺跡SJ13421上（1/20、本書）、４中原遺跡SJ13134上（1/20、本書）、５中原遺跡SJ13370上（1/20、本書）、６中原遺跡SJ13313上（1/20、本書）、７中原遺跡SJ13132（1/20、本書）、８中原遺跡SJ13421下（1/20、本書）、９中原遺跡SJ13241上（1/20、本書）、10中原遺跡SJ13213下（1/20、本書）、11中原遺跡SJ13220下（1/20、本書）、12中原遺跡SJ13379下（1/20、本書）、13中原遺跡SJ11247上（1/20、本書）、14中原遺跡SJ13340上（1/20、本書）、15中原遺跡SJ13313下（1/20、本書）

図164：１宇木汲田遺跡38号下（1/20、②）、２中原遺跡SJ13316（1/20、本書）、３宇木汲田遺跡68号下（1/20、②）、４中原遺跡SJ11240上（1/20、本書）、５中原遺跡SJ13311（1/20、本書）、６中原遺跡SJ13151下（1/20、本書）、７中原遺跡SJ13302下（1/20、本書）、８中原遺跡SJ13317（1/20、本書）、９中原遺跡SJ11281下（1/20、本書）、10中原遺跡SJ13092下（1/20、本書）、11宇木汲田遺跡24号下（1/20、

②)、12中原遺跡SJ13319下（1/20、本書)、13天神ノ元遺跡K27下（1/20、④)、14宇木汲田遺跡46号下（1/20、②)

図165：１中原遺跡SJ13343（1/20、本書)、２山添遺跡K11（1/20、⑦)、３宇木汲田遺跡51号下（1/20、②)、４中原遺跡（日仏調査）K7（1/20、⑧)、５大友遺跡３次10号（1/20、③)、６中原遺跡SJ11265上（1/20、本書)、７中原遺跡SJ11265下（1/20、本書)、８中原遺跡SJ13046（1/20、本書)、９中原遺跡SJ13341（1/20、本書)、10中原遺跡SJ13082(1/20、本書)、11中原遺跡SJ11294(1/20、本書)、12中原遺跡SJ11286下（1/20、本書)、13久里大牟田遺跡２号（1/20、⑨)、14宇木汲田遺跡106号下(1/20、②)

図166：１桜馬場遺跡宝器内蔵甕棺下（1/20、⑩)、２大友遺跡２次ア号（1/20、③)、３中原遺跡SJ11280下(1/20、本書)、４中原遺跡SJ13074（1/20、本書)、５中原遺跡SJ11242（1/20、本書)、６中原遺跡SJ11277（1/20、本書)、７中原遺跡SJ13009下（1/20、本書)、８中原遺跡SJ13009上（1/20、本書)、９中原遺跡SJ13011上（1/20、本書)、10中原遺跡SJ13011下（1/20、本書)、11中原遺跡SJ11275上(1/20、本書)、12中原遺跡SJ11275下（1/20、本書)、13天神ノ元遺跡K46下(1/20、④)、14久里大牟田遺跡3号（1/20、⑨)、15中原遺跡ST12032（1/20、)、16巡見道遺跡2号上（1/20、⑪)、17巡見道遺跡2号下(1/20、⑪)、18中原遺跡SX11228(1/20)

図167：１中原遺跡SJ11279下（1/12、本書)、２中原遺跡SJ11235下（1/12、本書)、３中原遺跡SJ11104（1/12、本書)、４中原遺跡SJ11223（1/12、本書)、５中原遺跡SJ13383（1/12、本書)、６中原遺跡SJ11224（1/12、本書)、７中原遺跡（日仏調査）K3（1/12、⑧)、８宇木汲田遺跡77号（1/12、②)、９中原遺跡SJ11265上（1/12、本書)、10宇木汲田遺跡52号下（1/12、)、11中原遺跡SJ11227（1/12、本書)、12宇木汲田遺跡44号下(1/12、②)、13中原遺跡SJ11286上(1/12、本書)、14堂の前遺跡SJ04（1/12、⑥)

図168：１大友遺跡４次40号配石墓（1/8、③)、２大友遺跡２次13号再葬墓（1/8、③)、３中原遺跡SJ13147（1/12、本書)、４大友遺跡４次55号（1/12、③)、５大友遺跡３次13号(1/12、③)、６大友遺跡２次（1/12、③)、７押川遺跡SJ005（1/8、⑫)、８押川遺跡SJ002（1/8、⑫)、９押川遺跡SJ007下（1/8、⑫)、10押川遺跡SJ004（1/12、⑫)、11柏崎小長崎遺跡６号下（1/12、⑤)、12堂の前遺跡SJ29（1/12、⑥) 13瀬戸口支石墓（1/12、⑬)、14中原遺跡SJ13299（1/12、本書)、15堂の前遺跡SJ27（1/12、⑥)

図169：１中原遺跡SJ13235上（1/12、本書)、２中原遺跡SJ11269（1/12、本書)、３天神ノ元遺跡K13下（1/12、④)、４井ゲタ遺跡SJ68(1/12、⑥)、５井ゲタ遺跡SJ13(1/12、⑥)、６中原遺跡SJ13257下(1/12、本書)、７天神ノ元遺跡K50下（1/12、④)、８井ゲタ遺跡SJ68（1/12、⑥)、９中原遺跡SJ11045（1/12、本書)、10中原遺跡SJ13235下（1/12、本書)、11中原遺跡SJ13088（1/12、本書)、12中原遺跡SJ13259下(1/12、本書)、13中原遺跡SJ13088（1/12、本書)、14中原遺跡SJ13395下(1/12、本書)、15中原遺跡SJ13292上（1/12、本書)、16中原遺跡SJ13293下（1/12、本書)、17天神ノ元遺跡K8下(1/12、④)、18中原遺跡SJ13292下（1/12、本書)

図170：１中原遺跡SJ11221（1/12、本書)、２湊中野遺跡６号（1/12、⑭)、３湊中野遺跡４号（1/12、⑭)、４中原遺跡SJ11213（1/12、本書)、５宇木汲田遺跡80号（1/12、②)、６桜馬場遺跡宝器内蔵甕棺上（1/12、⑩)、７天神ノ元遺跡K46上（1/12、④)、８天神ノ元遺跡K46（1/12、④)

図171：１中原遺跡SJ13279上（1/12、本書)、２中原遺跡SJ13283上（1/12、本書)、３中原遺跡SJ13315上(1/12、本書)、４中原遺跡SJ13153上（1/12、本書)、５中原遺跡SJ13397上（1/12、本書)、６中原

遺跡SJ13357（1/12、本書）、７中原遺跡SJ13302上（1/12、本書）、８中原遺跡SJ13151上（1/12、本書）、９宇木汲田遺跡47号上（1/12、②）、10宇木汲田遺跡24号上（1/12、②）、11中原遺跡SJ11222（1/12、本書）、12中原遺跡SJ11241上（1/12、本書）、13中原遺跡SJ11241下（1/12、本書）、14中原遺跡SJ11237下（1/12、本書）、1512中原遺跡SJ11083下（1/12、本書）

図172：１伯玄社遺跡82号上（1/20、⑮）、２伯玄社遺跡82号（1/8、⑮）、３吉武遺跡群K122上（1/20、⑮）、４吉武遺跡群K122下（1/20、⑯）、５吉武遺跡群K118上（1/20、⑯）、６吉武遺跡群K118下（1/20、⑯）、７吉武遺跡群K26上（1/20、⑯）、８吉武遺跡群K26下（1/20、⑯）、９吉武遺跡群K119上（1/20、⑯）、10吉武遺跡群K119下（1/20、⑯）、11吉武遺跡群K119（1/20、⑯）、12吉武遺跡群K08上（1/20、⑯）、13吉武遺跡群K08下（1/20、⑯）、14吉武遺跡群K89上（1/20、⑯）、15吉武遺跡群K89下（1/20、⑯）、16吉武遺跡群K116上（1/20、⑰）、17吉武遺跡群K116下（1/20、⑰）、18吉武遺跡群K116（1/20、⑰）、19堂の前遺跡SJ29上（1/20、⑥）、20堂の前遺跡SJ29下（1/20、⑥）、21宇木汲田遺跡82号上（1/20、②）、22宇木汲田遺跡82号下（1/20、②）、23柏崎小長崎遺跡６号上（1/20、⑤）、24柏崎小長崎遺跡６号下（1/20、⑤）、25天神ノ元遺跡K50上（1/20、④）、26天神ノ元遺跡K50下（1/20、④）、27天神ノ元遺跡K13上（1/20、④）、28天神ノ元遺跡K13下（1/20、④）、29天神ノ元遺跡K8上（1/20、④）、30天神ノ元遺跡K8下（1/20、④）

掲載資料文献

①中島直幸 1988『宇木汲田遺跡調査概要』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第27集
②高島忠平 1982「宇木汲田遺跡」『末盧国』六興出版
③東中川忠美 1981『大友遺跡』呼子町教育委員会　呼子町文化財調査報告書第１集
④仁田坂聡 2004『天神ノ元遺跡(3)』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第114集
⑤中島直幸 1983『柏崎小長崎遺跡』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第６集
⑥小松譲 2000『堂の前・井ゲタ遺跡』佐賀県教育委員会　佐賀県文化財調査報告書第144集
⑦木下巧 1981「山添甕棺遺跡」『古代末盧文化資料集成』
⑧橋口達也 1982「中原遺跡」『末盧国』六興出版
⑨中島直幸 1980「久里大牟田遺跡」唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第1集
⑩仁田坂聡 2008『桜馬場遺跡』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第147集
⑪中島直幸 1982『巡見道遺跡』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第３集
⑫森田孝志 1981『押川遺跡』佐賀県教育委員会　佐賀県文化財調査報告書第60集
⑬木下巧 1981「瀬戸口支石墓」『古代末盧文化資料集成』再録
⑭中島直幸 1985『湊中野遺跡』唐津市教育委員会　唐津市文化財調査報告書第14集
⑮柳田康雄 2003『伯玄社遺跡』春日市教育委員会　春日市文化財調査報告書第35集
⑯福岡市教育委員会編 1998『吉武遺跡群Ⅹ』福岡市文化財調査報告書第580集
⑰福岡市教育委員会編 1998『吉武遺跡群Ⅷ』福岡市文化財調査報告書第461集

2，女代南Ｂ群碧玉製管玉に関する認識

大賀克彦

⑴　はじめに

弥生時代中期を中心に、「女代南Ｂ群」碧玉と呼称される石材を素材とした管玉が大量に流通する。今回の中原遺跡の調査においても、甕棺墓を中心に500点に達する女代南Ｂ群碧玉製管玉が出土している。これまで、筆者は、弥生時代における管玉の流通を検討する中で、女代南Ｂ群碧玉製管玉についても評価を与えてきたが（大賀2001・2002b・2005・2006）、特に総括的な理解を提示した大賀（2001・2002b）に対しては、本質的な修正を行った。そこで本稿では、あらためて女代南Ｂ群碧玉製管玉の生産、分類、流通、消長に関する認識を整理し、残された課題についてまとめておきたい。

⑵　女代南Ｂ群碧玉の設定

本来、「女代南Ｂ群」碧玉は、兵庫県豊岡市女代神社南遺跡出土の管玉未製品や剥片から材質分析的に設定されたものである。藁科（1994a）は、女代神社南遺跡出土の管玉未製品や剥片の蛍光Ｘ線分析を行い、Ti／K、K／Si、Fe／Zr、Rb／Zr、Sr／Zr、Y／Zrの６つの元素比によるクラスター分析からＡ１群、Ａ２群、B群、Ｃ群を設定するとともに、それぞれはESR信号が共通する点を確認した。このうち、Ａ１群とＡ２群は既知の原石産地であった豊岡市内の玉谷産碧玉である。B群は、同一の原石産地に由来する可能性が想定されるが、既知の原石産地には対応しないことから、「女代南（Ｂ）遺物群」と仮称されている。Ｃ群に関しては、比重が2.60以下となる緑色凝灰岩質の石材であるが、分析個数が充分ではないことから、原石群としては設定されていない。

筆者は、藁科（1994a）において設定された「女代南（Ｂ）遺物群」が石材としての外観が類似するだけではなく、製作技法や法量的な指向性から、他から区別される考古学的に有意なまとまりであると認定した[i]。しかも、原石産地が未確認であり、直接的に産状を観察することは困難であるが、玉作遺跡において出土する素材から、岩石学的には脈状に産出する碧玉であると判断した。そこで、「女代南（Ｂ）遺物群」にほぼ相当する玉素材を、「女代南Ｂ群」碧玉と呼称している。

女代南Ｂ群碧玉は、緑色～緑褐色を呈し、微粒で硬質、比較的光沢を持つ石材である。生成の中断を反映する縞状の色むらを持つことがある。色調が淡い部分や粗粒の部分は製作工程中に除去されることが多く、完成品としての玉では石材的な変異は小さい。一般的に「碧玉」と総称される他の原石産地の石材と比べると、肉眼的にも相違を認める。島根県花仙山産碧玉よりは僅かに色調が淡く褐色味が強い。新潟県佐渡島内の猿八産碧玉は成因が単純ではないようで、石材的にやや変異の幅が広いが、典型的なものでは、女代南Ｂ群碧玉よりも色調が濃く、ブロック状の色むらや微小な空隙が目立つ。藁科（1997a）が設定した未定Ｃ遺物群は色調の濃淡の変異が顕著であるが、一貫して青色味の強い色調を呈する点と、部位による色むらが不規則で、縞状とならない点で区別される。もちろん、言うまでもなく、すべての石材が肉眼的に同定可能というわけではない。

ただし、「女代南Ｂ群」碧玉に関する筆者の用法は、藁科の設定した女代南（Ｂ）遺物群と次の２つの点で異なっている。

第一に、女代南Ｂ群碧玉には兵庫県豊岡市玉谷産の碧玉を含めている。玉谷産碧玉は、藁科による材質分析によって、女代南（Ｂ）遺物群から区別可能なことが確認されている。しかし、両者は外観的には非常によく類似しており、肉眼的な観察によって区別することはできない。また、玉谷産碧玉は、玉素材としての出現頻度が女代南（Ｂ）遺物群よりも圧倒的に少なく、しかも使用上の相違が認められな

いことから、両者の区別にはさほど大きな意義が見出せない。

第二に、女代南（B）遺物群の一部を女代南B群碧玉から除外している。すなわち、女代南（B）遺物群と判定された玉類の一部は非常に色調が淡く、筆者が硬質の緑色凝灰岩と判断するものと類似するからである。例えば、弥生時代中期の兵庫県たつの市新宮宮内29号木棺墓（藁科2005e）、弥生時代後期の兵庫県丹波市上ノ段遺跡A区方形周溝墓（藁科2002a）や兵庫県朝来市梅田東18号墓（藁科2002b）、古墳時代前期の富山県氷見市阿尾島田A１号墳（藁科2007b）、岐阜県大垣市昼飯大塚古墳（藁科2003b）、鳥取県米子市尾高19号墳（藁科1994b）、島根県安来市五反田１号墳（藁科1998）などが該当する。以上の事例では、セットとなる個体はすべて同様な石材であり、偶発的に不良な部分を製品化したとは考えられない。また、新宮宮内29号墓例と五反田１号墳例中の１点は石針で穿孔されており、弥生時代中期に製作されたものであるが、他例はすべて鉄錐で穿孔された小型の管玉で、弥生後期～古墳前期前半に製作されたと判断される。すなわち、典型的な女代南B群碧玉のほとんどは石針で穿孔された管玉で、弥生時代中期に製作されたと考えられる点でも、区別して扱うべきことがわかる[ii]。

⑶　玉作遺跡の分布

女代南B群碧玉を素材として使用する玉作遺跡を第59表にまとめた。第59表では、藁科によって原材産地分析が行われ、剥片や未製品として女代南B群碧玉が確認された玉作遺跡を網羅的に挙げるとともに、筆者が肉眼観察によって認定した事例の中で、出土資料が豊富な事例や地理的位置が注意される事例を加えた。ただし、出土資料の多寡には極めて大きな遺跡差が存在する。また、女代南B群碧玉は基本的に管玉の素材としてのみ利用される。各事例は、出土した剥片や未製品の製作技法によって、石鋸による施溝分割技法の適用と石針穿孔によって特徴付けられるB技法と、鉄製工具による成形や穿孔によるC技法に区分した[iii]。ただし、京都府余部遺跡に関しては、女代南（B）遺物群ではなく玉谷産碧玉が確認されている。また、一部の事例は詳細が未報告であり、兵庫県駄坂川原遺跡及び本山遺跡の玉作関連資料に関しては筆者も未確認のため、製作技法は不明とする。奈良県唐古・鍵遺跡では全面が研磨された未製品１点が出土しているのみで、直接的に製作技法を判断することはできないが、法量的な特徴から推定した。

分布は山陰、近畿北部、北陸西部といった日本海沿岸と琵琶湖周辺～淀川～大阪湾北岸に集中する。日本海沿岸でも親不知を越えた北陸東部地域でも管玉生産は盛行するが、基本的に佐渡島内の猿八産碧玉を素材として使用し、新潟県吹上遺跡以外では女代南B群碧玉の明確な出土は指摘できない。また、上記の主要な分布地域の中で、女代南B群碧玉が潤沢に出土するのは山陰地域東部の鳥取県青谷上寺地遺跡までで、山陰西部における既知の玉作遺跡における出土量は僅かである。近年の集中的な原材産地分析の実施により、分布密度が誇張されている点に注意を促しておく。中国地方山間部、奈良盆地、伊勢湾岸にも少数の事例が知られているが、これらに関しても、それぞれの出土量は僅かである。

女代南B群碧玉を素材とした管玉生産は、言うまでもなく、玉素材自体の広域的な供給関係を前提として成立している。女代南B群碧玉の大部分を占める女代南（B）遺物群に関しては、石川県小松市菩提で比較的材質が類似した碧玉の産出が確認されているが､完全に一致する原石産地は知られていない。玉作遺跡における出土量からみて、北陸西部地域で産出する可能性は高いと推定される。ここで重要な点は、少なくとも広域的な流通を前提として使用されている以上、原石産地の近隣を除けば、使用の継続を個別的に決定することはできないということである。

続いて、製作技法の共通性が持つ年代論的含意に触れておく。個々の事例は、それぞれの報文において年代的位置に関する一定の判断が示されている。しかし、ほとんどの資料は開放的な埋没が想定され

表59　女代南B群碧玉を素材とする主要な玉作遺跡

玉作地域	遺跡名	所在地		製作技法	分析	分析結果出典	報告書	備考
	南溝手	岡山県	総社市	B技法	○	藁科・東村1996	文献14	
	九番丁場	岡山県	苫田郡鏡野町	B技法			文献15	
	久田原	岡山県	苫田郡鏡野町	B技法	○	藁科2004 a	文献16	
	夏栗	岡山県	苫田郡鏡野町	B技法			文献17	
山陰	古志本郷	島根県	出雲市	B技法	○	藁科2005 b	文献46	
山陰	春日	島根県	八束郡東出雲町	B技法	○	藁科2005 b	文献43	
山陰	布田	島根県	松江市	B技法	○	藁科2005 b	文献43・45	
山陰	西川津	島根県	松江市	B技法	○	藁科2005 b	文献44	
山陰	笠見第３	鳥取県	東伯郡琴浦町	C技法	○	藁科2004 b	文献64・68	
山陰	八幡	鳥取県	東伯郡琴浦町	B技法	○	藁科2005 c	文献65	
山陰	南原千軒	鳥取県	東伯郡琴浦町	B技法	○	藁科2005 d	文献66・67・69	
山陰	西高江	鳥取県	東伯郡北栄町	B技法			文献51	
山陰	長瀬高浜	鳥取県	東伯郡湯梨浜町	B技法	○	藁科1997 b	文献59	
山陰	青谷上寺地	鳥取県	鳥取市	B技法			文献60～63	
山陰	岩吉	鳥取県	鳥取市	B技法			文献70	
近畿北部	女代神社南	兵庫県	豊岡市	B技法	○	藁科1994	文献71	詳細は未記載
近畿北部	ヱノ田	兵庫県	豊岡市	B技法	○	藁科1994	文献50	詳細は未記載
近畿北部	駄坂川原	兵庫県	豊岡市	未確認	○	藁科1994		未報告
近畿北部	粟鹿	兵庫県	朝来市	C技法			文献75	
近畿北部	途中ヶ丘	京都府	京丹後市	B技法			文献85	未報告分多数
近畿北部	奈具岡	京都府	京丹後市	B技法			文献22・23	
近畿北部	日吉ヶ丘	京都府	与謝郡与謝野町	B技法	○	藁科2005 a	文献18	
近畿北部	志高	京都府	舞鶴市	B技法			文献20	
近畿北部	桑飼上	京都府	舞鶴市	B技法			文献21	
畿内北部	新方	兵庫県	神戸市	B技法			文献30～37・47	詳細は未記載
畿内北部	本山	兵庫県	神戸市	未確認	○	藁科1994	文献35	詳細は未記載
畿内北部	加茂	兵庫県	川西市	B技法			文献19	
畿内北部	田能	兵庫県	尼崎市	B技法	○	尼崎市教委2007	文献４	
畿内北部	池上	京都府	南丹市	B技法			文献26・27・86	
畿内北部	余部	京都府	亀岡市	B技法	△	野々口1999	文献24・25	
畿内北部	深草	京都府	京都市	B技法			文献29	
畿内北部	市田斉当坊	京都府	久世郡久御山町	B技法	○	藁科2004 c	文献28	
畿内北部	烏丸崎	滋賀県	草津市	B技法			文献41	
畿内北部	市三宅東	滋賀県	野洲市	B技法				未報告
畿内北部	八夫	滋賀県	野洲市	B技法	○	藁科1999	文献56・57	
畿内北部	大中の湖南	滋賀県	蒲生郡安土町	B技法			文献40・42	
畿内北部	立花	滋賀県	米原市	B技法	○	藁科1994	文献82	
畿内北部	筑摩佃	滋賀県	米原市	B技法	○	藁科1994		未報告
畿内北部	横山	滋賀県	伊香郡高月町	B技法			文献54	
	平等坊・岩室	奈良県	天理市	B技法			文献58	当該文献には記載なし
	唐古・鍵	奈良県	磯城郡田原本町	B技法？	○	藁科2009	文献55	
	一反通	三重県	鈴鹿市	B技法			文献12・13	
	朝日	愛知県	清須市	B技法	○	藁科2000	文献１・２・３	
北陸西部	吉河	福井県	敦賀市	B技法			文献81	
北陸西部	右近次郎西川	福井県	大野市	B技法			文献77	
北陸西部	下屋敷	福井県	坂井市	B技法			文献76	
北陸西部	坂井兵庫地区	福井県	坂井市	B技法			文献78・79・80	
北陸西部	猫橋	石川県	加賀市	B技法			文献６	
北陸西部	八日市地方	石川県	小松市	B技法	○	藁科2003 a	文献５・38・39	
北陸西部	野本	石川県	白山市	B技法			文献10・83・84	
北陸西部	下安原海岸	石川県	金沢市	B技法			文献９・11・74	
北陸西部	吉崎・次場	石川県	羽咋市	B技法			文献7・8・72・73	
北陸西部	石塚	富山県	高岡市	B技法			文献52・53	
北陸東部	吹上	新潟県	上越市	B技法	○	藁科2006、2007 a	文献48・49	

る遺構や包含層から出土しているという出土状況の不安定性や、広域的な併行関係における不確定性から、慎重な取り扱いを必要としている。詳細な限定は消費地資料の分析を行った後に触れることとして、製作技法から可能な確実な限定を行っておく。

女代南Ｂ群碧玉のほとんどは、Ｂ技法による管玉生産に利用されている。すなわち、女代南Ｂ群碧玉製管玉のほとんどは石針で穿孔されている。これまでも繰り返し触れてきたように（大賀2001・2002b・2008）、日本列島における管玉生産では、弥生時代後期初頭に一斉に穿孔具の鉄器化が認められる。この画期は、移行期間を全く含まず、かつ生産地資料と消費地資料の両者に認めることが可能で、極めて確からしいものである。すなわち、女代南Ｂ群碧玉の使用は、少なくとも弥生時代中期末までに基本的に終了しているのである。

ここで、僅かな例外である鳥取県笠見第３遺跡及び兵庫県粟鹿遺跡について触れておく。両遺跡においては、女代南Ｂ群碧玉を使用したＣ技法による管玉の製作が確認される。ただし、例えば笠見第３遺跡で出土した石核や未製品（報文J79やJ87）には、側面に石針によって付加された小穴が確認できる。この小穴は、管玉としての孔とは全く無関係な位置にあり、製作工程として目的的に付加されたものとは考えられない。そもそも、笠見第３遺跡では穿孔はすべて鉄製工具が使用されており、石針の存在自体が確認できない。すなわち、笠見第３遺跡で使用された女代南B群碧玉の素材は、本来、弥生時代中期に石針を使用していた玉作遺跡に持ち込まれたもので、残余が二次的に移動されたと考えられる。あくまで例外的な現象であり、同様な事例が一般的に存在するとは考えられない。粟鹿遺跡出土の玉作関連資料は非常に微量であるため、直接的な根拠を確認することはできないが、鉄錐で穿孔された女代南Ｂ群碧玉（報告第221図C-J2）は同様な経緯が想定される。ちなみに、対応する消費地資料としては、京都府京丹後市大山遺跡周辺第９主体や兵庫県豊岡市鎌田・若宮４号墓第８主体の大型品１点（報告第51図10）が挙げられる。

⑷　女代南Ｂ群碧玉製管玉の分類

続いて、女代南Ｂ群碧玉製管玉の法量に関して分析を行う。具体的な手順に関しては大賀（2001）に示したとおりである。結果は第173図に示した。

大多数を占める石針で穿孔された管玉の規格は、直径が2.0㎜～5.0㎜で全長が15㎜以下の小型品と、直径が４㎜以上で全長が15㎜以上の大型品に大きく二分される。さらに、鳥取県東半部を含んだ近畿地方以東の東日本と中国地方以西の西日本では、出土する管玉の法量的指向性が明確に異なる。大型品に関しては、東日本出土品が広い範囲に散在するのに対して（領域Ｆ）、西日本出土品は直径が4.0㎜～6.0㎜、全長が15.0㎜～25.0㎜の比較的狭い範囲に集中する（領域Ｆ'）。小型品では、東日本出土品と西日本出土品の分布範囲が排他的である。一般的に東日本出土品の方が細身で、直径に対する全長の比率が大きくスマートな形状を呈する。東日本出土品がまとまる直径2.0㎜～3.0㎜で全長が12.0㎜以下の範囲を領域Se、西日本出土品がまとまる範囲を領域Swとする[iv]。鉄錐で穿孔された事例に関しては、直径に対する全長の比率が小さい極端に寸胴な形状を呈する[v]。弥生時代の管玉としては極めて変則的で、素材が異なる管玉にもほとんど例がない。

ただし、仔細に見れば、管玉の規格と分布との対応関係が変則的な事例や、境界的な位置にプロットされる事例がいくつか指摘される（第173図Ａ～Ｎ）。東日本的な法量を示す西日本出土品として佐賀県大友遺跡第２次14号配石墓（第173図Ａ）や佐賀県佐保Ａ区58号甕棺墓（第173図Ｂ）が挙げられる。一方、西日本的な法量を示す東日本出土品として宮城県長町駅東214号土壙墓（第173図Ｃ）、宮城県中在家南36号土壙墓（単位資料①）（第173図Ｆ）、滋賀県烏丸崎50号方形周溝墓（第172図Ｄ）、大阪府アゼクラ

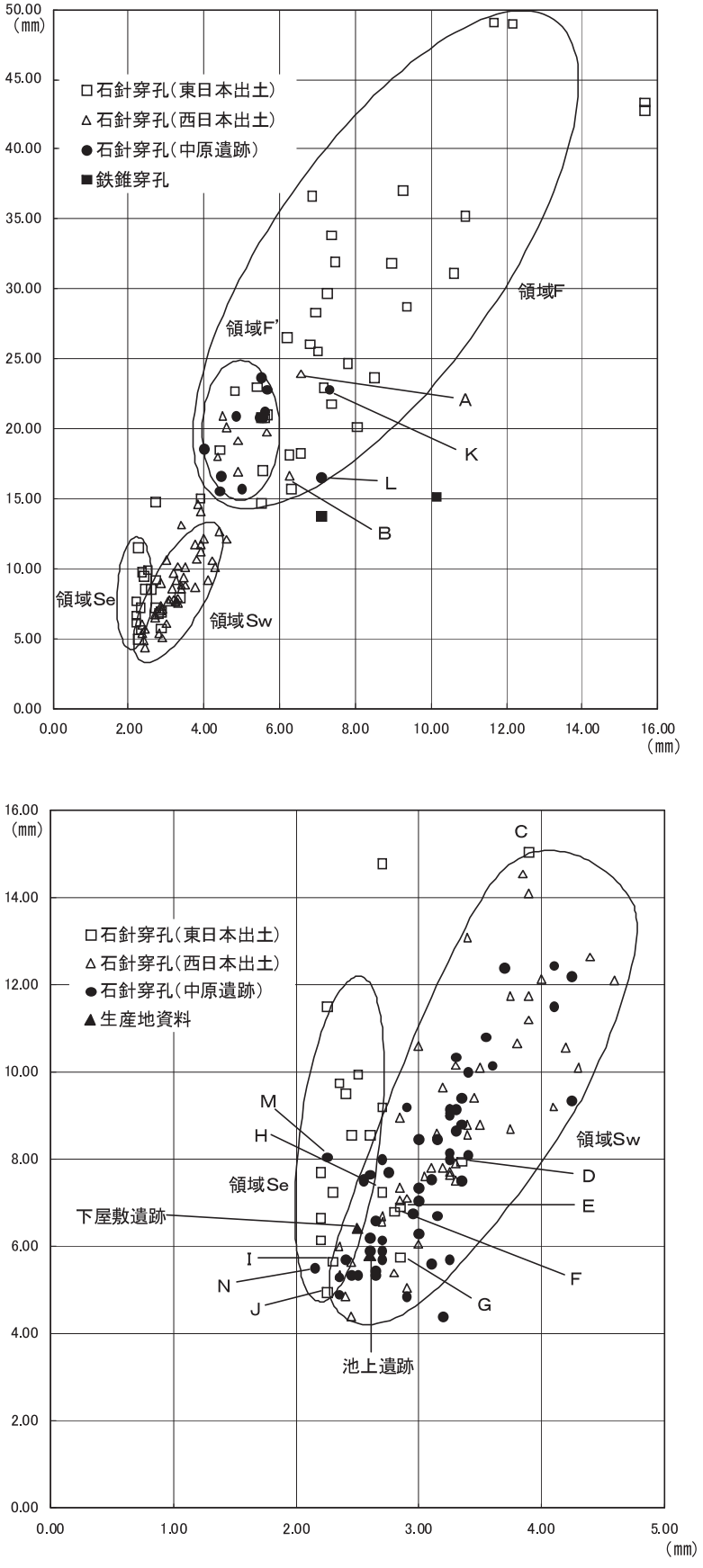


図173　女代南B群碧玉製管玉の法量分析

第32次SK02（第173図Ｈ）、兵庫県玉津田中遺跡二之郷地区21号方形周溝墓（第173図Ｅ）、兵庫県七日市92号木棺墓（第173図Ｇ）が挙げられる。石川県八日市地方17区方形周溝墓（第173図Ｊ）や兵庫県玉津田中遺跡二之郷地区10号方形周溝墓（第173図Ｉ）は境界的な位置にプロットされる事例である。

以上の事例には、１点ずつの出土で、単位資料としての法量値がやや不安定なものを含む（第173図Ａ・Ｂ・Ｇ）。また、法量と出土地以外には全く相違を認めないため、やや変則的な法量に仕上げられたセットであったのか、流通の経緯が例外的であったのかという判断は容易ではない。以上の事例の中で、八日市地方17区方形周溝墓例は、東日本タイプの生産の中心と想定される製作遺跡からの出土であり、西日本タイプの流入品とは考え難いところである。一方、出土例が寡少な大阪湾岸で確認されている３事例や、やや離れるが畿内北部地域には含まれる烏丸崎遺跡例が、いずれも典型的な東日本タイプではない点は有意とみなすべきかもしれない[vi]。中在家南36号土壙墓例に関しては共伴する大型の女代南Ｂ群碧玉製管玉が領域Ｆ’にプロットされ、しかも当該地域では極めて寡少な山陰系管玉と判断される軟質緑色凝灰岩製管玉が共伴する点が注意されるが、西日本からの搬入と判断するには、その地理的懸隔を越える状況証拠の追加が必要であろう。

中原遺跡における今回の調査で出土した管玉は、単位資料として扱うには若干法量が不揃いなセットも含まれるが、基本的に西日本出土品として通有の特徴を示している[vii]。ただし、SJ11249（単位資料②）（第173図Ｋ）及びSJ13319（単位資料②）（第173図Ｌ）例に関しては、直径が6.0㎜を大きく超えており、領域Ｆ’には入らない。また、小型品ではSJ13330（第173図Ｍ）及びSJ13146（単位資料①）（第173図Ｎ）例が領域Seに含まれる。以上の事例は、出土総数に占める割合は僅かであるが、東日本地域の玉作遺跡からの搬入品の可能性が考慮される。

⑸　女代南Ｂ群碧玉製管玉の生産と流通

前節における東日本タイプと西日本タイプの区分に依拠して[viii]、消費地遺跡における出土状況を第174図にまとめた。ただし、石針で穿孔された女代南Ｂ群碧玉製管玉が弥生時代後期以降の遺構から出土した事例や、他系統の管玉に少量が混在して出土した事例は除外してある。また、東日本地域で出土した大型品は、領域Ｆ’に入る場合も、東日本タイプと認定してある。唐津平野周辺では複数の遺跡からまとまった出土が確認されるが、スペース上の問題から、一つのプロットで代表させた。

出土地の密度に地域差が顕著であるが、東日本タイプと西日本タイプの排他性は明確である。筆者自身もこれまで注目していなかった点として、前節でも触れたように、大阪湾岸及びその周辺で出土した女代南Ｂ群碧玉製管玉の多くは西日本タイプの規格を持つことが注意される。また、流通量が極めて多い北部九州地域内部における小地域性も興味深い状況を示しているが、この点に関しては機会をあらためて取り上げる予定である。

次に、生産地遺跡における様相との対応関係を検討する。第59表及び第174図に示したように、生産地遺跡の分布は消費地遺跡の分布より圧倒的に狭い。特に、消費地遺跡の分布が密な関東北部～東北南部や北部九州では、生産地遺跡が全く確認されていない。また、生産地遺跡の大部分は、女代南Ｂ群碧玉製管玉の製作に関連する資料が少量確認されているのみで、製品の規格等を直接検討することが可能な事例は稀である。

こうした特に重要な事例の中で、大賀（2001）において取り上げた福井県下屋敷遺跡や京都府池上遺跡の資料をあらためて検討する[ix]。両遺跡から出土した女代南Ｂ群碧玉製管玉の中で、特に小型品を取り上げる理由は、穿孔前や穿孔中の未製品が高い比率で含まれるためである。第173図に示したように、両遺跡の未製品の法量は、領域Seと領域Swの境界付近か、若干領域Swに入り込んだ位置にプロットさ

図174　女代南B群碧玉製管玉の分布

れる。ただし、これらの未製品が完成される際には、研磨によって若干直径が減少する点を考慮する必要がある。また、領域Swにプロットされる管玉は直径が3.0㎜を超える個体が圧倒的に多い。以上の点から、ここで取り上げた玉作遺跡では東日本タイプの管玉が製作されていたと判断できる。ここでデータを示すことはできないが、石川県八日市地方遺跡等も確実に東日本タイプの管玉を製作した事例として挙げることができる。また、比較的豊富な未製品が出土し、位置的にも注目される京都府市田斉当坊遺跡例は法量的な分散がやや著しいが、直径が2.0～2.5㎜程度の未製品を中心とし、直径が6.0㎜を超える大型品を伴う構成は東日本的である。

ただし、既知の生産地遺跡の様相のみから、整合的な流通関係を構成することはできない。まず、領域Swを指向する西日本タイプの小型の管玉に関しては、対応する生産地遺跡を例示することができな

い。既知の生産地遺跡の中で、製品の法量的指向性が確認できる事例はすべて東日本タイプの規格を示しており、また、鳥取県青谷上寺地遺跡のような玉作関連資料の豊富な出土が知られている他の事例も、東日本タイプの流通圏に限定的に確認されるためである。女代南Ｂ群碧玉製管玉の生産が確認される玉作遺跡の分布する地域の中で、鳥取県西部～島根県東部や、場合によっては淀川流域～大阪湾北岸に関しては西日本タイプの流通圏となる可能性があることから、西日本タイプの生産地の候補である。ただし、現状では、上記の地域で知られる玉作遺跡は極めて規模が小さいものに限られる。消費地遺跡の分布は北部九州、とりわけ唐津平野に圧倒的に集中し、この点を重視すれば、北部九州における生産も否定できない。いずれの可能性を想定する場合にも、何らかの不自然な点が指摘されることから、最終的な判断には決定的な資料の出土を待つ必要があろう。

もう一つの不整合な点は、領域Ｆを指向する東日本タイプの大型品の生産地である。上記の玉作遺跡の多くでは、領域Seを指向する小型品に混じって、大型品の未製品が少量出土することから、一見、問題がないように見える。しかし、女代南Ｂ群碧玉製管玉が出土する東日本の消費地遺跡の中で比較的時期が遡る事例では、領域Seを指向する小型品を全く混じえず、大型品のみが出土する。例えば、栃木県出流原遺跡や千葉県志摩城跡遺跡では10基を超える再葬墓から管玉が出土しており、すべて大型品に限定される。すなわち、次節で取り上げる問題とも関連するが、東日本タイプの女代南Ｂ群碧玉製管玉に関しては、領域Ｆを指向する大型品のみを生産した段階が存在したと考えられるのである。この段階に対応する玉作遺跡は把握されていない可能性が高い[x]。

⑹　女代南Ｂ群碧玉製管玉の消長

女代南Ｂ群碧玉製管玉の消長に関する認識には、様々な不確実性が残されている。最大の不確実性の起源は、生産地資料が開放的な埋没過程を経過した遺構から出土しているにも関わらず、しばしば他例との整合性を考慮することなく、断定的な時期比定が行われる点にある。最初に、上限と下限に関する最小の限定を行う。

上限は、女代南Ｂ群碧玉製管玉の生産が、①半島系管玉の搬入→②半島系管玉を模倣した山陰地域における軟質緑色凝灰岩製管玉、すなわち山陰系管玉の生産→③東日本における山陰系のＡ技法による管玉生産の拡散、という因果の連鎖を契機とする点を逃れられない。③に関しては、福井県甑谷在田遺跡などの事例から弥生時代中期前葉に比定される。すなわち、女代南Ｂ群碧玉製管玉の出現は、少なくとも中期前葉の初めまでは遡らない。一方、下限に関しては、ほとんどの女代南Ｂ群碧玉製管玉が石針で穿孔されることから、鉄錐で穿孔される例外的な事例を除けば、少なくとも中期末までに製作されている[xi]。

もう一つの大きな問題は、消費地遺跡における女代南Ｂ群碧玉製管玉の流通が日本列島の大部分を覆うほど広域的であるために、各地域ごとの編年に対する併行関係の不確実性が無視できない点である[xii]。最も極端な事例として、弥生時代前期に遡る可能性が指摘されている青森県是川中居Ｇ区４号埋設土器が挙げられる。当該遺構出土の管玉には、女代南Ｂ群碧玉製とともに佐渡島内の猿八産碧玉製が含まれており、北陸東部地域で管玉生産が開始される段階まで時期が降ることは確実である。また、玉類以外に有意な共伴遺物を伴わない事例では様々な時期比定が行われているが、こうした事例に関して逐一例示する必要はないであろう。さらに、弥生時代後期以降に比定される遺構から出土する事例に関しては、まとまったセットを構成することがなく、すべて伝世品と判断することができる。以上のような問題を含んだ事例を除けば、生産地資料からの最小の限定と整合的に理解することができる。

女代南Ｂ群碧玉製管玉の消長に関しては、さらに限定する手掛かりが存在する。一つは消費地資料、

もう一つは生産地資料である。

まず、前節でも言及したように、東日本タイプの女代南Ｂ群碧玉製管玉に関しては、領域Ｆを指向する大型品と領域Seを指向する小型品は時間的な前後関係にある可能性が高い。すなわち、大型品の消長と小型品の消長を区別することで、より細かな段階区分と正確な併行関係の認定を行うことができよう。西日本タイプの女代南Ｂ群碧玉製管玉に関しては、同様な区分はできない。点数的に領域Ｓｗを指向する小型品が圧倒的に多く、領域Ｆ'にまとまる大型品はほとんどの場合に小型品と共伴し[xiii]、固有の時期的傾向が認定できないからである。

一方、女代南Ｂ群碧玉製管玉を製作する玉作遺跡では、工具として紅簾片岩製の石鋸とサヌカイト製の磨製石針を使用し、Ｂ技法による管玉の製作が行われるという点で斉一的な様相が認められる（大賀2001）。ただし、京都府余部遺跡や滋賀県烏丸崎遺跡のように、瑪瑙製の打製石針を穿孔具として使用する事例が存在する。瑪瑙製の打製石針の使用は、おそらく先行する山陰地域における管玉の製作技法に由来することから、Ｂ技法による管玉生産の中でも古相を示す可能性がある[xiv]。

以上のような手掛かりを利用しつつ、今後は、生産地資料からの最小の限定を超えて、さらに正確な消長を明らかにする必要がある。生産地資料からの最小の限定と整合的な事例に関しても、統一的な年代的枠組みにおける位置付けを追究しなければならない。こうした課題に対する取り組みとして、本報告書では、唐津平野を中心とした地域における女代南Ｂ群碧玉製管玉の消長を検討してあるので、併せて御参照頂ければ幸いである。

おわりに

以上、女代南Ｂ群碧玉製管玉の認定、生産・流通、消長に関して、現状で可能な認識の整理を行った。あらためて列挙はしないが、いくつかの問題点に関しては、今後の資料の蓄積を待って、判断しなければならない。本稿が、弥生時代における管玉生産の理解について、多少とも役立つ点があるならば幸いである。

註

ⅰ　藁科による材質分析は、選択された指標元素の組による原石群の設定を特徴とし、鉱物組成の異同等は考慮されていない。すなわち、原石産地との対応が確認されない原石群に関しては、岩石種の相違、同一岩石種における岩体／産出ポイントの相違、同一の原産地における母岩としての相違といった、相違のレベルが区別されていない。そのため、原石群としての有意性は、考古学的な判断による保証を必要としている。筆者は、藁科による産地分析の有効性を基本的に承認する立場にあるが、その後に設定された原石群の大部分に関しては、その有意性に関して懐疑的である。

ⅱ　弥生時代後期以降に比定される管玉の中で、女代南（Ｂ）遺物群と判定された管玉のすべてが、女代南Ｂ群碧玉製から除外されるというわけではない。例えば、古墳時代前期の徳島県蓮華谷Ⅱ遺跡２号墳例（藁科1994c）は典型的な女代南Ｂ群碧玉製であるが、石針で穿孔された弥生時代中期からの伝世品である。こうした問題は個別的に判断しなければならない。

ⅲ　製作技法の区分は大賀（2001）による。

ⅳ　以上の領域区分の境界は大賀（2001）とは若干異なっている。それは、管玉素材の区分に関する変更に起因している。大賀（2005）では修正版を提示したが、取り上げた資料が充分ではなかった。

ⅴ　鎌田・若宮４号墓第８主体例は多角柱状に側面の稜を残した未製品が副葬されたもので、本来はもう少し直径が小さい規格であった可能性が高い。

vi　ただし、当該事例は単位資料内での法量の分散の様相は東日本的である。また、大阪湾岸地域では、兵庫県田能遺跡16号木棺からも女代南Ｂ群碧玉製管玉のセットが出土している。典型的な西日本タイプの様相を示しており、多量の半島系管玉を共伴する点でも特異な事例であるが、全個体の計測を終えていないため、第173図にはプロットしていない。

vii　第173図には今回の調査で出土した管玉のセットを網羅的にプロットしたが、図中のＥ及びＦに近接するSJ13106、SJ13220とSJ13059の小型品と、後述する玉作遺跡出土品に近接するSJ13112、SJ13253例の表示は省略した。

viii　以下では、東日本で出土した領域Ｆ及び領域Seにまとまる管玉を東日本タイプ、西日本で出土した領域Ｆ'及び領域Swにまとまる管玉を西日本タイプと呼称する。ただし、出土地と規格の対応関係が異なる例外的な事例に関しては、個別的に判断する。

ix　大賀（2001）で取り上げた京都府志高遺跡の資料に関しては、より明確に東日本タイプの法量を示すが、完成品が大部分であるため省略する。

x　ただし、地域的には既知の玉作遺跡が主に分布する範囲に存在すると想定している。

xi　宮田（2008）は、北陸西部地域における管玉の生産が中期後葉の後半に衰退しているように見える点に注意を促している。同様な現象は、中原遺跡における女代南Ｂ群碧玉製管玉の出土総数の変化を含めて、北部九州における立岩式段階における流通量の顕著な減少に端的に示されるように、消費地資料においても確認される。この問題に関しては、今後、意識的な検討を行っていきたい。

xii　北部九州における甕棺編年を基準に言えば、城ノ越式や立岩式との併行関係が不確実であるように思われるが、ここで成案を提示することはできない。

xiii　佐賀県宇木汲田38号甕棺墓や同・天神ノ元43号甕棺墓では大型品のみが出土している。

xiv　ここで取り上げた二つの手掛かりの前後関係に関しても、既知の資料からは判断が困難である。

参考文献

尼崎市教育委員会 2007『尼崎市立田能資料館企画展　ここまでわかった弥生の原産地』

大賀克彦 2001「弥生時代における管玉の流通」『考古学雑誌』第86巻第４号

大賀克彦 2002ａ「日本列島における管玉生産の成立」『甑谷』（『清水町埋蔵文化財発掘調査報告書』Ⅵ）

大賀克彦 2002ｂ「弥生・古墳時代の玉」『考古資料大観』第９巻

大賀克彦 2005「弥生時代における山陰系玉類の流通」『玉文化』第２号

大賀克彦 2006「「碧玉」製玉類の生産と流通」『季刊考古学』第94号

大賀克彦 2008「総論　玉生産研究の現状と課題」『考古学ジャーナル』第567号

野々口陽子 1999「余部遺跡第５次発掘調査概要」『京都府遺跡調査概報』第88冊

宮田明 2008「弥生時代中期における管玉生産の展開」『北陸における弥生・古墳時代玉作の変革』（『第６回日本玉文化研究会石川大会発表要旨集』）

藁科哲男 1994ａ『玉類の原材産地分析から考察する玉類の分布圏の研究』（『平成５年度科学研究費補助金（一般研究Ｃ）研究成果報告書』）

藁科哲男 1994ｂ「尾高御建山遺跡出土の玉類の産地分析」『尾高御建山遺跡・尾高古墳群』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』34）

藁科哲男 1994ｃ「蓮華谷古墳群（Ⅱ）出土の勾玉、管玉の産地分析」『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告４』（『徳島県埋蔵文化財センター調査報告書』第４集）

藁科哲男 1997ａ「宇木汲田遺跡出土のヒスイ製勾玉、碧玉製管玉の産地分析」『佐賀県立博物館・佐賀県立美術館調査研究書』第22集
藁科哲男 1997ｂ「長瀬高浜遺跡出土の勾玉、管玉の産地分析」『長瀬高浜遺跡Ⅶ』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』49）
藁科哲男 1998「門生黒谷Ⅲ遺跡出土のヒスイ製勾玉、碧玉製管玉の産地分析」『門生黒谷Ⅰ遺跡　門生黒谷Ⅱ遺跡　門生黒谷Ⅲ遺跡』
藁科哲男 1999「八夫遺跡出土の玉未製品、玉材片の産地分析」『平成９年度中主町内遺跡発掘調査年報』『中主町文化財調査報告書』第55集）
藁科哲男 2000「朝日遺跡出土のヒスイ製勾玉、碧玉製管玉、玉材の産地分析」『朝日遺跡Ⅵ』（『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書』第83集）
藁科哲男 2002ａ「上ノ段遺跡出土の管玉の産地分析」『的場遺跡・上ノ段遺跡』（『兵庫県文化財調査報告』第225冊）
藁科哲男 2002ｂ「梅田東古墳群18号墓出土の管玉の産地分析」『梅田東古墳群』（『兵庫県埋蔵文化財調査報告』第241冊）
藁科哲男 2003ａ「八日市地方遺跡出土の玉材片の産地分析」『八日市地方遺跡Ⅰ』
藁科哲男 2003ｂ「昼飯大塚古墳出土玉類の石材分析」『史跡　昼飯大塚古墳』（『大垣市埋蔵文化財調査報告書』第12集）
藁科哲男 2004ａ「奥津町久田原遺跡出土の結晶片岩様緑色管玉、碧玉製剥片の産地分析」『久田原遺跡・久田原古墳群』（『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』184）
藁科哲男 2004ｂ「笠見第３遺跡出土碧玉、凝灰岩製玉材の産地分析」『笠見第３遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』86）
藁科哲男 2004ｃ「竪穴式住居跡SHC453における碧玉玉材等の産地分析（抄）」『京都府遺跡調査報告書』第36冊
藁科哲男 2005ａ「日吉ヶ丘遺跡出土管玉、玉材の産地分析」『日吉ヶ丘遺跡』（『加悦町文化財調査報告』第33集）
藁科哲男 2005ｂ「島根県内遺跡出土玉類・玉材剥片などの原材産地分析」『古代出雲における玉作の研究Ⅱ』（『島根県古代文化センター調査研究報告書』28）
藁科哲男 2005ｃ「八幡遺跡出土玉材の産地分析」『八幡遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』99）
藁科哲男 2005ｄ「南原千軒遺跡出土碧玉・ヒスイ製玉材の産地分析」『南原千軒遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』100）
藁科哲男 2005ｅ「新宮宮内遺跡出土石棒、石庖丁、ガラス玉、管玉の非破壊分析による組成分析と原材産地分析」『新宮宮内遺跡』（『新宮町文化財調査報告』30）
藁科哲男 2006「吹上遺跡出土碧玉製玉類の産地分析」『吹上遺跡』
藁科哲男 2007ａ「吹上遺跡出土玉材の産地分析」『吹上遺跡範囲確認調査報告書』
藁科哲男 2007ｂ「阿尾島田Ａ１号墳出土碧玉製管玉・ヒスイ製垂玉の産地分析」『阿尾島田古墳群の研究』（『平成16～18年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ）(2)）研究成果報告書』）
藁科哲男 2009「唐古・鍵遺跡出土玉類の産地分析」『唐古・鍵遺跡Ⅰ』（『田原本町文化財調査報告書』第５集）
藁科哲男・東村武信 1996「南溝手遺跡出土の玉材石片の産地分析」『南溝手遺跡２』（『岡山県埋蔵文化

財発掘調査報告』107）

参考報告書

報告１．㈶愛知県埋蔵文化財センター1993『朝日遺跡Ⅳ』（『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書』第33集）
報告２．㈶愛知県教育サービスセンター　愛知県埋蔵文化財センター2000『朝日遺跡Ⅵ』（『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書』第83集）
報告３．㈶愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター2007『朝日遺跡Ⅶ』（『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書』第138集）
報告４．尼崎市教育委員会1982『田能遺跡発掘調査報告書』（『尼崎市文化財調査報告書』第15集）
報告５．石川県教育委員会・㈶石川県埋蔵文化財センター2004『八日市地方遺跡』
報告６．石川県教育委員会・㈶石川県埋蔵文化財センター2004『猫橋遺跡』
報告７．石川県立埋蔵文化財センター1987『吉崎・次場遺跡』
報告８．石川県立埋蔵文化財センター1988『吉崎・次場遺跡』
報告９．石川県立埋蔵文化財センター1988『下安原海岸遺跡』
報告10．石川県立埋蔵文化財センター1993『野本遺跡』
報告11．石川県立埋蔵文化財センター1997『金沢市下安原海岸遺跡』
報告12．岡田登1980「三重県鈴鹿市北部丘陵採集の玉作り遺物」『古代文化』第32巻第７号
報告13．岡田登2001「三重県下出土の玉作り関係資料について」『史料』第173号
報告14．岡山県教育委員会1996『南溝手遺跡２』（『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』107）
報告15．岡山県教育委員会2002『立石遺跡・大開遺跡・六番丁場遺跡・九番丁場遺跡』（『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』165）
報告16．岡山県教育委員会2004『久田原遺跡・久田原古墳群』（『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』184）
報告17．岡山県教育委員会2005『夏栗遺跡』（『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』194）
報告18．加悦町教育委員会2005『日吉ヶ丘遺跡』（『加悦町文化財調査報告』第33集）
報告19．関西大学1968『摂津加茂』（『関西大学文学部考古学研究室』第３冊）
報告20．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1989『志高遺跡』（『京都府遺跡調査報告書』第12冊）
報告21．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1993『桑飼上遺跡』（『京都府遺跡調査報告書』第12冊）
報告22．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1993『京都府遺跡調査概報』第55冊
報告23．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1997『京都府遺跡調査概報』第76冊
報告24．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1998『京都府遺跡調査概報』第81冊
報告25．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター1999『京都府遺跡調査概報』第88冊
報告26．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター2002『京都府遺跡調査概報』第103冊
報告27．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター2003『京都府遺跡調査概報』第108冊
報告28．㈶京都府埋蔵文化財調査研究センター2004『市田斉当坊遺跡』（『京都府遺跡調査報告書』第36冊）
報告29．黒沢浩1991「弥生時代石器の基礎的研究（Ⅰ）」『明治大学考古学博物館館報』№６
報告30．神戸市教育委員会1984『新方遺跡発掘調査概要　居住遺跡発掘調査概要』
報告31．神戸市教育委員会1985『昭和57年度　神戸市埋蔵文化財年報』

報告32. 神戸市教育委員会1987『昭和59年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告33. 神戸市教育委員会1988『昭和60年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告34. 神戸市教育委員会1994『平成３年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告35. 神戸市教育委員会1995『平成４年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告36. 神戸市教育委員会1997『平成６年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告37. 神戸市教育委員会2000『平成９年度　神戸市埋蔵文化財年報』
報告38. 小松市教育委員会2003『八日市地方遺跡Ⅰ』
報告39. 小松市教育委員会2008『八日市地方遺跡Ⅲ』
報告40. 佐藤宗男1970「大中の湖南遺跡における玉作について」『古代文化』第22巻第１号
報告41. 滋賀県教育委員会2008『烏丸崎遺跡・津田江湖底遺跡』
報告42. 滋賀県教育委員会・㈶滋賀県文化財保護協会2004『出土文化財資料化収納業務報告書Ⅰ』
報告43. 島根県教育委員会1983『国道９号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』
報告44. 島根県教育委員会1989『西川津遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
報告45. 島根県教育委員会1991『一般国道９号松江道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ』
報告46. 島根県教育委員会2003『古志本郷遺跡Ⅵ』
報告47. 清水真一2004「畿内Ⅱ」『日本玉作大観』
報告48. 上越市教育委員会2006『吹上遺跡』
報告49. 上越市教育委員会 2007『吹上遺跡範囲確認調査報告書』
報告50. 瀬戸谷晧 2004「山陰Ⅰ」『日本玉作大観』
報告51. 大栄町教育委員会 1981『東高江・西高江遺跡発掘調査報告』（『大栄町文化財調査報告書』第24集）
報告52. 高岡市教育委員会 1995『石塚遺跡調査概報Ⅲ』（『高岡市埋蔵文化財調査概報』第27冊）
報告53. 高岡市教育委員会 2007『石塚遺跡調査報告』（『高岡市埋蔵文化財調査報告』第17冊）
報告54. 高月町教育委員会 2008『横山遺跡Ⅰ』
報告55. 田原本町教育委員会 2009『唐古・鍵遺跡Ⅰ』（『田原本町文化財調査報告書』第５集）
報告56. 中主町教育委員会 1986『昭和60年度中主町内遺跡発掘調査年報』（『中主町文化財調査報告書』第５集）
報告57. 中主町教育委員会 1999『平成９年度中主町内遺跡発掘調査年報』（『中主町文化財調査報告書』第55集）
報告58. 天理市教育委員会 1996『天理市埋蔵文化財調査概要　平成４・５年度（1992・1993年度）』
報告59. ㈶鳥取県教育文化財団 1997『長瀬高浜遺跡Ⅶ』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』49）
報告60. ㈶鳥取県教育文化財団 2000『青谷上寺地遺跡１』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』67）
報告61. ㈶鳥取県教育文化財団 2000『青谷上寺地遺跡２』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』68）
報告62. ㈶鳥取県教育文化財団 2001『青谷上寺地遺跡３』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』72）
報告63. ㈶鳥取県教育文化財団 2002『青谷上寺地遺跡４』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』74）
報告64. ㈶鳥取県教育文化財団 2004『笠見第３遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』86）
報告65. ㈶鳥取県教育文化財団 2005『八幡遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』99）
報告66. ㈶鳥取県教育文化財団 2005『南原千軒遺跡』（『鳥取県教育文化財団調査報告書』100）
報告67. 鳥取県埋蔵文化財センター 2007『南原千軒遺跡２』（『鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書』

13）
報告68. 鳥取県埋蔵文化財センター 2007『笠見第３遺跡Ⅱ』（『鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書』14）
報告69. 鳥取県埋蔵文化財センター 2008『南原千軒遺跡Ⅲ・梅田東前谷中峯遺跡・梅田六ツ塚遺跡』（『鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書』23）
報告70. 鳥取市教育委員会・鳥取市遺跡調査団 1991『岩吉遺跡Ⅲ』
報告71. 豊岡市出土文化財管理センター 1998『とよおか発掘情報』第６号
報告72. 羽咋市教育委員会 1998『吉崎・次場遺跡第16次発掘調査報告書』
報告73. 羽咋市教育委員会 2000『吉崎・次場遺跡第17次発掘調査報告書』
報告74. 橋本澄夫・荒木繁行 1975「金沢市下安原海岸遺跡の第Ⅰ次調査」『石川考古学研究会々誌』第18号
報告75. 兵庫県教育委員会 2007『粟鹿遺跡』（『兵庫県文化財調査報告』第323冊）
報告76. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 1988『下屋敷遺跡・堀江十楽遺跡』（『福井県埋蔵文化財調査報告』第14集）
報告77. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2002『右近次郎西川遺跡』（『福井県埋蔵文化財調査報告』第58集）
報告78. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2004『坂井兵庫地区遺跡群Ⅰ』（『福井県埋蔵文化財調査報告』第73集）
報告79. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2005『坂井兵庫地区遺跡群Ⅱ』（『福井県埋蔵文化財調査報告』第81集）
報告80. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2005『坂井兵庫地区遺跡群Ⅲ』（『福井県埋蔵文化財調査報告』第82集）
報告81. 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2009『吉河遺跡』
報告82. 米原町教育委員会 1988『立花遺跡発掘調査報告書』（『米原町埋蔵文化財調査報告』Ⅹ）
報告83. 松任市教育委員会 1995『松任市野本遺跡』
報告84. 松任市教育委員会 2002『松任市野本遺跡Ⅲ』
報告85. 峰山町教育委員会 1988『扇谷遺跡発掘調査報告書』（『峰山町埋蔵文化財調査報告書』第12集）
報告86. 八木町教育委員会 2000『池上遺跡発掘調査報告書』（『八木町文化財調査報告書』第６集）

3，円環型銅釧の集成

土屋了介・小松　譲

⑴　はじめに

弥生時代の腕輪形製品は多様であり、材質は貝、木、骨角、石、ガラス、鉄、青銅が用いられている。縄文時代の腕輪形製品にはなかったガラスや金属が素材に加わることは弥生時代の特色であり、本書で報告した銅釧は弥生時代を特徴づける遺物といえよう。それでは、なぜ青銅製の腕輪は弥生時代の日本列島で使われていたのか。この問いはどのような経緯で銅釧が日本列島に現れたのかという問題と、当時の社会はなぜ銅釧を必要としたのかという問題、腕輪を青銅で作る意味はどのようなものだったのかという問題などに分けられる。こういった問題に対し、先行研究では１）系譜の追求、２）出土遺構の比較、３）社会構造の検討から回答している。

回答方法の特性上、今後、求められると予想される中原遺跡から出土した円環型銅釧の意義と重要性の解説には、類例と比較し検討することが必要なため、円環型銅釧を集成した。本稿では考古学における先行研究を踏まえた上で集成表と時期別分布図を提示し、基礎的な整理をおこなうことで資料の活用に備えたい。

⑵　円環型銅釧研究略史

研究の開始と名称

円環形を呈する銅釧の研究は高橋建自氏による銅釧の分類をはじまりとする。高橋氏は「釧」を腕輪形製品に適用した上で、主に古墳出土の資料を扱い、他の材質の釧とともに銅釧の断面形分類をおこなっている（高橋1913）。この時点では釧の用途を手首に着けたものとするのみで、社会的意義については特に触れられていない。名称も単に「銅釧」とされていたが、その後、円環形の銅釧は、貝輪を模倣した銅釧と区別する必要性から、「円環型式」・「円形銅釧」（森1963・1982）と呼ばれるようになり、「円環型銅釧」（小田1974・1984、井上1989）という名称が一般的になってきた。一方で、「円環形銅釧」（安藤2003）を用いる研究者もいる。

研究の展開―系譜の追究

弥生時代の円環型銅釧が注目されるようになるのは朝鮮半島における類例が知られてからで、楽浪墳墓に類例が多いという藤田氏（藤田亮策氏か？）の見解を中山平次郎氏が紹介し、大陸文化の伝播を証明する資料と説明した（中山1950）。この見解は森貞次郎氏が受け継ぎ、「楽浪系銅釧」と名づけ、円環型銅釧を大陸からの舶載品とし、日本列島内で製作された有鉤銅釧と対比した（森1963）。その後、小田富士雄氏が精力的に日本列島出土品と朝鮮半島出土品を集成し、分類をおこなうことで、楽浪郡地域に分布する銅釧と朝鮮半島南部に分布する銅釧との形の違いを示し、日本列島出土品を一括して「楽浪系銅釧」とすることの問題点を示した（小田1984）。加えて、日本列島における出現期の円環型銅釧は「大陸系」・「中国系」としている（小田1986a）。高倉洋彰氏は福岡県吉武高木遺跡の例と佐賀県宇木汲田遺跡64号甕棺例が中期前半であり、中期中ごろに相当すると考えられる紀元前108年の楽浪郡設置以前となり、北部九州と朝鮮半島に製作の痕跡が窺えないことから、「中国系銅釧」としている（高倉1991）。「楽浪系銅釧」という名称は、安藤広道氏も弥生時代中期前半の例が楽浪郡設置以前の資料となることから、不適であるとする（安藤2003）。近畿では木製腕輪を祖形とする一群がある可能性も挙げられた（芋本1982a）。現在でも、系譜に関しては時期的な問題を含め検討が必要である（小松2008）。

系譜の問題と関連する製作地の問題について、坪井清足氏は宇木汲田出土の銅釧を楽浪出土の銀釧に

似るため輸入品とする（坪井1960）。武末純一氏も楽浪出土の銀製釧から円環型銅釧は平壌で製作された可能性があるとする（武末1974）。一方、岡内三眞氏は、大阪府鬼虎川遺跡鋳型（芋本・松田1982）が出土したため円環型銅釧が日本列島内で製作されていたことは確実であるものの、形態の単純さから、日本列島内で製作したものと舶載品とを分別することは難しいと指摘した（岡内1997）。このため、理化学的分析により、製作地の判断ができる可能性に期待がもたれている（森1982）。

各論

円環型銅釧の研究においては、形態分類を基礎とした系譜の整理に主な関心が集まっていた。系譜以外の問題・課題には、資料集成、分布域の区別とその解釈、出土状況の類型化による社会的機能の整理、生産・流通論、所有者像の検討、歴史的意味の提示などの意義論の提示がある。意義論に資料から根拠を与える分類的研究が形態分類と分布や出土状況の分類としておこなわれる。分類的研究の基礎となるのが資料集成である。

資料集成は小田氏、木下尚子氏、岡内氏らによって進められてきた（小田1974・1984、木下1982、岡内1997）。形態分類は、まず、高橋氏が当時確認できた断面形14種類を図示した（高橋1913）。続いて、小田氏は太身型と細身型に大別している（小田1974）。森氏は断面形の記述と比較をおこない、「断面円形の線状円環」、「針金状円形銅釧」、「丸味をもつ台形」、「縦長六角形」、「外側が丸みをもち内側中ほどに稜をもつもの」、「外側が丸みをもち内側中ほどに稜を」もち「上下端が平坦面をなすもの」を指摘した（森1982）。小田氏は資料集成を経て分類法を見直すことで、形態分類の体系化をおこない、環外径、身の径、断面形を組み合わせた計量的な分類案を示した。銅釧は身の径・高さが８～６㎜の「大型太身型式」、６～４㎜の「大型中細型式」、３～２㎜の「大型細身型式」に大別でき、さらに断面形で細分できる。Ａ類は円形、Ｂ類は楕円形、Ｃ類は方形、Ｄ類は長方形、Ｅ類は菱形で、大型細身Ａ類のように分類できる。形態分類の成果から、ガヤノキＢ遺跡出土銅環は他の銅釧とは形態的特徴が異なり、出土状況も腕輪として使用されたものではなく、形態的特徴が似る朝鮮半島出土品も腕輪として使用された痕跡がないため、銅釧ではないと結論づけた（小田1984）。

円環型銅釧の分布については甲元眞之氏により、貝輪とは異なる分布であることが指摘されている。甲元氏は分布の違いを南海産貝製の腕輪を手に入れられた中心地域と手に入れられなかった周辺地域の違いと考えている（甲元1992）。分布を確認すると、円環型銅釧の分布の中心は唐津地域にあり、地域的な特徴である（小松2004・2006・2008）。南海産貝輪は中原遺跡の立地する平野部では出土せず、東松浦半島沿岸部にある大友遺跡で出土している。大友遺跡では銅釧はみられない。平野部では円環型銅釧のほかに貝輪を模倣した貝輪系銅釧がまとまって出土している（小松2008）。

時期別の分布は、従来の編年観でいえば、金海式段階に早良平野で出現し、汲田式段階に唐津地域や玄界灘沿岸の他地域に広がる。中期後半には近畿地方でも出土するようになる。後期に対馬や壱岐、熊本での出土がみられる。朝鮮半島では北部地域例の詳細は判らないものの、南部地域出土例は日本列島出土例より古いものはない（小松2008）。

使うことで人と人との関係のなかにある効果をあらわす腕輪の働き――社会的機能については小田氏が出土状況を類型化し整理したものが広く受け入れられている。小田氏は、墓出土と墓以外の出土に大別し、墓以外から出土したものを「共同体社会の祭祀具」、墓出土品を「特定身分の人の個人所有」とする。墓出土品は腕輪として着装・使用状態で出土したものと非着装品とに分け、非着装品については「宝器的意義」があるとした（小田1974）。墓出土品は生前の身分を権威づける宝器とみなしている（小田1986）。出土状況については、田中清美氏と桜井久之氏は墓から出土した近畿の銅釧がいずれも１点で

あり、九州とは異なり、独自の認識をもつとする。また、近畿では個人の墓に伴うものが少なく、異なる習俗の存在を指摘した。さらに、加美遺跡出土例が墓の中心的な主体部ではない点にも注目した（田中・桜井1987）。松本洋明氏と川村慎也氏は墓から出土する北九州と竪穴建物など集落内から出土する北九州以東とでは出土遺構の傾向が異なるため、銅釧の扱いに違いがあると予想した（松本・川村1996）。山村信榮氏は太宰府市雛川遺跡での溝出土の銅釧が祭祀と関係ある可能性を挙げ、川村浩司氏の見解を引用した（山村1996）。川村氏は九州大学筑紫地区キャンパス内遺跡の古墳時代の石釧が出土した溝での祭祀行為と外来文化の関係を想定する（川村1988）。これは古墳時代北部九州の土器の様相に関する田﨑博之氏の論考（田﨑1983）の成果を応用し、当該祭祀を土器と同じ外来起源と考えたものである。岡内氏は墓についても対馬の箱式石棺、九州北部の甕棺、近畿の方形周溝墓の木棺というように遺構の種類が異なり、埋葬や習俗の違いを予想した（岡内1997）。渡辺昌宏氏は、近畿には複数着装がないことに対し、北部九州には複数着装があり、九州の首長は腕飾りを通して権威を意識的に誇示する必要があったと考え、北部九州の弥生文化の階層的先進性が腕飾りに反映されているとする（渡辺1998）。高倉氏は司祭者という職掌を示すと考えられる南海産貝製腕輪が出現の初期では他の副葬品を伴わない（高倉1975）ことと比べることで、出現初期からヒスイ製勾玉や碧玉製管玉をともなう銅釧は、首長層のアクセサリーそのもので地位や権威をあらわすとする（高倉1998）。ただし、南海産貝製腕輪には初期から副葬品を伴うという反論もある（橋口1987）

生産と流通については、製作地の確定が困難であるものの（森1982、岡内1997）、福岡県須玖岡本遺跡のように銅釧と鋳型の形態的特徴が一致する例を挙げることができる（小田1974）。ただし、井上洋一氏が述べるように、多くは朝鮮半島から他の青銅器類と同様に対馬を経由してもたらされ、一部が日本列島内で製作されたと考えられている。井上氏は山陰で出土した銅釧について、北部九州、山陰、畿内のいずれかで製作された可能性を挙げた（井上1989）。中期前半までの円環型銅釧は中国大陸からの舶載品と考えられている（高倉1991）。分布の偏りからは九州や近畿にも製作地があったことが類推され（松本・川村1996）、加美遺跡出土銅釧や鬼虎川遺跡出土鋳型を根拠に弥生時代中期後葉に近畿での製作が始まっているとされる（芋本・松田編1982、小田1984、岡内1997、渡辺1998）。製作技法については鋳型から、１つの鋳型の鋳造回数がそれほど多くないこと、連鋳されたものがあること、鋳型の合わせ目に生じる甲張りをおとしたのちの入念な研磨が考えられること、北部九州の鋳型や青銅器に関連しあう要素がなく、大陸の技術を直接反映した可能性が高いことが指摘されている（芋本1982b）。藤田三郎氏は、奈良県唐古・鍵遺跡より出土した鋳型外枠について、銅釧製作に使われたものが含まれていると考えている（藤田2009）。

円環型銅釧研究の課題

現在、小田氏の円環型銅釧分類と出土状況類型化による社会的機能の推定が円環型銅釧への説明および評価において基礎となっている。分類については、資料数の増加もあり、今後、批判的検討がおこなわれ、妥当性の確認と必要な補足がなされていくものと考えられる。分類をおこなう上では系譜の整理も不可欠な課題であり、例えば「楽浪系銅釧」の名称にふさわしい系譜をもつ銅釧の認定は、朝鮮半島や中国大陸出土銅釧の集成的研究が前提となる。今後も小田氏がおこなったように研究の方法として東アジアを視野に入れる必要がある。

しかしながら、日本列島と朝鮮半島の時期区分上の並行関係についても漁穏洞遺跡のように紀元１世紀とされていた遺跡が、紀元前１世紀にあたると考えられる弥生時代中期後半並行と訂正されるなど（森1982、武末1991、高久2002）変更がある一方で、銅釧に伴う漁穏洞遺跡出土鏡は日光鏡が前漢晩期～後

漢初期のものであることと、倣製鏡の中に佐賀県二塚山46号甕棺と同笵の朝鮮半島製小形倣製鏡があることから弥生時代中期末～後期初頭や後期前葉に並行するという指摘もある（下條1979、後藤1982）。東アジアを視野に入れる前提として朝鮮半島と日本列島との並行関係の検討が必要である。

弥生時代における銅釧の意義を説明するためにおこなわれた社会的機能の整理は、小田氏が総括し評価を加えた銅鐸の研究（小田1986b）をはじめとする青銅器研究がふまえられている。出土遺構の違いから、舶載品は富と権力を増す個人の所有物として扱われ、国産品は共有される聖なる器物として扱われたという小林行雄氏による弥生時代青銅器への理論的説明（小林1951）が、舶載品と国産品という分け方を止めて出土遺構を分類することで、銅釧を媒介として腕輪全体へ適用された。したがって、資料が蓄積された現在では、その解釈を適用する前に資料の実態から妥当性の検証と説明しきれない部分がないかについての確認がされるべきである。弥生時代の社会構造を反映しているものとして理解されているだけに、出土状況の解釈にあたっては、資料との整合性の有無を確かめる作業が重要課題といえる。出土した墓をどのように評価するのかという点や出土遺構の地域性は何に由来するのかという点も問題で、まずは銅釧の系譜の整理をおこない、出土遺構との関係性について確認しておく必要がある。分布への解釈については、弥生時代腕輪形製品の素材や形に多様性があり、地域ごとの傾向があることが分かりつつあり、「中心」や「周辺」という捉え方が的を射ているのか問題である。

⑶ 円環型銅釧の集成

図175に円環型銅釧出土遺跡分布図を提示する。表60・61の出土遺跡一覧表における各遺跡番号は図175のドットに付けた番号に対応している。甕棺出土品の時期に関しては、本書における甕棺編年を採用し、並行する時期を提示したため、各報告書での記載と異なるものもある。朝鮮半島出土円環型銅釧については報告書閲覧に制約もあり、小田1984からの転載である。朝鮮半島では平壌の他に東北地域や西北地域にも青銅製の腕輪が出土していることが指摘されている（後藤1982）ため、今後の集成に期待したい。図176には時期別に遺構ごとの出土点数を示した。資料集成の結果、日本列島では弥生時代の円環型銅釧134点を把握することができた。35遺跡39遺構より出土し、包含層などからの遺構に伴わない出土品や鋳型も数点ある。この中には銅釧としては疑問視されている対馬ガヤノキＢ遺跡例と錫製の福岡市カルメル修道院例（比佐2003）、錫が80％以上の那珂川町宗石遺跡例（柳田1990）も含んでいる。弥生時代腕輪形製品は1600点ほど確認できるので、円環型銅釧の占める割合は１割弱である。円環型銅釧出土例の東端は長野県佐久市北一本柳遺跡となり、分布域はこれまでより広く認識しなおさなければならない。北一本柳遺跡例の時期は、箱清水式土器のみを伴うため、弥生時代後期後半と考えられる。出土遺構は土坑墓と報告された（上原2006）。東日本に特徴的な高さ１㎝ほどの断面形板状を呈する帯状円環形銅釧と分布域が重なる点で注目に値する。加えて、分布図と集成表には載せていないが、静岡県川合遺跡から、円環型銅釧であるのか、ゴホウラ製貝輪を模倣した有鉤銅釧であるのか判別のつかない断面二等辺三角形の銅釧破片が出土している。以下に、集成結果をふまえ、１）分布、２）出土遺構の２点を整理しておきたい。

点数からいえば、円環型銅釧の分布上の中心は56点出土している唐津平野である。佐賀県内で合計すると63点出土している。次いで多いのは福岡市域を中心とする福岡県域で、鋳型を数えずに錫製であるカルメル修道院遺跡出土例と宗石遺跡例も加えて35点である。遺構数は福岡県10遺構、佐賀県７遺構と採集品１点である。甕棺出土品は複数個を同時に用いているものが多い。時期的には早良平野の吉武高木遺跡例が古いものの、断面半円形であり、断面方形・長方形・六辺形を呈する唐津地域の銅釧とは形態的特徴が異なり、個別の出現背景は検討課題といえる。現状では断面六辺形の円環型銅釧は福岡県域

図175　円環型銅釧出土遺跡分布図

図176　時期別円環型銅釧分布図

表60　円環型銅釧一覧表(1)

番号	府県名	市町村名	遺跡名	遺構名	数量	時期	環外径（cm）	高さ（mm）	供伴遺物	備　考	文　献
1	長崎県	対馬市（旧上県郡上対馬町）	塔の首	２号石棺	1	後期前半～中頃	7.3	6～7	管玉１、水晶棗玉１、ガラス小玉約1400、把手付小壺、小形鉢、小形甕	左腕相当部位より出土、土器は足元相当部位より出土	塔ノ首遺跡調査団1974
	長崎県	対馬市（旧上県郡上対馬町）	塔の首	３号石棺	7	後期前半～中頃	7.2～7.6	5.1～10.1	銅矛２、碧玉製管玉１、丹塊３、ガラス小玉8236、小壺、壺	右腕３、左腕４各相当部位より出土、被葬者は20代前半女性、巻かれた布が残存、断面形の異なるものが混在、２点に陰刻線有	
2	長崎県	対馬市（旧上県郡峰町）	ガヤノキB地点	箱式石棺	2	後期前半～中頃	8～8.1	8	鍔形銅器２、鉄剣３、鉄斧１、鉄鏃先１、小形甕２、漢式土器坩１	渡金、土器は所在不明	中山平次郎1950、小田富士雄1973
3	長崎県	対馬市（旧下県郡豊玉町）	佐保ソウダイ	不明	2	後期前半	7.3、5.6	4、2.5		３片の破片、１片は径小、ほかに環体幅と断面形が同様の螺旋状金具有	永留久恵・小田富士雄1967
4	長崎県	対馬市（旧下県郡豊玉町）	黒木南鼻	箱式石棺	1	後期前半	?		馬鐸１、鍔金具２片、管玉状銅製品、ガラス小玉1047、甕、壺	土の水洗時に出土、袋状口縁壺により後期初頭と報告	小田富士雄ほか編1974
5	長崎県	対馬市（旧下県郡豊玉町）	観音鼻	２号石棺	1	終末期	7.5	3～4	内行花文仿製鏡１、ガラス小玉３、長頸壺、甕	左腕相当部位より出土	
6	長崎県	対馬市（旧下県郡豊玉町）	糠ノ浜	石棺	1	不明	7.3	5～6.5			
7	長崎県	対馬市（旧下県郡豊玉町）	貝口赤崎	石棺？	1	不明	?				
8	長崎県	壱岐市芦辺町	原ノ辻（八反地区）	SD01溝	1	後期	6.73（復元）	4.5	壺、楽浪系瓦質土器壺、脚付鉢ほか	2/5残存	小石龍信編2000
	長崎県	壱岐市	原の辻（八反地区H13）	SD5溝	1	後期	6.1	6			小石龍信編2002
	長崎県	壱岐市	原の辻（八反地区H13）	包含層	1	後期	5.4	6			小石龍信編2002
	長崎県	壱岐市石田町	原の辻（石田大原362区）	包含層		弥生				破片	河合雄吉編2003
	長崎県	壱岐市	原の辻（高元地区）	SD01溝	1	終末～古墳前期		6		破片	中尾篤志編2005
9	佐賀県	唐津市	宇木汲田	64号甕棺	18	中期後半（Ⅱ-4）	6.5	3	碧玉製管玉15	人骨残存、右腕着装	唐津湾周辺遺蹟調査委員会編1982
	佐賀県	唐津市	宇木汲田	38号甕棺	5	中期後半（Ⅱ-4）	6.5～7.0	3	硬玉製勾玉２、碧玉製管玉45		
	佐賀県	唐津市	宇木汲田	112号甕棺	17	中期後半（Ⅱ-4）	6.5	3	硬玉製丁字頭勾玉１	付近出土中細銅矛は112号甕棺副葬品とされる	
	佐賀県	唐津市	宇木汲田	採集品	1	不明	6.2	4			
10	佐賀県	唐津市	中原	SJ13134甕棺	12	中期前半（Ⅱ-3）	6.5？	3.2～5.0	碧玉製管玉12	鉛同位体比分析あり	本書
	佐賀県	唐津市	中原	SJ13112甕棺	3	中期後半（Ⅱ-5）	6.5	1.3～2.5	碧玉製管玉６	鉛同位体比分析あり	
11	佐賀県	多久市	牟田部	SJ48甕棺	4	中期前半（Ⅱ-3）	6	4～5	管玉20	４個体（平尾2003）、鉛同位体比分析あり	高塚啓介編2002、平尾良光2003
12	佐賀県	小城市三日月町	本告	104号甕棺	3	中期後半（Ⅱ-4）	6.5	2		二つは小片	木下巧編1981
13	福岡県	福岡市	カルメル修道院	木棺墓	3	前期末	3.3～7	5		金海式甕棺に切られる木棺出土（山崎1992）、錫製（比佐2003）、鉛同位体比分析あり	山崎純男編1976、山崎龍雄編1992、比佐陽一郎2003、馬淵久夫・平尾良光1990
14	福岡県	福岡市	吉武高木	110号甕棺	2	中期初頭（Ⅱ-1）	7.35～7.6	6～8	翡翠製勾玉１、碧玉製管玉74	鉛同位体比分析あり	力武卓治・横山邦継編1996、馬淵久夫・平尾良光1990
15	福岡県	福岡市	東入部	127号甕棺	10	中期前半	6.5	3～4			三木隆行1995、文化庁2007
16	福岡県	古賀市	馬渡束ヶ浦	３号甕棺	5	中期前半（Ⅱ-3）	6.5	3～4.5	勾玉１、管玉30	非着装	井英明編2006
17	福岡県	筑紫郡那珂川町	宗石	40号甕棺	4	中期前葉（Ⅱ-1新）	7～7.5	6.5、5		KⅡa式、岡内1997では「今光」、錫製（柳田1990、比佐2004）、鉛同位体比分析あり	井上裕弘ほか編2002、岡内三眞1997、馬淵久夫・平尾良光1990
18	福岡県	前原市	潤地頭給	299号甕棺	5	中期前半（Ⅱ-3）	6.05～6.3	2.5～3		KⅡb式	江野道和編2005

表61　円環型銅釧一覧表(2)

番号	府県名	市町村名	遺跡名	遺構名	数量	時期	環外径（cm）	高さ（mm）	供伴遺物	備　考	文　献
19	福岡県	春日市	須玖岡本	3号土壙墓	3	後期	7.0～6.3	7	ガラス勾玉1、鉄刀1	右腕相当部位より出土	鏡山猛ほか編1963、小田富士雄1984
	福岡県	春日市	須玖岡本							鋳型	小田富士雄1974
20	福岡県	太宰府市	雛川遺跡	河川跡内円形杭列	1	後期後半	7.4	6	手づくね土器、土器、木器、石器		太宰府市史編集委員会1992、山村信榮1996
21	福岡県	糸島郡二丈町石崎	小路	甕棺	1	中期			管玉？、勾玉？	小破片、勾玉は自然面が残る。採集品らしく管玉や勾玉をともなうものか詳細不明、鉛同位体比あり	森貞次郎編1982、東京国立博物館編2005
22	福岡県	大野城市	野口遺跡	甕棺	1	中期				原出典の詳細不明	寺沢薫2004
23	熊本県	球磨郡錦町	夏女	65号住居	1	後期	10.2	7			園村辰実編1993
24	鳥取県	湯梨浜町はわい長瀬(旧羽合町)	長瀬高浜	包含層	1	不明	5.6～5.4	6	土器		清水真一1983
25	鳥取県	西伯郡南部町(旧會見町)	土居敷	円形土坑	1	後期初頭	5.2	4	土器片		
26	岡山県	岡山市	加茂政所	竪穴住居44	1	後期前半	6.2	5	甕、壺、高杯、台付鉢、器台、分銅形土製品、石鏃2、石錐、楔形石器1	鉛同位体比分析あり	平井泰男・弘田和司・柴田秀樹編1999
27	大阪府	大阪市	加美	1号方形周溝墓2号木棺	1	中期後半	6.2～6.47	5.6～6.2	ガラス玉1	女性人骨残存、右腕着装	田中清美・桜井久之1987
	大阪府	大阪市	加美	1号方形周溝墓14号木棺	1	中期後半	6.25～6.52	4.1～4.4		女性人骨残存、右腕着装	田中清美・桜井久之1987
28	大阪府	八尾市	亀井	包含層	1	中期後半～後期中頃	6.5（復元）	3		破片	石神幸子・広瀬和雄編1986
29	大阪府	高槻市	芝生	柱穴	1	後期前半	6（復元）	4			埋蔵文化財研究会編1986
30	大阪府	東大阪市	鬼虎川	包含層		中期～後期	6.4	4			芋本隆裕・松田順一郎編1982
31	奈良県	天理市	平等坊岩室	集落内	1	中期	6.8（復元）	4		大和第Ⅱ様式～第Ⅳ様式	松本洋明・川村慎也1996
32	奈良県	田原本町	唐古・鍵遺跡69次	溝SD-1122	1	後期初頭	6.3（復元）	4	土器		櫻井拓馬・石川ゆずは・西岡成晃編2009
	奈良県	田原本町	唐古・鍵遺跡69次	土坑SK-1114	1	後期後葉	6.6（復元）	4	土器		櫻井拓馬・石川ゆずは・西岡成晃編2009
	奈良県	田原本町	唐古・鍵遺跡3次ほか			後期				連中式銅釧鋳型？	櫻井拓馬・石川ゆずは・西岡成晃編2009
	奈良県	田原本町	唐古・鍵遺跡90次		1	不明				破片	藤田三郎編2003
33	滋賀県	栗東市	下鈎遺跡	溝	1	中期末～後期初頭	5.2	5			雨森智美編2001a
	滋賀県	栗東市	下鈎遺跡	溝	1	後期後半	12.7	7		銅釧？径が大きい	雨森智美編2001b
34	三重県	松阪市嬉野町	下之庄東方	墳丘墓	1	後期中頃				詳細不明	赤塚次郎2002、赤塚次郎2004
35	長野県	佐久市	北一本柳	1号土坑	1	後期後半	6.71～6.84	4	土器	土坑墓？	上原学2006

朝鮮半島

36	慶尚北道	永川郡	漁隠洞	墳墓	8	1世紀前半	6～7.2	2～3		森貞次郎1982、高久健二2002ではBC1世紀後半	小田富士雄1984
37	慶尚北道	善山	伝善山	不明			7.7	7			
38	全羅南道		伝全羅南道	不明	2		7.2	7			
39	慶尚南道	馬山市	城山貝塚	貝塚	2		7.5	3			
40			伝楽浪古墳	不明	4		8.1、7.5～7.7	6、9		渡金	
41	平安南道	大同郡	美林里	墳墓？	20		4.35、3.88、4	7～8、3.5～3.8			
42	黄海道	黄州	伝黄州	墳墓？	1		6.3	6		渡金	
43	黄海南道	殷栗郡	雲城里	土坑墓	2	1世紀前半	5.6、7.1	5.5、6.1		渡金	
44	平壌市		貞柏洞46号墳	せんかく墓	2		6.5	3			

と佐賀県域で同時期に出現する。断面方形･長方形の円環型釧は福岡県那珂川町宗石遺跡出土例が古い。ただし、佐賀県出土資料とは素材が異なるうえ、大きさも異なる。断面方形・長方形の円環型銅釧は高さ３㎜程度のものと高さ６㎜程度の資料に大別でき､宗石遺跡出土銅釧が高さ６㎜程度であるのに対し、佐賀県域では高さ３㎜のものが出土している。径も吉武高木遺跡例や宗石遺跡例は7.5㎝ほどであり、佐賀県域の径6.5㎝程度の円環型銅釧とは異なっている。地域ごとに形の違いが生じる現象は、その理由について製作地が異なるためであるのか、製作地は同じであっても地域の好みが反映される仕組みができあがっているのかについては判断がつかないものの、円環型銅釧を手に入れる場合には各地域の個性が反映されることを示す現象と考えられる。

分布の地域性に関しては、資料数が増えたため、福岡県域では諸岡型貝輪や立岩型貝輪との分布域の部分的重なりが認められるようになった。南海産貝輪との関係は複雑であり、細やかな検討を要する。

近畿もまとまった分布を示すものの、出土点数が１点ずつの例のみで、すでに指摘されていたように北部九州とは様相が異なる。

出土遺構は佐賀県内と福岡県内､対馬は主に墓から出土している。出土状況の明らかなものに関して、時期を弥生時代中期に限ってみてみると九州では、銅釧の形態差があっても出土遺構はすべて甕棺である。後期になると出土遺構の種類が増える一方、甕棺出土品はない。九州以外では墓出土品は大阪府加美遺跡の２例と三重県下之庄東方遺跡の例、長野県北一本柳遺跡例のみで、他は墓以外の遺構より出土した。大阪府域では墓以外の遺構から出土した事例が３例となり、墓出土品よりも多い。資料の確認からは出土遺構の傾向には地域的な偏りがあることを追認できる。畿内では中期と後期の両時期で墓以外からも出土する一方、九州では中期は墓のみで、後期に墓以外からも出土するようになることから、時期により出土遺構の傾向が異なることも確認できる。大阪府亀井遺跡の例は断面半円形で高さが３㎜、厚さ1.5㎜であり、他の銅釧とは明らかに形が異なる。大阪湾沿岸部は大阪市長原遺跡で中期後半に焼失した竪穴建物からゴホウラ立岩型貝輪を模倣した貝輪系銅釧の破片が出土している。新たな系譜の銅釧の出現と出土遺構の多様さに関係があるのかどうかを明らかにすることは課題といえるだろう。

墓以外の遺構から出土する現象は、古墳時代の石釧の出土事例にもみられる（北條1994)。特に、溝からの出土は、山村氏が連想したように、古墳時代に認められる石釧の溝での使用に類似し、古墳時代よりも古い時期に腕輪を溝へ投じる行為があるという点で注目される。弥生時代後期前半に奈良県唐古・鍵遺跡出土銅釧が溝から出土する現象が認められ、後期後半には福岡県太宰府市雛川遺跡でも溝から出土している。雛川遺跡の事例は手づくね土器を伴い、荒ぶる鬼神の鎮撫、地鎮を目的とした呪術的祭祀（森1981）であったと考えられる。北部九州では腕輪を溝に投じる現象が弥生時代中期段階には認められないため、東方からの影響により後期に開始された行為であると考えられる。雛川遺跡では瀬戸内系土器を伴っている点も東方からの影響であることを傍証する。銅釧の入手から溝への投入までの期間がどの程度であるのかはわからないが、形態の特徴からは後期に製作されたものとみることができ、過度の伝世を考える必要もない。この点に関しても､古墳時代北部九州の石釧が儀礼に用いられる場合には、入手と消費の時期差がほとんどないと考えられ（辻田2009)、磨耗が少ないため、基本的に伝世を考える必要がない点とも類似する。ただし、雛川遺跡銅釧は石釧のような破砕埋納ではない。儀礼の系譜として、腕輪を溝や集落で用いる行為は、北部九州では弥生時代後期～古墳時代前期まで同一系譜上にあるのだろうか。今後、検討すべき課題のひとつといえるだろう。

墓出土品は人骨が残っていた例では女性人骨を伴う。性別が判定されているのは中原遺跡SJ13134、対馬塔の首３号石棺、大阪市加美遺跡１号方形周溝墓２号木棺および14号木棺である。ゴホウラ製縦形

貝輪が男性に偏り、イモガイ製貝輪が女性に偏る現象（小林1951、高倉1975、橋口1987）と比べるならば、イモガイ製貝輪と同様の傾向である。ただし、佐賀県内は二塚山遺跡でゴホウラ製縦形貝輪である諸岡型貝輪が女性に着装された状態で出土したように、人骨の残っていない例について遺物から性別を判断することには危険性がある。事例が少ないため、着装人骨の性別については地域性の有無がいまだ明らかではない。

基礎的な整理をふまえると、銅釧は３段階に分けて理解することができる。それは吉武高木遺跡銅釧やカルメル修道院錫釧、宗石遺跡銅釧などの形態や素材に統一性のない初期段階、素材が青銅のみになり、形態にもまとまりがみられ、主に墓から出土する中期段階、新たな形態のものが現れるとともに墓以外の遺構からの出土が主になる後期段階である。

⑷　中原遺跡出土銅釧の特徴

SJ13134出土円環型銅釧は断面形が六辺形であり、小田氏の断面形分類に当てはまるものがない。森氏の記述にある「縦長六角形」のものと同様のものと考えられる。Ｆ類として新たに設定することで小田分類を補うことができる資料である。分類名は大型中細Ｆ類になる。同様の断面形を呈する資料は宇木汲田遺跡における採集品にもあるものの、遺構出土品でないためか、小田氏の検討からは除外されていた。中原遺跡からも同様の断面形をもつ円環型銅釧が甕棺から出土したことで、宇木汲田遺跡採集品も弥生時代中期の資料である可能性が高まった。

他の特徴として、スが見えないほど入念に研磨されているほか、SJ13134例は手首側の銅釧の径が小さい。これは立岩型貝輪の観察で指摘されている着装者の腕の形状に合わせた製作（永井1977）と類似した現象と考えられる。上下面に入念な研磨を施し、重ねた状態でも安定するように仕上げている点も、貝輪の製作に通じるものがある。腕輪製作に素材を越えた共通する規範が存在していた可能性を指摘することができる。時期は立岩型貝輪が中期後半であり、円環型銅釧のほうが古い。イモガイ横形貝輪も出土数が安定するのは中期後半のようである。着装に適した仕上げのために起きた生物の収斂に類する現象であるのか、影響関係があったのか、影響関係があったとするのであれば、銅釧が貝輪に影響を与えたのか、貝輪が銅釧に影響を与えたのかについて検討が必要であろう。

SJ13112出土円環型銅釧は小田氏の分類における大型細身Ｃ類もしくはＤ類に該当する。ただ、高さの計測で最小値が1.3㎜であり、これまで出土している類例の中では高さが最も低い。

SJ13134とSJ13112出土円環型銅釧はともに墓出土で、複数を同時に用いている点で、北部九州的特徴をもつ。九州の例の中でもSJ13134の例は12点と比較的多く、宇木汲田遺跡例とともに唐津地域を特徴づけている。唐津地域では千々賀遺跡より出土したイモガイ縦形貝輪を模倣した銅釧や桜馬場遺跡より出土した有鉤銅釧のように、円環型銅釧に限らず、多量の銅釧を一度に用いる傾向がある。中期に始まり、後期にまで残る地域的特徴として捉えることができる。現状では中期につくられた腕輪の伝統は弥生時代後期前半までで途絶えている。この現象は中期～後期前半までと後期後半以後とで社会構造が異なっていることを反映しているのではないだろうか。佐賀県内の弥生時代遺跡における、後期後半が環濠集落出現時期のひとつであること、甕棺墓葬の終焉と石棺墓への墓制の移行、鉄製品の急増（細川・土屋2009）、中原遺跡における後期後半から古墳時代初頭における墳丘墓造営（小松・川副2008）なども後期中ごろの人文地理的生活環境の変化を示唆している。

⑸　まとめ

弥生時代中期および後期において、日本列島と中国大陸、朝鮮半島とで文物の往来があったことを証明する資料として注目された円環型銅釧は、出土状況の検討から、日本列島弥生社会の社会構造に適応

し、特定身分の人物の所持品や共同体社会の祭祀具として使用されていたと考えられている。資料数の制約がある中で理論的に導き出されたこの解釈は、今後資料の実態から検証されるべきものである。

そのような問題意識をもち、本稿では先行研究をふまえ、研究の基礎となる資料集成と分布図の作成をおこない、資料の実態を提示することに努め、類例の把握や地域ごとの出土数・形の比較、同時出土数、出土遺構の傾向、所持者の性別を確認した。集成図の提示はおこなわなかったものの、現在用いられている分類については、資料に基づいて補足を続ける必要があることを指摘した。歴史的意義の推定にあたり論拠とされてきた出土状況については地域的ごとの傾向がある点を追認でき、銅釧の系譜とどの程度関連性をもつのかが検討されるべき課題として指摘できた。そして、資料全体の傾向をふまえ中原遺跡出土円環型銅釧の特徴について述べ、墓から出土し、複数を同時に使用するという地域的特徴を確認するとともに、小田氏の分類にＦ類を追加した。新たに設定できたＦ類の系譜を明らかにすることは今後の課題である。分類的研究をもとに説明されるべき製作地との関係についても今後の課題であるものの、南海産貝製腕輪と銅釧の分布傾向および数量からは、腕輪形製品を手に入れる場合、唐津地域の独自性を強く反映することができたと考えられる。

今回、朝鮮半島および中国大陸の資料集成はおこなえなかった。重要な研究課題であり、日本列島における円環型銅釧に関わる現象を理解し、説明するための方法として東アジアの資料を把握することが望まれる。円環型銅釧の研究は活況とはいえないものの、意義論を資料の実態から検証することができるように先行研究の把握と基礎的研究を着実に進めることで､円環型銅釧研究と弥生時代研究が進展し、中原遺跡出土銅釧の意義と重要性も明らかにされていくと考えられる。

参考・引用文献

赤塚次郎 2002「東海の青銅器覚書」『考古学フォーラム』考古学フォーラム

赤塚次郎 2004「東日本としての青銅器生産」『伊勢湾岸における弥生時代後期を巡る諸問題　山中式の成立と解体』第11回東海考古学フォーラム三重大会実行委員会

雨森智美編 2001a『1984年度栗東町埋蔵文化財　発掘調査　資料集』財団法人栗東町文化体育振興事業団

雨森智美編 2001b『1999年度年報』財団法人栗東町文化体育振興事業団

安藤広道 2003「弥生・古墳時代の各種青銅器」『考古資料大観』６　弥生・古墳時代青銅・ガラス製品　小学館

井英明編 2006『馬渡・東ヶ浦遺跡１（弥生時代墓群の報告）―総合健康文化公園建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告１―』古賀市文化財調査報告書第40集　古賀市教育委員会

石神幸子・広瀬和雄編 1986『亀井（その２）』大阪市教育委員会・㈶大阪文化財センター

井上裕弘ほか編 2002『宗石遺跡群』那珂川町文化財調査報告書第58集

井上洋一 1989「銅釧」『季刊考古学』27　雄山閣

井上洋一 2001「日本列島における金属器の黎明」『古代東アジア青銅の流通』鶴山堂

芋本隆裕・松田順一郎編 1982『鬼虎川の金属器関係遺物―第７次発掘調査報告２―』㈶東大阪市文化財協会

芋本隆裕 1982a「銅釧鋳型」『鬼虎川の金属器関係遺物―第７次発掘調査報告２―』㈶東大阪市文化財協会

芋本隆裕 1982b「金属器関係遺物出土の意義」『鬼虎川の金属器関係遺物―第７次発掘調査報告２―』

㈶東大阪市文化財協会
上原学 2006「一本柳遺跡群北一本柳遺跡Ⅱ」『佐久市文化財年報』14　平成16年度　長野県佐久市教育委員会
江野道和編 2005『潤地頭給遺跡』前原市文化財調査報告書第89集　前原市教育委員会
岡内三眞 1997「貨幣・銅釧その他の輸入青銅器」『弥生文化の研究』6　雄山閣
小田富士雄 1973「対馬・ガヤノキＢ地点遺物の再発見」『別府大学　史学論叢』第６号（1974『対馬　浅芽湾とその周辺の考古学的調査』　長崎県文化財調査報告書第17集　長崎県教育委員会に再録）
小田富士雄 1974「日本で生まれた青銅器」『古代史発掘５　大陸文化と青銅器』講談社
小田富士雄 1984「弥生時代円環型銅釧考―日韓交渉資料の一研究―」『古文化談叢』第13集
小田富士雄 1986a「日本で作った青銅器」『弥生文化の研究』6　雄山閣
小田富士雄 1986b「銅鐸の年代と性格」『論争・学説　日本の考古学』４　弥生時代　雄山閣
小田富士雄ほか編 1974『対馬　浅芽湾とその周辺の考古学的調査』　長崎県文化財調査報告書第17集　長崎県教育委員会
鏡山猛ほか編 1963『須玖・岡本遺跡　調査概報』福岡県教育委員会、
唐津湾周辺遺蹟調査委員会編 1982『末盧国』六興出版
河合雄吉編 2003『原の辻遺跡』石田町文化財調査報告書第6集　石田町教育委員会
川村浩司 1988「福岡平野における溝での祭祀―古墳時代前期を中心として―」『日本民族・文化の生成』１永井昌文教授退官記念論文集　六興出版
木下巧編 1981『本告遺跡』三日月町教育委員会
木下尚子 1982「貝輪と銅釧」『末盧国』六興出版
小石龍信編 2000『原の辻遺跡』原の辻遺跡保存等協議会調査報告書　第１集　原の辻遺跡保存等協議会
小石龍信編 2002『原の辻遺跡』原の辻遺跡保存等協議会調査報告書　第３集　原の辻遺跡保存等協議会
甲元眞之 1992「海と山と里の形成」『考古学ジャーナル』No.344　ニューサイエンス社（2004『日本の初期農耕文化と社会』に再録）
後藤直 1982「朝鮮の青銅器と土器・石器」『森貞次郎博士古稀記念古文化論集』（後藤直 2006『朝鮮半島初期農耕社会の研究』同成社に再録）
小林行雄 1951『日本考古学概説』東京創元社
小松譲 2004「唐津市中原遺跡の調査概要―弥生～古墳時代の墳墓と集落の調査―」『九州考古学』第79号　九州考古学会
小松譲 2006「弥生～古墳時代の集落と墳墓――唐津市中原遺跡」『季刊考古学』97　雄山閣
小松譲 2008「佐賀県中原遺跡」『考古学ジャーナル』No.570　ニューサイエンス社
小松譲・川副麻理子 2008「佐賀県唐津市中原遺跡の古墳時代初頭前後の墳墓」『季刊　邪馬台国』第99号
櫻井拓馬・石川ゆずは・西岡成晃編 2009『唐古・鍵遺跡Ⅰ―範囲確認調査―』田原本町文化財調査報告書第５集　田原本町教育委員会
滋賀県立安土城考古博物館編 2009『大型建物から見えてくるもの―弥生時代のまつりと社会―』第１回滋賀・大坂博物館連携企画「弥生建物を探る」平成21年度春季特別展　滋賀県立安土城考古博物館

清水真一 1983「長瀬高浜遺跡出土銅釧とその背景」『古文化談叢』第12集　九州古文化研究会
下條信行 1979「南北市羅考―弥生時代対馬舶載青銅器の意味―」『史淵』第116輯　九州大学文学部
園村辰実編 1993『夏女遺跡』熊本県文化財調査報告第128集　熊本県教育委員会
高倉洋彰 1975「右手の不使用―南海産巻貝製腕輪着装の意義―」『九州歴史資料館研究論集』1　九州歴史資料館
高倉洋彰 1991　北部九州「日本の大陸系青銅器」『日韓交渉の考古学』弥生時代篇　六興出版
高倉洋彰 1998「弥生人の装身の特質とその意義」『卑弥呼の宝石箱―ちょっとオシャレな弥生人―』大阪府立弥生文化博物館図録17　大阪府立弥生文化博物館
高塚啓介編 2002『牟田辺遺跡　第Ⅳ次　低平地対策事業新牟田辺川造成工事に伴う発掘調査結果報告書』多久市文化財調査報告書第29集　多久市教育委員会
高橋健自 1913「釧の研究」『考古学雑誌』第３巻第７号　考古学会
高久健二 2002「楽浪郡と三韓」『朝鮮半島考古学論叢』すずさわ書房
武末純一 1974「舶載青銅器」『対馬　浅茅湾とその周辺の考古学的調査』　長崎県文化財調査報告書第17集　長崎県教育委員会
武末純一 1991『土器からみた日韓交渉』学生社
太宰府市史編集委員会 1992『大宰府市史』考古資料編　大宰府市
田﨑博之 1983「古墳時代初頭前後の筑前地方」『史淵』第120輯　九州大学文学部
田中清美・桜井久之 1987「大阪府加美遺跡Ｙ１号墳丘墓出土の銅釧」『考古學雑誌』第73巻第２号　日本考古學會
辻田淳一郎 2009「九州出土の腕輪形石製品」『奴国の南―九大筑紫地区の埋蔵文化財―』九州大学総合研究博物館
坪井清足 1960「装身具の変遷」『世界考古学大系』第２巻　平凡社
寺沢薫編 2004『考古資料大観』10　弥生・古墳時代遺跡・遺構　小学館
東京国立博物館編 2005『東京国立博物館図版目録　弥生遺物篇（金属器）増補改訂』東京国立博物館
塔ノ首遺跡調査団 1974「上対馬町古里・塔ノ首石棺群調査報告」『対馬　浅茅湾とその周辺の考古学的調査』　長崎県文化財調査報告書第17集　長崎県教育委員会
永井昌文 1977「貝輪」『立岩遺蹟』河出書房新社
中尾篤志編 2005『原の辻遺跡』原の辻遺跡調査事務所調査報告書第31集　長崎県教育委員会
中山平次郎 1950「銅剣鉄剣石剣の共伴を示せる組合式石棺」『考古学雑誌』36巻３号
永留久恵・小田富士雄 1967「対馬・豊玉村佐保発見の馬鐸・巴形銅器調査報告」『九州考古学』32（1974『対馬　浅茅湾とその周辺の考古学的調査』　長崎県文化財調査報告書第17集　長崎県教育委員会507-516頁に再録）
橋口達也 1987「腕輪・指輪」『弥生文化の研究』8　雄山閣
原田大六 1952「福岡県石ヶ崎の支石墓を含む原始墓地」「考古学雑誌」第38巻第４号　日本考古学会
比佐陽一郎 2003「福岡市内出土の錫製品」『平成13（2001）年度福岡市埋蔵文化財センター年報第21号』福岡市教育委員会
比佐陽一郎 2004「錫、鉛製耳環に関する基礎的検討―福岡市内の出土例を中心として―」『古文化談叢』第50集（下）　九州古文化研究会
平井泰男・弘田和司・柴田秀樹編 1999『加茂政所遺跡　高松原古才遺跡　立田遺跡』岡山県埋蔵文化財

発掘調査報告138　日本道路公団中国支社津山工事事務所・岡山県教育委員会
平尾良光 2003「遺跡出土青銅器の産地測定」『2002年度年報』独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所
藤田三郎編 2003『田原本町埋蔵文化財調査年報』12　田原本町教育委員会
藤田三郎 2009「唐古・鍵遺跡における青銅器生産」『唐古・鍵遺跡Ⅰ―範囲確認調査―』田原本町文化財調査報告書第５集　田原本町教育委員会
埋蔵文化財研究会編 1986『埋蔵文化財研究会第20回研究集会　弥生時代の青銅器とその共伴関係』第Ⅲ分冊　近畿以東篇　埋蔵文化財研究会
文化庁編 2007『発掘された日本列島2007新発見考古速報』朝日新聞社
北條芳隆 1994「石川条里遺跡と腕輪形石製品」『中部高地の考古学Ⅳ』長野県考古学会
細川金也・土屋了介 2009「佐賀県における弥生時代後期の社会変化」『弥生時代後期の社会変化』第58回埋蔵文化財研究集会発表要旨・資料集　埋蔵文化財研究会
松本洋明・川村慎也 1996「平等坊・岩室遺跡出土の銅釧」『みずほ』第19号　大和弥生文化の会
馬淵久夫・平尾良光 1990「福岡県出土青銅器の鉛同位体比」『考古学雑誌』第75巻第４号　日本考古学会
三木隆行 1995「文化財調査の概要」『福岡市埋蔵文化財年報Vol.8　1993年度』福岡市教育委員会
森貞次郎 1963「福岡県香椎出土の銅釧鎔笵」『考古学集刊』第２巻第１号　東京考古学会
森貞次郎 1981「弥生時代の遺物にあらわれた信仰の形態」『神道考古学講座』第１巻　雄山閣
森貞次郎 1982「銅釧」『末盧国』六興出版
森貞次郎編 1982「弥生時代九州の管玉出土地名表」『末盧国』六興出版
柳田康雄 1990「鉛同位体比法による青銅器研究への期待」『考古学雑誌』第75巻４号
山崎純男編 1976『京ノ隈遺跡』段谷地所開発株式会社
山崎龍雄編 1992『カルメル修道院内遺跡Ⅱ―カルメル修道院内遺跡第３次調査の報告―』福岡市埋蔵文化財調査報告書第299集　福岡市教育委員会
山村信榮 1996『大宰府・佐野地区遺跡群Ⅵ―雛川遺跡第１次調査―』太宰府市の文化財第31集　太宰府市教育委員会
力武卓治・横山邦継編 1996『吉武遺跡群Ⅷ　飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告書２』福岡市埋蔵文化財調査報告書第461集　福岡市教育委員会
渡辺昌宏 1998「近畿発見の腕飾類とその変遷」『卑弥呼の宝石箱―ちょっとオシャレな弥生人―』大阪府立弥生文化博物館図録17　大阪府立弥生文化博物館

４，中原遺跡甕棺墓地の形成過程

小松　譲

表62　中原遺跡・宇木汲田遺跡時期別甕棺墓数

中原遺跡				宇木汲田遺跡	
時期	11区	13区	計(基)	時期（甕棺型式）	基数
Ⅰ-1	0	4	4	Ⅰ（前期・伯玄式）	20
Ⅰ-2	0	5	5		
Ⅰ-3	0	6	6		
Ⅱ-1（古）	0	2	2	Ⅱ（金海式）	20
Ⅱ-1（新）	0	7	7	Ⅲ（城ノ越式）	13
Ⅱ-2	5	90	95	Ⅳ（汲田式）	29
Ⅱ-3	10	71	81		
Ⅱ-4	7	36	43	Ⅴ（須玖式）	27
Ⅱ-5	2	8	10		
Ⅱ-6	7	7	14	Ⅵ（立岩式）	12
Ⅲ-1	4	3	7	Ⅶ（桜馬場式）	4
Ⅲ-2	1	0	1	Ⅷ（三津式）	1
時期不明	3	3	6	時期不明	3
計（基）	39	242	281	計（基）	129

11区、13区で計281基の甕棺墓を調査した。甕棺墓群が立地する砂丘微高地の全範囲を調査したため、墓域の全範囲を発掘したことになる。甕棺墓群はこの砂丘微高地の南西部に密集している。遺物が出土した甕棺墓はすべて、この密集した墓域である。それに対して砂丘微高地の東側の甕棺墓は単独あるいは２基、３基の群をなして疎らに造られる。この範囲には竪穴住居群があり、居住空間と墓地が共存している。甕棺は壺や中型甕であり、その被葬者は幼児か小児に限定されている。

甕棺墓地の形成はⅠ-1期（前期前半）に始まり、Ⅲ-1期（後期前半）で終わる。Ⅲ-2期のSJ11226は口縁部のみの出土であり、甕棺墓であるかは疑わしい。表62はⅠ-1期からⅡ-1期までは各期で10基前後であるが、Ⅱ-2期には爆発的に増える。そして、Ⅱ-5期から再び減少していく。図179～182は時期別の甕棺分布図である。甕棺墓群の分布と形成過程などから、４段階に分けて説明する。

第１段階

Ⅰ-1期は４基、Ⅰ-2期は５基、Ⅰ-3期は６基でⅠ期では計15基である。その墓域は約70m×15mの範囲で、南東から北西に細長く延びる。甕棺墓は単独あるいは２基、３基の群を形成している。遺物が出土したのはⅠ-2期のSJ13417だけで、碧玉製管玉10点、石材不明丸玉１点が副葬されていた。

第２段階

Ⅱ-1（古）期は２基、Ⅱ-1（新）期は7基でⅡ期では計９基である。この墓域はⅠ期のそれと重なる。甕棺墓も単独もしくは２基、３基で群を形成するなどⅠ期と類似する。Ⅱ期で副葬品を所有する甕棺墓は無い。Ⅱ-1（古）期はいわゆる金海式併行期である。中原遺跡では大型甕B（金海式）は出土していない。宇木汲田遺跡では青銅製武器を副葬する甕棺墓がみられるが、中原遺跡ではそれとは対照的に一時的に甕棺墓形成が衰退しているようにも見える。

第３段階

Ⅱ-2期は甕棺墓が急激に増加し、墓域も拡大する。Ⅱ-2期は95基、Ⅱ-3期は81基、Ⅱ-4期は43基、Ⅱ-5期は10基で、Ⅱ-2期～Ⅱ-5期では計229基である。Ⅱ-2期、Ⅱ-3期はいわゆる汲田式で、Ⅱ-4期、Ⅱ-5期は須玖式に相当する。Ⅱ-2期～Ⅱ-5期の甕棺墓は同じ墓域に継続して造られている。

甕棺墓の分布は砂丘微高地の南西部に密集しており、複数家族の共同墓地と思われる。それに対して、砂丘微高地東側の甕棺墓は疎らであり、竪穴住居群と混在して造られる。また、甕棺からその被葬者は幼児か小児と推定される。甕棺墓が密集する墓域と疎らな墓域はその形成要因が異なる。

Ⅱ-2期～Ⅱ-5期の甕棺墓には銅矛、円環型銅釧、硬玉製玉類や碧玉製管玉などの石製玉類、ガラス製管玉などが副葬される。特に、硬玉製玉類や碧玉製管玉は多量に出土している点は注目される。但し碧玉製管玉の甕棺１基あたりの出土個数は大半が５点以下であることは、それが副葬品か葬送儀礼に伴う供献品かは今後の課題である。

Ⅱ-2期～Ⅱ-5期で遺物が出土している甕棺墓が集中する箇所が３群見られる。東方からＡ群、Ｂ群、Ｃ群とする。Ｂ群、Ｃ群は南東から北西にかけて並んだかのように立地するが、これはⅠ期やⅡ-1期の墓域と同じ方向である。推定であるが、この南東から北西に延びる墓域は旧地形を反映していないのだろうか。南東から北西に延びる幅約15mの尾根状の地形があり、墓域としたのではないだろうか。副葬品を有する厚葬墓群であるＢ群、Ｃ群はこの尾根状の地形に占地されたのではないだろうか。

表63はＡ群、Ｂ群、Ｃ群の甕棺墓一覧表である。Ａ群は古墳時代後期の前方後円墳（ST11158）の後円部に立地する。Ａ群はⅡ-2期が１基、Ⅱ-3期が５基、Ⅱ-4期が１基、時期不明１基の計８基からなる。このうち６基から遺物が出土した。特にSJ11247から細形銅矛１、SJ11249から硬玉製勾玉１、硬玉製管玉１、碧玉製管玉39が出土している。また、Ａ群を囲むかのように３つの祭祀土坑がある。遺構配置図には掲載されていないがPL3がその検出状況である。Ａ群の北側に位置するSX11292は方形の土坑で多

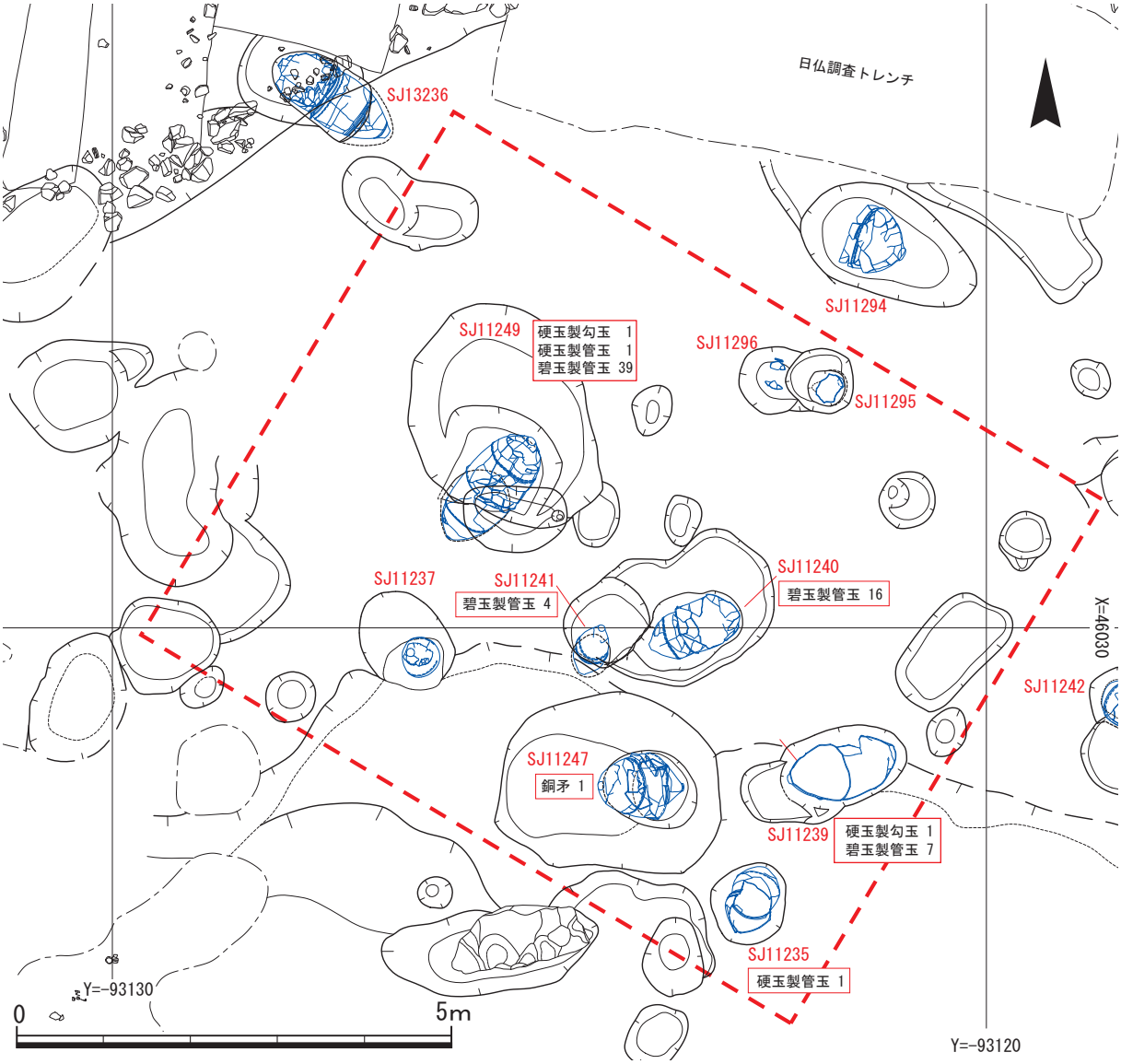


図177　Ａ群甕棺墓（1/80）

表63　A群、B群、C群甕棺墓一覧表

群	時期	甕棺墓	銅矛	円環型銅釧	硬玉製玉類	石材不明丸玉	碧玉製管玉	ガラス製管玉	その他
A群	Ⅱ-2	SJ11235	−	−	1	−	−	−	−
	Ⅱ-3	SJ11237	−	−	−	−	−	−	−
		SJ11239	−	−	1	−	7	−	−
		SJ11241	−	−	−	−	4	−	−
		SJ11247	1	−	−	−	−	−	−
		SJ11249	−	−	2	−	39	−	−
	Ⅱ-4	SJ11240	−	−	−	−	16	−	−
	不明	SJ11295	−	−	−	−	−	−	−
B群	Ⅱ-2	SJ13005	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13006	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13065	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13066	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13088	−	−	−	−	4、棺外1	−	−
		SJ13091	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13164	−	−	−	−	棺外2	−	−
		SJ13209	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13235	−	−	−	−	−	−	−
	Ⅱ-3	SJ13131	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13134	−	12	−	−	12	−	−
		SJ13190	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13207	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13210	−	−	−	−	3	−	−
	Ⅱ-4	SJ13007	−	−	−	−	6	−	−
		SJ13133	−	−	−	−	4	1	−
		SJ13135	−	−	−	−	1	−	−
	Ⅱ-5	SJ13092	−	−	−	−	107、棺外1	−	−
C群	Ⅱ-2	SJ13309	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13323	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13336	−	−	−	−	7	−	−
	Ⅱ-3	SJ13233	−	−	−	−	3	−	−
		SJ13293	−	−	−	−	3	−	−
		SJ13294	−	−	1	−	1	−	−
		SJ13297	−	−	−	−	−	−	石剣切先
		SJ13312	−	−	1	−	−	−	−
		SJ13321	−	−	−	−	8	−	鉄製品？
	Ⅱ-4	SJ13204	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13205	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13206	−	−	1	−	−	−	−
		SJ13292	−	−	−	−	2	−	−
		SJ13302	−	−	−	−	10、棺外1	−	−
		SJ13306	−	−	−	−	−	−	−
		SJ13310	−	−	−	−	19	−	−
		SJ13316	−	−	−	−	6	−	−
		SJ13317	−	−	1	−	−	−	−
		SJ13319	−	−	−	−	29	−	−
		SJ13357	−	−	−	−	−	−	−
	Ⅱ-5	SJ13232	−	−	3	−	20	−	−

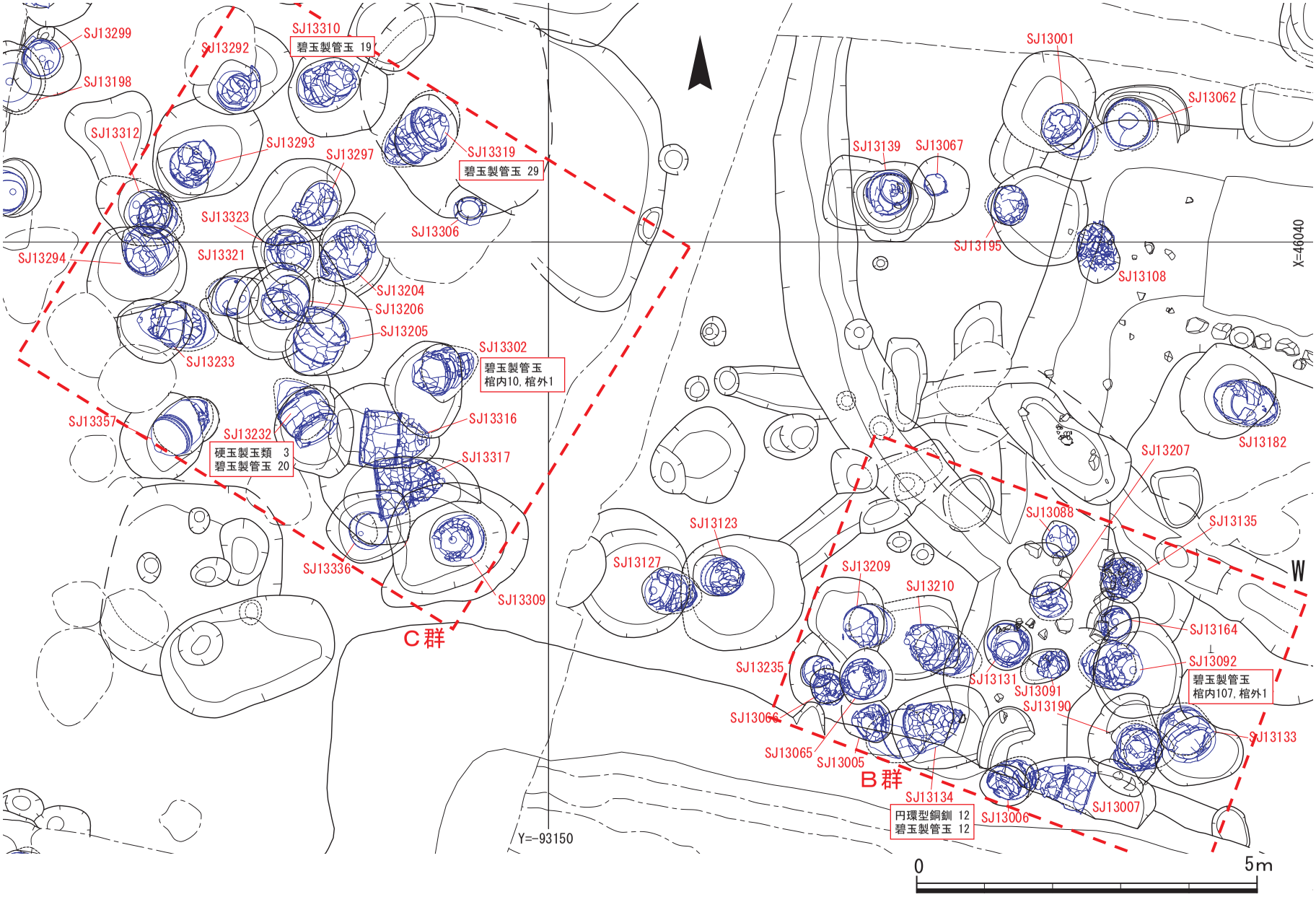


図178　B群、C群甕棺墓（1/80）

量の土器が出土した。Ａ群の西側に位置するSX13043とSX13042は不定形の土坑である。Ａ群を区画する溝などの施設はみられず、調査時において墳丘は確認できなかった。ただし、甕棺墓の分布状況や前述の祭祀土坑などから約７ｍ×７ｍの平面方形の墳丘墓であった可能性はある。

Ａ群の西方約12mにＢ群はある。Ｂ群はⅡ-2期が９基、Ⅱ-3期が５基、Ⅱ-4期が３基、Ⅱ-5期が１基の計18基からなる。このうち８基から遺物が出土した。特にSJ13134から円環型銅釧12、碧玉製管玉12が、SJ13092の棺内から碧玉製管玉107が、棺外から碧玉製管玉１が出土している。Ｂ群では溝などの区画施設はみられなかった。

Ｂ群の西方約４ｍにＣ群はある。Ｃ群はⅡ-2期が３基、Ⅱ-3期が６基、Ⅱ-4期が11基、Ⅱ-5期が１基の計21基からなる。このうち14基から遺物が出土した。特にSJ13310から碧玉製管玉19が、SJ13319から碧玉製管玉29が、SJ13232から硬玉製勾玉１、硬玉製管玉２、碧玉製管玉20が出土した。また、SJ13297からは石剣切先が出土した。Ｃ群では溝などの区画施設はみられなかった。

また、Ⅱ-2期～Ⅱ-5期の甕棺墓棺内から前述した石剣切先や青銅製切先や石鏃が出土する点も注目される。SJ13259から青銅製切先が、SJ13133からは石鏃が出土している。

第４段階

Ⅱ-6期にはいると墓域が大きく変化する。また、甕棺墓も減少する。Ⅱ-6期が14基、Ⅲ-1期が７基の計21基からなる。墓域は41Grと42Grの境に、45ｍ×５ｍの範囲に南北方向に延びる。この墓域の中のSJ11294から鉄斧１が出土している。その北側に日仏調査トレンチがあるが、1965年の調査にて検出した７号甕棺は大型甕ＦⅢであり、棺内から鉄戈１、小玉１、管玉６と棺外から鉄矛１が出土している。SJ11294と７号甕棺はともに単棺であり、同じ主軸で口縁部を向き合うように埋置される。同様に２基が東西に並ぶ甕棺群が他に２箇所見られる。鉄矛１を出土したSJ13011とSJ13048、SJ13082とSJ13046である。SJ13082からは硬玉製勾玉１、碧玉製管玉１が出土している。

これらの甕棺墓の分布状況から対になった２基の甕棺墓の間に墓道があったと考えれば、墓域の形成が理解しやすい。南側にも甕棺墓が点在するが、南北方向の墓道が直角に曲がったと考えられる。Ⅲ-1期の甕棺墓もこの墓道に沿って形成されており、Ⅱ-6期からⅢ-1期までの継続性が認められる。

以上、４段階の形成過程を述べてきた。このなかで２つの画期が認められる。第１の画期は第３段階である。甕棺墓が急増し、墓域が拡大する。砂丘微高地の東側は居住域の中に幼、小児の甕棺墓が造られるが、西側は甕棺墓の密集地帯となる。後者には銅矛、円環型銅釧、石製玉類などを副葬した厚葬墓が多くみられるが、特に３つの群を抽出した。甕棺墓の密集地帯は複数の家族墓群の集合体であるが、その中でもＡ群、Ｂ群、Ｃ群は首長を擁する有力家族墓と考えられⅡ-2期～Ⅱ-5期まで継続される。３群の中でも銅矛を副葬したＡ群が本遺跡の中では最有力家族墓である。

第２の画期は第４段階である。甕棺墓は減少し、第３段階の墓域とは重ならず、その外縁部に細長く形成される。墓道に沿って、その両側に対になって甕棺墓がみられ、Ⅲ-1期まで継続する。副葬品には鉄矛や鉄斧、鉄製鉇（ヤリガンナ）などの鉄製品がみられる。日仏合同調査出土の７号甕棺も同時期であり
鉄戈、鉄矛が出土している。

表62は中原遺跡と宇木汲田遺跡の時期別甕棺墓数を記す。宇木汲田遺跡は前期から後期までの甕棺墓129基を調査しているが、その盛衰は本遺跡と同一で、Ⅱ-2期からⅡ-5期の汲田式、須玖式に造墓は活発化するが、Ⅱ-6期以降衰退していく。また、Ⅱ-1期（金海式、城ノ越式）において中原遺跡では一時造墓活動が衰退するが、宇木汲田遺跡ではⅠ期から造墓が継続している。宇木汲田遺跡と中原遺跡では武器形青銅器副葬の甕棺墓の出現やその出土量に違いがみられる。

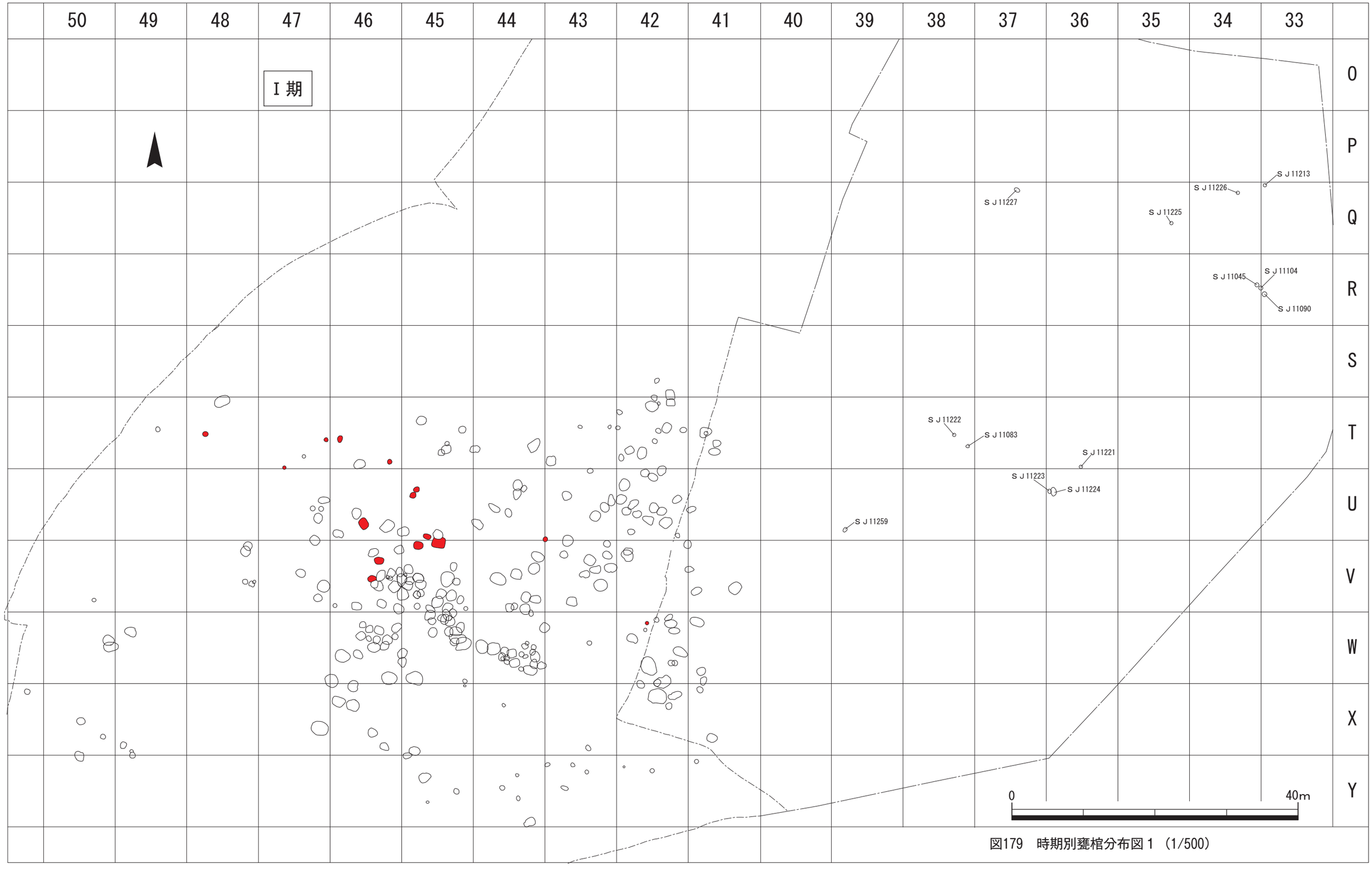


図179　時期別甕棺分布図１（1/500）

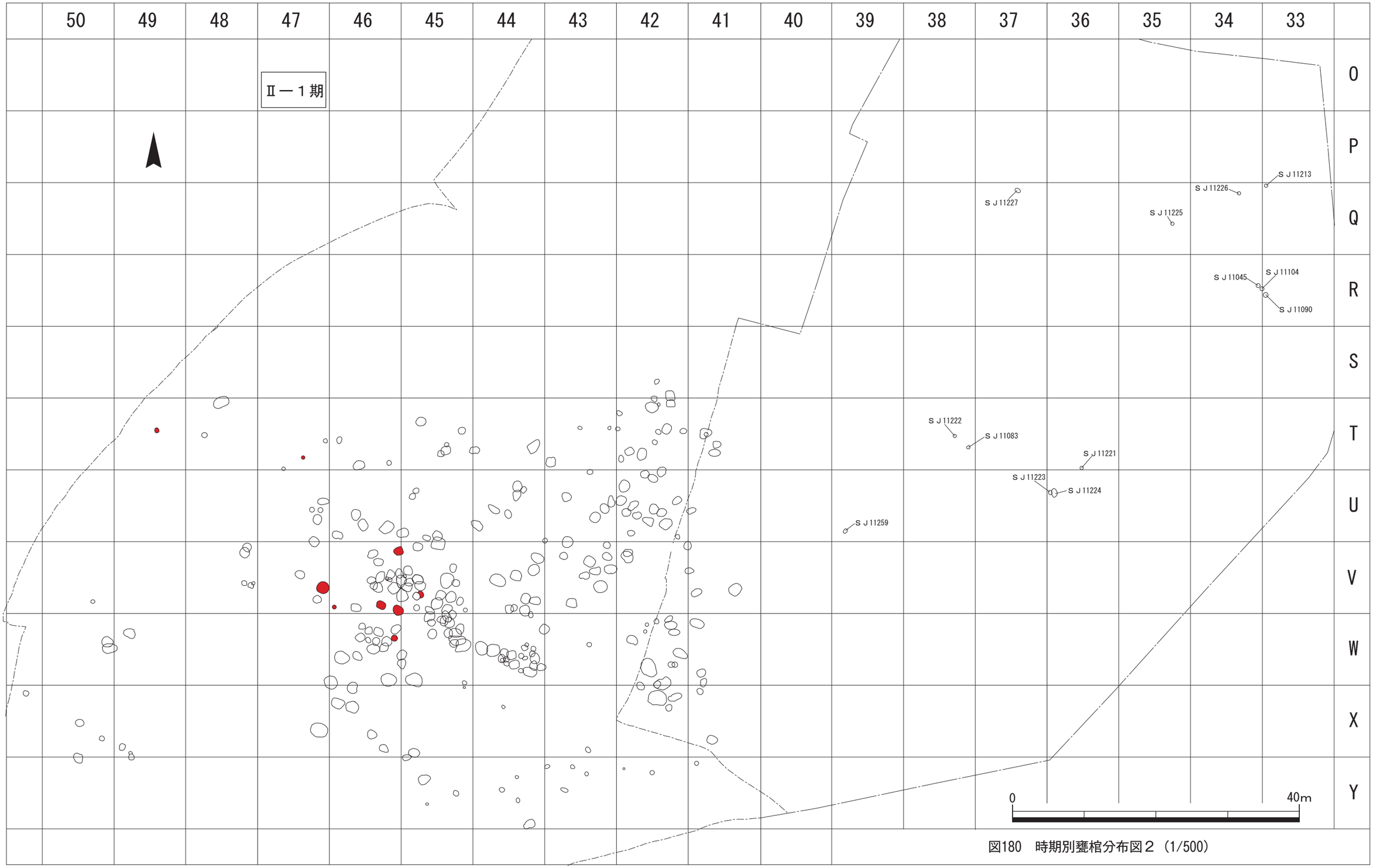


図180　時期別甕棺分布図２（1/500）

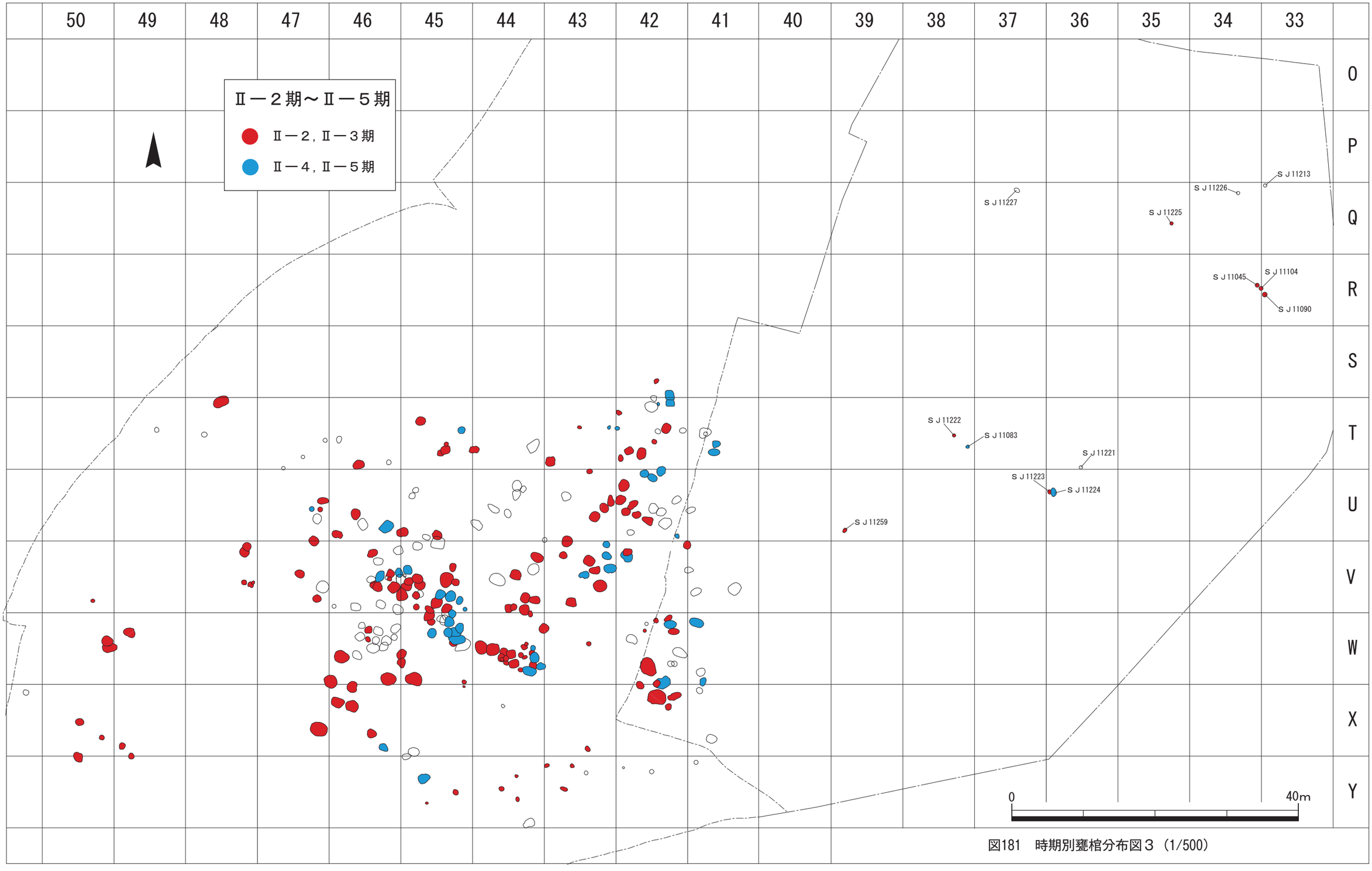


図181　時期別甕棺分布図３（1/500）

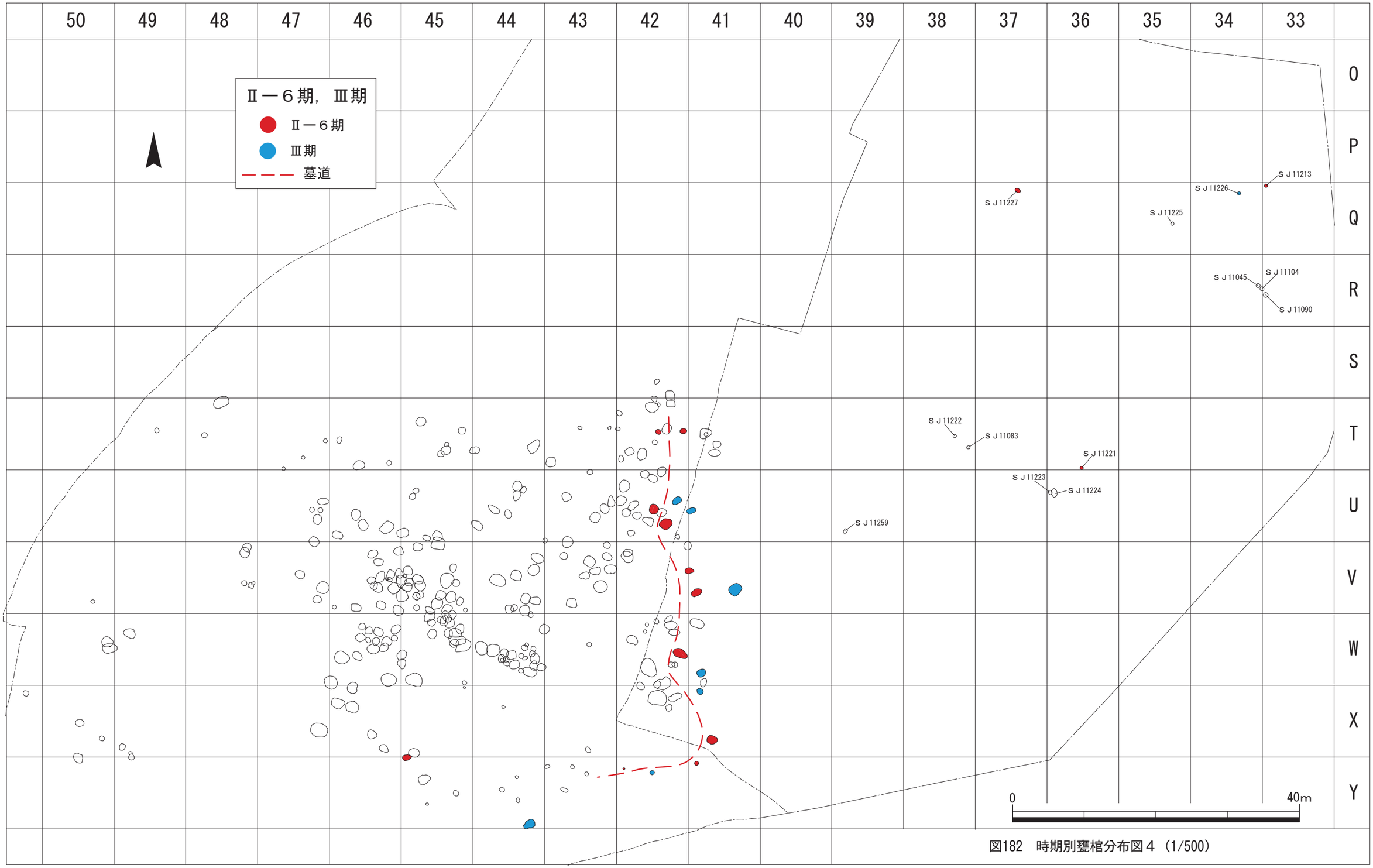


図182　時期別甕棺分布図４（1/500）

Ⅵ．自然科学分析

１，中原遺跡出土石製玉類の産地分析

㈲遺物材料研究所
藁科　哲男

⑴　出土玉類の産地分析方法

①はじめに

玉類の観察は、一般的に肉眼観察で岩石の種類を決定し、それが真実のよう思われているのが実態である。岩石製では玉類の原材料として硬玉、滑石、軟玉（角閃石）、蛇紋岩、結晶片岩、碧玉などが推測される。それぞれの岩石の命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覚悟して硬度、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどで、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこの産地の原石が使用されているかの産地分析が行われて始めて、考古学に寄与できる資料となる。遺跡から出土する勾玉、管玉など玉類の産地分析というのは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ヶ所かあるヒスイ（硬玉、軟玉）とか碧玉の原産地のうち、どこの原産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学的方法[1]および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光Ｘ線分析で行う元素比法[2),3),4)]が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は蛍光Ｘ線分析法と電子スピン共鳴法を併用し産地分析より正確に行った例[5)]が報告されている。石鏃など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析で得られた結果の意味も異なる。

石器の原材産地推定で明らかになる遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリーとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになるヒスイ製玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圏を現わしているかもしれない、お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏が考えられる。石器の原材産地分析で得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。今回分析を行った遺物は佐賀県唐津市大字中原に位置する中原遺跡出土のヒスイ勾玉５個で、産地分析結果が得られたので報告する。

②非破壊での産地分析の方法と手段

原産地推定の第一歩は、原産地間を区別する人間で言えば指紋のような、その原産地だけにしかないという指標を見つけなければならない。それを区別するための指紋は鉱物組成の組合わせ､比重の違い、原石に含有されている元素組成の違いなどにより､原産地同士を区別できなければ産地分析はできない。成功するかどうかは、とにかく行ってみなければわからない。原産地同士が指紋でもって区別できたならば、次に遺跡から出土する遺物の指紋と原産地の指紋を比較して、一致しない原産地を消去して一致する原産地の原石が使用されていると判定する。ヒスイ、碧玉製勾玉、大珠、玉などは、国宝、重要文化財級のものが多くて、非破壊で産地分析が行なえる方法でなければ発展しない。石器の原材産地分析で成功している[4)]非破壊で分析を行なう蛍光Ｘ線法を用いて玉類に含有されている元素を分析する。

遺跡から出土した大珠、勾玉、管玉などを水洗いして、試料ホルダーに置くだけの、完全な非破壊で産地分析を行った。ヒスイ製玉類は蛍光X線分析法で元素の種類と含有量を求め、試料の形や大きさの違いの影響を打ち消すために分析された元素同士で含有量の比を測り、この元素比の値を原産地を区別する指紋とした。碧玉製玉類はESR法を併用するが試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した[5]。

⑵ ヒスイ製玉類の原産地分析

①ヒスイの原産地

分析したヒスイ原石は、日本国内産では⑴新潟県糸魚川市と、それに隣接する同県西頚城郡青海町から産出する糸魚川産、⑵軟玉ヒスイと言われる北海道沙流郡日高町千栄の日高産[6]、⑶鳥取県八頭郡若桜町角谷の若桜産、⑷岡山県阿哲郡大佐町の大佐産、⑸長崎県長崎市三重町の長崎産であり、さらに⑹西黒田ヒスイと呼ばれている静岡県引佐郡引佐町の引佐産の原石、⑺兵庫県養父郡大屋町からの原石、⑻北海道旭川市神居町の神居コタン産、⑼岐阜県大野郡丹生川村の飛騨産原石、また、肉眼的にヒスイに類似した原石で玉類等の原材になったのではないかと考えられる⑽長崎県西彼杵郡大瀬戸町雪浦からの原石である。国内産のヒスイ原産地は、これでほぼ調査し尽くされていると思われる。これら原石の原産地を図183に示す。これに加えて外国産として、ミャンマー産の硬玉と台湾産軟玉および韓国、春川産軟玉などのヒスイの分析も行われている。

②ヒスイ試料の蛍光X線分析

ヒスイの主成分元素はナトリウム（Na）、アルミニウム（Al）、珪素（Si）などの軽元素[7]で、次いで比較的含有量の多いカルシウム（Ca）、鉄（Fe）、ストロンチウム（Sr）である。また、ヒスイに微量含有されている、カリウム（K）、チタン（Ti）、クロム（Cr）、マンガン（Mn）、ルビジウム（Rb）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）、ニオブ（Nb）、バリウム（Ba）、ランタン（La）、セリウム（Ce）の各元素を分析した。主成分の珪素など軽元素の分析を行わないときには、励起線源のX線が試料によって散乱されたピークを観測し、そのピークの大きさが主に試料の分析面積に比例することに注目し、そのピークを含有元素と同じく産地分析の指標として利用できる。Na元素はヒスイ岩を構成するヒスイ輝石に含有される重要な元素で、出土した遺物が硬玉か否かを判定するには直接ヒスイ輝石を観測すればよい。しかし、ヒスイ輝石を非破壊で検出する方法が確立されるまでは、蛍光X線分析でNa元素を分析し間接的にヒスイ輝石の存在を推測する方法にたよる他ないのではなかろうか。各原産地の原石のなかで、確実にNa元素の含有が確認されるヒスイ産地は糸魚川、大屋、若桜、大佐、神居コタン、長崎の各原産地の原石でこれらは硬玉に属すると思われる。Na元素の含有量が分析誤差範囲の産地は日高、引佐、飛騨の各産地の原石である。糸魚川産原石のうち緑色系の硬玉に、肉眼的に最も似た原石を産出する産地は、他の硬玉産地よりも後述した日高、飛騨、引佐の原石に見られる。各原産地の原石の他の特徴を以下に記述する。若桜産のヒスイ原石はSrのピークがFeのピークに比べて相当大きく、またZrの隣に非常に小さなNbのピークが見られ、Baのピークも大きく、糸魚川産では見られないLa、Ceのピークが観測されている。このCeのピークは大佐産と長崎産ヒスイ原石のスペクトルにも見られ、これらCeを含有する原石の産地は、糸魚川の産地と区別するときに有効な判定基準になる。長崎産ヒスイは、Tiの含有量が多く、Yのピークが見られるのが特徴的である。日高産、引佐産、飛騨産ヒスイ原石は、Caピークに比べてTiとかK、またFeピークに比べてSrなどのピークが小さいのが特徴で糸魚川産のものと区別するときの判断基準になる。春川軟玉原石は、優白色の工芸加工性に優れた原石で、軟玉であるが、古代では勾玉などの原材料となった可能性も考えられることから分析を行った。この原石には、Sr、Zr

のピークが全く見られないため、糸魚川産などのSr、Zrを含有する原石と容易に区別できる。また、長崎県雪浦のヒスイ類似岩をヒスイの代替品として勾玉、大珠などの原材料に使用している可能性が考えられ、分析を行った。この岩石は比重が2.91と小さく、比重でもって他の産地のものと区別できる。また砒素（As）のピークが見られる個体が多いのも特徴である。これら各原産地の原石は同じ産地の原石であっても、原石ごとに元素の含有量には異同がある。したがって、一つの原産地について多数の原石を分析し、各元素の含有量の変動の範囲を求めて、その産地の原石の特徴としなければならない。糸魚川産のヒスイは、白色系が多いが、緑色系の半透明の良質のもの、青色系、コバルト系、およびこれらの色が白地に縞となって入っているものなど様々である。分析した糸魚川産原石の比重を調べると、硬玉の3.2～3.4の範囲のものと、3.2に達しない軟玉に分類される原石もある。若桜産、大佐産の分析した原石には、半透明の緑色のものはないが、全体が淡青緑かかった乳白色のような原石、また大屋産は乳白色が多い。このうち大佐産、大屋産の原石では比重が3.20に達したものはなく、これらの原石は比重からは軟玉に分類される。しかし、ヒスイ輝石の含有量が少ない硬玉とも考えられる。長崎産のヒスイ原石は３個しか分析できなかったが良質である。このうち１個は濃い緑色で、他の２個は淡い緑色で、少しガラス質である。日高産ヒスイの原石は肉眼観察では比較的糸魚川産のヒスイに似ている。ミャンマー産のヒスイ原石は、質、種類とも糸魚川産のヒスイ原石と同じものが見られ肉眼で両産地の原石を区別することは不可能と考えられる。分析した台湾産のヒスイは軟玉に属するもので、暗緑色のガラス質な原石である。これら各原産地の原石の分析結果から各産地を区別する判断基準を引き出し産地分析の指標とする。

③ヒスイ原産地の判別基準

原石産地の判定を行なうときの判断基準を原石の分析データから引き出すが、分析個数が少ないため、必ずしもその原産地の特徴を十分に反映したと言えない産地もある。表64に各原産地ごとの原石の比重と元素比量をまとめた。元素比量の数値は、その原産地の分析した原石の中での最小値と最大値の範囲を示し、判定基準⑴とした。ヒスイで比重が3.19未満の軽い原石は、硬玉ヒスイではない可能性があるが、糸魚川産の原石で比重が3.19未満のものも分析を行った。大佐産のヒスイは比重が3.17未満であった。したがって、遺物の比重が3.3以上を示す場合は判定基準⑴により大佐産のヒスイでないと言える。日高産、引佐産の両ヒスイではSr/Feの比の値が小さくて、糸魚川産と区別する判定基準⑴になる。表64の判定基準⑵にはCr、Mn、Rb、Y、Nb、Ba、La、Ceの各元素の蛍光Ｘ線ピークが観測できた個体数を％で示した表である。例えば遺物を分析してBaのピークが観測されなかったとき、その遺物は、若桜、大佐、長崎産のヒスイでないといえる。図184はヒスイ原石のSr/Feの比の値とSr/Zrの比の値の分布を各原産地ごとにまとめて分布範囲を示したものである。●は糸魚川産のヒスイで、分布の範囲を実線で囲み、この枠内に遺物の測定点が入れば糸魚川産の原石である可能性が高いと判断する。□はミャンマー産のヒスイの分布で、その範囲を短い破線で囲む。糸魚川の実線の範囲とミャンマーの破線の範囲の大部分は重なり両者は区別できないが、ミャンマーと糸魚川が区別される部分がSr/Fe の値（横軸）2.5以上の範囲で見られる。この範囲の中に、遺物の測定点が入ればミャンマー産と考えるより、糸魚川産である可能性の方が高いと考えられる。▲は大佐産の、△は若桜産の、▽は大屋産のヒスイの分布を示している。糸魚川と大佐、若桜、大屋のヒスイが重なる部分に遺物の測定点が入った場合、これら複数の原産地を考えなければならない。しかし、この遺物にBaの蛍光Ｘ線スペクトルのピークが見られなかった場合、表65の判定基準⑵に従えば糸魚川産または大屋産のヒスイであると判定でき、その遺物の比重が3.2以上あれば大屋産でなくて、糸魚川産と推定される。■は長崎産ヒスイの分布で、独立した分

布の範囲を持っていて他の産地のヒスイと容易に区別できる。台湾産の軟玉はグラフの左下に外れる。★印の日高産および＊印の引佐産ヒスイの分布の一部分が、糸魚川産と重なり区別されない範囲がみられる。しかし、Ca/Si比とSr/Fe比を指標とすることにより（図185）、糸魚川産ヒスイは日高産および引佐産の両ヒスイと区別することができる。Na/Si比とMg/Si比を各原産地の原石について分布を示すことにより（図186）、遺物がどこの原産地の分布内に帰属するかにより、硬玉か軟玉かの判別の手段の一つになると考えられる。

④中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の分析結果

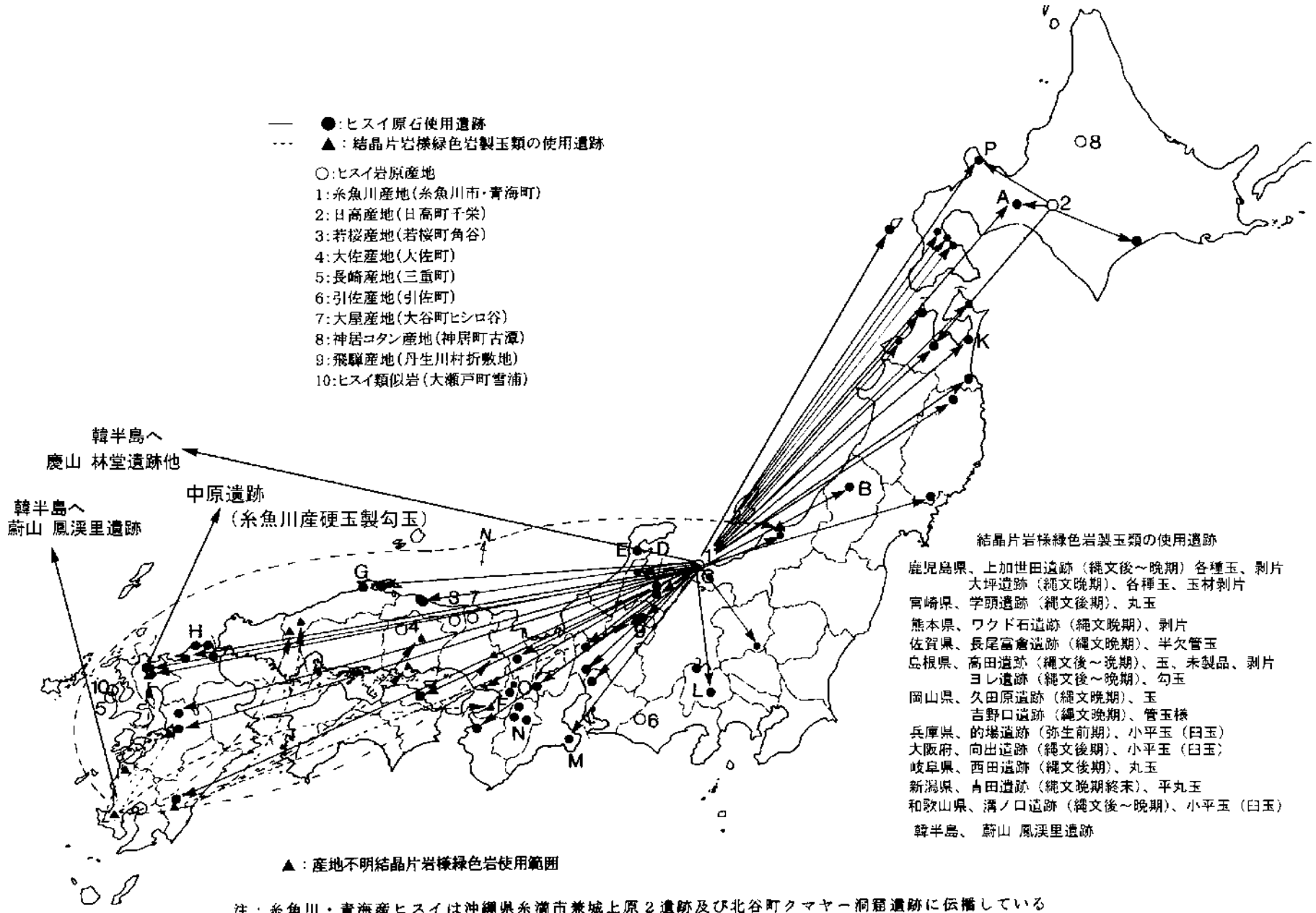
蛍光X線分析により非破壊分析による化合物元素濃度および分析した勾玉の比重をアルキメデス法で測定し表66に示した。計算された濃度は破壊して行う厳密な定量分析値ではなく、半定量分析で、得られた濃度には誤差が相当含まれれる可能性がある。分析した勾玉からNa、Al、SiO2および少量元素のCa、Mg、Feが観測され、比重が3.30以上を示す良質の勾玉で、硬玉製勾玉と推測した。分析した勾玉の原産地を明らかにするために、分析された元素の含有量から求めた元素比（任意単位）の値を表67に示した。元素比値を各原産地の原石の元素比量の分布範囲と比較し産地判定の図とした。元素比Zr/Se対Sr/Feの分布範囲の判定図では分析番号102918、102919、102921、102922番はミャンマー産から外れ糸魚川産、大佐産の重なる範囲に入り、102918は若桜産の範囲にも入り、他は大屋産の重なる範囲に入っている。102920番はミャンマー産と糸魚川産の重なる範囲に入っている。それぞれの範囲に入った原石の可能性を示した（図187）。次に元素比Sr/Fe対Ca/Siの分布範囲の判定図では勾玉全て糸魚川産の範囲に入り、102919番は若桜産、102921、102922番は大佐産の重なる範囲にそれぞれ入り、入った範囲の産地の可能性を示した（図188）。またNa/Si対Mg/Siの図では勾玉全て糸魚川産の範囲に入り、102918、102919、102921番は神居コタン産の範囲に入り、102918番は若桜産の範囲にも入っている。102920番は糸魚川産と若桜産の重なる範囲に入り、102922番は糸魚川産のみの範囲に入り、これら勾玉の入った範囲の産地の原石と推測される（図189）。これら判定図と判定基準表64、表65の比重の範囲および蛍光X線スペクトル図190～194に示すBa元素の有無などの条件を考慮して、全ての条件を満たした産地の結果を総合判定として表68に示した。

⑤考　察

遺跡から出土する鏡から中国との関係が論じられ、硬玉はミャンマー、中国を経由して日本に伝播したとする説があり、日本に上陸する地点は九州と推測される。日本産ヒスイが使用されていると言うには科学的に証明する必要がある。ノーベル賞を受賞された益川敏英博士の言を借りれば、科学とは、仮説をたて正しいか否か、あらゆる可能性を否定することにある。と述べられていて、分析の結果糸魚川産原石と勾玉の成分が一致したとする必要条件（仮説）以外に、ミャンマー産の可能性を否定（十分条件）する事が必要である。今回分析した分析番号102920番の勾玉は糸魚川産とミャンマー産は区別ができないが、他の102918、102919、102921、102922番の勾玉はミャンマー産の可能性を否定した糸魚川産硬玉を使用した勾玉と判定された。糸魚川産が多用されていることから、102920番の勾玉も糸魚川産の可能性が高いと思われる。糸魚川・青海産硬玉は縄文、弥生時代に多くみられ、使用遺跡を抜粋して示すと（図183）例えば北海道千歳市美々遺跡から青森県大石平遺跡、岩手県大日Ⅱ遺跡、山梨県石堂遺跡、岐阜県西田遺跡、愛知県白石遺跡、三重県森添遺跡、大分県ニ反田遺跡、熊本県ワクド石遺跡、宮崎県学頭遺跡、沖縄県糸満市、北谷町まで日本全国におよび、糸魚川産ヒスイが尊重される共通の基盤を持っていたと思われる。糸魚川産地から遠くなるにしたがって、希少価値が増すと推測され本遺跡がヒスイの玉類の供給遺跡の可能性を推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

1) 茅原一也（1964)、長者が原遺跡産のヒスイ（翡翠）について（概報）. 長者ケ原、新潟県糸魚川市教育委員会 : 63-73
2) 藁科哲男・東村武信（1987)、ヒスイの産地分析. 富山市考古資料館紀要6 : 1-18
3) 藁科哲男・東村武信（1990)、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析. 橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』, 14 : 95-109
4) 藁科哲男・東村武信（1983)、石器原材の産地分析. 考古学と自然科学, 16 : 59-89
5) Tetsuo Warashina（1992)、Alloction of Jasper Archeological Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19 : 357-373
6) 番場猛夫（1967)、北海道日高産軟玉ヒスイ. 調査研究報告会講演要旨録No.18 : 11-15
7) 河野義礼（1939)、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質. 岩石砿物鉱床学雑誌22 : 195-201



注:糸魚川・青海産ヒスイは沖縄県糸満市兼城上原2遺跡及び北谷町クマヤー洞窟遺跡に伝播している
(他の分析方法の基準で推定した結果をこの使用圏に混ぜると、先史の交流、交易考察に混乱が生じます)

図183　ヒスイ製玉類使用遺跡分布圏および結晶片岩様緑色(クロム雲母)岩玉類使用遺跡分布圏

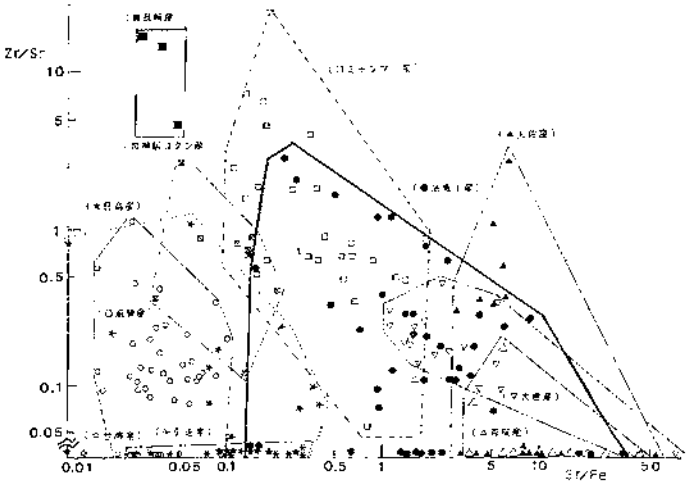


図184　ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布および分布範囲

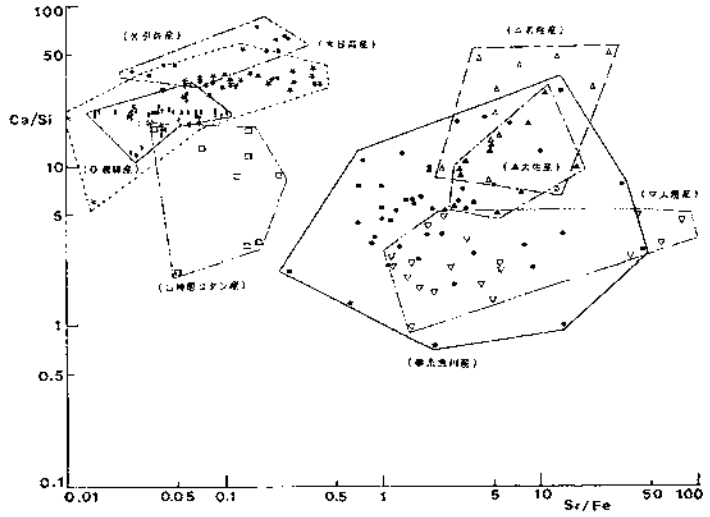


図185　ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布および分布範囲

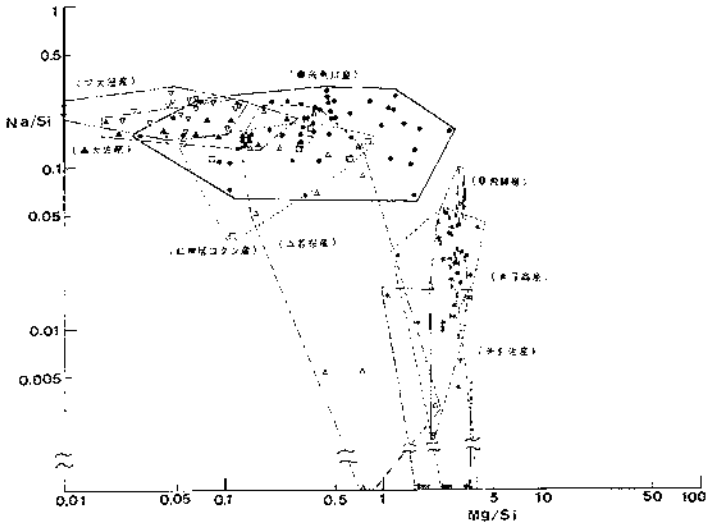


図186　ヒスイ原石の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布および分布範囲

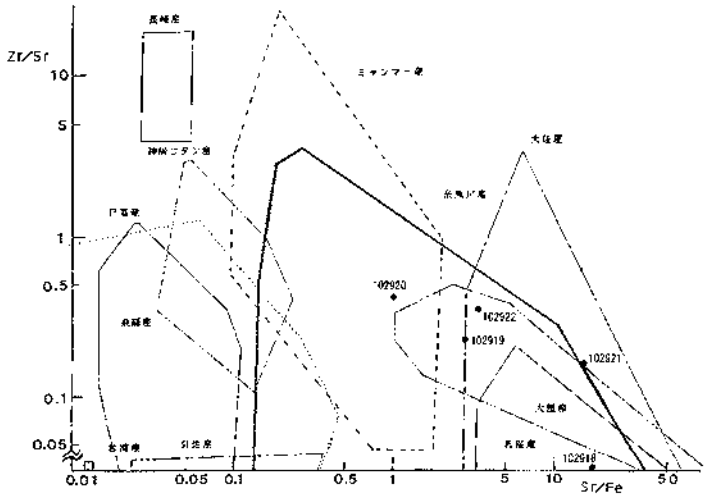


図187　中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布

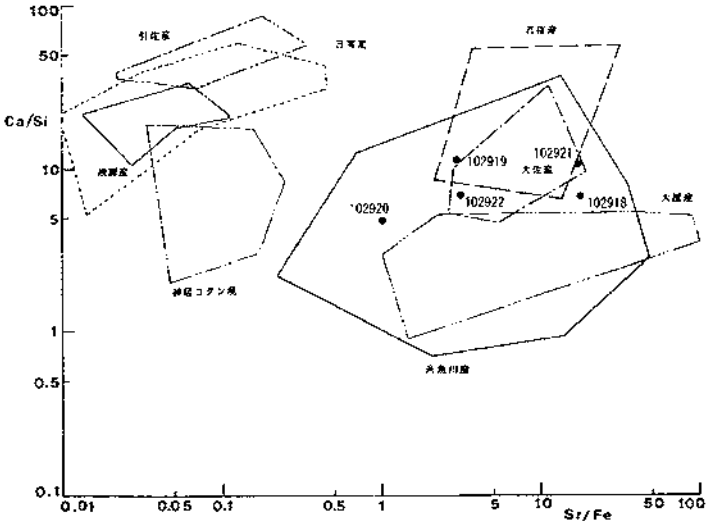


図188　中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布

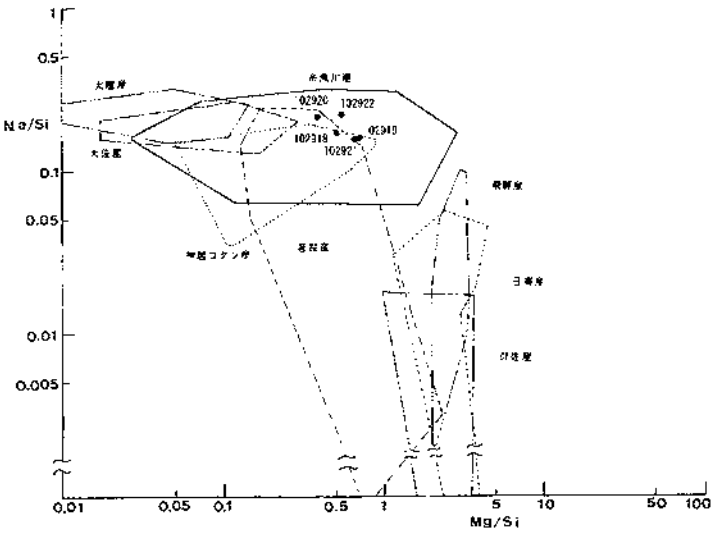


図189　中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布

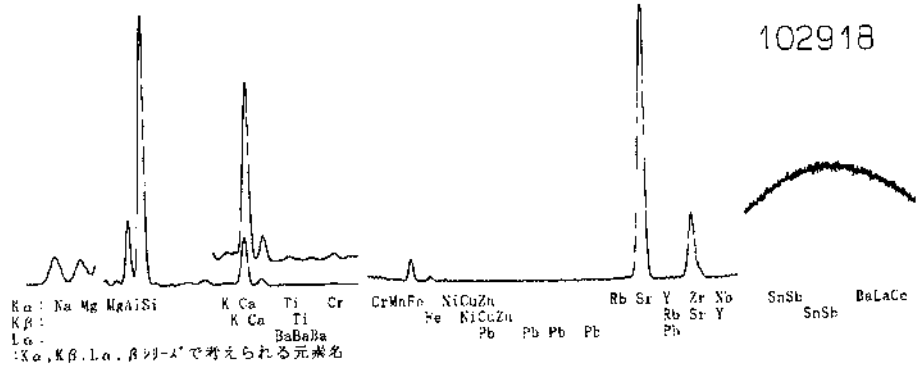


図190　中原遺跡出土硬玉製勾玉１　（102918）の蛍光X線スペクトル

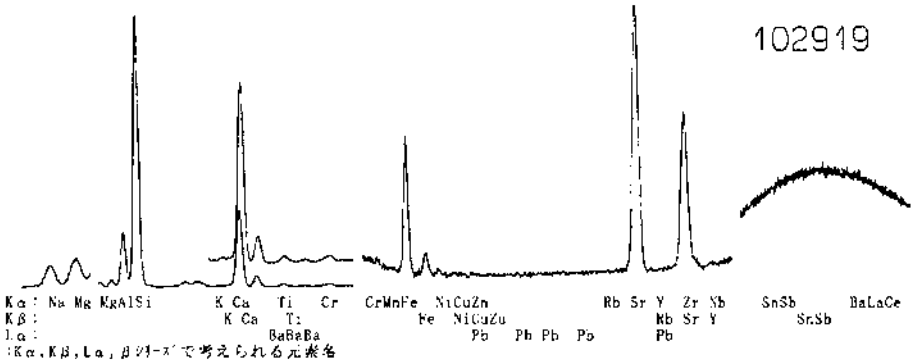


図191　中原遺跡出土硬玉製勾玉２　（102919）の蛍光X線スペクトル

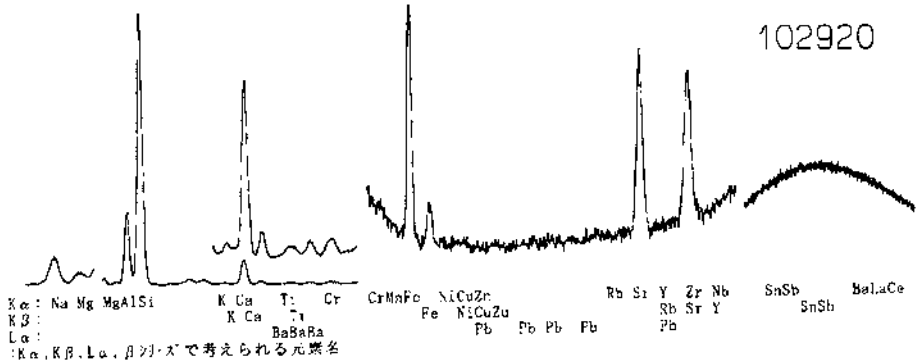


図192　中原遺跡出土硬玉製勾玉31　（102920）の蛍光X線スペクトル

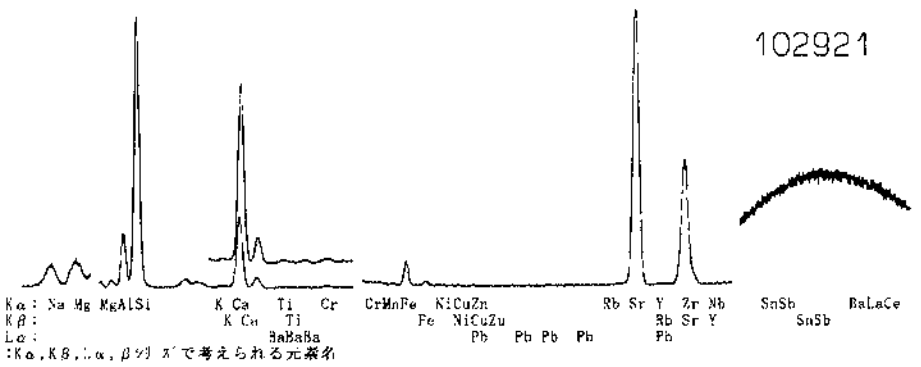


図193　中原遺跡出土硬玉製勾玉32　（102921）の蛍光X線スペクトル

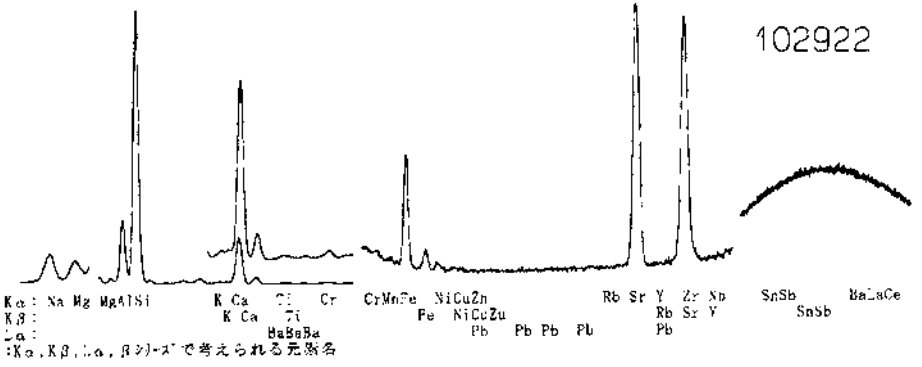


図194　中原遺跡出土硬玉製勾玉91　（102922）の蛍光X線スペクトル

表64　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)

原産地名	分析個数	蛍光X線法による元素比の範囲					
		比重	K/Ca	Ti/Ca	Sr/Fe	Zr/Sr	Ca/Si
糸魚川産	41	3.00～3.35	0.01～0.17	0.01～0.56	0.15～30	0.00～2.94	0.72～27.6
若桜産	12	3.12～3.29	0.01～0.91	0.03～0.59	3.45～47	0.00～0.25	4.33～48.4
大佐産	20	2.85～3.17	0.01～0.07	0.00～1.01	3.18～61	0.00～12.4	3.47～28.6
長崎産	3	3.16～3.23	0.01～0.14	0.17～0.33	0.02～0.06	4.30～16.0	
日高産	22	2.98～3.29	0.00～0.01	0.00～0.02	0.00～0.37	0.00～0.063	5.92～51.6
引佐産	8	3.15～3.36	0.04～0.04	0.00～0.03	0.03～0.33	0.00～0.018	36.3～65.9
大屋産	18	2.96～3.19	0.03～0.08	0.04～0.16	1.08～79	0.02～0.48	0.95～4.81
神居コタン産	9	2.95～3.19	0.02～0.49	0.09～0.17	0.04～0.22	0.12～0.85	2.22～17.3
飛騨産	40	2.85～3.15	0.01～0.04	0.00～0.00	0.02～0.10	0.00～1.24	12.7～28.5
ミャンマー産	26	3.15～3.36	0.02～0.14	0.01～0.26	0.09～2.5	0.01～23	
台湾産	1	3.00	0.003	ND	ND	ND	

ND：検出限界以下の濃度

表65　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)

原産地名	蛍光X線法による分析元素（各元素が確認できた個体数の百分率）							
	Cr	Mn	Rb	Y	Nb	Ba	La	Ce
糸魚川産	26%	6%	20%	ND	13%	33%	ND	ND
若桜産	ND	ND	16%	ND	100%	100%	67%	67%
大佐産	ND	ND	44%	ND	33%	100%	67%	67%
長崎産	ND	ND	ND	100%	100%	100%	100%	100%
日高産	tr	tr	ND	ND	ND	tr	ND	ND
引佐産	88%	75%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大屋産	tr	ND	31%	ND	6%	90%	100%	100%
神居コタン産	ND	100%	22%	100%	ND	55%	ND	ND
飛騨産	100%	100%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
ミャンマー産	13%	4%	ND	ND	ND	35%	ND	ND
台湾産	tr	tr	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND：検出限界以下　　tr：検出確認

表66　中原遺跡出土勾玉の非破壊分析化合物元素濃度

遺物器種	遺物番号	分析番号	化合物元素組成（%/wt）								
			Na_2O	MgO	Al_2O_3	SiO_2	K_2O	CaO	TiO_2	Cr	MnO
勾玉	1	102918	12.184	2.670	21.327	60.068	0.154	3.009	0.037	0.003	0.021
勾玉	2	102919	9.646	1.668	7.708	70.049	0.233	8.768	0.228	0.018	0.028
勾玉	31	102920	11.569	0.658	16.693	67.360	0.154	2.492	0.058	0.011	0.027
勾玉	32	102921	7.955	6.298	6.842	65.464	0.240	10.849	0.177	0.021	0.028
勾玉	91	102922	11.779	2.954	21.570	59.594	0.142	3.334	0.031	0.006	0.022

分析番号	化合物元素組成（%/wt）							重量gr	比重
	Fe_2O_3	Ni	Rb	Sr	Y	Zr	Ba		
102918	0.387	0.013	0.000	0.120	0.000	0.000	0.000	8.46435	3.328
102919	1.459	0.040	0.000	0.106	0.000	0.037	0.002	0.70994	3.302
102920	0.908	0.023	0.000	0.018	0.000	0.013	0.001	0.87458	3.323
102921	1.087	0.094	0.002	0.717	0.001	0.208	0.001	0.78975	3.327
102922	0.462	0.021	0.000	0.063	0.000	0.021	0.000	14.82086	3.328

表67　中原遺跡出土勾玉の元素比の値の結果

遺物器種	遺物番号	分析番号	元素分析値の比の値																	試料比重	試料重量(g)
			Na/Si	Mg/Si	Al/Si	K/Ca	Ca/Si	Ti/Ca	Cr/Fe	Mn/Fe	Ni/Fe	Sr/Fe	Zr/Sr	Nb/Sr	Ba/Sr	La/Sr	Ce/Sr	Rb/Sr	Y/Sr		
勾玉	1	102918	0.173	0.526	0.160	0.050	7.683	0.020	0.007	0.039	0.054	17.246	0.034	0.000	0.020	0.000	0.000	0.000	0.000	3.328	8.46435
勾玉	2	102919	0.158	0.697	0.140	0.020	12.243	0.040	0.006	0.013	0.026	2.720	0.238	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.302	0.70994
勾玉	31	102920	0.211	0.371	0.180	0.040	3.968	0.080	0.008	0.026	0.039	0.985	0.401	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010	0.000	3.323	0.87458
勾玉	32	102921	0.160	0.646	0.130	0.000	11.450	0.020	0.004	0.017	0.039	16.312	0.169	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.327	0.78975
勾玉	91	102922	0.225	0.566	0.160	0.050	7.453	0.020	0.007	0.026	0.042	3.201	0.425	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.328	14.82086
JG-1			0.030	0.169	0.090	1.320	2.307	0.180	0.002	0.011	0.000	0.401	0.798	0.050	6.020	0.000	0.000	0.770	0.150		

a)：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. *Geochemical Journal*, Vol. 8 175-192.

表68　中原遺跡出土ヒスイ製勾玉の原材産地分析結果

遺物器種	遺物番号	分析番号	各分類基準による判定				総合判定	比重
			図５判定	図６判定	図７判定	比重＆基準(2)		
勾玉	1	102918	IT,WK,OS	IT	IT,KM,WK	IT,IN	糸魚川産(ミャンマー産でない)	3.328
勾玉	2	102919	IT,OY,OS	IT,WK	IT.KM	IT,IN	糸魚川産(ミャンマー産でない)	3.302
勾玉	31	102920	IT	IT	IT,WK	IT,IN	糸魚川産	3.323
勾玉	32	102921	IT,OS,OY	IT,OS	IT,KM	IT,IN	糸魚川産(ミャンマー産でない)	3.327
勾玉	91	102922	IT,OY,OS	IT,OS	IT	IT,IN	糸魚川産(ミャンマー産でない)	3.328

IT：糸魚川　WK：若桜　OS：大佐　NG：長崎　HK：日高　IN：引佐　OY：大屋　KM：神居コタン　HD：飛騨

注：Ni/Fe比は日高産地および飛騨産地に同時に帰属された遺物の分類指標

（飛騨産原石、42個の平均値±標準偏差）Ni/Fe=0.091±0.030

（日高産原石、14個の平均値±標準偏差）Ni/Fe=0.065±0.028

⑶ 碧玉製玉類の原材産地分析

今回、佐賀県唐津市大字中原に位置する中原遺跡出土の管玉94個について原産地分析を行った。以下に分析結果について報告を行う。

①碧玉原石の蛍光Ｘ線分析

碧玉の蛍光Ｘ線スペクトルの例として島根県、花仙山産原石を図195に示す。猿八産、玉谷産の原石から検出される蛍光Ｘ線ピークも異同はあるものの図195で示されるピークは観測される。土岐、興部の産地の碧玉は鉄の含有量が他の産地のものに比べて大きいのが特徴である。産地分析に用いる元素比組成は、Al/Si、K/Si、Ca/K、Ti/K、K/Fe、Rb/Fe、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zrである。Mn/Fe、Ti/Fe、Nb/Zrの元素比は非常に小さく、小さい試料の場合測定誤差が大きくなるので定量的な判定の指標とはせず、判定のときに、Ba、La、Ceのピーク値とともに、定性的に原材産地を判定する指標として用いている。

②碧玉の原産地と原石の分析結果

分析した碧玉の原石の原産地を図196に示す。佐渡猿八原産地は、①新潟県佐渡郡畑野町猿八地区で、産出する原石は地元で青玉と呼ばれている緑色系の石で、良質なものは割れ面がガラス光沢を示し、質の良くないものは光沢の少ないグリーンタフ的なものである。産出量は豊富であったらしく採石跡が何ケ所か見られる。今回分析した原石は猿八の各地点から表採したもの、および地元で提供された原石などであり、また提供されたものの中には露頭から得られたものがあり、それはグリーンタフ層の間に約７㎝幅の良質の碧玉層が挟まれた原石であった。分析した原石の比重と個数は、比重が2.6～2.5の間のものは31個、2.5～2.4の間は５個の合計36個で、この中には、茶色の碧玉も２個含まれている。原石の比重が2.6～2.3の範囲で違っても、碧玉の色が茶色、緑色、また、茶系色と緑系色の縞があるなど、多少色の違いがあっても分析した元素組成上には大きな差はみられなかった。出雲の花仙山は近世まで採掘が行われた原産地で、所在地は②島根県八束郡玉湯町玉造温泉地域である。横屋堀地区から産出する原石は､濃緑色から緑色の緻密で剥離面が光沢をもつ良質の碧玉から淡緑色から淡白色などいろいろで、他に硬度が低そうなグリーンタフの様な原石も見られる。良質な原石の比重は2.5以上あり、質が悪くなるにしたがって比重は連続的に2.2まで低くなる。分析した原石は、比重が2.619～2.600の間のものは10個、2.599～2.500は18個、2.499～2.400は７個、2.399～2.300は11個、2.299～2.200は11個、2.199～2.104は３個の合計60個である。比重から考えると碧玉からグリーンタフまでの領域のものが分析されているのがわかる。これら花仙山周辺の面白谷、瑪瑙公園、くらさこ地区などから原石を採取し元素組成の似た原石で、くらさこ群、面白谷瑪瑙群、花仙山凝灰岩群などを作った。玉谷原産地は、③兵庫県豊岡市辻、八代谷、日高町玉谷地域で産出する碧玉の色、石質などは肉眼では花仙山産の原石と全く区別がつかない。また、原石の中には緑系色に茶系色が混じるものもみられ、これは佐渡猿八産原石の同質のものに非常によく似ている。比重も2.6以上あり、質は花仙山産、佐渡猿八産原石より緻密で優れた感じのものもみられる。この様な良質の碧玉の採取は、産出量も少ないことから長時間をかけて注意深く行う必要がある。分析した玉谷産原石は、比重が2.644～2.600は23個、2.599～2.589は４個の合計27個で、玉谷産原石は色の違いによる元素組成の差はみられなかった。また、玉谷原石と一致する元素組成の原石は日高町八代谷、石井、アンラクなどで採取できる。二俣原産地は、④石川県金沢市二俣町地域で、原石は二俣川の河原で採取できる。二俣川の源流は医王山であることから露頭は医王山に存在する可能性がある。ここの河原で見られる碧玉原石は、大部分がグリーンタフ中に層状、レンズ状に非常に緻密な部分として見られる。分析した４個の原石の中で､３個は同一塊から３分割したもので、

１個は別の塊からのもので、前者の３個の比重は2.42で後者は2.34である。また元素組成は他の産地のものと異なっており区別できる。しかし、この４個が二俣原産地から産出する碧玉原石の特徴を代表しているかどうか検証するために、さらに分析個数を増やす必要がある。細入村の産地は、⑤富山県婦負郡細入村割山定座岩地区にあり、そのグリーンタフの岩脈に団塊として緻密な濃緑の碧玉質の部分が見られる。それは肉眼では他の産地の碧玉と区別できず、また、出土する碧玉製の玉類とも非常に似た石質である。しかし、比重を分析した８個は2.25～2.12と非常に軽く、この比重の値で他の原産地と区別できる場合が多い。土岐原産地は、⑥愛知県土岐市地域であり、そこでは赤色、黄色、緑色などが混じり合った原石が産出している。このうち緻密な光沢のよい濃緑色で比重が2.62～2.60の原石を碧玉として11個分析を行った。ここの原石は鉄の含有量が非常に大きく、カリウム含有量が小さいという特徴を持ち、この元素比の値で他の原産地と区別できる。興部産地は、⑦北海道紋別郡西興部村にあり、その碧玉原石は鉄の含有量が非常に高く、他の原産地と区別する指標になっている。また、比重が2.6以下のものはなく遺物の産地を特定する指標として重要である。石戸の産地は、⑧兵庫県氷上郡山南町地区にあり、その安山岩に脈岩として採取されるが産出量は非常に少ない。また元素組成から他の産地の碧玉と区別できる。⑨北海道富良野市の空知川流域から採取される碧玉は濃い緑色で比重が2.6以上が４個、2.6～2.5が５個、2.5～2.4が５個である。その碧玉の露頭は不明で河原の礫から採取するため、短時間で良質のもの碧玉を多数収集することは困難である。また元素組成から他の産地の碧玉と区別できる。⑩北海道上磯郡上磯町の茂辺地川の川原で採取される碧玉は不均一な色の物が多く、管玉に使用できる色の均一な部分を大きく取り出せる原石は少ない。⑪石川県小松市菩提、那谷に緑色凝灰岩の露頭があり、その中に緻密な碧玉が包含されている。産出量は少ないが良質の碧玉が菩提川、宇田川から採取される。この河床から採取された碧玉の中に、女代南Ｂ遺物群に一致する元素組成の碧玉が含まれる。⑫大分県九重町・九重町歴史民族資料館付近から緻密で比重が2.1～2.2の淡緑色～緑色系、茶褐色系などの凝灰岩が採取され、玉材の可能性も推測される。これら原石を原産地ごとに統計処理を行い、元素比の平均値と標準偏差値をもとめて母集団を作り合計37個を表69に示す。各母集団に原産地名を付けてその産地の原石群として、例えば原産地名が花仙山の場合、花仙山群と呼ぶことにする。花仙山群は比重によって２個の群に分けて表に示したが比重は異なっても元素組成に大きな違いはみられない。したがって、統計処理は一緒にして行い、花仙山群として取り扱った。原石群とは異なるが、例えば、豊岡市女代南遺跡で主体的に使用されている原石産地不明の碧玉製玉類の原材料で、玉作り工程途中の遺物が多数出土している。当初、原石産地を探索すると言う目的で、これら玉、玉材遺物で作った女代南Ｂ（女代Ｂ）群であるが、同質の材料で作られた可能性がある玉類は最近の分析結果で日本全土に分布していることが明らかになってきた。宇木汲田遺跡で採取された産地不明の管玉の中で相互に似た元素組成のものを集めて未定Ｃ（未定（Ｃ））群を作った。また、岐阜県可児市の長塚古墳出土の管玉で作った長塚⑴、⑵遺物群、多摩ニュータウン遺跡、梅田古墳群、上ノ段遺跡、梅田東古墳群、新方遺跡などから出土した玉類および玉材剥片でそれぞれ遺物群を作り他の遺跡、墳墓から出土する玉類に組成が一致するか定量的に判定できるようにし、現在遺物群は合計245個になり、これら遺物群を表70～76に示した。この他、鳥取県の福部村多鯰池、鳥取市防己尾岬などの自然露頭からの原石を４個分析した。比重は2.6以上あり元素比組成は、興部、玉谷、土岐石に似るが、他の原産地の原石とは組成で区別される。また、緑系の原石ではない。最近、兵庫県香住町の海岸から採取された親指大１個の碧玉様の玉材は貝殻状剥離がみられる緻密な石質で少し青っぽい緑の石材で玉の原材料になると思われる。この玉材の蛍光Ｘ線分析の結果では、興部産碧玉に似ているが、ESR信号および比重（2.35）が異なっているため、興部産碧

玉と区別ができる。

③中原遺跡出土管玉と国内産碧玉原材との比較

遺跡から出土した玉材は表面の泥を超音波洗浄器で水洗いするだけの完全な非破壊分析で行っている。遺物の原材産地の同定をするために、⑴蛍光Ｘ線分析法で求めた原石群と碧玉製遺物の分析結果を数理統計の手法を用いて比較をする定量的な判定法で行なう。⑵また、ESR分析法により各産地の原石の信号と遺物のそれを比較して、似た信号の原石の産地の原材であると推測する方法も応用した。

④蛍光Ｘ線分析法による産地分析

管玉の比重をアルキメデス法により求め、また蛍光Ｘ線分析法によって元素組成比を求めて結果を表２に示し、蛍光Ｘ線スペクトルを図197～290に示す。分析した管玉は肉眼観察では緻密で、比重は2.5以上あり、碧玉か緑色凝灰岩かの判断の目安としている緻密で比重の値が2.4以上を碧玉とし、2.4以下を緑色凝灰岩としていることから、分析した管玉を碧玉製と判定した。管玉の蛍光Ｘ線スペクトルの中で、分析番号102930～102933、102935、102938,102940、102941、103992、104010、104020番には青銅器遺物により汚染された思われる鉛（Pb）、銅（Cu）元素のピークが検出され、Pb元素の一部がイットリウム（Ｙ）元素のＫαピークと重なって、この重なりから、鉛ピークの影響を取り除き、Ｙ元素の含有量を求めるが、Pbのピークの大きな場合は完全には取り除けず、Ｙ元素の分析値には産地分析の結果の確率値に影響を与えている可能性がある。管玉の原材産地を特定するために、元素比結果を各原石・遺物群（表１）に対しておのおの数理統計のマハラノビスの距離を求め、それらの結果を用いてホテリングT2乗検定[6)]による同定をおこなったところ、信頼限界の0.1％以上の確率で各遺物群に同定された遺物を表３に示す。女代南Ｂ遺物群または菩提産原石に一致する遺物は、分析番号102924～102926、102928～102934、102936～102942、102944～102948、102951～102956、102951～102956、102958～102960、102962～102968、102972、102978、102989、102990、102993、102997～103002、103004～103007、103984、103986～103999、104001、104005、104007～104012、104014～104021番の87個で、分析番号102927、102935、102943、102970、102971、102974、102976～102980、102982、102984～102988、102991、102992、102994～102996、103003、103012～103015、103017、103985、104022番の30個は未定Ｃ遺物群に同定された。また、分析番号104000番は玉谷産原石と同定された。分析番号102957、102961番は地方Ｂ遺物群に、102975番は田能Ｄ遺物群、102981、103011、103016番は持田３、菜畑遺物群、103010番は持田２遺物群にそれぞれ一致した。また、102949、102950、102969、103008、103009、104013番の遺物は表１の原石・遺物群の何処の群にも信頼限界の0.1％以上の確率で同定されず、これら遺物の分析場所を変えながら40回以上分析し、統計処理ができるようにして、分析番号102949番の遺物で中原426遺物群、102950番で中原438遺物群、102969番で中原466遺物群、103008番で中原560遺物群、103009番で中原561遺物群、104006番で中原55番、104013番で中原65遺物群をそれぞれ作り、同質の管玉・玉材が他の遺跡で使用されているとき、判定できるように表69の原石・遺物群に登録した。より産地を正確に特定するために、蛍光Ｘ線分析法で同定された遺物の結果がESR分析の結果と一致するかESR分析を行った。

⑤ESR法による産地分析

ESR分析は碧玉原石に含有されているイオンとか、碧玉が自然界からの放射線を受けてできた色中心などの常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した。ESRの測定は完全な非破壊分析であり、直径が11㎜以下の管玉なら分析は可能で、小さい物は胡麻粒大のものでも分析ができる場合がある。図330⑴のESRのスペクトルは、幅広く磁場掃引したときに得られた信号スペクトルで、ｇ値が4.3の小さな信号（Ⅰ）は鉄イオンによる信号で、ｇ値が２付近の幅の広

い信号（Ⅱ）と何本かの幅の狭いピーク群からなる信号（Ⅲ）で構成されている。図330⑴では、信号（Ⅱ）より信号（Ⅲ）の信号の高さが高く、図330⑵、-⑶の二俣、細入原石ではこの高さが逆になっているため、原石産地の判定の指標に利用できる。各原産地の原石の信号（Ⅲ）の信号の形は産地ごとに違いがあり産地分析の指標となる。図331には花仙山、猿八、玉谷、土岐を示し、図332には興部、石戸、八代谷-4、女代Ｂ遺物群、八代谷を示し、そして図333には富良野市空知川の空知（Ａ）、（Ｂ）、北海道今金町花石および茂辺地川の各原石の代表的な信号（Ⅲ）のスペクトルを示した。また、図334には宇木汲田遺跡の管玉で作った未定Ｃ形と未定Ｄ形およびグリーンタフ製管玉によく見られる不明Ｅ形を示した。ESR分析では碧玉のESR信号の形が、あらかじめESR分析している原石、および産地不明遺物群のESR信号形と一致した場合、そこの産地の可能性が大きいことを示唆している。今回分析した中原遺跡出土管玉のESR信号を図335～342に示す。蛍光Ｘ線分析法で女代南Ｂ遺物群または菩提産原石に一致する遺物は、女代南Ｂ形を示し、中原466、55、65遺物群の３個は102969番の管玉のESR信号（Ⅲ）の形も女代南Ｂ形で、同じ形は菩提・那谷産地の原石で確認されている。また、104000番の管玉は、ESR信号Ⅲは女代南Ｂ形と酷似する玉谷形である。未定Ｃ遺物群に同定された遺物は未定Ｃ形に一致した。中原426遺物群（102949番）、中原560遺物群（103008番）は未定Ｃ形が崩れた形と推測し、中原438遺物群（102950番）、中原561遺物群（103009番）および田能Ｄ遺物群に一致した102975番、持田３遺物群に一致した102981、103016番、持田２遺物群に一致する103010番は未定Ｃ形に一致し、菜畑遺物群に一致した管玉も未定Ｃ形であった。また中原55遺物群と中原65遺物群のESR信号は崩れ菜畑形であった。より正確な原石産地を推測するために蛍光Ｘ線分析の結果と組み合わせ総合判定として、両方法でともに同じ原産地に特定された場合は、蛍光Ｘ線の元素分析のみで判定した原石・遺物群産地よりも正確に、そこの原石・遺物群と同じものが使用されているとして総合判定原石産地の欄に結果（表79、80）を記した。

⑥結　論

分析した管玉の中で、蛍光Ｘ線分析法、ESR分析の両分析結果が女代南Ｂ遺物群または菩提産原石に一致する87個の管玉および分析番号102957、102961番は石川県、八日市地方遺跡の遺物で作った地方Ｂ遺物群に一致し、ESR分析結果も女代南Ｂ形で、この２個の管玉の原石産地も菩提ー那谷原産地に近いところに存在すると推測している。また、分析番号104000番の管玉は蛍光Ｘ線分析、ESR両分析法で玉谷産と同定された。中原466遺物群（102969番）中原55遺物群（104006番）、中原65遺物群（104016番）の管玉ではESR信号（Ⅲ）形が女代南Ｂ形で、菩提・那谷産地の可能性が推測されるが、原石産地は特定はできなかった。蛍光Ｘ線分析法、ESR分析の両分析結果が未定Ｃ遺物群に同定された31個の管玉は韓半島から伝播した管玉と判定した[7)]。また、蛍光Ｘ線分析法で田能Ｄ遺物群に一致した102975番、持田３遺物群に一致した102981、103016番、持田２遺物群に一致する103010番および菜畑遺物群に一致した103011、103015番の管玉の同定された遺物のESR分析は未定Ｃ形に一致した。これら田能Ｄ、持田３、持田２、菜畑遺物群の各遺跡では韓半島から伝播した未定Ｃ遺物群の管玉が多用された遺跡で、102975、102981、103016、103010、103015番の管玉も韓半島から伝搬した可能性が高いと思われる。蛍光Ｘ線分析法で中原426遺物群（102949番）、中原438遺物群（102950番）、中原561遺物群（103009番）は中原遺物諸群以外に信頼限界の0.1％に達する原石・遺物群は見られなかったが、確率は低いが、102949番は韓国製管玉が多用されている持田３丁目遺跡の管玉で作った持田２遺物群に（0.001％）で同定され、また、102950番は未定Ｃ遺物群に（0.006％）に、103009番は未定Ｃ遺物群（0.0001％）に同定されていて、ESR分析の結果も未定Ｃ形系であることから、この３個も韓国製と推測している。また、中原560遺物群（103008番）は国産か、韓半島産か判定できなかった。未定Ｃ群に色調が似ていると考古学者から指摘さ

れた緑色凝灰岩で、古賀市教育委員会の井英明氏により調査された熊本、大分県境の九重産地から採取される緑色凝灰岩は、分析した管玉と元素分析では一致しなかった。参考資料として、調査された遺跡で使用されている玉材などの分析結果を紹介する。蛍光X線分析法で韓国から管玉製品が輸入された未定C遺物群に一致する管玉は、弥生時代草創期の菜畑遺跡、弥生時代初期の兵庫県・本山遺跡にみられる菜畑形ESR信号、そして宇木汲田遺跡、持田三丁目遺跡にみられる未定（C）形ESR信号、古墳時代前期の紫金山形ESR信号に大別できそうである。女代南B群は弥生時代を中心に使用された原石で、豊岡市の女代南遺跡の中期の玉作り過程の石片、滋賀県の筑摩佃、立花遺跡出土の管玉、神戸市の玉津田中遺跡の中期の石片、管玉には玉谷産と共に使用されていた。京都府の日吉ヶ丘遺跡で使用され、余部遺跡の剥片には玉谷産原石が使用されている。関東地方では埼玉県蓮田市宿下遺跡、東海地方では、清洲町朝日遺跡、新城市大宮の大ノ木遺跡の弥生時代の管玉に、畿内地域では東大阪市の、鬼虎川、巨摩、亀井、久宝寺北、久宝寺南遺跡で、また中国地方では、作用町の長尾・沖田遺跡の中期末の管玉、総社市の南溝手遺跡出土の弥生前期末～中期初頭の玉材、岡山市の百間川原尾島遺跡出土の管玉、岡山県川上村下郷原和田遺跡の管玉、鳥取県羽合町の長瀬高浜遺跡の中期中葉の管玉、米子市の御建山遺跡尾高19号墳第２主体部出土の管玉、東広島市の西本６号遺跡の管玉に使用されている。四国地方では徳島県板野町の蓮華谷古墳群Ⅱ、２号墳、３世紀末の管玉、香川県善通寺市の彼ノ宗遺跡の末期の管玉に使用され、九州地方では、多久市牟田辺遺跡の中期の管玉、また宇木汲田遺跡の管玉に使用されていた。また、続縄文時代には北海道の上磯町茂別遺跡、余市大川遺跡、千歳市キウス遺跡にまで伝播し、女代南B群の原石は糸魚川産ヒスイに匹敵する広い分布圏を示している。南溝手遺跡の中期前葉の管玉片には、唐津市の宇木汲田遺跡の管玉で作った未定C群の原石が使用され、この未定C群は坂出市の龍川・五条遺跡の管玉、今治市の持田町３丁目遺跡の前期の管玉、大和町の尼寺一本松遺跡の管玉、多久市牟田辺遺跡の中期の管玉、吉野ヶ里遺跡の南西サブトレンチ出土の管玉に使用されている。また、吹上遺跡でも使用されている猿八産原石は弥生時代に主に使用され、北海道余市町の大川遺跡および茂別遺跡の続縄文時代では女代南B群原石の管玉と共に使用され、江別市の大麻22遺跡出土の続縄文（後北C1式）の管玉に、七飯町の大中山13遺跡（続縄文）出土の管玉に使用され、佐渡島以北で主に使用されていることが明らかになっている。西日本では、鳥取県の高瀬長浜遺跡では女代南B群と同時に猿八産碧玉が使用されているにすぎない。これら佐渡産碧玉、那谷−菩提産碧玉、女代南B群の原石は、これら玉類の使用圏からみて、日本海を交易ルートとし遠距離に伝播したと推測され、伝播には遺跡をリレー式に伝わる場合、また、産地から遠距離の遺跡に直接到達する場合などが考えられる。未定C群は、最近の予備的な実験で朝日遺跡で使用されている可能性が推測されたことから、未定C群の管玉が韓国で作られ、西北九州地方および瀬戸内海ルートを通って伊予、備前、讃岐へ流入し現在の東進の限界になっている。朝日遺跡での使用が確実になれば、播磨、摂津、大和、近江を飛び越え、尾張の朝日遺跡に伝播したことが明らかになり東進の限界が一気に300㎞延びる可能性がでている（図196）。花仙山産原石は弥生後期に笠見第３遺跡で使用されているが、大半は、北陸産と推測している女代南B遺物群が搬入されている。これは遺跡から近い産地が多用されるとはかぎらないことを示し、先史の交易を推測する貴重な例と思われる。玉類の産地分析の困難さは原石の入手で、産地同定を定量的に行う場合、統計処理の母集団（原石群）を作り、原石群の組成の変動を評価するため多数の原石が必要で、女代南B遺物群を作る遺物の一部は菩提・那谷産地に一致するが、全ての組成の遺物を菩提・那谷地区に存在するか調査を深めていく必要がある。また、未定C群、不明の管玉などの原石産地を明らかにし、これら不明遺物群の原石群を作ること、また、玉類に使用されている産地の原石が多い方が、その産地地方との文化交流が

強いと推測できることから、日本各地の遺跡から出土する貴重な管玉を数多く分析することが重要で、是非とも各地の遺跡の詳細な碧玉製遺物の科学的調査が必要であるが現在調査が殆ど進んでいないのが現状で、国庫補助での発掘調査には必ず科学的調査も加えるべきだと思う。今回行った産地分析は完全な非破壊で、玉類、碧玉産地に関する小さな情報であっても御提供頂ければ研究はさらに前進すると思われる。

参考文献

1) 茅原一也（1964)、長者が原遺跡産のヒスイ（翡翠）について（概報). 長者ケ原､新潟県糸魚川市教育委員会：63-73
2) 藁科哲男・東村武信（1987)、ヒスイの産地分析｡富山市考古資料館紀要6 ：1-18
3) 藁科哲男・東村武信（1990)、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析. 橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』, 14：95-109
4) 藁科哲男･東村武信（1983)、石器原材の産地分析｡考古学と自然科学,16：59-89
5) Tetsuo Warashina (1992)、Alloction of Jasper Archeological Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19：357-373
6) 東村武信（1976)、産地推定における統計的手法. 考古学と自然科学, 9：77-90
7) 李弘鍾・朴淳發・朴天秀・朴升圭・李在煥・金大煥・藁科哲男・中村大介（2008)、「韓半島における玉類の理化學的分析と流通」第17回湖西考古學會学術大会発表要旨、96-137

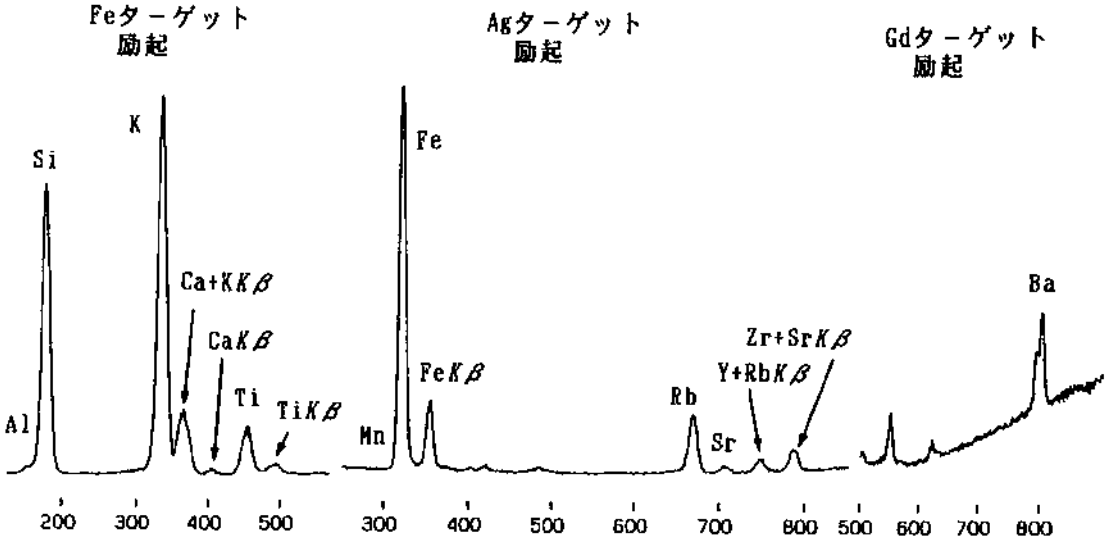


図195　花仙山産碧玉原石の蛍光X線スペクトル

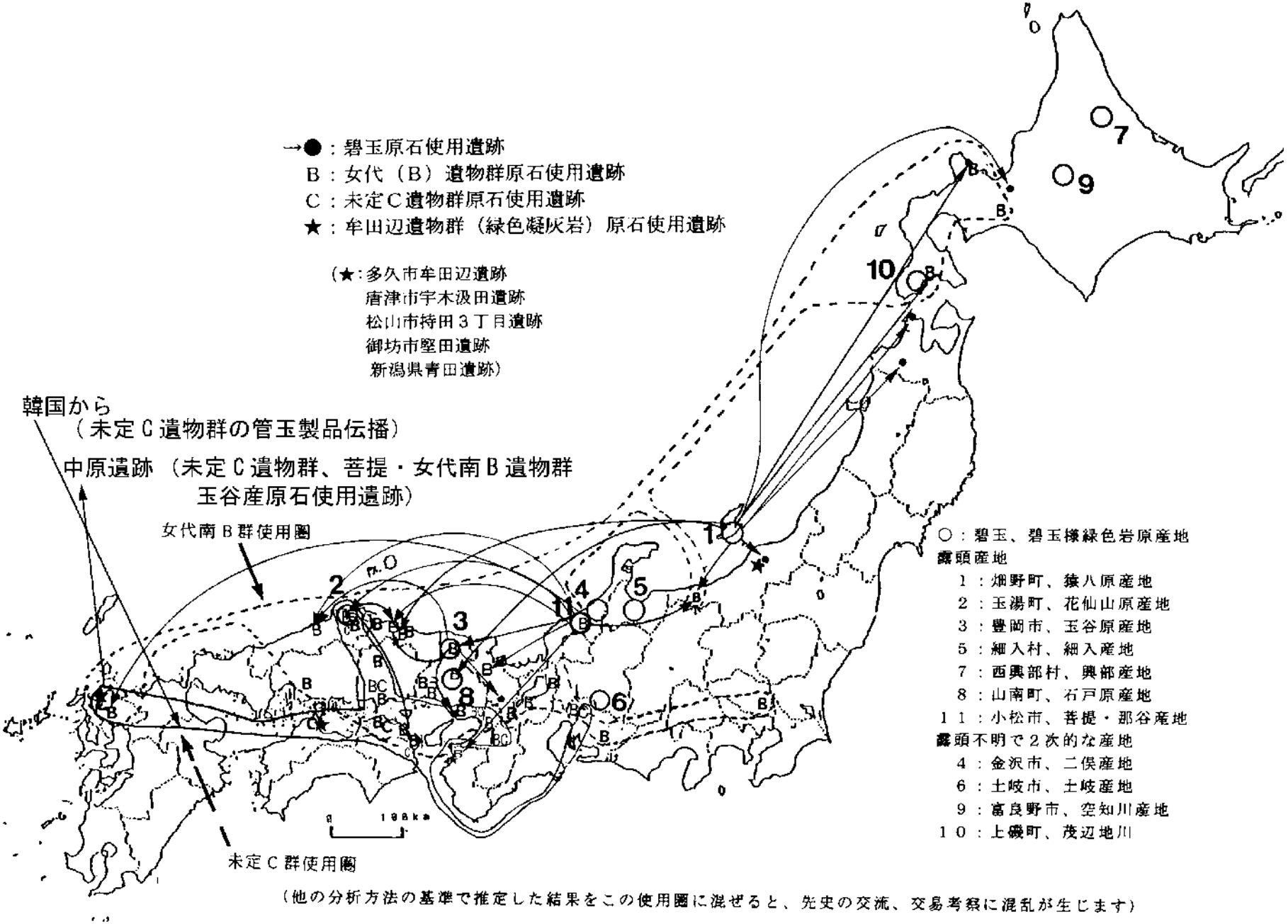


図196　弥生（続縄文）時代の碧玉製、緑色疑灰岩製玉類の原材使用分布圏および碧玉・碧玉様岩の原産地

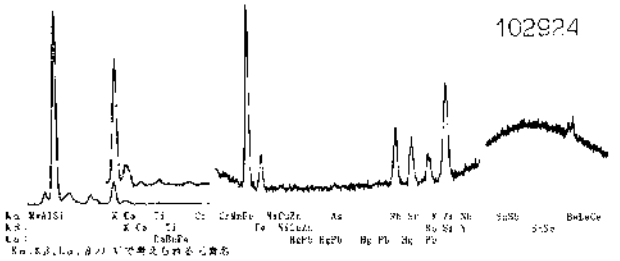


図197　中原遺跡出土碧玉製管玉56 （102924）の蛍光X線スペクトル

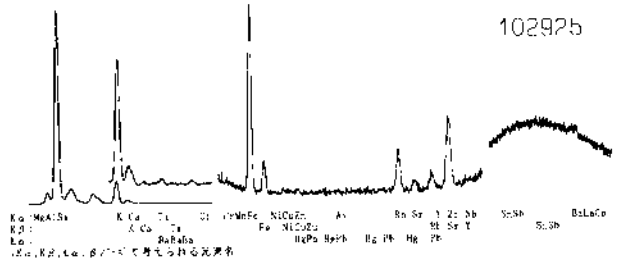


図198　中原遺跡出土碧玉製管玉57 （102925）の蛍光X線スペクトル

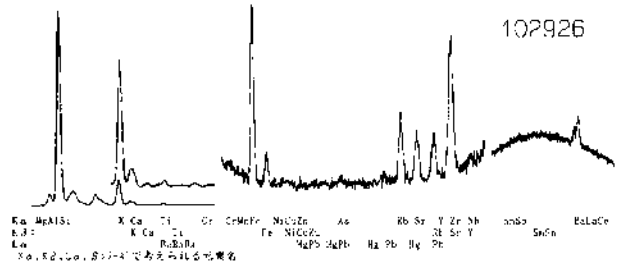


図199　中原遺跡出土碧玉製管玉58 （102926）の蛍光X線スペクトル

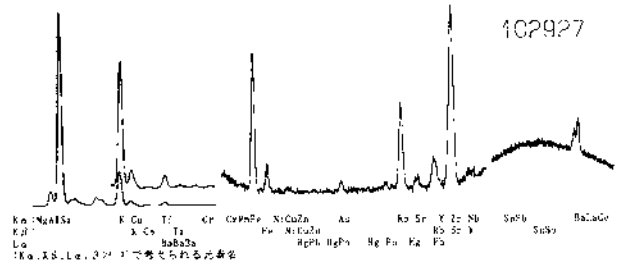


図200　中原遺跡出土碧玉製管玉59 （102927）の蛍光X線スペクトル

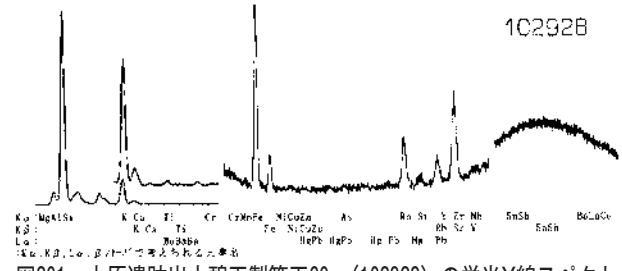


図201　中原遺跡出土碧玉製管玉60 （102928）の蛍光X線スペクトル

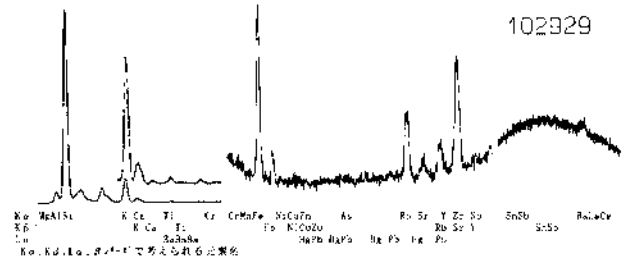


図202　中原遺跡出土碧玉製管玉61 （102929）の蛍光X線スペクトル

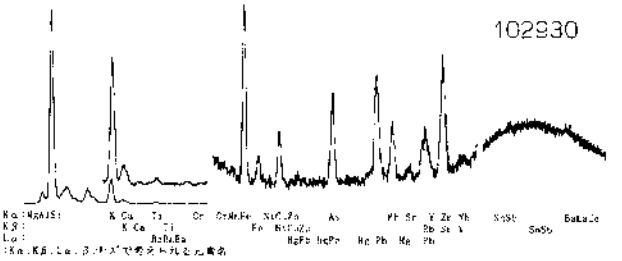


図203　中原遺跡出土碧玉製管玉235 （102930）の蛍光X線スペクトル

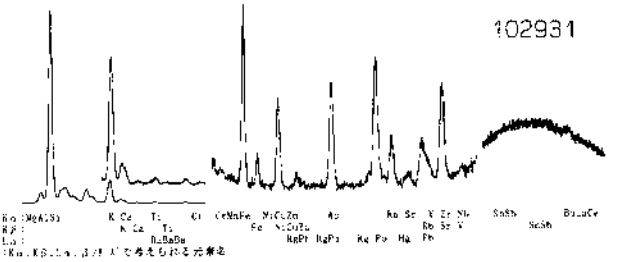


図204　中原遺跡出土碧玉製管玉236 （102931）の蛍光X線スペクトル

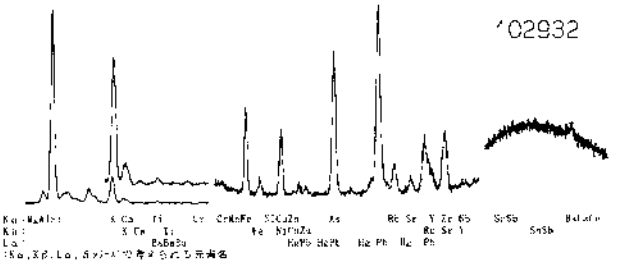


図205　中原遺跡出土碧玉製管玉237 （102932）の蛍光X線スペクトル

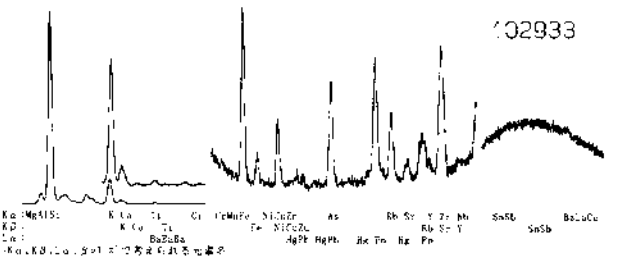


図206　中原遺跡出土碧玉製管玉238 （102933）の蛍光X線スペクトル

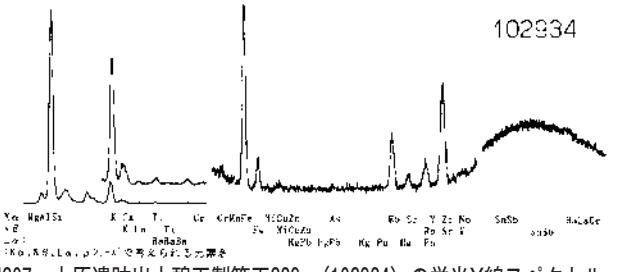


図207　中原遺跡出土碧玉製管玉239 （102934）の蛍光X線スペクトル

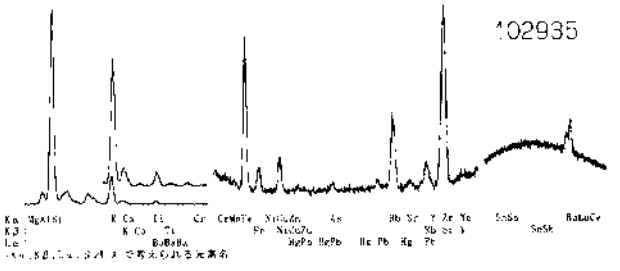


図208　中原遺跡出土碧玉製管玉240 （102935）の蛍光X線スペクトル

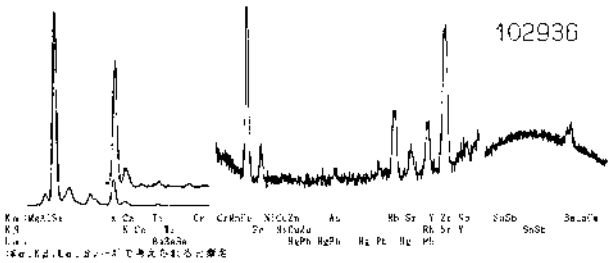


図209　中原遺跡出土碧玉製管玉241 （102936）の蛍光X線スペクトル

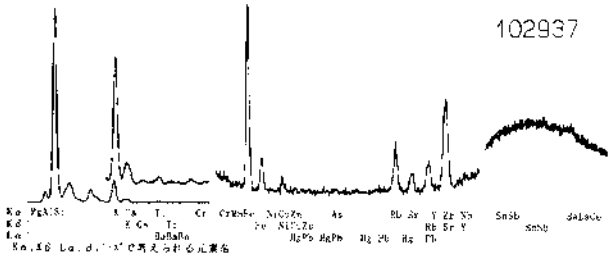


図210　中原遺跡出土碧玉製管玉242 （102937）の蛍光X線スペクトル

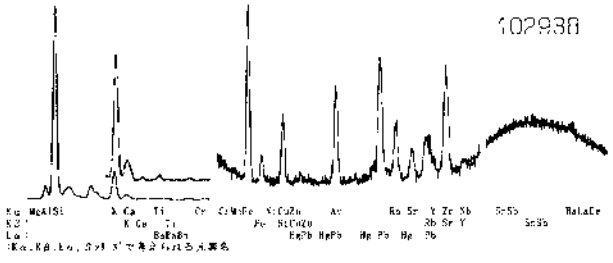


図211　中原遺跡出土碧玉製管玉243 （102938）の蛍光X線スペクトル

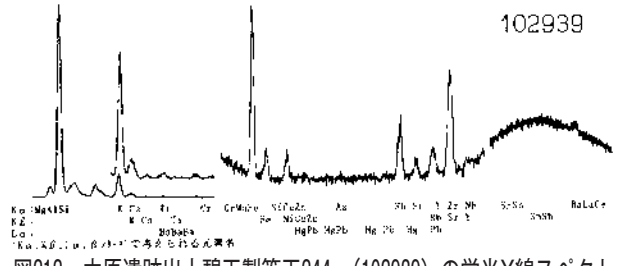


図212　中原遺跡出土碧玉製管玉244 （102939）の蛍光X線スペクトル

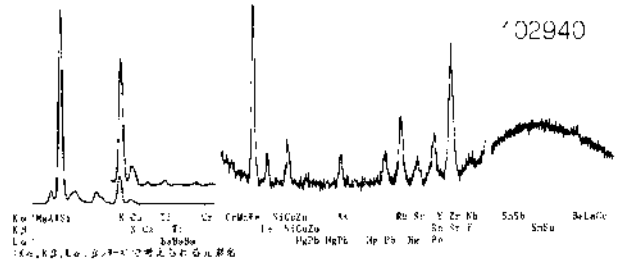


図213　中原遺跡出土碧玉製管玉245 （102940）の蛍光X線スペクトル

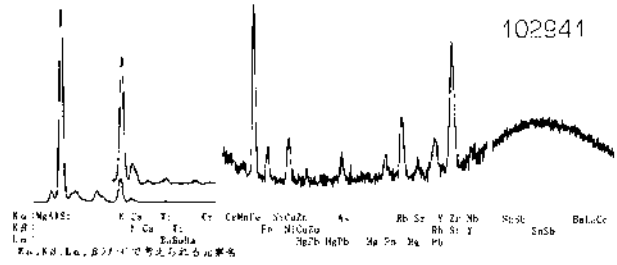


図214　中原遺跡出土碧玉製管玉246 （102941）の蛍光X線スペクトル

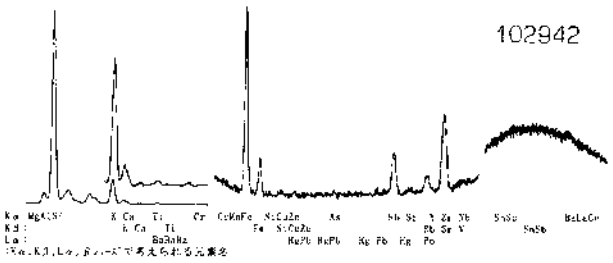


図215　中原遺跡出土碧玉製管玉365 （102942）の蛍光X線スペクトル

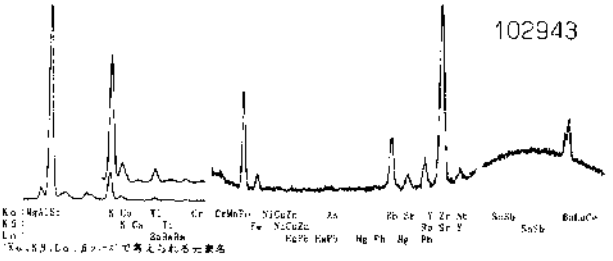


図216　中原遺跡出土碧玉製管玉366 （102943）の蛍光X線スペクトル

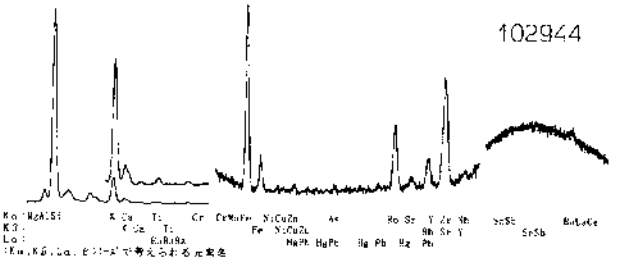


図217　中原遺跡出土碧玉製管玉367 （102944）の蛍光X線スペクトル

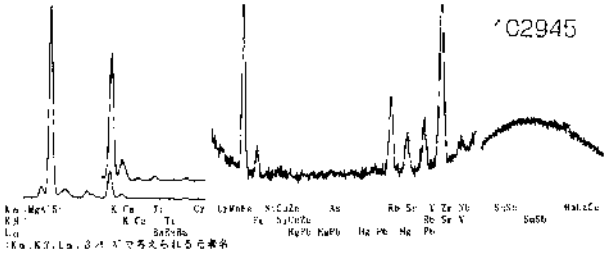


図218　中原遺跡出土碧玉製管玉368 （102945）の蛍光X線スペクトル

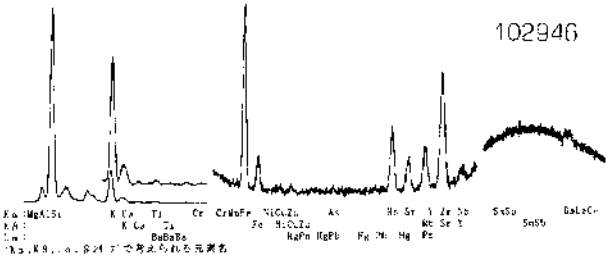


図219　中原遺跡出土碧玉製管玉369 （102946）の蛍光X線スペクトル

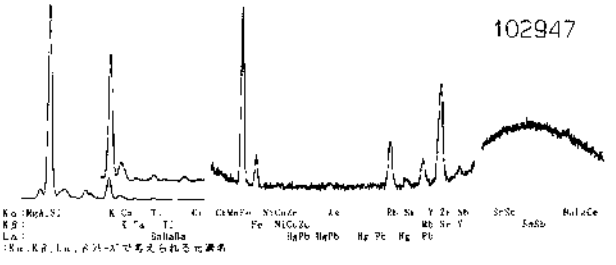


図220　中原遺跡出土碧玉製管玉370 （102947）の蛍光X線スペクトル

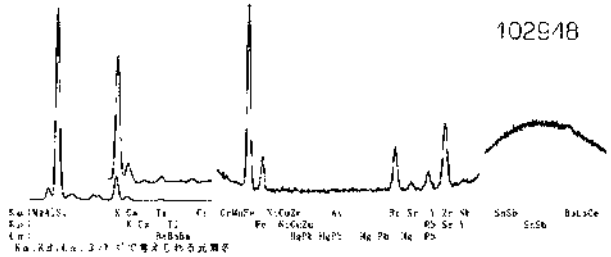


図221　中原遺跡出土碧玉製管玉425 （102948）の蛍光X線スペクトル

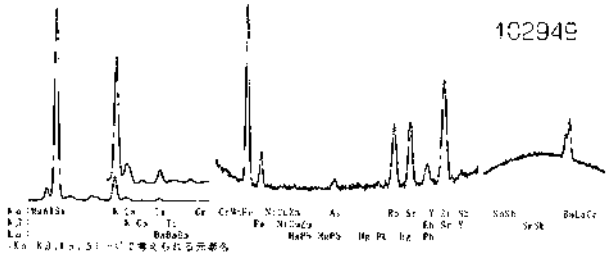


図222　中原遺跡出土碧玉製管玉426 （102949）の蛍光X線スペクトル

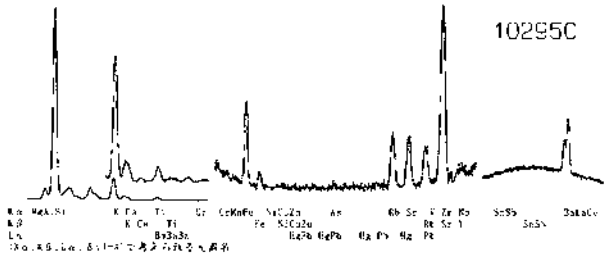


図223　中原遺跡出土碧玉製管玉438 （102950）の蛍光X線スペクトル

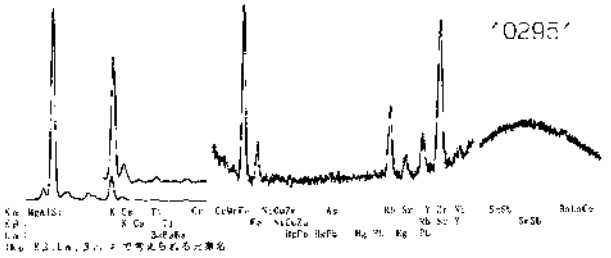


図224　中原遺跡出土碧玉製管玉439 （102951）の蛍光X線スペクトル

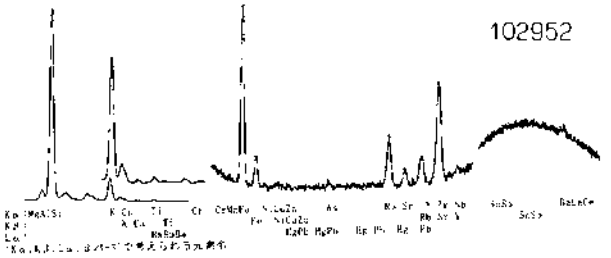


図225　中原遺跡出土碧玉製管玉440 （102952）の蛍光X線スペクトル

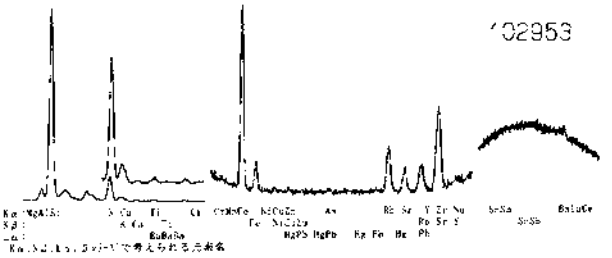


図226　中原遺跡出土碧玉製管玉441 （102953）の蛍光X線スペクトル

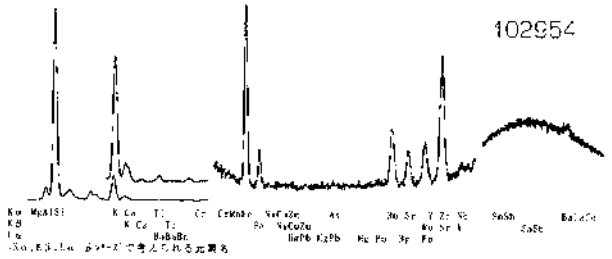


図227　中原遺跡出土碧玉製管玉442 （102954）の蛍光X線スペクトル

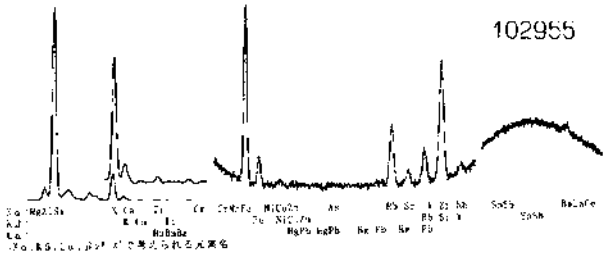


図228　中原遺跡出土碧玉製管玉443 （102955）の蛍光X線スペクトル

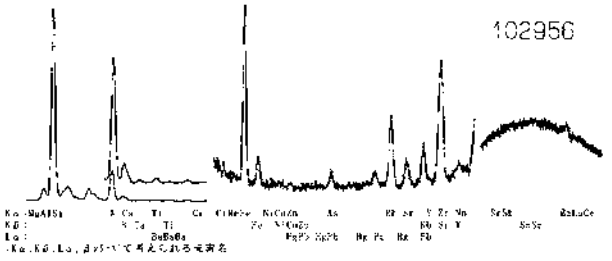


図229　中原遺跡出土碧玉製管玉444 （102956）の蛍光X線スペクトル

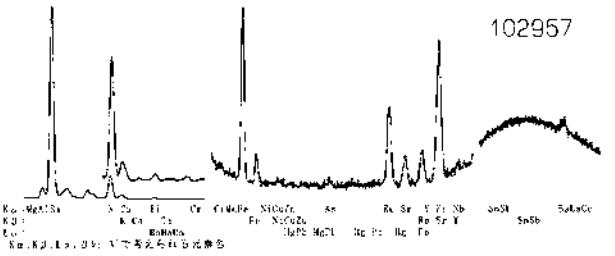


図230　中原遺跡出土碧玉製管玉445 （102957）の蛍光X線スペクトル

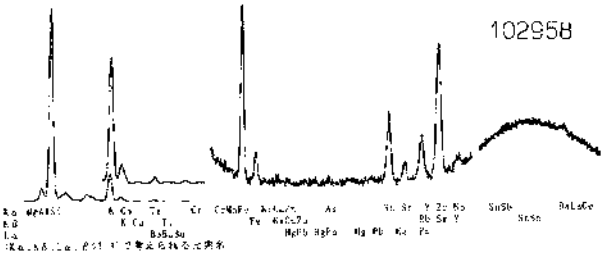


図231　中原遺跡出土碧玉製管玉446 （102958）の蛍光X線スペクトル

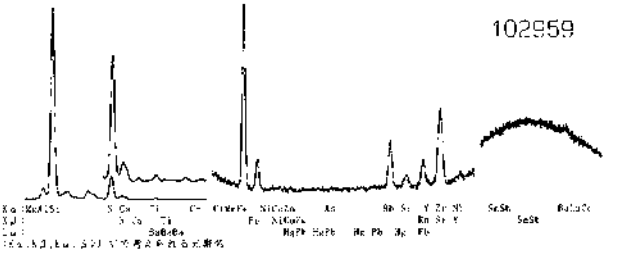


図232　中原遺跡出土碧玉製管玉447 （102959）の蛍光X線スペクトル

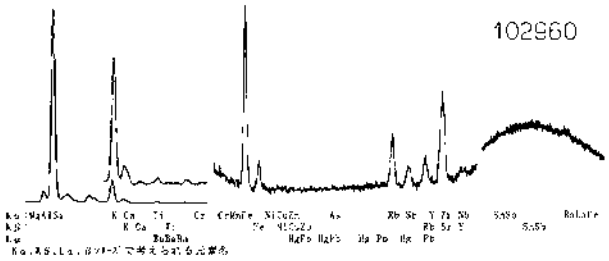


図233　中原遺跡出土碧玉製管玉448 （102960）の蛍光X線スペクトル

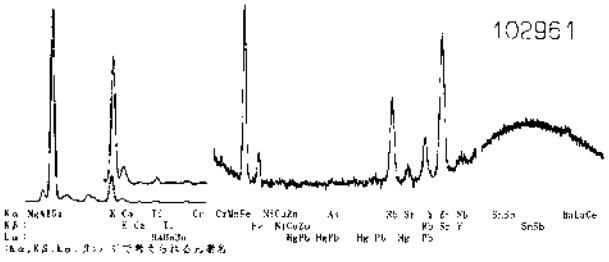


図234　中原遺跡出土碧玉製管玉449 （102961）の蛍光X線スペクトル

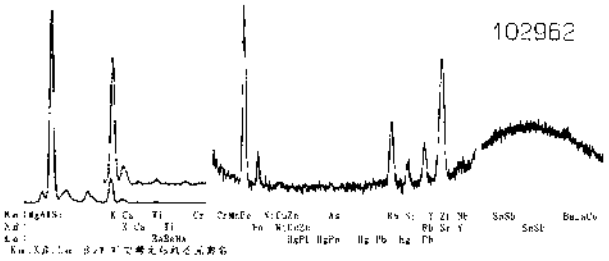


図235　中原遺跡出土碧玉製管玉450 （102962）の蛍光X線スペクトル

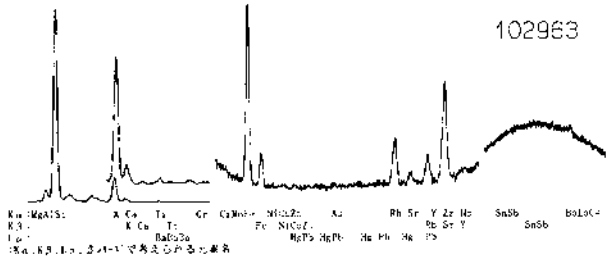


図236　中原遺跡出土碧玉製管玉451 （102963）の蛍光X線スペクトル

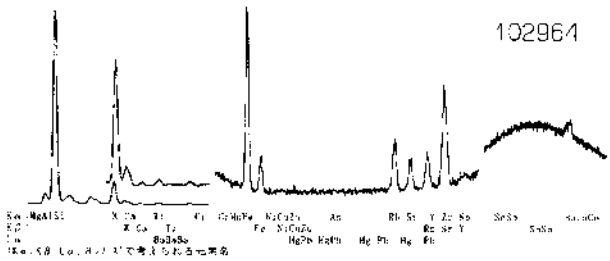


図237　中原遺跡出土碧玉製管玉452 （102964）の蛍光X線スペクトル

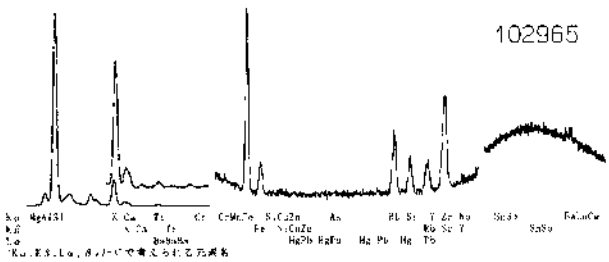


図238　中原遺跡出土碧玉製管玉453 （102965）の蛍光X線スペクトル

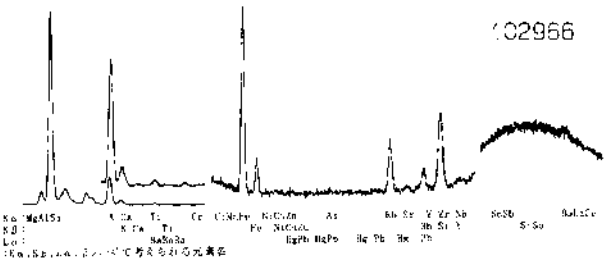


図239　中原遺跡出土碧玉製管玉454 （102966）の蛍光X線スペクトル

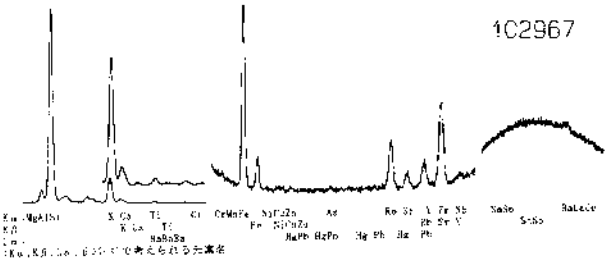


図240　中原遺跡出土碧玉製管玉455 （102967）の蛍光X線スペクトル

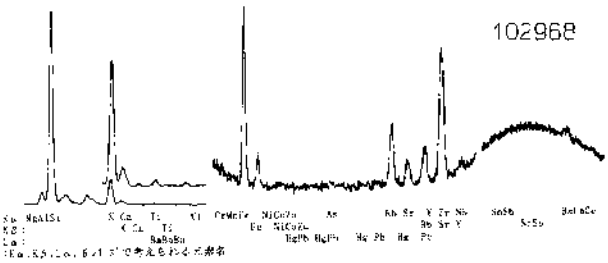


図241　中原遺跡出土碧玉製管玉456 （102968）の蛍光X線スペクトル

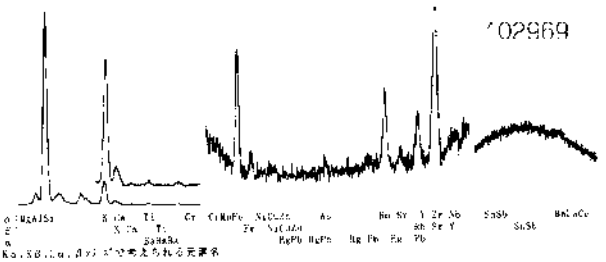


図242　中原遺跡出土碧玉製管玉466 （102969）の蛍光X線スペクトル

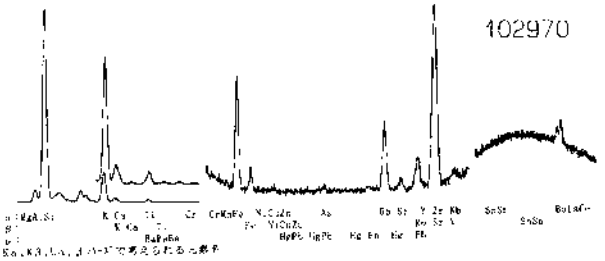


図243　中原遺跡出土碧玉製管玉467 （102970）の蛍光X線スペクトル

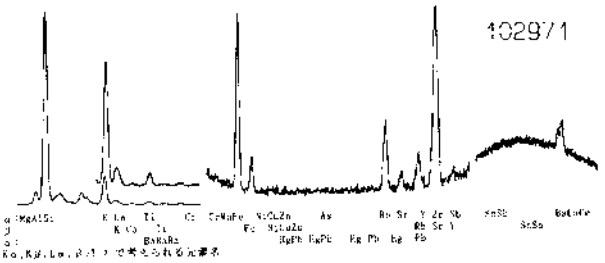


図244　中原遺跡出土碧玉製管玉468 （102971）の蛍光X線スペクトル

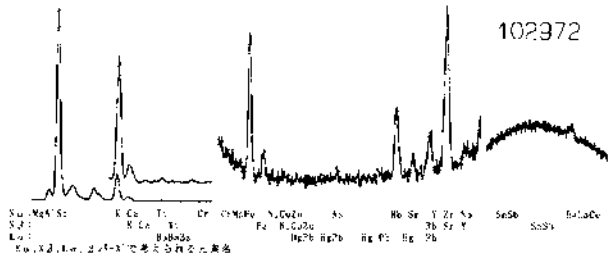


図245　中原遺跡出土碧玉製管玉469 （102972）の蛍光X線スペクトル

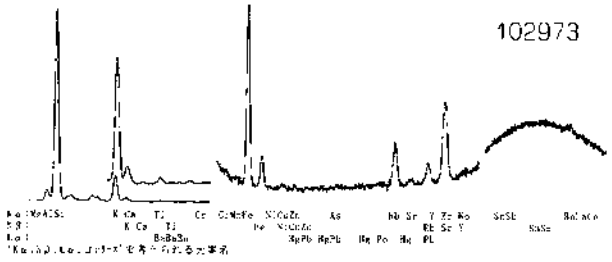


図246　中原遺跡出土碧玉製管玉470 （102973）の蛍光X線スペクトル

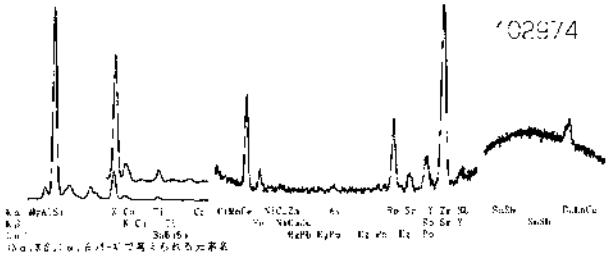


図247　中原遺跡出土碧玉製管玉471 （102974）の蛍光X線スペクトル

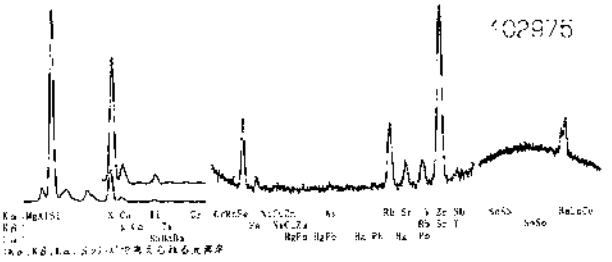


図248　中原遺跡出土碧玉製管玉472 （102975）の蛍光X線スペクトル

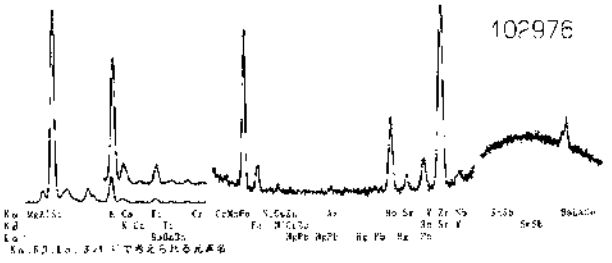


図249　中原遺跡出土碧玉製管玉473 （102976）の蛍光X線スペクトル

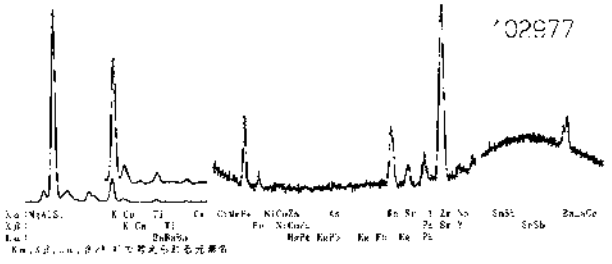


図250　中原遺跡出土碧玉製管玉474 （102977）の蛍光X線スペクトル

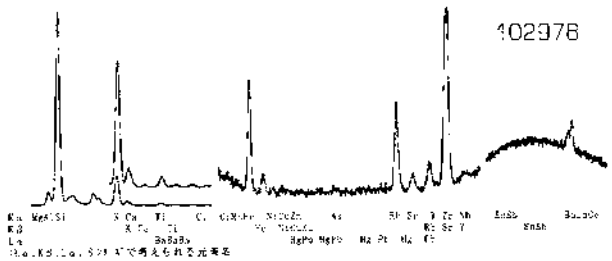


図251　中原遺跡出土碧玉製管玉475 （102978）の蛍光X線スペクトル

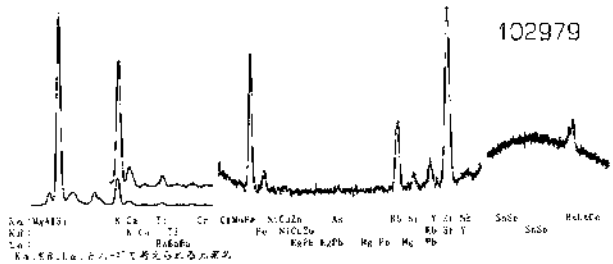


図252　中原遺跡出土碧玉製管玉476 （102979）の蛍光X線スペクトル

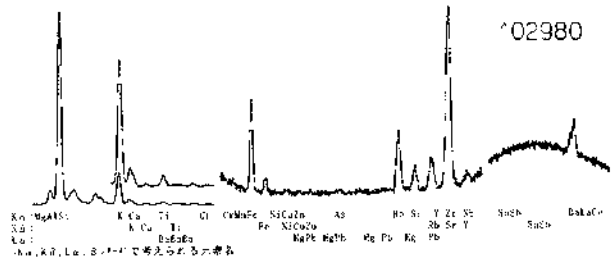


図253　中原遺跡出土碧玉製管玉477 （102980）の蛍光X線スペクトル

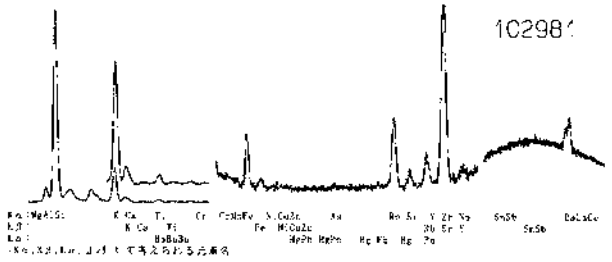


図254　中原遺跡出土碧玉製管玉478 （102981）の蛍光X線スペクトル

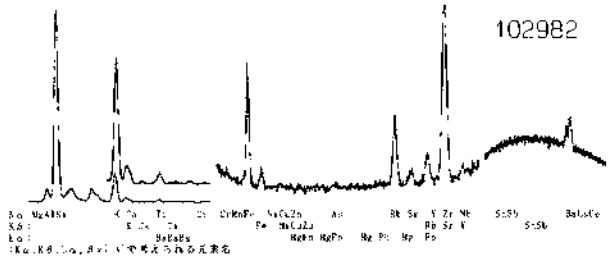


図255　中原遺跡出土碧玉製管玉479 （102982）の蛍光X線スペクトル

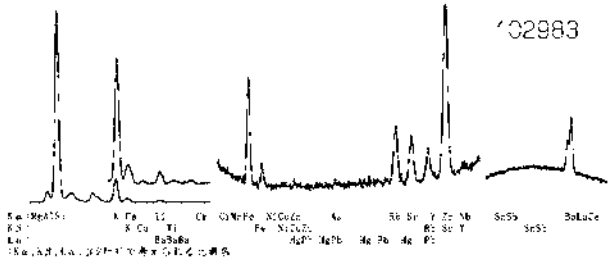


図256　中原遺跡出土碧玉製管玉480 （102983）の蛍光X線スペクトル

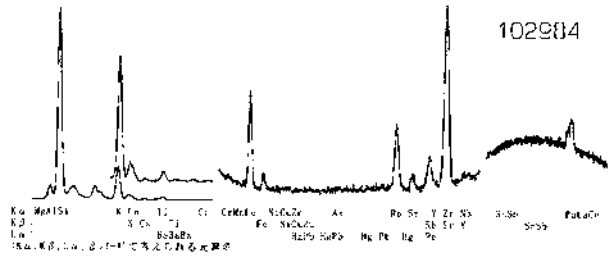


図257　中原遺跡出土碧玉製管玉481（102984）の蛍光X線スペクトル

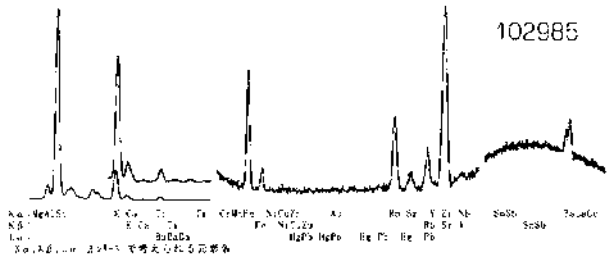


図258　中原遺跡出土碧玉製管玉482（102985）の蛍光X線スペクトル

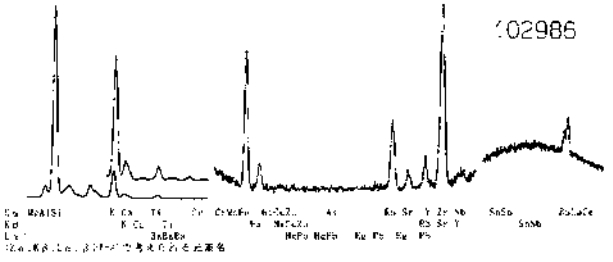


図259　中原遺跡出土碧玉製管玉483（102986）の蛍光X線スペクトル

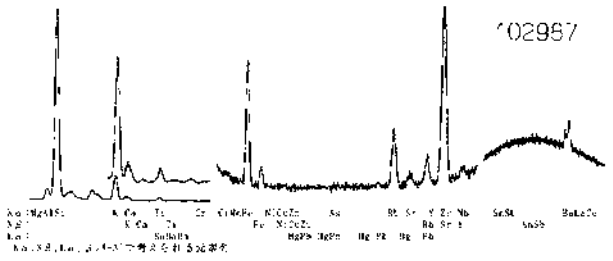


図260　中原遺跡出土碧玉製管玉484（102987）の蛍光X線スペクトル

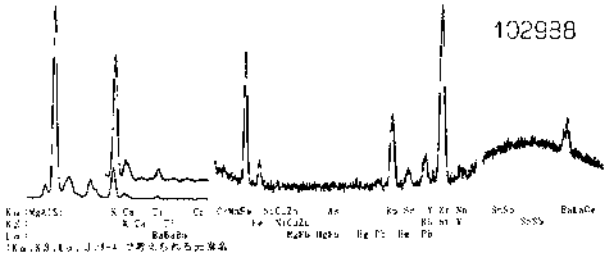


図261　中原遺跡出土碧玉製管玉485（102988）の蛍光X線スペクトル

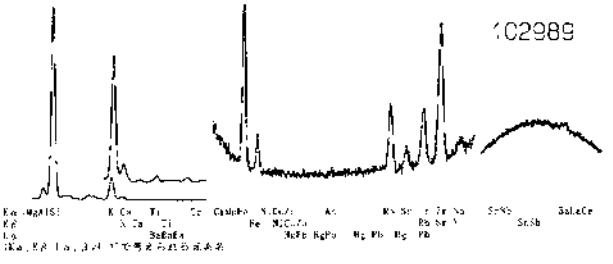


図262　中原遺跡出土碧玉製管玉486（102989）の蛍光X線スペクトル

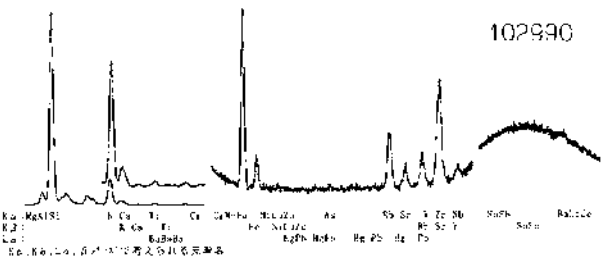


図263　中原遺跡出土碧玉製管玉487（102990）の蛍光X線スペクトル

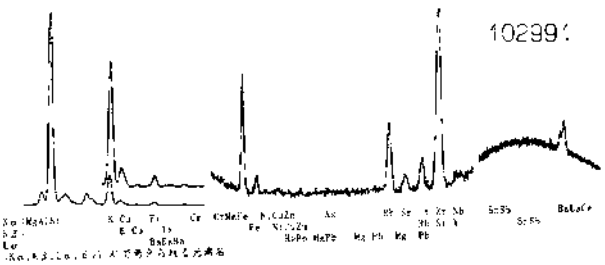


図264　中原遺跡出土碧玉製管玉488（102991）の蛍光X線スペクトル

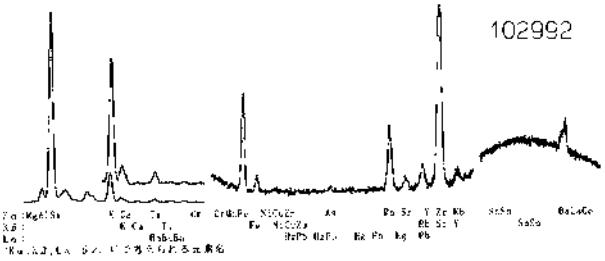


図265　中原遺跡出土碧玉製管玉489（102992）の蛍光X線スペクトル

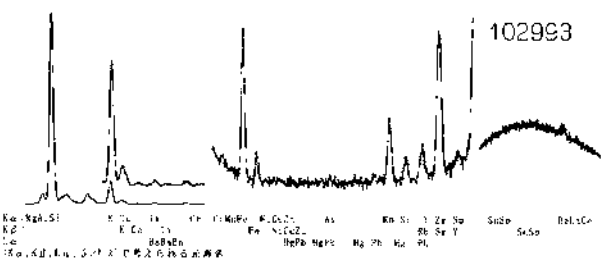


図266　中原遺跡出土碧玉製管玉490（102993）の蛍光X線スペクトル

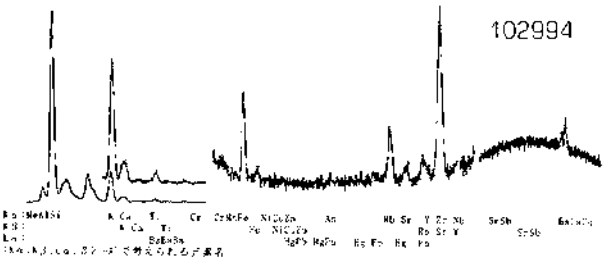


図267　中原遺跡出土碧玉製管玉491（102994）の蛍光X線スペクトル

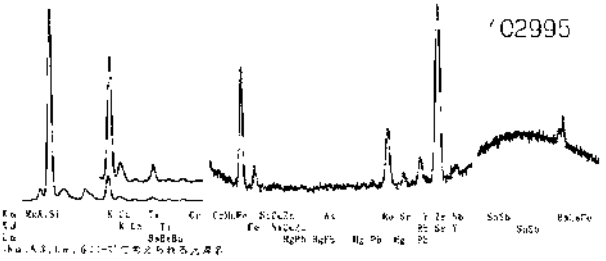


図268　中原遺跡出土碧玉製管玉492（102995）の蛍光X線スペクトル

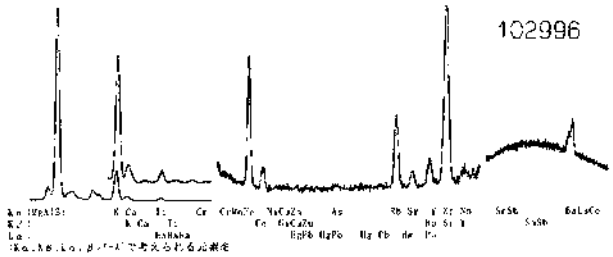


図269　中原遺跡出土碧玉製管玉493 （102996）の蛍光X線スペクトル

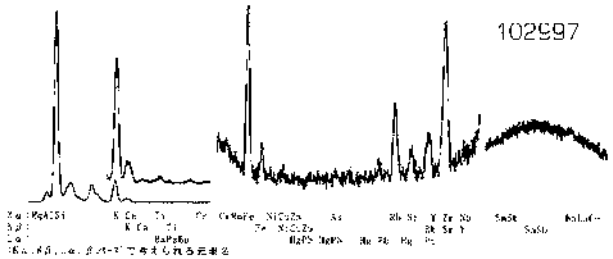


図270　中原遺跡出土碧玉製管玉494 （102997）の蛍光X線スペクトル

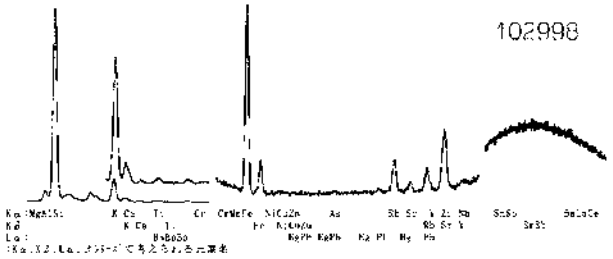


図271　中原遺跡出土碧玉製管玉514 （102998）の蛍光X線スペクトル

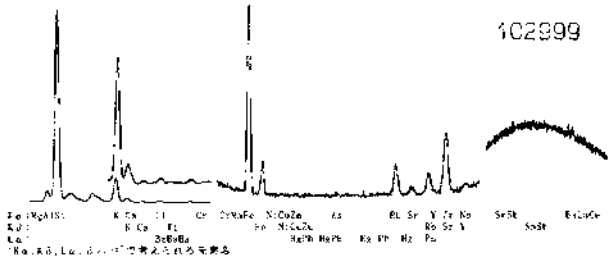


図272　中原遺跡出土碧玉製管玉515 （102999）の蛍光X線スペクトル

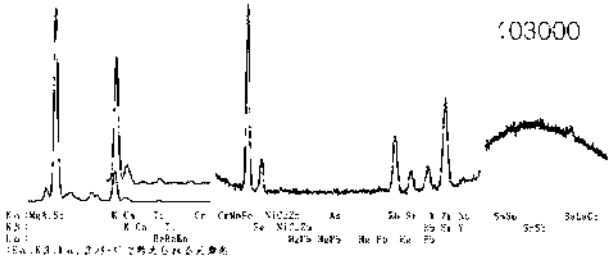


図273　中原遺跡出土碧玉製管玉516 （103000）の蛍光X線スペクトル

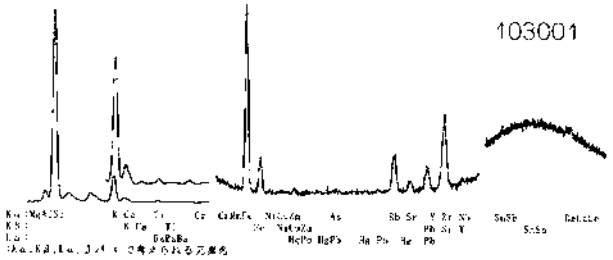


図274　中原遺跡出土碧玉製管玉517 （103001）の蛍光X線スペクトル

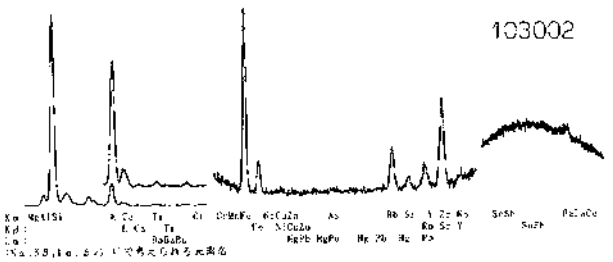


図275　中原遺跡出土碧玉製管玉518 （103002）の蛍光X線スペクトル

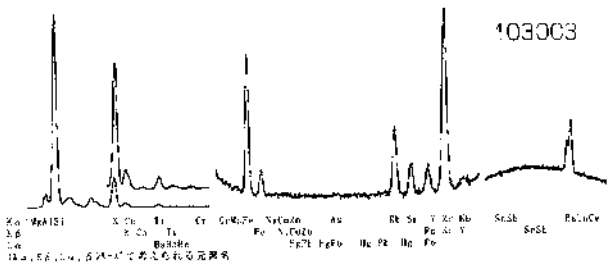


図276　中原遺跡出土碧玉製管玉519 （103003）の蛍光X線スペクトル

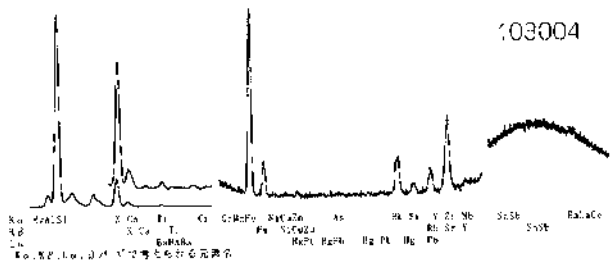


図277　中原遺跡出土碧玉製管玉520 （103004）の蛍光X線スペクトル

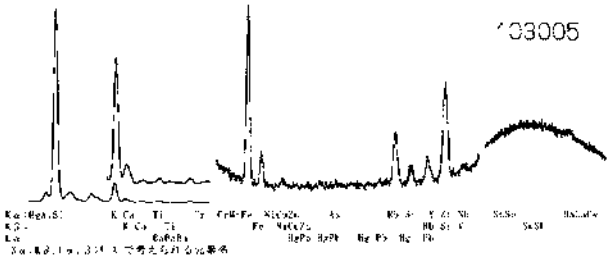


図278　中原遺跡出土碧玉製管玉534 （103005）の蛍光X線スペクトル

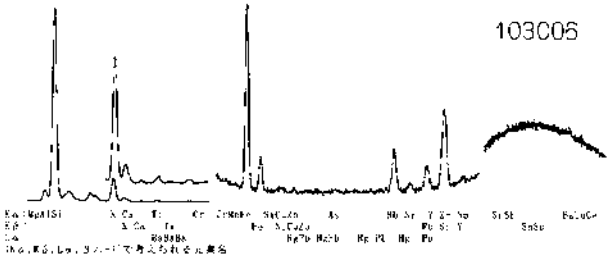


図279　中原遺跡出土碧玉製管玉535 （103006）の蛍光X線スペクトル

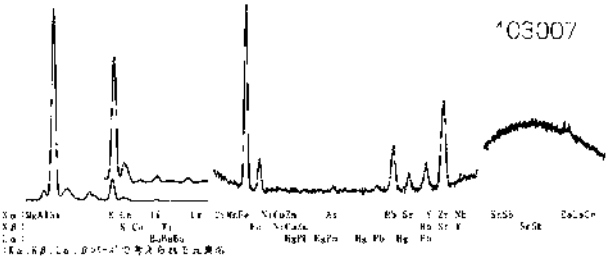


図280　中原遺跡出土碧玉製管玉536 （103007）の蛍光X線スペクトル

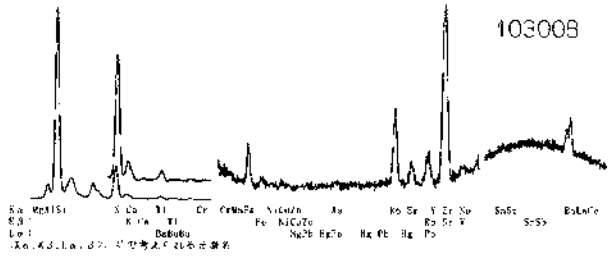


図281　中原遺跡出土碧玉製管玉560（103008）の蛍光X線スペクトル

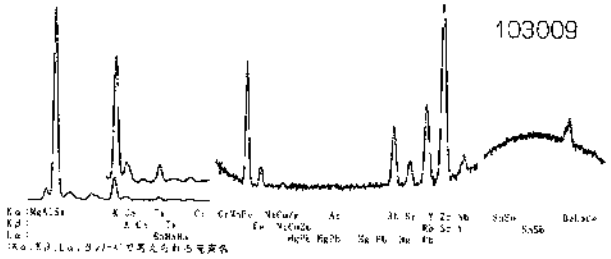


図282　中原遺跡出土碧玉製管玉561（103009）の蛍光X線スペクトル

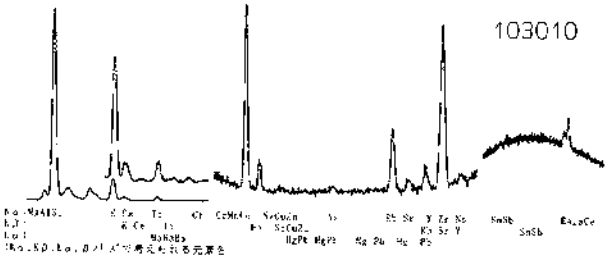


図283　中原遺跡出土碧玉製管玉562（103010）の蛍光X線スペクトル

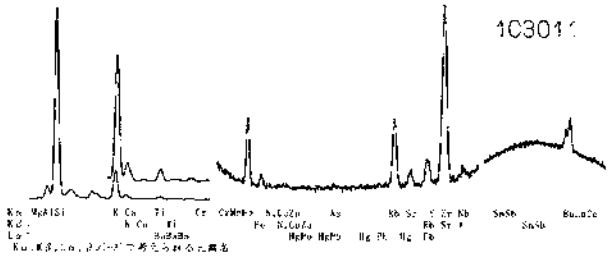


図284　中原遺跡出土碧玉製管玉563（103011）の蛍光X線スペクトル

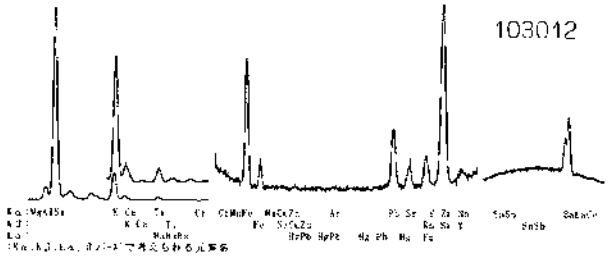


図285　中原遺跡出土碧玉製管玉564（103012）の蛍光X線スペクトル

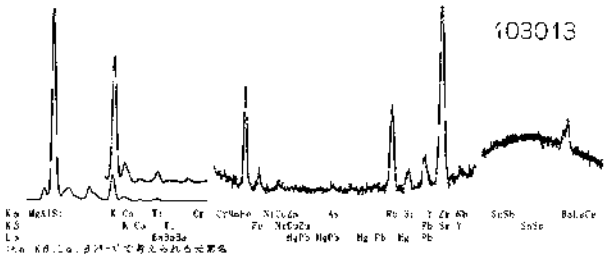


図286　中原遺跡出土碧玉製管玉565（103013）の蛍光X線スペクトル

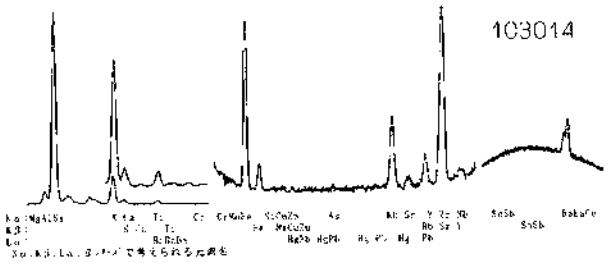


図287　中原遺跡出土碧玉製管玉566（103014）の蛍光X線スペクトル

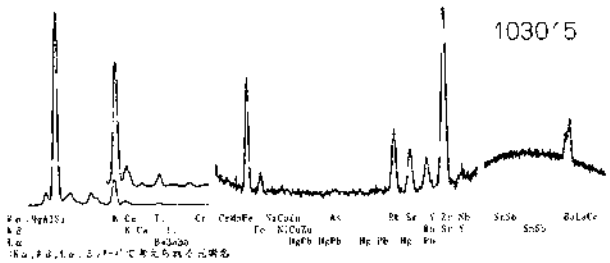


図288　中原遺跡出土碧玉製管玉567（103015）の蛍光X線スペクトル

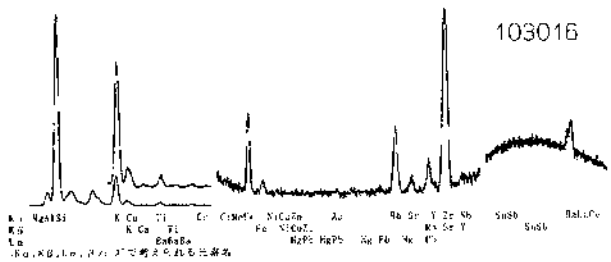


図289　中原遺跡出土碧玉製管玉568（103016）の蛍光X線スペクトル

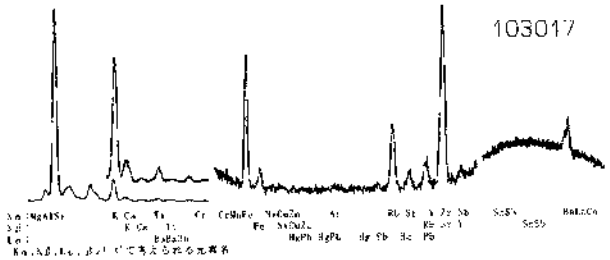


図290　中原遺跡出土碧玉製管玉569（103017）の蛍光X線スペクトル

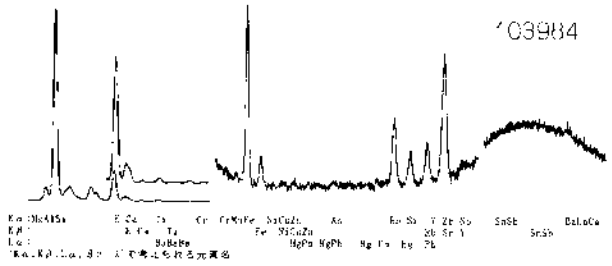


図291　中原遺跡出土碧玉製管玉33　(103984) の蛍光X線スペクトル

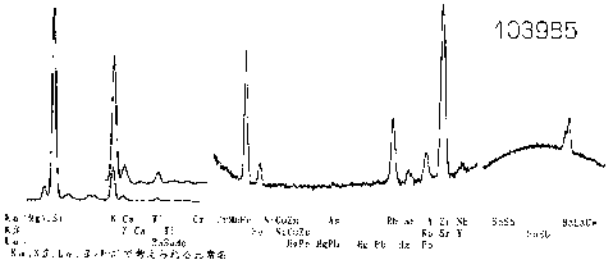


図292　中原遺跡出土碧玉製管玉34　(103985) の蛍光X線スペクトル

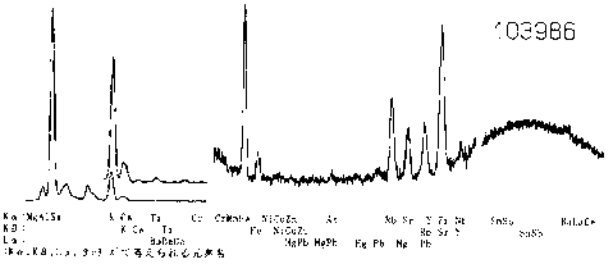


図293　中原遺跡出土碧玉製管玉35　(103986) の蛍光X線スペクトル

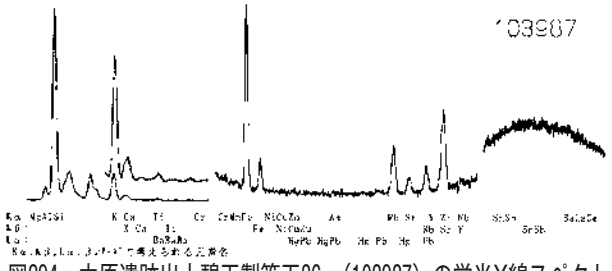


図294　中原遺跡出土碧玉製管玉36　(103987) の蛍光X線スペクトル

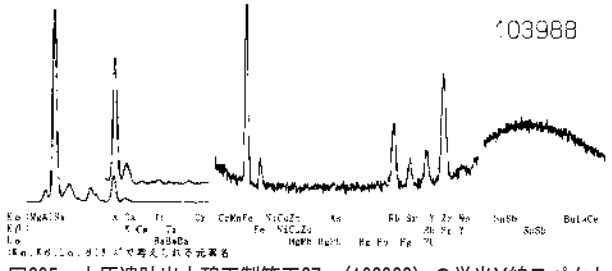


図295　中原遺跡出土碧玉製管玉37　(103988) の蛍光X線スペクトル

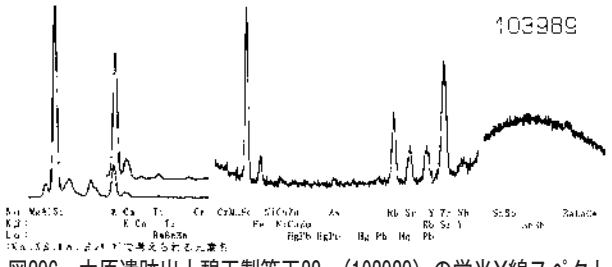


図296　中原遺跡出土碧玉製管玉38　(103989) の蛍光X線スペクトル

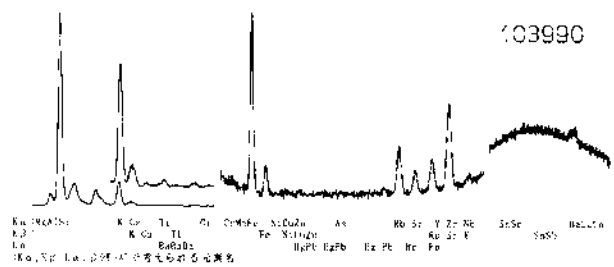


図297　中原遺跡出土碧玉製管玉39　(103990) の蛍光X線スペクトル

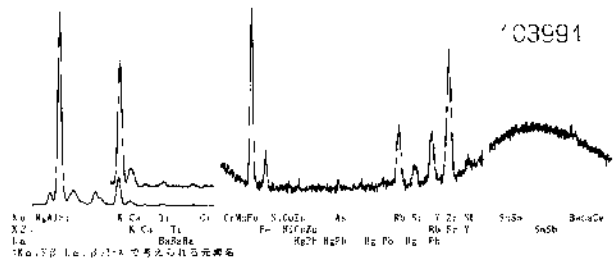


図298　中原遺跡出土碧玉製管玉40　(103991) の蛍光X線スペクトル

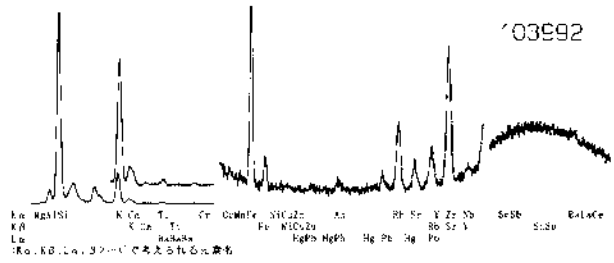


図299　中原遺跡出土碧玉製管玉41　(103992) の蛍光X線スペクトル

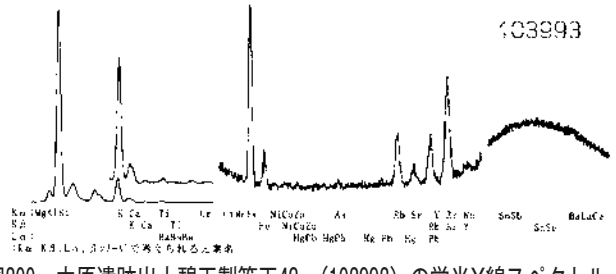


図300　中原遺跡出土碧玉製管玉42　(103993) の蛍光X線スペクトル

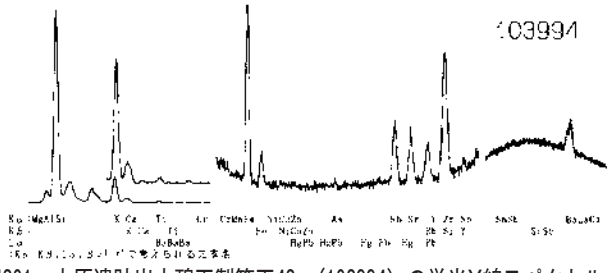


図301　中原遺跡出土碧玉製管玉43　(103994) の蛍光X線スペクトル

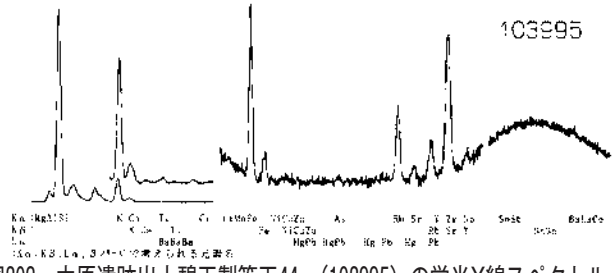


図302　中原遺跡出土碧玉製管玉44　(103995) の蛍光X線スペクトル

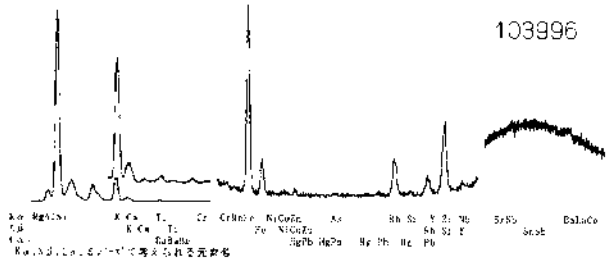


図303　中原遺跡出土碧玉製管玉45 （103996）の蛍光X線スペクトル

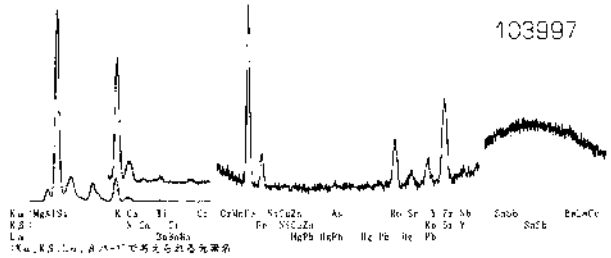


図304　中原遺跡出土碧玉製管玉46 （103997）の蛍光X線スペクトル

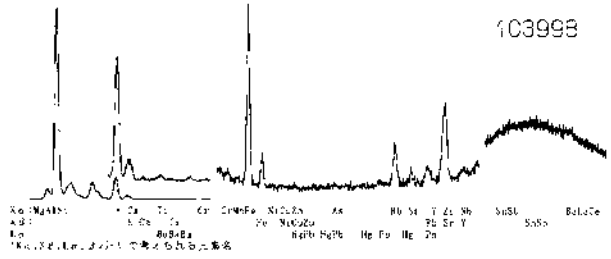


図305　中原遺跡出土碧玉製管玉47 （103998）の蛍光X線スペクトル

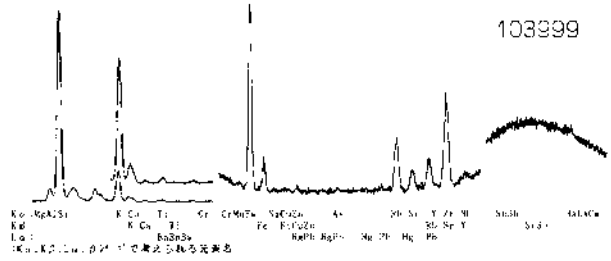


図306　中原遺跡出土碧玉製管玉48 （103999）の蛍光X線スペクトル

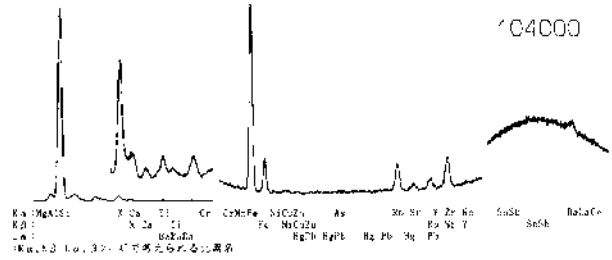


図307　中原遺跡出土碧玉製管玉49 （104000）の蛍光X線スペクトル

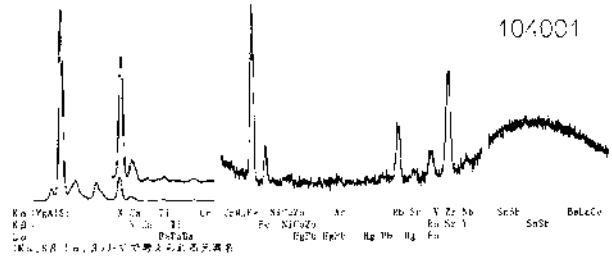


図308　中原遺跡出土碧玉製管玉50 （104001）の蛍光X線スペクトル

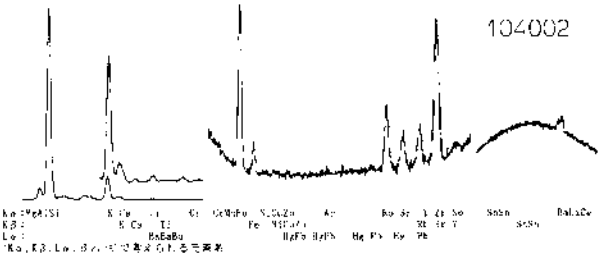


図309　中原遺跡出土碧玉製管玉51 （104002）の蛍光X線スペクトル

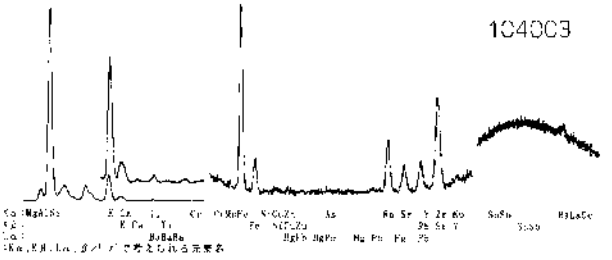


図310　中原遺跡出土碧玉製管玉52 （104003）の蛍光X線スペクトル

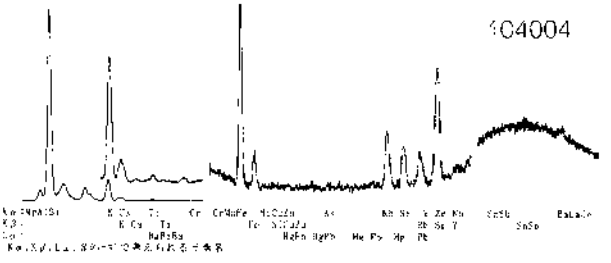


図311　中原遺跡出土碧玉製管玉53 （104004）の蛍光X線スペクトル

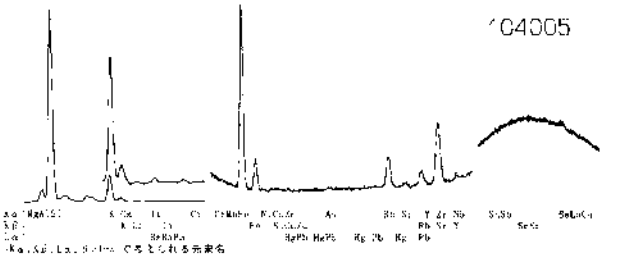


図312　中原遺跡出土碧玉製管玉54 （104005）の蛍光X線スペクトル

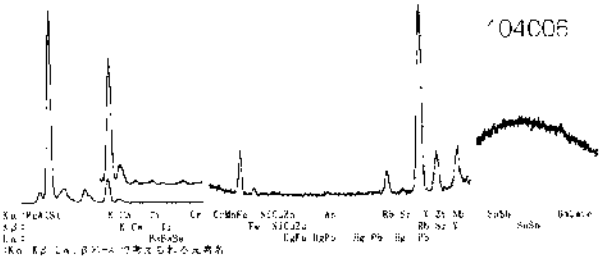


図313　中原遺跡出土碧玉製管玉55 （104006）の蛍光X線スペクトル

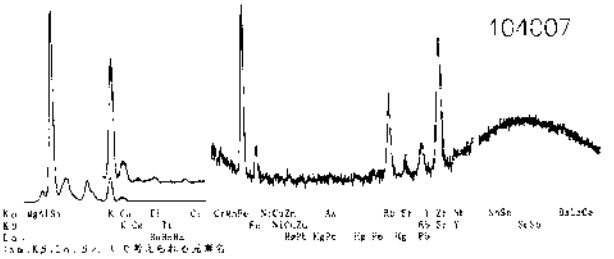


図314　中原遺跡出土碧玉製管玉56 （104007）の蛍光X線スペクトル

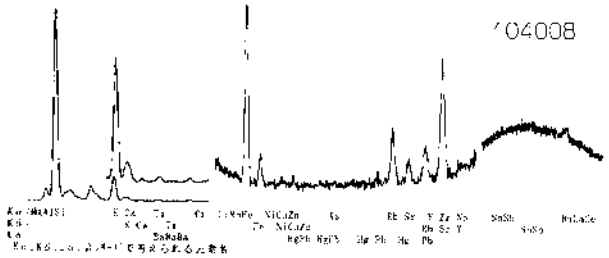


図315　中原遺跡出土碧玉製管玉57 （104008）の蛍光X線スペクトル

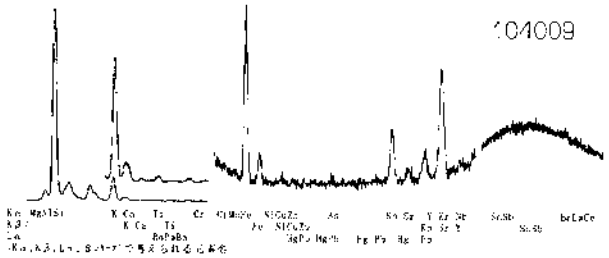


図316　中原遺跡出土碧玉製管玉58 （104009）の蛍光X線スペクトル

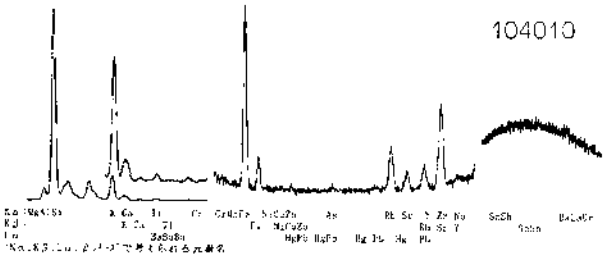


図317　中原遺跡出土碧玉製管玉59 （104010）の蛍光X線スペクトル

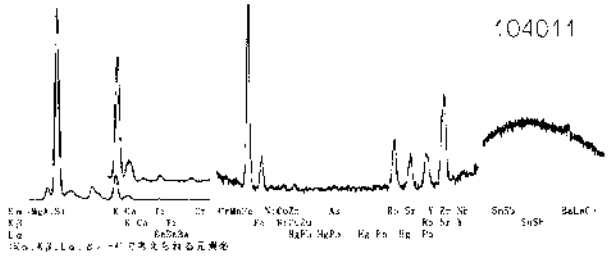


図318　中原遺跡出土碧玉製管玉60 （104011）の蛍光X線スペクトル

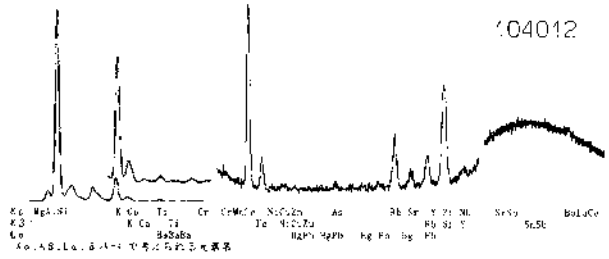


図319　中原遺跡出土碧玉製管玉61 （104012）の蛍光X線スペクトル

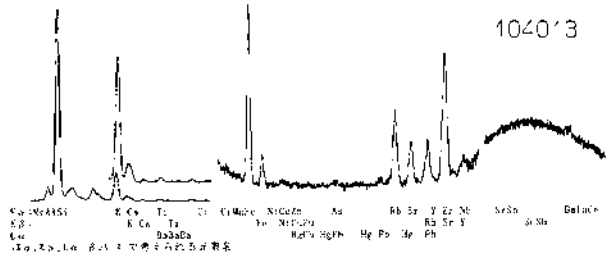


図320　中原遺跡出土碧玉製管玉62 （104013）の蛍光X線スペクトル

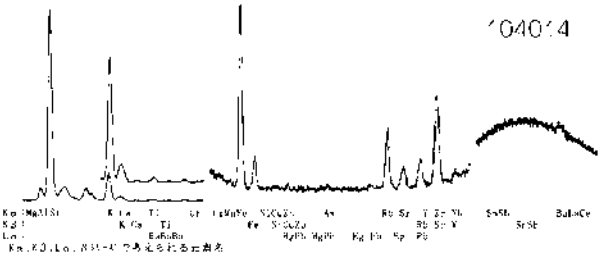


図321　中原遺跡出土碧玉製管玉63 （104014）の蛍光X線スペクトル

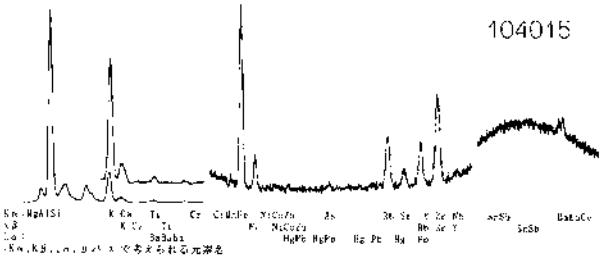


図322　中原遺跡出土碧玉製管玉64 （104015）の蛍光X線スペクトル

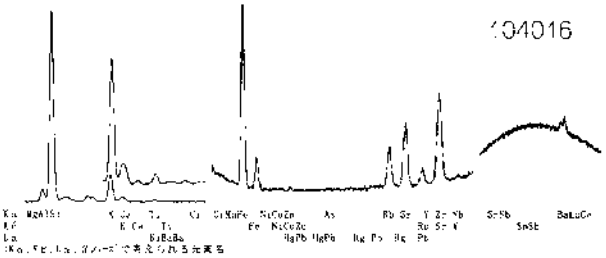


図323　中原遺跡出土碧玉製管玉65 （104016）の蛍光X線スペクトル

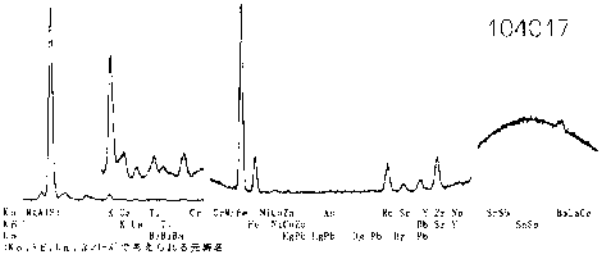


図324　中原遺跡出土碧玉製管玉66 （104017）の蛍光X線スペクトル

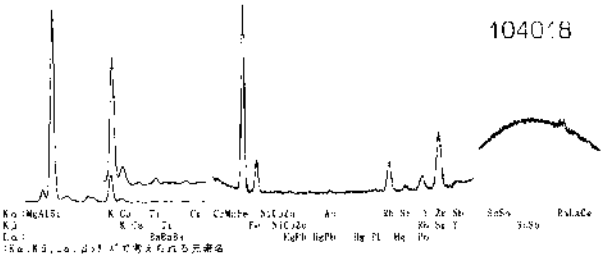


図325　中原遺跡出土碧玉製管玉67 （104018）の蛍光X線スペクトル

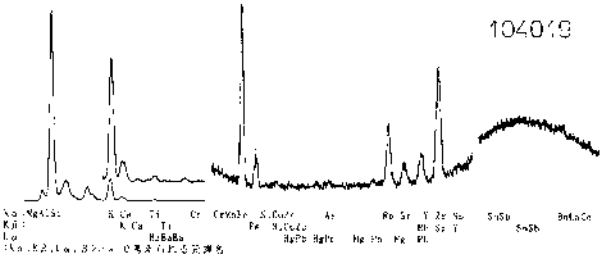


図326　中原遺跡出土碧玉製管玉68 （104019）の蛍光X線スペクトル

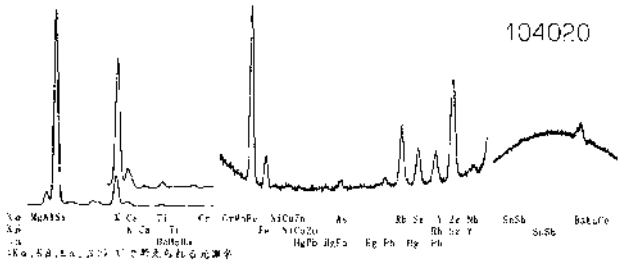


図327　中原遺跡出土碧玉製管玉69 （104020）の蛍光X線スペクトル

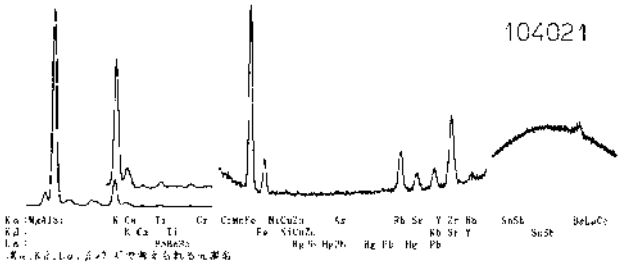


図328　中原遺跡出土碧玉製管玉70 （104021）の蛍光X線スペクトル

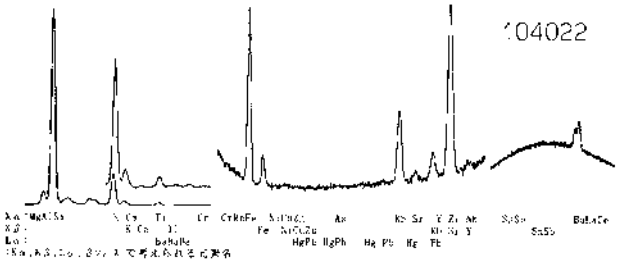


図329　中原遺跡出土碧玉製管玉71 （104022）の蛍光X線スペクトル

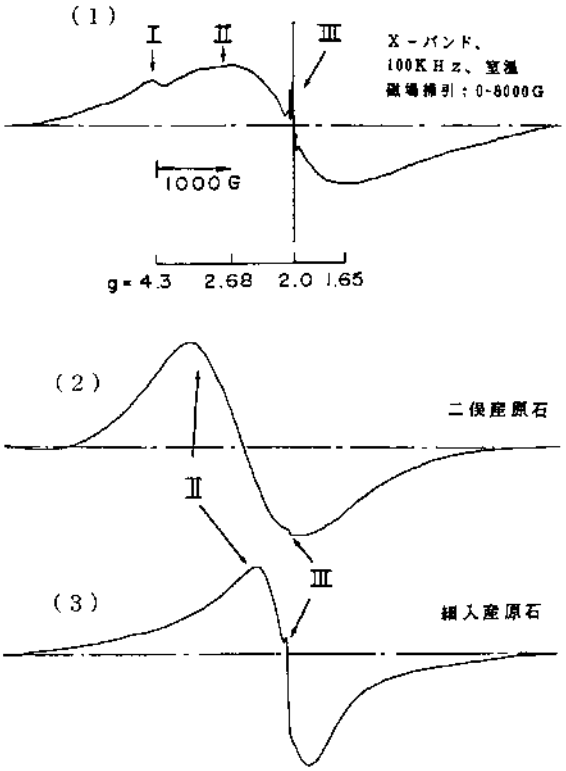


図330　碧玉原石のESRスペクトル（花仙山、玉谷、猿八、土岐）

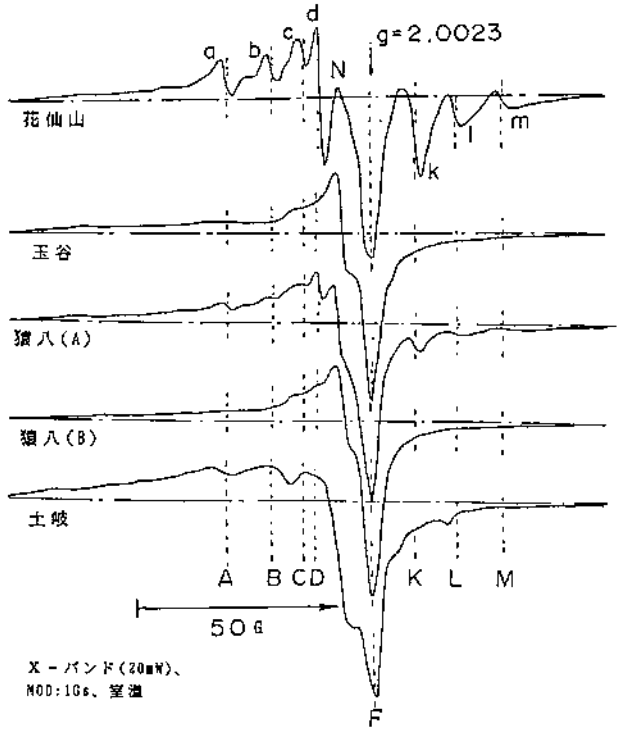


図331　碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

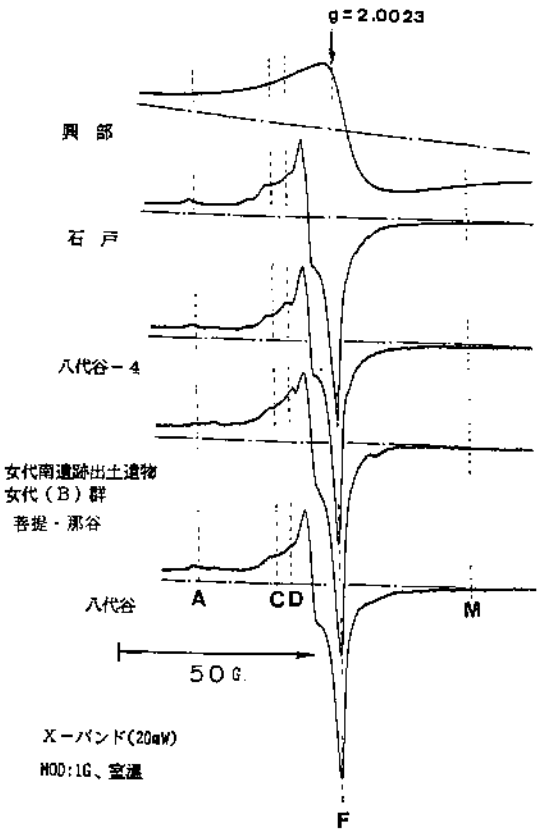


図332　碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

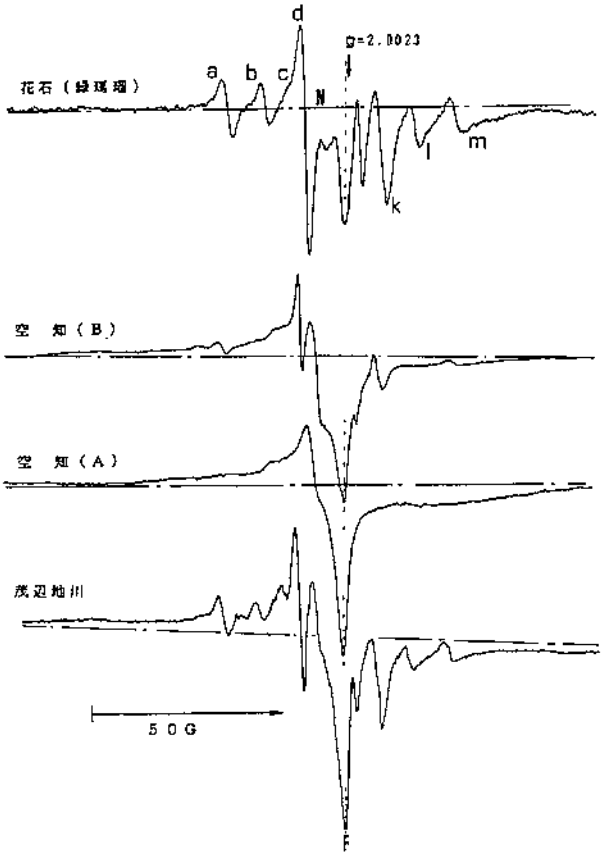


図333　碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

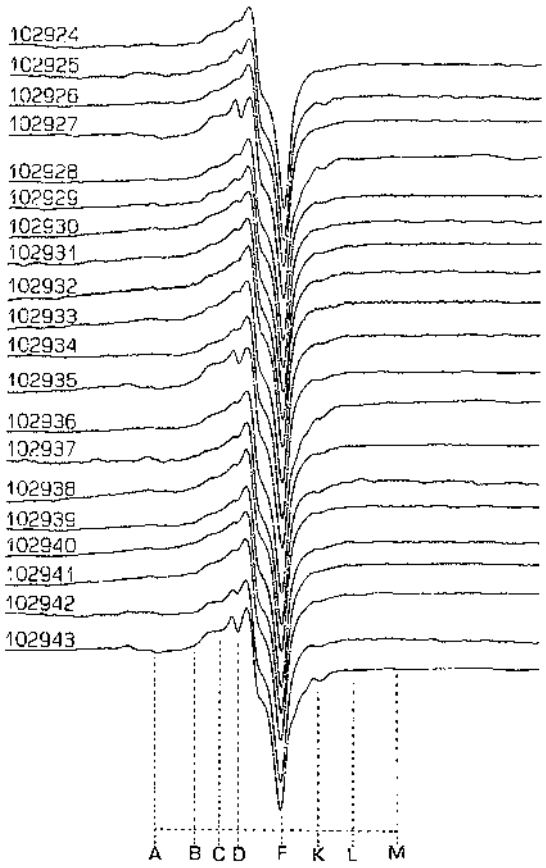


図335　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

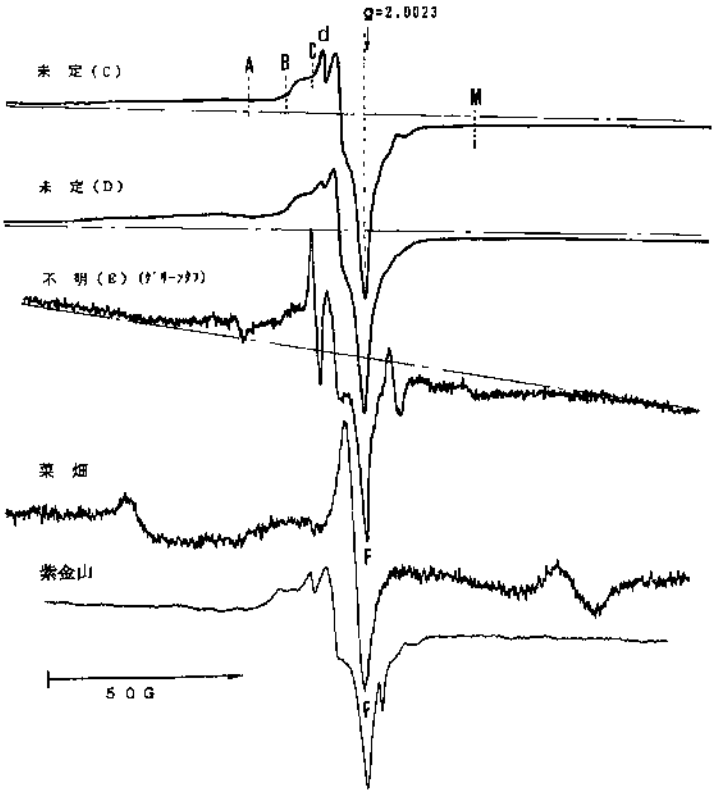


図334　碧玉原石の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

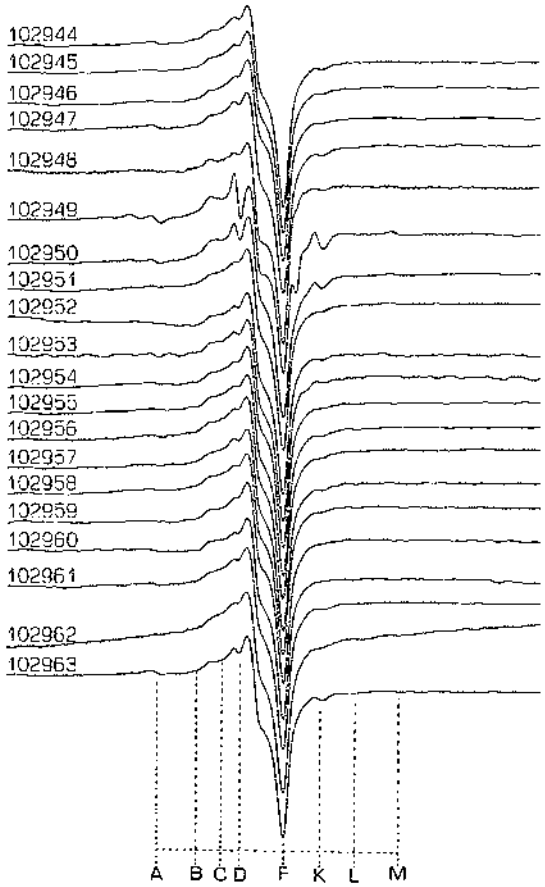


図336　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

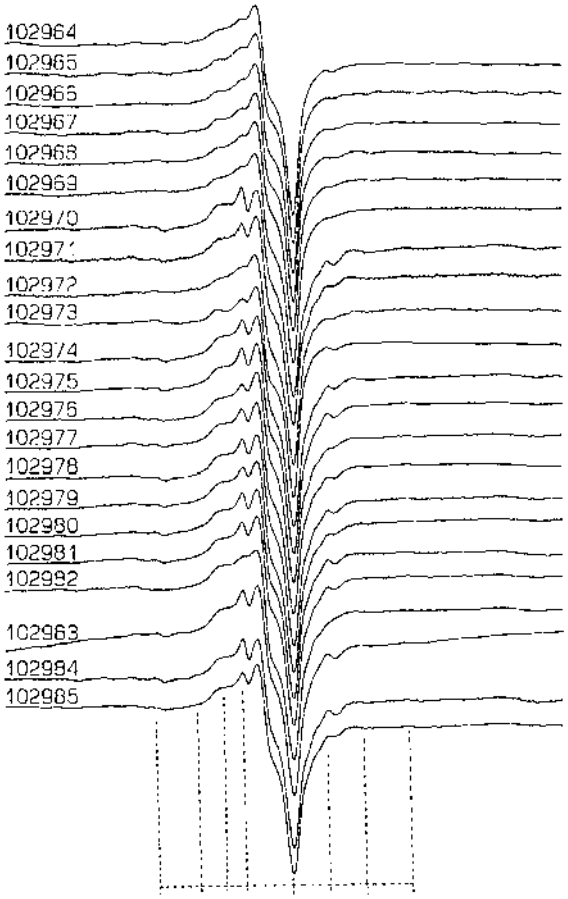


図337　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

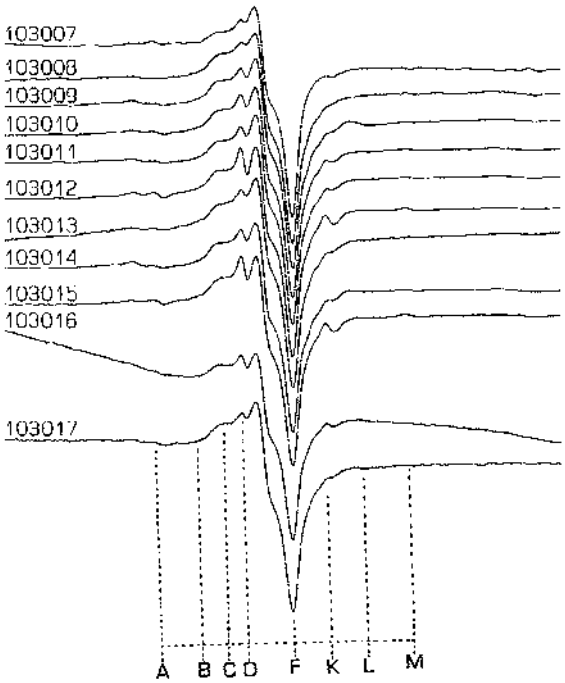


図339　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

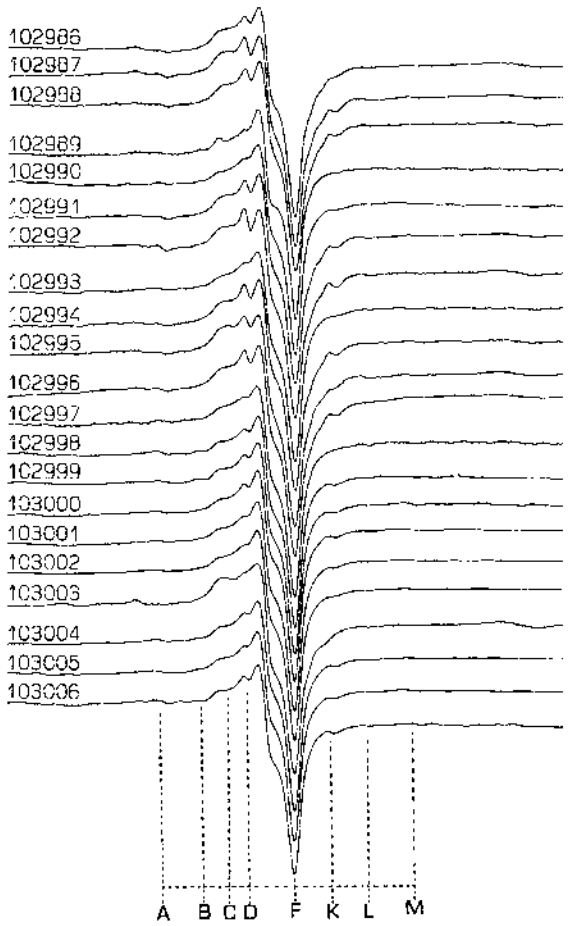


図338　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

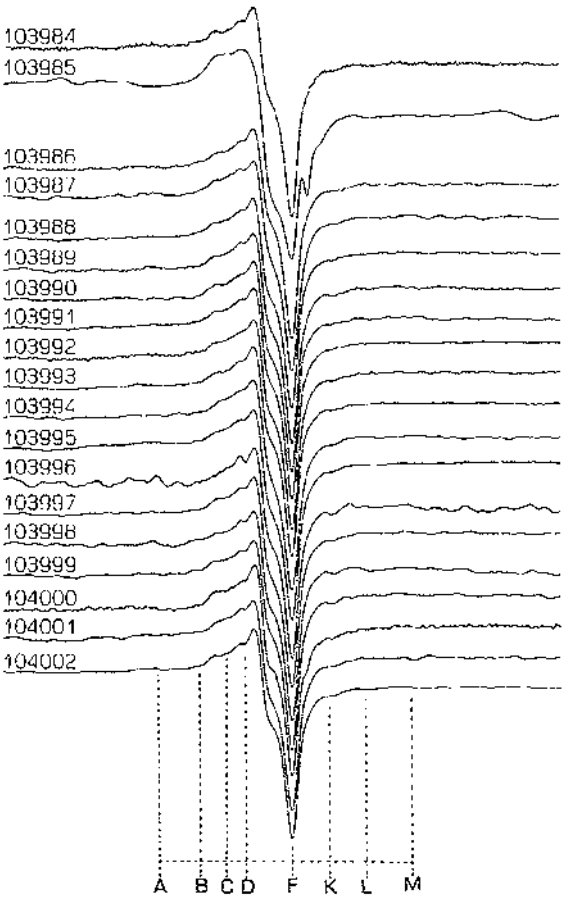


図340　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

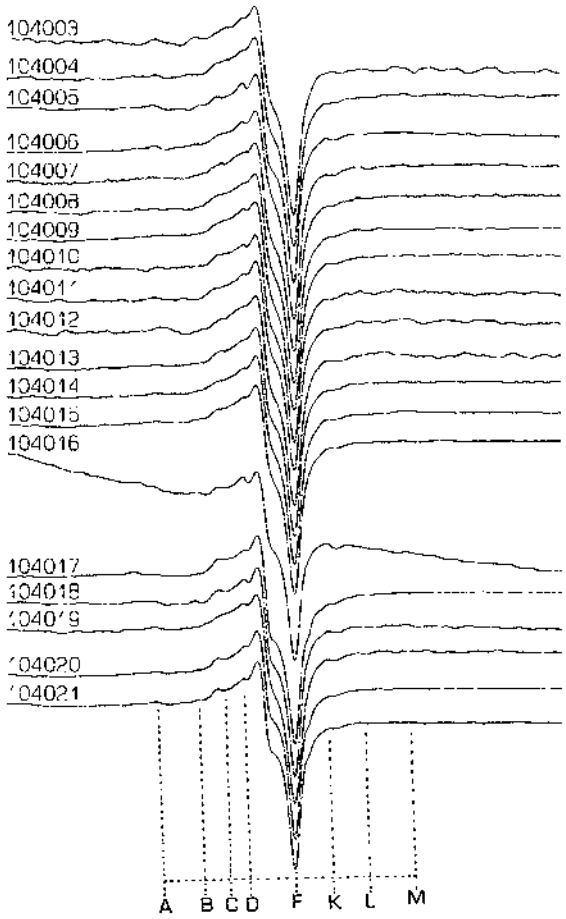


図341　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

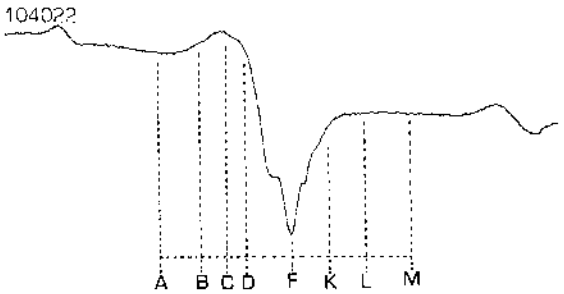


図342　中原遺跡出土管玉の信号（Ⅲ）のESRスペクトル

表69　各碧玉の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原石群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
花仙山１+2	63	0.021 ± 0.003	1.329 ± 0.359	0.052 ± 0.039	0.189 ± 0.059	0.063 ± 0.016	0.231 ± 0.032	10.681 ± 3.131	2.388 ± 0.585	0.466 ± 0.192	0.123 ± 0.052	0.005 ± 0.007	0.010 ± 0.004	0.003 ± 0.012	2.308～2.614
花仙山１	33	0.023 ± 0.002	1.593 ± 0.172	0.038 ± 0.020	0.155 ± 0.031	0.071 ± 0.015	0.241 ± 0.019	10.900 ± 1.887	2.599 ± 0.452	0.483 ± 0.196	0.120 ± 0.036	0.002 ± 0.003	0.010 ± 0.001	0.004 ± 0.016	2.570 ± 0.044
花仙山２	30	0.019 ± 0.003	1.038 ± 0.277	0.066 ± 0.049	0.227 ± 0.058	0.053 ± 0.011	0.219 ± 0.038	10.440 ± 4.070	2.157 ± 0.625	0.446 ± 0.185	0.127 ± 0.064	0.008 ± 0.008	0.011 ± 0.005	0.002 ± 0.006	2.308 ± 0.079
興　部	31	0.011 ± 0.003	0.580 ± 0.320	0.123 ± 0.137	0.061 ± 0.049	0.022 ± 0.006	0.070 ± 0.021	174.08 ± 124.9	16.990 ± 13.44	0.668 ± 0.435	1.801 ± 1.434	0.004 ± 0.003	0.001 ± 0.001	0.455 ± 0.855	2.626 ± 0.032
神奈川・玉川グリーンタフ	48	0.048 ± 0.006	0.656 ± 0.208	7.350 ± 2.233	1.434 ± 0.273	0.028 ± 0.009	0.025 ± 0.010	2.743 ± 1.075	0.061 ± 0.019	1.187 ± 0.474	0.304 ± 0.039	0.008 ± 0.004	0.038 ± 0.012	0.004 ± 0.006	2.2～吸水激し
石川・日用川グリーンタフ	26	0.048 ± 0.004	2.010 ± 0.132	1.192 ± 0.051	0.190 ± 0.026	0.092 ± 0.008	0.220 ± 0.017	2.125 ± 0.148	0.467 ± 0.040	1.652 ± 0.586	0.092 ± 0.030	0.008 ± 0.001	0.017 ± 0.001	0.010 ± 0.011	2.1～吸水激し
空知Ａ１	42	0.039 ± 0.006	1.026 ± 0.281	2.728 ± 0.907	0.547 ± 0.119	0.042 ± 0.011	0.124 ± 0.058	3.309 ± 1.295	0.353 ± 0.101	12.485 ± 3.306	0.032 ± 0.045	0.028 ± 0.009	0.020 ± 0.005	0.007 ± 0.010	2.495 ± 0.039
空知Ａ２	46	0.021 ± 0.008	0.866 ± 0.447	0.797 ± 0.393	0.225 ± 0.050	0.032 ± 0.006	0.039 ± 0.007	25.866 ± 11.50	1.023 ± 0.499	7.433 ± 4.531	0.378 ± 0.198	0.009 ± 0.003	0.006 ± 0.002	0.118 ± 0.167	2.632 ± 0.012
空知Ｂ	47	0.064 ± 0.004	3.600 ± 0.328	0.088 ± 0.008	0.101 ± 0.009	0.242 ± 0.037	0.460 ± 0.055	2.137 ± 0.274	0.974 ± 0.110	0.190 ± 0.082	0.137 ± 0.022	0.015 ± 0.002	0.022 ± 0.004	0.134 ± 0.024	2.607 ± 0.001
猿　八１	46	0.042 ± 0.005	3.779 ± 0.549	0.049 ± 0.052	0.074 ± 0.013	0.202 ± 0.070	0.285 ± 0.085	2.520 ± 0.874	0.654 ± 0.131	0.177 ± 0.154	0.128 ± 0.051	0.003 ± 0.002	0.013 ± 0.003	0.011 ± 0.007	2.395～2.597
猿　八２	49	0.039 ± 0.003	3.565 ± 0.274	0.016 ± 0.013	0.063 ± 0.012	0.453 ± 0.065	0.471 ± 0.086	0.983 ± 0.172	0.457 ± 0.104	0.100 ± 0.062	0.125 ± 0.042	0.011 ± 0.008	0.025 ± 0.005	0.012 ± 0.007	2.461～2.752
猿　八３	52	0.036 ± 0.002	3.304 ± 0.217	0.003 ± 0.003	0.062 ± 0.006	0.977 ± 0.141	0.854 ± 0.110	0.400 ± 0.067	0.333 ± 0.019	0.066 ± 0.009	0.280 ± 0.149	0.033 ± 0.017	0.055 ± 0.009	0.014 ± 0.007	2.526～2.557
佐　渡-10	44	0.042 ± 0.001	3.606 ± 0.144	0.029 ± 0.002	0.046 ± 0.004	0.318 ± 0.027	0.445 ± 0.028	1.920 ± 0.161	0.845 ± 0.030	0.139 ± 0.012	0.122 ± 0.012	0.016 ± 0.006	0.013 ± 0.001	0.007 ± 0.007	2.545 ± 0.009
佐渡・小倉川-碧玉H15	56	0.071 ± 0.005	3.833 ± 0.411	0.252 ± 0.021	0.485 ± 0.033	0.110 ± 0.008	0.211 ± 0.009	4.053 ± 0.464	0.848 ± 0.100	0.682 ± 0.066	0.138 ± 0.020	0.007 ± 0.003	0.048 ± 0.006	0.082 ± 0.015	2.428 ± 0.013
佐渡・小倉川-緑凝灰岩１	50	0.049 ± 0.004	3.638 ± 0.422	0.030 ± 0.006	0.115 ± 0.010	0.208 ± 0.052	0.298 ± 0.082	1.726 ± 0.568	0.468 ± 0.052	0.146 ± 0.017	0.100 ± 0.008	0.014 ± 0.005	0.021 ± 0.005	0.011 ± 0.004	2.363 ± 0.038
佐渡・小倉川-緑凝灰岩２	46	0.050 ± 0.003	3.873 ± 0.356	0.110 ± 0.026	0.054 ± 0.010	0.387 ± 0.076	0.419 ± 0.068	0.957 ± 0.193	0.388 ± 0.046	0.296 ± 0.042	0.108 ± 0.052	0.003 ± 0.008	0.019 ± 0.004	0.014 ± 0.007	2.370 ± 0.012
佐渡・小倉川緑凝H17	46	0.048 ± 0.000	3.889 ± 0.043	0.058 ± 0.002	0.060 ± 0.002	0.304 ± 0.007	0.324 ± 0.009	1.476 ± 0.037	0.474 ± 0.009	0.233 ± 0.007	0.051 ± 0.004	0.001 ± 0.002	0.016 ± 0.001	0.013 ± 0.005	2.21～吸水
小倉川-碧玉２	45	0.045 ± 0.003	3.122 ± 0.186	0.072 ± 0.024	0.121 ± 0.037	0.134 ± 0.031	0.245 ± 0.046	2.453 ± 0.509	0.576 ± 0.070	0.190 ± 0.051	0.119 ± 0.024	0.010 ± 0.004	0.014 ± 0.004	0.009 ± 0.005	2.471 ± 0.036
新潟・津川－６群	48	0.041 ± 0.001	3.554 ± 0.190	0.036 ± 0.007	0.079 ± 0.004	0.352 ± 0.032	0.346 ± 0.024	1.345 ± 0.112	0.460 ± 0.019	0.079 ± 0.016	0.158 ± 0.031	0.024 ± 0.005	0.025 ± 0.001	0.018 ± 0.006	2.542 ± 0.006
会津坂下原石	42	0.039 ± 0.004	1.500 ± 0.155	1.162 ± 0.104	0.280 ± 0.058	0.154 ± 0.027	0.168 ± 0.027	1.630 ± 0.188	0.268 ± 0.032	1.162 ± 0.171	0.108 ± 0.017	0.032 ± 0.007	0.038 ± 0.004	0.009 ± 0.008	2.1～吸水激し
土　岐	51	0.006 ± 0.004	0.361 ± 0.131	0.072 ± 0.063	0.098 ± 0.063	0.023 ± 0.005	0.096 ± 0.025	43.067 ± 23.28	4.056 ± 2.545	0.271 ± 0.308	0.159 ± 0.180	0.001 ± 0.001	0.001 ± 0.001	0.072 ± 0.160	2.607 ± 0.009
玉　谷	28	0.025 ± 0.009	0.625 ± 0.297	0.110 ± 0.052	0.476 ± 0.104	0.045 ± 0.014	0.151 ± 0.020	6.190 ± 1.059	0.940 ± 0.205	0.192 ± 0.170	0.158 ± 0.075	0.006 ± 0.003	0.016 ± 0.003	0.054 ± 0.021	2.619 ± 0.014
細　入	8	0.019 ± 0.003	0.534 ± 0.284	0.991 ± 0.386	0.372 ± 0.125	0.031 ± 0.008	0.073 ± 0.020	12.884 ± 3.752	0.882 ± 0.201	1.879 ± 0.650	0.026 ± 0.032	0.003 ± 0.002	0.008 ± 0.002	0.021 ± 0.344	2.169 ± 0.039
緑　川	48	0.040 ± 0.003	0.495 ± 0.014	0.798 ± 0.030	0.985 ± 0.032	0.026 ± 0.001	0.044 ± 0.004	3.764 ± 0.428	0.166 ± 0.024	0.830 ± 0.073	0.155 ± 0.022	0.019 ± 0.001	0.024 ± 0.001	0.020 ± 0.011	2.669
二　俣	45	0.040 ± 0.003	2.520 ± 0.140	0.384 ± 0.015	0.174 ± 0.004	0.301 ± 0.036	0.377 ± 0.040	1.068 ± 0.103	0.399 ± 0.018	0.699 ± 0.059	0.086 ± 0.016	0.008 ± 0.001	0.046 ± 0.005	0.020 ± 0.007	2.440 ± 0.091
石　戸	4	0.019 ± 0.004	0.601 ± 0.196	0.075 ± 0.022	0.086 ± 0.038	0.154 ± 0.072	0.170 ± 0.079	7.242 ± 1.597	1.142 ± 0.315	0.649 ± 0.158	0.247 ± 0.092	0.007 ± 0.001	0.009 ± 0.002	0.227 ± 0.089	2.598 ± 0.008
茂辺地川	4	0.031 ± 0.002	1.847 ± 0.246	0.077 ± 0.024	0.222 ± 0.052	0.092 ± 0.021	0.190 ± 0.052	5.566 ± 1.549	0.980 ± 0.044	0.300 ± 0.032	0.171 ± 0.051	0.003 ± 0.008	0.016 ± 0.001	0.132 ± 0.069	2.536 ± 0.033
ケショマップ１	44	0.040 ± 0.007	2.745 ± 0.957	0.234 ± 0.139	0.135 ± 0.030	0.067 ± 0.008	0.096 ± 0.007	5.720 ± 0.608	0.543 ± 0.034	0.489 ± 0.184	0.146 ± 0.027	0.003 ± 0.001	0.009 ± 0.001	0.035 ± 0.018	2.287 ± 0.013
小松・菩提－那谷	44	0.037 ± 0.002	3.475 ± 0.265	0.008 ± 0.012	0.093 ± 0.015	0.412 ± 0.093	0.347 ± 0.037	1.409 ± 0.256	0.479 ± 0.064	0.107 ± 0.119	0.115 ± 0.044	0.017 ± 0.012	0.033 ± 0.004	0.011 ± 0.009	2.323～2.584
小松・菩提－１	62	0.039 ± 0.003	3.150 ± 0.298	0.035 ± 0.029	0.129 ± 0.022	0.323 ± 0.147	0.327 ± 0.091	1.781 ± 0.686	0.523 ± 0.091	0.239 ± 0.147	0.135 ± 0.047	0.013 ± 0.011	0.036 ± 0.013	0.010 ± 0.009	2.536 ± 0.021
花仙山（白化風化）	43	0.026 ± 0.004	0.975 ± 0.276	0.027 ± 0.018	0.261 ± 0.072	0.036 ± 0.008	0.155 ± 0.033	15.733 ± 2.527	2.441 ± 0.669	0.351 ± 0.126	0.184 ± 0.050	0.009 ± 0.005	0.008 ± 0.001	0.001 ± 0.006	2.294 ± 0.151
花仙山（横屋堀-1）	40	0.019 ± 0.006	1.080 ± 0.161	0.017 ± 0.009	0.138 ± 0.042	0.097 ± 0.017	0.197 ± 0.013	8.187 ± 0.859	1.590 ± 0.111	0.339 ± 0.041	0.079 ± 0.022	0.021 ± 0.006	0.011 ± 0.001	0.003 ± 0.006	2.624～2.447
花仙山（淡緑色）	40	0.027 ± 0.006	1.449 ± 0.075	0.037 ± 0.007	0.161 ± 0.018	0.075 ± 0.012	0.246 ± 0.018	12.479 ± 1.513	3.022 ± 0.233	0.921 ± 0.066	0.182 ± 0.022	0.007 ± 0.005	0.011 ± 0.001	－－－	2.428～2.507
花仙山-くらさこ	48	0.023 ± 0.001	1.537 ± 0.129	0.011 ± 0.011	0.118 ± 0.028	0.167 ± 0.030	0.268 ± 0.044	5.638 ± 0.764	1.469 ± 0.110	0.324 ± 0.084	0.092 ± 0.019	0.022 ± 0.007	0.017 ± 0.003	0.003 ± 0.008	2.531～2.570
花仙山面白谷	52	0.021 ± 0.004	1.336 ± 0.444	0.072 ± 0.050	0.176 ± 0.043	0.061 ± 0.028	0.187 ± 0.042	16.137 ± 4.988	2.874 ± 0.744	0.824 ± 0.612	0.146 ± 0.044	0.012 ± 0.005	0.009 ± 0.002	0.001 ± 0.005	2.588 ± 0.036
花仙山めのう公園前-凝灰岩	46	0.047 ± 0.004	2.285 ± 0.142	0.055 ± 0.012	0.370 ± 0.023	0.046 ± 0.007	0.111 ± 0.011	12.125 ± 2.515	1.313 ± 0.177	0.497 ± 0.157	0.126 ± 0.015	0.005 ± 0.003	0.015 ± 0.003	0.002 ± 0.004	2.419吸水
大分・九重-1原石	42	0.020 ± 0.003	0.453 ± 0.090	1.045 ± 1.037	0.375 ± 0.064	0.098 ± 0.032	0.348 ± 0.071	2.688 ± 0.976	0.873 ± 0.161	4.454 ± 1.061	0.051 ± 0.033	0.021 ± 0.015	0.032 ± 0.008	0.009 ± 0.013	1.970 ± 0.063

Xav：平均値、σ：標準偏差値

表70　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(1)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
女代南B	68	0.045±0.016	3.115±0.445	0.042±0.024	0.107±0.036	0.283±0.099	0.267±0.063	2.374±0.676	0.595±0.065	0.214±0.097	0.171±0.047	0.011±0.004	0.026±0.009	0.034±0.016	2.554±0.019
未定C	58	0.030±0.028	4.416±0.618	0.013±0.013	0.207±0.034	0.589±0.130	0.650±0.113	0.583±0.110	0.369±0.035	0.090±0.030	0.070±0.026	0.002±0.001	0.101±0.019	0.019±0.016	2.646±0.023
車塚1	33	0.030±0.015	3.774±0.404	0.015±0.005	0.278±0.043	0.334±0.031	0.469±0.030	0.782±0.071	0.365±0.016	0.071±0.012	0.090±0.060	0.002±0.001	0.081±0.013	0.033±0.013	2.619±0.019
車塚2	45	0.035±0.015	4.066±0.618	0.012±0.004	0.232±0.025	0.544±0.118	0.672±0.112	0.540±0.122	0.350±0.036	0.070±0.280	0.057±0.019	0.002±0.001	0.109±0.023	0.028±0.013	2.616±0.019
牟田辺	58	0.082±0.042	3.327±0.450	0.853±0.213	0.913±0.178	0.091±0.019	0.161±0.018	1.342±0.160	0.214±0.026	2.140±0.412	0.064±0.024	0.008±0.003	0.067±0.008	0.018±0.010	2.1～吸水
天王山4号第1主体-No.1	38	0.018±0.004	1.341±0.031	0.079±0.013	0.277±0.013	0.257±0.011	0.389±0.036	0.814±0.057	0.316±0.032	0.168±0.027	0.074±0.031	0.006±0.001	0.069±0.003	0.055±0.027	2.437
天王山4号第1主体-No.2	40	0.027±0.000	2.602±0.025	0.021±0.003	0.234±0.006	0.184±0.001	0.228±0.005	2.645±0.044	0.599±0.014	0.135±0.009	0.066±0.007	0.013±0.007	0.039±0.001	0.018±0.011	2.548
天王山4号第2主体-No.5	42	0.034±0.000	3.572±0.129	0.002±0.002	0.252±0.009	0.777±0.030	1.035±0.040	0.287±0.009	0.295±0.005	0.072±0.004	0.041±0.004	0.025±0.015	0.176±0.005	0.025±0.004	2.466
天王山4号第2主体-No.7	42	0.028±0.000	2.650±0.020	0.003±0.003	0.073±0.007	0.557±0.010	0.672±0.019	0.517±0.014	0.345±0.007	0.074±0.006	0.337±0.015	0.023±0.019	0.036±0.003	0.012±0.007	2.555
長塚(1)	47	0.036±0.004	3.525±0.347	0.033±0.005	0.439±0.050	0.204±0.037	0.361±0.040	2.756±0.473	0.980±0.110	0.472±0.083	0.379±0.143	0.005±0.001	0.094±0.013	0.022±0.016	2.533±0.016
長塚(2)	45	0.028±0.007	2.659±0.122	0.010±0.004	0.064±0.003	0.719±0.065	0.832±0.054	0.412±0.038	0.341±0.023	0.036±0.010	0.386±0.242	0.004±0.001	0.047±0.004	0.024±0.013	2.569±0.003
No.200-1	32	0.042±0.004	0.808±0.025	3.588±0.074	0.639±0.016	0.051±0.002	0.042±0.006	1.751±0.149	0.073±0.016	4.665±0.374	0.239±0.026	0.006±0.001	0.033±0.001	0.006±0.009	2.308
No.200-2	28	0.037±0.004	0.990±0.021	2.384±0.067	0.605±0.029	0.064±0.003	0.072±0.011	1.422±0.075	0.102±0.015	6.680±0.322	0.170±0.017	0.008±0.001	0.038±0.002	0.006±0.010	2.277
No.200-3	28	0.039±0.003	0.926±0.020	2.527±0.114	1.085±0.059	0.053±0.002	0.053±0.009	1.668±0.093	0.088±0.015	4.455±0.197	0.343±0.031	0.014±0.003	0.058±0.003	0.002±0.005	2.270
No.200-4	32	0.047±0.007	0.855±0.025	3.771±0.079	1.228±0.035	0.057±0.003	0.118±0.023	1.110±0.129	0.130±0.030	9.626±1.090	0.117±0.025	0.005±0.001	0.068±0.002	0.006±0.008	2.256
No.200-6	32	0.040±0.006	4.185±0.162	0.031±0.006	0.103±0.003	0.821±0.019	0.692±0.040	0.646±0.037	0.447±0.025	0.207±0.020	0.296±0.026	0.011±0.002	0.082±0.003	0.038±0.026	2.542
本郷-No.23	30	0.049±0.003	0.922±0.036	4.701±0.161	1.027±0.112	0.042±0.002	0.193±0.062	1.390±0.134	0.271±0.096	8.507±0.791	0.118±0.036	0.008±0.002	0.043±0.004	0.005±0.005	2.201吸水
本郷-No.17	34	0.049±0.003	1.094±0.030	3.635±0.074	0.823±0.021	0.058±0.002	0.166±0.012	1.282±0.088	0.213±0.021	9.273±0.591	0.137±0.019	0.006±0.001	0.047±0.001	0.005±0.005	2.204吸水
本郷-No.16	27	0.053±0.004	1.254±0.037	3.706±0.076	0.970±0.092	0.029±0.004	0.085±0.018	2.626±0.429	0.215±0.025	8.981±0.646	0.170±0.028	0.013±0.001	0.027±0.002	0.004±0.004	2.254吸水
本郷-No.22	32	0.051±0.005	1.274±0.089	3.133±0.146	0.699±0.046	0.048±0.003	0.175±0.022	－－－	0.329±0.047	6.754±0.505	0.168±0.033	0.007±0.001	0.033±0.001	0.005±0.006	2.219吸水
本郷-No.11	30	0.051±0.004	1.082±0.028	4.221±0.039	0.827±0.015	0.041±0.001	0.145±0.011	1.580±0.109	0.230±0.023	9.062±0.598	0.160±0.018	0.009±0.001	0.034±0.001	0.001±0.003	2.227吸水
本郷-No.8	32	0.034±0.003	0.749±0.043	3.138±0.498	1.446±0.131	0.019±0.001	0.014±0.002	5.991±0.477	0.084±0.015	3.924±0.299	0.362±0.025	0.021±0.001	0.027±0.001	0.010±0.012	2.684
札幌市-K135	38	0.040±0.006	4.017±0.246	0.150±0.008	0.160±0.006	0.202±0.015	0.315±0.022	1.739±0.136	0.546±0.028	0.454±0.026	0.136±0.030	0.007±0.001	0.035±0.001	0.036±0.016	2.436
山崎4	58	0.012±0.001	0.286±0.021	0.209±0.022	0.231±0.019	0.028±0.002	0.090±0.009	15.726±1.722	1.418±0.177	0.628±0.094	0.076±0.081	0.002±0.000	0.006±0.000	0.127±0.059	2.588
梅田1	40	0.021±0.003	1.204±0.094	0.066±0.017	0.143±0.008	0.065±0.005	0.220±0.029	12.333±0.882	2.710±0.421	0.273±0.374	0.741±0.134	0.001±0.000	0.009±0.001	0.014±0.019	2.579±0.013
梅田2	44	0.032±0.004	2.539±0.246	0.025±0.006	0.522±0.050	0.172±0.035	0.299±0.051	3.517±0.603	2.024±0.053	0.316±0.048	0.283±0.066	0.005±0.001	0.080±0.011	0.035±0.015	2.531±0.007
梅田3	40	0.027±0.003	1.911±0.062	0.020±0.007	0.518±0.010	0.261±0.012	0.430±0.017	3.262±0.209	1.401±0.057	0.338±0.028	0.386±0.048	0.005±0.001	0.121±0.005	0.033±0.027	2.511
梅田4	38	0.081±0.008	7.149±0.288	0.023±0.003	0.082±0.002	0.558±0.020	0.473±0.026	1.003±0.046	0.473±0.018	0.222±0.032	0.100±0.013	0.006±0.001	0.039±0.002	0.039±0.010	2.446
上ノ段1	42	0.014±0.002	0.413±0.046	0.054±0.026	0.395±0.040	0.053±0.005	0.223±0.020	3.772±0.448	0.833±0.068	0.077±0.037	0.296±0.053	0.006±0.001	0.019±0.001	0.014±0.018	2.636±0.001
梅田東1	51	0.030±0.007	1.974±0.317	0.026±0.011	0.529±0.061	0.192±0.011	0.219±0.019	2.366±0.474	0.512±0.069	0.072±0.024	0.101±0.042	0.008±0.001	0.095±0.014	0.027±0.018	2.541±0.016
新方1	67	0.062±0.005	1.868±0.115	1.640±0.137	0.733±0.069	0.078±0.012	0.111±0.205	1.610±0.264	0.175±0.018	8.298±0.619	0.078±0.019	0.050±0.020	0.046±0.006	0.027±0.009	2.290±0.018
新方2	30	0.056±0.005	4.152±0.162	0.226±0.181	0.313±0.010	0.212±0.019	0.297±0.018	3.847±0.314	1.137±0.057	0.649±0.095	0.139±0.053	0.010±0.003	0.061±0.004	0.032±0.017	2.546±0.011
新方3	39	0.044±0.008	0.912±0.178	2.416±0.174	0.786±0.267	0.080±0.011	0.086±0.018	1.685±0.413	0.144±0.050	7.449±1.605	0.182±0.056	0.068±0.027	0.057±0.013	0.007±0.007	2.257±0.024
新井1	51	0.046±0.004	3.875±0.879	0.316±0.009	0.234±0.004	0.146±0.018	0.255±0.021	1.874±0.168	0.476±0.020	1.994±0.080	0.077±0.022	0.084±0.001	0.035±0.001	0.021±0.011	2.482
山ノ奥1	42	0.013±0.002	0.608±0.049	0.080±0.015	0.355±0.018	0.136±0.011	0.278±0.025	1.052±0.082	0.291±0.015	0.083±0.010	0.142±0.015	0.010±0.001	0.045±0.002	0.027±0.016	2.461
大歳山3号墳-No.10	48	0.048±0.006	3.589±0.151	0.096±0.013	0.346±0.012	0.151±0.005	0.220±0.009	2.478±0.104	0.545±0.021	0.452±0.059	0.065±0.016	0.004±0.000	0.046±0.002	0.033±0.014	2.2～吸水
大歳山3号墳-No.2	48	0.062±0.007	0.280±0.045	26.464±5.515	1.390±0.161	0.002±0.000	0.002±0.001	77.099±9.460	0.152±0.049	0.428±0.079	0.120±0.060	0.014±0.001	0.003±0.000	0.087±0.040	2.849?

表71　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(2)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
大歳山３号墳-No.3	42	0.037±0.004	1.817±0.072	0.111±0.008	0.289±0.008	0.052±0.002	0.105±0.004	4.471±0.140	0.470±0.017	0.284±0.018	0.265±0.028	0.012±0.001	0.012±0.000	0.002±0.005	2.3～吸水
東船２	40	0.118±0.001	0.466±0.010	0.376±0.009	0.108±0.004	0.020±0.001	0.087±0.004	48.841±6.946	4.250±0.538	0.756±0.136	0.056±0.074	0.001±0.000	0.002±0.000	0.115±0.058	2.19～吸水
亀川３	41	0.112±0.010	3.879±0.431	0.122±0.022	0.668±0.030	0.034±0.004	0.073±0.011	9.768±0.951	0.706±0.062	0.117±0.011	0.126±0.022	0.005±0.001	0.022±0.002	0.094±0.020	2.530±0.054
昼飯３	48	0.028±0.005	2.002±0.046	0.020±0.010	0.442±0.015	0.169±0.009	0.290±0.014	0.967±0.040	0.280±0.010	0.052±0.007	0.062±0.010	0.002±0.001	0.070±0.002	0.035±0.010	2.501
大歳山３号墳-No.4	48	0.077±0.006	6.185±0.139	0.058±0.006	0.104±0.003	0.287±0.011	0.286±0.016	1.216±0.076	0.346±0.011	0.166±0.014	0.113±0.014	0.008±0.001	0.025±0.001	0.014±0.007	2.2～吸水
昼飯４	48	0.030±0.005	2.078±0.122	0.040±0.018	0.702±0.032	0.132±0.008	0.263±0.009	3.774±0.170	0.991±0.049	0.227±0.035	0.145±0.048	0.005±0.001	0.083±0.002	0.035±0.015	2.579
有岡１	45	0.046±0.003	0.454±0.091	4.885±0.933	1.484±0.257	0.038±0.008	0.058±0.007	2.395±0.279	0.139±0.025	1.639±0.375	0.424±0.041	0.006±0.001	0.050±0.005	0.004±0.006	2.200
彼ノ宗６	44	0.033±0.007	3.017±0.430	0.154±0.042	0.107±0.012	0.045±0.002	0.120±0.004	12.584±0.730	1.508±0.072	0.367±0.018	0.069±0.027	0.007±0.001	0.005±0.000	0.014±0.011	2.475
彼ノ宗３	35	0.072±0.008	2.647±0.079	1.233±0.015	0.915±0.018	0.085±0.003	0.167±0.029	1.471±0.106	0.245±0.038	5.611±0.363	0.067±0.019	0.006±0.001	0.069±0.001	0.026±0.009	2.2～吸水
彼ノ宗４	40	0.067±0.010	4.156±0.155	0.344±0.009	0.488±0.009	0.134±0.005	0.183±0.007	1.692±0.065	0.310±0.010	0.739±0.020	0.074±0.014	0.011±0.001	0.058±0.002	0.032±0.009	2.2～吸水
斉当坊６	45	0.045±0.004	3.512±0.108	0.038±0.004	0.090±0.003	0.839±0.059	0.618±0.047	0.849±0.074	0.522±0.020	0.181±0.011	0.984±0.219	0.015±0.001	0.070±0.004	0.030±0.033	2.554
笠見3-5	46	0.103±0.010	4.761±0.127	0.039±0.005	0.513±0.069	0.090±0.003	0.157±0.006	1.470±0.050	0.231±0.007	0.574±0.047	0.022±0.015	0.008±0.001	0.044±0.006	0.025±0.005	2.249～2.098
笠見８	40	0.079±0.008	3.542±0.123	0.148±0.014	0.561±0.019	0.044±0.001	0.047±0.004	2.782±0.184	0.131±0.014	1.861±0.149	0.028±0.009	0.008±0.001	0.024±0.001	0.023±0.006	2.257
笠見10	48	0.100±0.008	4.776±0.117	0.064±0.004	0.600±0.007	0.078±0.001	0.097±0.009	1.650±0.059	0.159±0.016	2.187±0.074	0.020±0.014	0.009±0.001	0.046±0.001	0.018±0.005	2.278
笠見４	45	0.105±0.002	0.135±0.005	0.313±0.043	0.781±0.030	0.013±0.001	0.045±0.005	7.429±0.531	0.332±0.035	0.220±0.037	0.105±0.032	0.059±0.002	0.010±0.001	0.049±0.027	2.610
笠見13	45	0.088±0.008	4.591±0.091	0.123±0.005	0.439±0.008	0.074±0.002	0.099±0.007	2.090±0.151	0.206±0.013	1.523±0.108	0.028±0.010	0.008±0.001	0.032±0.001	0.024±0.007	2.297
矢野４	46	0.039±0.004	2.666±0.087	0.042±0.006	0.144±0.003	0.482±0.018	0.456±0.019	0.911±0.041	0.415±0.016	0.173±0.011	0.262±0.023	0.008±0.001	0.064±0.002	0.024±0.016	2.456
青田77	48	0.038±0.005	2.294±0.066	0.109±0.009	0.302±0.008	0.273±0.010	0.401±0.018	1.349±0.077	0.540±0.026	0.627±0.035	0.143±0.024	0.004±0.001	0.077±0.003	0.033±0.019	2.583
青田78	48	0.053±0.007	2.304±0.206	0.432±0.011	0.766±0.016	0.072±0.003	0.116±0.009	1.643±0.158	0.190±0.021	1.583±0.113	0.031±0.019	0.011±0.001	0.051±0.002	0.024±0.009	2.403
菜畑	36	0.029±0.019	3.666±0.328	0.081±0.034	0.268±0.050	0.529±0.189	0.674±0.256	0.548±0.131	0.337±0.017	0.198±0.096	0.103±0.038	0.005±0.002	0.129±0.028	0.035±0.016	2.521±0.027
石田２	30	0.019±0.001	1.325±0.043	0.010±0.007	1.041±0.047	0.109±0.003	0.157±0.005	1.810±0.058	0.281±0.011	0.010±0.006	0.049±0.006	0.022±0.006	0.102±0.003	0.025±0.010	2.425
石田３	30	0.014±0.001	0.461±0.059	0.001±0.003	0.335±0.038	0.098±0.011	0.134±0.014	4.288±0.414	0.567±0.062	1.160±0.117	0.204±0.035	0.065±0.009	0.029±0.002	0.010±0.018	2.630
美保（出雲）No.１	30	0.095±0.002	4.703±0.190	0.140±0.006	0.421±0.013	0.062±0.005	0.101±0.010	3.071±0.337	0.304±0.006	0.483±0.011	0.039±0.002	0.001±0.001	0.023±0.002	0.024±0.003	2.173
大代８	46	0.031±0.001	3.129±0.100	0.010±0.005	0.394±0.008	0.261±0.005	0.418±0.009	2.010±0.041	0.835±0.018	0.253±0.013	0.343±0.014	0.006±0.007	0.093±0.001	0.011±0.009	2.546
大代５	46	0.049±0.002	0.677±0.053	7.307±0.891	1.069±0.113	0.004±0.001	0.002±0.001	36.228±2.282	0.061±0.011	7.363±0.353	0.253±0.015	0.012±0.001	0.004±0.001	0.000000	2.589
沖丈－２号	45	0.066±0.005	2.596±0.355	0.876±0.105	0.937±0.082	0.093±0.008	0.192±0.020	1.124±0.189	0.210±0.018	4.640±0.439	0.044±0.008	0.001±0.004	0.079±0.011	0.016±0.004	2.399±0.015
大歳山３号墳-No.1	42	0.040±0.001	0.762±0.042	0.929±0.118	0.206±0.018	0.035±0.002	0.020±0.003	1.338±0.014	0.027±0.004	0.595±0.023	0.064±0.004	0.023±0.002	0.006±0.001	0.009±0.005	2.611
持田3丁目-No.1	42	0.055±0.004	3.186±0.281	0.482±0.048	0.725±0.031	0.080±0.010	0.150±0.020	1.320±0.172	0.194±0.011	2.827±0.286	0.050±0.007	0.015±0.010	0.052±0.007	0.019±0.004	2.3～,2.4～
持田3丁目-No.2	45	0.038±0.002	3.370±0.104	0.024±0.024	0.244±0.053	0.273±0.039	0.368±0.044	1.210±0.222	0.445±0.114	0.277±0.223	0.063±0.025	0.005±0.007	0.058±0.006	0.032±0.011	2.5～,2.6～
持田3丁目-No.3	45	0.045±0.003	4.282±0.393	0.001±0.002	0.173±0.014	0.981±0.119	1.164±0.185	0.290±0.023	0.333±0.041	0.079±0.015	0.055±0.010	0.010±0.014	0.152±0.012	0.021±0.008	2.5～,2.6～
花仙山遺物群	50	0.020±0.003	1.164±0.355	0.039±0.028	0.153±0.071	0.123±0.031	0.214±0.033	7.615±2.563	1.555±0.296	0.501±0.187	0.072±0.030	0.031±0.016	0.016±0.006	0.003±0.006	2.543～2.562
上野１号墳-No.3	42	0.030±0.000	1.977±0.039	0.020±0.003	0.914±0.026	0.104±0.003	0.267±0.005	2.840±0.086	0.752±0.029	0.097±0.013	0.100±0.009	0.015±0.007	0.085±0.001	0.024±0.011	2.444
石台-No.1	44	0.069±0.001	2.580±0.035	1.220±0.056	0.892±0.014	0.049±0.003	0.120±0.006	1.831±0.072	0.218±0.005	6.025±0.088	0.043±0.004	－－－－－－	0.039±0.002	0.011±0.003	2.409
鶺貫	42	0.027±0.001	2.279±0.131	0.014±0.010	0.166±0.008	0.141±0.012	0.162±0.009	2.644±0.126	0.423±0.014	0.177±0.012	0.112±0.009	0.016±0.006	0.021±0.002	0.011±0.008	2.564
玉の宮-No.1	43	0.017±0.001	1.289±0.178	0.044±0.008	0.196±0.031	0.038±0.001	0.116±0.002	30.326±1.854	3.478±0.213	0.544±0.055	0.270±0.036	0.006±0.003	0.007±0.001	0.0003±0.001	2.613
仲仙寺9-No.2	41	0.020±0.001	1.502±0.068	0.021±0.005	0.132±0.008	0.279±0.007	0.405±0.014	0.671±0.020	0.269±0.009	0.088±0.007	0.086±0.006	0.053±0.013	0.033±0.002	0.020±0.008	2.099
仲仙寺9-No.3-6	42	0.018±0.001	1.004±0.103	0.027±0.009	0.152±0.018	0.117±0.007	0.247±0.009	6.637±0.858	1.620±0.199	0.361±0.114	0.087±0.032	0.029±0.010	0.016±0.002	0.005±0.010	2.523

表72　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(3)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
仲仙寺9-No.5	41	0.019±0.002	0.822±0.031	0.104±0.016	1.072±0.024	0.123±0.002	0.332±0.015	0.487±0.025	0.160±0.009	0.112±0.006	0.049±0.003	0.048±0.010	0.119±0.002	0.026±0.006	2.490
西川津	48	0.077±0.004	2.461±0.212	1.485±0.123	0.835±0.055	0.062±0.008	0.168±0.032	1.634±0.294	0.264±0.026	6.335±0.799	0.054±0.006	0.001±0.003	0.046±0.006	0.014±0.004	2.415～2.444
源代	46	0.067±0.011	0.770±0.153	3.837±0.573	1.859±0.170	0.013±0.001	0.017±0.003	5.261±0.287	0.091±0.017	5.048±0.373	0.065±0.012	0.016±0.005	0.021±0.003	0.002±0.004	2.192～2.277
紫金山－鍬形石	45	0.059±0.001	2.691±0.337	0.695±0.164	0.364±0.032	0.105±0.009	0.189±0.034	1.890±0.163	0.354±0.063	1.457±0.333	0.174±0.060	0.002±0.002	0.034±0.005	0.006±0.005	2.209～2.204
紫金山－車輪石	49	0.066±0.001	2.651±0.040	0.801±0.049	0.391±0.007	0.098±0.003	0.198±0.006	1.691±0.101	0.331±0.017	1.149±0.022	0.125±0.020	0.004±0.002	0.035±0.001	0.005±0.005	2.100
紫金山－紡錘車1-3	42	0.052±0.003	1.344±0.138	1.402±0.232	0.269±0.153	0.085±0.018	0.134±0.015	2.814±0.528	0.370±0.042	2.117±0.547	0.565±0.383	0.010±0.005	0.019±0.008	0.0003±0.002	2.22～2.223
紫金山－紡錘車２	42	0.055±0.000	3.076±0.009	0.240±0.002	0.373±0.004	0.118±0.000	0.263±0.004	1.958±0.020	0.512±0.008	1.228±0.017	0.164±0.004	0.0004±0.0009	0.039±0.000	0.011±0.006	2.189
山持川-41-5	30	0.042±0.000	3.220±0.066	0.120±0.006	0.119±0.004	0.257±0.017	0.252±0.014	1.425±0.106	0.355±0.013	0.863±0.029	0.062±0.007	0.008±0.004	0.027±0.002	0.005±0.004	2.211
堀部Ⅱ-222	44	0.013±0.000	0.365±0.083	0.038±0.022	0.308±0.068	0.144±0.032	0.226±0.024	2.700±0.284	0.605±0.091	2.127±0.233	0.013±0.022	0.126±0.018	0.038±0.003	0.016±0.023	2.536
川向-No.３・５	36	0.042±0.001	2.786±0.361	0.196±0.085	0.156±0.028	0.199±0.029	0.218±0.029	1.918±0.474	0.405±0.062	1.776±0.688	0.084±0.027	0.002±0.003	0.028±0.005	0.002±0.004	2.365～2.386
川向-No.４	28	0.029±0.000	1.932±0.057	0.032±0.005	0.179±0.005	0.224±0.019	0.325±0.023	1.814±0.129	0.583±0.017	0.316±0.038	0.075±0.009	0.028±0.007	0.036±0.003	0.005±0.006	2.516
古志本郷	40	0.085±0.014	2.960±0.197	0.632±0.192	0.668±0.041	0.064±0.005	0.139±0.014	1.436±0.232	0.196±0.016	4.070±0.584	0.033±0.006	－－－	0.038±0.004	0.015±0.003	2.334～2.362
古浦砂丘-65	41	0.055±0.002	5.450±0.137	0.0002±0.001	0.130±0.005	1.157±0.075	1.351±0.064	0.253±0.010	0.339±0.008	0.069±0.005	0.058±0.005	0.007±0.009	0.136±0.012	0.020±0.006	2.576
古浦砂丘-A6	40	0.036±0.000	3.098±0.046	0.165±0.019	0.091±0.008	0.278±0.004	0.292±0.011	1.538±0.039	0.445±0.018	0.386±0.017	0.127±0.007	0.009±0.011	0.023±0.002	0.010±0.008	2.559
古浦砂丘-21	41	0.077±0.002	3.220±0.121	1.287±0.111	0.652±0.022	0.087±0.003	0.195±0.009	0.938±0.050	0.181±0.010	6.996±0.332	0.049±0.004	0.003±0.005	0.051±0.001	0.011±0.004	2.353
会津坂下-G	50	0.038±0.004	3.323±0.455	0.018±0.012	0.047±0.006	0.360±0.058	0.412±0.053	1.454±0.239	0.583±0.030	0.085±0.018	0.174±0.034	0.019±0.009	0.015±0.002	0.025±0.008	2.523±0.035
会津坂下-N	48	0.045±0.006	4.044±0.475	0.026±0.007	0.325±0.064	0.274±0.048	0.311±0.034	2.861±0.314	0.876±0.083	0.276±0.095	0.168±0.089	0.011±0.005	0.078±0.009	0.019±0.010	2.401±0.096
湯坂１	54	0.041±0.005	3.292±0.543	0.020±0.009	0.054±0.019	0.278±0.051	0.377±0.061	2.510±0.430	0.922±0.122	0.341±0.137	0.123±0.032	0.007±0.007	0.013±0.003	0.021±0.015	2.249～2.420
湯坂２	40	0.058±0.004	5.308±0.422	0.033±0.036	0.071±0.013	0.212±0.038	0.263±0.041	3.643±0.395	0.938±0.053	0.352±0.071	0.126±0.020	0.011±0.004	0.014±0.004	0.034±0.013	2.223～2.339
阿尾島田-1	49	0.021±0.013	1.116±0.122	0.026±0.019	0.239±0.038	0.307±0.026	0.482±0.064	0.882±0.144	0.419±0.075	0.211±0.059	0.071±0.011	0.089±0.019	0.066±0.012	0.014±0.011	2.481±0.038
阿尾島田-2	45	0.030±0.001	2.212±0.053	0.000±0.001	0.033±0.004	0.671±0.031	0.808±0.040	1.022±0.047	0.819±0.040	0.039±0.024	0.143±0.018	0.047±0.025	0.020±0.003	0.013±0.016	2.467
中野清水１群	40	0.088±0.014	1.823±0.355	0.124±0.071	1.718±0.816	0.024±0.008	0.031±0.014	4.396±0.609	0.128±0.031	0.024±0.009	0.066±0.012	0.010±0.005	0.036±0.019	0.033±0.005	2.565
中野清水３群	45	1.855±0.002	1.432±0.125	0.002±0.004	0.833±0.086	0.101±0.030	0.298±0.085	0.421±0.176	0.110±0.010	0.166±0.039	0.028±0.003	0.026±0.031	0.074±0.019	0.054±0.007	2.768
中野清水４群	45	0.080±0.006	1.977±0.105	0.040±0.020	0.713±0.101	0.034±0.000	0.048±0.002	3.426±0.059	0.165±0.008	0.019±0.006	0.062±0.006	0.026±0.011	0.022±0.003	0.024±0.008	2.656
中野清水５群	40	0.078±0.004	2.618±0.089	0.752±0.026	0.824±0.014	0.064±0.001	0.143±0.004	1.556±0.028	0.220±0.004	5.165±0.144	0.028±0.003	---	0.047±0.000	0.014±0.004	2.437
矢野No.1群	40	0.068±0.002	2.345±0.093	0.983±0.079	0.852±0.024	0.068±0.011	0.164±0.020	1.351±0.165	0.216±0.005	6.707±0.173	0.039±0.005	---	0.052±0.009	0.011±0.003	2.430
矢野No.2群	40	0.092±0.003	3.273±0.084	0.607±0.018	0.772±0.024	0.086±0.004	0.208±0.005	1.399±0.018	0.289±0.008	3.059±0.056	0.042±0.005	---	0.060±0.001	0.018±0.004	2.393
矢野No.3群	40	0.072±0.001	2.705±0.037	0.739±0.011	0.740±0.015	0.109±0.003	0.272±0.005	1.056±0.012	0.285±0.006	5.110±0.156	0.048±0.002	---	0.072±0.001	0.012±0.003	2.428
地方25群	46	0.055±0.001	4.374±0.094	0.106±0.008	0.135±0.011	0.220±0.006	0.205±0.008	2.346±0.073	0.478±0.018	0.588±0.025	0.117±0.024	0.002±0.003	0.027±0.002	0.015±0.013	2.407
地方26群	45	0.038±0.001	2.993±0.104	0.036±0.008	0.346±0.011	0.182±0.007	0.213±0.008	2.800±0.126	0.592±0.021	0.124±0.025	0.064±0.013	0.008±0.007	0.057±0.002	0.010±0.011	2.501
地方31群	45	0.067±0.001	1.858±0.030	1.674±0.029	1.408±0.028	0.070±0.001	0.187±0.006	0.925±0.022	0.172±0.005	5.791±0.084	0.021±0.003	0.002±0.003	0.089±0.001	0.015±0.005	2.258
地方32群	47	0.032±0.002	2.322±0.193	0.043±0.004	0.133±0.009	0.616±0.018	0.706±0.042	0.594±0.033	0.415±0.014	0.260±0.013	0.172±0.009	0.029±0.026	0.074±0.005	0.015±0.011	2.532
地方37群	46	0.050±0.002	3.666±0.262	0.098±0.006	0.232±0.009	0.070±0.004	0.131±0.008	5.538±0.224	0.719±0.040	0.245±0.014	0.094±0.009	0.001±0.002	0.015±0.001	0.022±0.010	2.375
地方38群	46	0.061±0.001	1.740±0.073	1.365±0.029	0.573±0.015	0.038±0.001	0.091±0.004	2.684±0.099	0.242±0.009	2.733±0.060	0.058±0.004	0.001±0.001	0.019±0.001	0.017±0.007	2.241
地方35群	40	0.041±0.001	3.075±0.052	0.127±0.007	0.262±0.010	0.108±0.001	0.189±0.006	2.545±0.074	0.478±0.017	0.317±0.014	0.137±0.010	---	0.025±0.001	0.023±0.012	2.027
地方36群	40	0.077±0.002	2.330±0.058	1.524±0.032	1.189±0.036	0.078±0.007	0.192±0.014	1.093±0.062	0.207±0.008	6.216±0.123	0.024±0.004	---	0.083±0.006	0.016±0.005	2.225
地方６群	40	0.041±0.001	3.359±0.031	0.015±0.005	0.094±0.005	0.475±0.012	0.557±0.015	1.049±0.030	0.580±0.016	0.123±0.014	0.149±0.009	0.003±0.007	0.040±0.003	0.017±0.013	2.543

表73　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(4)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
地方７群	40	0.042 ± 0.001	3.408 ± 0.142	0.042 ± 0.005	0.356 ± 0.013	0.176 ± 0.007	0.187 ± 0.007	9.292 ± 0.101	0.610 ± 0.024	0.128 ± 0.020	0.060 ± 0.011	0.001 ± 0.002	0.056 ± 0.001	0.016 ± 0.012	2.527
地方８群	40	0.040 ± 0.001	3.215 ± 0.059	0.061 ± 0.008	0.324 ± 0.035	0.245 ± 0.016	0.236 ± 0.012	2.324 ± 0.102	0.544 ± 0.018	0.230 ± 0.021	0.074 ± 0.015	0.003 ± 0.005	0.071 ± 0.004	0.012 ± 0.014	2.507
地方18群	40	0.046 ± 0.001	3.574 ± 0.035	0.106 ± 0.005	0.114 ± 0.006	0.258 ± 0.010	0.241 ± 0.010	2.003 ± 0.062	0.480 ± 0.021	0.740 ± 0.034	0.145 ± 0.012	0.000 ± 0.001	0.026 ± 0.002	0.011 ± 0.013	2.471
地方28群	40	0.034 ± 0.001	2.427 ± 0.178	0.048 ± 0.010	0.116 ± 0.011	0.226 ± 0.030	0.298 ± 0.037	1.923 ± 0.366	0.556 ± 0.045	0.291 ± 0.049	3.052 ± 2.426	0.002 ± 0.003	0.023 ± 0.004	0.137 ± 0.074	2.490
地方30群	40	0.024 ± 0.001	1.340 ± 0.033	0.026 ± 0.011	0.085 ± 0.024	0.295 ± 0.035	0.396 ± 0.034	0.908 ± 0.057	0.356 ± 0.022	0.256 ± 0.018	0.073 ± 0.012	0.004 ± 0.009	0.023 ± 0.007	0.008 ± 0.012	2.554
地方D群	28	0.053 ± 0.004	4.146 ± 0.358	0.104 ± 0.006	0.129 ± 0.015	0.229 ± 0.015	0.217 ± 0.019	2.232 ± 0.182	0.479 ± 0.015	0.626 ± 0.068	0.128 ± 0.029	0.002 ± 0.003	0.026 ± 0.002	0.013 ± 0.013	2.439
吹上5-6遺物群	90	0.017 ± 0.001	1.590 ± 0.203	0.054 ± 0.023	0.098 ± 0.016	0.025 ± 0.002	0.042 ± 0.002	253.438 ± 101.392	10.715 ± 4.314	1.268 ± 0.343	0.506 ± 0.308	0.001 ± 0.001	0.002 ± 0.000	0.014 ± 0.044	2.333
吹上７遺物群	45	0.045 ± 0.000	3.856 ± 0.033	0.013 ± 0.002	0.054 ± 0.004	0.388 ± 0.007	0.488 ± 0.012	1.031 ± 0.027	0.499 ± 0.009	0.112 ± 0.005	0.078 ± 0.006	0.007 ± 0.005	0.019 ± 0.002	0.015 ± 0.008	2.557
吹上８遺物群	45	0.046 ± 0.001	3.899 ± 0.112	0.014 ± 0.003	0.047 ± 0.006	0.278 ± 0.004	0.381 ± 0.007	1.404 ± 0.027	0.531 ± 0.010	0.108 ± 0.007	0.079 ± 0.007	0.002 ± 0.002	0.012 ± 0.001	0.012 ± 0.008	2.563
吹上９遺物群	45	0.039 ± 0.001	3.300 ± 0.108	0.023 ± 0.006	0.052 ± 0.005	0.229 ± 0.005	0.348 ± 0.007	1.554 ± 0.032	0.536 ± 0.012	0.124 ± 0.010	0.092 ± 0.007	0.000 ± 0.001	0.011 ± 0.001	0.011 ± 0.010	2.563
吹上10遺物群	45	0.017 ± 0.001	2.819 ± 0.390	0.081 ± 0.008	0.012 ± 0.018	0.022 ± 0.001	0.026 ± 0.001	114.253 ± 13.822	2.919 ± 0.353	0.295 ± 0.066	0.302 ± 0.044	0.000 ± 0.001	0.000 ± 0.000	0.007 ± 0.027	2.485
吹上12遺物群	45	0.050 ± 0.001	4.022 ± 0.092	0.040 ± 0.033	0.066 ± 0.005	0.187 ± 0.008	0.324 ± 0.014	1.992 ± 0.094	0.640 ± 0.021	0.202 ± 0.018	0.252 ± 0.078	0.003 ± 0.003	0.011 ± 0.001	0.012 ± 0.005	2.548
吹上13遺物群	45	0.048 ± 0.001	3.665 ± 0.108	0.042 ± 0.003	0.062 ± 0.008	0.161 ± 0.002	0.317 ± 0.009	2.242 ± 0.087	0.705 ± 0.017	0.187 ± 0.011	0.114 ± 0.012	0.000 ± 0.001	0.009 ± 0.001	0.010 ± 0.009	2.545
吹上14遺物群	45	0.048 ± 0.001	3.588 ± 0.077	0.044 ± 0.011	0.058 ± 0.009	0.367 ± 0.045	0.461 ± 0.039	1.134 ± 0.104	0.515 ± 0.015	0.193 ± 0.032	0.087 ± 0.007	0.005 ± 0.005	0.019 ± 0.004	0.010 ± 0.009	2.502
吹上15遺物群	45	0.052 ± 0.001	4.030 ± 0.090	0.025 ± 0.002	0.066 ± 0.007	0.178 ± 0.003	0.296 ± 0.006	2.075 ± 0.044	0.610 ± 0.015	0.153 ± 0.015	0.066 ± 0.005	0.000 ± 0.001	0.011 ± 0.001	0.014 ± 0.008	2.503
吹上16遺物群	45	0.057 ± 0.001	4.241 ± 0.070	0.069 ± 0.014	0.079 ± 0.007	0.081 ± 0.002	0.203 ± 0.004	4.699 ± 0.104	0.949 ± 0.019	0.092 ± 0.009	0.084 ± 0.007	0.000 ± 0.000	0.006 ± 0.001	0.009 ± 0.009	2.522
吹上17遺物群	45	0.044 ± 0.001	3.369 ± 0.117	0.045 ± 0.008	0.053 ± 0.007	0.154 ± 0.005	0.333 ± 0.006	2.200 ± 0.051	0.726 ± 0.016	0.154 ± 0.010	0.129 ± 0.008	0.000 ± 0.001	0.007 ± 0.001	0.011 ± 0.009	2.559
吹上18遺物群	45	0.052 ± 0.001	4.055 ± 0.102	0.063 ± 0.008	0.065 ± 0.006	0.137 ± 0.003	0.276 ± 0.012	2.540 ± 0.120	0.695 ± 0.014	0.162 ± 0.008	0.058 ± 0.006	0.000 ± 0.001	0.008 ± 0.001	0.013 ± 0.009	2.526
吹上23遺物群	45	0.067 ± 0.001	5.543 ± 0.079	0.057 ± 0.006	0.106 ± 0.005	0.267 ± 0.011	0.264 ± 0.015	1.109 ± 0.056	0.290 ± 0.006	0.078 ± 0.004	0.114 ± 0.004	0.001 ± 0.002	0.025 ± 0.002	0.024 ± 0.007	2.369
吹上24遺物群	45	0.046 ± 0.000	2.022 ± 0.030	0.229 ± 0.010	0.388 ± 0.011	0.120 ± 0.003	0.131 ± 0.006	0.940 ± 0.021	0.123 ± 0.005	1.305 ± 0.023	0.085 ± 0.004	0.013 ± 0.008	0.042 ± 0.001	0.023 ± 0.005	2.413
吹上25遺物群	45	0.036 ± 0.003	2.747 ± 0.243	0.209 ± 0.011	0.109 ± 0.016	0.022 ± 0.001	0.036 ± 0.001	123.971 ± 11.330	4.483 ± 0.431	2.020 ± 0.228	0.138 ± 0.059	0.000 ± 0.001	0.002 ± 0.000	0.004 ± 0.013	2.329
吹上29遺物群	45	0.056 ± 0.001	4.386 ± 0.161	0.073 ± 0.004	0.125 ± 0.011	0.217 ± 0.021	0.197 ± 0.029	2.217 ± 0.375	0.423 ± 0.017	0.412 ± 0.022	0.120 ± 0.010	0.005 ± 0.004	0.024 ± 0.002	0.017 ± 0.013	2.376
吹上34遺物群	42	0.047 ± 0.001	4.019 ± 0.085	0.054 ± 0.005	0.108 ± 0.006	0.214 ± 0.005	0.214 ± 0.007	2.478 ± 0.096	0.527 ± 0.015	0.522 ± 0.016	0.159 ± 0.010	0.000 ± 0.001	0.021 ± 0.001	0.014 ± 0.013	2.418
吹上36遺物群	42	0.019 ± 0.000	1.354 ± 0.047	0.076 ± 0.010	0.048 ± 0.033	0.019 ± 0.000	0.041 ± 0.001	110.335 ± 13.427	4.470 ± 0.518	0.504 ± 0.140	0.155 ± 0.066	0.000 ± 0.001	0.001 ± 0.001	0.012 ± 0.029	2.266
吹上38遺物群	42	0.039 ± 0.000	3.142 ± 0.032	0.001 ± 0.001	0.065 ± 0.005	0.893 ± 0.021	0.573 ± 0.018	0.473 ± 0.010	0.269 ± 0.007	0.071 ± 0.007	0.076 ± 0.006	0.026 ± 0.019	0.052 ± 0.005	0.017 ± 0.009	2.553
吹上39遺物群	42	0.034 ± 0.001	2.637 ± 0.049	0.010 ± 0.004	0.066 ± 0.008	0.728 ± 0.025	0.532 ± 0.021	0.497 ± 0.014	0.263 ± 0.011	0.072 ± 0.011	0.081 ± 0.007	0.008 ± 0.016	0.043 ± 0.005	0.013 ± 0.011	2.530
吹上41遺物群	42	0.041 ± 0.001	3.480 ± 0.076	0.122 ± 0.021	0.041 ± 0.005	0.498 ± 0.011	0.574 ± 0.020	0.979 ± 0.039	0.557 ± 0.019	0.235 ± 0.011	0.086 ± 0.008	0.004 ± 0.006	0.018 ± 0.002	0.006 ± 0.008	2.528
吹上42遺物群	42	0.042 ± 0.001	3.723 ± 0.043	0.009 ± 0.003	0.094 ± 0.007	0.484 ± 0.029	0.550 ± 0.026	1.105 ± 0.052	0.602 ± 0.016	0.055 ± 0.012	0.136 ± 0.008	0.007 ± 0.007	0.041 ± 0.003	0.015 ± 0.011	2.538
吹上43遺物群	42	0.034 ± 0.000	3.243 ± 0.069	0.003 ± 0.004	0.016 ± 0.012	1.785 ± 0.169	1.549 ± 0.110	0.427 ± 0.029	0.654 ± 0.028	0.062 ± 0.023	0.279 ± 0.029	0.003 ± 0.008	0.026 ± 0.019	0.008 ± 0.013	2.542
吹上44遺物群	42	0.046 ± 0.001	4.250 ± 0.078	0.019 ± 0.004	0.038 ± 0.004	0.292 ± 0.023	0.424 ± 0.030	1.400 ± 0.115	0.587 ± 0.016	0.074 ± 0.007	0.096 ± 0.009	0.001 ± 0.002	0.010 ± 0.001	0.008 ± 0.008	2.499
吹上45遺物群	42	0.060 ± 0.001	5.782 ± 0.088	0.035 ± 0.005	0.087 ± 0.008	0.314 ± 0.006	0.302 ± 0.011	2.014 ± 0.068	0.604 ± 0.026	0.225 ± 0.022	0.152 ± 0.011	0.000 ± 0.000	0.024 ± 0.002	0.013 ± 0.014	2.372
吹上2-12遺物群	42	0.028 ± 0.000	2.144 ± 0.018	0.018 ± 0.005	0.208 ± 0.011	0.204 ± 0.006	0.185 ± 0.010	1.520 ± 0.061	0.279 ± 0.010	0.063 ± 0.011	0.045 ± 0.008	0.009 ± 0.010	0.038 ± 0.002	0.015 ± 0.010	2.442
吹上2-13遺物群	42	0.209 ± 0.002	6.912 ± 0.477	0.016 ± 0.004	0.103 ± 0.012	1.791 ± 0.307	2.765 ± 0.555	1.349 ± 0.564	3.592 ± 1.424	0.248 ± 0.122	0.160 ± 0.067	1.220 ± 0.087	0.164 ± 0.025	0.049 ± 0.037	2.791
吹上2-17遺物群	42	0.087 ± 0.003	3.442 ± 0.099	0.358 ± 0.045	0.577 ± 0.022	0.041 ± 0.012	0.069 ± 0.026	2.543 ± 0.528	0.161 ± 0.014	1.852 ± 0.053	0.021 ± 0.002	0.009 ± 0.001	0.021 ± 0.005	0.021 ± 0.003	2.323
吹上2-19遺物群	42	0.045 ± 0.000	3.935 ± 0.035	0.015 ± 0.002	0.073 ± 0.003	0.282 ± 0.008	0.252 ± 0.010	1.265 ± 0.064	0.316 ± 0.009	0.076 ± 0.004	0.107 ± 0.003	0.001 ± 0.001	0.018 ± 0.001	0.021 ± 0.004	2.287
吹上2-21遺物群	42	0.023 ± 0.001	2.811 ± 0.188	0.118 ± 0.008	0.100 ± 0.022	0.024 ± 0.000	0.036 ± 0.001	63.273 ± 3.305	2.279 ± 0.134	0.488 ± 0.038	0.087 ± 0.032	0.001 ± 0.002	0.002 ± 0.000	0.020 ± 0.027	2.377
吹上2-22遺物群	42	0.041 ± 0.001	3.333 ± 0.064	0.016 ± 0.016	0.038 ± 0.012	0.422 ± 0.040	0.588 ± 0.059	0.844 ± 0.093	0.488 ± 0.018	0.122 ± 0.012	0.101 ± 0.011	0.001 ± 0.004	0.015 ± 0.005	0.007 ± 0.009	2.470

表74　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(5)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
吹上2-25遺物群	36	0.044 ± 0.001	2.120 ± 0.041	0.638 ± 0.452	0.430 ± 0.017	0.118 ± 0.005	0.138 ± 0.007	1.113 ± 0.037	0.152 ± 0.007	0.197 ± 0.009	0.095 ± 0.006	0.006 ± 0.007	0.046 ± 0.002	0.033 ± 0.010	1.793
吹上2-28遺物群	42	0.044 ± 0.008	5.737 ± 0.786	0.090 ± 0.026	0.085 ± 0.007	0.022 ± 0.002	0.022 ± 0.002	102.36 ± 16.05	2.257 ± 0.492	0.400 ± 0.084	0.109 ± 0.025	0.004 ± 0.001	0.002 ± 0.000	0.002 ± 0.006	2.623
吹上2-30遺物群	42	0.045 ± 0.001	3.469 ± 0.090	0.040 ± 0.004	0.077 ± 0.003	0.222 ± 0.015	0.336 ± 0.019	1.596 ± 0.113	0.531 ± 0.014	0.191 ± 0.010	0.523 ± 0.125	0.005 ± 0.004	0.015 ± 0.002	0.017 ± 0.007	2.374
吹上2-32遺物群	42	0.024 ± 0.000	5.911 ± 0.064	0.047 ± 0.003	0.073 ± 0.003	0.026 ± 0.000	0.025 ± 0.001	192.86 ± 22.28	4.874 ± 0.576	0.461 ± 0.073	0.240 ± 0.061	0.002 ± 0.002	0.002 ± 0.000	0.020 ± 0.029	2.569
吹上2-33遺物群	42	0.044 ± 0.000	3.719 ± 0.031	0.011 ± 0.003	0.047 ± 0.005	0.436 ± 0.011	0.508 ± 0.012	0.959 ± 0.024	0.483 ± 0.009	0.118 ± 0.008	0.086 ± 0.006	0.009 ± 0.005	0.018 ± 0.002	0.017 ± 0.007	2.532
吹上2-34遺物群	42	0.070 ± 0.001	5.860 ± 0.071	0.067 ± 0.003	0.143 ± 0.003	0.175 ± 0.007	0.144 ± 0.010	3.440 ± 0.248	0.491 ± 0.016	0.674 ± 0.036	0.125 ± 0.008	0.010 ± 0.002	0.023 ± 0.001	0.020 ± 0.008	2.314
吹上2-35遺物群	42	0.077 ± 0.001	7.353 ± 0.250	0.032 ± 0.003	0.122 ± 0.003	0.147 ± 0.021	0.126 ± 0.015	3.621 ± 0.358	0.448 ± 0.016	0.193 ± 0.026	0.110 ± 0.007	0.010 ± 0.002	0.016 ± 0.002	0.024 ± 0.007	2.061
吹上2-36遺物群	42	0.047 ± 0.000	3.322 ± 0.021	0.041 ± 0.003	0.081 ± 0.005	0.120 ± 0.001	0.259 ± 0.006	2.823 ± 0.089	0.724 ± 0.015	0.116 ± 0.007	0.112 ± 0.007	0.004 ± 0.003	0.009 ± 0.001	0.007 ± 0.005	2.491
吹上274遺物群	45	0.047 ± 0.000	3.828 ± 0.066	0.009 ± 0.003	0.056 ± 0.005	0.180 ± 0.004	0.314 ± 0.009	2.101 ± 0.057	0.655 ± 0.020	0.121 ± 0.013	0.087 ± 0.010	0.001 ± 0.002	0.009 ± 0.001	0.005 ± 0.008	2.424
妙見山遺物群	47	0.038 ± 0.006	2.909 ± 0.157	0.033 ± 0.016	0.514 ± 0.021	0.214 ± 0.019	0.341 ± 0.016	2.426 ± 0.177	0.820 ± 0.033	0.190 ± 0.018	0.120 ± 0.012	0.008 ± 0.007	0.099 ± 0.009	0.020 ± 0.015	2.431(吸水)
山賀-283遺物群	45	0.081 ± 0.001	2.535 ± 0.043	1.152 ± 0.021	1.177 ± 0.019	0.062 ± 0.001	0.136 ± 0.006	1.539 ± 0.035	0.208 ± 0.008	4.074 ± 0.054	0.057 ± 0.004	---	0.066 ± 0.001	0.016 ± 0.005	2.431(吸水)
山持-9遺物群	46	0.036 ± 0.003	1.135 ± 0.059	0.159 ± 0.046	0.296 ± 0.022	0.026 ± 0.002	0.123 ± 0.005	20.713 ± 1.555	2.528 ± 0.152	0.867 ± 0.083	0.132 ± 0.026	0.010 ± 0.001	0.007 ± 0.001	0.002 ± 0.005	2.403(吸水)
山持14遺物群	46	0.046 ± 0.003	3.300 ± 0.320	0.089 ± 0.037	0.105 ± 0.017	0.262 ± 0.048	0.240 ± 0.029	1.885 ± 0.378	0.442 ± 0.050	0.678 ± 0.215	0.063 ± 0.016	0.053 ± 0.004	0.024 ± 0.003	0.002 ± 0.004	2.374(吸水)
山持20-21遺物群	46	0.049 ± 0.001	1.450 ± 0.148	1.086 ± 0.148	0.526 ± 0.036	0.048 ± 0.010	0.074 ± 0.021	3.527 ± 0.564	0.247 ± 0.034	7.004 ± 0.223	0.167 ± 0.009	0.020 ± 0.002	0.023 ± 0.006	---	2.268
山持24遺物群	45	0.041 ± 0.001	2.869 ± 0.073	0.001 ± 0.002	0.370 ± 0.015	0.182 ± 0.012	0.304 ± 0.018	1.194 ± 0.060	0.360 ± 0.007	0.067 ± 0.005	0.058 ± 0.004	0.011 ± 0.005	0.060 ± 0.002	0.034 ± 0.007	2.575
山持25-26遺物群	47	0.067 ± 0.012	1.616 ± 0.465	0.015 ± 0.008	0.847 ± 0.306	0.027 ± 0.007	0.034 ± 0.014	4.229 ± 0.306	0.139 ± 0.046	0.190 ± 0.005	0.058 ± 0.007	0.033 ± 0.001	0.019 ± 0.004	0.025 ± 0.007	2.67-2.62
田能A遺物群	53	0.046 ± 0.002	3.241 ± 0.113	0.123 ± 0.044	0.234 ± 0.024	0.276 ± 0.027	0.398 ± 0.034	1.444 ± 0.091	0.568 ± 0.036	0.600 ± 0.106	0.097 ± 0.012	0.010 ± 0.004	0.058 ± 0.004	0.035 ± 0.010	2.592 ± 0.005
田能B遺物群	55	0.046 ± 0.002	3.223 ± 0.424	0.134 ± 0.068	0.237 ± 0.027	0.288 ± 0.023	0.421 ± 0.016	1.381 ± 0.164	0.576 ± 0.066	0.641 ± 0.161	0.107 ± 0.029	0.013 ± 0.010	0.061 ± 0.007	0.033 ± 0.013	2.588 ± 0.003
田能C遺物群	48	0.042 ± 0.004	3.129 ± 0.295	0.080 ± 0.014	0.283 ± 0.054	0.601 ± 0.091	0.748 ± 0.134	0.473 ± 0.088	0.345 ± 0.064	0.301 ± 0.084	0.084 ± 0.030	0.028 ± 0.010	0.151 ± 0.029	0.025 ± 0.010	2.575 ± 0.016
田能D遺物群	50	0.049 ± 0.002	4.293 ± 0.293	0.006 ± 0.006	0.181 ± 0.011	1.090 ± 0.169	1.248 ± 0.262	0.269 ± 0.032	0.327 ± 0.035	0.080 ± 0.016	0.053 ± 0.005	0.031 ± 0.015	0.177 ± 0.024	0.023 ± 0.007	2.572 ± 0.003
田能-1遺物群	44	0.049 ± 0.001	4.095 ± 0.071	0.031 ± 0.008	0.188 ± 0.003	0.454 ± 0.008	0.557 ± 0.019	1.097 ± 0.046	0.607 ± 0.018	0.249 ± 0.016	0.093 ± 0.009	0.009 ± 0.005	0.077 ± 0.002	0.038 ± 0.013	2.572
田能-40遺物群	44	0.047 ± 0.001	3.204 ± 0.069	0.156 ± 0.009	0.224 ± 0.006	0.392 ± 0.022	0.498 ± 0.032	0.972 ± 0.051	0.479 ± 0.014	0.745 ± 0.048	0.112 ± 0.008	0.009 ± 0.008	0.079 ± 0.004	0.029 ± 0.009	2.594
田能-41遺物群	44	0.036 ± 0.001	2.899 ± 0.110	0.011 ± 0.005	0.256 ± 0.006	0.848 ± 0.037	1.246 ± 0.051	0.267 ± 0.010	0.330 ± 0.009	0.106 ± 0.007	0.055 ± 0.005	0.037 ± 0.017	0.195 ± 0.008	0.026 ± 0.006	2.576
田能-66遺物群	44	0.045 ± 0.001	3.897 ± 0.082	0.028 ± 0.018	0.311 ± 0.009	0.274 ± 0.015	0.409 ± 0.020	1.124 ± 0.031	0.456 ± 0.014	0.070 ± 0.006	0.065 ± 0.005	0.068 ± 0.004	0.077 ± 0.003	0.029 ± 0.009	2.562
田能-70遺物群	44	0.073 ± 0.001	2.569 ± 0.079	1.480 ± 0.028	0.743 ± 0.015	0.091 ± 0.004	0.254 ± 0.013	1.094 ± 0.067	0.275 ± 0.009	0.060 ± 0.098	0.059 ± 0.004	0.005 ± 0.002	0.060 ± 0.002	0.017 ± 0.006	2.371
田能-85遺物群	44	0.044 ± 0.001	3.285 ± 0.144	0.045 ± 0.007	0.202 ± 0.006	0.314 ± 0.044	0.466 ± 0.039	1.357 ± 0.112	0.624 ± 0.017	0.352 ± 0.016	0.126 ± 0.008	0.008 ± 0.006	0.057 ± 0.007	0.031 ± 0.012	2.586
田能-90遺物群	45	0.039 ± 0.001	2.582 ± 0.070	0.084 ± 0.006	0.286 ± 0.010	0.585 ± 0.031	0.679 ± 0.045	0.365 ± 0.017	0.245 ± 0.010	0.392 ± 0.012	0.032 ± 0.005	0.010 ± 0.011	0.150 ± 0.005	0.022 ± 0.007	2.563
田能-92遺物群	45	0.042 ± 0.001	3.441 ± 0.086	0.007 ± 0.004	0.066 ± 0.007	0.935 ± 0.015	0.731 ± 0.044	0.630 ± 0.025	0.456 ± 0.024	0.202 ± 0.022	0.166 ± 0.013	0.014 ± 0.017	0.055 ± 0.006	0.014 ± 0.015	2.564
田能-97遺物群	45	0.041 ± 0.001	2.872 ± 0.020	0.074 ± 0.005	0.252 ± 0.008	0.691 ± 0.034	0.797 ± 0.038	0.358 ± 0.016	0.283 ± 0.010	0.389 ± 0.013	0.098 ± 0.009	0.012 ± 0.015	0.157 ± 0.006	0.018 ± 0.010	2.563
太田・黒田560遺物群	44	0.073 ± 0.004	2.608 ± 0.165	1.302 ± 0.033	0.678 ± 0.027	0.077 ± 0.004	0.172 ± 0.009	1.203 ± 0.069	0.205 ± 0.007	4.305 ± 0.200	0.058 ± 0.003	---	0.047 ± 0.003	0.016 ± 0.003	2.388
岡村07遺物群	44	0.046 ± 0.001	0.923 ± 0.026	2.472 ± 0.074	0.806 ± 0.025	0.067 ± 0.004	0.039 ± 0.011	1.527 ± 0.103	0.059 ± 0.017	6.500 ± 0.134	0.174 ± 0.008	---	0.049 ± 0.002	0.0002 ± 0.001	2.226
岡村224遺物群	44	0.050 ± 0.000	0.953 ± 0.039	2.803 ± 0.209	0.723 ± 0.038	0.040 ± 0.001	0.075 ± 0.009	1.933 ± 0.187	0.143 ± 0.017	8.032 ± 0.186	0.102 ± 0.007	---	0.026 ± 0.002	0.023 ± 0.010	2.300
原田３遺物群	46	0.038 ± 0.007	2.144 ± 0.034	0.034 ± 0.055	0.104 ± 0.006	0.090 ± 0.003	0.146 ± 0.004	12.958 ± 0.473	1.880 ± 0.082	0.351 ± 0.041	0.110 ± 0.029	0.008 ± 0.003	0.008 ± 0.001	0.003 ± 0.007	2.586
唐古・鍵35遺物群	46	0.061 ± 0.001	1.541 ± 0.025	2.282 ± 0.024	1.068 ± 0.025	0.042 ± 0.001	0.248 ± 0.006	2.189 ± 0.050	0.538 ± 0.017	5.927 ± 0.031	0.069 ± 0.006	0.001 ± 0.005	0.040 ± 0.001	0.006 ± 0.007	2.211
唐古・鍵46遺物群	45	0.038 ± 0.001	2.428 ± 0.018	0.1794 ± 0.005	0.129 ± 0.009	0.677 ± 0.014	0.712 ± 0.042	0.477 ± 0.024	0.337 ± 0.018	0.848 ± 0.031	0.076 ± 0.011	0.019 ± 0.021	0.078 ± 0.005	0.006 ± 0.008	2.496
唐古・鍵48遺物群	46	0.064 ± 0.003	2.007 ± 0.061	1.269 ± 0.019	1.103 ± 0.018	0.058 ± 0.001	0.486 ± 0.011	1.376 ± 0.035	0.664 ± 0.017	4.966 ± 0.108	0.076 ± 0.007	0.001 ± 0.002	0.058 ± 0.001	0.006 ± 0.007	2.420
室山5-4遺物群	45	0.053 ± 0.001	0.727 ± 0.066	3.795 ± 0.272	1.150 ± 0.056	0.022 ± 0.004	0.012 ± 0.004	4.895 ± 0.673	0.059 ± 0.014	3.216 ± 0.111	0.327 ± 0.013	0.004 ± 0.001	0.022 ± 0.003	0.001 ± 0.001	2.301

表75　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(6)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
庄・蔵本８遺物群	44	0.042 ± 0.001	3.501 ± 0.043	0.076 ± 0.005	0.278 ± 0.004	0.335 ± 0.005	0.427 ± 0.010	0.847 ± 0.020	0.359 ± 0.010	0.052 ± 0.007	0.113 ± 0.006	0.009 ± 0.005	0.084 ± 0.001	0.029 ± 0.008	2.553
庄・蔵本９遺物群	44	0.042 ± 0.001	3.064 ± 0.069	0.031 ± 0.005	0.312 ± 0.026	0.266 ± 0.006	0.312 ± 0.011	0.984 ± 0.028	0.304 ± 0.008	0.283 ± 0.010	0.031 ± 0.005	0.007 ± 0.005	0.075 ± 0.007	0.022 ± 0.008	2.520
原田No.1遺物群	46	0.037 ± 0.002	1.348 ± 0.034	0.110 ± 0.016	0.185 ± 0.011	0.044 ± 0.001	0.200 ± 0.0031	23.483 ± 1.369	4.663 ± 0.272	0.823 ± 0.075	0.254 ± 0.035	0.012 ± 0.001	0.007 ± 0.001	0.001 ± 0.005	2.604
北田井遺物群	42	0.060 ± 0.001	1.075 ± 0.012	3.030 ± 0.029	0.663 ± 0.021	0.071 ± 0.002	0.085 ± 0.011	1.158 ± 0.060	0.098 ± 0.011	3.392 ± 0.110	0.121 ± 0.007	0.000 ± 0.000	0.042 ± 0.002	0.001 ± 0.011	2.604
造山Ｄ遺物群	43	0.048 ± 0.002	1.283 ± 0.099	1.325 ± 0.101	0.463 ± 0.037	0.150 ± 0.012	0.205 ± 0.012	0.747 ± 0.037	0.152 ± 0.007	1.335 ± 0.032	0.134 ± 0.007	0.018 ± 0.006	0.062 ± 0.002	0.000 ± 0.000	2.305
造山21遺物群	43	0.040 ± 0.001	1.022 ± 0.087	1.563 ± 0.156	0.686 ± 0.060	0.087 ± 0.006	0.150 ± 0.012	1.060 ± 0.037	0.157 ± 0.012	1.237 ± 0.038	0.201 ± 0.008	0.013 ± 0.004	0.053 ± 0.003	0.000 ± 0.000	2.309
造山35C遺物群	46	0.032 ± 0.001	2.684 ± 0.111	0.004 ± 0.003	0.062 ± 0.005	0.809 ± 0.043	0.755 ± 0.044	0.425 ± 0.015	0.319 ± 0.014	0.063 ± 0.017	0.142 ± 0.007	0.050 ± 0.028	0.045 ± 0.004	0.020 ± 0.010	2.553
旧吉備中遺物群	44	0.079 ± 0.004	5.368 ± 0.080	0.107 ± 0.036	0.243 ± 0.028	0.040 ± 0.005	0.079 ± 0.012	14.037 ± 2.077	1.084 ± 0.037	0.202 ± 0.040	0.041 ± 0.008	0.008 ± 0.002	0.009 ± 0.001	0.004 ± 0.006	2.105
西田井6-7遺物群	46	0.033 ± 0.004	2.587 ± 0.431	0.040 ± 0.012	0.051 ± 0.011	0.335 ± 0.017	0.411 ± 0.028	1.850 ± 0.073	0.755 ± 0.051	0.241 ± 0.112	0.086 ± 0.017	0.010 ± 0.013	0.015 ± 0.004	0.019 ± 0.020	2.352
川辺遺物群	42	0.055 ± 0.001	1.086 ± 0.048	2.437 ± 0.253	1.123 ± 0.055	0.040 ± 0.004	0.038 ± 0.007	2.487 ± 0.210	0.094 ± 0.014	6.641 ± 0.449	0.168 ± 0.019	0.007 ± 0.004	0.041 ± 0.005	0.000 ± 0.000	2.261
天野３遺物群	46	0.046 ± 0.001	1.438 ± 0.016	1.580 ± 0.030	0.792 ± 0.014	0.064 ± 0.002	0.227 ± 0.010	2.875 ± 0.099	0.646 ± 0.023	3.051 ± 0.072	0.236 ± 0.010	0.013 ± 0.002	0.045 ± 0.001	0.000 ± 0.000	2.299
天野４遺物群	46	0.055 ± 0.001	1.857 ± 0.036	1.143 ± 0.023	0.597 ± 0.014	0.059 ± 0.004	0.201 ± 0.010	4.209 ± 0.160	0.840 ± 0.046	3.663 ± 0.215	0.228 ± 0.022	0.010 ± 0.004	0.031 ± 0.002	0.0002 ± 0.0011	2.335
天野５遺物群	46	0.051 ± 0.000	1.775 ± 0.024	1.086 ± 0.014	0.637 ± 0.011	0.059 ± 0.001	0.185 ± 0.005	3.801 ± 0.116	0.699 ± 0.020	3.340 ± 0.082	0.216 ± 0.011	0.013 ± 0.002	0.034 ± 0.001	0.000 ± 0.000	2.341
天野６遺物群	46	0.034 ± 0.000	0.771 ± 0.015	1.381 ± 0.043	0.992 ± 0.032	0.048 ± 0.001	0.310 ± 0.015	3.141 ± 0.157	0.996 ± 0.033	1.090 ± 0.041	0.198 ± 0.012	0.013 ± 0.002	0.043 ± 0.001	0.019 ± 0.013	2.044
天野７遺物群	46	0.043 ± 0.000	1.192 ± 0.013	1.316 ± 0.013	0.565 ± 0.011	0.080 ± 0.001	0.656 ± 0.014	1.639 ± 0.034	1.067 ± 0.023	0.934 ± 0.024	0.146 ± 0.010	0.014 ± 0.003	0.041 ± 0.001	0.010 ± 0.010	2.175
天野８遺物群	47	0.065 ± 0.006	3.883 ± 0.278	0.137 ± 0.013	0.347 ± 0.010	0.061 ± 0.005	0.054 ± 0.008	6.266 ± 0.501	0.333 ± 0.023	1.168 ± 0.251	0.102 ± 0.007	0.008 ± 0.001	0.019 ± 0.002	0.019 ± 0.006	1.958
天野９遺物群	48	0.080 ± 0.005	1.298 ± 0.079	0.122 ± 0.014	2.838 ± 0.554	0.013 ± 0.002	0.029 ± 0.004	5.978 ± 0.539	0.172 ± 0.010	0.549 ± 0.035	0.044 ± 0.005	0.014 ± 0.001	0.031 ± 0.003	0.042 ± 0.007	2.625
天野10遺物群	46	0.042 ± 0.003	0.992 ± 0.058	1.455 ± 0.054	0.762 ± 0.011	0.071 ± 0.001	0.360 ± 0.012	1.788 ± 0.044	0.639 ± 0.017	1.144 ± 0.041	0.144 ± 0.008	0.029 ± 0.004	0.048 ± 0.001	0.013 ± 0.009	2.182
天野Ａ遺物群	48	0.042 ± 0.001	3.038 ± 0.091	0.217 ± 0.019	0.243 ± 0.010	0.168 ± 0.007	0.258 ± 0.010	1.850 ± 0.050	0.473 ± 0.017	0.999 ± 0.029	0.080 ± 0.009	0.015 ± 0.003	0.037 ± 0.001	0.009 ± 0.007	2.461 ± 0.004
天野Ｂ遺物群	45	0.037 ± 0.002	2.932 ± 0.171	0.004 ± 0.005	0.081 ± 0.037	0.875 ± 0.107	0.772 ± 0.092	0.457 ± 0.254	0.331 ± 0.049	0.031 ± 0.019	0.168 ± 0.021	0.072 ± 0.019	0.061 ± 0.005	0.022 ± 0.010	2.522 ± 0.010
天野Ｃ遺物群	48	0.040 ± 0.003	1.080 ± 0.130	1.496 ± 0.307	0.806 ± 0.208	0.072 ± 0.013	0.484 ± 0.121	1.780 ± 0.205	0.851 ± 0.220	1.188 ± 0.412	0.143 ± 0.016	0.018 ± 0.007	0.050 ± 0.008	0.006 ± 0.006	2.152 ± 0.031
天野Ｄ遺物群	47	0.035 ± 0.004	2.893 ± 0.171	0.010 ± 0.016	0.074 ± 0.012	0.629 ± 0.090	0.578 ± 0.059	0.559 ± 0.057	0.318 ± 0.012	0.030 ± 0.007	0.190 ± 0.043	0.050 ± 0.021	0.041 ± 0.004	0.014 ± 0.007	2.555 ± 0.007
天野13白遺物群	46	0.040 ± 0.001	1.040 ± 0.028	1.029 ± 0.038	0.836 ± 0.016	0.057 ± 0.001	0.193 ± 0.009	2.214 ± 0.073	0.424 ± 0.023	1.207 ± 0.051	0.107 ± 0.007	0.014 ± 0.003	0.043 ± 0.001	0.013 ± 0.010	2.126
天野13青遺物群	47	0.052 ± 0.001	3.157 ± 0.070	0.168 ± 0.007	0.363 ± 0.007	0.057 ± 0.001	0.064 ± 0.003	4.597 ± 0.123	0.293 ± 0.010	0.721 ± 0.018	0.088 ± 0.006	0.008 ± 0.001	0.019 ± 0.000	0.012 ± 0.006	2.126
天野17遺物群	47	0.053 ± 0.002	4.526 ± 0.151	0.113 ± 0.004	0.188 ± 0.003	0.238 ± 0.009	0.235 ± 0.007	2.488 ± 0.097	0.580 ± 0.018	0.455 ± 0.019	0.094 ± 0.010	0.008 ± 0.005	0.040 ± 0.001	0.013 ± 0.009	2.554
天野28遺物群	48	0.029 ± 0.001	2.168 ± 0.067	0.077 ± 0.003	0.129 ± 0.007	0.288 ± 0.005	0.624 ± 0.021	0.672 ± 0.022	0.416 ± 0.010	0.404 ± 0.014	0.145 ± 0.006	0.026 ± 0.006	0.033 ± 0.002	0.012 ± 0.006	2.329
天野31遺物群	48	0.042 ± 0.001	0.955 ± 0.008	1.459 ± 0.017	0.985 ± 0.035	0.058 ± 0.002	0.255 ± 0.027	1.997 ± 0.077	0.504 ± 0.037	1.912 ± 0.083	0.134 ± 0.009	0.029 ± 0.006	0.051 ± 0.001	0.010 ± 0.010	2.120
天野32遺物群	45	0.035 ± 0.002	2.559 ± 0.098	0.018 ± 0.004	0.072 ± 0.006	0.511 ± 0.024	0.286 ± 0.022	0.556 ± 0.029	0.158 ± 0.007	0.056 ± 0.008	0.071 ± 0.005	0.059 ± 0.009	0.033 ± 0.002	0.018 ± 0.008	2.544
天野33遺物群	47	0.036 ± 0.003	2.525 ± 0.155	0.080 ± 0.015	0.103 ± 0.014	0.141 ± 0.019	0.176 ± 0.018	2.822 ± 0.405	0.486 ± 0.031	0.283 ± 0.092	0.294 ± 0.016	0.015 ± 0.007	0.013 ± 0.003	0.018 ± 0.010	2.541
天野35遺物群	48	0.033 ± 0.001	2.836 ± 0.216	0.003 ± 0.002	0.034 ± 0.006	1.806 ± 0.137	1.486 ± 0.160	0.586 ± 0.046	0.859 ± 0.049	0.057 ± 0.029	0.215 ± 0.048	0.125 ± 0.060	0.055 ± 0.010	0.018 ± 0.016	2.479
天野38遺物群	53	0.038 ± 0.007	2.266 ± 0.205	0.097 ± 0.035	0.091 ± 0.015	0.136 ± 0.023	0.181 ± 0.017	2.667 ± 0.286	0.476 ± 0.034	0.211 ± 0.023	0.262 ± 0.015	0.017 ± 0.007	0.011 ± 0.002	0.019 ± 0.011	2.494
天野49遺物群	45	0.037 ± 0.001	3.155 ± 0.100	0.058 ± 0.003	0.235 ± 0.007	0.194 ± 0.003	0.196 ± 0.008	3.012 ± 0.068	0.587 ± 0.023	0.424 ± 0.022	0.071 ± 0.011	0.010 ± 0.003	0.041 ± 0.001	0.013 ± 0.013	2.575
天野50遺物群	46	0.029 ± 0.000	0.864 ± 0.062	0.153 ± 0.017	0.596 ± 0.029	0.037 ± 0.002	0.115 ± 0.006	6.855 ± 0.389	0.783 ± 0.046	1.476 ± 0.089	0.183 ± 0.028	0.013 ± 0.003	0.020 ± 0.001	0.063 ± 0.030	2.509
天野51遺物群	44	0.034 ± 0.000	1.121 ± 0.017	0.989 ± 0.048	0.857 ± 0.020	0.055 ± 0.001	0.159 ± 0.013	2.663 ± 0.104	0.420 ± 0.031	1.608 ± 0.040	0.156 ± 0.010	0.008 ± 0.003	0.042 ± 0.001	0.026 ± 0.015	1.871
天野52遺物群	46	0.060 ± 0.001	4.048 ± 0.055	0.372 ± 0.015	0.240 ± 0.004	0.147 ± 0.001	0.207 ± 0.005	2.527 ± 0.064	0.520 ± 0.013	1.210 ± 0.040	0.068 ± 0.006	0.002 ± 0.002	0.032 ± 0.000	0.028 ± 0.010	2.445
天野53遺物群	46	0.052 ± 0.001	3.566 ± 0.054	0.276 ± 0.019	0.219 ± 0.009	0.151 ± 0.003	0.233 ± 0.007	2.463 ± 0.078	0.569 ± 0.022	1.048 ± 0.077	0.069 ± 0.008	0.004 ± 0.003	0.030 ± 0.001	0.026 ± 0.009	2.379
玉作１遺物群	44	0.014 ± 0.001	0.605 ± 0.159	0.055 ± 0.024	0.161 ± 0.032	0.026 ± 0.002	0.043 ± 0.003	84.686 ± 33.336	3.573 ± 1.360	0.841 ± 0.193	0.873 ± 0.283	0.016 ± 0.005	0.004 ± 0.001	0.005 ± 0.021	2.583 ± 0.024

表76　各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(7)

遺物群名	分析個数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比　重
		Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ	Xav ± σ
玉作２遺物群	55	0.016±0.001	0.493±0.080	0.217±0.043	0.186±0.025	0.033±0.004	0.101±0.016	30.772±5.551	3.046±0.538	1.600±0.293	0.139±0.062	0.023±0.006	0.005±0.001	0.001±0.003	2.622～2.588
玉作２遺跡遺物群	46	0.047±0.001	4.232±0.126	0.087±0.004	0.326±0.017	0.246±0.058	0.291±0.054	3.221±0.461	0.906±0.038	0.547±0.027	0.259±0.025	0.014±0.003	0.071±0.013	0.016±0.016	2.542
岩崎遺物群(91%)	45	0.051±0.002	0.860±0.021	2.858±0.146	0.916±0.047	0.025±0.001	0.070±0.006	2.471±0.112	0.172±0.017	6.713±0.259	0.124±0.008	0.008±0.004	0.021±0.001	0.038±0.010	2.290
高擶南29遺物群	46	0.037±0.001	0.975±0.019	1.188±0.035	0.231±0.020	0.138±0.028	0.408±0.072	0.754±0.135	0.296±0.012	0.810±0.018	0.157±0.007	0.036±0.010	0.028±0.005	0.029±0.010	2.219
高擶南372遺物群	47	0.049±0.001	1.094±0.049	1.942±0.213	0.262±0.140	0.056±0.007	0.246±0.038	3.315±0.183	0.814±0.138	3.910±0.673	0.197±0.026	0.009±0.002	0.012±0.002	0.053±0.018	2.085
高擶南717遺物群	47	0.049±0.001	4.206±0.053	0.157±0.008	0.296±0.004	0.350±0.014	0.418±0.021	2.326±0.151	0.963±0.031	0.558±0.025	0.345±0.027	0.016±0.006	0.093±0.004	0.019±0.014	2.541
高擶南遺物群	48	0.039±0.001	3.491±0.172	0.020±0.006	0.084±0.006	0.561±0.075	0.540±0.059	0.952±0.097	0.506±0.021	0.076±0.015	0.178±0.035	0.041±0.005	0.042±0.003	0.009±0.010	2.501～2.514
麻田里１遺物群	40	0.043±0.001	3.952±0.170	0.001±0.001	0.182±0.012	0.916±0.020	1.141±0.063	0.291±0.013	0.330±0.013	0.073±0.010	0.060±0.006	0.004±0.007	0.150±0.012	0.018±0.012	2.498～2.429
寛倉里１遺物群	40	0.027±0.002	1.520±0.241	0.033±0.019	0.607±0.146	0.199±0.089	0.358±0.128	0.571±0.109	0.193±0.038	0.110±0.045	0.052±0.017	0.012±0.015	0.099±0.019	0.029±0.011	2.094±0.219
寛倉里２遺物群	40	0.036±0.003	2.876±0.220	0.011±0.012	0.334±0.045	0.311±0.054	0.465±0.081	0.553±0.059	0.253±0.038	0.052±0.015	0.049±0.010	0.030±0.054	0.091±0.008	0.028±0.010	2.226±0.077
茶畑２遺物群	44	0.031±0.007	1.193±0.061	0.071±0.015	0.258±0.059	0.037±0.004	0.204±0.018	18.900±1.592	3.819±0.428	0.480±0.084	0.170±0.035	0.012±0.002	0.009±0.001	0.005±0.019	2.513
茶畑山道遺物群	44	0.098±0.003	4.087±0.184	0.154±0.009	0.525±0.017	0.034±0.002	0.077±0.003	9.861±0.307	0.750±0.019	0.482±0.019	0.034±0.012	0.033±0.001	0.016±0.001	0.043±0.009	2.745
蒲生３遺物群	43	0.014±0.001	0.625±0.014	0.102±0.014	0.120±0.037	0.024±0.001	0.070±0.003	102.65±69.18	7.140±4.746	1.482±0.969	0.536±0.266	0.009±0.003	0.003±0.001	0.000±0.000	2.165
蒲生-10-19遺物群	48	0.031±0.003	2.193±0.217	0.057±0.007	0.082±0.009	0.206±0.017	0.368±0.031	2.391±0.106	0.876±0.094	0.206±0.038	0.134±0.023	0.002±0.003	0.015±0.001	0.074±0.010	2.32～2.29
西谷63遺物群	47	0.039±0.001	3.215±0.073	0.118±0.003	0.093±0.008	0.433±0.008	0.251±0.010	0.961±0.025	0.240±0.008	0.292±0.010	0.092±0.007	0.029±0.013	0.036±0.003	0.008±0.006	2.560
西谷96遺物群	48	0.033±0.001	2.844±0.017	0.057±0.007	0.080±0.003	0.447±0.011	0.463±0.013	0.684±0.015	0.314±0.007	0.082±0.010	0.341±0.020	0.044±0.006	0.032±0.001	0.013±0.004	2.544
中原426遺物群	45	0.044±0.001	3.354±0.041	0.077±0.003	0.230±0.005	0.228±0.002	0.375±0.010	1.741±0.056	0.674±0.015	0.660±0.022	0.082±0.008	0.007±0.005	0.047±0.001	0.026±0.008	2.583
中原438遺物群	45	0.039±0.001	3.037±0.099	0.022±0.007	0.248±0.013	0.629±0.027	0.747±0.036	0.381±0.015	0.282±0.010	0.279±0.010	0.121±0.014	0.001±0.004	0.140±0.006	0.012±0.009	2.499
中原466遺物群	45	0.037±0.001	3.225±0.120	0.002±0.003	0.060±0.006	1.005±0.059	0.777±0.050	0.612±0.028	0.471±0.027	0.062±0.017	0.159±0.015	0.004±0.006	0.054±0.005	0.006±0.008	2.566
中原560遺物群	45	0.048±0.001	4.442±0.069	0.002±0.003	0.158±0.007	1.780±0.082	1.957±0.176	0.185±0.015	0.358±0.014	0.093±0.012	0.067±0.009	0.001±0.002	0.253±0.015	0.013±0.008	2.566
中原561遺物群	45	0.040±0.002	3.162±0.115	0.038±0.016	0.288±0.012	0.449±0.029	0.574±0.027	0.535±0.017	0.305±0.012	0.105±0.018	0.244±0.047	0.019±0.012	0.116±0.004	0.018±0.005	2.599
中原55遺物群	44	0.037±0.001	3.293±0.102	0.000±0.000	0.036±0.004	0.738±0.039	0.615±0.029	0.977±0.056	0.595±0.024	0.066±0.017	0.4476±0.995	0.015±0.014	0.024±0.003	0.036±0.022	2.450
中原56遺物群	44	0.044±0.001	3.776±0.053	0.112±0.004	0.175±0.004	0.200±0.002	0.222±0.005	2.163±0.075	0.476±0.014	0.822±0.042	0.081±0.006	0.009±0.004	0.031±0.001	0.012±0.006	2.564

Xav：平均値、σ：標準偏差値　　比重2.29以下は緑色凝灰岩女代南Ｂ：女代南遺跡(豊岡市)、未定Ｃ：宇木汲田遺跡(唐津市)、車塚１、２：車塚古墳（交野市)、牟田辺：牟田辺遺跡（多久市)、長塚⑴、⑵：長塚古墳(可児市)、No.200-1～6：多摩ニュータウン遺跡（東京都)、梅田１～４：梅田古墳（兵庫県和田山町)、梅田東１：梅田東古墳(兵庫県和田山町)、上ノ段１：上ノ段遺跡(兵庫県島町)、新方１～３：新方遺跡（神戸市)、新井１：新井三丁目遺跡（東京都中野区)、亀川３：亀川遺跡(阪南市自然田)、東船１：東船遺跡（島根県今津町)、山ノ奥１：山ノ奥遺跡（岡山県)、昼飯３、４：昼飯大塚古墳（大垣市)、斉当坊６：市田斉当坊（京都府久御山町)、笠見３～13：笠見第３遺跡（鳥取県東伯町）矢野４：矢野遺跡（徳島市)、青田77、78：青田遺跡（新潟県加治川村)、菜畑（唐津市)、石田２、３：石田古墳（松江市)、会津坂下N、G：経塚遺跡（会津坂下町)、美保１：中野美保遺跡（出雲市)、大代８・５：大代古墳（鳴門市)、湯坂１、２：湯坂遺跡（鳥取県赤碕町)、阿尾島田-1、-2：阿尾島田A1号墳（氷見市)、中野清水１、３、４、５群、矢野No.1、2、3群：中野清水・矢野遺跡（出雲市)、地方：八日市地方遺跡（小松市)、吹上：吹上遺跡（上越市)、妙見山：妙見山古墳（今治市)、山賀No.283群：山賀遺跡（八尾市)、山持９、20-21、24、25-26遺物群：山持遺跡（島根県)、田能諸群：田能遺跡（尼崎市)、太田・黒田560遺物群：太田・黒田遺跡(和歌山市)、岡村07、224遺物群：岡村遺跡（橋本市)、室山5-4遺物群：室山５号墳(海南市)、唐古・鍵諸遺物群：唐古・鍵遺跡（奈良県田原本町)、庄・蔵本８、９遺物群：庄・蔵本遺跡（徳島市)、原田No.1遺物群：原田遺跡（奥出雲町)、北田井遺物群：北田井遺跡（和歌山市)、造山D、21、35C遺物群：造山３号墳（安来市)、西田井6-7遺物群：西田井遺跡（和歌山市)、旧吉備中遺物群：旧吉備中学校校庭遺跡（吉備町)、川辺遺物群：川辺遺跡（和歌山市)、天野諸遺物群：天野遺跡（胎内市)、玉作諸群：玉作１、２遺跡(鶴岡市)、高擶南諸群：高擶南遺跡(天童市)、麻田里１遺物群：麻田里遺跡（韓国、論山)、寛倉里１、２遺物群：寛倉里遺跡（韓国、保寧)、茶畑２遺物群：茶畑第２遺跡（鳥取県大山町)、茶畑山道遺物群：茶畑山道遺跡（鳥取県大山町)、蒲生３、-10-19遺物群：蒲生石棺群(北九州市)、西谷63、69遺物群：西谷遺跡（新潟県刈羽村)、中原426～561遺物群：中原遺跡(佐賀県唐津市）で使用されている原石産地不明の玉類で作った群。

表77　中原遺跡出土碧玉製管玉の分析結果(1)

分析番号	元素比														重量(g)	比重
	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	Ba/Zr		
102924	0.041	3.080	0.068	0.088	0.269	0.313	1.771	0.550	0.463	0.155	0.000	0.021	0.000	0.715	0.11689	2.529
102925	0.039	3.111	0.017	0.084	0.212	0.246	2.293	0.560	0.131	0.096	0.010	0.016	0.000	0.213	0.08223	2.543
102926	0.041	3.429	0.036	0.103	0.440	0.387	1.138	0.437	0.315	0.140	0.010	0.041	0.008	1.592	0.10379	2.544
102927	0.051	4.898	0.003	0.217	0.505	0.649	0.663	0.427	0.061	0.073	0.006	0.098	0.017	1.073	0.15322	2.573
102928	0.041	3.567	0.000	0.060	0.308	0.294	1.900	0.554	0.080	0.145	0.001	0.017	0.006	0.184	0.08999	2.585
102929	0.041	3.499	0.032	0.086	0.403	0.446	1.287	0.569	0.158	0.130	0.000	0.031	0.005	0.443	0.08034	2.555
102930	0.037	3.296	0.008	0.094	0.377	0.383	1.310	0.498	0.106	0.173	0.000	0.032	0.000	0.220	0.06941	2.527
102931	0.037	3.186	0.016	0.078	0.301	0.293	1.509	0.439	0.152	0.257	0.015	0.021	0.000	0.110	0.08453	2.559
102932	0.040	3.818	0.033	0.092	0.334	0.354	1.463	0.514	0.190	0.251	0.013	0.028	0.015	0.506	0.06400	2.535
102933	0.039	3.576	0.009	0.070	0.479	0.426	1.173	0.496	0.088	0.156	0.000	0.030	0.000	0.142	0.08684	2.533
102934	0.036	2.973	0.030	0.089	0.288	0.319	1.635	0.518	0.100	0.113	0.000	0.023	0.000	0.293	0.08961	2.560
102935	0.041	3.804	0.008	0.235	0.392	0.555	0.703	0.388	0.035	0.050	0.000	0.083	0.000	0.960	0.09202	2.586
102936	0.039	3.572	0.004	0.081	0.577	0.486	0.998	0.482	0.188	0.167	0.002	0.042	0.000	1.138	0.08027	2.564
102937	0.037	3.001	0.048	0.089	0.257	0.252	1.827	0.457	0.196	0.176	0.000	0.021	0.000	0.203	0.07313	2.535
102938	0.043	3.846	0.043	0.064	0.391	0.349	1.475	0.511	0.255	0.208	0.000	0.022	0.004	0.263	0.06770	2.548
102939	0.037	3.122	0.030	0.083	0.363	0.360	1.406	0.503	0.142	0.139	0.027	0.027	0.021	0.320	0.07531	2.543
102940	0.043	3.969	0.021	0.067	0.502	0.424	1.208	0.508	0.189	0.180	0.000	0.030	0.001	0.283	0.07398	2.521
102941	0.038	3.343	0.018	0.078	0.466	0.375	1.177	0.439	0.085	0.165	0.001	0.033	0.009	0.078	0.07790	2.538
102942	0.038	3.432	0.011	0.089	0.265	0.236	2.127	0.498	0.040	0.122	0.000	0.021	0.005	0.273	0.08287	2.556
102943	0.040	3.736	0.028	0.223	0.585	0.683	0.410	0.278	0.071	0.058	0.000	0.117	0.016	1.349	0.19170	2.568
102944	0.040	3.492	0.028	0.096	0.334	0.388	1.478	0.570	0.092	0.107	0.000	0.029	0.017	0.173	0.10614	2.536
102945	0.042	3.815	0.052	0.067	0.647	0.513	0.883	0.450	0.222	0.134	0.020	0.039	0.023	0.402	0.22682	2.542
102946	0.046	4.370	0.054	0.072	0.420	0.366	1.536	0.558	0.299	0.218	0.000	0.027	0.027	0.476	0.06366	2.528
102947	0.036	3.059	0.026	0.082	0.295	0.280	1.612	0.447	0.069	0.135	0.000	0.022	0.023	0.232	0.10093	2.524
102948	0.042	3.438	0.025	0.108	0.187	0.244	2.676	0.648	0.099	0.113	0.018	0.018	0.007	0.287	1.11868	2.548
102949	0.045	3.418	0.078	0.231	0.224	0.364	1.775	0.642	0.670	0.082	0.003	0.047	0.024	3.659	0.87678	2.583
102950	0.039	3.110	0.024	0.261	0.616	0.769	0.369	0.282	0.263	0.127	0.000	0.144	0.000	3.537	0.07410	2.499
102951	0.039	3.280	0.010	0.079	0.453	0.385	1.123	0.429	0.118	0.120	0.021	0.032	0.019	0.207	0.13337	2.537
102952	0.038	3.192	0.016	0.081	0.303	0.299	1.674	0.498	0.146	0.146	0.000	0.022	0.001	0.335	0.19383	2.569
102953	0.039	3.394	0.028	0.087	0.263	0.287	1.914	0.546	0.269	0.173	0.000	0.021	0.000	0.215	0.11095	2.527
102954	0.043	3.445	0.036	0.089	0.345	0.367	1.354	0.494	0.264	0.212	0.005	0.028	0.000	0.356	0.13175	2.526
102955	0.043	3.739	0.015	0.094	0.395	0.385	1.323	0.505	0.101	0.144	0.000	0.033	0.020	0.261	0.16904	2.577
102956	0.044	4.176	0.011	0.073	0.502	0.442	1.229	0.539	0.178	0.140	0.008	0.033	0.019	0.464	0.07013	2.504
102957	0.040	3.225	0.012	0.093	0.423	0.511	1.146	0.581	0.169	0.111	0.000	0.035	0.000	0.532	0.13334	2.539
102958	0.043	3.855	0.012	0.094	0.459	0.418	1.116	0.464	0.120	0.176	0.023	0.039	0.022	0.192	0.32773	2.565
102959	0.040	3.275	0.030	0.090	0.226	0.274	2.089	0.569	0.175	0.158	0.000	0.018	0.016	0.029	0.13500	2.562
102960	0.039	3.040	0.032	0.096	0.247	0.295	1.804	0.529	0.232	0.148	0.013	0.021	0.023	0.157	0.18340	2.593
102961	0.042	3.641	0.000	0.082	0.516	0.576	1.013	0.579	0.091	0.149	0.001	0.038	0.013	0.128	0.14364	2.561
102962	0.039	3.340	0.004	0.075	0.449	0.424	1.161	0.489	0.139	0.138	0.000	0.030	0.008	0.168	0.07147	2.551
102963	0.040	3.368	0.001	0.075	0.273	0.283	1.743	0.490	0.094	0.129	0.005	0.018	0.000	0.303	0.49806	2.574
102964	0.039	3.078	0.039	0.103	0.242	0.299	1.720	0.511	0.282	0.169	0.012	0.022	0.012	0.900	0.18910	2.572
102965	0.045	3.639	0.040	0.088	0.314	0.357	1.707	0.605	0.310	0.149	0.000	0.025	0.000	0.420	0.07531	2.554
102966	0.043	3.815	0.000	0.084	0.247	0.281	2.108	0.588	0.066	0.109	0.002	0.019	0.015	0.294	0.09648	2.533
102967	0.043	3.522	0.022	0.106	0.243	0.285	2.062	0.583	0.174	0.158	0.020	0.023	0.000	0.254	0.52530	2.539
102968	0.041	3.650	0.021	0.089	0.444	0.411	1.130	0.461	0.179	0.154	0.007	0.035	0.012	0.244	0.10355	2.547
102969	0.038	3.297	0.000	0.048	1.123	0.781	0.573	0.444	0.055	0.166	0.000	0.048	0.000	0.177	0.08604	2.566
102970	0.044	4.300	0.011	0.210	0.560	0.651	0.524	0.338	0.050	0.082	0.000	0.106	0.010	0.626	0.09349	2.578
102971	0.042	3.852	0.005	0.206	0.333	0.429	0.793	0.337	0.071	0.082	0.000	0.061	0.008	0.844	0.06047	2.575
102972	0.039	3.688	0.000	0.062	0.733	0.573	0.765	0.435	0.083	0.139	0.000	0.041	0.020	0.653	0.06389	2.579
102973	0.042	3.732	0.002	0.084	0.262	0.257	1.995	0.509	0.053	0.098	0.001	0.020	0.012	0.259	0.74331	2.578
102974	0.042	3.868	0.005	0.190	0.645	0.748	0.415	0.308	0.074	0.083	0.000	0.110	0.001	0.615	0.04891	2.582
102975	0.048	4.597	0.001	0.148	1.003	1.120	0.300	0.334	0.119	0.066	0.000	0.133	0.014	1.355	0.08104	2.605
102976	0.039	3.635	0.009	0.323	0.368	0.501	0.694	0.345	0.058	0.075	0.000	0.107	0.021	0.679	0.05028	2.584
102977	0.040	3.290	0.000	0.186	0.815	0.967	0.338	0.324	0.071	0.049	0.000	0.136	0.012	1.032	0.07515	2.624
102978	0.045	4.219	0.000	0.169	0.640	0.796	0.480	0.380	0.079	0.055	0.004	0.097	0.014	0.846	0.06195	2.615
102979	0.044	3.829	0.000	0.171	0.505	0.618	0.591	0.362	0.064	0.049	0.000	0.077	0.000	0.798	0.04982	2.583
102980	0.048	4.428	0.005	0.172	0.684	0.786	0.396	0.309	0.112	0.092	0.000	0.106	0.017	0.994	0.06889	2.605
102981	0.049	4.709	0.003	0.161	1.047	1.267	0.282	0.356	0.063	0.057	0.000	0.151	0.024	0.992	0.07979	2.578
102982	0.045	4.036	0.008	0.182	0.571	0.703	0.470	0.328	0.071	0.064	0.000	0.094	0.007	0.817	0.06676	2.552
102983	0.040	3.342	0.045	0.217	0.589	0.627	0.487	0.303	0.249	0.086	0.000	0.115	0.000	3.750	0.10522	2.556
102984	0.047	4.510	0.021	0.173	0.677	0.782	0.450	0.349	0.068	0.084	0.000	0.105	0.000	0.843	0.04814	2.544
102985	0.047	4.082	0.008	0.215	0.529	0.717	0.526	0.374	0.091	0.086	0.000	0.102	0.005	0.975	0.06552	2.534
102986	0.043	3.818	0.002	0.221	0.368	0.520	0.699	0.361	0.077	0.052	0.000	0.073	0.027	0.988	0.05723	2.555
102987	0.042	3.537	0.020	0.234	0.422	0.532	0.585	0.309	0.064	0.065	0.000	0.089	0.016	0.757	0.09872	2.561
102988	0.045	4.266	0.000	0.171	0.500	0.667	0.606	0.401	0.089	0.066	0.000	0.077	0.002	0.972	0.03664	2.586
102989	0.039	3.117	0.018	0.109	0.433	0.435	1.087	0.469	0.127	0.241	0.036	0.042	0.015	0.471	1.30364	2.543
102990	0.043	3.619	0.033	0.082	0.361	0.363	1.512	0.545	0.187	0.151	0.003	0.026	0.032	0.093	0.13501	2.582
102991	0.045	4.149	0.011	0.178	0.619	0.744	0.459	0.339	0.084	0.061	0.000	0.099	0.008	0.846	0.06630	2.560

分析番号	元素比														重量(g)	比重
	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	Ba/Zr		
102992	0.047	4.202	0.000	0.191	0.665	0.734	0.407	0.297	0.057	0.053	0.003	0.114	0.022	0.754	0.07491	2.479
102993	0.037	3.101	0.024	0.076	0.556	0.446	0.874	0.387	0.143	0.118	0.011	0.038	0.024	0.233	0.09699	2.552
102994	0.048	4.173	0.000	0.164	0.695	0.715	0.435	0.309	0.090	0.058	0.002	0.102	0.011	0.746	0.05581	2.539
102995	0.040	3.459	0.010	0.258	0.510	0.609	0.514	0.311	0.048	0.054	0.000	0.118	0.017	0.637	0.06714	2.579
102996	0.045	4.225	0.000	0.188	0.519	0.636	0.560	0.354	0.073	0.052	0.000	0.088	0.029	1.004	0.09460	2.543
102997	0.035	3.027	0.002	0.075	0.545	0.484	0.918	0.441	0.143	0.140	0.000	0.037	0.000	0.057	0.04168	2.554
102998	0.037	3.234	0.011	0.082	0.192	0.173	2.871	0.492	0.121	0.202	0.000	0.014	0.013	0.048	0.11206	2.550
102999	0.037	3.104	0.000	0.077	0.184	0.172	3.052	0.520	0.140	0.139	0.000	0.013	0.012	0.204	0.09599	2.565
103000	0.045	4.310	0.016	0.079	0.374	0.354	1.831	0.643	0.216	0.122	0.011	0.027	0.003	0.280	0.09542	2.554
103001	0.040	3.669	0.011	0.070	0.270	0.231	2.384	0.547	0.124	0.157	0.000	0.017	0.000	0.244	0.09693	2.562
103002	0.037	3.086	0.011	0.077	0.286	0.250	2.028	0.504	0.151	0.157	0.001	0.020	0.016	0.523	0.09246	2.564
103003	0.046	4.264	0.019	0.210	0.428	0.521	0.667	0.345	0.154	0.068	0.000	0.081	0.013	2.728	0.11171	2.567
103004	0.041	3.870	0.017	0.089	0.345	0.366	1.642	0.596	0.116	0.094	0.000	0.028	0.011	0.224	0.08037	2.593
103005	0.034	2.698	0.018	0.082	0.302	0.332	1.638	0.539	0.165	0.118	0.000	0.022	0.020	0.318	0.14628	2.559
103006	0.040	3.262	0.000	0.093	0.220	0.238	2.075	0.491	0.074	0.156	0.011	0.018	0.004	0.059	0.13518	2.561
103007	0.037	3.095	0.030	0.096	0.238	0.260	1.898	0.489	0.159	0.147	0.006	0.021	0.000	0.136	0.14241	2.555
103008	0.048	4.474	0.005	0.157	1.722	1.660	0.198	0.326	0.096	0.078	0.000	0.243	0.005	1.122	0.04812	2.566
103009	0.040	3.164	0.041	0.291	0.443	0.568	0.541	0.305	0.117	0.277	0.010	0.116	0.010	0.867	0.24323	2.599
103010	0.035	3.073	0.003	0.328	0.230	0.375	1.022	0.380	0.067	0.049	0.001	0.068	0.020	0.702	0.05503	2.570
103011	0.044	3.979	0.000	0.210	0.835	1.142	0.313	0.355	0.075	0.058	0.034	0.158	0.018	1.173	0.21623	2.557
103012	0.046	3.854	0.006	0.240	0.440	0.523	0.606	0.315	0.114	0.079	0.017	0.095	0.022	3.597	0.27020	2.558
103013	0.041	3.550	0.000	0.173	0.735	0.998	0.439	0.435	0.097	0.062	0.038	0.114	0.012	0.799	0.04030	2.514
103014	0.044	3.908	0.000	0.253	0.352	0.482	0.776	0.371	0.050	0.066	0.000	0.080	0.021	1.427	0.25116	2.588
103015	0.041	3.555	0.019	0.189	0.599	0.649	0.495	0.319	0.223	0.081	0.000	0.102	0.000	1.478	0.04381	2.566
103016	0.044	4.122	0.000	0.179	0.868	1.057	0.318	0.333	0.068	0.054	0.000	0.140	0.011	0.835	0.04233	2.547
103017	0.038	2.973	0.005	0.222	0.401	0.615	0.591	0.361	0.094	0.061	0.000	0.080	0.008	0.957	0.03342	2.579
103984	0.046	4.208	0.027	0.074	0.443	0.398	1.294	0.511	0.232	0.168	0.000	0.029	0.000	0.323	0.04815	2.526
103985	0.049	4.606	0.014	0.205	0.454	0.540	0.633	0.339	0.061	0.074	0.011	0.084	0.018	1.490	0.99036	2.582
103986	0.045	4.002	0.023	0.070	0.590	0.533	1.006	0.532	0.341	0.193	0.000	0.037	0.003	0.061	0.04131	2.502
103987	0.043	3.717	0.019	0.096	0.242	0.274	2.078	0.566	0.172	0.144	0.000	0.021	0.001	0.000	0.03030	2.525
103988	0.041	3.637	0.021	0.062	0.444	0.410	1.465	0.597	0.195	0.143	0.006	0.025	0.007	0.072	0.03737	2.523
103989	0.048	4.510	0.025	0.072	0.477	0.414	1.258	0.517	0.267	0.156	0.000	0.031	0.027	0.309	0.03401	2.397
103990	0.040	3.242	0.020	0.085	0.286	0.305	1.792	0.542	0.241	0.202	0.000	0.022	0.007	0.418	0.03774	2.410
103991	0.043	3.926	0.009	0.071	0.458	0.380	1.268	0.478	0.151	0.231	0.020	0.029	0.003	0.349	0.05878	2.565
103992	0.044	4.153	0.015	0.084	0.496	0.445	1.172	0.518	0.180	0.155	0.000	0.037	0.006	0.071	0.03739	2.557
103993	0.040	3.354	0.005	0.068	0.317	0.318	1.685	0.533	0.158	0.257	0.000	0.019	0.000	0.112	0.05818	2.401
103994	0.040	3.509	0.018	0.079	0.417	0.369	1.225	0.449	0.346	0.150	0.000	0.030	0.000	1.859	0.04484	2.508
103995	0.037	3.353	0.000	0.079	0.557	0.473	0.997	0.468	0.084	0.126	0.038	0.039	0.006	0.064	0.04529	2.488
103996	0.041	3.333	0.000	0.089	0.211	0.207	2.649	0.544	0.027	0.126	0.000	0.017	0.009	0.154	0.02828	2.599
103997	0.040	3.298	0.004	0.055	0.270	0.282	1.902	0.533	0.147	0.138	0.000	0.013	0.000	0.092	0.05689	2.408
103998	0.039	3.131	0.006	0.073	0.246	0.247	1.940	0.476	0.129	0.093	0.001	0.016	0.031	0.000	0.04973	2.477
103999	0.045	4.115	0.023	0.082	0.300	0.311	1.879	0.579	0.225	0.160	0.002	0.022	0.018	0.116	0.05819	2.548
104000	0.028	0.756	0.084	0.409	0.039	0.151	6.053	0.906	0.225	0.155	0.020	0.014	0.000	0.905	0.77230	2.625
104001	0.040	3.342	0.018	0.064	0.392	0.356	1.506	0.532	0.088	0.133	0.000	0.022	0.012	0.070	0.03521	2.630
104002	0.040	3.251	0.044	0.111	0.441	0.406	1.069	0.431	0.232	0.141	0.028	0.044	0.012	1.126	1.13199	2.447
104003	0.041	3.632	0.040	0.093	0.267	0.294	1.825	0.532	0.277	0.159	0.013	0.022	0.002	0.270	0.03809	2.494
104004	0.037	2.906	0.044	0.096	0.337	0.351	1.487	0.519	0.369	0.159	0.027	0.029	0.000	0.255	0.03866	2.542
104005	0.042	3.685	0.006	0.099	0.206	0.189	2.747	0.516	0.053	0.115	0.015	0.018	0.004	0.303	0.76486	2.564
104006	0.036	3.308	0.000	0.035	0.668	0.567	1.059	0.596	0.077	5.716	0.021	0.021	0.000	0.367	0.05208	2.450
104007	0.039	3.261	0.015	0.070	0.503	0.453	1.106	0.498	0.053	0.109	0.014	0.032	0.000	0.038	0.02726	2.584
104008	0.040	3.408	0.023	0.088	0.350	0.323	1.446	0.464	0.173	0.174	0.012	0.028	0.000	0.428	0.04671	2.547
104009	0.037	3.138	0.014	0.071	0.399	0.364	1.275	0.461	0.099	0.122	0.022	0.025	0.000	0.015	0.05176	2.560
104010	0.041	3.455	0.034	0.100	0.261	0.273	1.983	0.538	0.207	0.144	0.005	0.024	0.008	0.107	0.03626	2.566
104011	0.044	3.519	0.058	0.080	0.267	0.299	1.966	0.584	0.339	0.229	0.001	0.019	0.000	0.166	0.04933	2.565
104012	0.039	3.403	0.024	0.089	0.330	0.315	1.543	0.482	0.147	0.150	0.000	0.026	0.016	0.166	0.03794	2.572
104013	0.044	3.941	0.029	0.067	0.486	0.472	1.221	0.572	0.314	0.172	0.000	0.029	0.027	0.250	0.05599	2.562
104014	0.044	3.921	0.020	0.085	0.318	0.305	1.892	0.573	0.216	0.140	0.009	0.024	0.009	0.407	0.06267	2.530
104015	0.046	4.145	0.011	0.086	0.313	0.326	1.777	0.575	0.176	0.236	0.016	0.024	0.000	0.692	0.05196	2.541
104016	0.044	3.793	0.105	0.178	0.202	0.226	2.065	0.464	0.762	0.081	0.015	0.032	0.008	0.814	1.05134	2.564
104017	0.030	0.802	0.070	0.438	0.036	0.148	5.782	0.852	0.218	0.158	0.020	0.014	0.011	1.034	0.92148	2.625
104018	0.042	3.730	0.008	0.110	0.177	0.163	3.071	0.499	0.070	0.121	0.017	0.018	0.019	0.472	0.81405	2.572
104019	0.037	3.072	0.024	0.096	0.338	0.349	1.461	0.506	0.189	0.131	0.028	0.029	0.002	0.178	0.04386	2.553
104020	0.048	4.190	0.035	0.099	0.352	0.335	1.644	0.547	0.342	0.157	0.028	0.031	0.000	1.319	1.88864	2.560
104021	0.045	3.538	0.045	0.109	0.200	0.231	2.432	0.558	0.225	0.114	0.014	0.020	0.027	0.762	1.16045	2.565
104022	0.046	4.268	0.000	0.186	0.353	0.477	0.837	0.397	0.041	0.059	0.001	0.059	0.012	1.358	1.48016	2.577
JG-1[a)]	0.081	3.205	0.736	0.198	0.111	0.277	3.479	0.956	1.261	0.187	0.017	0.020	0.086	1.567		

a)：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical referencesamples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192.

表78　中原遺跡出土碧玉製管玉の分析結果(2)

分析番号	元素比														重量(g)	比重
	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	Ba/Zr		
103008	0.048	4.474	0.005	0.157	1.722	1.660	0.198	0.326	0.096	0.078	0.000	0.243	0.005	1.122	0.04812	2.566
103009	0.040	3.164	0.041	0.291	0.443	0.568	0.541	0.305	0.117	0.277	0.010	0.116	0.010	0.867	0.24323	2.599
103010	0.035	3.073	0.003	0.328	0.230	0.375	1.022	0.380	0.067	0.049	0.001	0.068	0.020	0.702	0.05503	2.570
103011	0.044	3.979	0.000	0.210	0.835	1.142	0.313	0.355	0.075	0.058	0.034	0.158	0.018	1.173	0.21623	2.557
103012	0.046	3.854	0.006	0.240	0.440	0.523	0.606	0.315	0.114	0.079	0.017	0.095	0.022	3.597	0.27020	2.558
103013	0.041	3.550	0.000	0.173	0.735	0.998	0.439	0.435	0.097	0.062	0.038	0.114	0.012	0.799	0.04030	2.514
103014	0.044	3.908	0.000	0.253	0.352	0.482	0.776	0.371	0.050	0.066	0.000	0.080	0.021	1.427	0.25116	2.588
103015	0.041	3.555	0.019	0.189	0.599	0.649	0.495	0.319	0.223	0.081	0.000	0.102	0.000	1.478	0.04381	2.566
103016	0.044	4.122	0.000	0.179	0.868	1.057	0.318	0.333	0.068	0.054	0.000	0.140	0.011	0.835	0.04233	2.547
103017	0.038	2.973	0.005	0.222	0.401	0.615	0.591	0.361	0.094	0.061	0.000	0.080	0.008	0.957	0.03342	2.579
103984	0.046	4.208	0.027	0.074	0.443	0.398	1.294	0.511	0.232	0.168	0.000	0.029	0.000	0.323	0.04815	2.526
103985	0.049	4.606	0.014	0.205	0.454	0.540	0.633	0.339	0.061	0.074	0.011	0.084	0.018	1.490	0.99036	2.582
103986	0.045	4.002	0.023	0.070	0.590	0.533	1.006	0.532	0.341	0.193	0.000	0.037	0.003	0.061	0.04131	2.502
103987	0.043	3.717	0.019	0.096	0.242	0.274	2.078	0.566	0.172	0.144	0.000	0.021	0.001	0.000	0.03030	2.525
103988	0.041	3.637	0.021	0.062	0.444	0.410	1.465	0.597	0.195	0.143	0.006	0.025	0.007	0.072	0.03737	2.523
103989	0.048	4.510	0.025	0.072	0.477	0.414	1.258	0.517	0.267	0.156	0.000	0.031	0.027	0.309	0.03401	2.397
103990	0.040	3.242	0.020	0.085	0.286	0.305	1.792	0.542	0.241	0.202	0.000	0.022	0.007	0.418	0.03774	2.410
103991	0.043	3.926	0.009	0.071	0.458	0.380	1.268	0.478	0.151	0.231	0.020	0.029	0.003	0.349	0.05878	2.565
103992	0.044	4.153	0.015	0.084	0.496	0.445	1.172	0.518	0.180	0.155	0.000	0.037	0.006	0.071	0.03739	2.557
103993	0.040	3.354	0.005	0.068	0.317	0.318	1.685	0.533	0.158	0.257	0.000	0.019	0.000	0.112	0.05818	2.401
103994	0.040	3.509	0.018	0.079	0.417	0.369	1.225	0.449	0.346	0.150	0.000	0.030	0.000	1.859	0.04484	2.508
103995	0.037	3.353	0.000	0.079	0.557	0.473	0.997	0.468	0.084	0.126	0.038	0.039	0.006	0.064	0.04529	2.488
103996	0.041	3.333	0.000	0.089	0.211	0.207	2.649	0.544	0.027	0.126	0.000	0.017	0.009	0.154	0.02828	2.599
103997	0.040	3.298	0.004	0.055	0.270	0.282	1.902	0.533	0.147	0.138	0.000	0.013	0.000	0.092	0.05689	2.408
103998	0.039	3.131	0.006	0.073	0.246	0.247	1.940	0.476	0.129	0.093	0.001	0.016	0.031	0.000	0.04973	2.477
103999	0.045	4.115	0.023	0.082	0.300	0.311	1.879	0.579	0.225	0.160	0.002	0.022	0.018	0.116	0.05819	2.548
104000	0.028	0.756	0.084	0.409	0.039	0.151	6.053	0.906	0.225	0.155	0.020	0.014	0.000	0.905	0.77230	2.625
104001	0.040	3.342	0.018	0.064	0.392	0.356	1.506	0.532	0.088	0.133	0.000	0.022	0.012	0.070	0.03521	2.630
104002	0.040	3.251	0.044	0.111	0.441	0.406	1.069	0.431	0.232	0.141	0.028	0.044	0.012	1.126	1.13199	2.447
104003	0.041	3.632	0.040	0.093	0.267	0.294	1.825	0.532	0.277	0.159	0.013	0.022	0.002	0.270	0.03809	2.494
104004	0.037	2.906	0.044	0.096	0.337	0.351	1.487	0.519	0.369	0.159	0.027	0.029	0.000	0.255	0.03866	2.542
104005	0.042	3.685	0.006	0.099	0.206	0.189	2.747	0.516	0.053	0.115	0.015	0.018	0.004	0.303	0.76486	2.564
104006	0.036	3.308	0.000	0.035	0.668	0.567	1.059	0.596	0.077	5.716	0.021	0.021	0.000	0.367	0.05208	2.450
104007	0.039	3.261	0.015	0.070	0.503	0.453	1.106	0.498	0.053	0.109	0.014	0.032	0.000	0.038	0.02726	2.584
104008	0.040	3.408	0.023	0.088	0.350	0.323	1.446	0.464	0.173	0.174	0.012	0.028	0.000	0.428	0.04671	2.547
104009	0.037	3.138	0.014	0.071	0.399	0.364	1.275	0.461	0.099	0.122	0.022	0.025	0.000	0.015	0.05176	2.560
104010	0.041	3.455	0.034	0.100	0.261	0.273	1.983	0.538	0.207	0.144	0.005	0.024	0.008	0.107	0.03626	2.566
104011	0.044	3.519	0.058	0.080	0.267	0.299	1.966	0.584	0.339	0.229	0.001	0.019	0.000	0.166	0.04933	2.565
104012	0.039	3.403	0.024	0.089	0.330	0.315	1.543	0.482	0.147	0.150	0.000	0.026	0.016	0.166	0.03794	2.572
104013	0.044	3.941	0.029	0.067	0.486	0.472	1.221	0.572	0.314	0.172	0.000	0.029	0.027	0.250	0.05599	2.562
104014	0.044	3.921	0.020	0.085	0.318	0.305	1.892	0.573	0.216	0.140	0.009	0.024	0.009	0.407	0.06267	2.530
104015	0.046	4.145	0.011	0.086	0.313	0.326	1.777	0.575	0.176	0.236	0.016	0.024	0.000	0.692	0.05196	2.541
104016	0.044	3.793	0.105	0.178	0.202	0.226	2.065	0.464	0.762	0.081	0.015	0.032	0.008	0.814	1.05134	2.564
104017	0.030	0.802	0.070	0.438	0.036	0.148	5.782	0.852	0.218	0.158	0.020	0.014	0.011	1.034	0.92148	2.625
104018	0.042	3.730	0.008	0.110	0.177	0.163	3.071	0.499	0.070	0.121	0.017	0.018	0.019	0.472	0.81405	2.572
104019	0.037	3.072	0.024	0.096	0.338	0.349	1.461	0.506	0.189	0.131	0.028	0.029	0.002	0.178	0.04386	2.553
104020	0.048	4.190	0.035	0.099	0.352	0.335	1.644	0.547	0.342	0.157	0.028	0.031	0.000	1.319	1.88864	2.560
104021	0.045	3.538	0.045	0.109	0.200	0.231	2.432	0.558	0.225	0.114	0.014	0.020	0.027	0.762	1.16045	2.565
104022	0.046	4.268	0.000	0.186	0.353	0.477	0.837	0.397	0.041	0.059	0.001	0.059	0.012	1.358	1.48016	2.577
JG-1[a)]	0.081	3.205	0.736	0.198	0.111	0.277	3.479	0.956	1.261	0.187	0.017	0.020	0.086	1.567		

a)：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974) . 1974 compilation of data on the GJS geochemical referencesamples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt.Geochemical Journal, Vol. 8 175-192.

表79　中原遺跡出土碧玉製管玉の産地分析結果(1)

個体番号	分析番号	ホテリングのT2乗検定結果	ESR信号形	総合判定	遺構名
56	102924	女代南Ｂ遺物群(28%)、菩提-1(0.9%)、猿八-1(0.8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13068
57	102925	女代南Ｂ遺物群(54%)、菩提-1(4%)、猿八-1(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
58	102926	菩提-1(32%)、女代南Ｂ遺物群(13%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
59	102927	未定Ｃ遺物群(60%)、車塚２遺物群(6%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
60	102928	女代南Ｂ遺物群(75%)、菩提-1(0.5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
61	102929	菩提-1(10%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
235	102930	菩提-1(31%)、女代南Ｂ遺物群(10%)、那谷-菩提(8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13134
236	102931	女代南Ｂ遺物群(6%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
237	102932	女代南Ｂ遺物群(5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
238	102933	菩提-1(25%)、女代南Ｂ遺物群(4%)、那谷-菩提(7%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
239	102934	女代南Ｂ遺物群(14%)、菩提-1(10%)、猿八-1(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
240	102935	未定Ｃ遺物群(60%)、車塚２遺物群(30%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
241	102936	菩提-1(19%)、那谷-菩提(1%)、女代南Ｂ遺物群(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
242	102937	女代南Ｂ遺物群(16%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
243	102938	女代南Ｂ遺物群(57%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
244	102939	女代南Ｂ遺物群(31%)、菩提-1(21%)、那谷-菩提(0.8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
245	102940	女代南Ｂ遺物群(10%)、菩提-1(3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
246	102941	女代南Ｂ遺物群(22%)、菩提-1(9%)、那谷-菩提(10%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
365	102942	女代南Ｂ遺物群(22%)、菩提-1(0.8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13283
366	102943	未定Ｃ遺物群(16%)、車塚２遺物群(0.1%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
367	102944	菩提-1(9%)、女代南Ｂ遺物群(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
368	102945	菩提-1(4%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
369	102946	女代南Ｂ遺物群(18%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
370	102947	女代南Ｂ遺物群(6%)、菩提-1(0.2%)、猿八-1(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
425	102948	女代南Ｂ遺物群(84%)、菩提-1(50%)、花仙山面白谷(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13301
426	102949	中原426遺物群(63%)	崩れ未定Ｃ形	中原426遺物群	
438	102950	中原438遺物群(68%)	未定Ｃ形	中原438遺物群	SJ13310
439	102951	菩提-1(19%)、女代南Ｂ遺物群(11%)、那谷-菩提(14%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
440	102952	女代南Ｂ遺物群(57%)、菩提-1(3%)、那谷-菩提(2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
441	102953	女代南Ｂ遺物群(78%)、菩提-1(1%)、猿八-1(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
442	102954	女代南Ｂ遺物群(16%)、菩提-1(2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
443	102955	菩提-1(32%)、女代南Ｂ遺物群(0.9%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
444	102956	菩提-1(3%)、女代南Ｂ遺物群(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
445	102957	地方Ｂ遺物群(16%)、菩提-1(0.3%)	女代南Ｂ形	地方Ｂ遺物群	
446	102958	菩提-1(12%)、女代南Ｂ遺物群(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
447	102959	女代南Ｂ遺物群(69%)、菩提-1(8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
448	102960	女代南Ｂ遺物群(51%)、菩提-1(14%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
449	102961	地方Ｂ遺物群(10%)、吹上42遺物群(0.1%)	女代南Ｂ形	地方Ｂ遺物群	
450	102962	菩提-1(21%)、女代南Ｂ遺物群(4%)、那谷-菩提(0.6%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
451	102963	女代南Ｂ遺物群(20%)、菩提-1(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
452	102964	女代南Ｂ遺物群(32%)、菩提-1(5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
453	102965	女代南Ｂ遺物群(42%)、菩提-1(14%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
454	102966	女代南Ｂ遺物群(45%)、菩提-1(8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
455	102967	女代南Ｂ遺物群(80%)、菩提-1(63%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
456	102968	菩提-1(10%)、女代南Ｂ遺物群(0.6%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
466	102969	中原466遺物群(71%)	女代南Ｂ形	中原466遺物群	SJ13319
467	102970	未定Ｃ遺物群(66%)、車塚２遺物群(42%)、菜畑遺物群(0.2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
468	102971	未定Ｃ遺物群(13%)、車塚１遺物群(10%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
469	102972	菩提-1(1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
470	102973	女代南Ｂ遺物群(15%)、菩提-1(0.5%)、猿八-1(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
471	102974	未定Ｃ遺物群(49%)、車塚２遺物群(0.2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
472	102975	田能Ｄ遺物群(2%)、菜畑遺物群(0.1%)	未定Ｃ形	田能Ｄ遺物群	
473	102976	未定Ｃ遺物群(5%)、車塚１遺物群(0.2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
474	102977	未定Ｃ遺物群(0.3%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
475	102978	未定Ｃ遺物群(73%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
476	102979	未定Ｃ遺物群(56%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
477	102980	未定Ｃ遺物群(27%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
478	102981	持田３遺物群(24%)、菜畑遺物群(0.3%)	未定Ｃ形	持田３遺物群	
479	102982	未定Ｃ遺物群(62%)、車塚２遺物群(0.1%)	崩れ未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
480	102983	菜畑遺物群(4%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
481	102984	未定Ｃ遺物群(68%)、菜畑遺物群(1%)、車塚２遺物群(0.2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
482	102985	未定Ｃ遺物群(77%)、車塚２遺物群(26%)、菜畑遺物群(2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
483	102986	未定Ｃ遺物群(88%)、車塚２遺物群(11%)、車塚１遺物群(14%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
484	102987	未定Ｃ遺物群(43%)、車塚２遺物群(10%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	

表80　中原遺跡出土碧玉製管玉の産地分析結果(2)

個体番号	分析番号	ホテリングのT2乗検定結果	ESR信号形	総合判定	遺構名
485	102988	未定Ｃ遺物群(72%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	SJ13319
486	102989	菩提-1(11%)、女代南Ｂ遺物群(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
487	102990	女代南Ｂ遺物群(51%)、菩提-1(13%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
488	102991	未定Ｃ遺物群(74%)、車塚２遺物群(0.1%)、菜畑遺物群(0.3%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
489	102992	未定Ｃ遺物群(51%)、車塚２遺物群(3%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
490	102993	菩提-1(20%)、女代南Ｂ遺物群(0.8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
491	102994	未定Ｃ遺物群(61%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
492	102995	車塚２遺物群(47%)、未定Ｃ遺物群(18%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
493	102996	未定Ｃ遺物群(91%)、車塚２遺物群(2%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
494	102997	菩提-1(2%)、那谷-菩提(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
514	102998	女代南Ｂ遺物群(3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13336
515	102999	女代南Ｂ遺物群(3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
516	103000	女代南Ｂ遺物群(13%)、菩提-1(0.6%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
517	103001	女代南Ｂ遺物群(71%)、猿八-1(0.9%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
518	103002	女代南Ｂ遺物群(59%)、菩提-1(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
519	103003	未定Ｃ遺物群(26%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
520	103004	女代南Ｂ遺物群(21%)、菩提-1(13%)、那谷-菩提(3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
534	103005	女代南Ｂ遺物群(29%)、菩提-1(9%)、那谷-菩提(0.4%)、猿八-1(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ13384
535	103006	女代南Ｂ遺物群(14%)、菩提-1(0.5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
536	103007	女代南Ｂ遺物群(31%)、菩提-1(1%)、猿八-1(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
560	103008	中原560遺物群(66%)	崩れ未定Ｃ形	中原560遺物群	SJ13417
561	103009	中原561遺物群(74%)	未定Ｃ形	中原561遺物群	
562	103010	持田２遺物群(36%)	未定Ｃ形	持田２遺物群	
563	103011	菜畑遺物群(26%)、持田３遺物群(0.5%)	未定Ｃ形	菜畑遺物群	
564	103012	未定Ｃ遺物群(77%)、車塚２遺物群(4%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
565	103013	未定Ｃ遺物群(1%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
566	103014	未定Ｃ遺物群(70%)、車塚１遺物群(3%)、車塚２遺物群(0.4%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
567	103015	菜畑遺物群(1%)、未定Ｃ遺物群(0.3%)	未定Ｃ形	菜畑遺物群	
568	103016	持田３遺物群(31%)、菜畑遺物群(25%)	未定Ｃ形	持田３遺物群	
569	103017	未定Ｃ遺物群(26%)	未定Ｃ形	未定Ｃ遺物群	
33	103984	女代南Ｂ遺物群(9%)、菩提-1(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	SJ11249
34	103985	未定Ｃ遺物群(83%)、車塚２遺物群(38%)	崩れ菜畑形	未定Ｃ遺物群	
35	103986	菩提-1(0.6%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
36	103987	女代南Ｂ遺物群(67%)、菩提-1(10%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
37	103988	女代南Ｂ遺物群(28%)、菩提-1(16%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
38	103989	女代南Ｂ遺物群(1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
39	103990	女代南Ｂ遺物群(74%)、菩提-1(2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
40	103991	女代南Ｂ遺物群(14%)、菩提-1(0.2%)、那谷-菩提(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
41	103992	菩提-1(6%)、女代南Ｂ遺物群(0.9%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
42	103993	女代南Ｂ遺物群(23%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
43	103994	女代南Ｂ遺物群(5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
44	103995	菩提-1(56%)、那谷-菩提(8%)、女代南Ｂ遺物群(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
45	103996	女代南Ｂ遺物群(34%)、菩提-1(0.8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
46	103997	女代南Ｂ遺物群(43%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
47	103998	女代南Ｂ遺物群(8%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
48	103999	女代南Ｂ遺物群(52%)、菩提-1(0.4%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
49	104000	玉谷(2%)	玉谷形	玉谷	
50	104001	女代南Ｂ遺物群(50%)、菩提-1(7%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
51	104002	菩提-1(75%)、女代南Ｂ遺物群(11%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
52	104003	女代南Ｂ遺物群(62%)、菩提-1(0.8%)、猿八-1(0.7%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
53	104004	女代南Ｂ遺物群(49%)、菩提-1(12%)、那谷-菩提(0.5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
54	104005	女代南Ｂ遺物群(7%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
55	104006	中原55遺物群(37%)	女代南Ｂ形	中原55遺物群	
56	104007	菩提-1(46%)、女代南Ｂ遺物群(0.4%)、那谷-菩提(0.1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
57	104008	女代南Ｂ遺物群(48%)、菩提-1(3%)、那谷-菩提(2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
58	104009	菩提-1(16%)、女代南Ｂ遺物群(7%)、那谷-菩提(9%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
59	104010	女代南Ｂ遺物群(82%)、菩提-1(19%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
60	104011	女代南Ｂ遺物群(57%)、菩提-1(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
61	104012	女代南Ｂ遺物群(49%)、菩提-1(6%)、那谷-菩提(1%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
62	104013	菩提-1(2%)、女代南Ｂ遺物群(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
63	104014	女代南Ｂ遺物群(67%)、菩提-1(3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
64	104015	女代南Ｂ遺物群(18%)、菩提-1(0.3%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
65	104016	中原65遺物群(73%)	女代南Ｂ形	中原65遺物群	
66	104017	玉谷(3%)、花仙山(白色風化)(0.2%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
67	104018	女代南Ｂ遺物群(0.9%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
68	104019	菩提-1(59%)、女代南Ｂ遺物群(50%)、那谷-菩提(30%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
69	104020	女代南Ｂ遺物群(7%)、菩提-1(0.5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
70	104021	女代南Ｂ遺物群(61%)、菩提-1(5%)	女代南Ｂ形	菩提・女代南Ｂ遺物群	
71	104022	未定Ｃ遺物群(28%)、車塚１遺物群(0.8%)	崩れ菜畑形	未定Ｃ遺物群	

2，佐賀県中原遺跡から出土した銅釧の鉛同位体比

別府大学　文学研究科　西田京平
海洋研究開発機構　谷水雅治
別府大学　文学部　淀川奈緒子・渡辺智恵美・平尾良光

⑴ はじめに

佐賀県教育庁社会教育・文化財課より京都科学を通して佐賀県唐津市の中原遺跡甕棺から出土した銅釧15資料に関する鉛同位体比測定の依頼があった。これら資料に関する調査は当研究室で進めている「弥生時代青銅器の産地推定」という研究の中で重要な位置を占めるので、協力させていただいた。そこで、鉛同位体比法で遺物の材料となった青銅に含まれる鉛の産地を推定すると共に、青銅材料の理解を深めることを目的とした。

⑵ 資　料

資料である銅釧は佐賀県唐津市の中原（なかばる）遺跡から出土した。遺跡の位置および時代、意義などに関する解説は別稿に譲るが、本遺跡には弥生時代から古墳時代までの遺構が含まれている。本研究対象である銅釧はこの遺跡の中でも古い方に属する弥生時代中期前葉から中葉までの甕棺から出土した。甕棺SJ13134は弥生時代中期前葉と推定され、その底に12個体の銅釧がまとまって発見され、玉類なども共伴した。甕棺SJ13112は弥生時代中期中葉と推定され、その底から３個体と推定される銅釧が多くの小さな破片となって出土した。他の甕棺からは細形銅矛が発見されている。また遺跡からは石型の中細形銅矛、中細形銅剣の鋳型が出土している。この遺跡の近くに牟田辺（むたべ）遺跡があり、形のよく似た銅釧が４点（報告書では５点となっているが、鉛同位体比からの判断では４点と推定される）出土している。それらとの関連性が注目される。

本研究の銅釧は針金状の青銅であり、断面は３㎜φほど、直径は７～８㎝ほどの円形をしており、飾りや突起は見あたらない。また意図的に何らかの形を作っていないが、太さにはむらがあり、１個の銅釧の中で太い部分、細い部分がはっきり判る。接合面が見えないので、鍛造・接着ではなく、鋳造したと推定される。

銅釧自体は錆化がかなり進んでおり、早急に修復がされなければならない状態であった。そこで、佐賀県の教育庁では修復を京都科学へ依頼し、その折りに科学的な測定に関して別府大学へ依頼をいただいた。

資料である銅釧は写真1-1～-9と写真2-1、-2で示されるように、錆でかなり傷んでおり、細線部分では試料を採取できないほどであった。しかしながら、それでも採取できる部分を選び、資料の錆を採取し、測定番号１（BP-039）から22（BP-062）までの鉛同位体比測定用の試料とした。

資料の化学組成を蛍光Ｘ線分析法で調べたところ、緑色部分には銅がかなり多く検出された。白色部分は鉛が主成分として検出され、正確な化学組成は判らないが、スズと鉛が多い青銅であることが判った。それ故、得られた白色錆試料には鉛が多いと考えられるので、これを主として採取し、通常の方法で鉛を分離し、鉛同位体比を測定した。

⑶ 鉛同位体比法

⑶-1　鉛同位体比法による青銅材料の産地推定

産地推定のために鉛同位体比法を利用した(*1)。一般的に、鉛の同位体比は鉛鉱山の岩体が違えばそれぞれの鉱山毎に異なった値となることが知られており、産地によって特徴ある同位体比を示すことが今までの研究でわかっている。そこで、鉛の産地の違いが鉛同位体比に現れるならば、文化財資料に含

まれる鉛の同位体比の違いは材料の産地を示すと推定される。日本で出土する古代の青銅製品の多くには鉛が主成分の一つとして５～20％含まれている。鉛同位体比の測定に用いられる鉛量は測定器の感度が非常に良いため、１マイクログラムの鉛があれば十分である。また試料は青銅の金属部分でも錆部分でも、その同位体比は原則的に変わらない。しかしながら、錆の場合には外部から鉛が混入する可能性を否定しきれない。今回の資料は錆化がかなり進んでおり、内面まで錆びているように見受けられた。それ故、より内部の錆を採取することに心掛けた。これら採取した試料に関して、蛍光Ｘ線分析法で鉛量を大まかに調べた後、電気分解法で鉛を化学的に単離し、鉛同位体比をICP質量分析計で測定した(*2)。

⑶-2　鉛同位体比測定用試料の採取

鉛同位体比測定用の試料は銅釧資料が京都科学で修復処置されるときに、京都科学へ赴き、それらの一部を採取した。試料採取箇所を写真（1-1～-9)、写真（2-1、2）で示した。それぞれの箇所をできるだけ表面の錆と内部の錆（含金属）とに分けて採取しようとした。そして内部試料を鉛同位体比測定用に利用することに努めたが、資料が細すぎるため、あるいは腐食が進んでいるため、表面の錆部分しか採取できない場合もあった。幾つかの資料に関しては表面の錆と内部の錆とに分けて、鉛同位体比を測定できるように努めた。

試料採取にはミニターの切削歯（超硬スパイラルカッター、0.6～1.0㎜φ）を用い、錆量として約１～５㎎を採取した。歯先を試料毎に取り替えるなど試料相互の汚染が採取段階で起きないように注意した。

⑶-3　鉛分離と鉛同位体比測定

採取した錆試料を石英製のビーカーに入れ、濃硝酸を0.1ml程度加えて溶解した。この溶液を水で５ml程度に希釈し、白金電極を用いて直流２Ｖで約１日間、電気分解した。二酸化鉛として陽極に集まった鉛を硝酸0.05mlと過酸化水素水0.05mlで溶解し、水で５ml程度に希釈して原試料溶液として保存した。

分離精製した鉛の同位体比を測定するために、ICP質量分析計を用いた。本測定では測定機器を安定させるために鉛濃度が「0.2μg鉛／１ｇ溶液」の一定濃度溶液を２mlほど必要とする。そこで原試料溶液の鉛濃度を測定し、その一部を適宜希釈し、同位体比測定用の溶液を３～10ml用意した。

鉛同位体比測定のために利用したICP質量分析計は高知大学海洋コア総合研究センターに所属しているサーモエレクトロン社製二重収束型多重検出器付誘導結合プラズマ質量分析計（通称名 ネプチューン）である。なおこの機器の精度や再現性に関する詳細な記載は省略する。実験に先立ち、鉛同位体比を測定するに足るだけの充分安定した状態であることを確認した。また随時、NBS-981標準鉛溶液を測定し、機器の安定性を確かめた。またこの値を用いて測定値を補正した。

⑷　鉛同位体比値の結果と考察

検討する資料数は15個体であったが、同一資料から２つの試料を採取した場合があり、また破片となった部分に関しても、幾つかの測定を進めた。それ故、全測定試料数は24となった。測定された鉛同位体比値を表81で示し、これら値を次の手順で考察した。

１）同一試料の測定値の検討
２）甕棺SJ13112に埋納された銅釧
３）鉛同位体比が示す産地と時代
４）甕棺SJ13134とSJ13112から出土した銅釧
５）今までに得られている銅釧資料との比較

⑷-1　同一試料の測定値の検討

甕棺SJ13134に埋納された銅釧12資料のなかで、いくつかの破片資料に関して、典型的な表面（外側）とその表面下（内側）から試料を採取できた。これら試料を用いて表面錆が他の試料からどれだけ影響を受けているかを調べた。利用できた資料は資料番号10（内側：測定番号10、外側：10-2）と資料番号12（内側：測定番号12、外側：12-2）という２試料であり、内側と外側の錆の鉛同位体比を測定した。それらの値は表１に示されている。

外部から混入する鉛は外表面に多く、内側には少ないと仮定し、得られた値の中でとりあえず内側試料の同位体比値（測定番号10と12）を基準として考えた。表81の数値から判断して、資料番号10の内側（測定番号10）と外側（測定番号10-2）の値は誤差範囲内で一致しているので、外側の値でも外部からの鉛の混入という影響は少ないと判断した。資料番号12の内側（測定番号12）と外側（測定番号12-2）では誤差をこえた若干の違いが認められた。ここで資料番号10の内側の値と、資料番号12の内側の値が殆ど同一であることから、両銅釧は同一材料で作られている可能性が高い。それ故、内側が示す鉛同位体比は本来の値であると仮定できる。銅釧の表面（外側）に他の銅釧から鉛の汚染があった場合、表面（外側）部分の方へ影響が大きく現れるはずである。それ故、内側が示す鉛同位体比から判断する限り、外側の試料が他資料から影響を受けたと考える方が考えやすい。しかしながら、その汚染を受けて変化した数値は今回のケースではそれほど大きくはないので、気をつけて試料採取すれば、判断を誤るほどではないと推定される。それ故、いくらかの汚染があったとしても、内側の試料を重点的に測定すれば、本質的には資料本体の鉛同位体比として利用できそうである。

結果として、資料番号10と12に関しては内側から採取した試料（測定番号10と12）の同位体比をこれら資料の代表値として利用できると判断した。また、その他の試料も表面の錆を取り外した内側試料を測定しているので、銅釧資料の鉛同位体比として十分に利用できると判断した。この場合、資料番号10と12の銅釧の鉛同位体比値が殆ど同一の値を示していることから、これら二つの資料に関しては鋳造時に同一の溶融青銅材料が利用された可能性を強く示唆する。

⑷-2　甕棺13112に埋納された銅釧

甕棺SJ13112から出土した３個体と推定される銅釧は写真2-1、2-2で示されるように、約20の破片となって出土した。見た目では錆化がかなり進んでおり、破片の切断面、色や太さなどからいくつかは接合できる部分はあるが、本質的には全部を再構成することは不可能に近く、どの破片とどの破片が同一銅釧を構成するのかよく判らない部分もあった。

これら資料は発掘時の重なり具合と後の錆や破面状況から考古学的な判断あるいは修復技術の観点から、上、中、下がそれぞれ１個の釧を構成し、合計３個の銅釧であると判断された。上・中・下と３つに分類された銅釧に関して鉛同位体比的に矛盾がないかどうかを検証するために、上（破片番号：上Ａ、上Ｂ、上Ｃ、上Ｄ）、中（中Ａ、中Ｂ、中Ｃ）、下（下Ａ、下Ｂ、下Ｃ）の10試料を選び、鉛同位体比を測定した。

測定された鉛同位体比値は表１の測定番号13～22までの10試料であり、図343（$^{207}Pb/^{206}Pb$-$^{208}Pb/^{206}Pb$）（Ａ式図と仮称）と図344（$^{206}Pb/^{204}Pb$-$^{207}Pb/^{204}Pb$）（Ｂ式図と仮称）にプロットした。（資料の分類は京都科学で撮影した修復用の写真によった）

銅釧の鉛同位体比値を検討する前に鋳造過程を次のように考えた。すなわち、銅釧を鋳造する際に、材料となる銅・スズ・鉛を混合する．あるいは混合された青銅材料を再溶解する。そして銅釧の鋳型に流し込む。この鋳造過程において化学組成は冷却時に、葉脈構造をとるなどの現象で場所によって編析

する可能性がある。しかしながら鉛の同位体比は一度混合すればどの部分をとっても一定であると考えることができる。それ故、鉛同位体比値が同じであれば、同一釧の破片と判断できる。ただし、同一材料でいくつかの銅釧が作られていれば、その個数すべてが同一の同位体比を示すこととなる。

これらの図から判断すると、第１グループ（□）（G1と表現）が（上Ｃ）、（上Ｄ）試料、第２グループ（△）（G2と表現）が（上Ａ）、（上Ｂ）、（中Ａ）、（下Ｂ）試料、第３グループ（○）（G3と表現）が（中Ｂ）、（中Ｃ）、（下Ａ）、（下Ｃ）試料で構成されると判断できる。ここで、図中の「上Ｂ」試料が一つのグループを形成するか、第２グループに属するかは少し考える必要がある。今までの経験から判断すると、１）「上Ｂ」試料は１個で一つのグループを構成しているとは考えにくい。なぜなら、もう一つの独立した銅釧があれば、もっと多くの破片が重なって見つかっても良いはずである。２）「上Ｂ」試料は中央に位置する第２グループの値にかなり近いため、この試料が第２グループに含まれる可能性を示唆している。３）図343と344において、第２グループと第３グループとを結ぶ直線上に「上Ｂ」試料が位置していることから、第３グループの汚染を受けていると考えられる。などの理由で第２グループに属する可能性が高い。

以上のように考古学や修復技術上の観点から推定されたグループと鉛同位体比的に判断したグループとに違いが見えるようなので、これらを以下のように個々に検討してみた。

鉛同位体比用試料の採取位置は写真2-1で示されているように、右上からＡ、右下がＢ、左上がＣ、左下がＤ試料である。鉛同位体比測定の結果から、（上Ａ）と（上Ｂ）試料が第２グループ（△）、（上Ｃ）と（上Ｄ）試料は第１グループ（□）を構成した。このことは「上」資料というまとまりの中に、小さな破片となっていくつかのグループの断片が混じっていることを示唆する。それ故、残りの破片の鉛同位体比を測定できればそれぞれの帰属が決まるはずである。

「中」資料は写真２-１の（下）写真で示される。採取した試料は（中Ａ）（中Ｂ）と（中Ｃ）である。これらは図343と344から、（中Ａ）試料が第２グループ（△）、（中Ｂ）と（中Ｃ）試料が第３グループ（○）に含まれた。（中Ａ）試料は両隣の破片と錆の色や破面状態からお互いが連なった試料であると推定される。それ故、（中Ａ）試料と（中Ｂ）試料とは異なった銅釧である可能性を示唆する。正しい組み合わせを見つけるために接合面を再調査することが必要である。

「下」資料に関しては写真２-２で示されるように、３試料［下Ａ、下Ｂ、下Ｃ］の鉛同位体比を測定した。その結果、（下Ａ）と（下Ｃ）試料は第３グループ（○）に含まれ、（下Ｂ）試料は第２グループ（△）に含まれることがわかった。この場合に、各部分がどのように接合するのかは修復の問題として重要である。

上述のように接着にはまだ問題が残るが、甕棺SJ13112から出土した銅釧は３個体である可能性が高い。そこで、これらグループの代表として「第1グループ；G1」として測定番号No.18（資料番号、上Ｄ）、「第２グループ；G2」として測定番号No.21、「第３グループ；G3」として測定番号No.22をそれぞれの代表として示すことができる。これら３資料とSJ-13134-1～12までの12資料を加えると鉛同位体比値を整理できる。ここで示された15資料に関して、鉛同位体比図を図345と図346にプロットし、銅釧相互の関係を次のように解析した。

⑷-3　鉛同位体比が示す産地と時代

図345は鉛同位体比のなかで縦軸に208Pb／206Pbを、横軸に207Pb／206Pbをとり、得られた銅釧の鉛同位体比値をプロットした（この図をＡ式図と仮称する）。この図の中に鉛同位体比に関して今までに得られている産地に関する結果を模式的に表わした(*3-7)。日本の弥生時代に相当する頃の東アジア地

域において、Ａは中国前漢鏡が主として分布する領域で、後の結果から中国華北産の鉛と推定される。Ｂは中国後漢鏡および三国時代の銅鏡が分布する領域で、華南産の鉛がこの領域に含まれる。Ｃは現代日本産の鉛鉱石が示す領域である。またＤは朝鮮半島産の多鈕細文鏡が分布する領域として示される。図346は縦軸に$^{207}Pb/^{204}Pb$、横軸に$^{206}Pb/^{204}Pb$を採用した（Ｂ式図と仮称する）。この中でＡ’、Ｂ’、Ｃ’、Ｄ’はそれぞれＡ式図の中国華北、華南、日本、朝鮮半島に相当する。

弥生時代資料の鉛同位体比値をこの図の中にプロットすると、弥生時代になって初めて青銅器が利用され始めた頃（弥生時代中期前葉頃）の資料、例えば細形銅矛や細形銅戈などには朝鮮半島産材料が利用されていた。その後弥生時代中期後半になると中国華北産の材料が利用されるようになり、同時に朝鮮半島産の材料は消滅する。その後、弥生時代後期になって、華北産材料の中でも、同位体比値がかなり一定した材料に変化した。このように今までの資料によって、鉛同位体比が弥生時代の中でも時代のより細かい分類で、産地に変化があると理解されている。

中原遺跡から出土した資料が持つ意義や材料産地を理解するために、これらの図の中に銅釧の鉛同位体比値を（□）（甕棺SJ13134）と（○）（甕棺SJ13112）で示した。

⑷-4　甕棺SJ13134とSJ13112から出土した銅釧

中原遺跡から出土した銅釧が示す鉛同位体比の分布（図345と346）には下記のような特徴が見られる。

１）すべての資料は朝鮮半島産の鉛材料領域に分布した。

資料の鉛同位体比は朝鮮半島領域に分布し、華北産材料領域には拡がらなかった。このことはこれら資料が弥生時代の前期末あるいは中期前葉の資料と類似した材料であることを示唆する。発掘現場で出土する土器や甕棺の形式から推定された考古学的な年代観は弥生時代中期前葉から中葉とされており、時代観に違いはない。

２）すべての資料は同一の値ではなく、規則性を持ってばらついた。

資料の中には測定番号10と12のようにほぼ同一の値を示し、同一鋳造の可能性を示唆する場合もあった。しかし、図345のＡ式図で示されるように朝鮮半島産材料ではあるが、横軸（207Pb／206Pb）方向にかなり広く拡がった。また、縦軸（$^{208}Pb/^{206}Pb$）上下方向にもばらついて拡がっているように見える。図346のＢ式図では全資料がほとんど１本の直線上に載っているかのようである。それ故、図345を使ったほうが資料の違いをより明らかにできることから、図345に補助線を加えて資料の分布を図347として解析した。

測定番号「４」と「G1」を結ぶ線‘p’上に全５点（４、１、G3、G2、G1）が並んだ。また「４」と「２」を結ぶ直線‘q’上に全６点（測定番号４、11、５、６、７、２）が並んだ。直線上にいくつもの資料が並ぶことは単なる偶然とは考えにくく、それなりの理由があると推定される。そこで推測される内容として、２種の鉛が混合されれば同位体比はその混合割合で直線上に並ぶので、「４」と「G1」（あるいはその延長線上の点）という鉛同位体比を持つ材料があり、これらを適当に混合して‘p’線上の幾つかの資料を作ったと考えられる。また「４」と「２」（あるいはその延長線上の点）という材料があり、これらを適当に混合して‘q’線上の資料を作ったと考えることができる。ここで「４」ではなく、本来は「３」の可能性があるが、この図の中では資料「３」を用いると各点が線上に載らないので、ここでは取りあえず「４」を基準とする。さらに、測定番号「８」「９」「10」「12」という中間に位置する資料がある。これらはそれぞれ独立の材料を利用したと考えてもよいが、「５」と「G1」の混合、あるいは「６」と「G2」の混合で中間の材料を作ることができる。これらの資料が混合という操作で作られたとすれば、３種類の材料（「２」、「４」、「G1」）を用いてすべての銅釧を作ることができる。

ここで測定番号「５」「６」あるいは「G2」という材料は最初に「２」と「４」、「４」と「G1」を混合すれば作ることができる。この時、溶融した材料（「５」、「６」、「G2」）が多く作られたとか、ふきこぼれた部分が大量にあったとすれば、当然もう一度これらを使って鋳造し直したと考えることもできる。その場合が「８」「９」「10」「12」のケースかもしれない。

３）甕棺SJ13134とSJ13112とには時代差があり、前者が弥生時代中期前葉、後者が中期中葉と考古学的に推測されている。甕棺SJ13112からの測定番号「G1、G2、G3」は甕棺SJ13134からの銅釧分布と比べて右上方向にまとまっており、少々異なった分布と見ることができるかもしれない。それ故、甕棺毎に材料の違いが若干あるとも言える。しかしながら今回の結果では本質的な差は見えず、むしろ類似した材料が用いられている可能性が高い。

⑷-5　今までに得られている銅釧資料との比較

銅釧の形は時代や地域を特徴づけている。今回の資料のように殆ど装飾が無く、断面が丸い青銅の環となっている銅釧は、青銅が利用されるようになって早い時期の九州北部地域に特徴的であるという。この形によく似た資料として、佐賀県の牟田辺遺跡（*8）から出土した４本の銅釧があり、鉛同位体比が測定されている。また、東京国立博物館に所蔵されている福岡県石崎小路遺跡（*9）から出土したとされる銅釧破片がある。また、時代が下った弥生時代後期の遺跡である長崎県の対馬豊玉町の佐保遺跡にも類似した資料が出土しており（*10）、鉛同位体比が測定されている。そこでこれら資料の鉛同位体比値を表82で示し、鉛同位体比値を中原遺跡の値と共に図348と349で示した。図348はＡ式図であり、図349はＢ式図である。なお、３つの遺跡の位置関係を図８で示した。

図348のＡ式図で鉛同位体比分布を調べてみると牟田辺遺跡出土の銅釧と二条町石崎の銅釧とは中原遺跡出土銅釧の「４」と「Ｇ１」を結ぶ直線に載っているように見える。このことはこれら資料が関連した材料で作られている可能性を示唆する。そこで図349のＢ式図で調べてみると、牟田辺遺跡の銅釧は中原遺跡の銅釧とはっきり異なった線の上に載る。このことは中原遺跡の銅釧材料と牟田辺遺跡の銅釧材料が異なっていることを示唆する。牟田辺遺跡の４資料が中原遺跡の材料と異なっているといっても、一本の線上に載っているようであり、図349右上では中原遺跡の資料番号「４」あるいは「３」を通りそうである。このことは中原遺跡の資料番号「４」あるいは「３」の銅釧が牟田辺銅釧の銅釧を作っている材料の一つであり、もう一つ左下方向にある未知の材料がもう一つの材料で、これらが混合して用いられた可能性を示す。それ故、中原遺跡と牟田辺遺跡から出土した銅釧は違っているといっても、ひとつの材料は同じであった可能性を含む。それ故、両遺跡は何らかの意味で交流があったとも推測される。

石崎小路遺跡の銅釧は図348と349の中で中原遺跡出土の甕棺SJ 13112出土銅釧と類似した線上に載っている。それ故、この銅釧は中原遺跡出土の銅釧と類似した材料でできている可能性がある。このことから、石崎小路遺跡は中原遺跡の甕棺SJ 13112と類似した時代（直接的には弥生時代中期中葉）、あるいは製品の交流という意味で関連がでてくるかもしれない。

牟田辺遺跡、石崎小路遺跡は図350で示されるように中原遺跡とそれほど遠い位置にあるわけではないので、地理的に考えても交流していたことにそれほど矛盾はない。

長崎県下県郡豊玉町佐保（対馬）出土の銅釧は中原遺跡出土資料と外見的にはよく似ている。しかし図348と349で示されるように佐保出土資料は中原遺跡、牟田辺遺跡出土の銅釧とは鉛同位体比が大きく異なったところに位置した。また、混合関係で示されるような直線関係も示されていない。それ故、材料的には佐保資料はその他の資料と関係があるとは言いにくい。また、一般論として、佐保の銅釧が示

す領域には弥生時代資料はほとんど分布しない。あるとすれば遼寧・山東半島領域の材料の可能性がある。それ故、中原遺跡などが示す朝鮮半島産材料とは本質的に異なっているとも推定される。考古学的には弥生時代後期の遺物と共存していたとされる故、時代的にも弥生時代中期の中原・その他の資料と異なっていたとしても当然かもしれない。

引用文献

⑴ 平尾良光：鉛同位体比を用いた産地推定；「考古学と自然科学４　考古学と年代測定学・地球科学」松浦秀治・上杉陽・藁科哲男編（同成社）,314-349(1999)

⑵ 平尾良光・馬淵久夫：表面電離型固体質量分析計 VG-Sector の規格化について；保存科学 28, 17-24(1989)

⑶ 馬淵久夫・平尾良光：鉛同位体比法による漢式鏡の研究；MUSEUM No.370, 4-10(1982)

⑷ 馬淵久夫・平尾良光：鉛同位体比から見た銅鐸の原料；考古学雑誌68,42-62(1982)

⑸ 馬淵久夫・平尾良光：鉛同位体比法による漢式鏡の研究(二)；MUSEUM No.382,16-26(1983)

⑹ 馬淵久夫・平尾良光：東アジア鉛鉱石の鉛同位体比－青銅器との関連を中心に－；考古学雑誌73-2,71-82(1987)

⑺ 平尾良光・鈴木浩子：弥生時代青銅器と鉛同位体比；「古代青銅の流通と鋳造」平尾良光編（鶴山堂）,163-208(1999)

⑻ 佐賀県多久市南多久町牟田辺遺跡。この遺跡は唐津市の中原遺跡から南へ約20kmの距離にある。遺跡から円環型銅釧が出土した。これら銅釧の数に関して考古学的に５個体と推定されたが、鉛同位体比的には４個体分であった。この測定結果は2002年に多久市教育委員会に報告済み。

⑼ 福岡県糸島郡二条町石崎小路遺跡出土。東京国立博物館に所蔵。資料を写真４で示す。発掘された銅釧資料は細かい破片となっている。遺跡の詳細な説明は下記に報告されている。中原遺跡、牟田辺遺跡、石崎小路遺跡はお互いに約20kmほど離れているが、一つの文化圏内と言えよう。原田大六：福岡県石ヶ崎の史跡墓を含む原始墓地；考古学雑誌 38, 253-285(1953)。
鉛同位体比は下記の論文から引用。井上洋一・松浦宥一郎・平尾良光・早川泰弘・榎本淳子・鈴木浩子：東京国立博物館所蔵弥生時代青銅器の鉛同位体比；MUSEUM No.577,4-37（2002）

⑽ 長崎県下県郡豊玉町佐保遺跡出土銅釧。東京国立博物館に所蔵。資料を写真５で示す。資料は３つの断片からなっており、鉛同位体比は誤差範囲で一致している。
この遺跡の活動年代は弥生時代後期と考えられている。永留久恵：対馬・豊玉村佐保発見の馬鐸・巴形銅器調査報告；九州考古学 32, 2-7(1967)

表81　佐賀県中原遺跡から出土した銅釧全資料の鉛同位体比値

測定番号	資料番号	採取部位	$^{206}Pb/^{204}Pb$	$^{207}Pb/^{204}Pb$	$^{208}Pb/^{204}Pb$	$^{207}Pb/^{206}Pb$	$^{208}Pb/^{206}Pb$	質量分析番号
1	SJ-13134-1	内側	19.276	15.777	39.845	0.8185	2.0670	BP-039
2	SJ-13134-2	内側	18.678	15.673	38.732	0.8391	2.0737	BP-040
3	SJ-13134-3	内側	20.209	15.928	40.914	0.7882	2.0246	BP-041
4	SJ-13134-4	内側（上）	19.901	15.875	40.507	0.7977	2.0354	BP-042
5	SJ-13134-5	内側（下）	19.372	15.784	39.748	0.8148	2.0519	BP-044
6	SJ-13134-6（完形）	内側	18.908	15.706	39.043	0.8307	2.0649	BP-045
7	SJ-13134-7	内側	18.755	15.684	38.838	0.8363	2.0708	BP-046
8	SJ-13134-8（完形）	内側	18.958	15.720	39.368	0.8292	2.0766	BP-047
9	SJ-13134-9	内側	18.886	15.706	39.144	0.8316	2.0727	BP-048
10	SJ-13134-10（完形）	内側	18.883	15.709	39.298	0.8319	2.0811	BP-049
10-2	SJ-13134-10（完形）	外側	18.885	15.710	39.319	0.8319	2.0820	BP-050
11	SJ-13134-11	内側（中）	19.562	15.816	40.018	0.8085	2.0457	BP-043
12	SJ-13134-12（完形）	内側	18.882	15.709	39.307	0.8319	2.0817	BP-051
12-2	SJ-13134-12（完形）	外側	18.908	15.713	39.332	0.8310	2.0802	BP-052
13	SJ-13112（上）	A	18.862	15.721	39.427	0.8335	2.0903	BP-053
14	SJ-13112（上）	B	18.963	15.732	39.526	0.8296	2.0844	BP-054
15	SJ-13112（上）	C	18.079	15.575	38.590	0.8615	2.1345	BP-055
16	SJ-13112（上）	D(G1)	18.073	15.577	38.590	0.8618	2.1352	BP-056
17	SJ-13112（中）	A	18.857	15.719	39.418	0.8336	2.0903	BP-057
18	SJ-13112（中）	B	19.172	15.762	39.758	0.8221	2.0737	BP-058
19	SJ-13112（中）	C	19.188	15.765	39.779	0.8216	2.0731	BP-059
20	SJ-13112（下）	A	19.188	15.765	39.779	0.8216	2.0731	BP-060
21	SJ-13112（下）	B(G2)	18.843	15.715	39.389	0.8340	2.0904	BP-061
22	SJ-13112（下）	C(G3)	19.152	15.760	39.738	0.8229	2.0749	BP-062
	測定誤差（1 σ）		±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006	

（＊）SJ-13112銅釧の第１グループが示す鉛同位体比値（測定番号16；G1）、第２グループ（測定番号21；G2）、第３グループ（測定番号22；G3）

表82　佐賀県牟田辺遺跡および福岡県石崎小路から出土した銅釧の鉛同位体比

資料名	$^{206}Pb/^{204}Pb$	$^{207}Pb/^{204}Pb$	$^{208}Pb/^{204}Pb$	$^{207}Pb/^{206}Pb$	$^{208}Pb/^{206}Pb$	測定番号	出典
佐賀県多久市南多久町牟田辺遺跡出土							
銅釧１	18.057	15.619	38.703	0.8650	2.1434	HS1093	(8)
銅釧２	18.429	15.676	38.992	0.8506	2.1158	HS1094	(8)
銅釧３	18.921	15.740	39.505	0.8319	2.0879	HS1095	(8)
銅釧４	19.209	15.784	39.795	0.8217	2.0717	HS1096	(8)
福岡県糸島郡二丈町石崎小路出土							
銅釧	18.587	15.669	39.079	0.8430	2.1025	HS1045	(9)
長崎県下県郡豊玉町佐保遺跡出土							
銅釧　その３	17.728	15.601	38.285	0.8800	2.1596	HS1122	(9)
測定誤差（１σ）	±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006		

試料番号１：中原遺跡１

銅釧

遺物番号：SJ 13134-1

試料採取部分

試料採取部分拡大

①サンプリング中止箇所

②試料採取箇所（断面外側・内側）

写真1-1　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真１

試料番号２：中原遺跡２
銅釧
遺物番号：SJ 13134-2

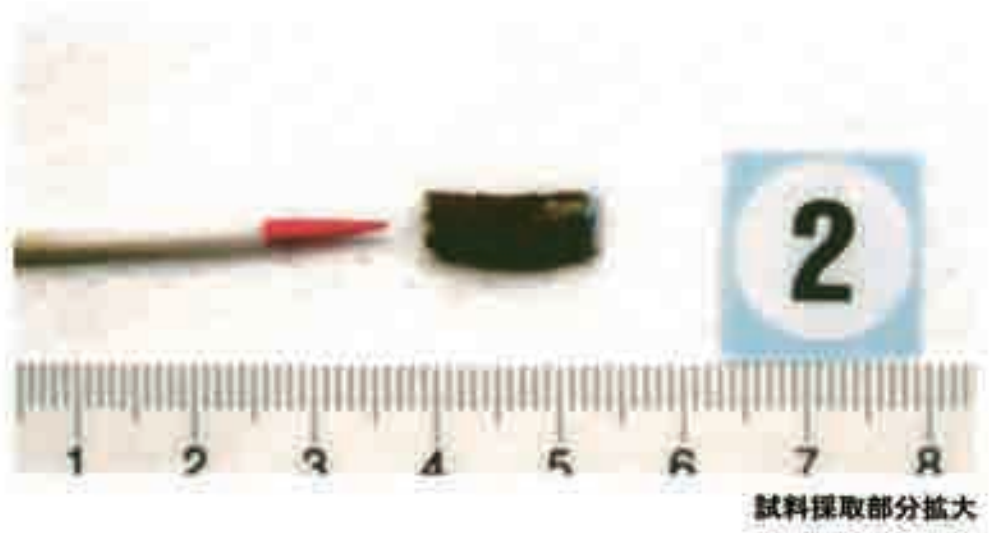


写真1-2　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真２

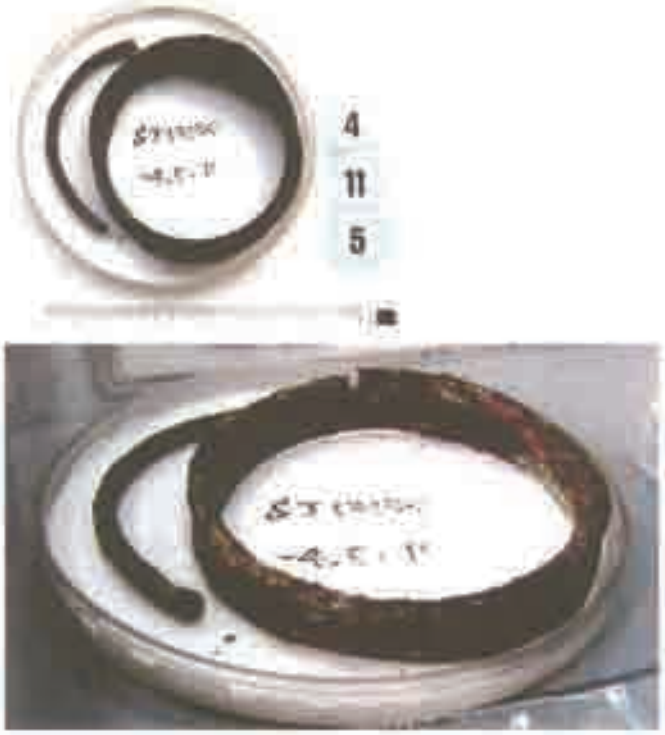
写真1-3　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真３

試料番号４・５・11

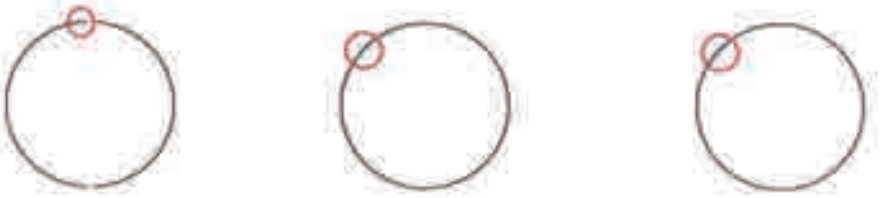
：中原遺跡４・５・11

銅釧

遺物番号：SJ 13134-4・5・11



上から順に４・11・５



４：試料採取部分　　11：試料採取部分　　５：試料採取部分

※４は半分に割れており、右半分が11・５と密着している

写真1-4　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真４

試料番号６：中原遺跡６
銅釧
遺物番号：SJ 13134-6

試料採取部分

試料採取部分拡大

写真1-5　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真５

試料番号７：中原遺跡７
銅釧
遺物番号：SJ 13134-7

試料採取部分

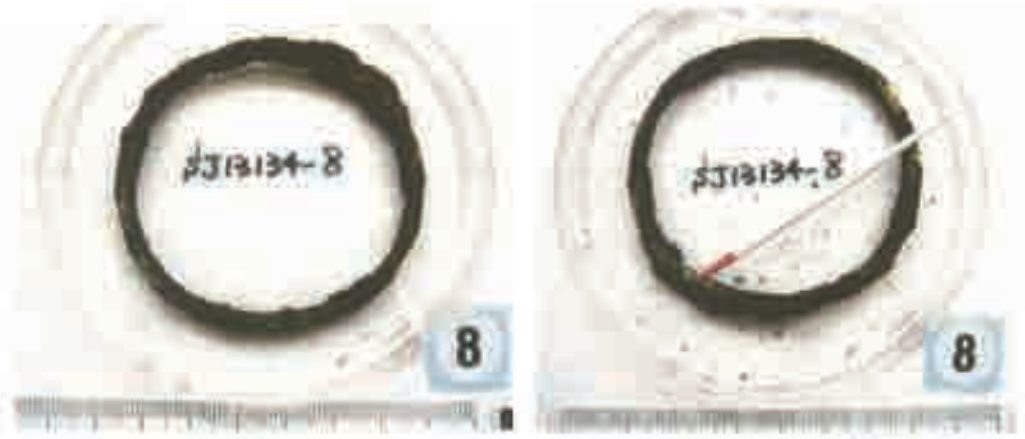
試料採取部分拡大

写真1-6　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真６

試料番号８：中原遺跡８

銅釧

遺物番号：SJ 13134-8



試料採取部分

試料採取部分拡大

写真1-7　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真７

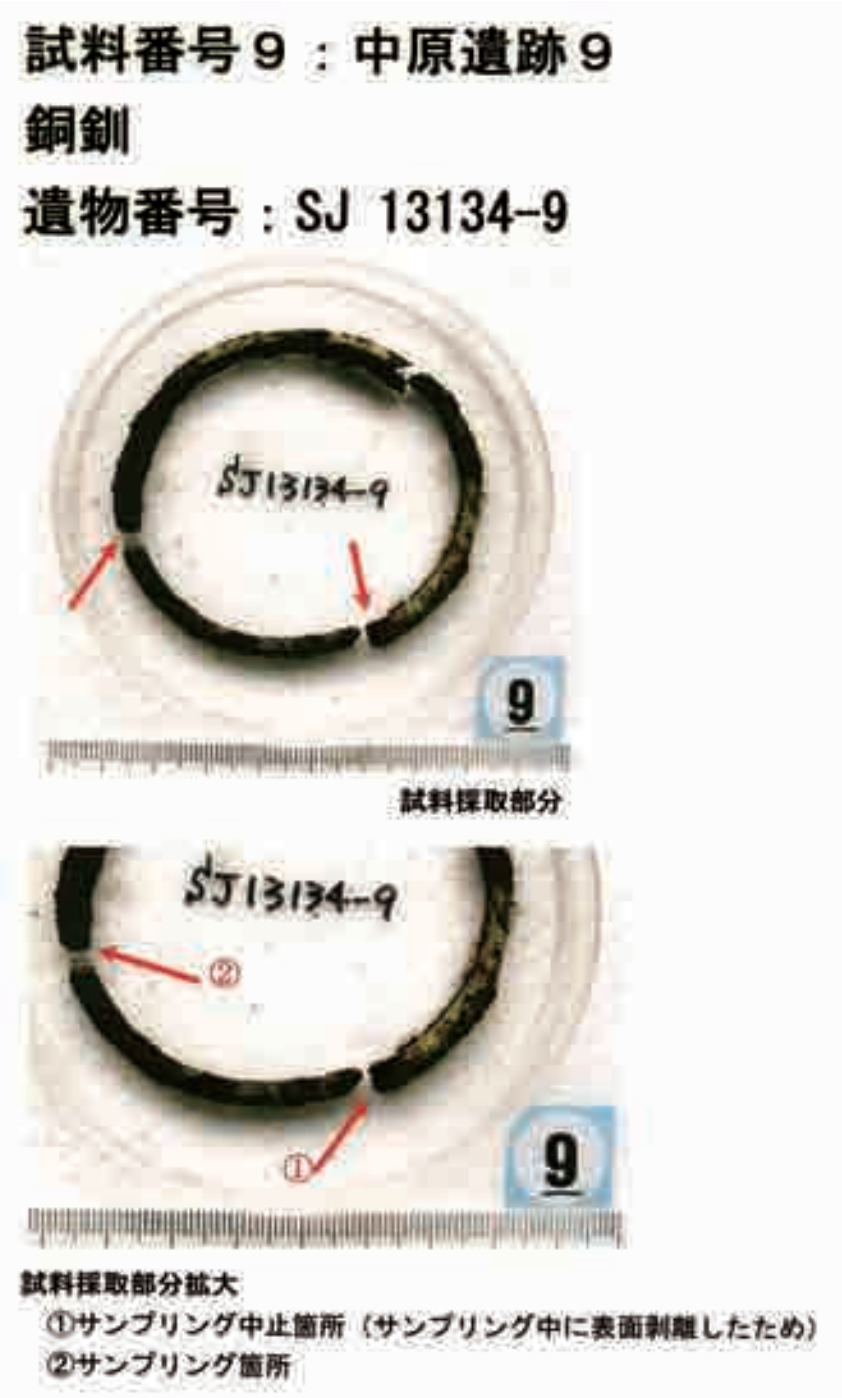
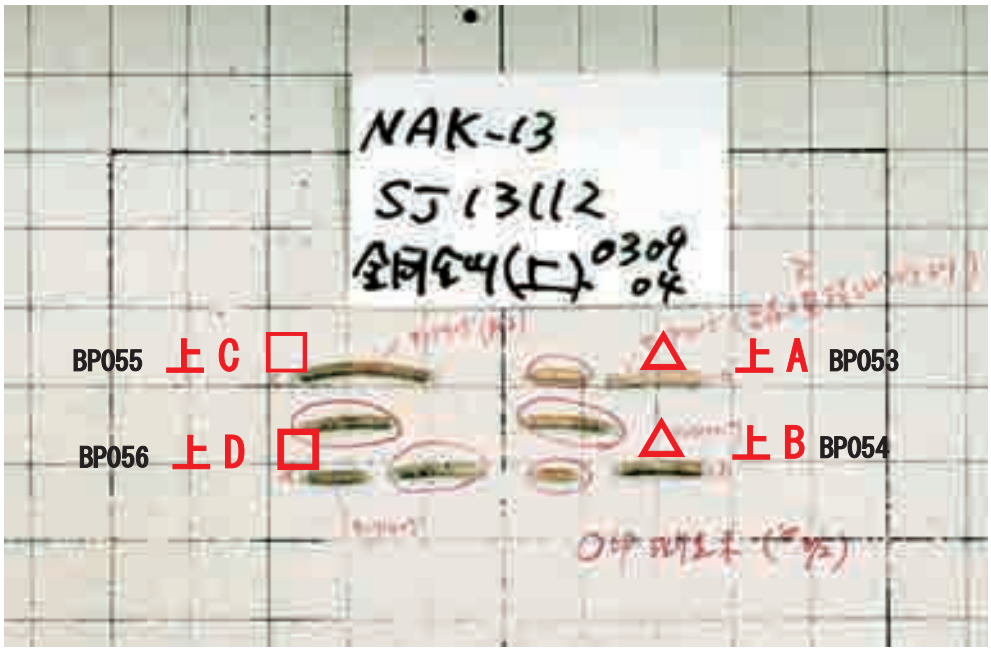


写真1-8　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真８

写真1-9　中原遺跡SJ13134甕棺出土銅釧写真９



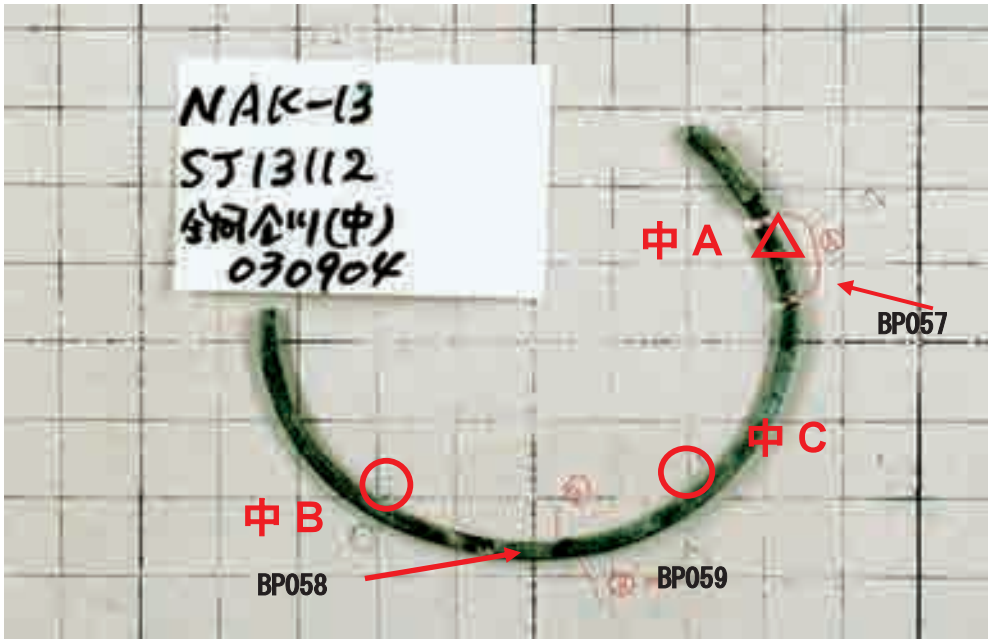


写真2-1　中原遺跡の甕棺SJ13112から出土した銅釧破片（上と中）

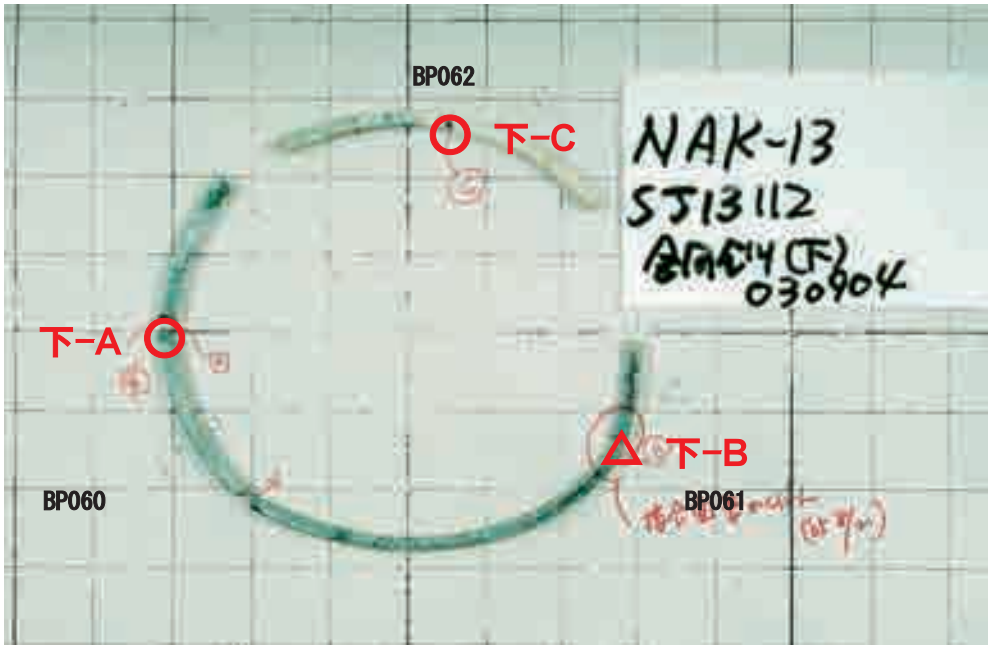


写真2-2　中原遺跡の甕棺SJ13112から出土した銅釧破片（下）

写真３　長崎県下県郡豊玉町佐保から出土した銅釧（東博資料番号38395）

写真４　福岡県糸島郡二条町石崎小路から出土した銅釧（東博資料番号36686）

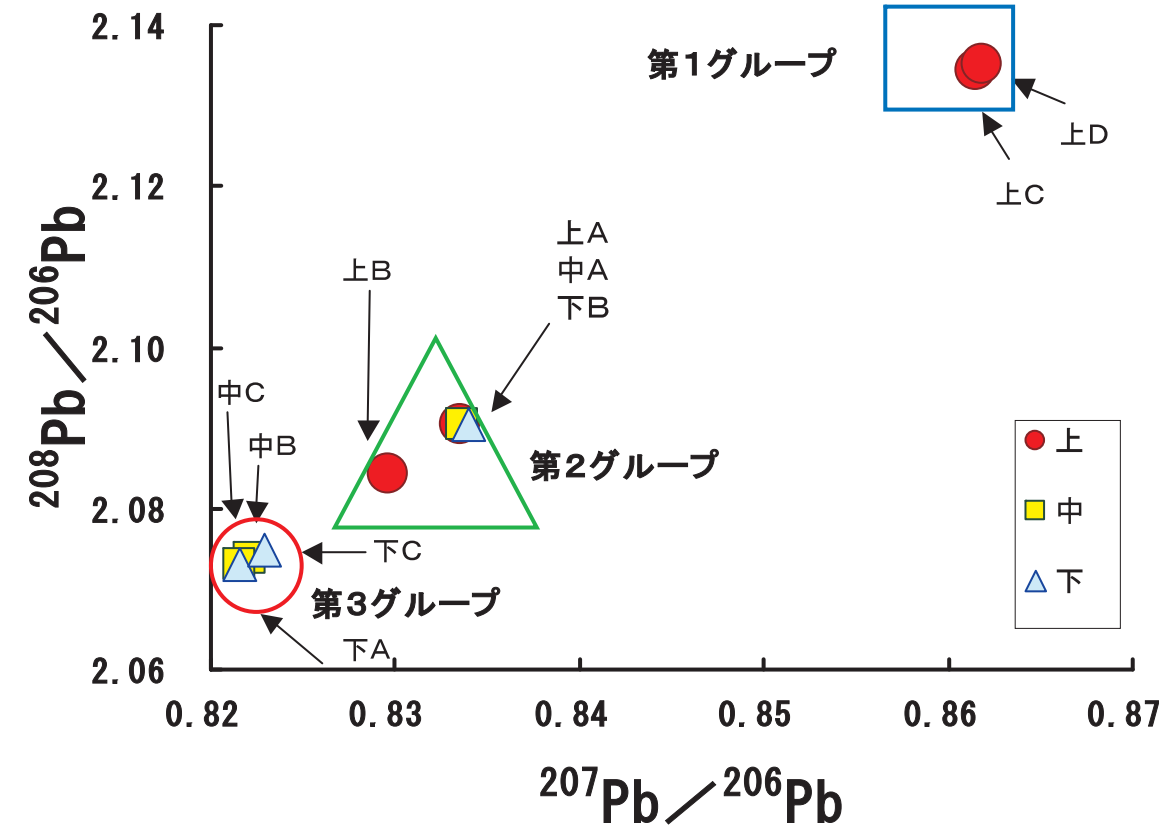


図343　中原遺跡出土甕棺SJ13112から出土した銅釧［上］［中］［下］試料：A式図

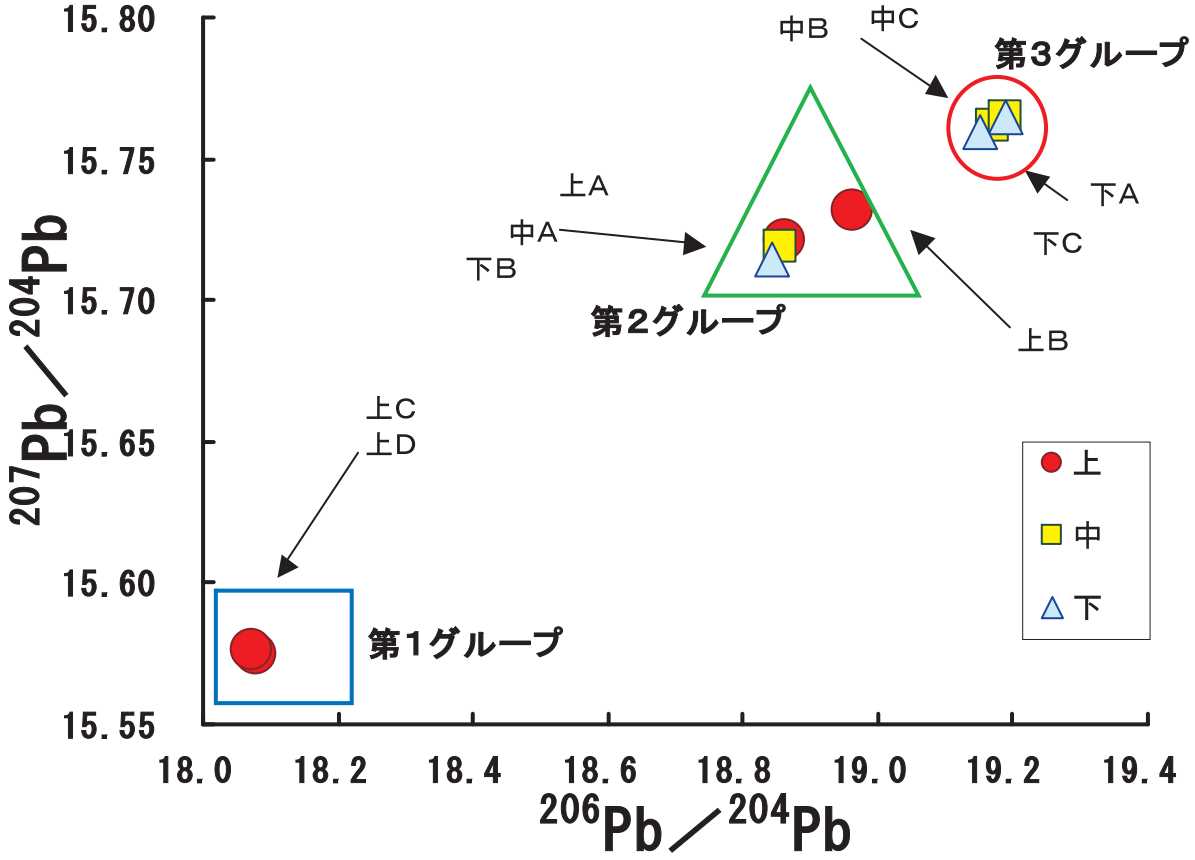


図344　中原遺跡出土甕棺SJ13112から出土した銅釧［上］［中］［下］試料：B式図

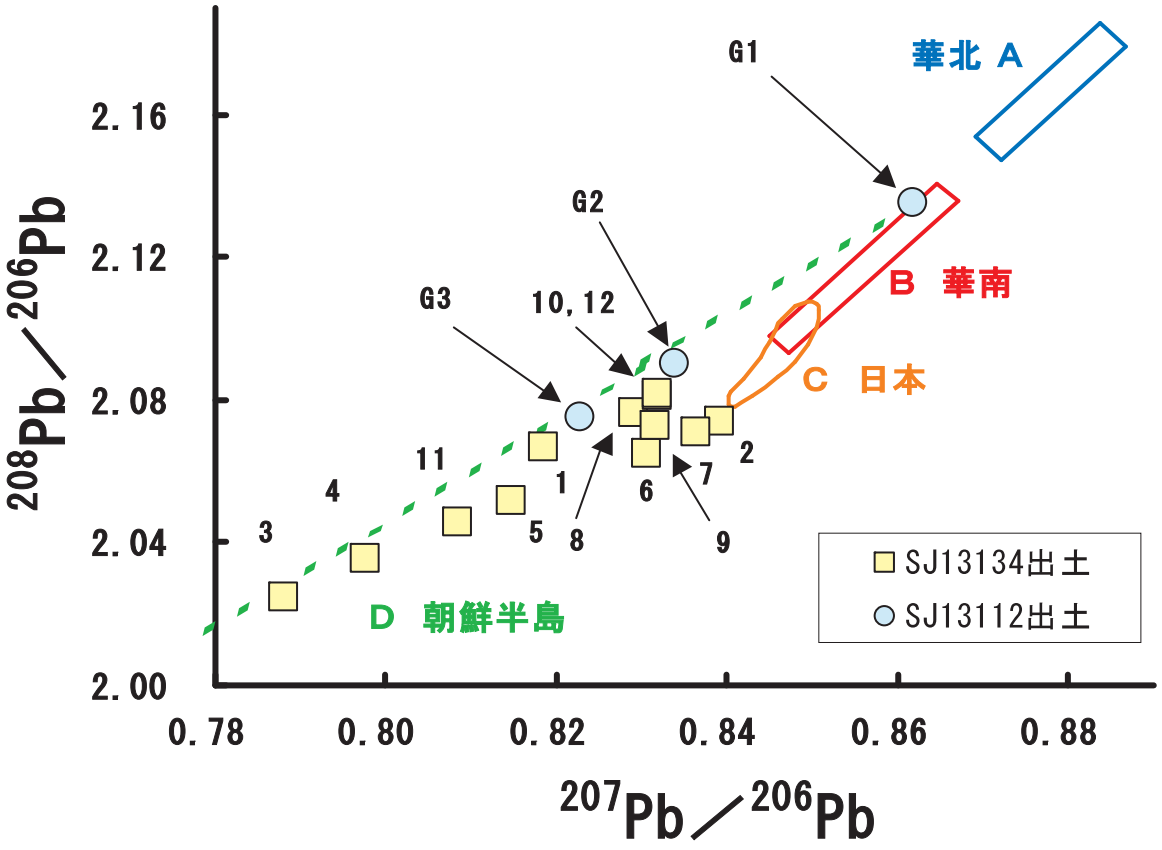


図345　中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比：A式図

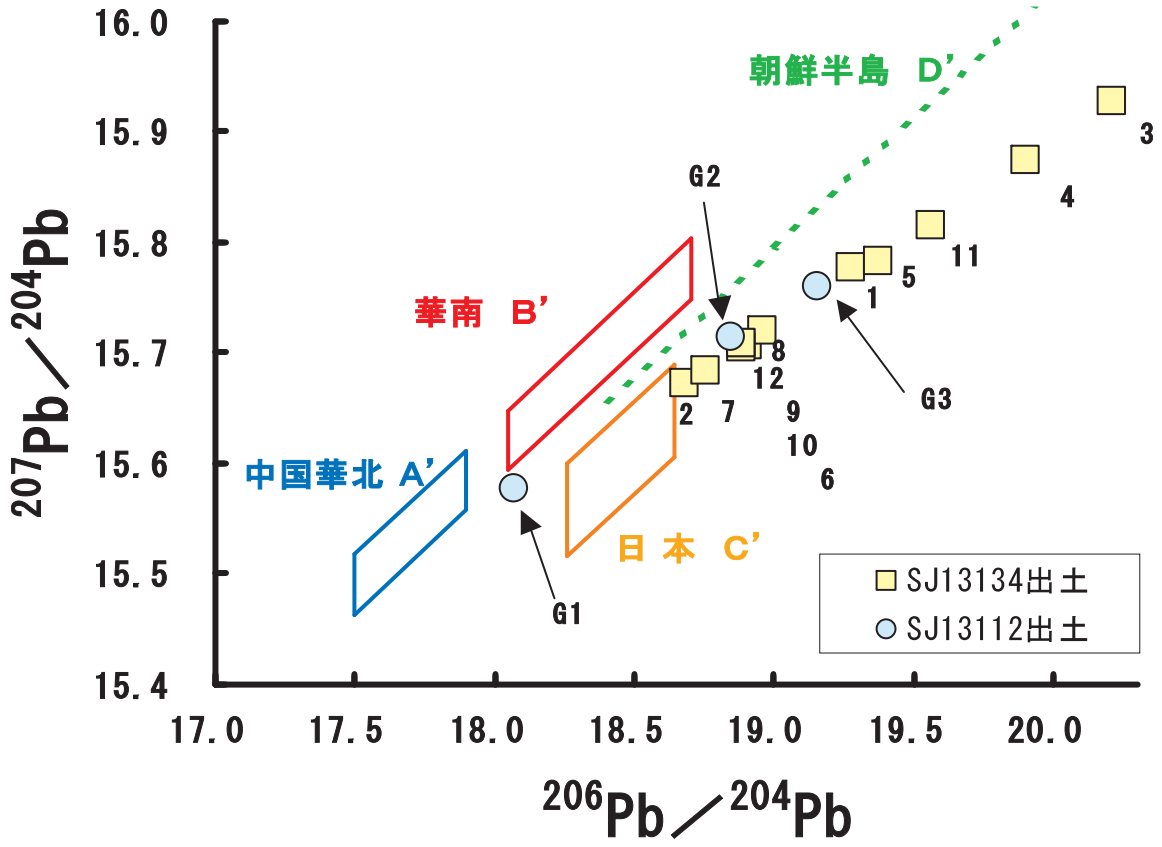


図346　中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比：B式図

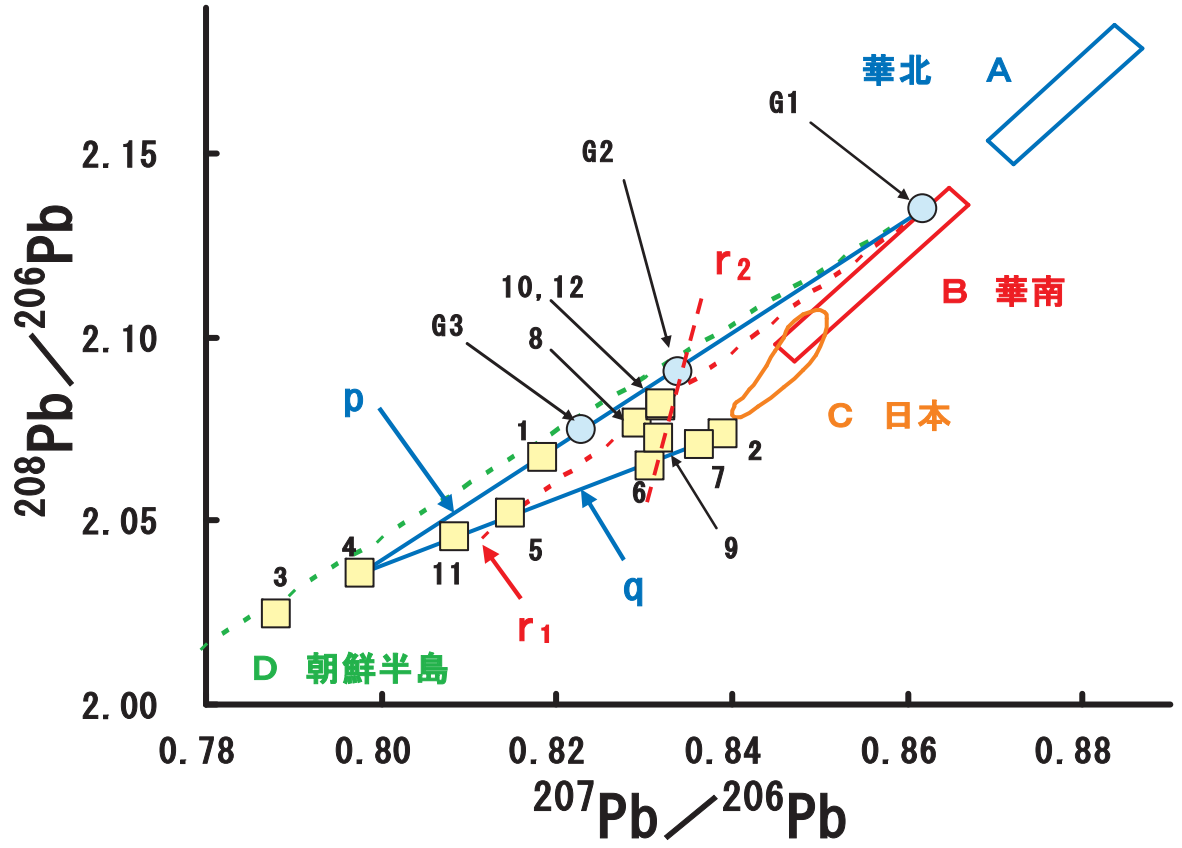


図347　中原遺跡出土銅釧の鉛同位体比分布の解析図

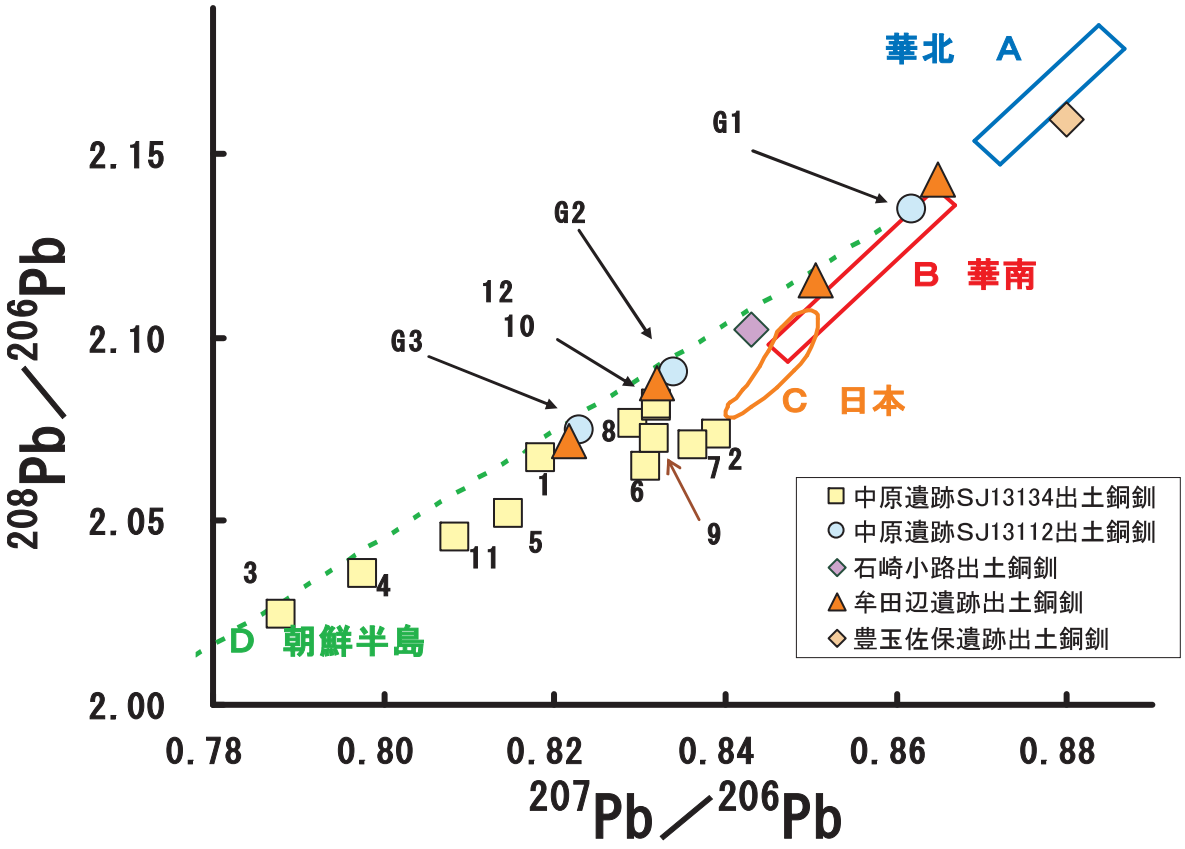


図348　その他遺跡から出土した銅釧の鉛同位体比解析図：A式図

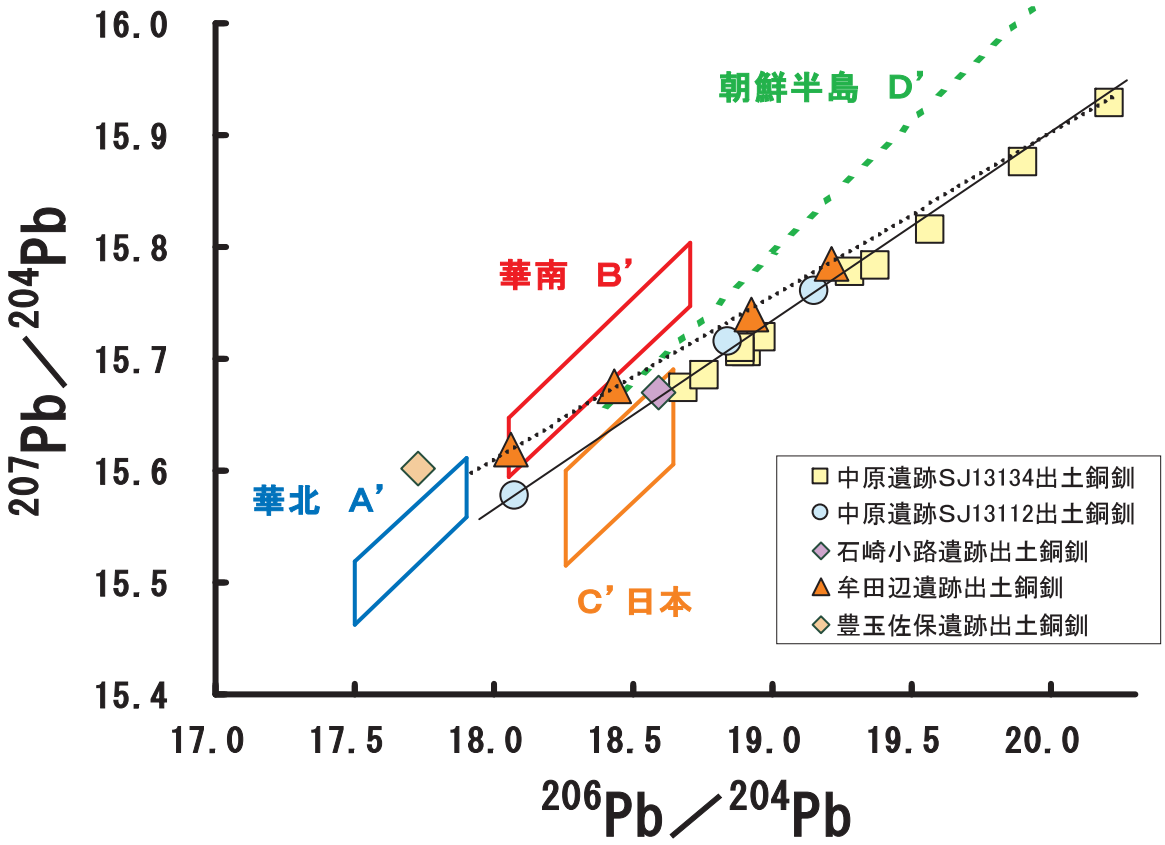


図349　その他遺跡から出土した銅釧の鉛同位体比解析図（B式図）

図350　中原遺跡、牟田辺遺跡、石崎小路佐保遺跡の位置関係

3，佐賀県唐津市中原遺跡11区及び13区出土の弥生時代人骨

分部哲秋*・佐伯和信*・岡本圭史*

⑴ はじめに

中原遺跡は、玄界灘に面した佐賀県の西北部、唐津市大字原字西丸田、西ノ畑、溜ノ内、笹原及び大字中原字中原に所在し、弥生時代から平安時代前期までの複合遺跡である。本遺跡は西九州自動車道の路線上に位置し、自動車道建設事業に伴い佐賀県教育委員会社会教育・文化財課により、平成11年（1999年）７月から同17年（2005年）９月にかけて発掘調査が行なわれた。１区～４区、８区、9-1区の調査については、『中原遺跡Ⅰ』に、６区及び７区の調査については、『中原遺跡Ⅱ』に、５区の調査については、『中原遺跡Ⅲ』に報告・掲載され、本報告書に掲載する11区及び13区では総数281基の甕棺墓が発掘され、それに伴い65基の棺内より65体の弥生時代人骨が検出された。

現在までの形質人類学的に見た九州での弥生時代人骨の分布は、大きく２系統に分けられており、すなわち、福岡平野から有明海に面する佐賀平野にかけて出土して骨形質の特徴により大陸からの渡来系と推測される北部九州型弥生人骨群と、天草灘から玄界灘に面する離島や海浜部の遺跡より出土して縄文人の継続と考えられている西北九州型弥生人骨群である。葬制的にも前者は大型甕棺を主とするのに対し、後者は土壙墓及び石棺墓を主としている。本遺跡は唐津市に所在し、同市の西域には縄文系の弥生時代人と評価されている弥生人骨を出土した呼子町大友遺跡が近接し、また、別項において詳述されているように甕棺を用いての埋葬形態にも特殊性が見られることから、弥生人骨の形質に興味がもたれるところである。遺存状態の悪い人骨も多いが、詳細な形質人類学的調査を実施したので、その結果について報告する。

⑵ 資料及び方法

中原遺跡11区及び13区から出土した人骨の遺存状態は表83、84に示しているが、11区からは４体、13区からは61体、総数65体が出土している。人骨の所属時代については、別項に述べられているように考古学的所見から弥生時代中期である。人骨の性別は、寛骨と頭蓋の形状を主とし、それらが欠損しているものは四肢長管骨の形態及び骨緻密質の厚さ等から総合的に同定した。年齢に関しては成人骨では縫合の閉鎖の度合いと歯の咬耗の程度、未成人骨では主として藤田（1965）による現代人の歯の萌出時期、金田（1957）による現代日本人の永久歯における歯根完成時期、分部（1990、1992、1992）による骨癒合年齢を参考に推定を行っている。また、未成人骨の年齢区分は、佐賀県大友遺跡出土の幼小児骨の報告（分部、1981）に準じた。

内訳は、表85に示すように成人骨が45体、未成人骨が２体、成人骨か未成人骨か不明のものが18体で、成人骨では16体が男性、10体が女性で、性別不明が19体である。全体的に骨の遺存状態が悪いために、成人骨か未成人骨か不明、成人骨でも性別を同定できない骨が多い。また、男性よりも女性が少ないこと、未成人骨が極端に少なくなっているのは、骨の幼弱性が遺存状態に影響しているものと考えられる。

本遺跡において発掘出土した甕棺墓には、別項に述べられているように福岡平野から佐賀平野にかけて出土する甕棺墓群とは異なる埋葬形態・形式が見られている。その１例として13区出土のSJ13295号甕棺が挙げられ、直立した胴部上半部を打ち欠いた甕に１体の人骨が埋葬されていた。人骨の性別及び年齢等について調査した結果、埋葬されていた人骨は小児ではなく、熟年～老年の男性で四肢骨も頑丈であった。また、葬法も座位で骨盤を下にして下肢を屈曲した姿勢で、かなり窮屈な状態で埋葬されたものであった。甕棺の大きさと被葬者の年齢や骨格の大きさは必ずしも一致しないことを知らされた例であった。

表83　中原遺跡11区、13区出土人骨資料(1)（所属時代：弥生中期）

番号	区名	遺構番号	性別	年　齢	遺存状態					備　考
					頭　蓋			四肢骨		
					脳頭蓋	顔面頭蓋	下顎骨	上肢骨	下肢骨	
1	11区	SJ11247	男性	不明(成人)				△	△	
2	11区	SJ11275	不明	不明(成人)				▲		
3	11区	SJ11286	不明	不明(成人)	▲					
4	11区	SJ11290	男性	不明(成人)				△		
5	13区	SJ13001	不明	不明(成人)					▲	
6	13区	SJ13006	不明	未成人		▲	▲			小児後半～青年
7	13区	SJ13014	不明	不明(成人)					△	
8	13区	SJ13015	不明	不明(不明)				▲？	▲？	小骨片
9	13区	SJ13060	男性	壮～熟年	◎	▲	▲	△		
10	13区	SJ13061	不明	不明(成人)	○					
11	13区	SJ13068	男性	熟年	▲		▲	△	△	
12	13区	SJ13073	男性	熟年	○	△		○	○	
13	13区	SJ13074	不明	不明(成人)				▲		中手骨
14	13区	SJ13097	不明	不明(成人)				▲		指骨
15	13区	SJ13099	男性	不明(成人)				△	△	
16	13区	SJ13109	男性	不明(成人)				△	△	
17	13区	SJ13116	不明	壮～塾年		▲(歯)		▲	▲	歯及び小骨片
18	13区	SJ13119	女性	不明(成人)					△	
19	13区	SJ13127	不明	不明(不明)					▲	小骨片
20	13区	SJ13134	女性	不明(成人)				△	△	
21	13区	SJ13141	男性	壮年	△	▲	▲		△	歯残存
22	13区	SJ13144	不明	不明(不明)	▲					
23	13区	SJ13148	不明	不明(成人)		▲			▲	歯及び大腿骨片
24	13区	SJ13182	不明	不明(成人)					▲	大腿骨片
25	13区	SJ13205	不明	未成人(不明)		▲				歯のみ残存
26	13区	SJ13206	不明	不明(成人)					△	
27	13区	SJ13210	不明	不明(不明)				▲？	▲？	微細骨片(少量)
28	13区	SJ13213	女性	壮年	△		◎	◎	◎	
29	13区	SJ13220	不明	不明(不明)					▲	大腿骨片
30	13区	SJ13224	不明	不明(不明)				▲	▲	骨片
31	13区	SJ13235	不明	不明(不明)			▲(歯)			歯１点のみ
32	13区	SJ13238	男性	熟年			▲(歯)		△	
33	13区	SJ13242	男性	不明(成人)				△	○	
34	13区	SJ13247	不明	不明(不明)					▲	小骨片
35	13区	SJ13253	男性	壮年	○	△			▲	
36	13区	SJ13254	不明	熟～老年		▲(歯)			▲	歯及び骨片
37	13区	SJ13256	不明	不明(不明)				▲	▲	骨片
38	13区	SJ13257	不明	不明(不明)		▲(歯)				歯及び骨片
39	13区	SJ13261	男性	熟年		▲(歯)	△	△	△	歯の磨耗強
40	13区	SJ13263	女性	壮年	△	△	△	△	○	
41	13区	SJ13264	女性	熟年	○				△	

表84　中原遺跡11区、13区出土人骨資料(2)（所属時代：弥生中期）

番号	区名	遺構番号	性別	年　齢	遺存状態					備　考
					頭　蓋			四肢骨		
					脳頭蓋	顔面頭蓋	下顎骨	上肢骨	下肢骨	
42	13区	SJ13266	女性	熟年～老年	△	△	○	○	◎	
43	13区	SJ13268	男性	熟年	○				○	
44	13区	SJ13270	不明	不明(成人)		▲	▲		△	歯の破片、腓骨
45	13区	SJ13271	不明	不明(不明)				▲	▲	骨片
46	13区	SJ13273	男性	不明(成人)	△				○	
47	13区	SJ13277	不明	不明(成人)					△	
48	13区	SJ13278	女性	不明(成人)			▲(歯)		◎	
49	13区	SJ13281	不明	不明(不明)	▲					小骨片
50	13区	SJ13283	女性	不明(成人)	△				△	指骨
51	13区	SJ13291	不明	不明(不明)				▲	▲	小骨片
52	13区	SJ13295	男性	熟年～老年	◎	◎	◎	◎	◎	
53	13区	SJ13299	不明	不明(成人)	△					骨片
54	13区	SJ13305	不明	壮年		▲(歯)	▲(歯)			歯のみ
55	13区	SJ13312	不明	不明(不明)				▲？	▲？	小骨片
56	13区	SJ13321	不明	不明(成人)	▲				△	
57	13区	SJ13344	不明	不明(成人)					△	大腿骨のみ
58	13区	SJ13346	不明	不明(不明)		▲？	▲？			歯の微細片
59	13区	SJ13348	不明	不明(不明)				▲	▲	小骨片
60	13区	SJ13354	不明	不明(不明)	△				△	女性か未成人
61	13区	SJ13355	不明	熟年	▲		▲(歯)		▲	歯及び小骨片
62	13区	SJ13370	男性	不明(成人)					△	
63	13区	SJ13384	女性	不明(成人)				△	△	
64	13区	SJ13388	女性	熟年～老年	△		△	△	△	
65	13区	SJ13390	不明	不明(不明)				▲？	▲？	小骨片少量

人骨の遺存状態　◎：良好、○：比較的良好、△：残存、▲：一部残存、□(ブランク)：欠損

表85　中原遺跡11区、13区出土人骨資料数

成　人			未成人			成人か未成人か不明	総　数
男性	女性	性別不明	青年～小児	幼児	年齢不明		
16	10	19	1	0	1	18	65

人骨の調査法に関しては、頭蓋及び四肢骨の計測に関しては、Martin-Saller（1957）及び馬場（2001）の示す方法で行ったが、しばしば計測点が混同される上顔高についてはHowells（1973）のn-pr間ではなく、Martinのn-pr'（AV）間で計測した（本遺跡出土人骨では計測例は無い）。また、脛骨の横径については、Vallois（1938）の方法を採用して計測した。歯の計測は、佐伯が藤田（1949）の方法に従い、デジタルノギスにより頬舌径及び近遠心径を計測した。頭蓋形態小変異に関しては、Berry & Berry（1970）及び百々（1974）の基準に従って観察を行い、形質の出現の有無を判定した。

中原遺跡出土人骨の形態的特徴の検討に際しては、津雲縄文人（清野、宮本；1925、清野、平井；1928）、縄文人の継続とされる西北九州地域弥生人（内藤、1971）及び大友弥生人（松下、1981）、大陸からの渡来系とされる北部九州地域弥生人（中橋他、1989）の計測成績を用いて直接比較した。

なお、頭蓋形態小変異については、東日本縄文人及び北部九州弥生人（Dodo：1986、Dodo and Ishida：1988、1990）、西北九州弥生人（Saiki, Wakebe and Nagashima：2000）、鳥栖市弥生人（分部：2001）、中国河南省出土春秋・戦国時代人骨（分部：2008）を用いて比較した。

⑶ 所　見

頭蓋の個体別計測値、歯の計測値及び形態小変異観察結果とその集計値は文末の附表１～６に、四肢骨の個体別計測値とその集計値は附表７～13に一括して掲げた。歯の計測については、残存した歯が非常に少なく比較が不可能であるので、結果のみを附表５に掲げることとした。以下、中原遺跡11区、13区から出土した弥生時代人骨について計測及び観察結果から見た形態的特徴を、頭蓋、次いで四肢骨の順に述べる。

①頭蓋

男性の頭蓋の主要計測値比較表を表86に示す。中原弥生人の脳頭蓋主要計測値は２例について計測値が得られ、頭蓋最大長は両者がほぼ同じであるが、頭蓋最大幅が小さい例と大きい例とがあり異なるために頭蓋最大長及び頭蓋最大幅の計測値によって算出される頭蓋長幅示数は73.8（SJ13060号）、83.5（SJ13295号）となる。したがって、頭型は前者が長頭型、後者が短頭型に属す。

両者の平均値を津雲縄文人、縄文系の西北九州弥生人、渡来系の北部九州弥生人と比較すると、中原弥生人の頭蓋最大長及び頭蓋最大幅は、大頭とされる縄文人の平均値よりも小さい値を示した。また、頭蓋長幅示数は78.7（２例）を示し、西北九州弥生人と北部九州弥生人の間の数値となり、全比較群と同様に頭型は中頭型に属して、長幅示数の平均値からみた頭型に差は見られない。

顔面頭蓋では、主要計測値が得られたのは１例（SJ13295）であり、中顔幅（99㎜）、眼窩及び鼻部の計測値である。中顔幅は比較群の中で最小であり、顔面の高径は不明であるが、狭顔傾向にあると考えられる。眼窩については、中原弥生人の眼窩幅は46㎜（左）、眼窩高は36㎜（左）で比較群の中で両計測値とも最大値を示して、幅、高さともに大きい。

眼窩高及び眼窩幅の計測値によって算出される眼窩示数は78.3を示し、比較群の中では津雲縄文人の76.5及び西北九州弥生人の76.2よりも大きく、北部九州弥生人の79.9にやや近い。したがって、中原弥生人の眼窩には高眼窩傾向がうかがわれる。

鼻部では、中原弥生人の鼻幅（27㎜）は、西北九州弥生人（27.8㎜）よりは小さく、北部九州弥生人（27.1㎜）に近い。鼻高（56㎜）は、津雲縄文人及び西北九州弥生人はもとより、北部九州弥生人（52.8㎜）よりもかなり大きい。鼻幅及び鼻高の計測値によって算出される鼻示数は48.2を示し、広鼻の津雲縄文人及び西北九州弥生人はもとより、北部九州弥生人（51.4）よりもかなり小さく、狭鼻傾向が顕著である。

表86　頭蓋計測値比較（男性、㎜）

Martin's		中原11区・13区（弥生）		津雲（縄文晩期）		西北九州（弥生）		北部九州（弥生）	
		N	M	N	M	N	M	N	M
1	頭蓋最大長	2	187.5	16	186.4	21	182.8	118	183.7
8	頭蓋最大幅	2	147.5	18	144.4	20	144.9	117	142.4
17	バジオン・ブレグマ高		−	13	134.0	15	134.6	101	137.7
8/1	頭骨長幅示数	2	78.7	16	77.7	20	79.2	104	77.7
17/1	頭骨長高示数		−	13	71.6	15	74.2	91	75.3
17/8	頭骨幅高示数		−	13	92.2	14	93.1	91	97.0
40	顔長		−	12	102.7		−	82	100.4
45	頬骨弓幅		−	6	143.2	12	138.4	103	140.0
46	中顔幅	1	99	9	103.6	17	105.0	114	104.7
47	顔高		−	11	115.8	14	117.1	80	123.8
48	上顔高[n-pr'(av)]		−	13	67.0	17	68.1	114	74.8
47/45	Kollmann氏顔示数		−	4	79.6	12	84.6	71	88.4
47/46	Virchow氏顔示数		−		−	14	111.8	74	118.4
48/45	Kollmann氏上顔示数		−	6	48.3	12	49.3	95	53.3
48/46	Virchow氏上顔示数		−	8	67.7	17	64.8	105	71.5
51	眼窩幅(左)	1	46	14	43.5	15	43.1	89	43.2
52	眼窩高(左)	1	36	12	33.5	15	32.8	93	34.5
52/51	眼窩示数(左)	1	78.3	12	76.5	15	76.2	86	79.9
54	鼻幅	1	27	13	26.6	16	27.8	117	27.1
55	鼻高	1	56	14	48.6	16	51.0	116	52.8
54/55	鼻示数	1	48.2	12	54.5	16	54.4	113	51.4

②頭蓋形態小変異の観察

中原弥生人について頭蓋形態小変異の観察が可能であった項目及び例数も限られた。ここではこれまで調査されている日本列島の縄文人（東日本）、縄文系弥生人（西北九州）、渡来系弥生人（北部九州弥生人）及び中国河南省の春秋～戦国時代人（興弘、周庄）の集団間で、出現頻度に差異の見られる主な４項目について結果を掲げることとした。

４項目の中で、弥生時代の前時代の中国興弘・周庄、北部九州弥生人及び鳥栖市弥生人に高頻度で出現し、縄文人や縄文系の西北九州弥生人に低頻度で出現する項目として眼窩上孔が挙げられ、また、その逆の出現型を示す項目に舌下神経管二分、横後頭縫合残存、顎舌骨筋神経管形成が挙げられる。本来頭蓋形態小変異は多項目の出現頻度から特定の集団の出現型を考えようとするもので、１項目について少なくとも100例以上の資料が必要と考えている。中原弥生人の場合、観察可能であった項目で眼窩上孔が最も多く７例である。当然比較対象とはならない例数であるが、出現頻度は約29％で北部九州弥生人や鳥栖市弥生人の出現頻度に近い率であり、中原弥生人が渡来系弥生人の範疇に入ることを否定はできない。

表87　頭蓋形態小変異の出現頻度比較（側単位）

主要観察項目	時代	眼窩上孔		舌下神経管二分		横後頭縫合残存		顎舌骨筋神経管	
		N	%	N	%	N	%	N	%
中原11・13区	弥生	7	28.6	−	−	3	0	5	0
東日本	縄文	248	10.9	168	19.6	276	27.2	224	13.4
西北九州	弥生	131	13.7	116	31.0	157	17.2	143	7.7
北部九州	弥生	348	34.8	260	8.1	188	3.2	146	3.4
鳥栖市	弥生	143	37.1	124	13.7	156	10.9	55	3.6
中国河南省興弘	春秋	124	40.3	114	14.9	121	1.7	123	4.1
中国河南省周庄	春秋・戦国	171	45.6	232	12.9	227	1.3	258	2.7

N：資料数、％：出現頻度

表88　上腕骨計測値（男性、左、㎜）

	中原11・13区（弥生）		津雲（縄文）		大友（弥生）		北部九州（弥生）	
	N	M	N	M	N	M	N	M
1. 上腕骨最大長		−	15	283.3	11	291.4	22	302.6
2. 上腕骨全長		−	15	279.0	8	285.8	17	296.8
5. 中央最大径	1	25	20	23.7	34	23.4	76	23.3
6. 中央最小径	1	18	20	17.7	33	17.6	76	17.4
7. 骨体最小周	1	66	21	64.7	33	63.5	81	63.9
7a. 中央周	1	72		−	33	68.2	75	67.8
6/5 骨体断面示数	1	72.0	20	74.6	33	75.0	76	74.9
7/1 長厚示数		−	15	23.0	11	22.4	22	21.3

③四肢骨

比較のための四肢骨計測値は、表88（上腕骨）、表89、90（大腿骨）、表91、92（脛骨）に示している。

A上腕骨

最大長は計測できないので、男性（１例）の骨幹部の諸径について比較する。中原弥生人の骨体中央最大径（25㎜）、最小径（18㎜）は、骨体中央周（72㎜）及び最小周（66ｍ）は、津雲縄文人、大友弥生人及び北部九州弥生人よりも大きく、骨幹は比較的太く頑丈である。また、骨体断面示数は比較群間ではほとんど差が見られないが、中原弥生人は72.0で最小値を示し、本例の骨体には扁平傾向が認められる。

表89　大腿骨計測値（男性、左、㎜）

	中原11・13区（弥生）		津雲（縄文）		大友（弥生）		北部九州（弥生）	
	N	M	N	M	N	M	N	M
1. 最大長		−	11	415.2	15	420.1	60	430.9
2. 自然位全長		−	11	411.3	17	413.9	18	427.7
6. 骨体中央矢状径	4	27.8	20	28.9	41	28.6	162	29.7
7. 骨体中央横径	4	27.3	20	25.5	42	26.4	166	28.0
8. 骨体中央周	4	86.5	20	86.6	41	87.0	161	90.8
8/2 長厚示数		−	11	21.1	16	21.4	18	21.4
6/7 骨体中央断面示数	4	101.7	20	113.2	41	108.6	162	106.4

表90　大腿骨計測値（女性、左、㎜）

	中原11・13区（弥生）		津雲（縄文）		大友（弥生）		北部九州（弥生）	
	N	M	N	M	N	M	N	M
1. 最大長		−	16	385.4	5	386.8	34	405.5
2. 自然位全長		−	16	379.7	4	378.3	11	403.0
6. 骨体中央矢状径	5	24.2	24	25.3	30	25.5	112	25.7
7. 骨体中央横径	5	26.4	24	24.1	30	25.2	112	26.3
8. 骨体中央周	5	79.2	24	77.8	29	80.4	111	81.5
8/2 長厚示数		−	15	20.6	4	20.3	11	20.8
6/7 骨体中央断面示数	5	92.4	24	105.6	31	102.1	112	98.3

B大腿骨

〔男性〕

骨幹部の諸径について比較すると、中原弥生人（４例）の骨体中央矢状径（27.8㎜）は比較群中最小で、骨体中央横径（27.5㎜）は津雲縄文人及び大友弥生人よりも大きく、北部九州弥生人よりもやや小さい。骨体中央周（86.5㎜）は、津雲縄文人及び大友弥生人の値に近く、北部九州弥生人よりも小さい。すなわち、中原弥生人の骨体中央部は前後径（矢状径）が小さいため周径も小さいものとなっている。また、骨体中央断面示数は101.7となり比較群中最小で、津雲縄文人及び大友弥生人とは差が大きくて北部九州弥生人よりも一層小さい値を示し、大腿後面の筋付着部である粗線の発達も悪く、骨体の断面形も横広の傾向にある。

表91　脛骨計測値（男性、左、㎜）

	中原11・13区（弥生）		津雲（縄文）		大友（弥生）		北部九州（弥生）	
	N	M	N	M	N	M	N	M
1. 脛骨全長		−	10	337.0	10	345.3	27	345.6
1a. 脛骨最大長		−	10	343.0	11	354.8	52	350.5
8. 中央最大径	3	29.7(右)	21	31.7	43	31.0	74	32.0
9. 中央横径	3	20.0(右)	21	19.7	43	21.4	75	22.9
10. 骨体周	3	78.3(右)	20	82.5	41	83.4	74	86.5
10b. 最小周	2	70.5(右)	17	75.6	38	75.6	122	78.4
9/8 中央断面示数	3	67.6(右)	21	62.4	43	69.1	74	72.2
10b/1 長厚示数		−	10	22.9	10	21.9	26	22.7

表92　脛骨計測値（女性、左、㎜）

	中原11・13区（弥生）		津雲（縄文）		大友（弥生）		北部九州（弥生）	
	N	M	N	M	N	M	N	M
1. 脛骨全長		−	10	317.5	3	313.0	20	324.3
1a. 脛骨最大長		−	10	321.9	4	324.8	30	329.3
8. 中央最大径	3	25.7	23	27.1	24	27.6	46	27.0
9. 中央横径	3	19.3	23	17.7	26	19.7	46	20.4
10. 骨体周	3	72.3	23	72.7	23	75.3	46	74.5
10b. 最小周	2	65.0	17	67.1	24	68.3	82	68.6
9/8 中央断面示数	3	75.6	22	64.7	23	72.1	46	75.7
10b/1 長厚示数		−	10	21.3	3	21.4	20	21.3

〔女性〕

骨幹部の諸径のうち、中原弥生人（４例）の骨体中央矢状径（24.2㎜）は、男性と同様に比較群中最小で、骨体中央横径（26.4㎜）は津雲縄文人及び大友弥生人よりも大きく、北部九州弥生人とほぼ同じである。骨体中央周（79.2㎜）は、津雲縄文人やや大きいが、大友弥生人及び北部九州弥生人よりも小さい。骨体中央断面示数は92.4となり比較群中最小で、津雲縄文人及び大友弥生人とは差が特に大きい。大腿後面の筋付着部の発達も悪く、骨体の断面形も北部九州弥生人よりも一層横広の傾向にある。

C脛骨

〔男性〕

骨幹部の諸径について比較すると、中原弥生人（右、３例）の骨体中央最大径（29.7㎜）は比較群の中最小で、骨体中央横径（20.0㎜）は津雲縄文人よりもやや大きく、大友弥生人及び北部九州弥生人よりも小さい。骨体中央周（78.3㎜）及び骨体最小周（70.5㎜）は比較群中最小であり、骨体は華奢である。骨体中央断面示数は67.6となり、津雲縄文人よりは大きく、北部九州弥生人よりは小さい値を示し、北部九州弥生人よりは骨体に扁平傾向が窺われる。

〔女性〕

中原弥生人女性（３例）の骨幹部の諸径について、骨体中央最大径（25.7㎜）、骨体中央横径（19.3㎜）、骨体中央周（72.3㎜）及び骨体最小周（65.0㎜）は、比較群との関係が男性の場合と同様で、華奢である。骨体中央断面示数は75.6となり、北部九州弥生人とほぼ同じ値を示し、骨体の扁平傾向は全く窺われない。

⑷ まとめ

平成11年（1999年）７月から同17年（2005年）９月にかけて、佐賀県唐津市に所在する中原遺跡が佐賀県教育委員会社会教育・文化財課により発掘調査され、11区及び13区の甕棺墓群より弥生時代中期に属す人骨が多数検出された。これらの人骨に関して実施された形質人類学的調査の結果をまとめると以下のとおりとなる。

１．11区及び13区から出土した65個体分の人骨の内訳は、成人骨が45体、未成人骨が２体、成人骨か未成人骨か不明のものが18体で、成人骨では16体が男性、10体が女性で、性別不明が19体である。

２．男性人骨の頭蓋最大長及び頭蓋最大幅は、大頭とされる縄文人の平均値よりも小さい値を示し、頭蓋長幅示数は78.7（２例）で頭型は中頭型に属して、西北九州弥生人と北部九州弥生人の間の数値を示した。

３．男性人骨の顔面頭蓋は、中顔幅（１例）が99㎜で狭顔傾向にあると推測される。眼窩については眼窩示数（１例）が78.3を示し、高眼窩傾向がうかがわれ、鼻部では、鼻幅（１例、27㎜）に対し鼻高（１例、56㎜）が大きく、鼻示数（１例）は48.2を示して狭鼻傾向が顕著である。

４．中原弥生人の頭蓋形態小変異については、観察可能であった項目及び例数も限られたが、このうち眼窩上孔（７側）の出現頻度は約29％で北部九州弥生人の頻度に近いものである。

５．四肢骨の形態では、男性（１例）の上腕骨は骨幹が比較的太く頑丈で、扁平傾向が認められる。大腿骨については、男性（４例）の骨幹はやや細く、骨体中央断面示数は101.7を示して骨体の断面形も横広の傾向にある。女性（４例）の骨幹も男性と同様の傾向にあり、男女共に北部九州弥生人の形態に近い。

脛骨については、男女共に骨幹が華奢である。骨体中央断面示数は男性（右、３例）が67.6を示してやや扁平な傾向にあるが、女性（３例）は75.6となり、扁平傾向は全く窺われない。

以上、今回の中原遺跡11区及び13区出土の弥生人骨については、出土数の割りに全体的に遺存状態が悪く、必ずしも満足のいく比較検討が行えなかった。その中で、男性四肢骨の中での脛骨の断面形は、縄文人や縄文系の弥生人として評価されている西北九州地域の弥生人の特徴と共通性が認められるものの、脳頭蓋及び顔面頭蓋の形態、男性の脛骨を除く四肢骨の形態的特徴は、渡来系と称される北部九州弥生人の特徴を示すものである。現在のところでは中原遺跡から出土した弥生人骨は、北部九州弥生人との関係が深いものと考えられる。

〔稿を終えるにあたり、貴重な遺跡の人骨資料調査を許していただきました佐賀県教育委員会社会教育・文化財課の諸先生方に深謝いたします。〕

*長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 肉眼形態学分野

参考文献

1) Dodo Y.（1986）「Metrical and non-metrical analyses of Jomon crania from eastern Japan」『Prehistoric Hunter-Gatherers in Japan』Univ. Tokyo Press, Tokyo, 137-137.
2) Dodo Y. and Ishida H.（1990）「Population history of Japan as viewed from cranial nonmetric variation」J. Anthrop. Sco. Nippon. 98: 269-287.
3) 藤田恒太郎（1965）；歯の話，岩波書店：57-98.
4) 平井隆，田幡丈夫（1928）；現代日本人骨の人類学的研究 第４部 下肢骨の研究，人類学雑誌．43（４附、５附）.
5) 金田義夫（1957）；日本人の永久歯における歯根完成時期の研究，歯科月報．30：165-172.
6) 金関丈夫（1956）；人種の問題，日本考古学講座４，河出書房，東京：238-252
7) 金関丈夫（1966）；弥生時代人．日本の考古学Ⅲ，河出書房，東京：460-471
8) 金関丈夫・永井昌文・佐野一（1960）；山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土弥生式時代人頭骨について，人類学研究 Ⅶ：1-36.
9) 清野謙次・宮本博人（1925）；津雲貝塚人人骨の人類学的研究　第２部　頭蓋骨の研究，人類学雑誌．41.
10) 清野謙次・平井隆（1928）；津雲貝塚人人骨の人類学的研究　第３部　上肢骨の研究，人類学雑誌．43第３付録.
11) 清野謙次・平井隆（1928）；津雲貝塚人人骨の人類学的研究　第４部　下肢骨の研究，人類学雑誌．43第４付録.
12) 九州大学医学部解剖学第二講座（1988）；古人骨資料集成，日本民族・文化の生成．六興出版.
13) Martin, R. and Saller, K.（1957）；Lehrbuch der Anthropologie, Bd. T. Gustav Fischer Verlag Stuttgart.
14) 松下孝幸（1981）；大友遺跡出土の弥生時代人骨，佐賀県呼子町教育委員会：223-253
15) 宮本博人（1925）；現代日本人骨の人類学的研究 第２部 上肢骨の研究，人類学雑誌．40(6,7,8).
16) 森田茂(1924)；関東地方人頭蓋骨の人類学的研究, 東京慈恵会医科大学解剖学教室業績集３：1-59.
17) 内藤芳篤（1971）；西北九州出土の弥生時代人骨，人類学雑誌　79：236-248.
18) 内藤芳篤（1981）；４弥生時代人骨　日本人Ⅰ，人類学講座，雄山閣：57-99.
19) 内藤芳篤（1984）；九州における縄文人骨から弥生人骨への移行．人類学　その多様な発展，日経サイエンス社，東京：52-59
20) 内藤芳篤・長島聖司・分部哲秋（1997）；古人骨，原始・古代の長崎県，長崎県教育委員会編，長崎：625-655
21) 中橋孝博・土肥直美・永井昌文（1985）；金隈遺跡出土の弥生時代人骨，福岡市埋蔵文化財調査報告書 123：43-145.
22) 中橋孝博・永井昌文（1989）；形質，弥生文化の研究１：３弥生人，雄山閣，東京：23-51
23) 長島聖司・分部哲秋（二〇〇三）「縄文系弥生人の形態分析」『日本列島の人類学的多様性』勉誠出版、19-25.
24) Vallois, H. V.（1938）；Les methodes de mensuration de la platycnemie; Etude Critque, Bull. Soc. Anthropol. 8：97-108.
25) Saiki K., Wakebe T. and Nagashima S.（2000）「Cranial nonmetrical analyses of the Yayoi people in

the northwestern Kyushu area」Anthropol. Sci. 108 : 27–44.
26） 牛島陽一（1954）；佐賀県東脊振村三津遺跡出土の弥生式時代人骨の人類学的研究，人類学研究，1：273–303
27） 分部哲秋（1990）；日本幼小児頭蓋の形態学的研究，長崎医学会雑誌．65：805–824.
28） Wakebe T.（1992）；Age of epiphyseal fusion in Japanese of modern times. 1. Upper limb skeleton, J. Anthrop. Soc. Nippon. 100：231.
29） 分部哲秋（1992）；近代日本人の骨端癒合年齢　２．下肢骨，解剖学雑誌．67：508.
30） Wakebe T., Saiki K.. and Nagashima S.（1994）; Human skeletal remains of the Yayoi period from the Yoshinogari site, Saga prefecture (Abstract), Anthropol. Sci., 102, 198
31） 分部哲秋・佐伯和信・岡本圭史・長島聖司（1997）；長崎大学出展人骨資料．Anthropol. Sci., 105：267–271
32） Wakebe T.（2002）Morphological characterristics of the limb bones of human skeletal remains excavated from Jiangnan area in China. Ancient people in the Jiangnan region, China edited by T. Nakahashi & L. Minchang, Kyushu Univ. Press, 35–49.
33） Wakebe T., Saiki K.. and Nagashima S.（1994）; Human skeletal remains of the Yayoi period from the Yoshinogari site, Saga prefecture (Abstract), Anthropol. Sci., 102, 198.
34） 分部哲秋・佐伯和信・岡本圭史・他（2001）「佐賀県鳥栖市安永田遺跡出土の弥生時代人骨」『安永田遺跡』鳥栖市教育委員会発刊、400–456.
35） Wakebe T.（2002）「Human skeletal remains excavated from Jiangnan area in China as viewed from cranial nonmetric variation」『Ancient people in the Jiangnan region, China』edited by Takahiro Nakahashi & Li Minchang, Kyushu Univ. Press, 35–49.
36） 分部哲秋（2005）特論３　鳥栖の弥生時代人骨．（鳥栖市誌編纂委員会（編）：鳥栖市誌 第２巻 原始・古代編，鳥栖市発行，鳥栖，pp.254–259.
37） 分部哲秋（2007）「中国河南省出土春秋・戦国時代人骨の頭蓋形態小変異」『中国・中原地域出土の古人骨に関する人類学的研究』中橋孝博編、科学研究費実績報告書，pp25–40.

附表１．11区・13区出土弥生人骨の脳頭蓋計測値（㎜）

Martin's	人骨番号	SJ13060	SJ13073	SJ13295	集計	
	性別	男	男	男		
	年齢	壮～熟年	熟年	熟～老年	N	M
1	頭蓋最大長	187		188	2	187.5
8	頭蓋最大幅	138		157	2	147.5
17	バジオン・ブレグマ高					
8/1	頭骨長幅示数	73.8		83.5	2	78.7
17/1	頭骨長高示数					
17/8	頭骨幅高示数					
9	最小前頭幅		90	103	2	96.5
10	最大前頭幅			137	1	137
5	頭骨底長					
11	両耳幅					
12	最大後頭幅			113	1	113
13	乳突幅					
14	最小頭骨幅					
7	大後頭孔長					
16	大後頭孔幅					
16/7	大後頭孔示数					
23	頭蓋水平周					
24	横弧長					
25	正中矢状弧長					
26	正中矢状前頭弧長	139		139	2	139.0
27	正中矢状頭頂弧長	139		124	2	131.5
28	正中矢状後頭弧長					
29	正中矢状前頭弦長	110		117	2	113.5
30	正中矢状頭頂弦長	124		111	2	117.5
31	正中矢状後頭弦長					
26/25	前頭矢状弧示数					
27/25	頭頂矢状弧示数					
28/25	後頭矢状弧示数					
29/26	矢状前頭示数	79.1		84.2	2	81.7
30/27	矢状頭頂示数	89.2		89.5	2	89.4
31/28	矢状後頭示数					

附表２．11区・13区出土弥生人骨の顔面頭蓋計測値（㎜、度）

Martin's		人骨番号	SJ13295
		性別	男
		年齢	熟～老年
40	顔長		
41	側顔長		76
42	下顔長		
43	上顔幅		110
44	両眼窩幅		
45	頬骨弓幅		
46	中顔幅		99
47	顔高		
48	上顔高[n-pr'(av)]		
47/45	Kollman氏顔示数		
47/46	Virchow氏顔示数		
48/45	Kollman氏上顔示数		
48/46	Virchow氏上顔示数		
50	前眼窩間幅		
51	眼窩幅(右)		
	眼窩幅(左)		46
52	眼窩高(右)		
	眼窩高(左)		36
52/51	眼窩示数(右)		
	眼窩示数(左)		78.3
54	鼻幅		27
55	鼻高		56
54/55	鼻示数		48.2
55(1)	梨状口高		
56	鼻骨長		
57	鼻骨最小幅		10.0
57(1)	鼻骨最大幅		
60	上顎歯槽長		
61	上顎歯槽幅		
62	口蓋長		
63	口蓋幅		
64	口蓋深		
72	全側面角(度)		
73	鼻側面角(度)		
74	歯槽側面角(度)		

附表３．11区・13区出土弥生人骨の顔面平坦度計測値（㎜）

		人骨番号	SJ13295
		性別	男
		年齢	熟～老年
FC	前頭骨弦（fmo－fmo）		101.8
	n－fmo長（右）		51.0
	n－fmo長（左）		51.1
SC	鼻骨弦（最小幅）		10.0
	SC・鼻背稜間距離	（右）	5.9
	SC・鼻背稜間距離	（左）	5.9

附表４．11区・13区出土弥生人骨の下顎骨計測値（㎜）

Martin's		人骨番号	SJ13295	SJ13213
		性別	男	女
		年齢	熟～老年	壮年
65	下顎関節突起幅			
65(1)	下顎筋突起幅			
66	下顎角幅		124	105
67	前下顎幅		50	53
68	下顎長		71	75
68(1)	下顎長			
69	オトガイ高			35
66/65	下顎幅示数			
68/65	幅長示数			
68(1)/65	幅長示数			
69(1)	下顎体高	(右)		33
		(左)		35
69(2)	下顎体高	(右)		30
		(左)		30
70	枝高	(右)		
		(左)		
70(1)	前枝高	(右)		
		(左)		65
70(2)	最小枝高	(右)		
		(左)		54
70(3)	下顎切痕高	(右)		
		(左)		
71	枝幅	(右)		
		(左)		34
71a	最小枝幅	(右)		
		(左)		33
71(1)	下顎切痕幅	(右)		
		(左)		
79	下顎枝角(度)	(右)		
		(左)		
69(2)/69	下顎高示数	(右)		85.7
		(左)		85.7
71/70	下顎枝示数	(右)		
		(左)		
71a/70(2)	下顎枝示数	(右)		
		(左)		61.1
70(3)/71(1)	下顎切痕示数	(右)		
		(左)		

附表5-1. 11区・13区出土弥生人骨の歯冠計測値（㎜）（頬舌径）

		番号	13060	13068	13141	13238	13261	13273	13295	13213	13263	13266	13278	13006	13220	13254	13305	13354	13355
		性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	不明	不明	不明	不明	不明	不明
		年齢	壮～熟	熟年	壮年	熟年	熟年	壮年	熟～老	壮年	壮年	熟～老	熟年	未成人	不明	熟年	壮年	若い	熟年
上顎	右	I1									7.68					7.44			
		I2									6.88								
		C					8.65				8.83								
		P1									9.88								
		P2					9.72			8.79						9.72			
		M1									11.93								
		M2												11.75			10.79		
		M3			11.53					10.78				11.03			11.16		
	左	I1									7.75	7.25							
		I2									7.14								
		C								7.74	8.38				7.80				
		P1								8.80	9.73	10.12			9.06				
		P2							8.70	8.78	9.00		8.95						
		M1									11.87								
		M2			11.15			9.85		10.33				11.43					
		M3				11.94													
下顎	右	I1								5.68									
		I2								6.14									
		C					6.95			7.22		7.81							
		P1								7.07		8.23							
		P2								7.58									
		M1		11.67	10.51					10.54							10.95		
		M2								10.00			10.73				10.20	9.28	
		M3				11.19				9.95									9.95
	左	I1								5.67									
		I2								6.18									
		C								7.15		7.86							
		P1								7.14									
		P2		9.17						7.32			8.72						8.32
		M1								10.23				10.98			10.78		
		M2		10.89						9.66				10.69					
		M3	11.05							9.98			10.86					10.60	

附表5-2. 11区・13区出土弥生人骨の歯冠計測値（㎜）（近遠心径）

		番号	13060	13068	13141	13238	13261	13273	13213	13263	13266	13278	13006	13220	13305	13354	13355
		性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	不明	不明	不明	不明	不明
		年齢	壮～熟	熟年	壮年	熟年	熟年	壮年	壮年	壮年	熟～老	熟年	未成人	不明	壮年	若い	熟年
上顎	右	I1								9.24							
		I2								7.11							
		C															
		P1								7.46							
		P2					7.51		7.12								
		M1								11.10							
		M2											10.07		10.19		
		M3			9.85				8.90				9.32		8.16		
	左	I1								9.31							
		I2								7.14							
		C															
		P1							6.95	7.45				6.88			
		P2							7.1	7.35		6.78					
		M1								11.10							
		M2			9.35			8.33	8.88				11.43				
		M3				9.74											
下顎	右	I1							5.37								
		I2							5.95								
		C							6.83		6.75						
		P1							7.12								
		P2							7.25								
		M1		11.83	10.70				11.12						11.82		
		M2							10.46			11.11			11.04	9.70	
		M3				12.21			10.90								10.02
	左	I1							5.43								
		I2							6.30								
		C							7.01		7.00						
		P1							7.04								
		P2		7.58					7.16			7.46					7.23
		M1							10.96				12.65		11.96		
		M2		11.18					10.21				11.65				
		M3	11.95						9.67			11.71				11.28	

附表６．11区・13区出土弥生人骨の頭蓋形態小変異の観察結果（＋：存在、－：存在しない、空欄：観察不可）

		人骨番号	SJ 13060	SJ 13073	SJ 13141	SJ 13253	SJ 13261	SJ 13268	SJ 13295	SJ 13213	SJ 13263	SJ 13264	SJ 13266	SJ 13283	SJ 13061	側単位				
		性別	男	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	不明	右・左別		合計		
		年齢	壮～熟年	熟年	壮年	壮年	熟年	熟年	熟～老年	壮年	壮年	熟年	熟～老年	成人	成人	観察数	存在数	観察数	存在数	存/観（%）
1	頭頂孔　Parietal foramen	R	＋					＋	－			＋				4	3			
		L	＋					＋	＋							3	3	7	6	85.7
2	ラムダ小骨　Ossicle at the lambda		－						－							2	0	2	0	0.00
3	人字縫合小骨 Lambdoid ossicle	R							－							1	0			
		L							＋							1	1	2	1	50.0
4	インカ骨　Os incae								－							1	0	1	0	0.00
5	横後頭縫合痕跡 Biasterionic suture（＞10㎜）	R							－							1	0			
		L						－	－							2	0	3	0	0.00
6	アステリオン小骨 Asterionic ossicle	R														0	0			
		L						－	－							2	0	2	0	0.00
7	後頭乳突縫合小骨 Occipitomastoid ossicle	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
8	縫合外乳突孔 Mastoid foramen exsutural	R														0	0			
		L						＋								1	1	1	1	100.00
9	頭頂切痕骨 Parietal notch bone（＞5㎜）	R														0	0			
		L	－					－								2	0	2	0	0.00
10	翼上小骨　Epipteric ossicle	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
11	前頭側頭縫合 Frontotemporal articulation	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
12	左行矢状洞溝　Sagittal groove to the left				－	－			－			－		－		5	0	5	0	0.00
13	顆管　Condylar canal patent	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
14	後頭顆二分 Condylar facet double	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
15	舌下神経管二分 Hypoglossal canal bridging	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
16	頚静脈孔二分 Jugular foramen bridging	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－
17	床状突起間骨橋 Clinoid bridging	R														0	0			
		L														0	0	0	0	－

		人骨番号	SJ 13060	SJ 13073	SJ 13141	SJ 13253	SJ 13261	SJ 13268	SJ 13295	SJ 13213	SJ 13263	SJ 13264	SJ 13266	SJ 13283	SJ 13061	側単位				
		性別	男	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	不明	右・左別		合計		
		年齢	壮～熟年	熟年	壮年	壮年	熟年	熟年	熟～老年	壮年	壮年	熟年	熟～老年	成人	成人	観察数	存在数	観察数	存在数	存/観(%)
18	顆前結節 Precondylar tubercle	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
	第３後頭顆（表面滑らか）															0.0	0.0	0	0	−
	傍顆突起 Paracondylar process	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
19	翼棘孔 Pterygospinous foramen	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
20	卵円孔棘孔交通 Ovale-spinosum confluence	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
21	鼓室骨裂孔 Tympanic dehiscence（＞1㎜）	R											−	−		2	0			
		L	−			−		+	−		−					5	1	7	1	14.29
	鼓室骨裂孔 Tympanic dehiscence (>Pinhole-sized)	R											−	−		2	0			
		L	−			−		+	−		−					5	1	7	1	14.29
22	ヴェサリウス孔 Foramen of Vesalius	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
23	前頭縫合　Metopism		−						−							2	0	0	0	0.00
24	眼窩上神経溝 Supra-orbital nerve groove	R							−							1	0			
		L	−						−							2	0	3	0	0.00
25	眼窩上縁孔 Supra-orbital foramen	R	−	−					−				+			4	1			
		L	−	−					+							3	1	7	2	28.57
26	硬膜眼窩孔 Meningo-orbital foramen	R														0	0			
		L														0	0			
27	副眼窩下孔 Accessory infraorbital foramen	R							+							0	0			
		L							−							0	0	0	0	−
28	頬骨後裂　Transverse zygomatic suture (>5㎜)															0	0			
		L														0	0	0	0	−
29	頬骨顔面孔 Zygomaticofacial foramen	R		+					+				+			3	3			
		L							+							1	1	4	4	100.00
30	内側口蓋管 Medial palatine canal	R														0	0			
		L														0	0	0	0	−
31	副オトガイ孔 Accessory mental foramen	R					+		−	−			−			4	1			
		L							−	−						3	0	7	1	14.29
32	顎舌骨筋神経管 Mylohyoid bridging	R							−	−			−			3	0			
		L							−	−						2	0	5	0	0.00
33	外耳道骨腫　Aural exostosis	R											−	+(1)		2	1			
		L	−			−		−	+(1)		+(1)	−			+(1)	7	3	9	4	44.44

附表７．11区・13区出土弥生人骨の鎖骨計測値（㎜）

Martin's		人骨番号	SJ13213
		性別	女
		年齢	壮年
1.	鎖骨最大長	(右)	
		(左)	
2.	骨体彎曲高	(右)	
		(左)	
4.	中央垂直径	(右)	10
		(左)	
5.	中央矢状径	(右)	10
		(左)	
6.	中央周	(右)	32
		(左)	
6/1	長厚示数	(右)	
		(左)	
4/5	断面示数	(右)	100.0
		(左)	

附表８．11区・13区出土弥生人骨の上腕骨計測値（㎜）

	人骨番号	SJ13295	SJ13213
	性別	男	女
	年齢	熟～老年	壮年
1 上腕骨最大長	(右)		
	(左)		
2 上腕骨全長	(右)		
	(左)		
4 下端幅	(右)		
	(左)		
5 中央最大径	(右)	25	20
	(左)	25	
6 中央最小径	(右)	18	13
	(左)	18	
7 骨体最小周	(右)	66	53
	(左)	66	
7a 中央周	(右)	73	58
	(左)	72	
9 頭最大横径	(右)		
	(左)		
10 頭最大矢状径	(右)		
	(左)		
11 滑車幅	(右)		
	(左)		
12 小頭幅	(右)		
	(左)		
12(a) 滑車及び小頭幅	(右)		
	(左)		
12(b) 小頭幅	(右)		
	(左)		
13 滑車深	(右)		
	(左)		
6/5 骨体断面示数	(右)	72.0	65.0
	(左)	72.0	
7/1 長厚示数	(右)		
	(左)		

附表９．11区・13区出土弥生人骨の橈骨計測値（㎜）

		人骨番号	SJ 13073	SJ 13242	SJ 13295	男性集計		SJ 13213	SJ 13263	SJ 13266	女性集計	
		性別	男	男	男			女	女	女		
		年齢	熟年	成人	熟～老年	N	M	壮年	壮年	熟～老年	N	M
1	最大長	(右)						199				
		(左)						199			1	199
2	機能長	(右)										
		(左)						186			1	186
3	最小周	(右)	44		42	2	43.0	36	36		2	36.0
		(左)		40		1	40	36		39	2	37.5
4	骨体横径	(右)	18		17	2	17.5	14			1	14
		(左)		17		1	17	14		18	2	16.0
4a	中央横径	(右)	17		16	2	16.5	13	13		2	13.0
		(左)		15		1	15	14		17	2	15.5
4(1)	小頭横径	(右)										
		(左)										
4(2)	頚横径	(右)						11				
		(左)						10				
5	骨体矢状径	(右)	12		12	2	12.0	11			1	11
		(左)		12		1	12	10		11	2	10.5
5a	中央矢状径	(右)	13		13	2	13.0	11	10		2	10.5
		(左)		12		1	12	10		11	2	10.5
5(1)	小頭矢状径	(右)										
		(左)										
5(2)	頚矢状径	(右)						11				
		(左)						12				
5(3)	小頭周	(右)										
		(左)										
5(4)	頚周	(右)						34				
		(左)						36				
5(5)	骨体中央周	(右)	46		46	2	46.0	37	37		2	37.0
		(左)		43		1	43	38		45	2	41.5
3/2	長厚示数	(右)										
		(左)						19.4			1	19.4
5/4	断面示数	(右)	66.7		70.6	2	68.6	78.6			1	78.6
		(左)		70.6		1	70.6	71.4		61.1	2	66.3
5a/4a	中央断面	(右)	76.5		81.3	2	78.9	84.6	76.9		2	80.8
	示数	(左)		80.0		1	80.0	71.4		64.7	2	68.1

SJ13295頭蓋前面および側面（男性、熟～老年）

SJ13295頭蓋上面（男性、熟～老年）

SJ13060頭蓋上面（男性、壮～熟年）

SJ13073頭蓋側面（男性、熟年）

SJ13268頭蓋側面（男性、熟年）

SJ13213上肢骨（女性、壮年）

SJ13213下肢骨（女性、壮年）

SJ13073四肢骨（男性、熟年）

SJ13242四肢骨（男性、年齢不明）

SJ13263四肢骨（女性、壮年）

SJ13266四肢骨（女性、熟～老年）

SJ13278四肢骨（女性、年齢不明）

SJ13283四肢骨（女性、年齢不明）

SJ13295上肢骨（男性、熟～老年）

SJ13295下肢骨（男性、熟～老年）

1．遺跡全景（西上空から）

2．11区・13区全景（真上から）

PL2

1．11区全景（真上から）

2．13区全景（真上から）

11区甕棺墓壙と祭祀土器群（西から）

PL4

1．11区甕棺墓群（西から）

2．13区（W-44区画）甕棺墓群（南から）

1．13区（V・W-46区画）甕棺墓群（東から）

2．13区（V・W-46区画）甕棺墓群（南から）

1．SJ11045（手前）、SJ11104（奥）

2．SJ11083

3．SJ11090

4．SJ11208

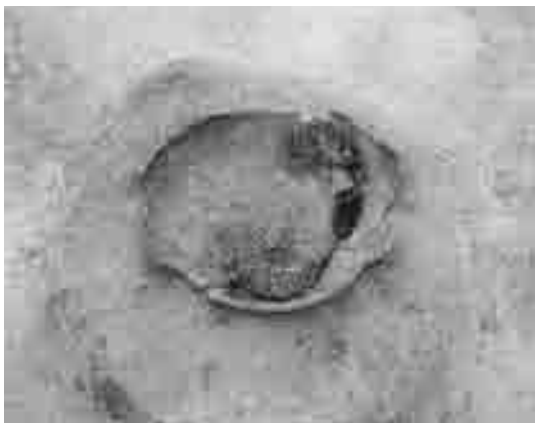
5．SJ11213

6．SJ11223

7．SJ11224

8．SJ11226

甕棺墓出土状況 1



1．SJ11225

2．SJ11227

3．SJ11237

4．SJ11237

5．SJ11237

6．SJ11239

7．SJ11240

8．SJ11241

甕棺墓出土状況２

1．SJ11242

2．SJ11247

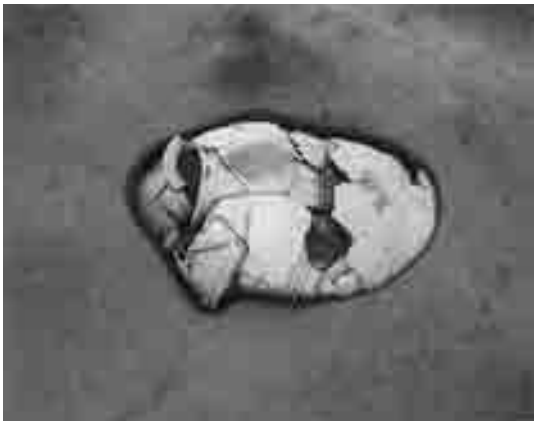
3．SJ11247

4．SJ11247

5．SJ11249

6．SJ11249

7．SJ11259



8．SJ11265

甕棺墓出土状況３

1．SJ11265

2．SJ11269

3．SJ11270

4．SJ11271

5．SJ11272

6．SJ11274

7．SJ11274

8．SJ11275

甕棺墓出土状況４

PL10

1．SJ11277

2．SJ11280

3．SJ11281

4．SJ11281

5．SJ11286

6．SJ11287

7．SJ11288

8．SJ11289

甕棺墓出土状況５

1．SJ11290

2．SJ11294

3．SJ11295

4．SJ11296

5．SJ13001

6．SJ13001人骨検出状況

7．SJ13003

8．SJ13004

甕棺墓出土状況６

1．SJ13005

2．SJ13006

3．SJ13007

4．SJ13007管玉検出状況

5．SJ13009

6．SJ13009鉄製錐検出状況

7．SJ13011

8．SJ13011

甕棺墓出土状況７

1．SJ13012

2．SJ13013

3．SJ13014

4．SJ13014

5．SJ13015

6．SJ13046

7．SJ13048

8．SJ13049

甕棺墓出土状況８

1．SJ13050

2．SJ13052

3．SJ13059

4．SJ13059

5．SJ13060

6．SJ13060人骨検出状況

7．SJ13061

8．SJ13062

甕棺墓出土状況９

1．SJ13065、SJ13066

2．SJ13067

3．SJ13068

4．SJ13068人骨検出状況

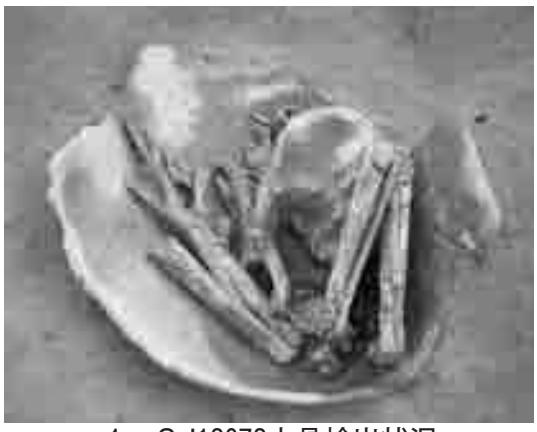
5．SJ13070

6．SJ13071

7．SJ13071

8．SJ13072

甕棺墓出土状況10



1．SJ13073人骨検出状況

2．SJ13074

3．SJ13075

4．SJ13077

5．SJ13078

6．SJ13079

7．SJ13080

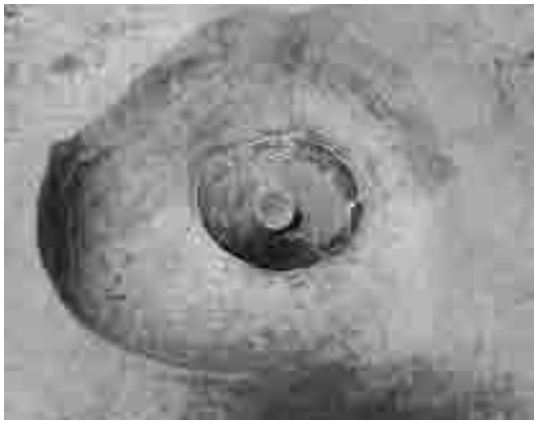
8．SJ13081

甕棺墓出土状況11

1．SJ13082

2．SJ13082玉製品検出状況

3．SJ13083玉製品検出状況



4．SJ13084

5．SJ13085

6．SJ13088

7．SJ13089

8．SJ13090

甕棺墓出土状況12

1．SJ13091

2．SJ13092

3．SJ13092管玉検出状況

4．SJ13093

5．SJ13094

6．SJ13095

7．SJ13096

8．SJ13096

甕棺墓出土状況13

1．SJ13097

2．SJ13098

3．SJ13099

4．SJ13101

5．SJ13102

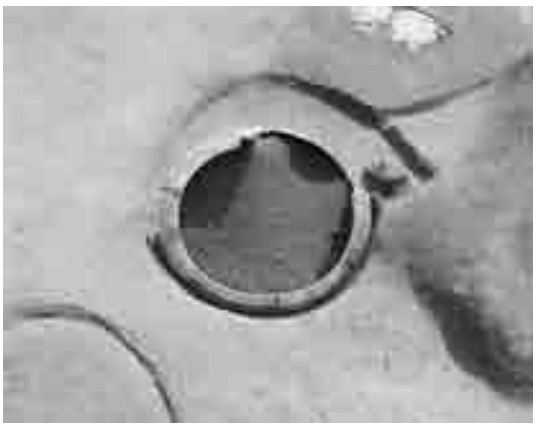
6．SJ13103

7．SJ13104

8．SJ13106

甕棺墓出土状況14

1．SJ13108



2．SJ13109

3．SJ13109人骨検出状況

4．SJ13111

5．SJ13111

6．SJ13112

7．SJ13114

8．SJ13116

甕棺墓出土状況15

1．SJ13110、SJ13118

2．SJ13119

3．SJ13122

4．SJ13123

5．SJ13124

6．SJ13125

7．SJ13126

8．SJ13127

甕棺墓出土状況16

1．SJ13129

2．SJ13131

3．SJ13132

4．SJ13133

5．SJ13134

6．SJ13135

7．SJ13138

8．SJ13138玉製品検出状況

甕棺墓出土状況17

1．SJ13139

2．SJ13141

3．SJ13142

4．SJ13143

5．SJ13144

6．SJ13145

7．SJ13146

8．SJ13146

甕棺墓出土状況18

1．SJ13147

2．SJ13148

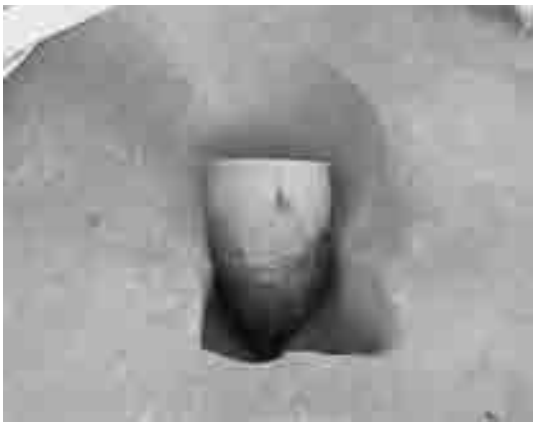
3．SJ13148

4．SJ13149

5．SJ13149

6．SJ13150

7．SJ13151



8．SJ13152

甕棺墓出土状況19

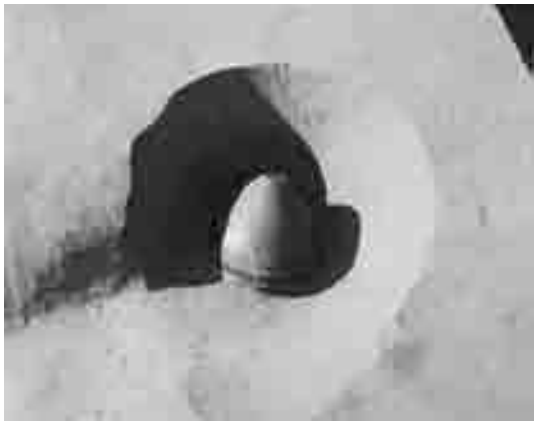
1．SJ13152

2．SJ13153

3．SJ13153

4．SJ13161、SJ13162

5．SJ13164



6．SJ13165

7．SJ13166

8．SJ13167

甕棺墓出土状況20

1．SJ13182

2．SJ13190

3．SJ13195

4．SJ13198

5．SJ13199

6．SJ13200

7．SJ13201

8．SJ13202

甕棺墓出土状況21

1．SJ13202

2．SJ13204

3．SJ13205、SJ13206

4．SJ13206勾玉検出状況

5．SJ13207

6．SJ13210

7．SJ13210

8．SJ13213

甕棺墓出土状況22

1．SJ13213人骨検出状況

2．SJ13213人骨検出状況

3．SJ13213人骨検出状況

4．SJ13214

5．SJ13215

6．SJ13225

7．SJ13228

8．SJ13229

甕棺墓出土状況23

1．SJ13232

2．SJ13232獣形勾玉検出状況

3．SJ13233

4．SJ13235

5．SJ13236

6．SJ13238

7．SJ13238人骨検出状況

8．SJ13242

甕棺墓出土状況24

PL30

1．SJ13242

2．SJ13247

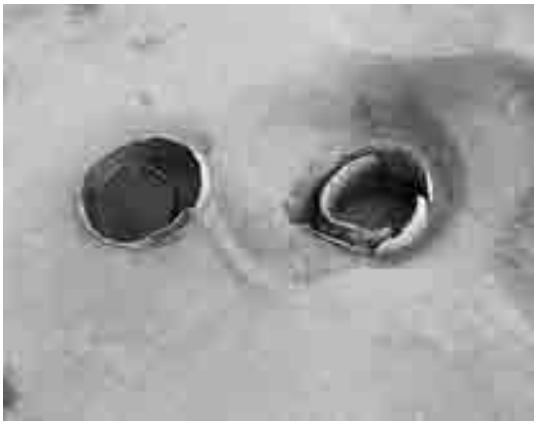
3．SJ13249

4．SJ13250

5．SJ13253

6．SJ13253

7．SJ13254、SJ13255



8．SJ13256、SJ13257

甕棺墓出土状況25

1．SJ13259

2．SJ13259剣先検出状況

3．SJ13260

4．SJ13261

5．SJ13262

6．SJ13263

7．SJ13263人骨検出状況

8．SJ13264

甕棺墓出土状況26

PL32

1．SJ13266

2．SJ13266人骨検出状況

3．SJ13267

4．SJ13268

5．SJ13268人骨検出状況

6．SJ13269

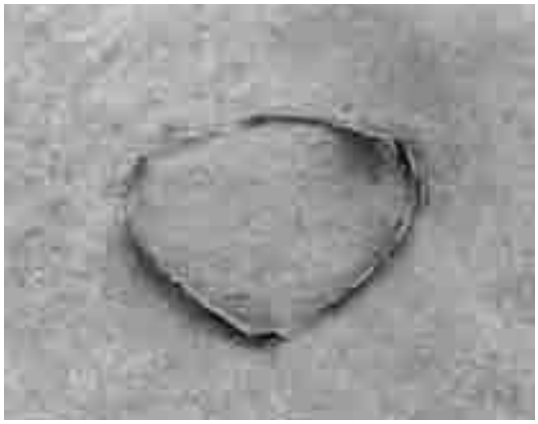
7．SJ13270

8．SJ13272

甕棺墓出土状況27

1．SJ13273

2．SJ13273人骨検出状況



3．SJ13274

4．SJ13275

5．SJ13276

6．SJ13277

7．SJ13278

8．SJ13278人骨検出状況

甕棺墓出土状況28

1．SJ13279

2．SJ13280

3．SJ13281

4．SJ13280、SJ13281、SJ13282

5．SJ13282

6．SJ13283

7．SJ13283

8．SJ13284

甕棺墓出土状況29

1．SJ13286

2．SJ13289

3．SJ13290

4．SJ13291

5．SJ13292

6．SJ13293

7．SJ13294

8．SJ13294勾玉検出状況

甕棺墓出土状況30

1．SJ13295

2．SJ13295人骨出土状況

3．SJ13296

4．SJ13297

5．SJ13297石剣検出状況

6．SJ13298

7．SJ13299

8．SJ13300

甕棺墓出土状況31

1．SJ13301

2．SJ13302

3．SJ13303

4．SJ13304

5．SJ13305

6．SJ13306

7．SJ13309

8．SJ13309

甕棺墓出土状況32

1．SJ13310

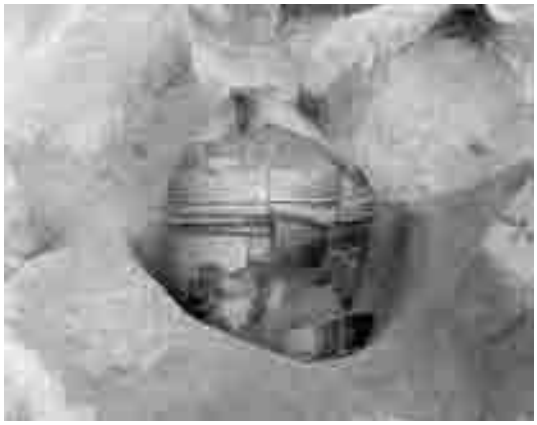
2．SJ13311

3．SJ13312

4．SJ13315

5．SJ13316、SJ13317

6．SJ13317勾玉検出状況



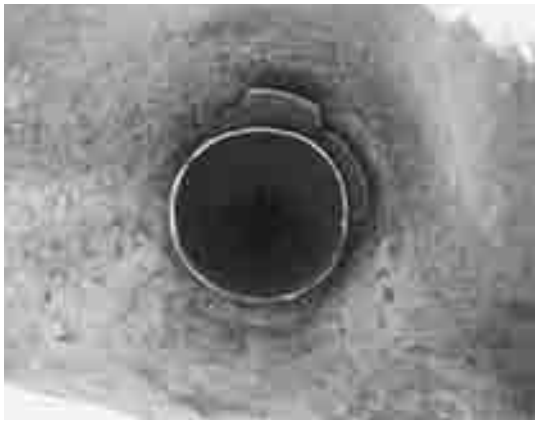
7．SJ13319

8．SJ13320

甕棺墓出土状況33

1．SJ13321

2．SJ13323



3．SJ13324

4．SJ13325

5．SJ13329

6．SJ13330

7．SJ13335

8．SJ13336

甕棺墓出土状況34

1．SJ13337

2．SJ13338

3．SJ13340

4．SJ13341

5．SJ13343

6．SJ13344

7．SJ13347

8．SJ13348

甕棺墓出土状況35

1．SJ13348人骨検出状況

2．SJ13354

3．SJ13354人骨検出状況

4．SJ13355

5．SJ13356

6．SJ13357

7．SJ13361

8．SJ13365

甕棺墓出土状況36

1．SJ13370

2．SJ13379

3．SJ13381

4．SJ13382

5．SJ13383

6．SJ13384

7．SJ13386

8．SJ13388

甕棺墓出土状況37

1．SJ13388

2．SJ13388検出状況

3．SJ13390

4．SJ13391

5．SJ13392

6．SJ13393

7．SJ13394

8．SJ13395

甕棺墓出土状況38

1．SJ13396

2．SJ13397

3．SJ13406

4．SJ13413

5．SJ13417

6．SJ13421

7．SJ13422

甕棺墓出土状況39

1．SJ11045

2．SJ11083上甕

3．SJ11083下甕

4．SJ11090

5．SJ11104

6．SJ11213

7．SJ11221

8．SJ11222

9．SJ11223

甕棺1

PL46

1．SJ11224

2．SJ11225

3．SJ11226

4．SJ11227

5．SJ11235上甕

6．SJ11235下甕

7．SJ11237上甕

8．SJ11237下甕

9．SJ11239上甕

甕棺２

1．SJ11239下甕

2．SJ11240上甕

3．SJ11240下甕

4．SJ11241上甕

5．SJ11241下甕

6．SJ11242

7．SJ11247上甕

8．SJ11247下甕

9．SJ11249上甕

甕棺３

1．SJ11249下甕

2．SJ11259

3．SJ11265上甕

4．SJ11265上甕

5．SJ11265下甕

6．SJ11269上甕

7．SJ11269下甕

8．SJ11270

9．SJ11271

甕棺４

1．SJ11274上甕

2．SJ11274下甕

3．SJ11275上甕

4．SJ11275下甕

5．SJ11277

6．SJ11280上甕

7．SJ11280下甕

8．SJ11281上甕

9．SJ11281下甕

甕棺５

PL50

1．SJ11286上甕

2．SJ11286下甕

3．SJ11287

4．SJ11288上甕

5．SJ11288下甕

6．SJ11289上甕

7．SJ11289下甕

8．SJ11290上甕

9．SJ11290下甕

甕棺６

1．SJ11294

2．SJ13001上甕

3．SJ13001下甕

4．SJ13003上甕

5．SJ13003下甕

6．SJ13004

7．SJ13005上甕

8．SJ13005下甕

9．SJ13006上甕

甕棺7

PL52

1．SJ13006下甕

2．SJ13007

3．SJ13009上甕

4．SJ13009下甕

5．SJ13011上甕

6．SJ13011下甕

7．SJ13012上甕

8．SJ13012下甕

9．SJ13013上甕

甕棺８

1．SJ13013下甕

2．SJ13014上甕

3．SJ13014下甕

4．SJ13015上甕

5．SJ13015下甕

6．SJ13046

7．SJ13048

8．SJ13049

9．SJ13050

甕棺９

PL54

1．SJ13052

2．SJ13059

3．SJ13060

4．SJ13061

5．SJ13062

6．SJ13065上甕

7．SJ13065下甕

8．SJ13066上甕

9．SJ13067

甕棺10

1．SJ13068上甕

2．SJ13069

3．SJ13070

4．SJ13071

5．SJ13072

6．SJ13073

7．SJ13074

8．SJ13075

9．SJ13078

甕棺11

PL56

1．SJ13079

2．SJ13080

3．SJ13081上甕

4．SJ13081下甕

5．SJ13082

6．SJ13083上甕

7．SJ13083下甕

8．SJ13084上甕

9．SJ13084下甕

甕棺12

1．SJ13085上甕

2．SJ13085下甕

3．SJ13088上甕

4．SJ13088下甕

5．SJ13089上甕

6．SJ13089下甕

7．SJ13091上甕

8．SJ13091下甕

9．SJ13092上甕

甕棺13

PL58

1．SJ13092下甕

2．SJ13093

3．SJ13095

4．SJ13096

5．SJ13097上甕

6．SJ13097下甕

7．SJ13098

8．SJ13099

9．SJ13101

甕棺14

1．SJ13103

2．SJ13104

3．SJ13106

4．SJ13107

5．SJ13108上甕

6．SJ13108下甕

7．SJ13110

8．SJ13111上甕

9．SJ13111下甕

甕棺15

PL60

1．SJ13112

2．SJ13114

3．SJ13116上甕

4．SJ13116下甕

5．SJ13118

6．SJ13119

7．SJ13122

8．SJ13123上甕

9．SJ13123下甕

甕棺16

1．SJ13124

2．SJ13125上甕

3．SJ13125下甕

4．SJ13125下甕

5．SJ13126

6．SJ13127上甕

7．SJ13127上甕

8．SJ13127下甕

9．SJ13128上甕

甕棺17

1．SJ13128下甕

2．SJ13129上甕

3．SJ13129下甕

4．SJ13130上甕

5．SJ13130下甕

6．SJ13131上甕

7．SJ13131下甕

8．SJ13132

9．SJ13133

甕棺18

1．SJ13134上甕

2．SJ13134下甕

3．SJ13135

4．SJ13138上甕

5．SJ13138下甕

6．SJ13139上甕

7．SJ13139下甕

8．SJ13141上甕

9．SJ13141下甕

甕棺19

PL64

1．SJ13142

2．SJ13144

3．SJ13145

4．SJ13146上甕

5．SJ13146下甕

6．SJ13147

7．SJ13148上甕

8．SJ13148下甕

9．SJ13149

甕棺20

1．SJ13150上甕

2．SJ13150下甕

3．SJ13151上甕

4．SJ13151下甕

5．SJ13152

6．SJ13153上甕

7．SJ13153下甕

8．SJ13161

9．SJ13162下甕

甕棺21

PL66

1．SJ13164

2．SJ13165

3．SJ13166上甕

4．SJ13166下甕

5．SJ13167上甕

6．SJ13167下甕

7．SJ13182上甕

8．SJ13182下甕

9．SJ13186上甕

甕棺22

1．SJ13186下甕

2．SJ13190上甕

3．SJ13190下甕

4．SJ13190下甕

5．SJ13195上甕

6．SJ13195下甕

7．SJ13198

8．SJ13199上甕

9．SJ13199下甕

甕棺23

PL68

1．SJ13200上甕

2．SJ13200下甕

3．SJ13201上甕

4．SJ13201下甕

5．SJ13202上甕

6．SJ13202下甕

7．SJ13204上甕

8．SJ13204下甕

9．SJ13205

甕棺24

1．SJ13206上甕

2．SJ13206下甕

3．SJ13207上甕

4．SJ13207下甕

5．SJ13209上甕

6．SJ13209下甕

7．SJ13210上甕

8．SJ13210下甕

9．SJ13213上甕

甕棺25

PL70

1．SJ13213下甕

2．SJ13214上甕

3．SJ13214下甕

4．SJ13215上甕

5．SJ13215下甕

6．SJ13220上甕

7．SJ13220下甕

8．SJ13225上甕

9．SJ13225下甕

甕棺26

1．SJ13228上甕

2．SJ13228下甕

3．SJ13229上甕

4．SJ13229下甕

5．SJ13232

6．SJ13233上甕

7．SJ13233下甕

8．SJ13235上甕

9．SJ13235下甕

甕棺27

PL72

1．SJ13236上甕

2．SJ13236下甕

3．SJ13238上甕

4．SJ13239

5．SJ13241上甕

6．SJ13241下甕

7．SJ13242上甕

8．SJ13242下甕

9．SJ13247上甕

甕棺28

1．SJ13247下甕

2．SJ13248上甕

3．SJ13248下甕

4．SJ13249上甕

5．SJ13249下甕

6．SJ13250

7．SJ13253上甕

8．SJ13253下甕

9．SJ13254上甕

甕棺29

PL74

1．SJ13254下甕

2．SJ13255

3．SJ13256上甕

4．SJ13256下甕

5．SJ13257上甕

6．SJ13257下甕

7．SJ13259上甕

8．SJ13259下甕

9．SJ13260上甕

甕棺30

1．SJ13260下甕

2．SJ13261

3．SJ13262上甕

4．SJ13262下甕

5．SJ13263上甕

6．SJ13263下甕

7．SJ13264

8．SJ13266上甕

9．SJ13266下甕

甕棺31

1．SJ13267上甕

2．SJ13267下甕

3．SJ13268上甕

4．SJ13268下甕

5．SJ13269上甕

6．SJ13269下甕

7．SJ13270上甕

8．SJ13270下甕

9．SJ13271

甕棺32

1．SJ13272上甕

2．SJ13272下甕

3．SJ13273上甕

4．SJ13273下甕

5．SJ13274

6．SJ13275上甕

7．SJ13275下甕

8．SJ13276

9．SJ13277

甕棺33

PL78

1．SJ13278上甕

2．SJ13278下甕

3．SJ13279上甕

4．SJ13279下甕

5．SJ13280上甕

6．SJ13280下甕

7．SJ13281上甕

8．SJ13281下甕

9．SJ13282

甕棺34

1．SJ13283上甕

2．SJ13283下甕

3．SJ13284

4．SJ13286

5．SJ13287

6．SJ13288

7．SJ13289上甕

8．SJ13289下甕

9．SJ13290上甕

甕棺35

PL80

1．SJ13290下甕

2．SJ13291上甕

3．SJ13291下甕

4．SJ13292上甕

5．SJ13292下甕

6．SJ13293上甕

7．SJ13293下甕

8．SJ13294上甕

9．SJ13294下甕

甕棺36

1．SJ13295上甕

2．SJ13295下甕

3．SJ13296上甕

4．SJ13296下甕

5．SJ13298上甕

6．SJ13298下甕

7．SJ13299

8．SJ13300

9．SJ13301上甕

甕棺37

PL82

1．SJ13301下甕

2．SJ13302上甕

3．SJ13302下甕

4．SJ13303上甕

5．SJ13303下甕

6．SJ13304

7．SJ13305上甕

8．SJ13305下甕

9．SJ13306

甕棺38

1．SJ13309上甕

2．SJ13309下甕

3．SJ13310上甕

4．SJ13310下甕

5．SJ13311

6．SJ13312上甕

7．SJ13312下甕

8．SJ13313上甕

9．SJ13313下甕

甕棺39

PL84

1．SJ13315上甕

2．SJ13315下甕

3．SJ13316

4．SJ13317

5．SJ13319上甕

6．SJ13319下甕

7．SJ13320

8．SJ13321上甕

9．SJ13321下甕

甕棺40

1．SJ13323上甕

2．SJ13323下甕

3．SJ13324上甕

4．SJ13324下甕

5．SJ13325

6．SJ13329上甕

7．SJ13329下甕

8．SJ13330上甕

9．SJ13330下甕

甕棺41

PL86

1．SJ13335上甕

2．SJ13335下甕

3．SJ13336上甕

4．SJ13336下甕

5．SJ13337

6．SJ13338

7．SJ13341

8．SJ13340

9．SJ13344下甕

甕棺42

1．SJ13347上甕

2．SJ13347下甕

3．SJ13348上甕

4．SJ13348下甕

5．SJ13354上甕

6．SJ13354下甕

7．SJ13355

8．SJ13356上甕

9．SJ13356下甕

甕棺43

PL88

1．SJ13357上甕

2．SJ13357下甕

3．SJ13361上甕

4．SJ13361下甕

5．SJ13365上甕

6．SJ13365下甕

7．SJ13370上甕

8．SJ13370下甕

9．SJ13379上甕

甕棺44

1．SJ13379下甕

2．SJ13381上甕

3．SJ13381下甕

4．SJ13382

5．SJ13383

6．SJ13384上甕

7．SJ13384下甕

8．SJ13386上甕

9．SJ13386下甕

甕棺45

PL90

1．SJ13388上甕

2．SJ13388下甕

3．SJ13389

4．SJ13390上甕

5．SJ13390下甕

6．SJ13391上甕

7．SJ13391下甕

8．SJ13392

9．SJ13393上甕

甕棺46

1．SJ13393下甕

2．SJ13394上甕

3．SJ13394下甕

4．SJ13395上甕

5．SJ13395下甕

6．SJ13396上甕

7．SJ13396下甕

8．SJ13397上甕

9．SJ13397下甕

甕棺47

PL92

1．SJ13400上甕

2．SJ13400下甕

3．SJ13413上甕

4．SJ13413下甕

5．SJ13417

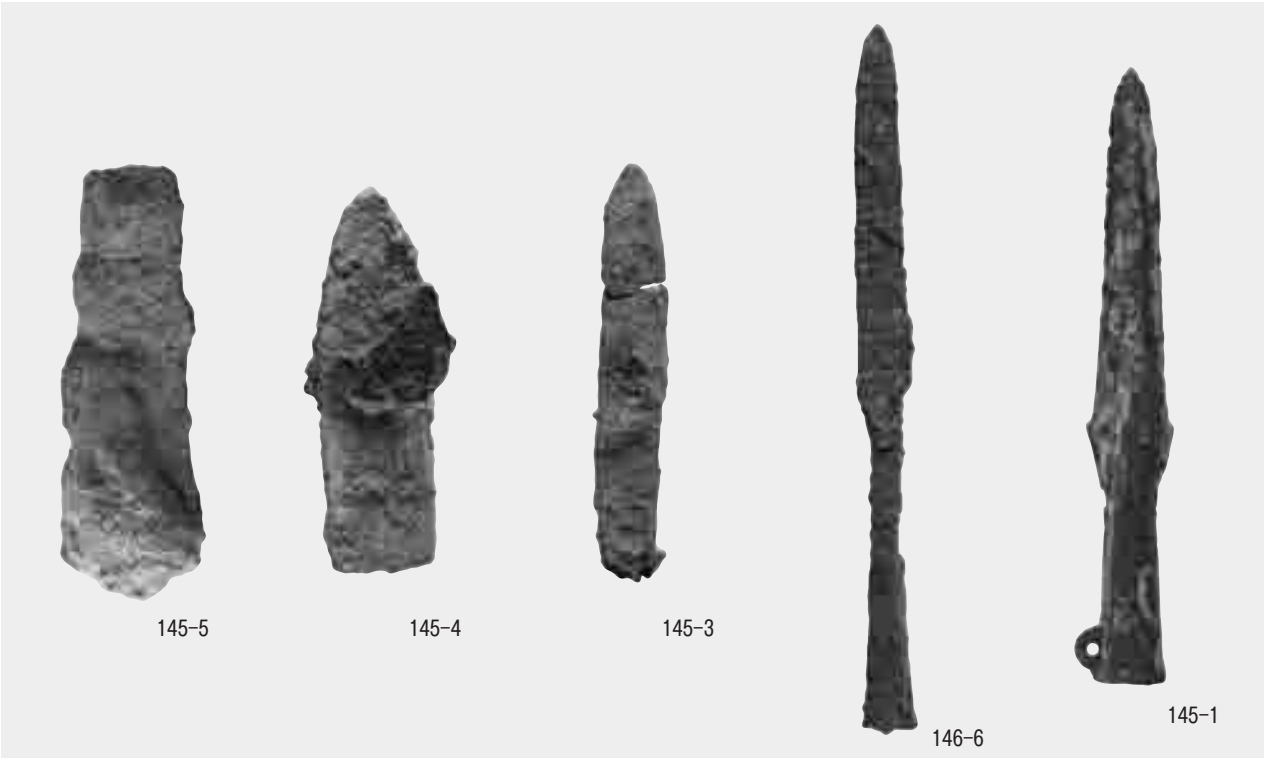
6．SJ13421上甕

7．SJ13421下甕

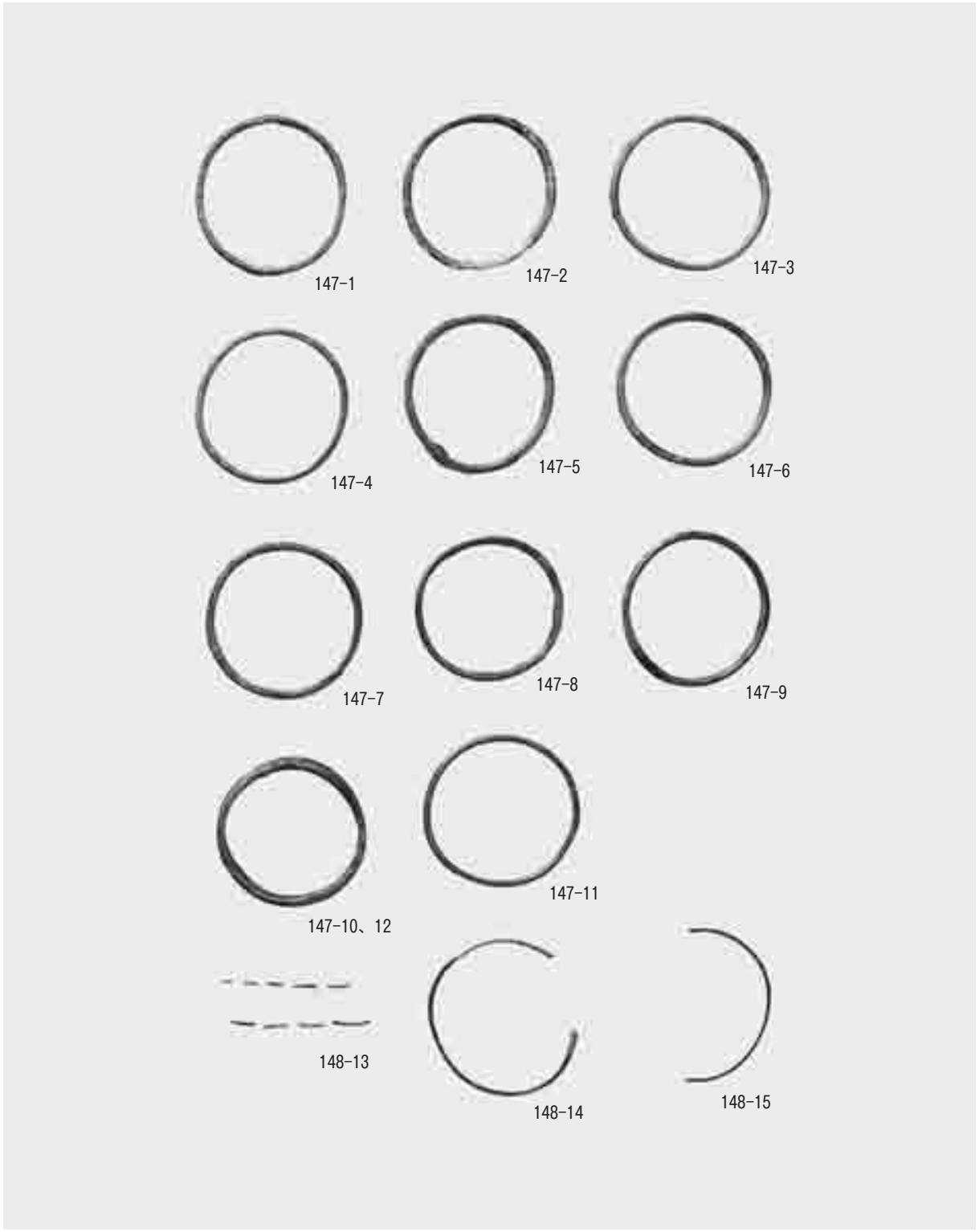
8．SJ13422

甕棺48

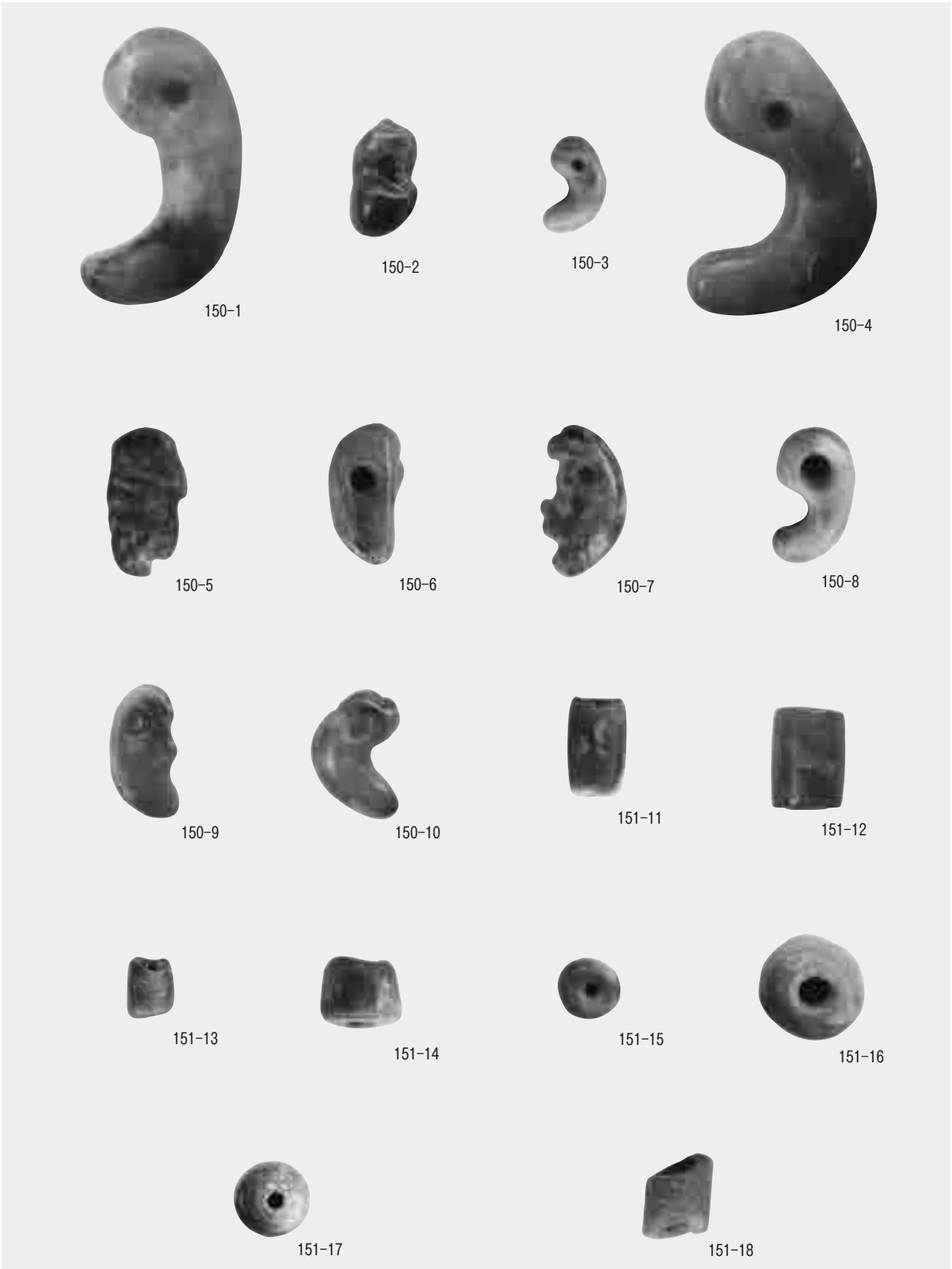
SJ13299絵画甕棺



甕棺副葬金属製品



SJ13134、SJ13112出土円環型銅釧


150-1
150-2
150-3
150-4
150-5
150-6
150-7
150-8
150-9
150-10
151-11
151-12
151-13
151-14
151-15
151-16
151-17
151-18

玉類

報告書抄録

ふりがな	なかばる
書名	中原遺跡Ⅳ　11区・13区の弥生時代甕棺墓の調査
副書名	西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書
巻次	7
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書
シリーズ番号	第182集
編著者名	小松譲・市川浩文・土屋了介
編集機関	佐賀県教育委員会
所在地	〒840-8570　佐賀市城内1丁目1番59号　TEL(0952)25-7232
発行年月日	西暦2010年3月26日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
中原遺跡（なかばる）	唐津市原字溜ノ内（からつしはるためのうち）・西ノ畑（にしのはた）	412023	2146	33°24′57″ 36164	129°59′59″ 3893	平成13年5月28日～平成17年9月30日	10,200㎡（本書掲載分）	西九州自動車道建設事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡 11区・13区	墳墓	弥生	甕棺墓	銅矛 鉄矛 円環型銅釧 鉄斧 鉄製鉇（ヤリガンナ） 硬玉製玉類 碧玉製管玉 瑪瑙製管玉 天河石製丸玉 ガラス製管玉 ガラス製小玉	倒置棺、直立棺 絵画甕棺

佐賀県文化財調査報告書第182集

中 原 遺 跡 Ⅳ

11区・13区の弥生時代甕棺墓の調査

―西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書（７）―

平成22（2010）年３月26日

発行　佐賀県教育委員会
〒840-8570　佐賀県佐賀市城内１丁目１番59号

印刷　大同印刷株式会社
〒849-0902　佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20